

同盟 時事月報

第二十號

一月十四日發行

第七卷

昭和十八年

十二月事項

十九年度總豫算案決定

軍需會社法實施

第八十四通常議會開會

常德殲滅作戰完了

獨ソ死闘續く・ギルバート守備隊玉碎

☆月間大觀 ☆時事月表

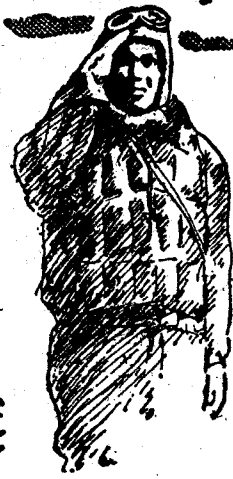
☆大東亞戰記 ☆時事文獻彙報

211號

東洋紡績株式會社

本社 大阪市北區堂島濱通り貳丁目

貯蓄戰



勝たねばならぬ

帝國國生

内ノ丸・京東

戰爭死亡傷害保險

目種業壽

海上 運送 火災 森林 盜難 自働車
 航空 傷害 硝子
 風水 害空 害難

本社 東京九ノ内

東京海上保險株式會社

支店 大阪、橫濱、京都、福岡、神戸
 出張所 名古屋、廣島、新京、上海

疲勞恢復に

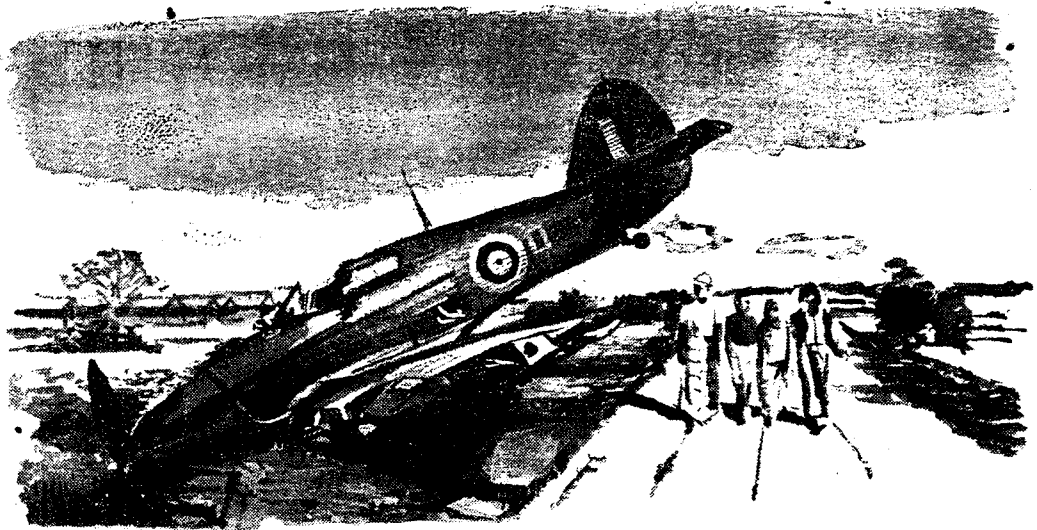
活力養成に

純強男性ホルモン

ユーステロン錠



植村製藥株式會社
 大阪府大阪市東區本町三丁目六番



昭和十八年を送る

觀大事時

世界の運命をかけた歐亞の二大戦線は、またしても血戦の一年を了つた。顧れば、決戦に明け、決戦に暮れた匆忙の年ではあつたが、大勢は依然逆略を許さないのである。勿論、戦線の動きに現れたこの一年の戦況は、歐洲においても、太平洋においても、樞軸にとつて必ずしも有利とはいへないであらう。しかし、それだからといつて、それが反樞軸にとつて有利であつたといふことも出来ないものである。東部戦線における獨軍の撤收作戦、獨伊の北阿放棄とバドリオ政權の裏切り、西南太平洋における米軍の進出等による反樞軸の若干の成功は、結局若干の成功にとどまつて、それ以上に出ないのだ。寧ろこの一年における樞軸自體の強化に、依然樞軸先制の利が確保されたところに重大意義があるといふべきであらう。敵も亦卒直にこれを認める。頻りに勝つた勝つたと宣傳し、戦後經營を振りまわしながら、物量を傾けて戦局打開に敵米英が狂奔する所以はそこにある。日本抹殺の放言、獨逸銃後に對する無差別盲爆等々紳士道をかなくなり捨てた彼等の暴虐は、既に馬を壁に乗りあてた米英の焦躁の所産でなければならぬ。

驟つて、わが國はどうであらうか。緒戦の大戦果の上に組みあげられた大東亞新秩序は着々成り、日滿華の緊密な協力に加へて、ビルマ、比島の獨立、インドネシアの政治參與が早くも實現し、大東亞會議に至つて米英打倒、東亞解放のアジア民族の決意は牢固として動かすべからざるものであることが世界に顯示された。この政治攻勢の勝利に加へて、わが國內決戦體制が異常の躍進を示したことはわれ等が絶えず身邊にこれを見、これを感じたところである。然し、戦ふものは究極において機構組織ではなく人である。心の決戦化が機構組織の決戦化に伴はぬ限り、戦力の飛躍的向上は望まれないであらう。既に米英の戦意と世界獨占の非望は彼等が會談を繰返す毎に尖鋭化されてゐる。須く敵の意圖を察し「勝利なくして日本なし」の現實に稽へ、物心兩面の決戦體制に萬全を期せねばならぬ。来るべき昭和十九年こそは、敵が最も恐れ、嫌ふ物的戦力平衡化の年とならうとしてゐる。そこに敵の挑む反攻が愈々慘烈を加へる必然性が生ずる。慘烈に耐へる心は、更に物的戦力平衡化を破つて勝利の彼岸に達する原動力となるであらう。

同盟時事月報(二月十四日) 目次

- 昭和十八年を送る(時事大觀)……………一
- ……同盟現地報告……………三
- 滿洲經濟の決戦體制……………五
- ニユーギニア奥地踏査行……………七
- 月間時事(次頁を見よ)……………三
- ☆大東亞戰記……………一六五
- ◇放送・講演・談話……………一七六
- 宗教界變貌……………一八〇
- 後記……………一八〇
- 時事文獻彙報……………一八一

同盟時事月報

(月間時事)

目次

世界戦況

大東亞戦争

- 【特 報】
 - ▲タラワ、マキン守備隊玉碎……………六
 - ▲死闘五日間……………六
 - ▲凄絶ギルバート島の決戦……………六
 - ▲ニューブリテン島に敵上陸……………三〇
 - ▲マカスカ岬に上陸……………三〇
 - ▲マツカササも出馬……………三二
 - ▲海鷲マカスカ岬我船圍攻撃……………三三
 - ▲グロースター岬にも上陸……………三三
 - ▲開戦二年間の戦果……………三三
 - ▲陸海軍二ヶ年の成果……………三三
 - ▲陸軍総合戦果……………三四
 - ▲海軍の総合戦果……………三四
 - ▲複雑深刻化する大陸戦線……………三六
- 【一 般】
 - ▲敵機撃墜破百四……………三五
- ▲支那方面
 - ▲支那派遣軍週聞戦況……………三六
 - ▲一ヶ年に六回の主要作戦……………三七
 - ▲支那方面艦隊総合戦果……………三七
- 【北 支】
 - ▲華北全域に討伐肅清作戦……………三八
 - ▲清河軍區覆滅作戦総合戦果……………三八
- 【中 支】
 - ▲揚子江下流一ヶ年戦果……………三八
 - ▲常德縣城を完全占領……………三八
 - ▲敵一萬殲滅、飛行機廿撃墜……………三八

洞庭湖西方作戦終了

常徳作戦と呼稱……………三九

敵機武漢地區に來襲

……………三九

【南 支】

▲廣九作戦の輝く戦果……………三九

▲空 襲

▲在支陸路進攻邀撃戦果……………三九

▲昆明、雲南驛爆撃

……………三九

▲緬支國境

……………三九

▲東南アジア

……………三九

【佛 印】

▲敵機北部佛印に蠢動……………三九

▲鬼畜の敵潜艦佛船を撃沈

……………三九

【ビルマ】

▲印緬國境戦機胎動……………三九

▲敵包圍態勢を粉碎

……………三九

▲緬印國境の敵早くも大混亂

……………三九

▲陸鷲一ヶ年の戦果

……………三九

▲印度方面

……………三九

▲陸海協同カルカッタ空襲

……………三九

▲印度重慶空輸路脅威

……………三九

▲ニューギニア

……………三九

▲グッドイナフ島

……………三九

▲フィンシハーヘン地區

……………三九

▲ソング河北岸地區で敵有力

……………三九

▲艦艇及敵陣地爆撃

……………三九

▲ラム溪谷を攻撃

……………三九

▲マダン附近

……………三九

▲舊關領地區……………三九

▲海上戦線

▲米潜水艦沈没……………三九

▲敵潜艦十四隻撃沈……………三九

【中部太平洋】……………三九

▲ギルバート諸島……………三九

▲マキン、タラワの敵軍猛爆……………三九

▲マーシャル群島……………三九

▲マーシャル諸島沖航空戦……………三九

▲ミレ島に來襲……………三九

▲タロア、ウオツチエ兩島に……………三九

▲來襲……………三九

【南太平洋】……………三九

▲病院船ぶえのすあいに九……………三九

▲撃沈さる……………三九

▲ソロモン群島……………三九

▲日米航空決戦益々凄烈……………三九

▲ブーゲンビル島……………三九

▲第六次ブーゲンビル島沖航……………三九

▲空戦……………三九

▲海鷲連日大活躍……………三九

▲シュートランド島で四機撃……………三九

▲撃……………三九

▲ビスマーク諸島……………三九

▲十二日間の戦果……………三九

▲ニューアイルランド島……………三九

▲ニューブリテン島……………三九

▲海鷲マカスカ岬アラウエ島……………三九

▲の敵撃爆撃……………三九

▲ラバウル來襲敵機五十八撃……………三九

▲撃……………三九

▲來襲敵機五十機中廿一撃……………三九

▲撃……………三九

▲東印度方面……………三九

▲獨軍公表戦況……………三九

▲獨軍の六攻勢開始……………三九

【中南部地區】

▲コロステン占領……………三九

▲チエ市で市街戦續く……………三九

▲獨軍ラドミエル占領……………三九

▲ネヴェリ南方戦線重大化……………三九

▲キエフ西方戦線重大化……………三九

▲コロステンを撤収……………三九

【クリミア地區】……………三九

▲ソ聯砲艦を撃沈……………三九

▲南部戦線……………三九

▲イタリヤ戦線……………三九

▲伊本土上陸以來英米軍損害……………三九

▲北伊地區……………三九

▲南伊地區……………三九

▲反樞軸必死の總反攻……………三九

▲パドリオ軍も米軍戦線に參……………三九

▲加……………三九

▲反樞軸軍の反攻挫折……………三九

▲オルトナで市街戦……………三九

▲イタリヤ戦線にコサツク騎……………三九

▲兵……………三九

▲パリ港大擧爆撃……………三九

▲バルカン諸國……………三九

▲獨軍共産匪を掃蕩……………三九

▲反樞軸空軍官爆……………三九

▲西部戦線……………三九

▲獨軍ロケット砲火を吐く……………三九

▲奇襲部隊を撃退……………三九

▲獨機英本土爆撃……………三九

▲又復ベルリンを爆撃……………三九

▲英米機ドイツ爆撃……………三九

▲米英機獨占領地爆撃……………三九

▲海上戦線……………三九

▲艦船二百隻を撃沈破……………三九

▲通商破壊戦十一ヶ月間戦果……………三九

▲英艦艇喪失……………三九

國內要事

英快速艇五隻を撃沈破……………三九

ソ聯潜水艦カリブ海で猛威……………三九

ソ聯艦艇を撃沈……………三九

シャルンホルスト號沈没……………三九

政治

政府

▲議會提出法律案要綱決定……………三九

▲大東亞省機構改正……………三九

▲行政事務の整理簡捷一、四……………三九

▲八六件……………三九

▲食糧、纖維原料増産二方策……………三九

▲答申……………三九

▲外廓團體及統制機關整理刷……………三九

▲新方針決定……………三九

▲國民動員連絡會議設置……………三九

▲軍所管航空行政軍需省に移……………三九

▲管……………三九

▲臨時地地方官會議開催……………三九

▲航空兵器總局分課規程決定……………三九

▲内地現住者人口調査實施……………三九

▲行政査察……………三九

▲甲造船、木造船にも行政査……………三九

▲察……………三九

主要人事

▲病院船不法攻撃に嚴重抗議……………三九

▲チモール問題……………三九

▲日獨伊三國軍事協定二周年……………三九

▲記念……………三九

▲日泰同盟二周年記念……………三九

【外 交】

▲ギルバート方面活躍の航空……………三九

▲部隊を御嘉尚……………三九

▲徵兵適齡を一年低下……………三九

▲陸軍特別幹部候補生制度新……………三九

陸軍特別志願兵令改正 〃

▲感狀行賞 〃

▲主要人事 〃

▲貴族院 〃

▲業議院 〃

▲翼賛政治會 〃

▲對議會陣容成る 〃

▲食糧自給基本對策上申 〃

▲大政翼賛會 〃

▲翼賛會、翼壯地方別懇談會 〃

▲中央協力會議員更新 〃

▲與亞運動 〃

▲日滿華三國與亞運動首腦者 〃

▲會談 〃

▲翼賛壯年團 〃

▲產報 〃

▲外地・地方 〃

▲地方行政協議會 〃

▲第六回地方行政協議會會長會 〃

▲醫學品衛生物資確保對策成る 〃

▲財政・金融 〃

▲十九年度一般會計豫算概算決定 〃

▲租稅增徴案決定 〃

▲煙草五割方値上げ斷行 〃

▲明年度地方分與稅總額七億圓 〃

▲金融 〃

▲簡保積立金運用委員會 〃

▲本年六月の全國の金利狀況 〃

▲工・鑛業 〃

▲重要工場調査規則廢止 〃

▲科學技術審議會答申 〃

▲機械・金屬 〃

▲鍛壓機械を緊急増産 〃

▲電極需給統制要綱決定 〃

▲鉛、亜鉛、鐵、砂鐵に價格獎制 〃

▲輸出適格業等の登録基準決定 〃

▲交易營團資金調達に新機軸 〃

▲日滿共通の輸出入統計決定 〃

▲會社・團體 〃

▲經濟短信 〃

▲文 〃

▲宮廷錄事 〃

▲官廳出版物は半数に整理 〃

▲第一回國史編修準備委員會 〃

▲史蹟名勝天然記念物本年度第二回指定 〃

▲野間賞受賞者 〃

▲「大航空の歌」を選定 〃

▲學術 〃

▲文獻翻譯の體制成る 〃

▲第一回科學研究勳員委員會 〃

▲陸軍技術有功章授與式舉行 〃

▲教育 〃

▲大學、高專等全面的に編成替 〃

▲中等入試考查に決戦措置を採用 〃

▲都下百四十四校整理 〃

▲商業卒業生に技術訓練 〃

▲全女學生に看護婦教育 〃

▲厚生 〃

▲日本藥劑師會設立認可 〃

▲大日本母子愛育會誕生 〃

▲女子挺身隊の勳員慰勞成る 〃

▲體育 〃

▲鍊成日誌 〃

▲計 〃

▲文化短信 〃

大東亞

國民政府

▲【政治・軍事】蘇浙皖三省を改廢 〃

▲中國純正國民黨全國黨務工作會議 〃

▲軍事 〃

▲中國沿岸封鎖嚴行 〃

▲【財政・經濟】戰時消費稅設定 〃

▲中支棉花收買機構完整 〃

▲中國合作總社を設立 〃

▲【社會・文化】香港 〃

▲【華北】 〃

▲政治 〃

▲省市長會議 〃

▲新民會新基本方針決定 〃

▲經濟 〃

▲華滿蒙勞務連絡會議 〃

▲蒙疆 〃

▲來年度總豫算決定 〃

▲中國短信 〃

▲滿洲國 〃

▲【政治】宮廷錄事 〃

▲國軍武官令改正 〃

▲【經濟】第三次增稅斷行 〃

▲明年度豫算編成終る 〃

▲開拓 〃

▲明年度開拓政策實施要綱 〃

▲會社・銀行 〃

重慶政權

▲【政治】蔣介石カンデーに呼びかく 〃

▲對外關係 〃

▲林語堂反樞軸の歩調混亂を指摘 〃

▲【軍事】支那人の犠牲で米空軍力を保全 〃

▲陳誠職を賭して米英派に警告 〃

▲忍び得ぬ白人の輕蔑態度 〃

▲【經濟】平衛基金委員會解散 〃

▲西北開發 〃

▲赤色政權 〃

▲經濟危機深刻 〃

南方諸國

▲大東亞戰爭第二周年 〃

▲軍政諸城 〃

▲【マライ】義勇軍、義勇隊を創設 〃

▲經理統制二法令公布 〃

▲食糧増産總動員運動展開 〃

▲【スマトラ】州參議會議員の選出完了 〃

▲【ジャバ】スラバヤ州勞務協會設立 〃

▲【セレベス】海軍地域原住民に參政許與 〃

▲【ボルネオ】州市會議員定數決る 〃

▲軍政地域短信 〃

▲佛印 〃

▲米糧官爆對策 〃

▲聯邦會議開會 〃

▲【經】 〃

▲【政】 〃

▲【文】 〃

▲【定】 〃

▲【財政・金融】 〃

▲【經濟】 〃

▲【會社・團體】 〃

▲【文 〃

▲【學術】 〃

▲【政治】 〃

▲【經濟】 〃

▲【社會・文化】 〃

▲【華北】 〃

▲【政治】 〃

▲【經濟】 〃

▲【蒙疆】 〃

▲【滿洲國】 〃

▲【政治】 〃

▲【經濟】 〃

▲【文】 〃

▲【重慶政權】 〃

▲【南方諸國】 〃

經濟

▲軍需會社法施行 〃

▲生產責任制の全貌明確化 〃

▲軍需會社徵用規則制定 〃

▲業種別企業整備要領續々決 〃

久 伊

- ▲戦時評議會設立……………(一六)
- ▲タイ領マライ四州州政を土侯に移管……………(一六)
- ▲明年度豫算決定……………(一六)
- ▲大臣更迭……………(一六)
- ▲經濟政策發表……………(一六)
- ▲ビルマ
 - ▲邦人課税要領發表……………(一六)
 - ▲小川最高顧問任命を公表……………(一六)
 - ▲シヤン地方の軍政撤廢……………(一六)
- ▲比 島
 - ▲政 治
 - ▲注目される教育方針……………(一六)
 - ▲議 會……………(一六)
 - ▲財 政……………(一六)
 - ▲明年度豫算決定……………(一六)
 - ▲經 濟……………(一六)
 - ▲比島短信……………(一六)
- ▲自由インド假政府
 - ▲昭南の民衆大會でボース首班獅子吼……………(一六)
- ▲印 度
 - ▲政 治
 - ▲ウエーベル初の公開演説……………(一六)
 - ▲軍 事
 - ▲蔣介石、マウントバツテンと會見……………(一六)
 - ▲別個に東方空司令を設置……………(一六)
 - ▲インド兵の反英氣運愈々昂る……………(一六)
 - ▲カルカッタ爆撃被害……………(一六)
 - ▲食糧危機……………(一六)
 - ▲豪 洲
 - ▲首相重大發表……………(一六)
 - ▲ニュージーランド
 - ▲雷擊機隊編成……………(一六)

世界情勢

歐 洲

- ▲政治・經濟
 - ▲外相必勝の決意披露……………(一七)
 - ▲スウェーデンの抗議を一蹴……………(一七)
 - ▲白ロシア中央委員會設置……………(一七)
 - ▲軍 事
 - ▲ロメル元帥大西洋要塞を視察……………(一七)
- ▲イタリヤ
 - ▲地方行政機構改組……………(一七)
 - ▲汚れたる歴史を拂拭せん……………(一七)
 - ▲新編落下傘部隊……………(一七)
 - ▲フランス
 - ▲ベタン元帥獨代表と會見……………(一七)
 - ▲内務行政の強化……………(一七)
 - ▲スイス
 - ▲大統領決定……………(一七)
 - ▲スペイン
 - ▲フアランへ黨指導者大會……………(一七)
 - ▲民軍を解散……………(一七)
 - ▲ポルトガル
 - ▲米、重慶使節着任……………(一七)
 - ▲北歐諸國
 - ▲【スウェーデン】政府重ねて對獨抗議……………(一七)
 - ▲【ノルウェー】「フィンランド」斷乎抗戰を繼續せん……………(一七)
 - ▲ソ 聯 邦
 - ▲政治・經濟
 - ▲カリーニン、ベネシユを引見……………(一七)
 - ▲新國歌を制定……………(一七)

▲軍 事

- ▲ユーゴ・共産政權に軍事使節派遣……………(一八)
- ▲バルカン諸國
 - ▲【ブルガリア】……………(一八)
 - ▲【ルーマニア】……………(一八)
 - ▲【ハンガリア】……………(一八)
 - ▲【モラヴィア・ボヘミア】……………(一八)
 - ▲チエフコ反共聯盟を結成……………(一八)
- ▲西 亞 諸 國
 - ▲アラブ國完全獨立を要求……………(一八)
 - ▲【トルコ】
 - ▲戒嚴狀態を延長……………(一八)
 - ▲國會開く……………(一八)
 - ▲外相カイロ會談を報告……………(一八)
 - ▲【イラン】
 - ▲反樞軸軍撤收を再要求……………(一八)
 - ▲新内閣成立……………(一八)
 - ▲【レバノン】
 - ▲首相獨立を宣言……………(一八)
 - ▲【シリア】……………(一八)
 - ▲【パレスチナ】……………(一八)
 - ▲【イラク】……………(一八)
 - ▲新政府成る……………(一八)
 - ▲アフリカ
 - ▲【エチオピア】
 - ▲英埃兩國首相會見……………(一八)
 - ▲【南 阿】……………(一八)
 - ▲【北 阿】……………(一八)
 - ▲反樞軸聯合國
 - ▲カイロ會談公報要旨……………(一八)
 - ▲米英土會談公報……………(一八)
 - ▲テヘラメ會談……………(一八)
 - ▲伊諮問委員會……………(一八)
 - ▲反樞軸救済復興會議終る……………(一八)
 - ▲歐洲諮問委員會開く……………(一八)
 - ▲スマツツ演説の内容……………(一八)
 - ▲反樞軸軍司令官決定……………(一八)
 - ▲亡命政權……………(一八)

【フランス】

- ▲反ファシスト委員會を組織……………(一九)
- ▲佛叛軍植民地會議を召集……………(一九)
- ▲【ユーゴ】
 - ▲共産政權樹立……………(一九)
- ▲イギリス
 - ▲政治
 - ▲イーデンの報告演説……………(一九)
 - ▲汎スラブ委員會結成……………(一九)
 - ▲軍 事
 - ▲アゾレス島を既に使用……………(一九)
 - ▲經 濟……………(一九)
- ▲米 洲
 - ▲カナダ
 - ▲遣外軍司令官更迭……………(一九)
 - ▲アメリカ……………(一九)
 - ▲政 治
 - ▲議會……………(一九)
 - ▲父親召集案成立……………(一九)
 - ▲大統領選挙……………(一九)
 - ▲四期出馬阻止法案……………(一九)
 - ▲マツカーサーを大統領候補に正式推薦……………(一九)
 - ▲對外關係……………(一九)
 - ▲日米外交文書第二卷發表……………(一九)
 - ▲米大統領マルタ訪問……………(一九)
 - ▲武器貸與……………(一九)
 - ▲一 般……………(一九)
 - ▲官營商船學校開校……………(一九)
 - ▲大統領將來の發表方針指示……………(一九)
 - ▲新人的資源委員會設立……………(一九)
 - ▲人 事……………(一九)
 - ▲【軍 事】……………(一九)
 - ▲明年前半に二百萬召集……………(一九)
 - ▲本年戦費八百二十億弗……………(一九)
 - ▲人 事……………(一九)
 - ▲陸 軍……………(一九)
 - ▲參謀總長報告要旨……………(一九)

▲飛行兵教育狀況……………(二〇)

- ▲海 軍……………(二〇)
- ▲海軍將校大量生産……………(二〇)
- ▲艦艇進水就役……………(二〇)
- ▲【經 濟】……………(二〇)
- ▲軍需生産……………(二〇)
- ▲軍需生産狀況……………(二〇)
- ▲フオード爆撃機製造に大童……………(二〇)
- ▲船 舶……………(二〇)
- ▲生 産……………(二〇)
- ▲鐵鋼土陸舟艇に最大優先權……………(二〇)
- ▲合成ゴム生産狀況……………(二〇)
- ▲配 給……………(二〇)
- ▲勞 働……………(二〇)
- ▲全米鐵道罷業……………(二〇)
- ▲全米鐵道陸軍の監視下に……………(二〇)
- ▲炭礦勞資協定一部成立……………(二〇)
- ▲電氣會社五工場を接收……………(二〇)
- ▲鐵鋼罷業終る……………(二〇)
- ▲中南米諸國……………(二〇)
- ▲【メキシコ】……………(二〇)
- ▲罷業解決……………(二〇)
- ▲文相辭職……………(二〇)
- ▲【パナマ】……………(二〇)
- ▲【ドミニカ】……………(二〇)
- ▲【エクアドル】……………(二〇)
- ▲【コロンビア】……………(二〇)
- ▲【ペルー】……………(二〇)
- ▲【ブラジル】……………(二〇)
- ▲參謀總長辭職……………(二〇)
- ▲ブラジル軍北阿へ……………(二〇)
- ▲【ボリヴィア】……………(二〇)
- ▲對樞軸宣戰布告……………(二〇)
- ▲クイデーター勃發……………(二〇)
- ▲【パラグアイ】……………(二〇)
- ▲【アルゼンチン】……………(二〇)
- ▲政府、政黨を解散……………(二〇)
- ▲【チリ】……………(二〇)

同盟現地報告

滿洲經濟の決戰體制

新支京社



二次五年計畫の修正擴大へ

滿洲國は昨年十二月八日の大東亞戰爭一年記念日に基本國策大綱を決定公表したが、この時から滿洲國の國內體制の決戰化が大綱の線に沿つて前進を開始したのである。あれから一年、いま大東亞戰は二周年を迎へようとしてゐるが、どれ程決戰化が進捗し、大綱の第四章經濟綱要に盛り込まれた決戰經濟方策はどんな形をもつて現れて來てゐるだらうか最近最も注目されたのは十月の武部總務長官以下政府首腦等の東上であつた。一行は農産物、輕金屬、鐵等の増産案を持つて日本要路と會談し全幅的な諒解を得て來た模様である。しかし増産計畫を決定的にするものは日滿支を通ずる物動計畫であり、それが早く本決りになることこそ現下最も待望されてゐるところである。この期待は特に鑛工部門に熾烈なものがある。戰時増産計畫を實行するとすれば

一業一社主義修正の再確

當然第二次五ヶ年計畫の修正が行はれアルミニウム農産物の計畫數字は現計畫に比し非常に大きなものとなるのである。滿洲國の原案が今後どうなるか一に日本政府の判断にかかつてゐるが、ともあれ政府首腦一行が歸滿してから國內の決戰様相に著しく濃化して來た事實は見逃せない。

日本に軍需省が出來た。滿洲國の鑛工行政機構も必ず簡素化、決戰化が行はれるだらうと期待されてゐるが未だ實現されてゐない。特殊會社の決戰體制に比べて行政面の決戰化は稍々立遅れの態である。しかし政府は目下極めて少數の首腦者の間で決戰機構の案を練つてゐる。經濟部は現在鑛山、工務兩司が生

行政面の決戰化

動員を行ふものである。各社の事務系社員の内八分一を各自社の現業に振向け、他の八分一(卅五歳未満)で各社毎に「飛行機製造挺身隊」を編制して滿洲飛行機製造工場第一期六ヶ月宛航空機増産に挺身し、生産力を飛躍的に増強させようとしてゐる。遅くも明年一月には挺身隊が滿洲工場に出動する豫定である。また物的動員では資材施設が飛行機輕金屬等の超重點部門に集中されつつある。このほか電業會社でも明年一月實施を目標に決戰體制化の準備が進められてゐる。その他企業の大小を問はず最近の情勢は簡素化による事務系社員の見業移行が必要となつて來てゐるので、全面的な決戰體制確立の日も極めて近い將來である。

國內自給率の向上

鑛工部門について見ると政府は今春滿蒙の分離を行ひ西安、阜新、鶴岡、北票の四炭鑛をそれぞれ獨立させて「一業一社主義は企業の本質上必要已むを得ざるものを除き之を採らざるものとす」といふ經濟綱要の統制方式の項を現實に實行したが、最近準備が進んである日本資本技術の導入についても青木經濟部次長は

日本資本の導入後の企業形態は滿業と共同でやるのあらうし、また滿業とは無關係でやるのあらう、滿業としても現在では日本資本による企業形態が自己の傘下に入るか入らないかについて狭い量見などは持つてゐない

特殊會社の決戰體制

と語り、ここにも經濟綱要の精神が明らかに反映してゐる。現在日本資本技術の導入が期待され或は一部既に決定した業種としてはアルミニウム、金屬マグネシウム、大理石

滿業が十一月八日職制改革を行ひ機構を簡素化し動員局を設置し、同時に傘下の廿六社に簡素化、事務簡捷化の實行方を通達し、本年末までには全社の決戰體制が確立するが、その狙ひは飛行機製造部門人事動員及び物的

原鑛石や原料炭を相當國外に依存してゐる鑛鋼部門では、輸送上の障礙が生じた場合などを考慮して、國內自給率の向上対策を圖つてゐる。原鑛石については生産五萬噸程度で品位五〇%以上の中小富鑛鑛山二十を政府が指定し、これらに探鑛試験獎勵金を平衡資金から支出して増産を助成し、既開發の大鑛山の増産と併行して鑛石の自給率の向上に努めてゐる。また製鐵用粘結性炭については三江省富錦炭田を滿鐵に、通化省松遼炭田を東邊道開發に、熱河省興隆炭田を滿鐵にそれぞれ開發を擔當させ、松遼と興隆は本春來開發が着手され、富錦は滿鐵單獨出資の滿洲國普通法人を設立して明春から開發へ乗出すこととなつた。銅については本年度は引續き相當量

を日本に期待せねばならないが、昨年度の四倍増産目標に大増産を強行し遂に國內精練能力を超過し、朝鮮精練を頼んでゐる状態である。

農産物蒐荷方策の變更

滿洲農業の決戦體制を性格づけるものは日滿支食糧の自給自足を確保すべき絶大至上の物動的要請であり、これを扇の要として滿洲國決戦施策は強方に展開されて來たのである。特に昨年の新穀蒐荷對策によつて滿洲の農産物々動編成方針はその様相を完全に一變した。即ち、昭和十六年から實施された先錢制度は作付時において出荷數量を契約し、契約量一噸に對し十圓の獎勵金(先錢)を交付しこれを農耕資金として活用させる一方、出荷契約によつて早期に蒐荷に見透しをつけ、農産物々動の早期策定とその確實性を期したものであるが、これに從來出荷對策として實施して來た收買價格の引上げ、期限付出荷獎勵金制度などに比すれば劃期的の方法であり大きな進歩であつた。かかる折大東亞戰爭の勃發を見、食糧基地たる滿洲國の日本、華北に對する食糧補給の使命は絶對至上のものとなりさらに鐵、石炭非鐵金屬等國內重要産業勞務者に對する食糧の確保も亦至上命令となつたのである。

しかし絶對至上の國內外の需要を自由契約に基く相對的な、謂はば受動的な先錢契約によつて果して充し得るや否や問題はここにあつた。果せるかな昨年度の先錢契約數量に基いて策定した假物動は、滿洲國の食糧基地的

使命遂行上絶對に必要とする需要を調達し得ぬことが明かとなつたのである。ここにおいて物動計畫策定は根本的な變更を餘儀なくされた。即ち滿洲國の至上責務の遂行上絶對に確保すべき農産物數量を基礎として物動計畫を策定し、その絶對所要量は萬難を排して確保すべきことが要請されるに至つたのである。つまり滿洲國の農産物々動は從來の供給可能量を基礎とする策定方法を一擲して、需要量に基く策定を實施する決戦物動に變貌したのである。

この物動策定方法の根本的變更による出荷割當の實施と共に前例なき臨時省次長會議、省長會議を招集、軍官民一體の集荷總力體制を樹立して農産物増産集荷には農産部のみならず政府各部の總力をもつてこれに當ることとし、名實共に重要國策としての性格を確立したのである。この物動の變更による出荷割當の實施と農産物増産出荷に對する舉國總力體制の確立こそは決戦體制の根基をなすものといへよう。

緊急増産要綱

かくて本年當初樹立された戰時緊急農産物増産方策要綱によつて滿洲農業の決戦體制は一應完成したものとみることが出来る。本要綱の重點は統制農産物の作付割當並に出荷割當、農地造成改良の積極的助成、廢耕防止のため的小作紛争の職權調停乃至は強制措置、農業労働力の確保、出荷促進、農業再生産意欲昂揚のための生必需品(綿製品)の優先かつ集中的配給、農業金融と増産出荷との關聯緊

密化、肥料藥劑の適配、農業指導の集中徹底などであるが、特に注目すべき點は

一、從來作付計畫面積は中央において省別に策定、省はこれを縣別に策定してゐたが、これは單なる計畫の提示に止まつてゐたにすぎなかつた。本年度からは作付計畫面積が省、縣を経て村、屯(部落)にまで確實に割當てられ、割當量の確保は屯民の連帯責任制とし、生産の計畫化へと發展した。二、並に出荷數量の割當も同時に同様方法で行はれたこと

二、出荷數量の割當實施により先錢制度は發展的に解消したが、これに伴ふ應當十圓の農民手取減は出荷獎勵金として交付、農耕資金としての機能は興農合作社の農耕資金財出で補ふこととし、その貸出は原則として出荷割當量に應じ材又は屯を對象として行ふこととしたこと

三、水利組合の設立、重要企業體などの自給農場設置獎勵及び土地改良、農地造成に對する助成を積極化し、耕地面積の増大を期したること

四、小作紛争に對する職權調停その他による離農防止、農繁期における農村勞力の供出抑制、青少年婦女の動員、都市人口の農村還元など勞務對策に創意を盛つたこと
五、生活必需品配給によつて農家經濟を消費面より支援することとしたこと等である
かくて右要綱は昨秋來の舉國總力體制を推進力として一般一割、開拓團七割増産を目標に實行に移されたのである。また蒐荷期を前にして政府は農産物相互間並に地域による收買

價格の調整を行ひ、從來奥地にしてしかも穀倉地帯であつた地方の收買價格を有利に改訂するとともに穀の收買價格引上げを行ひ、さらに特配生活必需品には農民の渴望する中入棉を追加して出荷の促進を期したのである。

更に農地達成へ

右の如き決戦諸方策の下に本年度増産蒐荷に入つたが好天と舉國總力體制並に農民の積極的協力により割當量の増産はもとよりその出荷も確實とみられるに至り昨年比八十五萬噸増の出荷が期待されるに至つたが大東亞戰爭の進展に伴ひ日本側の滿洲に對する要請はさらに増大の一途を辿りつつあるので、これに對處するため明年度からは開拓地を總動員して、増産に寄與せしめることとし、特に農地の増成に主力を注ぎ既着手の造成事業に一層の拍車をかけると共に第二松花江下流及び東遼河流域の新規造成をも併せて明年、明後年の二ヶ年間に約〇〇萬町歩の農地造成を完了せんとする計畫を樹立、これに對する日本側の資金、資材、技術の協力を得て實行に移すべく目下着々準備中である。

一方直接的増産出荷對策のほかに農業金融機關としての興農金庫が本年八月創設されて早くもその機能を發揮し、また農村指導團體たる興農合作社は縣單位より村單位へと移行する方針も確定してゐる。かくて混保寄託驛中心の特産統制に始まつた滿洲農業の統制はいまや廣い視野をもつ農政に發展し、全面的な計畫生産の段階に到達し微動だにせぬ戦力の培養源としての決戦體制を確立し戦つて親邦

への寄與を飛躍的に増大しつつある。
暗黒の世界を暴く

ニユーギニア

奥地踏査行

同盟特派員
(陸軍報道班員)

皆川 清

奥地に分け入る

ニユーギニアに關する私達の關心は淺薄であり皆無に近い。暗黒の世界二十世紀に只一つ取残された不思議な島「文明の光も自らそれを攝取しやうともせず、今尙蠻風野性に凝固した種族の住む國」これが私達一般のこの島に關するせいぜいの認識であるが、實際にこの島に渡つた筆者が眼でみ、心に感じたものはそれは舊來の觀念を裏切らない現實の姿であつた。私は將兵以外の日本人として誰よりも先に現地踏査の機會を得た惠まれた一人であるのに感謝してゐる。

「百聞は一見に如かず」

今度のパプア・カンボン(部落)の踏査行は、こゝろした動機から私達報道班員に當る者に命ぜられた任務の一つであつた。今私達の同僚先輩は、この蠻地の奥深く進駐し、千古密林の極比蒼生する山岳に、空陸呼應しての近代科學知識の妙味を發揮し、凄絶な死闘必勝の戰を展開して居る。濕地瘴癘の叢林地帯ニユー

ギニアに進駐した我が將兵の傍には必ず未開な土族パプアが蟠居して居る。彼等は、紅毛白顔の徒輩がこのミナミの島に偶然漂着した當初から數世紀に亘る長い年月におよんでこの神の名を偽つた偽善者から何等の恩惠も慈愛も受けずに非良心的な政治の下に苦呻吟續けて來た、外見從順平和な無智蒙昧の種族である。私は僅かな短日月で居あつたがこれ等パプア種族の部落を叢林と河川を越えて踏査し親しく彼等の生活に接觸することが出来た。そして絶望よりむしろ大きい期待を持つてこの文を綴るのである。

密林と原始生活の天地

ニユーギニアはパプア島とも呼ばれてゐる一五二六年ポルトガル人デメネスが漂着した折「オス・パプア」(パプア島、パプアは馬來語の「パプア」の轉化で縮毛)と呼んだ。其後一五四五年スペイン探險隊がこの島に渡來した時隊員ニユーゴ・デ・レテスなる者が、この島の住民がアフリカのギネア人に似てゐるところから「ヌエヴァ・ギネヤ」と命名したので「ノウア・ギネヤ」と書かれて來たのである。

私の視察した地帯は舊關領ニユーギニアで島の西部に當つてゐる。ジャングルの密生する海岸地帯と、中央山脈から無數に海に注流する河川上流に展開する濕地叢林地帯である。人口密度は平均一平方キロ八人とされ、世界第一稀薄さといはれるアフリカのサハラ沙漠地帯(五名平均)より稍々勝つてゐる。人跡

未踏であるこの地帯で彼等土族(パプア)のカンボン(部落)を跋渉視察するのも容易なことではないのだが、私達は別に特別な任務を命ぜられてゐて、いはば最少限度の時間内でパプアの生活情況等を見やうとしたため思はぬ苦難も又免れなかつたのである。

西部ニユーギニアの人口は三十萬近いとされてゐる。面積は十五萬二千平方哩稍弱今尙原始生活を營むパプア族の數多い種族がここに蟠居してゐる。中央を横斷する標高四千米に近いナツソウ(雪山)山脈と、それより派生する山々の連峰は東に西に或は北に幾つもの峻嶽を構成して海面に向ひ、天然の密林は亭々として陽光を蔽ふて冷氣を充滿させてゐる。この山間に生活するマネキオン族邪教を信し番風が最も盛んだといはれるアフリル族が山腹に溪谷に弓矢をかかへて野猪を狩つてゐる。猫、鼠大を嫌ひなく喰ふパプア族が魚貝を漁つて密林に海岸に或は河川のデルタ地帯に轉住し根を張る原始野性の生活を今も繼續する彼等の生態を私は見る機會を得たのである。

密林と兵隊

出發を控へたある日の午後私はギイツギヤ

アツと木立を揺がす程の喧騒で周圍から飛翔し集まる無數の鸚鵡の鳴聲と羽搏きに誘はれるやうにして宿舎の裏の山道に出てみた。道は丸太杭一それほどれをみてもマンガローブと鐵木の種別の判斷も出來ない若木が蔓絡み合つて太い木肌に葡ひ繁つてゐた。「カンボン○○○」これが昨夜私達の宿舎にあて

られた○○○部隊の基地連絡所のある土地の名である。稍々乾燥した丘陵を選んで建てられたこの基地連絡所の周圍の何處を見ても、見上げる程のマンガローブ林で「最も太陽のあたるところですが」といふ中本中尉の説明を裏切つて晝の明るさが微かにこの附近に落ちてゐるに過ぎない。どの樹林を見ても、楯板の形狀をした樹根は無數に地下に深々と喰入つてゐる。晝間この密林の中で湿度は二十度、位落葉から蒸發した水氣は鬱蒼たる木枝に遮られて絶間なく雨滴となつて落下し地上に濕地を作つてゐる。

「この荆棘に挑み、日夜難苦に耐へて俺達が戰つてゐるのも、それは大きな目的があるからだ。ここで働くお前達の毎日の氣持がどんなであるかは自分がよく知つてゐる。そこでお前達に残された唯一つ楽しみとして毎日の勤務の中に喜びを發見し、お互が深い理解力を以つてお互に愛情を感じ觸れ合ふことに努めて呉れ」

いつの間にか廿人程の兵隊が小舎の前に威儀を正して並んでゐる、中央に立つて訓示をみてゐるのがさつきの中本中尉である。

山蛭の巢窟

この連絡基地の糧秣は月二度位の舟艇便が利用されるだけ、それも米と野菜がせいぜいで内地からの懐しい手紙や新聞雜誌等は仲々廻送されてこない。多忙な戦地の眞只中に位置してゐるのである。伐林や○○○工事に激勞の一日が終へる頃にはマンガローブの林立したこの山間の基地は暗黒と豫期しない冷氣に

閉ざされてしまふ。感激のありようもない毎日の単調な生活の中に求めらるべき唯一の楽しみとしては中本中尉のいふ愛情の感じ合ひだけであらう。私達の従僕として働いてゐるアデリツタが丸木道を傳つて私の傍に駆けよると「トアン・サヤ・サキツトー（私は病氣です）」と左足を指してゐる。見ると血が流れてゐる。山蛭にやられたのである。然し本人は一向平氣だ。「ニューギニヤ・リンター」（ニューギニヤには山蛭が澤山ある）と、いつてにやにやしてゐる。無感覺と思はれる程の彼の肉體に少なからず喫驚した。彼はバプアの血を多分に持つ男だ。然も彼はバプアと呼ばれることをこの上もなく嫌ふ。バプアとは沿岸地帯に住むものの中では「暗愚」といふ意味であるからである。凹凸の多い黒褐色の顔は大きくへの字に開いた濃厚な口唇はバプア種と離婚した沿岸インドネシアの系統をひいた印である。従僕アデは多少のバプア語を知つてゐて後方の基地でたつた一軒だといふコーヒー店の親爺（この男は戦前巡查部長だつたと自稱してゐるが）不圖した動機で私と知り合になつて「バプア語は上手なものだ」と彼を私に推薦して呉れたのである。會つた當初からこれはバプア人だと私は断定したが彼の前では決してそれについて言はないやうに努めた。この叢林地帯は山蛭が名物である。大きい奴が獲物を狙つて落葉の蔭を匍ひ廻つてゐると手眞似足眞似でアデは私に説明して呉れた。

バプアと共に行く

出發といふ朝、五十人に近い老幼が宿舍の前に蹲んで居る。異様に光る眼が見馴れない私達の服装に一齐に集つて荒々しい呼吸が感じられる。瞬時私は度臆を抜かれた。同じやうに腹部が肥大し、褐色の全裸體け陸々と盛上つた背腕の筋肉で仁王の様である。木皮で編んだ食糧袋には道中に必要なサゴ食糧を溢れる程詰めて背負つてゐた。兵隊は私達の背負袋や携帶食糧の箱やらを彼等の一人一人に分配して背負せるとカンバル（村長）に出發すべき命令を與へてから私達を丸木道の上で見送つて呉れた。このバプアの一團は周圍に散在するカンボンから集められ毎日の〇〇業務に従事してゐた者達である。部隊では勞銀として軍票を支拂ひ彼等の必要とするタバコ、サゴや石鹼を交付して軍票を回收し、通貨の使用を知らない彼等に貨幣の使用を教へてゐる。治安と宣撫の二部面が並行されてゐるわけである。奥地のバプアよりは啓けてゐますよ」と同行の兵隊は道々色々な珍事を語つて聞かして呉れた。〇〇料理いくと道は異様な臭氣を發散する有毒瓦斯泉地帯に入つた。息詰まるやうな瓦斯臭は、樹間に淀んで私達を惱ませる。可なりの荷を背負つたバプア達は私達がアツと目を眩る暇に泥水を避けて突出した木根の上を猿の如く駆け渡つてゐた。先に行つた彼等と續行する彼等の間には絶えず、「ウォーウアオー」と合圖の喚聲が交されて其の都度、何事が起つたかと私達は不吉な豫感に襲はれた。どうしても夕刻までに目的地に行きつかなければと兵隊に勵まされながら私達は折柄油然と樹林を搖ぎ出した熱帯スコー

ルの中を「大丈夫ですか、行けますか」と體力を氣付かはれ心配されながら山道のこの險路を轉ぶやうに歩いて行つた。目的地〇〇カンボンに到着したのは夕刻で豫定より遅れること二時間だつた。

バプアと宣撫工作

海上の小さな島にあるといふ次の連絡基地まで私達は支架附カメラに便乗した。私達はすつかり濡鼠になつて、グツタリと向ひ合つたまま、誰一人として口を切る者もない。海は二尺と離れない私の眼下に起伏してカメラの兩側にはネオンを思はせる夜光虫が幾條も

の光玉を點滅させてゐる。その夜わざわざ私達のために沸かして呉れたドラム罐風呂にドツブリと浸りながら私は兵隊の語つて呉れたこの島のバプアに就いての話をもう一度想ひ直して見たのである。兵隊達のニツパ椰子の小舎の附近には、二ヶ所のカンボンがあつて、婦女子は留守を守つてゐるといふ。男は兵と共に〇〇隊工事に毎日

部隊と語る

この小島から更に夜通し舟艇に便乗して〇〇〇日私達〇〇〇海に面したカンボン〇〇〇に到着した。

日のやうに出かけて働いてゐるとのことです。軍が最初この地に入つた頃は誰一人として部落に残つてゐなかつた。戦前和蘭はグル（教師）なるインドネシア人をこの地に派遣してバプアの子弟の教育に當らせてゐたのだつたが、この男が唯一の残存者であつて、それも病身の息子を抱いて逃げ遅れたとのことである。戦争の餘波が、この島にも大きく影響した。蘭印當局の民政官は、バプアを使喚して「家を焼く、糧秣を残すな、海を渡つて東の山奥に避難せよ」と命じてから、彼は眞つ

さきに姿を晦したと言ふ。其後部隊の苦力兼案内人として雇はれた。このグルは息子の病氣を部隊のお蔭で癒して貰つた。感激した彼は皇軍に協力を誓つてから、毎日のやうに避難先に行つては村民バプアの歸村を遊説して歩いたのである。恐怖と危惧を抱いて恐る恐る歸つて来たこれ等バプアの住民は彼等の家屋や糧秣に何等の被害もないのを確かめる日更に滞在せねばならなかつたので私け島の反対側の海岸にあるといふこれ等バプアの部落を尋ねたいと思つたが斯ふして歸村した土民の不安を更に落着かせたいといふ理由で岡の中腹から兵隊の出入を嚴禁して居るといふ若い士官の班長の話で「御所望なら」と言つて呉れたが、私は現場に行くことを中止した。

鐘乳洞の懸崖の多い裏山を背景にして、いきなり海岸に突出する樹林の中に〇〇部隊本部があつた。ニツパ椰子で作られた小屋が並んでゐる。部隊長は私達を小宴に招待し其夜私達のために部隊で蒐集して呉れた色々なバプア資料といふものを示された。奥深い二つ入江を持つこのカンボン〇〇〇は、戦前定期航路の寄港地の一つだつた。また遠くジャワ、モルツケン群島から華僑の移住も盛んで外國人との接觸の機會も多かつたので附近の

に満たない若い通譯の根氣には鞭撻と敬意の言葉を残して再會を約し夕暮近く舟艇に便乘したのである。

密林に部隊を訪ふ

前中國○新聞の記者で部隊の情報主任である廣安中尉の誘導で私達は○部落に入る。と直ちに部隊長室に案内された。任務の概要を述べてから私達は種々の命令指示を部隊長から受けたのである。

私達は、この最前線であるカンボン○○から更に西進してマンガロープの密生する海岸線に沿ふて、奥地の山岳地帯にある部落を見るため一日廣安中尉に案内されて五軒程上流にあるカンボン○○○○に出かけることになった。季節風のため海上からの舟便は到底不可能だといふので、海岸から通ずる幾條もの河川の一つを選んで小艇で遊航することにした。林立した海岸性マンガロープの間を潜るやうにして進むこと○時間で私達は目指す場所に着した。河川が三方から海中に流れ込む合流地点で僅かばかりの長方形の砂濱が陸地の面影を見せてゐる。棒切を無難作に組み合せて柱とし梁として長方形型に造つた家屋がこの白砂の土に建てられてゐた。家のぐりりはニッパで積み重ねるやうに蔽ひ、海風の當りを防ぐやうにしてある。内を窺くとカラシとしたぶつ通し間で、白濱がそのまま土間になつてゐる。幾つもの圍爐裡が四本の棒切を支柱として屋内の家族別毎に設けてある。私達の訪問にビツクリしたらしい此の家のバブア達は土間に腹匍ひになつたままギョリギ

ロリと私達を見廻してゐた。

廣安中尉の説明によると、南方での圍爐裡とは矛盾したやうに聞えるけれども年中裸體の彼等と雖も夜分の冷氣には參るらしいといふ。ニューギニヤには四季は無い。然し晝夜の氣温だけが烈しい變化をみせて肌身に應へるといふのは事實だ。今日は市場のある日だといふ私達が現場の砂濱に到着した時に見た男女のバブア人は月幾日かに指定された市場日に、ここに集つて來ることになつてゐた。芋萁、魚貝、サゴ、砂糖キビ、凡そ食糧にならぬと思はれるものが無量にも砂上に行儀よく積み上げられてゐた。私達と同行した主計軍曹の顔を見ると居並んだバブアの警手人は一齊にビョロリとお辭儀をした。カヌーで運搬されたこれ等の食糧品は一通り天秤にかけてから相當な價格で買上げられるのである。

觀迎の踏はじまる

此處に集まつたバブア人はさつき見た白砂の家の住民を合せて三十人位であつたが、赤褐色の肌は光澤もなく、眼光の鋭さもなく或は純粹のネグリート系の種族かも知れない。「この連中は部隊の附近に以前は家を建て住んでゐたのだが、敵機の盲爆に怖へていつのまにか上流の叢林に入つて仕舞つたのもすよ、活氣が無いでせう、神經衰弱の氣もあるんですよ」と話してくれた廣安中尉の言葉でうなづける點もあつた。

それにしても喫驚したのはここに集つて來たバブア女の裸體の美しさである。二十人近い賣手人である彼女達は順番を追ふて各々

芋萁の大束を輕々に兩手に掴み上げと均齊の整つた薄らかな緑をみせた四肢が異様にふくらんで乳房の丸味と程よく調和を保つて、健康感を與へてゐる。臀部を木皮の褌で包んで後方から下げた尾羽のやうに垂れ切を海風にヒラヒラさせてゐた歩くと内股の者が大部分で支那娘に見受られるやうな粗雑な足どりの者は皆無といつてよかつた。どの女も乳房の上皮に豆粒大の傷痕があつてこれは化粧だといふ。市場の世話人として働いてゐる村長に聞いて見ると眞赤に焼けた焚火をぢかに皮膚に當てるのだといふ。主婦は皆んなこうすつるのだと言つて女達を見送りながら笑つてゐた。その翌日、私達は更に○○川の主流に「水の部落」と呼びバブアのカンボンを尋ねた。部隊から小艇で約○時間程進行したところである。倒木の多い河川の支流から支流を上つて現場に到着した私達を二十人程のバブア

が、今眼前に見るこの液汁は生のままの新鮮さで強烈な香りを發してゐる。風雨と天然の密林の生活を營む彼等のためには、五體を酔うした生酒が相應しいのかも知れない、酒は祭禮に用意するため部落擧つて共同で採酒されるといふ。

私達のためにカンボン踊りを見せて呉れると云つて村長は十人餘りの婦女を檳榔樹のある廣場に集合させた。私達が到着した所は、女の姿と見受けなかつたのだが村長はわざわざカヌーをあやつらせて附近の河川で働いてゐる女達を呼寄せたのだと、さも自慢らしげに語つた。バブアの婦女は一家族の糧道の支柱の役割を演じてゐる。毎朝カヌーを操つて女兒を伴つてから食糧となるサゴ、魚貝を漁つて河川を上り下り樹林に入ることが一日の稼業の全部とされてゐる。

幾何かの收穫を得ると、大體定まつて晝過ぎ頃歸村する私達の到着が朝早かつたので、村長は女狩りに出かけて呼び返して來たといふのである。踊りが始まるといふので同行の兵隊と廣場に入つた私達は思はず目を睜つた。女達は一樣に木皮の褌をしめ赤褐色であるべき全裸が泥土を塗り込んで眞白なのである。泥人形そのままの裸身である。褌の紐に「毒だみ草」に似た草葉が結れて臍部を包んで飾りとしてゐる村長が猪皮で作つた小太鼓を打ちながら靜かに歌ひ出すと、これに合せて三人の男が歌ひ始めた。哀感の籠つた歌調でゐる。女達は男を中心に廻つて踊り始めた。車夫のやうな姿勢で前に駆け出しながら地面

を兩足で蹴り兩腕を前後にふる踊りである。バタバタといふ足音だけが踊りの全部で何の興味も湧かない單調を越した歌調は未開なバプア人に歌はれる、ところも限りない哀感をそそるものか私はこの歌詞の内容を知りたいと思ひ色々手懸りを探したが苦手なバプア語では私達の力ではどうにもならなかつた、煙草やチリ紙を御禮の品として女達に分けてやつてから私達はこの部落を去つたのである。

バプアの野猪狩

この邊のカンボンでは棒杭の元に差した野猪の頭蓋骨を幾つも見た。バプアの男は野猪狩りを唯一の楽しみとして暇を見て叢林を跋渉するといふ。亭主が主婦の前で誇る技術はこれだけだといはれてゐる。

「奴等の野猪狩といふのは生命がけの仕事ですからね」と歸りの舟中で兵隊の語るところによると、竹製の矢を野猪の頭に幾本もあて射殺めるといふ。こうした現場は私達の短い視察期限では出合ふ機會もなかつたが、其後再度このカンボンを訪れた時美しい一人のバプアが主婦だといふ年若い女に抱かれ三人の同僚に支へられて兵隊の小舎に轉がり込んで来た。一寸前にカンボン附近の叢林で野猪を發見したので矢を抱へて飛び出し獲物の眞向うから矢を投げつけたのだつたが狙ひが外れて、二番矢を射やうとする時に猛然と襲ひかかつた猪の牙先に左側腹部を突かれて仕舞ひ十厘大の肉片が削り取られて其場に倒れたと云ふ。急を聞いて集つた男達の爲にこの野猪は遂に射止められて仕舞つた、と附添の男の

一人は椰子葉に包んだ猪肉の足を突き出して食べて呉れといふ手眞似をして見せた。交換にこの男の傷を癒して呉れといふことが判つたのである。丁度持合せてゐたヨードフォルムと赤チンでは私は醫者らしい手附で早速患部に應急手當をしてやつた患部に滲むチンキの強烈な痛さでこの男は主婦の全身を兩手で掴み乍ら塗る終る間中「アガマ、アガマ」と泣き叫んでゐた。私は彼のいふアガマ(馬來語)宗教といふ意)といふ泣き言葉の中に何か神に祈るやうな言語の使用を發見して「助けて呉れ」といふ意味に違ひないと思つた。其後このカンボンの炭竈に勤務する兵隊からこの男の傷の恐い程の快癒ぶりを知らされた便りが部隊本部の軍醫のもとに知らせた。私達は皆でバプアの皮膚の強靱性と傷に對する彼等の迄體の抵抗力等といふものについて京大出だといふ部隊の軍醫を中心にして色々語り合つたのであつた。

私達の最終の目的地である山間のカバオタ族バプア族の一種のことなら詳細な情報を持つてゐる人があつたといふので一日私達は部隊長に案内されて同じくこの前線で挺身してゐる〇名の住家を探ねたのである。海岸に近いマンガローブの樹林の中に並んで建てられたニツパ椰子の家が、この人達の事務所であり宿舎にもなつてゐた。全部の人達に紹介されてから久米といふ人の語つた話を聞いた。「あの山は標高二千五百位あるでせうが、バプアの大部分は土地の名に因んでかカバオタ族とデョグナル族との二種に分れてゐるんで、奴等は家族毎に必ず野猪を三頭か四頭は

持つて居りますが大切な家財として屋内に同居させて置くのです、屋内も不潔で、とても人間の寝る家とは思はれない、山間の傾斜地を選んでカンボンが集團して居るのです。農に長じてゐて不思議に芋の栽培が上手らしいのです。私が行つた時は毎日のやうに芋ばかり食べさせて呉れました。バナナは實つたものは少なく生のまま焼いて食べます。彼等人間の靈といふものが、いつでも自分の周りに潜んでゐるとして自分の影にすら極度に恐怖してゐるらしいのです。鏡なんか見せますと吃驚して遠ざかるんですからね、子供と同じですよ。いつも全裸です。男はラブロータン飄で局部を包み女は木皮を編んで褌代りにしてゐるのです。只デョグナル族の婦女がサロン形に作つた織維で編んだものを腰部につけてゐるだけです。このカンボンから山を降つて私達について来た十八歳程のカバオタ民が近所の部隊で今使役として働いてゐるから明日見られたらといふ久米さんの約束で私達が一先づ此の家を辭して宿舎に歸つた。

貨幣は子安貝

其夜寝就れない時間が続いたので、私はこのバプアの生熊に就いての分類表を頼りないロソクの火下でノートに書き綴つたのである。中央山脈の山間地帯に蟠居するバプアは海岸に遊動する沿岸バプアとの雑婚はしない。東部ニューギニヤの山岳に見られる小ネグリート系とも違つて、大ネグリート系と云はれてゐる。これ等のバプアは温順な性質の者が多く勤勉の風がある。カバオタ族と云ひ、デ

ヨグナル族と云ひ土地の名稱を名附けたものに相違ないのである。家屋は細木を柱とした草と泥土との屋根葺で、必ず東を出入口にしてゐる。男女の寢室は別々に設けられて屋内の中央には焚火のため圍爐裡を掘つてあるといふ、寢室の床は一米位の高さで上げられ、ロータン籐敷きの居室である。子供が出来た場合は女親は別居のやうに家を新設するといふことになつてゐる。冠婚祭禮は雨期を避け乾期の九月から翌年の三月頃迄を選ぶことになつてゐる。當日の服装にはカシアリー火喰の鳥尾羽を頭髮に飾つたり獸牙を鼻口に差し込んで裝飾としてゐる。婦女の間では耳飾りとして、バナナの皮にくるんだタバコ入れを折疊に幾重にも折つて耳に差込む。年に幾回かの祭禮には部落總出で猪を食膳に供へてやんやと踊り狂ふし、草の葉で飾つた笛で歌と踊りに調子を合せるといふ。此のカンボンと珍事として擧げられるのはこれに止まらなかつた。石を以て齒並の高低を揃へるためにむごたらしい程の亂暴な動作で齒先をギリギリ砥り音をさせるのも音楽の一つとされてゐることである。婚姻は賣買で行はれ必ず部落の女を選ばねばならないとされてゐる。子安貝が金の代用として尊重されるのもこの土であることが判つた。戦前ですら五〇個程の子安貝で男子は婦女を賣買してゐたといふ。但蘭印時代の人口統計を見ても、この山間のバプア族の男女の比率は四割弱の女の出生率である。

「一夫多妻は結局子安貝が平均に彼等の掌中に入らなかつた結果ですよ」と語つた久米さ

んの言葉が眞實であるかも知れない。翌日叢林の中に陽光が未だ入らない早朝、私達の宿舎の部隊本部に兵隊に連れられたカバオク族の六人の子供達が尋ねて来た。どれを見てもラブロータン(瓢製)で局部をかくしてゐた毛髪と骨格から私はこの子供達を小ネグリート系との雑婚兒に相違ないと思つた。私達が持合せた子安員を示すと呉れと云つて盗み取らんばかりの熱心さである。この小安員の十個で自分達の部落に行けば野猪をくれると云ふ。芋も澤山あるし、交換にするから呉れとせがむのである。近い内に一緒に連れて行くからと私の子供達に約束してからさつさ来た兵隊に連れて戻つて貰つたのであつた。

人喰人種の恐怖

但蘭印時代に殘されてある只一つの文獻が或る經路を経て私の手に入ったのはそれから間もなくである。この文獻に従つて述べて見ると、男子の多くは業務として無く、女兒を連れて婦女が唯一の食糧である「エビ」を漁つて早朝からカヌーに乗つて湖畔に出かける芋の栽培ほどのカンボンでも盛んで常食としてゐるといふ。器具としては今尙石製の斧や竹製の双物を使用してゐる。石器時代を一步も出てゐない生活などである婦女の用ひる針はカシアリ(火喰鳥)の尖骨を代用としてクオタネ木の纖維を糸に使用してゐる。雨水を竹筒に保存して飲料とし、グネモネ水の幹より出る液汁を酒として愛好するといふのであ

る。グネモネ水のどんな水であるかは今以て私は知らないが沿岸のバプアの話によると針

葉樹に似た樹らしい。各部落毎に酋長があつてトノウエーと各附け世襲制度になつてゐるといふ。耕地の所有別を示すために棒杭を使用して畑地に差込んでゐるのである。非常に親しみ易い性格を持つた彼等が親愛の印として初対面の折に人差指を折つて相手の指を挟むことが禮儀とされてゐる。指切りの挨拶である。子供達が私達を尋ねて来た時も居合にた部隊の將校が皆んな指切りをされて彼等せ挨拶された婚禮の當夜は男の希むままに如何なる場所でも女は同行されて寝ねばならないし今ではカヌー内が利用されてゐると云ふ。數字の數へ方は日本流に示せば、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十と數へ更に反復して一、二、と進んで二十といきなり數へ一、二、と進んで更に三十と數へるのである。

こゝの前後の基地の附近には屢々マヌウイ(人喰人種)族が現はれて、沿岸バプア人を恐怖させるといふことであつた。住民の話によると、雨期には海岸地帯に遊動し乾期は山間に姿を隠すといふことである。未婚の婦女は殆ど一草一葉も身に着けずに既婚婦人のみが僅かに木皮で腰部を包んでゐると云ふ。眞疑の程は確かではないが本當だと云ふ住民の言葉を通していかにも知れない。聞くところによると、彼等マヌウイ人種は原始時代にさうであつたと思はれるバプアの直系で沿岸に住むバプアの風習になちなまいといふことである

或は彼等が本當のバプア原種かも知れないと私け思ふのである。何れ私は稿を改めて彼等の生態について書きたいと思ふ。私達はその間もなく前線の基地を離れて〇〇方面に出發した。視察中御世話になつた幾多の將兵の武運を祈つて私けこの拙い紀行を終り度と思ふ。

天晴れ!

ジャワの糸とり娘

インドネシアの勤勞を見る

これはバンドン郊外ランチャエック製糸工場女工員養成所で、ジャワの可憐な糸姫達が、戦ふジャワの衣料自給を目指して織手敢闘する健氣な勤勞現地報告である。

バンドンから自動車飛ばして二十分、ジャワにおける織物業の中心地であり、又景勝地として名高いガロー街道に沿つたランチャエックの製糸工場は、昨年六月プリアンガン州應經濟部が、新代用纖維たる苧麻(ラミー)の栽培計畫と相俟つてジャワに初めて建設されたラミー製糸工場で、昨年十一月操業開始以來、専ら雜織維たるラミー、黃麻などによる製糸女工員養成を行つてゐるが、軍政監部の苧麻及び黃麻増産五年計畫による苧麻、黃麻の栽培面積擴張に伴つて、同工場の機能はジャワ産業界に大きく浮び上り、漸次施設も擴張され、新に手紡機千臺が製作され掘付を完了し、目下〇千餘人女工員が就業してゐるが、今では月〇〇〇キロの生産量をもつジャジャワ隨一の新興纖維製糸工場であり、ジャワの糸姫たちの養成所となつてゐる。

この邊一帶は信州の山々に似た連山に圍繞された勝地で、何かしら内地の機業地を偲ばせる。増設々々で老大となつた〇〇坪の工場には、これも拵付て間もない眞新しい〇千臺もの手織機が幾條にもズラリと並び錘の回轉する快い音がジャワ産業の建設譜を高らかに奏でてゐる。紡機を挟んで行儀良く並んだ〇千臺の乙女たちが、黙々として鮮かな手捌きを見せて線糸に餘念がない。

彼女らは大低近郷農家の子女で、十四五歳から二十五歳まで、中には古い傳統から働いたことのない、郡長、區長、村長その他村の有力者の婦女子も、決戦下勤勞の尊さを自覺、自ら進んで孜々として作業に當つてゐる。同工場の養成方法は四段階に分ち、まづ未経験工は熟練工の傍らにおいて約一週間作業狀況を見せ、次に熟練工の助手として線糸を手傳はせた上始めて八番手一〇番手、の如き双糸を繰らせ、成績優秀なものから漸次二〇番手四〇番手紡機に當らせる製糸は全く未経験のインドネシヤも、繊細な手工業には天才的な素質をもつてゐるので、その習得振りは極めて早く大半のものは十日間位で完全に覚え終ひ優秀工になると、日本人も及ばないやうな四〇番手單糸の優秀糸も紡ぐといふ。従つて操業開始以來一年後の今日糸質も飛躍的に向上して居り同工場の養成期間は大體二ヶ月と定められ、優秀な熟練工は隨時各村落カボンに歸して州當局が指導獎勵中の手紡機による家内製糸工業に指導員として活躍せしめてゐるが、既に〇〇〇名の優秀な糸姫が巢立つてゐる。

月間大事

昭和十八年

十二月

自一月一日起至十二月三十一日止

—— 同盟電による内外記録 ——

月間大事
世界情勢
大國内東亞
時局要戰事
月表況

☆

同盟電調査部編

月間大觀

國內

決戦に次ぐ決戦と戦局は日一日苛烈化しつつ愈々第三年目に突入した。敵米英が誇る物質力は、まさに彼が焦慮と正比例して益々増強され、強引にわが全戦線にのしかかつて来たが、さらば我も量には量を以てせんと、政府の施策、一億の努力すべてこの一點に凝集され逐次完璧の體制を整へて来た事は眞に心強い限りである。戦争第三年目はかくてわが人と物との總力を最高度に發揮して、必ず完勝を期すべき年となつた。

さて雄々しくも筆を剣にかへて立つた學徒出陣は、一日陸軍十日海軍と夫々晴れの入營、入團を了つた。十五日には更に特別幹部候補生制度が新設されて、これに次ぐ中堅幹部の養成が確立せられたが、廿四日には新銳兵力の急速なる第一線投入を目指し遂に徵兵適齡の一年引下げが斷行せられわが壯丁は明年より滿十九歳を以て徵兵検査を受け得ることとなつた。一方、銃後戦線に於ても、三日

には國民徵用の四十五歳迄引上げ七日には更に國民動員機構の確立が決定せられ一億總員戰闘配置は文字通り一人の弛みもなく、その總力を軍需生産特に航空戦力の飛躍的増強に結果されることとなつた。なほこれと同時に食糧自給態勢の強化対策としては、廿八日別にこれが要綱の決定を見、農業要員は安んじて食糧増産に専念出来るよう徵用より除外せられることとなつた。

× × ×
航空戦力と共に現下喫緊の要請たる石炭、造船の各部門に對しては、四日行政查察使として藤原、鈴木、五島の三氏が勅命せられ、先づ石炭部門に對しては十三日より廿八日まで鈴木查察使が九州方面につき、木造船に關しては、五島查察使が廿四日より關東近畿の各地方につきその建替狀況につき查察を行つて夫々多大の成果を擧げる。なほ軍需生産の中樞となるべき軍需會社法は十七日より實施されこれに伴つて軍需會社の指定も行はれることとなつたが、生産責任制の確立、企業行政の刷新による今後の飛躍的大増産は期して俟つべきものがあらう。

× × ×
十七日は、更にわが馬政上に多

大の貢獻をなして来た競馬を、競馬場施設の戦力増強部門への轉用その他の理由により來年よりそれを停止することが閣議決定された。競馬が馬匹改良、馬事思想普及に大きな役割を果して来た事は事實であるが、戦局の様相はかくの如くあらゆるものの動員を求めて已まない。一億同胞は深く現戦局の歸趨を明察して、勝利の前には何物をも放擲し、あく迄強靱とならねばならない。このことは廿二日の臨時地方長官會議に於ても強調され、航空機大増産に總力を捧げべきことが要請された。

× × ×
第八十四通常議會は二十四日召集、廿六日の開院式には、畏くも陛下行幸あらせられ、優渥なる勅語を賜ひ、今や戦局最も重大、億兆一心、國家の總力を擧げて敵米英の非望を粉碎すべき旨を宣らせ給うた。日本人たるもの誰か感奮興起せざるものあらんや。洵に恐懼の極みである。陸海兩相の戰況説明も、壯絶なる大決戦の實相と共に戦果と戦局の峻別せらるべきを明白にし國民の決意を要求した兩院は早くもここに決戦調を漲らせ、休會中と雖も全機能動員して再開議會の運営に萬全を期することとなつた。

大東亞

戰況 短期決戦を呼號し

焦躁の反攻に狂ふ敵米英が甚大な兵力と時間を費しわが鐵の護りを乗り越えんとしてはわが精銳に阻まれ各個撃破されてゐる。北邊の護神山崎部隊の玉碎、南溟の護神柴崎少將以下の勇士玉碎の發表は一億血涙を絞つたのであるがこの勇士の奮闘勇戦の間に飛行機の増産、各軍事科學の研磨は着々とげられ、今や米英一兵も許さざる準備は成つたのだ。かくしてわが帝國は、米英軍を引き寄せて叩き潰すにある。

十二月は各戰線とも實に激戦の連続であつた。

支那大陸戰線に於ては、重慶軍第六戰區に對する進攻作戦開始以來一ヶ月にして中央直系五個軍約十萬を破砕し、敵の最重要據點とたのむ常德縣城も激戦のち三日これを完全に攻略したのである。

ビルマ方面では、ブチドン、モンドウ正面も敵の小出撃逐次活潑化しつつある。フイロン方面では引續き印重慶軍に對し攻撃を續行中でこの地上作戦に呼應して航空戦は凄愴の一路をたどつてゐるソロモン、ニューギニア方面に於ては依然激戦が展開され、フイン

シハー(ヘン)附近、ソング河北方地區及びマダン南方地區にある敵は優勢な戰車支援の下に攻撃してくるがわが軍は激撃し之に大損害を與へてゐる。ブ島トロキナ附近の敵は飛行場を擴張整備中のもの如く、ラバウルへの敵機來襲は激化してゐる。中部太平洋方面の戰況について廿日の大本營はギルバート諸島マキン、タラワ守備隊柴崎海軍少將以下四千五百の勇士が玉碎した旨を報じた一億國民はこれら勇士を徒死させてはならぬと固く誓つたのである。

大陸

大東亞戰爭二周年を迎へて大陸各地においても戰爭完遂の決意いよいよ固きを加へてゐる。反樞軸陣營はカイロ會談續いてテヘラン會談を開催し東亞の孤兒重慶からも蔣介石が宋美齡同伴、カイロ會談に参加したが、反樞軸陣營の動搖する足並みを揃へるに四苦八苦の内實を暴露したに過ぎなかつた。蔣介石はさらに印度でマウントバットンと會

見またアメリカ其他に盛んに使節を送つて重慶の窮狀を訴へると共に重慶の地位を認識せしめるに汲々としてゐる。併し米英の野望に驕弄されてゐる重慶の前途こそ哀れむべきである。大陸の皇軍は果

然敵の重慶防衛陣地第六戰區に一

大鐵槌を加へ十二月三日その中心地常德を占領しこの作戦におい皇軍は敵屍屠虜五萬餘を得、敵師長六名も戦死するの大戦果を擧げた七日遣支軍當局談により一年間の大陸戰況が發表されたが、大陸において一月平均七十回の交戦が行はれて居り南方戰線と並んで大陸を護る皇軍の勞苦が偲ばれるのである。南京の國民黨中央本部では十、十一兩日に亘つて遷都以來最初の全國黨務工作會議を開催したが、國民政府も政治力強化の爲國民黨活動の持つ責務は大きいものがある點を思へば國民黨が積極的に民衆領導に一層の奮闘が期待される。又中支で成功を収めてゐる清郷工作は廣東においても開始されることに決定し、一方中支地區では江蘇、安徽、浙江三省を改編し、省を縮少し縣を強化するに決定した旨發表された。共に政治の浸透、農産物收買團滑化等當面の問題に資する處多大のものがあらう。上海では業主不在土地の未移管分全部が市政府に移管を完了され、華北では二十一日米英敵産全部が中國側に移管されわが新政策に基く國府強化策は誠實に實施されつつある。大東亞の兵站基地として滿洲國の増産計畫は着々進められ、農産物の蒐存狀況も本年

度極めて好調に推移し昨年度を突破するの好成績を擧げた旨發表された。重要産業の増産に就ては新たに監察制度が實施せられた電

南方

力法が制定されるなど日滿華相協力して大東亞戰爭完遂へ邁進する態勢はいよいよ固められてゐる。大東亞戰爭も二周年を迎へるに至つたが、この間南方各地の經濟建設の進展著しきものがあり既に戦力の重要な部門を擔當しつつある、これ偏へにわが軍政の並々な努力と現地住民の協力の然らしむるものであることは言ふまでもない、しかるに敵米英はこれにもまして莫大な物資と勢力と近代的生産施設を以てわれに決戦を挑み來つてゐるこのためには今一層の努力が要請される譯であり、これら戦力物資の内地輸送の諸困難を克服し以て戰爭の前途に些かなりとも支障を來すことがあつてはならぬ。

佛印は米機の相づく自爆にハノイの人口疎散に着手し、また商業用施設の軍事徵發を容易ならしめるため商業施設評價委員會を設置するなど戦線の近きを思はしめる戦時評議會の設置、國有鐵道の軍管理への移行、明年度歳出豫算三億四千萬バーツ等泰國は決戦態勢の整備強化に大意であり、また

政府は産業の振興政策特に遅れたる輕工業の振興策として官營企業の採用を發表した。

二十三日シヤン地方の軍政撤廢と共にビルマ一圓はビルマ人の統治下に入る事になつた。

大東亞戰爭二周年の八日を期して海軍民政地域の州、市に諮問機關が設置され、原住民の軍政參與の措置が講せられるに至り蘭印政廳時代全く顧みられなかつた現住民の喜びは蓋し想像に餘りがある、皇國の恩威並び進む所南ボルネオの移入勞務者の異常なる成績を収めたるも當然の道筋である。

比島國會は歳入一億六千萬歳出一億二千萬ベソの明年度豫算を可決したが、行政府時代に比すれば二倍の膨脹であり、特に内務、教育厚生費が多い、一億ベソの公債は灌漑、治水、橋梁、道路等生産の向上に當てられてゐる點單なる赤字公債と峻別されねばならぬ。

十二月五日のわが荒鷲のカルカタ爆撃はその被害の判明すると共にその規模とその影響の甚大なりしことが明かとなつた、これがため英軍は震え上り、インド人鐵道關係勞務者、埠頭工場勞務者の避難する者おびただしく政府の躍起の引留策も效を奏せざる状態である。

歐 米

戰局

東部戰線に於ける赤軍の冬季攻勢は第二戰線問題と關聯して世界注視の的となつてゐたが、十二月全戰線の凍結を見るや赤軍の動きは漸次活潑化し、下旬に至つて遂に本格的冬季攻勢の相貌を呈するに至つた。即ちドニエプル彎曲部に於ては獨軍のヘルソン撤收以外には戰況に本質的變化はなかつたが、キエフ西方並にネヴェリ、ヴィテブスタ地區では赤軍の大規模攻勢開始により獨ソ兩軍に死闘が繰返された。

就中キエフ西方に於ては前月以來作戰の主動性は獨軍にあつたが赤軍は新銳部隊を繰出して必死の反撃に出で兵力の消耗を顧ずコロステン、ジトミールを再び奪回、更に舊ポーランド國境を突んとする體勢をとつて居り、此方面の戰局は漸く重大を告げて來たが、之に處する獨軍獨特の彈力性ある攻防戰略こそ期して待つべきものがある。とまれ冬季攻勢の本格化はテヘラン會談と配合させた客觀情勢より推して第二戰線を促進乃至之と呼應するものと見られ、歐洲戰局の山は次第に切迫した觀が深い。米英はアイゼンハワーを歐洲侵入反樞軸軍司令官に任命したが、

ドイツは歐洲要塞に鐵桶の陣を布いて居り米英の苦惱は愈々高まつて來た。一方イタリア戰線に於ては反樞軸軍はクリスマス前にローマを占領すべく東部戰區の英八軍は前月廿八日、西部戰區の米五軍は三日より夫々大規模な北上作戰を開始したが獨完壁の守備陣と惡天候に阻まれて一向に進捗せず、英八軍はオルトナー、オルソーニアの線で足踏みを續け、米五軍またカッソノさへ占領し得ず、作戰遲滞を非難する聲が味方陣營からも擧つてゐる始末である。

樞軸

今年こそ總反攻の年と呼號せる米英は過去一年間洋の東西で執拗に反撃し來つたが、その企圖は樞軸軍の善防勇戰によつて擊挫され、却つて日獨の戰略態勢整備に役立つに過ぎない。凡ては意の如く運ばず彼らは軍事的に成功を收め得ずと悟るや其得意とする謀略攻勢を頓に活潑化するに至つた。最近の兩會談スマツツの暴戻演説、ドイツの和平提案説流布等之れである。何れも樞軸國の内部擾亂或ひは中立國の動搖を狙ふものと解される特にテヘラン會談を契機としてトルコ、ブルガリア等のバルカン諸國に對し恫喝懷柔あの手この手の謀略戰は笑止である。トルコ言論界は概

ね非交戰政策の堅持を主張し其他の諸國も樞軸並に中立國間の協力の一線に沿はんとする實狀である。歐洲第二、第三戰線開始の前觸れ宣傳は、米英が弄する術策の典型的なものだが、彼らの執拗な對獨爆撃も亦確かにドイツ國民の士氣沮喪を一つの狙ひとしてゐるに相違ない。空爆がドイツ軍需工業に與へる影響は案外僅少といはれる同國では各地に新工場がドシドシ建設され、軍需工業労働者數は現在一千萬を算し、明春を期しての航空機等大增産計畫も樹立されたその全體的な増産目標をなほ數年後に置くといふ。頼母しき生産力である。ドイツ國民は苛烈な戰爭のさ中にも拘らず十分な營養に恵まれ總力戰に挺身してゐる。敵側の猛烈な神經戰の集中砲火を全身に浴びながら、而も國民の戰意聊かも搖ぎなきことは、最近數次に亘る大規模空爆に毫もひるむ色なきベルリン市民の軒昂たる意氣を見てわかる。

廿六日獨戰艦シャルンホルスト號は單艦よく優勢な英艦隊と敢闘の後惜くも北洋の華と散つた正に大和古武士の面影がある。

反樞軸

十一月二十二日から二十七日までの六日間エチプトの首都カイロに於て米英支

の三國首腦部が集つて、日本を第三國に陥れんとする所謂カイロ宣言の謀略を違うした。つづいて同月二十八日から十二月一日までの四日間、イランの首都テヘランに於て米英の首腦部にスターリンを首班とするソ聯の一行も蔭を交へて、對獨作戰に關するテヘラン會談を開催した。カイロ會談は明に對日作戰に關するものであり、最近に於ける米英軍の對日作戰が意外に進捗しないのと、一方東亞の現實の事態が先頃の大東亞宣言の例にも見られるように着々日本に有利に進展してゐるのに焦慮の念に驅られた米英首腦部が重慶懷柔のためにはるばる蔣介石をカイロまで呼び寄せたといふ段取である。テヘラン會談はスターリンが前例を破つて國外會議に参加したといふ事實に大きな興味を寄せられてゐるが、會談の内幕は明らかに第二戰線の問題に關聯してをり、米英ソの三國は「西、東、南の三方面」から對獨作戰を遂行するといふ以外米英が期待した小國の國境問題は先のモスコ會談の時と同様有耶無耶に陥つた。

米國の國內戰線はその後波瀾が絶えず、問題の鐵道爭議は十二月十五日の投票決定により、先づ五鐵道乘務員友愛會が三十日を期し

て總罷業を斷行する事に決定し一方非乘務員の十五友愛會も廿一日の投票により、同卅日を期して總罷業を執行する事になつたが、ルーズヴェルトは鐵道の戰時輸送機關に於る重要性に鑑み、十二月廿七日スチュムソン陸軍長官をして接收せしむるに至つた。更に米國産業別組織會議の鐵鋼労働組合も十二月廿四日の賃金契約満了を機會に一時間十七仙の増給を骨子とする新契約を要求し戰時労働局が之を拒否した爲、廿五日から罷業に入つたが、政府の讓歩により解決した國內戰線の異常は單にこれのみならず、下院で否決された農産物價補助金問題、或は民主黨分裂の危機迄捲き起した海外派遣兵士投票問題等いづれも一月の休會明けまで持ち込れるに至つたが、一月になれば愈々大統領選挙の年に入るだけに議會對政府の相絶は波瀾萬丈を呈することであらう。英國に於ては例の一言居士として有名なスマツツ南阿首相が十二月二日發表された演説に於て戦後の世界は米英ソが支配することになるが歐洲に於て「巨人ロシア」が非常な勢力をもつて進出する恐れがあると云つて西歐小諸國の英國への協力を哀願してゐるのは寧ろ悲壯の感に満ちてゐる。

時事月表

(昭和十八年十二月)

國內

- 一 農商省、農林水産關係統制機關整備方針發表 △軍事參議官に吉田大將支那方面監隊司令長官に近藤大將親補 △朝鮮、臺灣兩總督行政機構改革、官吏縮減實施
- 二 航空機増産確保に鍛壓機械の緊急増産措置決定 △青壯年國民登録改正適用範圍を四十五歳迄に引上げ △青壯年國民行政調査第四回(石炭)、第五回(甲流病)、第六回(木造船)實施決定、鈴木貞一、藤原銀次郎、五島慶太三氏查察使仰付けらる
- 三 大東亞戰爭海軍死政者論功行賞發表
- 四 清宮内親王殿下着袴の御儀行はせらる △科學研究勳員委員會、委員長に林春雄博士及び委員四十七氏決定 △年金保險厚生團發足 △新途坂山陰道貫通 修政式舉行
- 五 東條首相、大東亞戰爭第二周年記念日に當り帝國不動の決意を中外に闡明
- 六 天皇陛下、陸軍豫科士官學校に初行幸、同校所在地に「振武臺」の名稱を賜ふ △中等學校新考査法決定 | 學區制、綜合考査制を全國に實施
- 七 昭和十九年度一般會計豫算概算百五十二億四千萬圓閣議決定
- 八 日獨伊三國軍事協定締結二周年 △教育に關する非常措置に基く都下各種學校整理、廢校百四十四決定
- 九 澁川河水統制工事起工式
- 一〇 第四回行政查察開始 | 鈴木查察使九州地方石炭に實施

大東亞 (大東亞戰爭戰局を含む)

- 一 泰、ダムロン・ラジャハップ殿下薨去 △マライ、不動産取得稅則公布 △海軍民政地域に市廳設置規程並に暫定市令公布施行
- 二 泰國戰時評議會設立發表
- 三 第二次ブゲンビル島沖航空戰 | 戰果、敵航母、戰艦等八隻を撃沈破、我方未歸還一〇機 △常德完全占領
- 四 マーシャル諸島沖航空戰 | 戰果敵航空母艦等四隻撃沈破、我方未歸還六機 △陸海共同カルクッタ大爆撃 | 輸送船六隻撃破、飛行機一九機撃墜
- 五 華北肅正作戰綜合戰果、九月中旬より十一月末までに敵遺棄死體二五、三九五、俘虜一〇、九四六、我方戰死七三八 | 大本營發表 △フイリピン銀行券回収を發表
- 六 帝國陸軍一箇年間の戰果、敵に與へたる損害六〇七、〇〇〇、損害戰死三三、九六二名、飛行機三三三機 | 大本營發表 △スマトラ農園管理司新設發表 △ジャワ新期會令公布施行
- 七 帝國陸海軍朝戰以來二ヶ年間に與へたる人的損害、米軍二七二、〇〇〇名、英軍一二二、〇〇〇名、我方の戰死傷一五九、〇〇〇名 | 大本營發表 △海軍民政地域原住民政死傷一の諸法令公布 △マライ義勇軍及義勇隊發足 △泰國有鐵道軍管理に移行
- 八 マライ、民間事業經理統制令、委託經營事業經理統制令公布
- 九 常態附近の戰果擴大 | 陸軍部隊更に敵屍一、〇〇六を收容、俘虜一〇、六六四、飛行機二〇機撃墜 | 大本營發表 △泰國政府經濟政策發表
- 一〇 陸軍航空部隊支那空軍基地を連爆、來襲の敵と交戦八四機を撃沈破、我方九機未歸還 | 大本營發表 △東亞在住伊國人措置發表 | ファアシスト系伊國人に對し准敵國人措置解除

世界

- 一 カイロ會談發表さる
- 二 敵マルセイユ港冒煙住宅多數を破壊
- 三 獨逸軍南伊東岸バリ港に於て敵艦船二隻を撃沈破
- 四 ボリヴィア對樞軸官戰布告
- 五 自由ユーゴスラヴィア假政府樹立 | 主班イワン・リバル、ソ聯政府支援の下に宣言 △獨逸軍チエルカツスイ突入の赤軍を殲滅
- 六 テヘラン會談公報を發表
- 七 獨逸軍南伊戰線ミニヤノ西南ブルゲ撤收
- 八 ケルチ橋頭堡の赤軍潰滅、羅軍クリミア半島で赤軍二、〇〇〇を捕獲と獨公表
- 九 ルーズヴェルト、マルタ島を訪問 △コロンビヤ、米國間に共同防衛取極め成立 △獨逸兩軍激闘、獨逸軍チエルニヤホフで反擊猛攻
- 一〇 伊社共和政府、日獨兩盟邦と共に戰爭完遂の旨宣言 △獨逸軍クレメンテウグ西方チヒリオン撤收を公表
- 一一 チュウソウ、亡命チエッコ間相互援助條約調印
- 一二 イラン首相アリ・ソヘイリ辭職 △獨逸軍キエフ西方で猛攻テレフ河西岸の赤軍橋頭堡を粉砕

四 郵便金の改正等議會提出七法律案要綱決定 △行政事務の整理簡便化及び地方官廳への權限委讓合計一、九三八件決定 △本年度第二次地方官廳記念物指示
 三 陸軍に「特別幹部候補生制度」新設 △「戰時熱管理非常強化週間」全國工場に開く(三月末日迄)
 二 總力戰研究所長に小川貴麿海軍少將發令 △軍需社法施行令施行規則公布(十七日實施) △出版事業整備「殘存百九十五社に決定」

七 大日本育英會法案要綱等議會提出法律案八件決定 △石炭配給統制法中改正法律案要綱閣議決定 △有價證券整備「現物業半島出身特別志願兵金城義輝兵長等四勇士二階級特進の恩典に浴す」△文官に初の支那事務行賞
 六 大東亞佛敎青年會總本部創立總會開催
 五 陸海軍兩省の航空關係諸事項を十九年一月十五日軍需省に移管決定 △貯蓄券帝國に於て賣出し開始
 四 陸軍技術有功章授與式舉行 △翻刻的増稅案閣議決定 △農商省に日滿食糧自給協議會設置措置要綱決定 △日泰攻守同盟締結二周年 △都市疎開實施要綱發表
 三 臨時地方長官會議開催

三 中央協力會議員更新、二百二十九氏決定 △大學高專校の整備要綱發表 △理科學級の擴充等劃期的措置決定 △大日本母子愛育會發會式舉行
 二 徵兵令公布、即日施行さる △明年年度地方配布稅分與總額七億二百萬圓、地方分與稅委員會答申
 一 生産増強本部、警視廳管下各警察署に設置決定

三 第八十四議會開院式 △軍需省航空兵器總局機構決定 △煙草大幅値上斷行、二十七日實施

元 人口調査施行發表、十九年二月二十二日を期し資源調査法に基き内地人口を調査 △食糧自給態勢強化對策要綱、自作農創設促進に關する件閣議決定
 元 賀陽宮美智子女王殿下德大寺齊正氏に御歸嫁 △大東亞建設審議會決定の食糧、纖維増産二方策要領發表
 元 海軍囑託、部外者に行賞、支那事變海軍論功行賞發表 △特別價格報復制度、鉛、亜鉛、鐵、砂鐵に對し四月に遡及實施發表 △關門海底隧道第二線貫通成る

四 ビルマ政府小川最高顧問任命
 三 敵ニューブリテン島に上陸、マカスカ岬附近において我守備隊と激戰 △泰金輸出禁止
 二 印度、重慶の空輸路粉砕、陸軍航空部隊十月中旬以降敵空輸路並にテンスキアを攻撃、輸送機等六九機を撃墜破、我方未歸還九機、大本營發表 △佛印聯邦會議開催

七 ニューブリテン島近接の敵輸送船團をマカスカ岬沖海上に邀撃粉砕す、戰果敵兵滿載の輸送船等七一隻以上を撃沈破、飛行機一三機撃墜、我方未歸還一〇機 △泰國關稅法改正法令公布
 六 東南アジア空軍司令部(司令官リチャード・ピアース中將)設置マキン、タラウ兩島守備隊玉碎、大本營發表 △佛印商業施設評價委員會設置發表 △マニラに大東亞醫學大會開催 △ダバオ放送局開同 △比島行政機構改革案可決
 五 海軍航空部隊マカスカ岬敵増援軍を痛撃、戰果兵員滿載の艦艇五〇隻以上撃沈破、敵七機撃墜 △日泰同盟條約二周年記念式典舉行
 四 海軍航空部隊マカスカ岬敵陣を連破、戰果敵軍需品集積所等十二箇所爆碎 △陸軍航空部隊昆明飛行場大爆撃、戰果敵四三機撃墜破、我方損害四機
 三 滿洲國明年年度豫算決定、一般會計歲出十三億一千五百萬圓 △ラバウル、シヤン軍政撤廢、シヤン地方總督にウ・バ・ウイン内相起用
 二 ラバウル航空戰激化、海軍航空部隊同地來襲の敵一三五機を邀撃其五八機を撃墜、我方未歸還七機 △ビルマ、シヤン州政府開廳

三 敵機カビエング及びラバウルに來襲、我方その二三機撃墜、尙敵機動部隊をブーゲンビル島北方に於て捕捉、敵機二隻を撃沈
 二 敵ニューブリテン島ゴスター岬に上陸、我守備隊と激戰展開、海軍航空部隊はボルゲン灣の敵輸送船團を攻撃、巡洋艦以下七隻を撃沈破、敵二〇機を撃墜、我方未歸還一七機
 一 マカスカ岬連破、海軍航空部隊、兵員滿載の敵輸送船等四隻を撃沈、敵一八機を撃墜、我方未歸還七機

元 海軍航空部隊、ラバウル來襲の敵五〇機を邀撃その三一機を撃墜
 元 常備作戦完了、原態勢に復歸、本作戦の戰果、收容敵死體三二、四七七、俘虜四、三二五、飛行機撃墜六〇機、我方戦死一、六六六名、大本營發表

三 帝國海軍艦艇並に陸海軍航空部隊十月以降本日迄に敵潜水艦一四隻撃沈、大本營發表

四 獨軍チエルカウスイを撤收と獨公表
 三 米鐵道從業員總罷業發表、十二月三十日決行 △米機アテネ直爆、勞働者住宅地區に投擲住民多數を殺傷、イラン、アリ、ソヘイリ首相再組閣完了 △チャーチル北阿で臥床、重態の旨發表さる △英機ベルリン空襲、投擲千五百噸 △米開戰以來の人的損害を發表、陸軍九八、五九四、海軍三二、四九四、總計一三二、〇九三名

七 獨、勃經濟協定締結發表 △赤軍ネグエリ地區に大軍集結、獨ソ激戰展開
 六 獨軍ドニエプル河口ヘルソン橋頭堡撤收
 五 イラク首相ヌリ・サイド辭表提出

三 諾、白、洪三國間に新通商協定成立
 二 △米大統領クリスマス・メツツェルジ放送 △西歐侵入反獨軸軍總司令官にアイゼンハウワー大將任命さる
 一 イラク首相ヌリ・サイド再組閣

三 全米鐵道、接收發令 △獨艦シヤン全米ホルスト號、ノースキーブ沖で英護送船隊と交戦、沈没
 二 米、鐵鋼業勃發、參加勞働者十二萬二千名 △獨軍ダルムチャ沿岸コルツエラ島占領
 一 獨軍、南伊戰線オルトナ撤收を公表

元 米、鐵道罷業中止發表 △ビスケー湾で英獨海戰
 元 三〇獨軍コロステン撤收發表
 三 亞國、同國內全政黨に解散を發令

三 亞國、同國內全政黨に解散を發令

世界戦況

大東亞戦争

タラワ、マキン守備隊玉碎

柴崎少將以下四千五百散華

特報

死闘五日間

大本營發表(十二月二十日十五時十分)

タラワ島、マキン島守備の帝國海軍陸戦隊は、十一月二十一日以來、三千の寡兵を以て、五萬餘の敵上陸軍を邀撃、熾烈執拗なる敵機銃爆撃及艦砲射撃に抗し、連日奮戦、我に數倍する大損害を與へつつ、敵の有力なる機動部隊を誘引して、友軍の海空作戦に至大の寄與をなし、十一年十二月少尉同年七月海中尉同

柴崎惠次少將略歴

原籍兵庫縣加東郡上東條林之内森村
第二十二番屋敷 明治二十七年四月九日生、大正四年十二月海兵卒同五

年十二月大尉昭和二年十二月少佐同七年十二月中佐同八年九月海軍軍令部出仕同年十一月横須賀鎮守府副官同十二年十月軍令部出仕兼海軍省出仕同十四年十一月漢口方面特別根據地隊副隊長參謀同十五年九月水路部總務課長同十六年九月支那方面艦隊司令部付同十八年五月少將同年七月海上

玉碎陸戦隊の戦闘日誌

【二十日】大本營海軍報道部課長栗原悦藏大佐は廿日午後七時廿分マキン、タラワ兩島玉碎部隊の戦闘状況を放送し、十一月十九日開始された敵の爆撃、砲撃に發端する陸戦隊の敢闘振りを明らかにしたが、これによつて見れば前後一週間に亘る鬼神も哭くその死闘の戦闘日誌は次の如くである

△十一月十九日 ①米艦隊ギルバート諸島沖へ出現、タラワ、マキン兩島を砲撃②敵機延九百機タラワ島を爆撃す、わが陸戦隊これを邀撃、その三十一機を撃墜す、敵機マキン島にも來襲

△十一月二十日 ①敵機延二百數十機早朝よりタラワ島を反覆爆撃、わが陸戦隊その二十三機撃墜②敵艦五隻及び巡洋艦、驅逐艦二時間に亘りタラワ島を砲撃③マキン島に對しても敵艦砲射撃を加ふ④敵機延三百機マキンをを爆撃、わが陸戦隊その十二機を撃墜

△同日間に亘り敵は兩島に二千二百噸の砲弾と七百噸の爆彈を打込むもわが陸戦隊の士氣愈々旺盛
△十一月二十一日 ①艦砲射撃、爆撃の掩護下に夜明け以來敵は百數十

臺の水陸兩用戦車及び數百隻の上陸用舟艇をもつて兩島に上陸を開始、陸上戦愈々展開す②わが陸戦隊は猛砲火を浴びてその大半を撃沈或は擲坐炎上、轉覆せしめ、敵上陸部隊の大部分を覆砕③敵は爆撃を一段熾烈化し、新手の上陸部隊を繰出して遂に島の一角に上陸④正午に至り陸戦隊は「これまでの激戦により兵力に相當の損害あるも五千餘の敵上陸軍を海岸に壓迫し、日没を期して之を三方面より包圍殲滅せんとす」との報告を行ふ

△十一月二十二日 ①敵艦砲射撃、爆撃を反覆②敵新手の大部隊をもつて攻撃③わが陸戦隊寡勢よく敵大兵力を邀撃、痛烈な打撃を與ふ④午後一時わが陸戦隊「戦況に變化なき」旨を報告せるも、これを最後に無線送信機破壊のため通信杜絶す⑤深更に至り畏くも陸戦隊員に對し有難き聖旨を賜ふ

△十一月二十三日 わが海軍の偵察によると、わが陸戦隊は前日の陣地を一步も退かず依然奇烈壯絶な戦闘を繼續

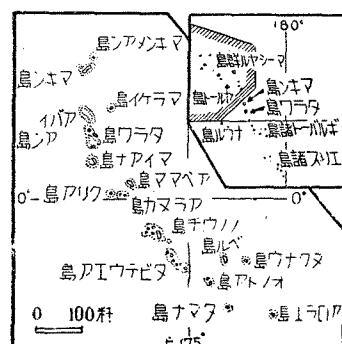
△十一月二十四日 敵は刻々新手を

上陸、わが陸戦隊次第に手薄となる、△十一月二十五日柴崎少將は情勢を通観し全力を擧げて敵に大鐵槌を加へんことを決意、軍屬にも銃器が渡され柴崎少將を眞先に白刃をきらめかせ群がる敵主力に玉碎を敢行したのである

全身に躍動する敵愾心

【南太平洋〇〇基地にて發】ギルバート諸島沖航空戦の赫々たる戦果が相續いてあげられたにもかかはらず基地は相變つて重々しい暗い空気の口にもせず唯黙々と敵撃滅のみひたすら念ずる海軍連の脳裡からはあの孤島に敵の大軍を邀撃し、文字通り最後の一兵まで戦ひつくり玉碎した戦友の姿が一刻も離れぬのだ、基地の全軍は血の吹くやうな敵愾心に燃え立つてゐる皇軍勇士の血で染めたタラワ、マキンの兩島は赤道の北一度乃至三度にあつて現在わが占領地のうちでは共に一番アメリカ本土に近い珊瑚礁で、島内樹叢少く椰子の木などもぼつぼつあるだけで眞白な代々木練兵場のやうな島である

この島にわが海軍陸戦隊の精銳三千名が司令官柴崎少將指揮のもとに言語に絶する困苦を忍び日夜武を練り、一千數百名の設營隊員の構築する鐵壁の防禦と共に敵上陸作戦に對する萬全の備へを固めてゐる、この兩島は敵の空襲のはげしいことは當方隨一で、毎月月明時になるとフナフチ、ナムマアあたりからB24が大舉來襲、また時としてはありあはせの機動部隊の應援で戦爆連合を以て無茶苦茶に爆彈を落してゆくことがある



だから勇士たちは一月のうちでやや
 身體を休ませることが出来るのはそ
 の半分だけであとの半分は司令官以
 下全員巻脚料も解かず軍装のまま
 バラックのキャンパス床に横になる
 有様であつた

「月肥り兵瘦せ細るギルバート」
 とは柴崎司令官の偽はらざる心境、
 ところがこの兩島も十一月廿一日朝
 敵大部隊の上陸と同時に一瞬にして
 世紀の決戦場と化したのである、我
 が兵力は米製敵兵力に比して概算僅
 かに〇分の一に過ぎないが、司令官
 柴崎少將は第二次上海事變のとき、
 我に數十倍する敵軍を引受けて微動
 だにしないかつた鐵血上海陸戦隊の驍
 名を全世界に轟かせた勇士、勇將の
 下弱卒なしてタラワ守備隊員の一人
 一人は文字通りの精銳であり、マキ
 ンは不幸にして敵機襲撃と同時に送
 信所をやらし連絡不能に陥つたが激
 烈な戦闘のさなかにタラワはよく時
 々の状況を詳しく最寄友軍に打電す
 るほど擧軍沈着冷靜、果敢に戦ひ續
 けてゐる様が手にとるやうにかが
 はれる

敵は上陸用舟艇數百隻、水陸兩用タ
 ンク百數十臺をもつて内環寄り棧橋
 地帯に上陸を企圖しつゝあり、わが
 方これと激戦を展開中、現在糧食彈
 藥稍不足し相當の損害あるも士氣極
 めて旺盛、勇躍これを遂（撃つて）、一
 歩も上陸を許さぬ決意、御安心乞ふ
 と二十一日晝頃報せて來てゐる、そ
 の夕刻、わが海鷲はタラワ、マキン
 救援のために荒天を衝いて全機決死
 の急襲を敢行、第一次ギルバート諸
 島沖航空の絶大な戦果を擧げ、一
 方攻撃隊の至寶S中尉機は物糧と爆
 彈を満載してタラワ島に〇〇米の低

空で近づき糧食はパラシュートで友
 軍陣地に爆弾は全部敵陣に直撃投下
 してこれに支援を續けたのである、
 この支援はその次の夜も、二十三日
 の夜も引續いて行はれ闇夜に兩島を
 偵察した攻撃隊搭乗員は「敵の艦砲
 射撃で殆んど島全體が緒々と炎上
 つておました、棧橋寄りの陸地と海
 の境を挟んで彼我攻防の彈道が夜目
 にもはげしく交錯してゐるのがはつ
 きり見え、そのうちに「彼方を撃て
 と言はぬばかりに爆撃箇所を指示す
 る曳光彈が友軍司令部と思はれる所
 から敵方に發射されました」と報告
 し「マキンも島内で激戦してゐます」
 と知らせせて來てゐる、敵艦船は兵
 隊を上陸させた手前離れも出來ず、
 夜となつては近寄つてゐるので、敵
 殲滅の好機はいま「タラワ、マキ
 ン」ももう暫くどうぞ頑張つて呉れ
 と念ひ祈りながら、海鷲は連日至難
 な索敵を強行した、わが兵士は
 マキンの將兵三千と軍屬千五百は戦
 友のこの心からの希望も空しく友軍
 機から投下された糧食に盡きざる戦
 友愛を感じ、日夜兩島沖に活躍する
 皇軍の烈々たる闘志と神技に絶対の
 勝利を確信しつゝ南溟の人柱となつ
 たのである、しかしその闘魂はこの
 基地にある攻撃隊の一人一人に、一
 億同胞の一人一人に敵殲滅の火と燃
 えて生きているのだ

は先づマキン島に上陸し、次いで甘
 日午前五時戦艦並びに巡洋艦を以て
 タラワ島に攻撃を開始、空母から飛
 出した爆撃機も参加して上陸開始ま
 でに一千五百噸の砲彈と、一千噸の
 爆彈を集中的に投下したと傳へられ
 る、右作戦に参加したのはガダルカ
 ナル島歴戦の勇士といはれる、米國
 第二海兵師團の主力並びに歩兵第廿
 七師團であり、海兵隊團長少將ホ
 ラント・スミスの指揮下に苦戦前後
 七十二時間の後、漸くタラワ島に橋
 頭堡を確保したが、右作戦において
 米軍が戦史上空前の損害を受けたこ
 とは太平洋艦隊司令長官ニミツツの
 率直に認めてゐるところで、ニミツ
 ツは前線視察の後眞珠灣基地に歸還
 した當時「米軍が太平洋で戦つた最
 も苦烈な戦闘であつた」と述べてお
 り、米軍の損害については十二月一
 日に報告し、太平洋艦隊司令部が「豫
 備の報告」に基き諸島に於ける戦死
 者數を發表してゐるが、右數字が實
 數と懸け離れた小出發表に過ぎない
 ことは戦況の實況が米國內に傳へら
 れるとともに、作戦當局に對し驚々
 たる非難が米國內に捲起つた事實に
 徴しても想像するに難くない、ニュ
 ーヨーク・タイムズ紙も「ギルバ
 ート作戦の貸借対照表」と題する社説
 において「史上空前の空母大集團の
 掩護された海兵隊は、七十六時間で
 ギルバート諸島に上陸した、タラワ
 マキン兩島の戦闘は米國海兵隊初つ
 て以來の血腥い激戦であつた、一九
 一八年のシヤトー・チャロンの戦、
 一九〇一年比島作戦のソートン斷崖
 の激戦、一八六五年のガダルカナル
 要塞の肉弾戦或は、又ガダルカナル
 島の死闘よりも更に高度の米人の鮮

血が兩島の戦ひに捧げられたのであ
 る」
 と述べてゐる、以上その量をたのむ
 米軍の攻撃に對し皇軍の特鋭陸隊
 は最後の兵に至るまで決死無敵な
 死闘を續け、遂に南溟の洋面に玉碎
 したことは均しく米人記者團の筆を
 揃へて報道したところで、これらの
 前線報道は安易な太平洋反攻作戦を
 夢みる米國民に深刻な反省を興へた
 ことは想像に難くない、既に大統領
 の御書子中佐ジェームス・ルーズヴ
 エルトは命からマキン島の前線
 を引上げ、眞珠灣基地に歸還するや
 十一月廿七日記者團と會見「マキン
 島においては日本軍が衆寡敵せずと
 見るや將校四名は暗の第一装をまと
 ひ、胸間に勳章を佩用し、數百名の
 兵士の先頭に立つて刀を抜き米軍陣
 地に突撃した」と語り、又中佐ユー
 アン・カーソンもタラワ島に於け
 る日本軍の奮闘ぶりを絶讃し「ガダ
 ルカナル島の戦闘は非常な激戦であ
 つたが、タラワ島の上陸作戦に較べ
 ると全然比較にならない、日本軍は
 全く驚くべき勢で抗戦を續け一歩も
 退く様子を見せなかつた」と述べて
 をり、米國新聞社の共同代表として
 上陸作戦に参加したリチャード・ジ
 ヨンスタンの「米軍がタラワ島に上
 陸出來たのは全く奇蹟である、今回
 の戦闘が米軍の戦史上曾て見なかつ
 た流血の慘事であり、死傷者數が異
 常に多かつたことは參謀連も認めて
 いるところだ」と報道してゐる。特
 に米國民の心膺を寒からしめたのは
 敵前割腹の壯烈な玉碎ぶりであり、海兵
 隊團長は機動部隊司令中將リッツ
 モンド・ターナーに對する「歴史的
 報告」において「今回の上陸作戦で

ニューヨーク第六十九聯隊が進撃し
 やうとしたところ、形勢非なりと見
 た日本軍將校五名は見事一齊に割腹
 ぶりについて米國各紙の特派員が
 競つて詳細な從軍記を傳へてゐるが
 先づUPの前線特派員は十一月廿七
 日タラワ島上陸作戦について次の通
 り報道してゐる「米軍は廿日午前八
 時半上陸の豫定で、記者は海兵隊と
 共に繩梯子を降りて上陸用舟艇に移
 つた、米國戦艦數隻は一時間に亘つ
 てタラワ島に砲撃を加へ、空母から
 飛立つた爆撃機も多量の爆彈を投下
 した、既に海岸を去る〇〇米の邊り
 から日本軍の打出す彈丸が舟艇の周
 邊に落下し出したが、海岸から三百
 米、指揮官の命令で一同は珊瑚礁に
 躍りこんだが水の深さは肩まで達し
 た、日本軍の機關銃座は執拗に米軍
 に向つて火を吐き、米軍は火炎放射
 器で應戦した、午後二時廿分空軍の
 攻撃を容易にするために海兵隊は一
 時後退し、夜に入つて更に米軍は重
 要地點から退却するに至つた、廿一
 日午前米軍は一個大隊の援軍を得て
 更に砲撃を開始したが、今回の戦闘
 の數ではガダルカナル島の如きは
 物の數でもなかつた」又タイム紙の
 特派員ロバートシャロツトは次の
 通り述べてゐる。

妻絶ギルバート島の決戦

【フェノスアイレス十九日發】米軍
 は所謂飛石傳ひの太平洋反攻作戦を
 繼續し十一月十九日未明、有力な航
 空隊と航母を樞軸とする機動部隊を
 以て日本軍の前哨據點ギルバート諸
 島に對し上陸作戦を強行した、米軍

は先づマキン島に上陸し、次いで甘
 日午前五時戦艦並びに巡洋艦を以て
 タラワ島に攻撃を開始、空母から飛
 出した爆撃機も参加して上陸開始ま
 でに一千五百噸の砲彈と、一千噸の
 爆彈を集中的に投下したと傳へられ
 る、右作戦に参加したのはガダルカ
 ナル島歴戦の勇士といはれる、米國
 第二海兵師團の主力並びに歩兵第廿
 七師團であり、海兵隊團長少將ホ
 ラント・スミスの指揮下に苦戦前後
 七十二時間の後、漸くタラワ島に橋
 頭堡を確保したが、右作戦において
 米軍が戦史上空前の損害を受けたこ
 とは太平洋艦隊司令長官ニミツツの
 率直に認めてゐるところで、ニミツ
 ツは前線視察の後眞珠灣基地に歸還
 した當時「米軍が太平洋で戦つた最
 も苦烈な戦闘であつた」と述べてお
 り、米軍の損害については十二月一
 日に報告し、太平洋艦隊司令部が「豫
 備の報告」に基き諸島に於ける戦死
 者數を發表してゐるが、右數字が實
 數と懸け離れた小出發表に過ぎない
 ことは戦況の實況が米國內に傳へら
 れるとともに、作戦當局に對し驚々
 たる非難が米國內に捲起つた事實に
 徴しても想像するに難くない、ニュ
 ーヨーク・タイムズ紙も「ギルバ
 ート作戦の貸借対照表」と題する社説
 において「史上空前の空母大集團の
 掩護された海兵隊は、七十六時間で
 ギルバート諸島に上陸した、タラワ
 マキン兩島の戦闘は米國海兵隊初つ
 て以來の血腥い激戦であつた、一九
 一八年のシヤトー・チャロンの戦、
 一九〇一年比島作戦のソートン斷崖
 の激戦、一八六五年のガダルカナル
 要塞の肉弾戦或は、又ガダルカナル
 島の死闘よりも更に高度の米人の鮮
 血が兩島の戦ひに捧げられたのであ
 る」
 と述べてゐる、以上その量をたのむ
 米軍の攻撃に對し皇軍の特鋭陸隊
 は最後の兵に至るまで決死無敵な
 死闘を續け、遂に南溟の洋面に玉碎
 したことは均しく米人記者團の筆を
 揃へて報道したところで、これらの
 前線報道は安易な太平洋反攻作戦を
 夢みる米國民に深刻な反省を興へた
 ことは想像に難くない、既に大統領
 の御書子中佐ジェームス・ルーズヴ
 エルトは命からマキン島の前線
 を引上げ、眞珠灣基地に歸還するや
 十一月廿七日記者團と會見「マキン
 島においては日本軍が衆寡敵せずと
 見るや將校四名は暗の第一装をまと
 ひ、胸間に勳章を佩用し、數百名の
 兵士の先頭に立つて刀を抜き米軍陣
 地に突撃した」と語り、又中佐ユー
 アン・カーソンもタラワ島に於け
 る日本軍の奮闘ぶりを絶讃し「ガダ
 ルカナル島の戦闘は非常な激戦であ
 つたが、タラワ島の上陸作戦に較べ
 ると全然比較にならない、日本軍は
 全く驚くべき勢で抗戦を續け一歩も
 退く様子を見せなかつた」と述べて
 をり、米國新聞社の共同代表として
 上陸作戦に参加したリチャード・ジ
 ヨンスタンの「米軍がタラワ島に上
 陸出來たのは全く奇蹟である、今回
 の戦闘が米軍の戦史上曾て見なかつ
 た流血の慘事であり、死傷者數が異
 常に多かつたことは參謀連も認めて
 いるところだ」と報道してゐる。特
 に米國民の心膺を寒からしめたのは
 敵前割腹の壯烈な玉碎ぶりであり、海兵
 隊團長は機動部隊司令中將リッツ
 モンド・ターナーに對する「歴史的
 報告」において「今回の上陸作戦で

米軍は上陸に先立ち一千五百噸の砲
 彈と一千噸の爆彈とをタラワ島に叩
 き込んだので生きてゐる人間ならこ
 れだけの猛烈な砲撃下で生きながら
 いることが出来る筈はないと、お
 互に勇氣を付け合つてはひんきスカ
 島の場合と同様日本軍守備隊は既に
 撤収したのではないかと空頼みしな
 がら漸次タラワ島に近付いたところ

忽ち日本軍の砲弾が輸送船の周縁に落下し始めた、記者はハワード・ラリス少佐の指揮する第五回の上陸部隊に従つたが、當初最初の四隊が橋頭堡を確保してから卅一分後に海岸に到着する手筈だったが、日本軍の熾烈な抵抗ですつかり狂つてしまひ輸送船は安全な地帯へ移動しなげればならなかつた、艦砲は再び降り初め、沖合の航空母艦からは急降下爆撃機が飛立に襲弄され、海兵隊員は兵器諸共ずぶ濡れになつてしまつた結局兵士達は舟艇を乗り棄て海中に躍込んだが、水深は丁度首位、海兵隊は更に海岸まで約七百碼を徒渉せねばならなかつた、日本軍の機關銃座はのろりと海岸に接近する海兵達に火力を集中した、水が浅くなるにつれ益々よい目標となるばかりであつたが、漸く橋頭堡を確保したのちも一歩でも外に踏出したら最後、忽ち打ち殺され、數百名が犠牲になつてしまつた、日本軍狙撃兵特火點の機關銃は容赦なく掃射を續けるので時には驅逐艦が海岸近くへ迫つて日本軍の機關銃特火點に砲火を集中する外はなかつた、第一夜は長くは百碼、深さ七十碼の小さい橋頭堡三つを守り通せるかどうかといふ危険な状態のうちに明けたが、翌朝豫備隊が來援した際に、或ひは海中に倒れ或ひは溺死し悲鳴をあげる等慘憺たる状態であつた、大佐デイヴィッド・シニープは遂に「非常な苦戦増援を頼む」と報告するといふ危機一髪の状態に陥つたが二日目の午後一時頃米軍が多量の砲爆弾を日本軍陣地に叩き込むことが出来るやうになり、

輕戦車、中戦車並びに火砲を揚陸したての形勢は漸く好轉した、日本軍は何れも精悍無比だが最後と日本軍は最後まで戦ひ抜いた、以上日本軍の「降伏なき哲學」に脅え出したニューヨーク・デイリー・ニュース紙の如き「タラワにおける様な損害を重ねて太平洋の珊瑚礁を悉く占領するに及ばず到底出来な日本軍に對しては速かに毒ガスを使すべきだ」との暴論を吐くに至つた、新たに海兵隊の司令官に任命された中將ワンダグリフトが認めてゐる通り米國民は今回のギルバート上陸作戦により東京に至る「捷徑」(ロイヤルロード)がないことを改めて認識したものと思はれる。

米軍の損害一部發表

【フエノスアイレス一日發】ギルバート島上陸作戦に關しては米國海軍長官ノックスが既に米軍の損害が甚大な旨を述べて米國民に豫告を與へ太平洋艦隊司令官ニミツツも亦前線視察の後眞珠灣基地に歸還した上、「米軍が太平洋で戦つた最も苛烈な戦闘」と米軍苦戦の事實を認めたと米軍の損害については、一日に至り「豫備的報告」を基礎に實數とは相當懸け離れてゐると解される死者者數の一部を例に依つて小出しに發表した、ホノルル來電によれば米軍の損害に關する太平洋艦隊司令部の發表正文次ぎの通りと傳へられる
ギルバート諸島作戦の豫備的報告によれば米軍上陸部隊は概ね次ぎの損害を蒙つた
△タラワ島 戦死一千廿六名、戦傷二千五百五十七名

米火焰放射隊の大半潰滅

【フエノスアイレス七日發】米國の一從軍記者は六日、タラワ島上陸に於いて米軍火焰放射隊の三分の二が潰滅した旨次の如く報じてゐる
米上陸軍の第一回攻撃舟艇が海岸到達を試みた際、日本守備軍の砲撃で多數が戦死した、幸じて海岸に到達した海兵隊員は直ちに陣形を整へて困難なる部署に就いたけれども據點から日本軍を驅逐するためには火焰放射隊を用ひる以外手はないことを知つた、一方火焰放射隊を滿載した舟艇は海岸から僅か二十呎のところまで日本軍特火點から打出す砲火のため立往生してしまひ、生き残つたものは僅かに五名に過ぎないと

ニューブリテン島に敵上陸

マーカス、グロースター兩岬へ

マーカス岬に上陸

大本營發表(十二月十八日十六時)

一、我守備隊は十二月十五日以來ニューブリテン島マーカス岬附近に上陸せる一部の敵を邀撃し激戦中なり
二、十二月十五日未明敵輸送船團のマーカス岬に近接中なるを發見せる帝國海軍航空部隊はこれをマーカス岬沖海上において邀撃、爾後反覆痛烈なる攻撃を加へて左の戦果を収めたり

右輸送船並に上陸用舟艇は何れも上陸前にして兵員を滿載しあり

- ① 敵に與へたる損害 △擊沈、大型輸送船一隻、小型輸送船三隻、上陸用舟艇三十隻以上 △擊破 △大型巡洋艦一隻(沈没概ね確實) △小型輸送船一隻沈没(概ね確實)
- ② 我方の損害、未歸還三機
- ③ 第三次攻撃(十二月十七日早朝)
 - ① 敵に與へたる損害 △擊沈、小型輸送船一隻、海上トラック一隻、大型上陸用舟艇四隻、上陸用舟艇數隻 △擊破、小型輸送船二隻(炎上大破) 海上トラック一隻(炎上大破) △大型上陸用舟艇二隻(炎上大破) △擊破八機
 - ② 我方の損害、未歸還四機

海兵隊は七十六時間でギルバート諸島を占領したタラワ・マキン兩島上の戦闘は海兵隊の戦史上空前の血腥い大戦であつた、即ち一九一八年のシヤトー・チャリーの戦、一九〇一年の比島作戦に於けるソホトン斷崖の激戦、一八六五年のフォート・フィツシャリーの血戦或はマタニカンとルンガ峰の間で三千七百六十七名の損害を出した昨年のガダルカナル島の戦よりも更に多くの血が流されたのである、此の作戦の貨方としてたこの點が擧げられる

第二次攻撃(十二月十六日午後)

① 敵に與へたる損害 △擊沈、大型上陸用舟艇一隻、上陸用舟艇廿隻以上 △擊破、特殊輸送船二隻(炎上大破) △大型上陸用舟艇一隻(炎上大破) △上陸用舟艇多數(炎上大破) △擊破五機

右輸送船並に上陸用舟艇は何れも上陸前にして兵員を滿載しあり

- ① 敵に與へたる損害 △擊沈、小型輸送船一隻、海上トラック一隻、大型上陸用舟艇四隻、上陸用舟艇數隻 △擊破、小型輸送船二隻(炎上大破) 海上トラック一隻(炎上大破) △大型上陸用舟艇二隻(炎上大破) △擊破八機
- ② 我方の損害、未歸還四機

なほ十二月十六日には夜間攻撃を行ひ相當の損害を與へたるも夜暗のため確認するに至らず

三、帝國海軍航空部隊は十二月十七日早朝ラバウルに來襲せる敵機約四十機を撃墜し、その十八機を撃墜せり、我方の損害未詳、遺二機

敵戦死三千人以上【十八日】わが海軍航空部隊が十五、十六、十七日三日に亘りニューブリテン島マカス岬沖に於て撃沈破したる舟艇を基礎に敵兵員の喪失を推算すると左の如き甚大なる數に達する即ち撃沈の上陸用舟艇の乗員を一隻五十人とみて五十隻以上で二千五百人、海上トラツクは一隻約二百人、大型上陸用舟艇は一隻約百人とみて五隻五百人で撃沈された舟艇の乗員は三千二百人に達しその九割が喪失したとみて二千八百八十人になる、つぎに撃破した舟艇は喪失人員を約二分の一とみて海上トラツク一隻百人、大型上陸用舟艇三隻五百五十人、特殊輸送船は戰車大砲を原則として積載してゐるが兵員が乗つてゐたものとみて一隻の乗員二百人とみて二隻で二百人、以上撃破舟艇の乗員喪失數は四百五十人となり撃破乗員中の敵戦死總數は約三千三百三十人以上に達する

綜合戰果【十八日】十五日以來ニューブリテン島マカス岬附近に上陸を企圖した敵軍を撃撃した我が海軍航空部隊が三次にわたり擧げた戰果並に十七日ラバウル上空に於て擧げた綜合戰果左の通り

△撃沈 大型輸送船一隻、小型輸送船四隻、海上トラツク一隻、大型上陸用舟艇五隻、上陸用舟艇五十隻以上、合計六十隻以上△撃破 (沈没確實) 大型巡洋艦一隻、小型輸送

船一隻、(炎上大破)特殊輸送船二隻、小型輸送船二隻、海上トラツク一隻、大型上陸用舟艇三隻、上陸用舟艇多數、合計十隻以上、總計七十一隻以上△撃墜三十一機△我方の損害、未詳

強引な敵の進攻作戦【十八日】今次敵のニューブリテン島マカス岬上陸は、昨年以來敵が實施せるソロモ群島北上作戦ニューギニア島作戦と連續したもので、中部太平洋ギルバート諸島方面進攻と一體をなして我が太平洋戰略態勢に決定的打撃を加へんと意圖してゐることは明かである、即ち九月四日のニューギニア島ホボイ上陸並に九月二十二日のフインシハーヘン上陸は東部ニューギニアを足場として我が南方戰略要線を突破せんとするものであるが、更に敵はブーゲンビル島作戦を強行しこれまたラバウルを目指して強固な橋頭堡を築きつゝある、而もいままたニューブリテン島西南岸のマカス岬にとりつき一方においてラバウルを牽制し、同時に東部ニューギニアの作戦線と呼應し我が南方戰略要線を中央突破するに足る據點を確保せんと積極的に策し來つた、而して敵米國の太平洋に於ける蠢動を通過すれば中部太平洋よりする内南洋作戦に呼應して我が東部印度諸島建設を破壊し、日本本土との補給線を遮断して愈々戰局の決定的段階を招來せんと企圖してゐる、去る十月廿九日のモノ島上陸に發端する今日までの一聯の敵進攻は、ブーゲンビル島周邊だけでも既に空母八隻撃沈同三隻撃破以下艦船九十隻撃沈破といふ甚大な犠牲を蒙つてをり、た

後反艦艇隊が若しラバウルを奪還す

ればその時こそ太平洋戦は第二段階に入り米空軍は更にラバウル後方の日本軍基地に組織的攻撃を加得ることとならう、然しラバウルは強力な沿岸砲隊を有してゐたタラワ島も一層強力な防禦力を有してゐることを忘れてはならない」と論じてゐるといはれる。

マツカーサーも出馬 【アエノスアイレス十七日發】 A P 西南太平洋反艦艇軍基地來電によればマツカーサーもニューギニア東北部海岸基地に直々出馬してアラウエ上陸作戦の指揮に當つてゐると傳へられる

上陸部隊指揮官發表 【アエノスアイレス十七日發】メルボルン來電【西レニ十七日發】メルボルン來電【西レニ十七日發】メルボルン來電によれば十八日の戰況公報で日本軍の猛反撃を認め「米國軍は屢次に亘る日本軍の猛攻撃を撃退しつつ陣地を強化してゐる」と發表してゐるといはれる

【アエノスアイレス十八日發】メルボルン來電によれば、さすがに氣がとがめてか十八日に至り司令部は上陸後數次に亘り日本航空部隊の猛襲を蒙つた事實を認め「十六日戰爆連合の日本航空部隊が米軍上陸地點上空に來襲、更に十七日拂曉、續いて日の出直後と連續二回に亘り、米軍陣地に攻撃を加へた」旨發表したといはれる、一方司令部の發表によればブーゲンビル島のエンプレス・オーガスタ灣地區では日本軍並に米軍の兩哨戒部隊の間に戰鬪が行はれるに至つたといはれる

陸艦マカス岬敵軍連爆

陸艦マカス岬敵軍連爆

陸艦マカス岬敵軍連爆

敵の作戦企圖 【アエノスアイレス十八日發】ニューヨーク來電によれば米各紙は今次反艦艇軍のマカス岬上陸を大々的に報じ、右作戦が過般のギルバート作戦と關聯するもののみでなくその後方の日本軍有力基地を挾撃するにあるとして勝手な作戦構想を描いてゐるといはれる、たとへばニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙軍事記者ジョージ・エリオットは十八日附の同紙上で「反艦艇軍が陸路ラバウルへ進撃することは恐らくあるまい、マカス岬附近に反艦艇軍が上陸したは多分今後、水陸兩様作戦に緊密な協力を與へるための空軍基地の獲得を企圖した」と思はれる、反艦艇軍はこれによつてニューブリテン島内の、日本軍基地を無力化しやうといふのであらう」と述べ又 P M 紙軍事記者は「今

反艦艇軍が若しラバウルを奪還す

ればその時こそ太平洋戦は第二段階に入り米空軍は更にラバウル後方の日本軍基地に組織的攻撃を加得ることとならう、然しラバウルは強力な沿岸砲隊を有してゐたタラワ島も一層強力な防禦力を有してゐることを忘れてはならない」と論じてゐるといはれる。

マツカーサーも出馬 【アエノスアイレス十七日發】 A P 西南太平洋反艦艇軍基地來電によればマツカーサーもニューギニア東北部海岸基地に直々出馬してアラウエ上陸作戦の指揮に當つてゐると傳へられる

上陸部隊指揮官發表 【アエノスアイレス十七日發】メルボルン來電【西レニ十七日發】メルボルン來電によれば十八日の戰況公報で日本軍の猛反撃を認め「米國軍は屢次に亘る日本軍の猛攻撃を撃退しつつ陣地を強化してゐる」と發表してゐるといはれる

【アエノスアイレス十八日發】メルボルン來電によれば、さすがに氣がとがめてか十八日に至り司令部は上陸後數次に亘り日本航空部隊の猛襲を蒙つた事實を認め「十六日戰爆連合の日本航空部隊が米軍上陸地點上空に來襲、更に十七日拂曉、續いて日の出直後と連續二回に亘り、米軍陣地に攻撃を加へた」旨發表したといはれる、一方司令部の發表によればブーゲンビル島のエンプレス・オーガスタ灣地區では日本軍並に米軍の兩哨戒部隊の間に戰鬪が行はれるに至つたといはれる

陸艦マカス岬敵軍連爆

陸艦マカス岬敵軍連爆

陸艦マカス岬敵軍連爆

陸艦マカス岬敵軍連爆

岬及びビレロ、アラウエ兩島に上陸して以來、ニューブリテン島を繞る彼我の決戦は著しく熾烈化し、敵はわが海鷲の痛烈な連續的猛攻により甚大なる犠牲を喫したにも拘らず執拗奇烈なラバウル攻撃企圖を棄てず同方面わが基地に對し反覆爆撃を繰返しつつあつたが、二十六日朝不逞にもニューブリテン島西北岸グロースター岬の東西兩岸に一部兵力を揚陸するに至つた、即ちニューギニア島フィンシハーヘン方面に待機してゐた敵海兵隊は、二十五日深更巡洋艦、驅逐艦等を直衛とする輸送船團を擁して出撃、その一部はグロースター岬東岸のボルゲン灣ツルプへ、一部は西岸タワレに上陸した、わが守備隊は敵の艦砲擁護射撃と敵機群の爆撃を浴びながらも果敢な遊撃戦を展開引續き激戦を繼續してゐる、一方わが海軍航空部隊は連日に互りマーカー岬、ビレロ、アラウエ兩島の敵上陸部隊及び附近海域の敵艦船に銃爆撃を加へ、これに甚大な損害を與へるとともにウッドラーク島方面敵基地、ソロモン諸島方面敵基地を連爆、更にラバウルにおいては來襲機群を遊撃して甚大な戦果を収めてゐたが、敵部隊グロースター岬方面へ上陸するの報を聞くや廿六日正午勇躍ボルゲン灣頭に殺到、百機を越へる敵戦闘機群の猛烈な抵抗と敵艦の對空砲撃を排除しつつ敢然敵艦船に肉薄、必中必沈の巨彈を浴びせて敵大型巡洋艦二隻、大型輸送船二隻を撃沈、大型輸送船三隻を撃破、機群を叩き落した、この戦闘でわが方は未歸還十七機の貴い犠牲を出

したが如何に戦闘が熾烈であつたかを餘すところなく物語つてゐる、更に翌廿七日早朝にはわが海鷲はマーカー岬附近の敵舟艇及び敵陣地を攻撃し兵員滿載の特殊輸送船二隻、魚雷艇二隻を撃沈、敵機十八機を撃破、敵陣地三ヶ所を爆炎上せしめたわが方未歸還七機を出したことは痛痕の極みである、同時刻敵はグロースター岬上陸作戦の有利な展開を圖るためポートシコルスキーF4U、GP38等戦闘機約五十機をもつて又わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃その半数の廿三機を撃墜した、この戦闘でもわが方は未歸還六機の貴い犠牲を出した、これら一連の戦闘を通じて看取される如く敵のラバウル攻略意圖はまことに獐狂不逞を極めてゐる、我々は飽くまで時局と戦果を混同することなく敵のこの不逞な野望撃破の決意を一段と強固にせねばならぬ

上陸戦の指揮官【ブエノスアイレス廿八日發】米國海兵隊は廿六日ニューブリテン島グロースター岬の東西兩岸に上陸したが、メルボルンAP發電報は右の上陸部隊の司令官は少將ウイリアム・H・ルバータスなる旨公表されたと報じてゐる、またロイターはメルボルン電は次の通り報道してゐる

西南太平洋反極軸軍司令部はグロースター岬上陸隊はマックアーサー自ら總指揮に當り、地上部隊は陸軍中將ウォルター・C・クルーカー、海軍上陸隊は海軍中將トーマス・G・キルケードの指揮下にある旨發表した

損害の一部發表【ブエノスアイレス二十八日發】米國海兵隊は二十六日拂曉ニューブリテン島グロースター岬方面に上陸したといはれるが、ワシントン來電によれば海軍長官フランク・ノックスは右の上陸に際しての米國艦隊の損害を例によつて小出し發表し、驅逐艦一隻、沿岸貨物船一隻を喪失した旨言明したとつたへられ

開戦二ヶ年間戦果

陸海軍二ヶ年の成果

大東亞戰爭開始以來二箇年間に、帝國陸海軍の敵米英軍に與へたる人的損害の概數次の如し、米軍、二十七萬七千名、英軍、十二萬二千名、同期間に於ける帝國陸海軍の米英軍による戦死傷約十五萬九千名なり

米英軍の損害卅九萬九千【八日】大東亞戰爭勃發以來滿二年、この二年間に我が陸海軍部隊が大東亞戦域において敵に與へたる人的損害が八日の大本營發表によつて明かにされた、その内譯は、米軍地上部隊五二、八〇〇、空軍一九、二一八、艦船關係一八一、九四四、俘虜二二、八四三、英軍地上部隊四六、九〇〇、空軍三、二九八、艦船關係二二、〇四四、俘虜四九、八九九、從つて米英軍を合せて地上部隊九九、七〇〇、空軍二二、五一六、艦船關係二〇三、九八八、俘虜七二、七四二となつてゐる、米地上部隊の損耗五二、八〇〇のうち戦死は一〇、一〇〇、戦傷病及行方不明は四二、七〇〇、これを戦域別に見ると比島で一、八〇〇、ガダルカナル及びブナ二二、〇〇〇、アッツ島六、〇〇〇、ラエ及びサラモア五、〇〇〇、ニューギニア、ペララベラ、コロンバンガラ各島で一五、〇〇〇、最近戦闘の行はれたトロキナで三、〇〇〇の損耗である

又英地上部隊の損耗四六、九〇〇のうち戦死は一〇、九〇〇、戦傷病及行方不明は三六、〇〇〇、同じく戦域別の損耗を見ると香港三〇〇、馬來一、六〇〇、緬印四五、〇〇〇、この緬印地域における英本國軍地上部隊の損耗はラングーン攻略戦において遺棄屍體二、九〇〇、ラングーン攻略後二二〇、カラワ方面六八〇、アキヤブ北方二、〇〇〇アラカン方面三、二〇〇、計九〇〇〇で香港及び馬來では英軍遺棄死體のうち五分の一が英本國軍でありビルマにおいてばさきに多くの植民地軍が英軍のために犠牲になつてゐる事實は米國が激戦戦において特に濠洲軍を以て我軍と戦はせるのと同じ戦法で何れも他民族の犠牲を自らの犠牲を最少にとどめやうとの狡猾なる常套手段である

空軍における撃墜敵機數は我陸軍によるもの開戦以來本年十一月二十二日まで米機二、三四七、英機六八二、合計三、〇三九機、海軍によるもの開戦以來十二月七日迄に米機四、六四二、英機五一六、合計五、一五八機、米英總計で實に八、一八七機の多

△陸軍	死	一萬五千三百三十四名
戰傷	三萬五千四十九名	
行方不明	二萬三千七百二十五名	
捕虜	二萬四千四百八十六名	
合計	九萬八千五百九十四名	
△海軍	死	一萬三千九百八十三名
戰傷	五千八百六十三名	
行方不明	八千四百六十六名	
捕虜	四千二百四十七名	
合計	三萬二千四百九十名	
總計	十三萬一千九百三十三名	

米海軍損害小出し發表【ブエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電は米海省は廿四日開戦以來の米海軍海兵隊及び沿岸警備隊の損害につき例により小出し發表を行つたが、その

内譯次の通り
戦死、一萬四千三百十六名、負傷六十一名、行方不明八千三百四十七名
俘虜四千二百四十七名、計三萬二千九百一十一名

陸軍総合戦果

敵屍俘虜六十萬七千

大本營發表(昭和十八年十二月七日十五時)
昭和十七年十二月下旬より昭和十八年十一月下旬に至る一箇年間に收めたる帝國陸軍の総合戦果中主要なるもの並に我方の損害左の如し

一、南方及アリユン方面 △交戦せる敵第一線兵力約四十萬△敵に與へたる損害約十九萬三千名(俘虜及歸順約十萬を含む) △飛行機撃破二百七十八機 △撃沈及撃破せる艦船百八十五隻

二、支那方面 △交戦せる敵第一線兵力約二百三十七萬△我方にて收容せる死體約二十一萬△俘虜及歸順二十萬四千六百七十七名△鹵獲及撃沈破船船八十八隻△鹵獲舟艇三千四百六十六隻△飛行機撃破三百七十三機

三、我方の損害 △戦死三萬二千九百六十二名 △飛行機三百十三機

二ヶ年間の総合戦果 大東亞戦争開始以來、本年十一月下旬に至る二箇年間に收めた帝國陸軍の総合戦果中主要なるもの並に我が方の損害につき兩回の大本營發表を基礎に本社調査した結果左の如し

一、南方及アリユン方面 △交戦せる敵兵約百萬△敵に與へたる損害約五十四萬七千(俘虜及歸順約四十萬三千を含む) △撃破せる飛

行機四千四百五十二機△撃沈並に撃破せる艦船二百八十九隻
一、支那方面 △交戦せる敵兵力約五百九十七萬△遺棄死體約四十九萬
△俘虜及歸順約三十二萬七千六百七十七名△鹵獲並に撃破破飛行機四百九十一機
一、我方の損害△戦死五萬四千四百三十二名△飛行機七百二十二機

海軍の総合戦果

【七日】 大東亞戦争開始以來十二月五日のマーシャル島沖航空戦迄の二年間における帝國海軍部隊の收めた総合戦果並にこの間に於ける我方の損害左の如し(本社調査)

一、艦艇
撃沈 一八
撃破 一五
計 三三

空母 二七
巡洋艦 九二
驅逐艦 七九
潜水艦 四七
艦型未詳 一四七
特務艦 六二
特務艇 二〇九
砲艦 一一
掃海艇 一四
魚雷艇 一六
小艦艇 八

特設艦船 計
四四七 二四一 六八八
△撃沈破六七七隻△拿捕三〇三隻△計一一八〇隻

△撃破一、七二六機△計六、八七四機
△損害
一、艦艇
沈没 大、中、小破 一 一

空母 三
巡洋艦 三
驅逐艦 二
潜水艦 一
特務艦 一
掃海艇 六
小艦艇 三
特設艦船 二
計 五四 三二

三機
二、飛行機 自爆、未歸還一、二五

【十八日】 帝國海軍潜水部隊が大東亞戦争開始以來今日に至るまで收めた総合戦果は敵艦撃破二十四隻のほか通商破壊戦により敵船舶撃沈百六十隻、百二十五萬三千噸に上つてゐるがこれが内譯次の通り

一、撃沈 △戦艦一隻 △航空母艦四隻 △大型巡洋艦一隻 △輕巡洋艦一隻 △驅逐艦三隻 △潜水艦三隻 △計十三隻
一、撃破 △戦艦四隻 △航空母艦二隻 △大型巡洋艦一隻 △輕巡洋艦二隻 △驅逐艦一隻 △計十一隻 △撃沈破、合計廿四隻

【南京八日發】 支那派遣軍は八日の大東亞戦争二周年に當り左の當局談を發表した

一、大東亞戦争と支那戦線 緒戦に於て大敗を喫した米英は長期消耗戦の不利を悟り、急速に戦時態勢を整へ、尅大なる量で以て必死の反攻に轉じ、今や南方洋地に於る反攻の外他日總反攻の一環としてビルマ反攻を回遊してゐる證左とみる事が出来る

と共に在支米空軍を以て直接日本本土空襲及び海上輸送の遮断を企圖してゐる、重慶は自力抗戦に絶望するや抗戦の希望をひたすら米英依存に俾なき反極軸國の勝利を夢想し、その統帥指揮權の把握、空軍の進駐の願を許し、經濟的侵略を導入するなどならゆる狂態妄動を續け、かくして支那大陸における作戦の現段階は漸次複雑深刻なる性格様相を呈し、大東亞戦争における支那戦線の地位は更に一層重要性を加へつてゐる

大東亞戦争第二年に於て派遣軍はその本来の任務たる重慶軍撃滅作戦は勿論、中共軍に對しては愈々積極活潑なる作戦掃蕩を續行すると共に在支米空軍の蠢動に對して常にその機先を制しその呼號する對日本本土空襲を封殺した、次に一ヶ年間の作戦成果について觀察してみることとする

二、派遣軍一ヶ年の作戦成果 主要作戦は北支における十八春及び十八夏季太行作戦、次期剿共作戦、中西支では大別山作戦、春季及び夏季進攻作戦、太湖西南地區作戦、廣州灣進駐、廣九線沿線地區作戦及び現在行はれつつある揚子江上流地區よりの進攻作戦であるが、そのほか蒙疆並びに北中南支を通じ絶えず積極活潑に行はれつつある、いまその戦果を要約すれば次の通りである

①交戦回數約二萬二千回で一ヶ月平均千九百回、一日約七十回の戦闘が行はれてゐる、これは前年の二萬五千回に比較すると減少してゐるが、わが出動回數が昨年と大差ない點が、わが回數のこのことは敵が極力抗戦を回遊してゐる證左とみる事が出来る

②抗戦兵力は延數約三百萬で、前年の三百六十萬に比較すれば減少してゐるが勿論これも前項同様敵が抗戦を回遊するとともに一面敵兵力の補充の困難さを示すものである

③敵の戦死は約廿一萬、俘虜及び歸順の比率は九十五%となる、殊に昭和十五年度には十二パーセント、十六年度には廿九パーセント、前年が四十四パーセントであることからみれば、如何にこの一年間に俘虜及び歸順が増大してゐるかが解る、しかも從來の如く局部的、散在の歸順投降より愈發に集團的地域別に變化しつつあることはわが武威の滲透は勿論敵軍の戦意が著しく低下せることを雄辯に物語つてゐる

④鹵獲兵器に於いてみると火砲銃火器が減少すると共に銃劍、青龍刀の類が却つて増加をみてゐる、これは大東亞戦争後援道路を遮断され敵が主要兵器の補給がつかず漸次その裝備が低下しつつある證左であり又敵が遂次間に合せの武器で應戦せんとする現れである

⑤重慶 重慶は大東亞戦争勃發するや、あらゆる内外情勢の悪條件により經濟的にも民心の動搖は絶えず、弱點を自覺しつつも依然其抗戦主義は不變である、これは實に米英の勝利に希望を抱き抗戦を以て世界戦争の一環たらしめ、世界戰局的終局において勝利を獲得せんとしてゐるのである、即ち對外的には反極軸國側に仰頭的態度を示し、且つ國內的には軍事的消耗を避けて國內建設にその重點をおき極力長期抗戦態勢完備に努めつつあることが、わが特に抗戦意識の維持、昂揚と各種經濟施策の調整には多大の努力を拂ひ、前者に關しては「日本の崩壊近し」となす宣傳と、戦後における憲

復雜深刻化する大陸戦線

政實施の幻想を民衆に與へ、後者に關しては物資統制強化を策し田賦の改正、食糧買上げ制度の改定を行ひ、抗戰經濟の矛盾の解決に専念狂奔してゐる、一方國內建設の重點たる邊境開發にも異常な積極的關心を有し、幾多の脆弱を包藏しつつも所謂その抗戰建國、戰後經營は膨大にして夢想的な實現計畫を目標として遮二無二強行せられつつあるやうに觀察される、大東亞における米英の對日反抗に對してはこれに協同せんとする意志表示はしてゐるが嘗つてのビルマ戰線における苦き經驗の故に、今次ビルマ奪回作戰においてはマウントバツテンと共に種々畫策してゐるものなほ米英の反攻に一沫の不安を感じてゐる模様である、

◎在支米空軍 在支米空軍は米國の積極的な對日反攻の意圖を如實に反映し、本年三月在印米空軍の指揮下よりシエンノット少將を司令とする陸軍第十四航空隊として獨立し、兩來人的物的兩方面を増強した、しかして中南支のわが占據地域、南支那海における船舶等に對し、前年に比較し活潑なる出撃をみせつつあるが常にわが航空部隊の機先を制する作戰に今日までその呼號する對日本本土空襲を企圖し得ない状態にある、しかしながら最近において重慶空軍の一部をその指揮下に入れ、米支混合航空部隊を設立し、遂次重慶空軍支配の相貌を現すとともに、近き將來における米空軍自體の飛躍的増強を圖り、もつてわが本土空襲並びに海上輸送線遮斷を窺ひつつあるは嚴に注目警戒を要する

◎國民政府 國民政府は本年一月米英に對して宣戰し、自ら進んで大東亞戰爭の後方任務を分擔し、從來の「同甘共苦」の四字をもつて國民指導の目標となし、新國民運動を展開し清の郷土を推進し、帝國と一體協力の實を擧げつつある、即ち昭和十六年七月僅か蘇州近郷に始まつた清郷工作はいまや江蘇、浙江、安徽の三省及び河北湖北省にまで擴大され全面的に參戰中國における生産力の擴充増加を目指して躍進を續けてゐる、また去る十月三十日の日華同盟條約の締結により國父孫總理の遺囑は完整せられ、國府は爾來帝國と眞に一體協力大東亞戰爭を完遂し、中國の統一と獨立完整の實現に邁進すべき大道を明かにしたのである

◎大東亞戰爭第三年における大陸戰線が漸次その相貌を改め、大東亞戰爭の一環として愈よその重要性を加へつつあることは上述の如くである、而して戰爭は三年に入りなほも重慶は帝國の眞意を解せず、その後もわが勢力を過少評價し日本を抹殺排除せんとする抗戰方針を繼續するものとみななければならぬ、即ち實においては低下せりとはいへ、依然三百萬の兵力を擁し、たとへば極的な軍事的消耗を回避するも力遊撃戰による後方擾亂を策することは推察に難くない、米國もまたその東亞制覇の野望を逞しうして大陸よりする反攻を積極化し、對日本本土空襲の機を窺ふこと愈よ顯著なるものと判斷されるかかる點から言へば大東亞戰爭第三年における大陸戰線的情勢は決して第二義的輕視を許さない、しかし帝國の重慶に對する戰略態勢は北は蒙疆より北中南支、佛印、タイ、ビルマに至る蜿蜒四千キロに亘る包圍陣を形成し、しかもその間における戰略上の重要據點は悉くわが掌中にある、如何なる情勢に際するも斷乎擊碎の鐵槌を下し得るのみならず、時に應じその基地を移轉し、その勢力を覆滅せんがため一切の準備と用意を有することを茲に明言する、即ち派遣軍は既述の方針を堅持して愈よ意氣軒昂その全力を奮つて大東亞戰爭遂行途上に横はる一切の抗戰勢力を擊滅せんことを期する次第である

一般

敵機擊墜破百四

最近八日間の陸軍綜合戰果

大本營發表【十二月四日、十二時廿分】帝國陸軍航空部隊は十一月廿五日より十二月二日迄の間に各方面の敵航空部隊に對し、次の戰果を収めたる

- 一、緬甸方面 △擊墜四三機（内不確實八機）△擊破六機
- 二、「ニューギニア」島方面△擊墜二八機（内不確實七機）△擊破二機
- 三、支那方面△擊墜一五機（内不確實八機）△擊破一〇機

同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還八機なり

陸軍航空部隊の十一月廿五日より十二月二日に至る八日間における各戰線の戰況狀次の通り

△ビルマ方面 最近における敵空軍の執拗を極め、これを遊撃する我が航空部隊及び地上部隊は、應戰に寧ろなき状態である、殊に敵空軍は、重慶機隊が我が遊撃により、その都度擊破せられ、損耗甚大なるに鑑み、十一月二十五日より、同方面としては、初めての戰機連合による盲爆戰術を採用し來り、二十五日十一時五十分、P51約十機、午後二時、B25九機、P51六機をもつて、波狀的に來襲したがこれを遊撃した我が戦闘機（内不確實一機）、ビニーファイタ一機（不確實）を擊墜、我が方一機損傷を受けたが、搭乗員は落下傘で無事降下した更に同夜十時五十分頃、ダグラス約二十機を以て、ラングーンに來襲したが、地上兵器により、二機に損傷を與へて擊退した、引續き廿六日午前四時三十分ウィツカース・ウェリントン約十機、ラングーンに來襲、我が空地部隊の攻撃により、一機を擊墜、一機に損傷を與へて擊退した、廿七日午後三時三十分頃、B24四十九機、同じくB25九機P40P51その他約三十機、計八十八機を以てラングーンに來襲、これを遊撃した我が空地部隊は、B24四機（内不確實一）B25三機、P51五機、小型機二機、計十四機を擊墜したが、我が方二機の犠牲を出した、廿八日には午後二時五十分、敵機連合六十四機、ラングーンに來襲、空中戦、地上兵器により、P51、六機（内不確實三機）を擊墜、我が方自爆一機を出した、十二月に入つて一日午後三時頃、B24約四十機、P38三機、P51三機、ラングーンに來襲、我が戦闘機隊は、これを遊撃し、B24十機、P38一機、P51二機計十三機を擊墜、ほかに高射砲によるB24二機、總計十五機を擊墜する痛手を負はしたが、我が方も一機の犠牲を出した、斯かる熾烈なる遊撃戰の一方、我が陸軍は、十一月廿八日午前十一時三十分、戰機連合をもつて東部印度のフェニー飛行場奇襲に成功し、わが爆撃機隊は、飛行場滑走路西側地區を火網を以て捕捉在地敵機一機を炎上、二機を大破せしめ、戦闘機隊は、攻撃の途次、チッタゴン東方で、敵戦闘機P51九機と交戦、その二機（不確實）を擊墜したが我方未歸還一機を出した

△エニールギニア方面 十一月廿六日 陸軍航空部隊は、戦爆連合の編隊を もつて、フィンシハーヘン附近敵陣 地を攻撃、重大なる損害を與へた、 この間、戦闘機隊は、敵機二十数機 と交戦、敵二機を撃墜、この攻撃に おける我が方の自爆三機、十一月廿 七日九時廿七分、敵はB24機五十、 戦闘機五十計約百機の戦爆連合の編 隊をもつて、ウエラクに襲撃、我が 地上砲火によつてB25十二機(不確 實三)を撃墜されて遁走した、十一 月二十八日九時四十分頃、B24二十 五機、P38数機の編隊をもつて敵は ウエラクに襲撃したが、我が地上砲 火に阻まれて侵入し得ず逃避したが

我が高射砲は、この襲撃敵機の内B 24四機を撃墜した、我が方損害なし 此れと時を同じうしてB24四十機戦 闘機三十機の敵編隊はウエラク方面 飛行場に襲撃したが、我が地上火器 により、B24三機は火焰を吐いて撃 退された、十二月一日十一時頃、ウ エラク地区に、B24四十数機、P40 P43約二十数機襲撃したが、我が 戦闘機隊は、これを邀撃、B24五機不 確實二、P40二機を撃墜したほか、 地上砲火によりB24三機(不確實二) を撃墜した

△支那方面 十一月三十日我が陸軍 航空部隊は、戦爆連合の編隊を以て 常徳附近敵軍事施設を攻撃、その際 敵P40、P43四五機と交戦、P43二 機(不確實一)を撃墜、我が方全機 無事歸還した、十二月一日我が戦闘 機隊は、B24十機、戦闘機二十数機 をもつて香港及び廣東に襲撃せる敵 編隊を、兩地上空に邀撃し、P40七 機(不確實四機)を撃墜、B24一機 P40六機に大損害を與へて撃退した

我が方損害なし、同日我が陸軍航空 部隊は十五時四十分頃、建國飛行場 を攻撃、滑走路を爆砕、全機無事歸 還した十二月二日十五時十分、我が 陸軍航空部隊は、戦爆連合をもつて 遂川に進攻、火網を以て同飛行場を 捕獲、地上に在りしB25二機を撃破 せるほか、P40十数機と交戦、二 機(不確實一)を撃墜、又同日他、 一隊は、再び遂川に進攻、上空にお いて敵戦闘機と遭遇P40(不確實二) を撃墜、さらに吉安及び南雄飛行場 を攻撃、滑走路を爆砕したが南雄に 於ては敵B25一機を地上撃破した我 方が方の損害自爆一機

支那方面

支那派遣軍週聞戦況

【南京三日發】(十二月三日發表)

洞庭湖西方地区に進攻中の我軍は進 攻開始以來二旬にして中央直系五ヶ 軍約十萬の敵を撃砕し、その最重要 據點常徳に對し彼が最長と呼號する 余程萬軍を猛攻し、目下城内におい て更に敵を掃蕩中である、他の有力 部隊は常徳救援のため北上するがわ 部の側背を衝かんと北の上する薛岳 下の張漢明、方先覺の指揮する二ヶ 軍數ヶ師を龍陽地区に捕獲、二日以 來隨所に包圍殲滅戦を行ひ敵の企圖 を全く水泡に歸せしめてゐる、また 廿六日以來汕頭デルタ地区に肅清作 戦を展開中のわが南支軍は遊撃匪約 一千を潰滅し多大の戦果を擧げ所期 の目的を達成した、なほ地上部隊に

協力中の我航空部隊は二日遂川、南 雄を各個に急襲し、敵軍事施設並に 滑走路を爆砕するとともに敵P40型 十、P51型数機と交戦、このうち七 機を撃墜(内不確實四機)し、地上 にあつたB25型ほか一機を撃墜する など赫々たる戦果を収めた、この日 我が方自爆一機を襲はした、この他 去る一日香港地区を襲はんとする敵 米空軍B25型、P40型二十数機を邀 撃、そのうちP40型七機を確實に撃 墜した

【南京十日發】(十二月十日發表)

去る三日重慶が難攻不落を誇つた常徳 縣城を完全攻略した我が軍は、急速 常徳救援のため第九戦區を動員派遣 せる梁漢明、方先覺二ヶ軍數ヶ師を 邀撃し、これが徹底的殲滅を期して いる、即ち雷家集地区に敵豫備第十 師を捕獲し敵師長以下悉くを殲滅し またわが側背を狙ふ敵有力部隊を漆 家河附近に包圍別決中、この他常 徳周邊全域に亘り隨所に掃蕩殲滅戦 が展開せられてゐる

△なほ陸軍航空部隊は地上部隊に呼 應して常徳上空に執拗に迫る敵機を 邀撃多大の戦果を収めてゐる、即ち 四、五、六の連日に亘り來襲せる敵 P40、B25と空中戦を交へ計十九機 を撃墜した

△敵は本作戦開始以來師長團長を始 めめ大きな兵力、兵器を喪失し、剩 へ重慶防衛據點たる常徳を失ひ、今 や策の施しようもなく、徒らに兵力 を動員し損害を累積してゐる

【南京十七日發】(十二月十七日發表)

△中支洞庭湖西南地區において常 徳救援を企圖せる施中誠、梁漢明、 方先覺の三ヶ軍を殲滅したわが軍は 引續き第二次常徳救援軍として第九 戦區より派遣せる第五十八、第七十 二、暫編第二の三ヶ軍を下徒山、蕪 家鎮附近に捕獲し、航空部隊の密接 と密接に協力すると共に廿三日午後 なる協力のもとに逐次包圍殲滅を 縮隨所に撃滅戦を展開中である、敵 はこの作戦において師長以上九名を 失ひ今や敵の重慶第一防衛地區とし めたるほか、十八、十九、二十一、 二つの第六戦區は將に崩壊せんとし つつある、又華北において續行中の 蘇北肅清作戦は敵の抵抗戦力培養源 を徹底的に覆滅して敵屍俘虜七百九 十三、擊沈船舶四百十三をはじめ多 数の武器彈藥を鹵獲し、多大の戦果 を収め八日終了した、なほ陸軍航空 部隊は地上部隊の作戦に協力し、來 撃する敵を撃攘するほか、四日より 十二日まで連日衡陽、零陵、梧州、 韶關、郴縣等敵重要基地を急襲して 砲機四十四機を撃墜、四十機を撃破 炎上せしめたのははじめ滑走路、軍 事施設を完膚なきまでに粉砕し赫々 たる戦果をさめつつある

【南京廿四日發】(廿四日發表)

△中支湖南戦線において敵の第一次、 第二次常徳救援軍を撃滅した我が軍 は、引續き隨所に掃蕩別決戦を展開 中である、即ち十六日魚洋關北方に 來襲した敵有力部隊を攻撃しその數 百を包圍するとともに、十七、八兩 日より彭家灣(西齊西南四十キロ) 附近に敵の第八十五師約一萬をま だ煖水街西南地區にあつた敵第十二 第十八の二ヶ師を急襲、これを邊山 河附近に包圍殲滅して目下殲滅戦を 展開中である、一方十二月初旬以來 第六戦區の危急を救はんと奮動する 敵第五戦區李宗仁麾下の數ヶ團を當 陽、信陽、宜昌各地において捕獲攻 撃し敵屍約八百の戦果を収めてゐる

△また洞庭湖西北地區において去る 十一月二日以來展開中の進攻作戦は 更に北支においても赫々たる戦果を 収めつつ隨時隨所に討伐戦を實施中 である

【南京卅一日發】(十二月卅一日發表)

△大陸戦線を縱横に活躍中のわが航 空部隊は廿四日重慶軍の集結せる桃 源(湖南省)に進攻しこれを潰滅せ しめるとともに、引續き廿七、卅の 兩日に亘り長驛敵の蠢動基地たる遂 川飛行場を急襲、邀撃せんとする敵 戦闘機と空中戦を交へ、そのうち一 機(内不確實三)を撃墜し地上に あつたP38二機、B25十機、P40一 機、輸送機一機を撃破炎上せしめる など多大の戦果を収めた、この日の わが方の損害は自爆五機である

△なほわが在支航空部隊が十二月廿 九日現在において敵空軍に與へ た損害は撃墜九十四機、撃破五十九 機、計百五十三機を算してゐる、か くの如くわが航空部隊の攻撃は連日 愈々熾烈の度を加へつつあるととも に、いまや増強に狂奔する敵空軍を して焦慮措く能はざらしめてゐる

赫々たる戦果を収め所期の目的を完全達成し、十二月二十五日原態勢に復歸するとともに次期作戦に萬全を期してゐる

一ヶ年に六回の主要作戦

【七日】我が陸軍部隊は過去一ヶ年問支那大陸戦線に於て左の如く六回の主要作戦を遂行し、重慶陣營に重大な打撃を與へた、主なる戦果左の通り

一、蘇淮作戦（十八年二月中旬より三月中旬）津浦線東側淮河下流に蟻居する蔣系第八十九軍及び共産新四軍に對し、國府軍と協力撃滅作戦を行つた△敵遺棄死體一、八〇〇△俘虜七、〇〇〇

二、江北殲滅作戦（十八年二月上旬より三月末）洞庭湖北方地區に蠢動する蔣系江北挺身軍及び王勁哉軍を捕提撃滅△敵遺棄死體八、六〇〇△俘虜二、二〇〇

三、十八春太行作戦（十八年四月中旬より五月末）山西、河南省境山嶽地帯の蔣系二十四集團軍及び共産軍を剿滅し集團長龐炳勳、新編第五軍長孫殿英を和平陣營に参加せしめ共産軍冀察戰區を完全に抹殺した△敵遺棄死體一、五〇〇△俘虜及び歸順七五、〇〇〇

四、湖南進攻作戦（十八年五月上旬より六月中旬）洞庭湖南方及び宜昌對岸地區の敵第廿九及び第一兩集團軍を空陸江三方面より捕提撃滅した△敵遺棄死體四五、七〇〇△俘虜六四、〇〇〇

五、華北共産軍覆滅作戦（十八年九月上旬より十一月末）華北地區共産黨勢力を撃碎するとともにその蠢動

培養基地を別抉一掃した△敵遺棄死體二、五〇〇△俘虜一、九〇〇

六、第六戰區進攻作戦重慶防衛正面戰區たる第六戰區の中央直系數ヶ軍團を撃滅し中心據點たる常德を攻略した△敵遺棄死體一八、四九〇△俘虜三、三六〇

支那方面艦隊綜合戦果

【上海七日發】大東亞戰爭二周年に際し支那方面艦隊で過去一ヶ年の戦果に關し左の如く發表した

△支那方面艦隊報道部發表（昭和十八年十二月十七日十六時）

支那方面艦隊は在支帝國陸軍部隊と緊密に協力し、重慶軍並に在支敵軍隊の撃滅に當ると共に、全支沿岸の海上封鎖並に敵船掃蕩に任じ、海上交通保護に最善の努力をなし來れる

△この間日華兩國關係の増進に伴ひ租界返還、治外法權撤廢、敵産の處理等諸般の政策遂行に協力して前項の任務を遂行せり、更に大東亞戰爭完遂のため大陸資源の開発および輸送に當りては、大東亞省並に陸軍各機關と密接に協力して戦力の増強に多大の貢獻をなし、更にパドリオ

政權の離反による國際情勢の變轉、ビルマ及びフィリピン共和國の獨立をはじめ日華同盟の更新たる日華同盟條約締結による大東亞諸國協力の増進等に對し、戰爭完遂のため適切な方策を實施、日華同生共死の團結を中心とする大東亞諸民族の糾合協力を關し遺憾なきを期せり、この間の主要なる作戦を擧ぐれば左の如し

昭和十七年十一月中旬より十二月下旬に亘る期間及び十八年二月中旬下旬北支方面部隊は陸軍と協力して山東

半島方面敵匪の掃蕩に任じ、十八年一月下旬には南支方面部隊を以てすの廣州灣無血進駐を行ひ、又海南島掃蕩作戦を行ひ多大の戦果を収め、揚子江方面部隊は沿岸各地における執拗なる敵の襲撃を封ずると共に本年三月下旬より五月下旬に亘り宜昌航路の啓開を行ひ水路の確保に任ぜり、一方敵空軍反攻に當りては航空部隊の勇戦奮闘に協力して、これが撃滅に任じつつあり、過去一ヶ年問における綜合戦果左の如し

一、敵に與へたる損害 △擊沈船艇二五三隻△拿捕艦艇四〇八隻△擊墜飛行機一六機△處分機雷四八九個△鹵獲兵器その他 銃砲五、〇三三挺、同彈藥一七、八二七三發、手榴彈三、〇四個、地雷及爆雷五六個△遺棄死體一三、六四三名△俘虜二、五四五名△投降歸順八、六五九名

北 華北全域に討伐肅清作戦

敵屍俘虜三萬六千餘

大本營發表（十二月六日十五時）北支那方面帝國陸軍部隊は九月中旬以降華北全域に亘り討伐肅清作戦續行中にして作戦開始以來十一月三十日迄に判明せる主要なる戦果次の如し

一、敵に與へたる損害 △遺棄死體二五、三九五△俘虜一〇、九四六△覆滅施設二、一一二△鹵獲品 火砲二九門、銃器一四、一二九挺、地雷及び手榴彈五三、八六六發

一、我方の損害 △戰死七三八名 剿共戰史に金字塔【北京六日發】北

支軍は今秋季肅清作戦の戦間概況並に赤色抗戦根據地の崩壊狀況は次の如くである

一、冀西作戦 肅清作戦の劈頭を飾つた冀西軍區擊滅戰は九月一日拂曉を期して開始され、わが鐵脚精銳は京漢線、石太線並に蒙疆東南部等から一齊に進軍第七團長韓光宇、第四分軍區第七團長韓光宇、參謀長以下數名の幹部、軍政黨員等を戦死せしめるとともに、赤色抗戦力の培養源たる地下軍事諸施設を別抉しつ兵器製造工場、軍衣工場、糧秣倉庫、赤色邊區銀行及び偽縣政府等を片端から覆滅し去つた、特に聶榮臻麾下の普察冀邊區軍の中樞部阜平周邊の軍政諸機關並びに神農山南方附近に隱匿蓄積されてゐた膨大な抗戦資材を鹵獲した

一、冀東地區肅清戰 滿洲赤化を企圖し河北、熱河省境の長城線一帯に強靱な組織網を持つ赤色冀東軍區の掃滅戰は、冀西軍區擊滅戰と期を同じくし關東軍精銳、華北綏靖軍諸部隊との協力裡に展開され、潰亂する隊を克林麾下の第十二團を撫寧、遷安等で完膚なきまでに撃擧、赤色蠢動據點を覆滅し、更に銳鋒を京山線以南に擴大して灤河、涉河、沂河流域に根を張る抗戦施設を別抉しつつ濕地帯と泥濘路を衝いて南下し、鐵一、晋西北作戦 抱擁した

軍區を治安地區に抱擁した 迴廊である賀龍指揮下の晋西北軍區擊滅戰は九月二十六日火蓋を切りわが精銳諸部隊は第二百十師獨立旅を追撃し、陝西省へと遁入せんとする敵を黄河々畔において捕提撃滅延安政權の二大前衛根據地と蒙疆赤化路線を完全に爆破した

一、太岳軍區擊滅作戦 劉伯承集團軍の觸角牙城として陳曠麾下の獨立

軍區を覆滅すべく南皮縣城周邊を中心に熾烈な別抉戦をくりひろげ、鐵道破壞糧秣強奪等を行ひつつあつた同軍區を徹底的に捕提蹂躪し、更に津渤海地區に蠢動する冀中軍區殘存匪を撃滅した

一、舊黄河々畔別抉作戦 山東省舊黄河下各軍區に對する別抉は、濟南地區山岳地帯の濟陽附近に蟠居する冀魯軍區の覆滅を皮切りに九月下旬から開始され、魯西軍區の陽德志遊撃部隊を南部曹州道周邊で徹底に粉砕し、その隸下部隊たる華北抗日軍軍司令朱程及び同第一團長桑玉山以下幹部多數を斃し更に十月中旬から魯西中部並びに冀南地區共産黨軍に猛撃を加へ蒙城、陽穀、東阿の縣境山岳地帯に遊撃する冀魯豫邊區軍冀南軍區東進枝隊に痛撃を加へ、引續き十一月月中旬から舊黄河和小清河の山岳地帯に地盤を有する清河軍區（司令楊國夫）を撃滅すべく陸軍部隊の協力下行動を開始し、中隊の所謂山東抗日根據地の兵站補給源を完膚なきまでに覆滅し、同地區の鹽棉花、小麥、高粱等の重要諸物資を確保するとともに山東赤化の温床であつた清河軍區を初め魯中軍區膠東軍區を治安地區に抱擁した

一、晋西北作戦 抱擁した 迴廊である賀龍指揮下の晋西北軍區擊滅戰は九月二十六日火蓋を切りわが精銳諸部隊は第二百十師獨立旅を追撃し、陝西省へと遁入せんとする敵を黄河々畔において捕提撃滅延安政權の二大前衛根據地と蒙疆赤化路線を完全に爆破した

第一師を基幹として決死第一縱隊決死第三縱隊を配する太岳軍區の攻撃は十月二日開始され、東潞線と南同蒲線の各方面から進撃し北部太行山脈の沁河々口の大地隙を克服しつづ岳陽、沁源、沁水等の赤色縣城を別決取敵を黄河々畔に追ひつめ殲滅的打撃を與へ、また武力破碎に膚接す

特別政治工作戦は中央の政治組織地下抗戦施設を別決し更に山西剿兵軍も皇軍の一翼として作戦に協力、中共黨軍最大の武力培養地帯と呼號する普魯豫豫軍區を半身不隨に陥れた

清河軍區覆滅作戦綜合戰果

【山東前線〇〇十一日發】華北秋期剿共作戦の一環として去る十一月中旬より山東省北部一帯に展開された清河軍區覆滅作戦によつて、山東共產軍の兵站補給源たる清河軍區に再起不能の大打撃を與へて八日その銳鋒を收めたが、右に關し現地軍では十一日左の如き綜合戰果を公表した

支 中 揚子江下流一ヶ年 戰果

【上海卅日發】揚子江下流

地區におけるわが遣支陸軍の過去一ヶ年間に於ての綜合戰果につき卅日上海陸軍部報道部は次の如く發表した

△支那派遣軍上海陸軍部報道部發表大東亞戰爭は米英の暴戾を攘ちて今や決戦第三年に突入し、戦局は益々苛烈を極めつつある折柄、現下最重要戰場の一たる大陸においても支那派遣軍空陸海各精銳は斷々乎として重慶抗戦力撃滅へ一切をあけて邁進しつづ大なる戰果を收め正に崩れゆ

かんとする敵抗戰態勢に最後の止面を差さんとす、揚子江下流方面においてもわが陸軍諸部隊は野戰軍たる本來の面目に立還り、一切を擧げて敵擊滅に邁進、二月嚴寒の蘇淮地區に重慶軍第八十九軍並に新四軍擊滅作戦、また十月はじめ、廣徳り、敵側戰死についても明らかであ

るに拘らず抗戰敵兵力は却つて十餘萬を減少せるに見ても同じことが蘇淮作戦においても同様である、蘇淮作戦に對して長期に亘るわが方の徹底掃蕩により敵が虎の子の如なる綜合戰果(常徳縣城攻略戰の戰果を含まず)次の如し

△覆滅せる敵側諸施設、糧倉二九、兵器廠二、被服廠七、糧秣庫五、△擊沈船舶一四三、△敵遺棄屍體六二二、△俘虜一七一、△鹵獲品、迫撃砲二、輕機六、小銃三〇五、洋砲四六一、手榴彈八、三五三、その他糧秣被服莫大なり、△わが方の損害戰死一三

進しつづある、就中十月初よりの廣徳周邊に對する忠救軍掃蕩作戦は忠救軍が揚子江下流一帯に對する敵側唯一のテロ謀略工作擔當部隊であつただけに、その擊滅、廣徳一帯のわが軍による確保は揚子江下流一帯の治安向上に飛躍的發展を約束せるものにしてその意義は重大である、揚子江下流方面における陸軍諸部隊の本年一ヶ年間の綜合戰果を概見すれば左の通りであるが、これによつて見ても今や重慶輸血路は完全に封殺せられ、僅かに有名無實にも等しい

印支空輸ルート以外補給の道を斷たれた敵側の戦力は総合的に如何に低下したかを物語るに充分である、敵側最近の戦法もわが精銳部隊との正面衝突を極力避け、自己兵力の温存に汲々たるの有様である、わが出撃回数が一昨年度より約六百回を増加したに拘らず抗戰敵兵力は却つて十餘萬を減少せるに見ても同じことが蘇淮作戦においても同様である、蘇淮作戦に對して長期に亘るわが方の徹底掃蕩により敵が虎の子の如なる綜合戰果(常徳縣城攻略戰の戰果を含まず)次の如し

△敵に與へたる損害 我方にて收容せる死體一、〇〇六(師長六名を含む) △俘虜一〇、六六四 △飛行機擊墜二〇機(内不確實一機) △鹵獲品火砲七七門、銃器三、一三七挺一、我方の損害 △戰死七七八名

【漢口十一日發】中支方面作戦軍發表(十一月十五日時) 軍は作戦發起以來、ここに月餘、敵第六、第九兩戰區の戦力を徹底的に破摧すると共に常徳附近の敵軍根據を完全に覆滅し、目下なほ作戦を續行中なり、十二月八日まで判明せる戦果次の如し

常徳縣城を完全占領

重慶第六戰區進攻作戦 綜合戰果

大本營發表表(十二月四日十六時) 十一月二日より重慶軍第六戰區に對し進攻作戦中の帝國陸軍部隊は同戰區の敵に徹底的打撃を與へ十二月三日十一時常徳縣城を完全に占領せり

本作戰開始以來十二月一日迄の主要なる綜合戰果(常徳縣城攻略戰の戰果を含まず)次の如し

一、敵に與へたる損害 我方にて收容せる死體一萬八千四百九十七、俘虜三千三百六十一、飛行機擊墜十四機、鹵獲品火砲七十四門、銃器三千二百七十五挺 一、我方の損害 戰死五百五十六名

敵一軍殲滅、飛行機廿擊墜

大本營發表表(十二月十一日十一時) 中支方面帝國陸軍部隊は常徳附近の戰闘に於て更に次の戰果を收めた

り(十二月四日發表せるものを含まず) 一、敵に與へたる損害 △我方にて收容せる死體一、〇〇六(師長六名を含む) △俘虜一〇、六六四 △飛行機擊墜二〇機(内不確實一機) △鹵獲品火砲七七門、銃器三、一三七挺一、我方の損害 △戰死七七八名

計十三師を完全殲滅

【漢口十一日發】中支方面作戦軍發表(十一月十五日時) 軍は作戦發起以來、ここに月餘、敵第六、第九兩戰區の戦力を徹底的に破摧すると共に常徳附近の敵軍根據を完全に覆滅し、目下なほ作戦を續行中なり、十二月八日まで判明せる戦果次の如し

一、殲滅 ①第七十三軍(暫編第五師、第十五師、第七十七師) ②第九十九軍(第六十三師、第十九師) ③第九十九軍(第九十九師、暫編第五十四師) ④第四十二軍(第六十一師、第九十師) ⑤第十軍(第三師、第九十師、豫備第十師) ⑥七十四師(第五十四師)

二、擊滅 ①第八十九軍(第九十八師、第九十四師、暫編第六師) ②第六十六軍(第八十五師、第九十九師) ③第七十四軍(第五十一師、第五十八師)

三、擊破 ①第十八軍(第十一師、第十八師) ②その他第六十二師、第十三師、第九十二師及び第六十七師、第三十師の各一部 (註)「殲滅」は敵戦力を十分の一以下に減せしめたる場合、「擊滅」は二分の一以下に減せしめたる場合、「擊破」は敵戦力の三分の一以下を減せしめる場合を云ふ

滅に赫々の大戦果を樹立しつつあるが、○日作戦軍將兵の勇戦善闘に對し、畏くも御嘉賞の御言葉賜つた旨が前線○基地に傳達され、現地作戦首脳部は恐懼感激、直ちに作戦全軍にこの有難き旨を傳達すると共に、十六日○基地において謹んで東方を遙拜、聖壽の萬歳を奉唱、皇恩に報ずる誠を誓ひ奉つた

何應欽損害を發表

【廣東二十二日發】 今次の洞庭湖西方敵第六戰區進攻作戦においてわが中支軍精銳部隊は蔣介石秘藏の直系軍十三個師を殲滅、敵師長六名を屠つて潰滅的打撃を與へたが、重慶參謀總長何應欽は二十一日中共記念週において詳細に亘り今回の戰鬪經過を説明、その際第五十師師長許權廷及び第十師師長孫明瑾第五師師長彭士量が戦死を遂げた旨發表した

煖水街附近で激戦

【中支前線〇〇二十三日發】 湖南西部戦線における救援の敵第十一師、三十八師および第八十五師の撃滅戦は今や最高潮に達し、わが精銳部隊は煖水街附近巴山山系において十八日來壯烈なる肉弾相うつ激戦を展開、敵に潰滅的打撃を與へ重火器多數を鹵獲した、敵はわが猛攻にたまたかぬ二十二日夕刻來、西方山中に潰走中である

重慶防衛の中核地帯を覆滅

【中支前線〇〇廿九日發】 今次中支軍の冬季進攻作戦は去る十一月二日火蓋を切つて落してより文字通り怒濤の進撃を續け、東西三百キロ、南北百數十キロの廣大なる地域に亘り

敵第六戰區軍を蹂躪し、その十ヶ軍合計廿八ヶ師を撃滅、重慶防衛の中核地帯を徹底的に覆滅して偉大なる戦果を獲得すると共に、重慶防衛戦力破砕を完全に遂行して作戦軍は十月廿五日ここに概ね原態勢に復歸した

突進突破、六十有餘里の今次奥地進攻作戦は最初より一城一砦の奪取を意圖するものではなくて全く敵戦力の破砕にあり、重慶防衛の中核地帯もいふべき常徳周邊の敵防衛陣地地帯を蹂躪覆滅して重慶抗戦力の根幹たる第六戰區の戦力を徹底的に撃滅せんとしたものであつて、重慶陣營に與へる打撃は實に甚大なるものがあり敵二十八ヶ師の兵力撃滅と敵重慶が數ヶ年の歳月と數億の巨費を投じて築き上げた常徳周邊の防禦陣地を覆滅したことは、わが突進突破の強烈なる戦力を堂々世界に顯示したもので、更に常徳以南の第六戰區には敵豫備軍なしといふ敗戦ぶり、敵は我が突破口を閉鎖する實力を全く失ひ、遂に第九戰區或は南昌南方方面から第一次第二次と常徳救援軍を狩り出す有様であつて、しかも第一次常徳救援の第十師、第九十九師、第一三軍は常徳南方地區で我軍に捕捉殲滅され、第二次救援軍の暫編第二第五十九、第七十二の三軍も我が威力におそれてたゞ掛聲ばかり大きかつたが、我が巧緻を極めた作戦のため隨所に撃滅される悲運に陥り、遂にその常徳救援の目的は一として達し得なかつた、また廣大なる地域に

おいて在支米空軍が中期において漸くP51、P40、P43、B25が戦場にその姿を現はしたが、實効は殆んどなく、彼等はただ米支共同作戦の建前からお座なりに参加したものとみるべきで、これに對して我が方は撃陸軍航空部隊の優秀性を世界に誇示するに至つた

次に今次作戦における敵の遺棄した死體三萬二千七百四十七、俘虜一萬四千三百三十五の敵の人的大損害をみると、遺棄死體に比し俘虜數の多いことが今次作戦の特徴を物語つてゐるが、第一次長沙作戦（遺棄死體五〇、〇〇〇、俘虜四、三〇〇）第二次長沙作戦（遺棄死體五七、三〇〇）俘虜一、九五七、浙贛作戦遺棄死體（四一、九六〇、俘虜一〇、九九二）大別山作戦（遺棄死體六、五〇〇、俘虜一、五〇〇）宜昌作戦（遺棄死體一八、〇〇〇、俘虜三、五〇〇）等に比し、今次作戦においては俘虜の著しく増加してゐることが目立ちこれに畢竟重慶陣營に物語るもの抗戰意識の低下を雄辨に物語るものといふべく、蔣直系の第六戰區においてかかる實情から推してその抗戰意識の薄弱振りが察知される、更に今次作戦の著しい特徴として鹵獲品に火砲が過去の作戦に比し歴史的多數に上つてゐることである、即ち山砲、速射砲、歩兵砲、迫撃砲など總計百五十八門を得たが、これを過去長沙作戦の八十五門、第二次長沙作戦の八十門、宜昌作戦の四十四門、大別山作戦の六門、浙贛作戦の百三十門、江南殲滅作戦の九十

悉く包圍急襲であつたこと、更に徹底した奥地進攻を敢行して敵の精銳軍を衝いてこれを捕捉殲滅したこと、が主因であり、わが中支作戦軍將兵が如何に精強且つ勇戦奮闘せるかを如實に物語つてゐる、重慶防衛の中核たる第六戰區の徹底的戦力破砕の偉大なる今次作戦の戦果に對して畏くも御嘉賞の御言葉を賜り作戦軍將兵の感激は更に新なるものがあらう今後一段の奉公を誓つて儼然たる大陸の護についてゐる

敵機武漢地區に來襲

【漢口十日發】 執拗なるゲリラ的蠢動を繰返しつつある在支米空軍は九日午後九時二十分及び十時廿七分の二回に亘り二十分及び十時廿七分の機編隊を以て武漢地區に夜間空襲を試みんとしたが、我が完璧の防空陣に阻まれ武漢郊外に盲弾を投下したのみで、我が方に何らの損害もなく倉皇として遁走した

漢口十二日發

【漢口十二日發】 在支米空軍十數機はまたまた十二日午前零時四十六分頃武漢地區に來襲したが、わが熾烈な地上砲火に阻まれ、徒らに〇〇及びその西北方郊外に盲弾十數發を投弾遁走

〇〇基地十三日發

【〇〇基地十三日發】 十二日午後九時頃及び十一時頃の二回に亘り又もや在支米空軍はB25、B24、爆撃機數機を以て武漢地區に來襲したが、わが鐵壁の防空砲火を浴び徒らに華民街に盲弾を投下、無幸の中國民衆若干名を負傷せしめたのみで倉皇と遁走した我方には何等損害はなかつた

漢口十五日發

【漢口十五日發】 十三日午後十時半頃敵ノースアメリカンB25七機の編隊が二回に亘り武昌上空に來襲したが、わが地上砲火に追ひまくられ機夷彈を盲滅法に投下したのみで遁走我が方に損害は無かつた

敵機安慶方面に來襲

【漢口廿一日發】 廿日午前十時四十分頃在支米空軍はB25五機、P51二機をもつて揚子江中流安慶方面に來襲したが、わが海軍艦艇はこれに猛攻を浴せ一機を確實に撃墜した、これに關し漢口海軍報道部は廿一日次の如く發表した

廣九作戦の輝く戦果

【廣東十三日發】 我が南支軍精銳部隊による廣九鐵路沿線地區掃蕩作戦は、開始以來ここに一ヶ月、その間香港防衛軍と緊密なる協力の下に同地區に蟄居する重慶軍並に共産匪を徹底的に肅清討伐して我が治安圏を擴大強化すると共に、香港廣東間の陸上連絡を確固不動のものとし、ここに底蘊の目的を達成肅清作戦の第一段階を終了した目下新占據地域では着々と建設工作が進捗中で、一般住民も衷心よりこれに協力その成果は眞に目覺しいものがある、しかして同方面の我が警備隊は依然各要點を占據して治安の確保に任ずると共に引續き中國側軍隊と協力して敗殘敵匪の別扶掃蕩に努力しつつあり、また國民政府の行政機關も既に新和平區域に進出して活躍してゐる

支

今次作戦において特に顯著な現象と

しては敵軍が全く戦意を喪失して我が鋭鋒の退避に汲々たる有様であつたこと(三)住民は悉く抗戦に倦み疲れ、剩へ國共相剋の犠牲となつて言語に絶する迫害を蒙り、和平冀求の聲、切實なるものがあつたこと、の二點であるが、我が軍の同地域確保と國府政治力の滲透によつて南支一帯の治安は更に一段と明朗化し、軍事的、經濟的に強力な地盤を獲得することとなつた、なほ今次作戦一ヶ月間の南支軍綜合戦果左の通り

△我が軍の收容せる敵遺棄死體、一六八、△俘虜一三五、△鹵獲品自動火砲九、拳銃二八二、同彈二、三三、手榴彈一〇六、ダムダム彈三四七、その他火藥、通信器材多數、なほこの他に中國側軍隊が協力して得た戦果多數がある

【廣東廿四日發】 在支米空軍は二十三日午後四時頃戦爆連合の敵編隊を以て又も廣東地區に來襲し來つたがわが荒鷲が一齊にこれを邀撃、熾烈なる對空砲火と相俟ち壯烈なる空中戦の後P40十一機(内不確實二)P51一機の計十二機を忽ちして撃墜するの大戦果を挙げ、その他爆撃機數機に多數の有効弾を浴せかけ、敵機は白煙の尾をひきつつ遁走したが撃墜を確認するに至らなかつた、わが方損害なし

【廣東廿四日發】 我が荒鷲の間斷なき鐵槌にもこりず敵在支米空軍は復も廿四日午後二時四十分頃戦爆連合をもつて廣東地區に來襲したが、意氣軒昂たる我が荒鷲は勇躍出撃、激烈な空中戦のちコンソリデーテツP B24一機、P40八機(内不確實三機) P51四機(内不確實二機)計十三機を撃墜、更に遁走せんとする敵機を猛追してその數機に多數の有効弾を命中せしめた、この戦間において我が方一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

又同日他の一隊は南雄飛行場に進攻上空に邀撃する敵機なく我が陸鷲が猛烈な地上砲火を冒して滑走路をけじめ地上諸施設を爆破、地上にあつたB25一機を撃破した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【〇〇基地三日發】 二日午後わが陸戰戰爆連合の大編隊が遂川の飛行場に進攻するや折柄上空に待機するP40、P51等十數機よりなる敵戰闘機群と空戦、わが戰闘機隊は敵七機(内不確實四機)を撃墜、更に他の二機に有効弾を與へ、一方同行せる爆撃機隊は同地飛行場滑走路に對し巨彈の雨を降らせ、地上にあつた小型機一機を爆砕した、此の日我が方も自爆一機の貴い犠牲を出した

【大本營發表】昭和十八年十二月十三日十七時支那方面帝國陸軍航空部隊は、連日衡陽、零陵、梧州、韶關等の敵重要基地に進攻すると共に、來襲する敵機を邀撃し、之に大打撃を與へつつあり、十二月四日より同十二日迄に敵航空部隊に對し收めた戦果次の如し
△撃墜四十四機(内不確實十一機)
△撃破又は炎上、約四十機△同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還九機なり
大陸の冬に活躍【十二日】我が在支陸軍航空部隊は、中支軍精銳の第六戰區進攻撃滅作戦に呼應し、十二月初旬以來皇土を狙ふ在支米空軍に對し鐵槌を下し、衡陽、零陵、韶關、梧州等敵重要基地に連日有効なる先制攻撃を加へ、十二日までに敵機八十四機を撃墜破するの輝く戦果を挙げた戦間概要次の如し
△十二月四日(撃墜七機) P40九機常德上空に出撃、我が戰闘機隊は連合の編隊を以て、零陵に進攻、飛行場滑走路を爆砕、これを使用不能に陥らしめP40八機、P38一機、B25二機、計十一機を撃破、わが方全機無事歸還した
△十一月一日、建甌に進攻、飛行場滑走路を爆砕した
△十一月十二日、十二時三十分戦爆連合の編隊をもつて衡陽を攻撃、宿舍地帯

【大本營發表】(十二月二十二日十一時三十分)帝國陸軍航空部隊は十二月十八日昆明敵飛行場を、同十九日雲南驛敵飛行場を攻撃し在地敵機を爆砕すると共に、挑戦し來れる敵戰闘機各十數機と交戦し、次の戦果を收めたなり
△撃墜十五機(内不確實七機) △炎上又は撃破十七機△我方の損害自爆、未歸還機六機
亂雲利し一氣に突入【〇〇基地廿二日發】決戦第三年を迎へて土氣愈々擧る我陸軍航空部隊は十八日午後長驅昆明飛行場大爆撃を敢行、合計廿二機を屠る戦果をあげた、この日〇〇基地に集結せる〇〇機の大編隊は果てしなき亂雲を利して一氣に目的地に殺到した、天佑か、こののみ千切れ雲一つない全機勇躍として爆撃コースに入る、あるるるのずらりと並んだコンソリB24だ、ばつとあがる白煙、又爆煙、このとき狂亂の敵戰闘機P40型十數機が挑戦して來たが到底わが荒鷲の敵ではない、次々に我とわが飛行機に撃ち墜されていつた、かくて悠々並ぶ敵の大型機殆んど全部を爆砕した爆撃機隊は更に滑走路その他に巨彈の雨を降らせて餘裕紳々終始、儼然たる編隊を以て〇〇基地に歸つたのである、この戦間

【大本營發表】(昭和十八年十二月十三日十七時)支那方面帝國陸軍航空部隊は、連日衡陽、零陵、梧州、韶關等の敵重要基地に進攻すると共に、來襲する敵機を邀撃し、之に大打撃を與へつつあり、十二月四日より同十二日迄に敵航空部隊に對し收めた戦果次の如し
△撃墜四十四機(内不確實十一機)
△撃破又は炎上、約四十機△同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還九機なり
大陸の冬に活躍【十二日】我が在支陸軍航空部隊は、中支軍精銳の第六戰區進攻撃滅作戦に呼應し、十二月初旬以來皇土を狙ふ在支米空軍に對し鐵槌を下し、衡陽、零陵、韶關、梧州等敵重要基地に連日有効なる先制攻撃を加へ、十二日までに敵機八十四機を撃墜破するの輝く戦果を挙げた戦間概要次の如し
△十二月四日(撃墜七機) P40九機常德上空に出撃、我が戰闘機隊は連合の編隊を以て、零陵に進攻、飛行場滑走路を爆砕、これを使用不能に陥らしめP40八機、P38一機、B25二機、計十一機を撃破、わが方全機無事歸還した
△十一月一日、建甌に進攻、飛行場滑走路を爆砕した
△十一月十二日、十二時三十分戦爆連合の編隊をもつて衡陽を攻撃、宿舍地帯

【大本營發表】(昭和十八年十二月十三日十七時)支那方面帝國陸軍航空部隊は、連日衡陽、零陵、梧州、韶關等の敵重要基地に進攻すると共に、來襲する敵機を邀撃し、之に大打撃を與へつつあり、十二月四日より同十二日迄に敵航空部隊に對し收めた戦果次の如し
△撃墜四十四機(内不確實十一機)
△撃破又は炎上、約四十機△同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還九機なり
大陸の冬に活躍【十二日】我が在支陸軍航空部隊は、中支軍精銳の第六戰區進攻撃滅作戦に呼應し、十二月初旬以來皇土を狙ふ在支米空軍に對し鐵槌を下し、衡陽、零陵、韶關、梧州等敵重要基地に連日有効なる先制攻撃を加へ、十二日までに敵機八十四機を撃墜破するの輝く戦果を挙げた戦間概要次の如し
△十二月四日(撃墜七機) P40九機常德上空に出撃、我が戰闘機隊は連合の編隊を以て、零陵に進攻、飛行場滑走路を爆砕、これを使用不能に陥らしめP40八機、P38一機、B25二機、計十一機を撃破、わが方全機無事歸還した
△十一月一日、建甌に進攻、飛行場滑走路を爆砕した
△十一月十二日、十二時三十分戦爆連合の編隊をもつて衡陽を攻撃、宿舍地帯

【大本營發表】(昭和十八年十二月十三日十七時)支那方面帝國陸軍航空部隊は、連日衡陽、零陵、梧州、韶關等の敵重要基地に進攻すると共に、來襲する敵機を邀撃し、之に大打撃を與へつつあり、十二月四日より同十二日迄に敵航空部隊に對し收めた戦果次の如し
△撃墜四十四機(内不確實十一機)
△撃破又は炎上、約四十機△同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還九機なり
大陸の冬に活躍【十二日】我が在支陸軍航空部隊は、中支軍精銳の第六戰區進攻撃滅作戦に呼應し、十二月初旬以來皇土を狙ふ在支米空軍に對し鐵槌を下し、衡陽、零陵、韶關、梧州等敵重要基地に連日有効なる先制攻撃を加へ、十二日までに敵機八十四機を撃墜破するの輝く戦果を挙げた戦間概要次の如し
△十二月四日(撃墜七機) P40九機常德上空に出撃、我が戰闘機隊は連合の編隊を以て、零陵に進攻、飛行場滑走路を爆砕、これを使用不能に陥らしめP40八機、P38一機、B25二機、計十一機を撃破、わが方全機無事歸還した
△十一月一日、建甌に進攻、飛行場滑走路を爆砕した
△十一月十二日、十二時三十分戦爆連合の編隊をもつて衡陽を攻撃、宿舍地帯

【大本營發表】(昭和十八年十二月十三日十七時)支那方面帝國陸軍航空部隊は、連日衡陽、零陵、梧州、韶關等の敵重要基地に進攻すると共に、來襲する敵機を邀撃し、之に大打撃を與へつつあり、十二月四日より同十二日迄に敵航空部隊に對し收めた戦果次の如し
△撃墜四十四機(内不確實十一機)
△撃破又は炎上、約四十機△同期間に於ける我方の損害自爆及未歸還九機なり
大陸の冬に活躍【十二日】我が在支陸軍航空部隊は、中支軍精銳の第六戰區進攻撃滅作戦に呼應し、十二月初旬以來皇土を狙ふ在支米空軍に對し鐵槌を下し、衡陽、零陵、韶關、梧州等敵重要基地に連日有効なる先制攻撃を加へ、十二日までに敵機八十四機を撃墜破するの輝く戦果を挙げた戦間概要次の如し
△十二月四日(撃墜七機) P40九機常德上空に出撃、我が戰闘機隊は連合の編隊を以て、零陵に進攻、飛行場滑走路を爆砕、これを使用不能に陥らしめP40八機、P38一機、B25二機、計十一機を撃破、わが方全機無事歸還した
△十一月一日、建甌に進攻、飛行場滑走路を爆砕した
△十一月十二日、十二時三十分戦爆連合の編隊をもつて衡陽を攻撃、宿舍地帯

昆明、雲南驛爆撃

【大本營發表】(十二月二十二日十一時三十分)帝國陸軍航空部隊は十二月十八日昆明敵飛行場を、同十九日雲南驛敵飛行場を攻撃し在地敵機を爆砕すると共に、挑戦し來れる敵戰闘機各十數機と交戦し、次の戦果を收めたなり
△撃墜十五機(内不確實七機) △炎上又は撃破十七機△我方の損害自爆、未歸還機六機

【〇〇基地廿二日發】決戦第三年を迎へて土氣愈々擧る我陸軍航空部隊は十八日午後長驅昆明飛行場大爆撃を敢行、合計廿二機を屠る戦果をあげた、この日〇〇基地に集結せる〇〇機の大編隊は果てしなき亂雲を利して一氣に目的地に殺到した、天佑か、こののみ千切れ雲一つない全機勇躍として爆撃コースに入る、あるるるのずらりと並んだコンソリB24だ、ばつとあがる白煙、又爆煙、このとき狂亂の敵戰闘機P40型十數機が挑戦して來たが到底わが荒鷲の敵ではない、次々に我とわが飛行機に撃ち墜されていつた、かくて悠々並ぶ敵の大型機殆んど全部を爆砕した爆撃機隊は更に滑走路その他に巨彈の雨を降らせて餘裕紳々終始、儼然たる編隊を以て〇〇基地に歸つたのである、この戦間

【〇〇基地廿二日發】決戦第三年を迎へて土氣愈々擧る我陸軍航空部隊は十八日午後長驅昆明飛行場大爆撃を敢行、合計廿二機を屠る戦果をあげた、この日〇〇基地に集結せる〇〇機の大編隊は果てしなき亂雲を利して一氣に目的地に殺到した、天佑か、こののみ千切れ雲一つない全機勇躍として爆撃コースに入る、あるるるのずらりと並んだコンソリB24だ、ばつとあがる白煙、又爆煙、このとき狂亂の敵戰闘機P40型十數機が挑戦して來たが到底わが荒鷲の敵ではない、次々に我とわが飛行機に撃ち墜されていつた、かくて悠々並ぶ敵の大型機殆んど全部を爆砕した爆撃機隊は更に滑走路その他に巨彈の雨を降らせて餘裕紳々終始、儼然たる編隊を以て〇〇基地に歸つたのである、この戦間

【〇〇基地廿二日發】決戦第三年を迎へて土氣愈々擧る我陸軍航空部隊は十八日午後長驅昆明飛行場大爆撃を敢行、合計廿二機を屠る戦果をあげた、この日〇〇基地に集結せる〇〇機の大編隊は果てしなき亂雲を利して一氣に目的地に殺到した、天佑か、こののみ千切れ雲一つない全機勇躍として爆撃コースに入る、あるるるのずらりと並んだコンソリB24だ、ばつとあがる白煙、又爆煙、このとき狂亂の敵戰闘機P40型十數機が挑戦して來たが到底わが荒鷲の敵ではない、次々に我とわが飛行機に撃ち墜されていつた、かくて悠々並ぶ敵の大型機殆んど全部を爆砕した爆撃機隊は更に滑走路その他に巨彈の雨を降らせて餘裕紳々終始、儼然たる編隊を以て〇〇基地に歸つたのである、この戦間

【〇〇基地廿二日發】決戦第三年を迎へて土氣愈々擧る我陸軍航空部隊は十八日午後長驅昆明飛行場大爆撃を敢行、合計廿二機を屠る戦果をあげた、この日〇〇基地に集結せる〇〇機の大編隊は果てしなき亂雲を利して一氣に目的地に殺到した、天佑か、こののみ千切れ雲一つない全機勇躍として爆撃コースに入る、あるるるのずらりと並んだコンソリB24だ、ばつとあがる白煙、又爆煙、このとき狂亂の敵戰闘機P40型十數機が挑戦して來たが到底わが荒鷲の敵ではない、次々に我とわが飛行機に撃ち墜されていつた、かくて悠々並ぶ敵の大型機殆んど全部を爆砕した爆撃機隊は更に滑走路その他に巨彈の雨を降らせて餘裕紳々終始、儼然たる編隊を以て〇〇基地に歸つたのである、この戦間

により我が方未歸還三機の貴い損害を出したが、他に機關故障のため急降下し行く愛機と共に一度は自爆を覚悟しつつも最後迄操縦桿を放さず地上〇米で全くの神助によりエンジン復活、遂に奇蹟の生還せる猪俣機の貴い教訓をも得た

増淵中尉機敵機と刺違ふ【〇〇基地廿日發】わが海軍は十九日正午未もや白晝堂々の銀翼を連らねて在支米空軍の前進基地雲南驛飛行場に必殺の強襲を敢行、爆撃隊が敵陣幕をついて悠々命中弾を浴せ、滑走路および軍事施設を完膚なきまでに爆破したが、その際わが無敵開機隊は狂亂して舞ひ上つた敵開機機カーチスP49、十五、六機と交戦、その十機(内不確實三機)を撃墜した、この日敵戦意は極めて旺盛熾烈な空中戦闘を展開したが、群る敵機中より一機は素早く増淵中尉機に喰ひ下つた、同機が二轉、三轉、わが後方上真向から襲ひかかるや、小墜などぶつ放したわが必殺の猛射はあやまず敵射手を射とめたのか應射はびたりと止んだ、と次の瞬間機首を轉じて遁走せんとした敵機がガタリとよるめくと見る間に、ぐつと間をつめて追ひすがつてゐた増淵機に一大音響とともに激突した、敵機は忽ち一物も餘さず空中分解し去つたが惜しく殊勳の増淵機も又自爆の止むなきに至つたのである

大本營發表表(十二月二十三日十五時三十分) 帝國陸軍航空部隊は十二月廿二日午後戦連合を以て大舉昆明飛行場を急襲し、敵開機機約四十機の執拗なる妨害を排除して地上に集結中の敵機群を攻撃せり、現在迄に判明せる

戦果次の如し △撃墜開機機二十六機(内不確實八機) △撃破炎上大型六機、小型八機 計十四機 △我方の損害自爆及未歸還四機 在支米空軍を壓伏【廿四日】わが陸軍航空部隊は引續き廿二日午後戦連合の大編隊を以て昆明飛行場に殺到し我進攻を察知邀撃態勢を整へて待機するP41、P51、P38等約四十機の敵開機機と堂々の空中戦を交へて、その二十六機を撃墜、完全にこれを制壓した後、在地敵機を爆撃し大型六機、小型八機を撃破炎上せしめ撃墜破砕計四十機といふ甚大なる打撃を與へた、在支米空軍はさきに重慶空軍をその傘下に收めたがその半数は舊重慶空軍の舊式飛行機であつた、三百機乃至四百機の敵第一線機の内常德戰略戦前夜その八十四機を失ひ、十八、九兩日のわが攻撃で三十二機を撃墜破され、今また四十機を撃滅せられて十一月月初旬以來の短期間に現有兵力の當に半数を喪失するの致命的打撃を受けた

昆明爆撃戦果増大【前線〇〇基地二十三日發】去る十八日及び二十二日の昆明敵飛行場進攻作戦の戦果はその後夫々次の如く追加された、昆明においては寫眞判讀の結果、既報大本營發表の在地敵機撃破炎上十七機に更に二機を加へ合計十九機を撃破したことが判明、又二十二日の昆明進攻作戦において邀撃敵開機機との空中戦において二十六機を撃墜したと發表されたが、その後更に三機を撃墜したことが明かとなり、この日の敵機撃墜は合計二十九機となつた

遂川進攻で敵十八機撃墜破 【中支〇〇基地三十日發】二十七日の我が陸軍精銳の江西省遂川飛行場進攻によつて敵機十八機撃墜破の戦果を収めたことが確實となつた、即ちこの日我が戦連合の陸軍大編隊は午後二時半頃遂川上空に殺到し邀撃態勢を整へた敵機二十数機と約二十分に亘り激烈な空中戦を展開、四十機(内不確實二機)P51二機(内不確實一機)計十機を撃墜するとともに地上にあつたノースアメリカンB25七機、P40一機を火網をもつて捕捉、うちB25二機、P40一機を炎上し、B25五機を撃破したが、我が方も自爆四機の尊い犠牲を出し

桃源の敵陣を戦撃 桃源の敵陣を戦撃

【中支前線〇〇廿五日發】大陸の空に連日苛烈なる日米決戦を展開中の我が陸軍航空部隊は廿四日午前またも精銳戦連合の大編隊を以て湖南省桃源上空に進攻、重慶軍の頭上に巨弾を浴せ、これに潰滅的打撃を與へた

衡陽、桂林、長沙に進攻 【〇〇基地廿二日發】わが陸軍航空部隊は廿一日湖南省衡陽、長沙、廣西省桂林の各方面に進攻し熾烈なる防空砲火を冒して軍事施設に多大の打撃を與へた、この日わが新銳戦部隊は早朝より數次に亘り桂林飛行場を急襲、飛行場、軍事施設に與へた、また他の戦連合大編隊は敵第九戰區の牙城長沙に進攻し軍事施設を爆撃、多大の戦果を擧げたがさらに別の一隊は衡陽飛行場を急襲、飛行場内の諸施設を完膚なきまでに爆破した

怒江の殘敵續々投降 【ラングーン十三日發】怒江方面のわが軍はその後引續き怒江西岸地區の殘敵を掃蕩中であるが、飢餓に瀕しながら山地深く遁走した敵は戦意を喪失しつ續々わが方に歸順を申出で、また俘虜となりつつあり、十二月二日以降現在までにこれ等俘虜歸順兵は百四十名に及んでゐる

佛 敵機北部佛印に奮動 【ハノイ三日發】在支米空軍は最近北部佛印國境地區に數機を以て蠢動してゐるが、一日は老開地を以て蠢動し、二日はカオベン地區に對しそれぞれ銃撃を行ひ、徒らに原住民を傷つけるのみか投下爆彈の大部分は不發といふ裝備の劣悪を暴露してゐる

【ハノイ九日發】在支米空軍六機は九日午後七時三十分より一時間に亘り北部佛印に來襲、ハノイ西北三〇

【ハノイ十四日發】在支米空軍は十四日午前九時半カーチスP40型戦機六機をもつて老開方面よりハノイ

東南アジア

キロのトンに對し銃撃を加へたが、佛印側の被害は輕微、日本側には損害はなかつた

【ハノイ九日發】在支米空軍P51四機は九日十五時老開方面より北部佛印に侵入、ハノイ、ハイフォン地區に來襲したが、わが鐵壁の防空陣に何等なすところなく遁走した

【ハノイ十日發】十日十二時十五分頃在支米空軍B25重爆十機、P40戦機二機がハノイに來襲、五十キロ爆彈及び焼夷彈多數により市街、住宅街を無差別爆撃し、安南人經營の武王安病院を始め多數の日、佛、安南人住宅を倒壊焼失せしめ、佛、安南人の間に多數の負傷者を出した、わが軍官民の被害は輕微で在留邦人に三名の負傷者を出した

敵機五十餘を邀撃

【ビルマ〇〇基地一日發】量を持んで連日執拗な襲撃を繰り返す敵軍は一日午後戦機連合五十餘機の大編隊をもつてラングーン上空に襲撃した、満を持して待機したわが戦闘機隊は地上防空部隊の適切な協力のもとにこれを迎へて壯烈極まる空

俘虜收容所を爆撃

【ラングーン三日發】敵空軍は去月廿八日何を血塗つたかラングーンの俘虜收容所を爆撃し收容中の英兵多数を爆死せしめ、多数の負傷者を出さしめた、今回の敵機による俘虜收容所爆撃は第三回目であるが、犠牲者のうちには英イニスキヤン・フ

陸艦一ヶ年の戦果

【ラングーン九日發】ビルマ方面わが陸軍航空部隊は數を持んでゲリラの出撃を反覆し來る敵機群を巧みに捕捉してこれを撃墜し撃破して空の護りを鐵壁ならしめる一方、長驅戰

してゐる、これらの戦闘は西南太平洋方面の凄まじく華々しい戦闘に比して戦果を表す數字としては少いが悪條件を克服して決死の奮闘を続け

に盲爆の傾向が顯著となり、或はバゴダに盲弾を命中せしめ、或は彼らの同胞が因れの身を養ふ俘虜收容所

に盲弾を浴びせ、ビルマ人、印度人らはもとより同胞俘虜からも強烈な反感を買ひつつある、しかも邀撃の都

度捕虜となつた敵將兵は何れもわが攻撃に極度の恐怖心かられてゐる

ことを證明すると共に飛行兵の質的低下を覆ふべく、これに反しわが方

が攻撃精神は日と共に旺盛、地上砲火も空軍に協力、適確に俾力を發揮して意氣軒昂たるものがあつて

わが空軍のかかる十二月に入つてからの戦果はすでに大本營から發表されたところであるが、南方軍は十二月五日より同十二日までにおけるこれら空戦におけるその後判明せる退

加戦果を加へ廿五日十四時左の如きビルマ航空戦綜合戦果を發表した

これによりすでに大本營より發表された戦果はさらに多数の撃墜破、炎上機數が加へられたわけである

△南方軍報道部發表表(廿五日十四時一、ビルマ方面における英米軍の空

よりの反攻は愈々執拗極めつつありこれに對しわが南方軍は十二月五日以來その航空部隊をもつてこれを邀

撃すると共に、進んで敵基地を攻撃もつて敵の空中よりする反攻を完全に撃破しつつあり

印度方面

陸海協同カルク

夕空襲

五輸送船撃破、十二機撃墜

【大管發表表(十二月十六日)】カルク地方に協同進攻し港内に碇泊中の敵船舶及埠頭施設を爆撃すると共に敵戦闘機約四十機と交戦し戦果を収めたり

△撃破炎上 大型輸送船三隻、埠頭施設及倉庫群△撃破輸送船二隻△撃墜十二機(内不確實一機)△我方の損害自爆及未歸還二機

空を蔽ふ大編隊ビルマ前線〇〇基地七日發)ビルマ方面陸軍航空部隊の精銳は、海軍航空部隊と協同し、

五日白晝戦機連合の大編隊を以てカルクカタを強襲した、この日敵機は、

爆碎の決意に燃えるわが荒鷲は、一片の雲もとどめず晴上つた基地〇〇

の上空に一糸亂れぬ大編隊を結成一路カルクカタ目指して進攻を開始

した、線に燃え立つアラクンの山々にはばつくりと純白の積亂雲が浮いて

ゐる、空を蔽ふ大編隊はすでにアラクンの山頂を越えて一望千里、紺青

にかがやくベンガル灣を横切つてゆかく前衛となつてゆく戦闘機の編隊

愈よインドだ、目ざすカルクカタは直ぐそこだ、途中小艇にもチツタゴ

ン方面から敵三機が邀撃し來つたがわが荒鷲はその一機を撃墜、まつし

ごらに爆撃コースに入つて行つた、このとき突如敵戦闘機三十餘機が現

はれた、わが戦闘機隊は直ちにこれに襲ひかかり、猛烈な空中戦が展開

された、すでに我が攻撃隊はカルクカタ近くに迫つてゐる、繪のやうに

はつきりと呼出す市街の内にダムダム飛行場がある、キタポール飛行場

應急兵器工場等もつきりと呼出す時間の〇時途に市街上空に達した、

爆撃隊はキタポール船渠に浮ぶ大型船舶三隻に必殺の命中弾を浴せ、更

に附近軍事施設に巨弾の雨を注いだわが奇襲に果然としてゐた敵高射砲

が、此時猛烈に火を噴き初め、しかし我が攻撃目的は既に完全に達せら

れたので、かくてわが爆撃機隊は戦闘機隊とともに再び大編隊を構成、

炎々と燃え上るカルクカタをあとに悠々歸還の途についたのであつた

【ラングーン六日發】帝國海軍航空部隊は、去る五日カルクカタに協同進攻、敵の船舶埠頭施設及び敵機に對し甚大な損害を與へ、その戦果は六日大本營より發表されたが、その後判明せるところに

よると、敵戦闘機撃墜十九機(内不確實五機)大型輸送船撃破炎上四隻

輸送船撃破二隻、埠頭施設及び倉庫群爆破炎上六ヶ所、わが方の損害は

自爆一機、わが方が更に敵戦闘機撃墜七機(内不確實四機)大型輸送

船撃破炎上一隻、埠頭施設及び倉庫群爆破炎上六ヶ所の甚々たる戦果を加へるとともに、わが方の未歸還二

機中の一機はその目的を達し悠々わが基地へ歸還した

撃破炎上敵船十隻【ラングリン十八日發】十二月五日陸海軍航空部隊連合を以て敢行されたカルカット港大爆撃については敵側も損害の甚大振り認めてゐるが、その後寫眞判讀によりこの日の戦果は次の如く莫大なものであつたことが判つた、即ち○輸送船大型四隻を直撃弾を以て炎上○至近弾により撃破せる敵船舶九千トン級一隻、七千トン級二隻、六千五百トン級二隻、六千トン級一隻、合計六隻○軍事施設倉庫群炎上四箇所、同じく撃破四種○鐵道線路破壊十二箇所、鐵道車輛多數撃破○港灣施設及び岸壁數箇所爆破、その他岸壁上に集積しあつた多數の軍事資材炎上

インド重慶空輸路脅威

敵輸送機・四一撃墜

大本營發表(十二月十六日十一時) 緬甸方面帝國陸軍航空部隊は十月中旬以降降機を捕捉し、印度重慶間の敵空輸機を襲撃すると共に、其の在印根據地たる「テンスキア」飛行場を攻撃し、該空輸路に對し大なる脅威を與へつゝあり

本攻撃開始以來現在迄に判明せる綜合戰果次の如し
△撃墜 大型輸送機十四を含み計四十一機(内不確實七機) △炎上又け撃破 大型輸送機二十二機を含み計二十八機 △我方の損害 自爆及未歸還九機
印支航空路に大打撃【ビルマ〇〇基地十六日發】ビルマ方面帝國陸軍航空部隊の精銳は、去る十月十三日以降數次についで援將空輸路に對する

攻撃を敢行、多大の戦果を收めると共に、敵側をして極度の狼狽に陥らしめてゐる、ビルマ・ルートに喪失した敵側に残された輸血路は、テンスキアより北部ビルマのサンパ、フオート北部ヘルツ空を通過して昆明を結ぶ、所謂印支空輸路と西藏ルートの二つであつた、而して西藏ルートは文字通りの峻岳に阻まれて一向にその実績は上らないので、結局のところ特みとするのは印支空輸路のみであつた、戦前敵はこの輸血路により月額數千トンの輸送量確保に狂奔してゐた模様で、まづカルッタゴンを經由する陸路空輸によつてテンスキアに輸送、テンスキアよりU46型(カーチス)U47型(ダグラス)U86型(エクスプレス)等の大型輸送機を仕立ててこれを昆明に送り、これが輸送に従事する機数は一日平均約六十機を數へられてゐた

しかし戦後我荒鷲により漸次敵航路は撃破され、制空権は完全に我空軍に掌握されるに至り、その輸送力は急激に減少の一路を辿つた、しかるに反樞軸側が總反攻の一翼として支那大陸よりする日本空襲のため在支米空軍の増強を企圖したので來、この輸送路の様相も亦一變してきた、即ちこの印支空輸路は援將といふより、寧ろ在支米空軍の輸血路として新な意義を持ち始めたのである、重慶側新聞はこの状態を諷刺し「印支空輸路は一體誰のものか、物資は一つも送られず在支米空軍用物資のみを輸送がなされてゐる」と騒ぎ立ててゐるものとの間の事情を物語つてゐる、いづれにせよ援將空輸路であり、在支米空軍生存の咽喉隘として

細々乍らもその命脈を保つてゐた印支空輸路は、雨季明け後一段と活性化した我が荒鷲の活躍に依り益々輸送困難となつてきたのである、即ち十月十三日以来我が新隊隊が次々、わが爆撃機の精銳はチッタゴン、タンブル等の輸送物資集積場を爆破した狼狽驚愕した敵は、我が襲撃に抗すべく、今度け輸送機に代用し大量の戦間機を護衛せしめ、晝間の飛行を禁じて夜間の輸送を行ひ、或は空路を變更する等百方手段を盡して輸送に躍起となつてゐる、しかし本月に入つてその物資集積の根據地たるカルカッタも完全にわが爆撃の火網に捕捉され、續いてテンスキア飛行場もわが鷲翼下に蹂躪されたのである、
【二ヶ月間戰闘詳報】【十六日】十月十三日以降二ヶ月間に於ける敵空輸路襲撃の戰闘詳報左の通り
△十月十三日、印支空輸路を奇襲しD33型三機、B24一機、計四機を撃墜
△十月廿三日午後四時、六時卅分の二回に亘り、印支空輸ルート飛行中の敵機群を攻撃D33三機を撃墜、B24一機に損傷を與へ、わが方全機無事歸還した
△十月廿七日又復わが奇襲隊は援將物資を満載昆明に向つて飛行中の敵輸送隊を襲撃D33型一機撃墜、B25一機、B24一機に損害を與へた
△十二月十日、わが戰闘機隊は印支ルート途上において敵大輸送機編隊を捕捉し、護衛中の敵戰闘機隊と壯烈な空中戦を演じつつ輸送機六機を撃墜するの戦果を擧げた、即ちこの日の戦果はD33型五機、B25一機計六機の輸送機を撃墜したほか、

敵戰闘機P40十機(内不確實二機)P51一機を撃墜、通計十七機(内不確實二機)を血祭りにあげたが、わが方も自爆七機の犠牲を出した
△十二月十三日、對支空輸の印度側基地テンスキア飛行場に對し、わが戰連連合編隊は午後三時頃敵の午睡後を奇襲し、滑走路上に在つた敵機を捕捉し、直撃弾を浴せて炎上大型四機、撃破大型五機、小型六機計十五機を屠つた後、舞ひ上つた敵戰闘機約廿機と交戦、P40五機(内不確實二機)P51十機(内不確實四機)P51トフア一機計十六機を撃墜、この日の戦果合計廿一機撃墜破の輝く戦捷を樹立したが、わが方も自爆二機の犠牲を出した
【リスボン一日發】 ニューデリー來電【日本航空部隊は廿九日午後イオン東部を爆撃、軍事施設に損害を與へた】
【ベナン九日發】 六日夜二回に亘りアンダマン列島方面に敵コンソリデーションD24爆撃機延八機が來襲わが守備隊は地上砲火を以てこれと交戦撃退した、わが方の被害は輕微
【リスボン十六日發】 ニューデリー來電に依れば戰闘機に護衛された有力なる日本軍爆撃機隊が十四日アッサム州の米軍前進基地を爆撃、死傷と損害を生じたといはれる
英印軍、蠢動開始
【リスボン廿四日發】 ニューデリー

來電によればインド軍司令官オーヒンレックは廿四日「インド軍がインド、ビルマ國境の全線においてその攻撃線を改善するため目下新たに行動を起してゐる」旨言明したといはれる
チッタゴンを強襲
【ビルマ〇〇基地二十八日發】 ビルマ方面帝國陸軍航空部隊の精銳は二十日戰連連合の大編隊をもつて雨季明け後も二回目のチッタゴン攻撃を敢行同港在泊中の五千トン級輸送船一隻に直撃弾を命中せしめ、撃破炎上せしめるとともに埠頭施設、倉庫群を撃破、更に激烈な空中戦を交へスビットフア一機(内不確實一)ノースアメリカンP51機を撃墜したわが方の損害自爆三機
日本軍の抵抗増大と發表
【アエノスアイレス八日發】 メルボルン來電【西南太平洋反樞軸右翼司令部は八日の戦況公表において「ニューギニアの山岳地帯における日本軍の抵抗は甚しく強化された」旨發表した】
島フナイドツグ
【南太平洋〇〇基地 十四日發】 わが海鷲は十三日夜、ニューギニア島、東端のグツドイナフ島、トロブリアブリアント爆碎
【ニューギニア島、東端のグツドイナフ島、トロブリア

ニューギニア

を爆撃し、グッドイナフ島では二ヶ所トロボリアント島では三ヶ所を炎上せしめ、わが方全機修々歸還した【リスボン二十一日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は二十一日の公報をもつて日本航空部隊が二十日夜グットイナフ島を爆撃、損害並に死傷者を生ぜしめた旨發表した】

十日間に敵損害九百

【南太平洋〇〇基地十三日發】ニユーギニア、フィン

區地ンヘーハシンイフ

シハーヘン附近の戦闘はソング河西北方面を中心として益々熾烈な極め、有力なる敵は優勢なる兵力と機械力をもつてわが陣地に出撃を繰返してゐるが、わが陸軍部隊は航空部隊の協力のもと險阻なる地形、補給の困難を克服しつつこの優勢なる敵の出撃に對し、その都度猛烈なる反撃を加へて、敵企圖を破摧し大損害を與へて撃退してゐる、即ち最近における戦況は次の如くである

△十二月二日、フィンシハーヘン西北約六キロ、ノンガカコ附近に進出せる敵に對しわが軍はこれを側方森林中より奇襲を加へ地圖を開いて協議中の敵將校團を全滅せしめた
同三日、薄暮わが軍の一部はソング河口附近進出の敵の中央に突入敵軍の眞只中に陣陣について四圍の敵を掃射し附近の敵を潰走せしめた
△八日、海岸方面において朝來猛砲撃の後約六百の敵が前進わが陣地に向つて放火したが、急に風向きがかはつて火の手は逆に敵は周章狼狽南方森林中に遁走した

ソング河北岸地區で敵有力部隊に鐵槌

【南太平洋〇〇基地十九日發】ニユーギニア島フィンシハーヘン地區において依然激闘が續けられてゐるが、ソング河北岸方面に戦車六、七輛を有する優勢なる敵が攻撃し來りたるに對し、わが戦車攻撃部隊はこれを攻撃し次の如き戦果をあげた
十三日午前二時兵長以下二名陣地内へ突入、迫撃砲一、機關砲一、兵士名在中の幕舎一をそれぞれ爆破した別の上等兵以下三名の肉薄攻撃班は十三日午前六時頃前進し來れる敵戦車を攻撃、その先頭戦車を破壊、後續戦車の前進を不能ならしめた、十四日午前十一時前進中の敵部隊の右側を攻撃し重機一を破壊、兵員二十名を爆死せしめた、わが方負傷一名を殺した

艦艇及敵陣地爆撃

【南太平洋〇〇基地十一日發】去る五日夜フィンシハーヘン北方海岸の我が陸軍部隊は同地附近に來襲せる敵魚雷艇二隻を攻撃、その一隻を撃沈、他の一隻を撃破した、更に六日同地區において我が舟艇は敵魚雷艇四隻と遭遇、これと交戦しその一隻を炎上せしめ、他に大なる損害を與へて撃退し去つた我が損害なし

【南太平洋〇〇基地十九日發】ニユーギニア島フィンシハーヘン北方においてわが陸軍海上輸送隊は十二月十二日敵大型魚雷艇三隻と交戦、その一隻を炎上せしめ、一隻に命中弾を與へてこれを撃退した、わが方損害なし
【南太平洋〇〇基地十五日發】わが陸軍航空部隊は十五日午後四時半頃フィンシハーヘン附近の敵船艇を攻撃、海上トラック一隻、大發一隻計二隻を撃沈、わが方全機無事歸還した

ラム溪谷を攻撃

【フエノスアイレス十三日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は日本軍戦闘機の大編隊がニユーギニアのラム溪谷における反樞軸

來襲の敵三機を撃墜

【南太平洋〇〇基地十一日發】去る九日早朝我が陸軍航空部隊はマラワサ敵飛行場を攻撃、これに甚大なる損害を與へた、同時にマラワサ上空及びその歸途マダン上空において、

テంచి飛行場爆煙濛々

【南太平洋〇〇基地八日發】六日午後六時三十分、同七時三十分、同八時十分の三回に亘り、わが陸軍航空部隊はニユーギニア島テంచి飛行場を攻撃、飛行場南側附屬施設、宿營地及び軍需品集積所を爆撃、四ヶ所を炎上せしめた上、爆撃による誘惑五回に及びそのために同飛行場は濃々たる黒煙に包まれた、更に七日午後三時十五分ウエラク西南方約二百三十キロ、ガギアブを爆撃、八ヶ所を炎上せしめ、同地にありし家屋群を完全に爆砕し去つた

ラム溪谷を攻撃

【フエノスアイレス十三日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は日本軍戦闘機の大編隊がニユーギニアのラム溪谷における反樞軸

敵飛行場猛爆、三機撃墜

【南太平洋〇〇基地十一日發】去る九日早朝我が陸軍航空部隊はマラワサ敵飛行場を攻撃、これに甚大なる損害を與へた、同時にマラワサ上空及びその歸途マダン上空において、

ラム溪谷を攻撃

【フエノスアイレス十三日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は日本軍戦闘機の大編隊がニユーギニアのラム溪谷における反樞軸

ラム溪谷を攻撃

【フエノスアイレス十三日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は日本軍戦闘機の大編隊がニユーギニアのラム溪谷における反樞軸

ラム溪谷を攻撃

【フエノスアイレス十三日發】メルボルン來電【西南太平洋反樞軸司令部は日本軍戦闘機の大編隊がニユーギニアのラム溪谷における反樞軸

巡洋艦各一隻をも撃破してここに出動空母二隻を悉く屠り去り潰滅的大損害を與へたのである、しかも撃破せる大型空母並に巡洋艦は何れも撃沈概ね確實と判断されてゐる、この偉大な戦果の蔭にわが方も未歸還六機の貴い犠牲を出した

敵側發表【ブエノスアイレス六日發】五日早朝マリーシャル諸島沖合で展開された大空海戦に關しては日本大本營發表に一日遅れて六日(米國時間)漸く米國海軍省から公表されたが、米國側は機動部隊出撃の事實を簡單に發表しただけで、潰滅的敗北を喫した事實は例によつて強引に隱蔽、マリーシャル諸島に對する大規模攻勢の開始を先走つて空宣傳して米國民の注意を逸さうと努めてゐる

即ち六日午後四時(米國時間)の桑港放送は「唯今米國海軍省から發表された公報によれば、大型空母一隻を含む米國艦隊の分遣隊がマリーシャル諸島に攻勢を開始したとのことである、上陸作戦が行はれたかどうかについては何も報告がない、また米國太平洋艦隊司令官チエスタ・ミッツも同時にマリーシャル諸島に對する攻勢開始を發表した」と放送、専ら攻勢開始に力點を置いて結果は一切判明しないと早手廻しに煙幕を張つてゐる

ミレ島にも來襲

【南東太平洋〇〇基地十四日發】去る十日數次に亘り敵コンソリデーテッドB24延二十數機がマリーシャル諸島ミレ島に來襲、わが戦闘機隊はこれと交戦、その五機を撃墜した、わが方戦闘機一機破損した

部太平洋方面における彼我航空戦は、十六日早朝及び午後三回にわたつて、リウオツチエ島に敵機延十七機が來襲、わが地上部隊は對空砲撃をもつて一機を撃破、黒煙を吐かして逃走せしめた、我が損害輕微

【中部太平洋〇〇基地廿四日發】廿一日朝敵P33八機がマリーシャル諸島ミレ島に來襲、わが海軍戦闘機隊並に守備部隊はこれと交戦、その五機を撃墜した、わが方未歸還一機、同日午前午後二回に亘り同諸島マロエラツツ環礁タロア島にも敵B24延二十七機が來襲したが、わが海軍戦闘機隊はその七機を撃墜した、わが方未歸還一機の貴い犠牲を出したが地上の損害は輕微だつた

【南太平洋〇〇基地十八日發】十五日日マリーシャル諸島のマロエラツツ環礁のタロア島にコンソリデーテッドP24Y約二十機が來襲、海軍戦闘機隊は、これを同島上空に邀撃、空戦をもつて一機を撃墜、四機を撃破、黒煙を吐かして逃走せしめた、越えて十六日未明同島にコンソリデーテッドB24爆撃機二十一機が來襲、わが海軍戦闘機隊は空戦をもつてその五機を撃墜一機を撃破逃走せしめた、我が方の損害は何れも輕微であつた、我が方の損害は何れも輕微であつた

タロア、ウオツチエ兩島に來襲

敵襲益々激化 【中部太平洋〇〇基地廿八日發】マリーシャル群島方面に對する敵機の來襲最近著しく熾烈化した、廿四日朝に十六機をもつてわがクエゼリン島に攻撃を加へて來たが、同島所在のわが守備部隊はその一機を撃墜した、わが方地上に極く輕微な損害を受けたのみ、また同時刻ミレ島に對しては、わが海軍戦闘機隊は熾烈な空戦を交へてその三機を撃墜破した、この戦闘でわが方も未歸還一機の尊い犠牲を出した、ついで同日午後マロエラツツ環礁タロア島にB24九機が來襲、わが海軍は直ちにこれを邀撃し、その一機を撃墜した、わが方被害なし

【南太平洋〇〇基地二日發】病院船す丸撃沈さる 【南太平洋〇〇基地二日發】病院船す丸は、これを同島上空に邀撃、空戦をもつて一機を撃墜、四機を撃破、黒煙を吐かして逃走せしめた、越えて十六日未明同島にコンソリデーテッドB24爆撃機二十一機が來襲、わが海軍戦闘機隊は空戦をもつてその五機を撃墜一機を撃破逃走せしめた、我が方の損害は何れも輕微であつた、我が方の損害は何れも輕微であつた

【南太平洋〇〇基地二日發】病院船す丸撃沈さる 【南太平洋〇〇基地二日發】病院船す丸は、これを同島上空に邀撃、空戦をもつて一機を撃墜、四機を撃破、黒煙を吐かして逃走せしめた、越えて十六日未明同島にコンソリデーテッドB24爆撃機二十一機が來襲、わが海軍戦闘機隊は空戦をもつてその五機を撃墜一機を撃破逃走せしめた、我が方の損害は何れも輕微であつた、我が方の損害は何れも輕微であつた

【ブエノスアイレス二日發】ワシントン來電、米國海軍省は二日ノルウェー亡命政權所屬中型汽船一隻が、十月下旬南太平洋で樞軸潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没した旨發表した

【南太平洋〇〇基地にて廿一日發】日米兩軍が死力をつくして相搏つ決戦場ソロモン海域並にニュージーニア島方面を繞る航路空決戦は愈々熾烈を加へり來り十八日以降廿日までの三日間だけでも彼我航空部隊の間に左の如き凄烈極まる攻防戦が反覆されてゐる

島群ンモロソ

【南太平洋〇〇基地にて廿一日發】日米兩軍が死力をつくして相搏つ決戦場ソロモン海域並にニュージーニア島方面を繞る航路空決戦は愈々熾烈を加へり來り十八日以降廿日までの三日間だけでも彼我航空部隊の間に左の如き凄烈極まる攻防戦が反覆されてゐる

直ちにこれを邀撃し、その八機を撃墜したこの戦闘においてわが方は未歸還二機の尊い犠牲を出したが、地上には被害はなかつた

【南太平洋〇〇基地にて廿一日發】日米兩軍が死力をつくして相搏つ決戦場ソロモン海域並にニュージーニア島方面を繞る航路空決戦は愈々熾烈を加へり來り十八日以降廿日までの三日間だけでも彼我航空部隊の間に左の如き凄烈極まる攻防戦が反覆されてゐる

【南太平洋〇〇基地にて廿一日發】日米兩軍が死力をつくして相搏つ決戦場ソロモン海域並にニュージーニア島方面を繞る航路空決戦は愈々熾烈を加へり來り十八日以降廿日までの三日間だけでも彼我航空部隊の間に左の如き凄烈極まる攻防戦が反覆されてゐる

島ルピンゲープ

【ブエノスアイレス一日發】ブーゲンビリア島の米國軍に從軍したA.P記者ハンブンの報道によれば、十一月十九日から二十六日迄八日間、行方不明十四名の外多數の負傷者を出したと傳へられるが、ハンブンは上陸以來十一月二十六日の米國軍の損害總數は戦死二百八十一名、行方不明百四十五名内中佐一名

損害を報道

【ブエノスアイレス一日發】ブーゲンビリア島の米國軍に從軍したA.P記者ハンブンの報道によれば、十一月十九日から二十六日迄八日間、行方不明十四名の外多數の負傷者を出したと傳へられるが、ハンブンは上陸以來十一月二十六日の米國軍の損害總數は戦死二百八十一名、行方不明百四十五名内中佐一名

【南太平洋〇〇基地廿八日發】廿五日朝敵艦爆七十五機がブーゲンビル島ブイン方面に來襲したがわが地上部隊はその八機を撃墜した、わが方被害なし

ビチャ附近に來襲

【南太平洋〇〇十九日發】ブーゲンビル島トロキナ岬においては引續き激戦展開中であるが、同岬東北十軒ビチャ附近に攻撃し來れる敵に對し同地附近のわが部隊は七日から十一日までの間に次の戦果を収め敵を撃退した
△遺棄屍體一七八 △鹵獲品 重機一、輕機八、自動小銃一九、彈藥一四〇〇

シヨートランド島で四機撃墜

【南太平洋方面〇〇基地三十日發】二十八日朝シヨートランド島我が基地に敵艦上爆撃機八十七機來襲したが我が守備部隊はこれと交戦してその四機を撃墜、他を撃退した、我方被害なし

十二日間の戦果

大本營發表表(十二月二十七日十六時)
一、十二月二十五日早朝、敵機動部隊の艦載機約百二十機、ニューアイルランド島カビエングに來襲せるも所在部隊は之を邀撃し、その三機を撃墜せり、我方の損害輕微なり
二、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日夕刻、ブーゲンビル島北方海面において右機動部隊を捕捉攻撃し、敵艦一隻(艦種不詳)を撃沈せり、我

島諸クーマスビ

【南太平洋〇〇基地三十日發】十二月二十七日夜二回に亘り敵の大形中爆撃機七機がニューアイルランド島北端カビエングの我が基地に來襲し、又更に二十九日未明にも大形爆撃機五機が同地に來襲せるも我が守備部隊はこれを撃退した、兩日とも我が方に被害なし

方の損害未歸還四機
三、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日午前ラバウルに來襲せる敵機約七十機を邀撃し、その二十機(内不確實二機)を撃墜せり、我方の損害未歸還三機
四、帝國海軍航空部隊は十二月廿六日早朝、マールカス岬附近の敵艦船及びラバウルの敵陣地を爆撃し、左の戦果を得たり
①敵に與へたる損害 △撃沈海上トラック一隻(撃沈概ね確實) 小型特殊輸送船一隻(炎上大破) 上陸用舟艇一隻(炎上大破) 驅潜艇一隻(炎上大破) △爆破炎上敵陣地二ヶ所(ビレロ島は連爆により燒野化す) ②我方の損害未歸還二機

ドランルイアーユニ

【南太平洋方面〇〇基地三十日發】十二月二十七日夜二回に亘り敵の大形中爆撃機七機がニューアイルランド島北端カビエングの我が基地に來襲し、又更に二十九日未明にも大形爆撃機五機が同地に來襲せるも我が守備部隊はこれを撃退した、兩日とも我が方に被害なし

島ンテリブーユニ

【廿七日】去る十五日以來廿六日に至る期間、ニューブリテン島マールカス岬附近、ラバウル並にニューアイルランド島カビエング方面において帝國海軍航空部隊及び地上部隊の収めたる綜合戦果は次の通り
一、敵に與へたる損害 △撃沈 巡洋艦二隻、輸送船十六乃至十七隻、海上トラック四隻以上、上陸用舟艇八隻乃至百九隻以上 △撃破 巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、驅潜艇一隻、輸送船八隻、海上トラック一隻、上陸用舟艇八隻、小形多數、計十六隻以上、撃沈破總計百二十五隻以上 △撃墜 百三十一機以上
二、我方の損害 自爆未歸還三十九機

ニューブリテン島

【廿八日】十二月十五日以來廿七日に至るまでの期間、ニューブリテン島周邊において海軍部隊の収めたる綜合戦果は次の通り
一、敵に與へたる損害
①マールカス岬方面
△撃沈 巡洋艦二隻、魚雷艇二隻、輸送船一八乃至一九隻、海上トラック四隻以上、大型上陸用舟艇五隻、小型上陸用舟艇八十一隻以上、計百二十二乃至百三十三隻以上
△撃破 巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、輸送船八隻、海上トラック一隻、驅潜艇一隻、大型上陸用舟艇三隻、小型上陸用舟艇多數、計十六隻以上
△撃墜 三十八機以上
②ホルゲン灣方面
△撃沈 大型巡洋艦二隻、大型輸送

カビエング來襲敵機撃墜

【南太平洋〇〇基地廿四日發】廿日夜間敵B24延十七機が五回に亘つてニューアイルランド島カビエングに來襲し、わが守備部隊はこれを退撃撃墜した
①ラバウル方面
△撃墜 百五十一機
②カビエング方面
△撃墜 三機
③ブーゲンビル島北方海面
△撃沈 艦種不詳一隻
二、我方の損害 七十五機

船二隻
△撃破 大型輸送船三隻
△撃墜 二十機
④ラバウル方面
△撃墜 百五十一機
⑤カビエング方面
△撃墜 三機
⑥ブーゲンビル島北方海面
△撃沈 艦種不詳一隻
二、我方の損害 七十五機

十五日以降海鷲綜合戦果

【廿四日】十二月十五日以來廿三日に至る期間、ニューブリテン島マールカス岬およびラバウル方面においてわが海軍航空部隊の収めたる綜合戦果(大本營發表表のみ)は左の通り
一、敵に與へたる損害 △撃沈 巡洋艦(若くは驅逐艦)二隻、大型輸送船三隻、特殊輸送船(若くは中型輸送船)四隻乃至五隻、特殊輸送船(若くは小型輸送船)三隻、特殊輸送船二隻、特殊輸送船(若くは海上トラック)二隻以上、大型上陸用舟艇六隻、上陸用舟艇八十隻以上、合計百七隻以上 △撃破 大型巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、輸送船一隻、小型輸送船三隻、特殊輸送船二隻、海上トラック一隻、大型上陸用舟艇三隻以上、撃沈破總計百二十隻以上 △撃墜 六十二機(内不確實四機)
二、我方の損害 自爆未歸還二十八機

海鷲マールカス岬アラウ

【廿四日】十五日の敵一部兵力のニューブリテン島マールカス岬及びアラウエ、ビレロ兩島上陸以來わが海鷲並に陸鷲、地上部隊の連續的な猛撃により敵上陸部隊は今や重大危機に直面するに至つたが、飽くまでニューブリテン島に飛行場を設定せんとする敵は強引執拗な補給増援を企圖すると共に周邊敵基地の航空機を總動員して同島方面のわが基地攻撃を續けて來た、特に敵はわが目標をラバウルに置き廿三日午前にはコンソリデータードB24重爆撃機廿七機、ロッキードB38、ボートシコルスキーF4U、グラマンF4E、ラムランF6F等戦闘機四十八機、合計七十五機の大編隊をもつてラバウルに來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し、敵機群中に突入して壯烈なる空戦を展開し、その二十四機を撃墜(内不確實四機)した、その内譯はB24五機、P38一機、F4U七機、F4E二機、F6F九機である、この戦闘を通じてわが方六機の尊い未歸還機を出したことは痛恨にたへない

エ島の敵據點爆撃

【廿四日】十五日の敵一部兵力のニューブリテン島マールカス岬及びアラウエ、ビレロ兩島上陸以來わが海鷲並に陸鷲、地上部隊の連續的な猛撃により敵上陸部隊は今や重大危機に直面するに至つたが、飽くまでニューブリテン島に飛行場を設定せんとする敵は強引執拗な補給増援を企圖すると共に周邊敵基地の航空機を總動員して同島方面のわが基地攻撃を續けて來た、特に敵はわが目標をラバウルに置き廿三日午前にはコンソリデータードB24重爆撃機廿七機、ロッキードB38、ボートシコルスキーF4U、グラマンF4E、ラムランF6F等戦闘機四十八機、合計七十五機の大編隊をもつてラバウルに來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し、敵機群中に突入して壯烈なる空戦を展開し、その二十四機を撃墜(内不確實四機)した、その内譯はB24五機、P38一機、F4U七機、F4E二機、F6F九機である、この戦闘を通じてわが方六機の尊い未歸還機を出したことは痛恨にたへない

【廿四日】十五日の敵一部兵力のニューブリテン島マールカス岬及びアラウエ、ビレロ兩島上陸以來わが海鷲並に陸鷲、地上部隊の連續的な猛撃により敵上陸部隊は今や重大危機に直面するに至つたが、飽くまでニューブリテン島に飛行場を設定せんとする敵は強引執拗な補給増援を企圖すると共に周邊敵基地の航空機を總動員して同島方面のわが基地攻撃を續けて來た、特に敵はわが目標をラバウルに置き廿三日午前にはコンソリデータードB24重爆撃機廿七機、ロッキードB38、ボートシコルスキーF4U、グラマンF4E、ラムランF6F等戦闘機四十八機、合計七十五機の大編隊をもつてラバウルに來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し、敵機群中に突入して壯烈なる空戦を展開し、その二十四機を撃墜(内不確實四機)した、その内譯はB24五機、P38一機、F4U七機、F4E二機、F6F九機である、この戦闘を通じてわが方六機の尊い未歸還機を出したことは痛恨にたへない

大本營發表表(十二月二十四日十六時)

一、帝國海軍航空部隊は、十二月二十三日未明、マールカス岬附近及アラウエ島の敵據點を爆撃、八ヶ所を炎上せしめたる外、上陸用舟艇二隻を大破炎上せしめたり
二、帝國海軍航空部隊は十二月二十三日午前ラバウルに來襲せる敵機約七十五機を邀撃し、其の二十四機(内不確實四機)を撃墜せり、我方の損害未歸還六機

戰鬪經過【廿四日】

【廿四日】十五日の敵一部兵力のニューブリテン島マールカス岬及びアラウエ、ビレロ兩島上陸以來わが海鷲並に陸鷲、地上部隊の連續的な猛撃により敵上陸部隊は今や重大危機に直面するに至つたが、飽くまでニューブリテン島に飛行場を設定せんとする敵は強引執拗な補給増援を企圖すると共に周邊敵基地の航空機を總動員して同島方面のわが基地攻撃を續けて來た、特に敵はわが目標をラバウルに置き廿三日午前にはコンソリデータードB24重爆撃機廿七機、ロッキードB38、ボートシコルスキーF4U、グラマンF4E、ラムランF6F等戦闘機四十八機、合計七十五機の大編隊をもつてラバウルに來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し、敵機群中に突入して壯烈なる空戦を展開し、その二十四機を撃墜(内不確實四機)した、その内譯はB24五機、P38一機、F4U七機、F4E二機、F6F九機である、この戦闘を通じてわが方六機の尊い未歸還機を出したことは痛恨にたへない

一方敵機の反攻に對しわが海鷲は連日マールカス岬周邊の敵上陸地點に痛

【廿四日】十五日の敵一部兵力のニューブリテン島マールカス岬及びアラウエ、ビレロ兩島上陸以來わが海鷲並に陸鷲、地上部隊の連續的な猛撃により敵上陸部隊は今や重大危機に直面するに至つたが、飽くまでニューブリテン島に飛行場を設定せんとする敵は強引執拗な補給増援を企圖すると共に周邊敵基地の航空機を總動員して同島方面のわが基地攻撃を續けて來た、特に敵はわが目標をラバウルに置き廿三日午前にはコンソリデータードB24重爆撃機廿七機、ロッキードB38、ボートシコルスキーF4U、グラマンF4E、ラムランF6F等戦闘機四十八機、合計七十五機の大編隊をもつてラバウルに來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し、敵機群中に突入して壯烈なる空戦を展開し、その二十四機を撃墜(内不確實四機)した、その内譯はB24五機、P38一機、F4U七機、F4E二機、F6F九機である、この戦闘を通じてわが方六機の尊い未歸還機を出したことは痛恨にたへない

烈な爆撃を加へると共に、屢次の大...

十月以降ラバウル上空戦

【廿四日】十月以降のラバウルに對...

一、十月中 △十二日 約二百機來...

二、十一月 約二百機來襲、わが方...

三、十二月 約二百機來襲、わが方...

四、十二月 約二百機來襲、わが方...

ラバウル來襲敵機五十

八擊墜

大本營發表(十二月二十五日十六...

一、帝國海軍航空部隊は十二月二十...

二、帝國海軍航空部隊は十二月二十...

三、帝國海軍航空部隊は十二月二十...

四、帝國海軍航空部隊は十二月二十...

五、帝國海軍航空部隊は十二月二十...

調機、B25機爆撃機の一機計三...

來襲敵機五十機中

卅一擊墜

大本營發表(十二月廿九日十六時)...

一、帝國海軍航空部隊は十二月廿八日...

二、帝國海軍航空部隊は十二月廿八日...

三、帝國海軍航空部隊は十二月廿八日...

四、帝國海軍航空部隊は十二月廿八日...

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

マカツサル來襲の

敵機撃攘

【マカツサル十日發】十日...

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

欧米戦争

獨軍入公表戦況

【ベルリン發】

總統大本營

發表

△東部戦線

一、Dニエブル河下流地區

獨軍山岳部隊はヘルソン橋頭堡から

赤軍陣地に對し局部的攻撃を加へて

赤軍陣地に對し局部的攻撃を加へて

驅逐した、ニコポリ橋頭堡において

も局部的交戦が行はれた

一、Dニエブル河彎曲部

クリウオ

イログ東北方及びクレメンチユグ西

一、クリチエフ方面

獨軍はクリチエフ西南において猛烈な赤軍の攻撃

【西南太平洋】〇〇基地十五日發...

敵機バリツクパンに來襲

【西南太平洋】〇〇基地十八日發

【西南太平洋】〇〇基地十八日發...

【西南太平洋】〇〇基地十八日發...

【西南太平洋】〇〇基地十八日發...

【西南太平洋】〇〇基地十八日發...

【西南太平洋】〇〇基地十八日發...

を挫折せしめた

一、スモレンスク西方地区 スモレンスク西方の自動車道路において赤軍は有力な戦車並に歩兵部隊を以て赤軍陣地を突破せんと攻撃を再開し、獨逸軍はこれを撃退、若干地点において赤軍が結成した突出部をも閉塞した

一、ネヴエリ地区 獨逸軍はネヴエリ地区の赤軍突出部に對し果敢な攻撃を加へ赤軍を更に後退せしめた

二

【ベルリン發】 總統大本營
一、ドニエプル大彎曲部内では赤軍が若干地点に於て小兵力を以てドイツ軍陣地に來襲したが、赤軍の企圖は失敗に歸した、しかしレメンチユグ西南の突出部周辺における戦闘は一段と激化し、ドイツ軍陣地内に突入した赤軍一ケ大隊はドイツ軍の反撃によつて殲滅された

一、チュエルカウシ近傍でドイツ軍は成功裡に反撃を展開、一時赤軍に包圍されてゐたケーストナー少佐麾下の第五擲弾兵部隊を救出した

一、ペリビヤーチ、ベレジナ兩河中間地区ではドイツ軍は赤軍が過去數

日間の戦闘で形成した若干の突出部を閉鎖し且つ攻撃し來つた赤軍部隊を撃退した

一、ベレジナ河口の西北方ではドイツ軍は集中砲撃及び効果的爆撃に依つて有力な赤軍部隊を粉砕した

一、クリチエフ西方では未だ激戦が展開中である、一方スモレンスク街道では戦闘は次第に激化して来り、赤軍は狙撃兵二十ケ隊の大兵力を以てドイツ軍陣地を猛襲戦闘は長時間に亘つて續けられたがドイツ軍は甚大な損害を與へてこれを撃退した

一、ネヴエリの西方及び西南方ではドイツ軍は赤軍の頑強な抵抗を排して成功裡に攻撃作戦を展開した

一、ドイツ軍は十一月中に東部戦線にソ聯機八百六十五機を撃墜したがこのうち五十四機は陸軍部隊の戦果である、戦闘機中隊長バルクホーン大尉は空中戦でソ聯機二百機撃墜の記録を樹立した

一、東部戦線に於ける英軍の攻撃力は一時的に弱化した、英軍は一地點に於て戦車部隊の掩護下にドイツ軍陣地に對し連續四回の攻撃を加へたに過ぎず、ドイツ軍は右英軍部隊に大損害を與へて撃退した

一、ドイツ空軍はサンタクロ河口地区の英軍砲兵陣地に直撃弾を浴せ且つ多數の車輛を撃破した、またドイツ空軍は空中戦で反樞軸空軍八機を撃墜した

一、米空軍がドイツ西部地區に白晝攻撃を加へ數ヶ地點に爆弾を投下したが、ドイツ軍は直ちに邀撃主として四發爆撃機からなる米機四十二機を撃墜した

一、ドイツ空軍は一日夜英本土南部を爆撃した

一、ドイツ軍快速艦隊は一日夜英本土南岸で有力な英軍護送船團を攻撃し、一、千トン級商船一隻を撃沈した

三

發表

一、連續的豪雨により南部地區の戦闘は二日に至りその激しさを減じ、僅かにクレメンチユグ西南の突出部並にチュエルカウシ地區においてのみ、活潑な戦闘が行はれた

一、ドイツ軍は赤軍戦車二十六臺を撃破した、ゴメリ地區のドイツ軍陣地に對する新たな赤軍の壓迫は弱化した過去數日間における激烈な防衛戦でフオン・カウケン中將麾下の戦車第四師、歩兵第二九六師は最も困難な條件にも拘らず、赤軍の突破企圖を悉く撃退した、スモレンスク西方では赤軍は殆んど間斷なく攻撃を續け、新鋭部隊を前線へ繰り出した

一、東部戦線に於ける赤軍は歩兵三十一ヶ隊と、並に強力な戦車部隊を以て攻撃に出たが、ドイツ軍はこれを邀へ敵に甚大な損害を與へて撃退した、ネヴエリ西南方並に西方におけるドイツ軍の攻撃は赤軍の頑強な抵抗にも拘らず、順調に進捗した

一、南部イタリア戦線では西部地區におけるドイツ軍陣地は終日強力な敵砲兵隊の砲火に曝された、東部地區では反樞軸軍は激襲を繰返へし、ドイツ軍の反撃をうけ敵の局部的突破は閉鎖された、又全線に亘り双方とも空軍が活躍した、ドイツ軍は敵機十六臺を撃墜した、二日夜強力なドイツ空軍爆撃機隊はアブリ

ア地方ペリの敵補給地を攻撃、海灣地區に大破壊を起させ、更に現在までに判明したところでは貨物船二隻を撃沈、燃料、軍需品を満載した他の二隻を炎上させ、又多數の船舶に大損傷を與へた

一、強力な英空軍爆撃機隊は二日夜ベルリンに對し新たな恐怖攻撃を加へた、ドイツ防空陣は直ちに行動を起し敵空軍に甚大な損傷を與へ、爆撃機五十三臺を撃墜した、ドイツ西部でも小數の反樞軸空軍の空襲を受けたが、損害は輕微であつた

四

發表

一、南部地區においてはクレメンチユグ西南方とチュエルカウシ附近で大きな戦闘が行はれ獨逸軍は赤軍に局部的突出を許した他は悉く赤軍の攻撃を撃退した、一地點においては獨逸軍防衛線を突破した赤軍部隊との間に激戦がなほ續行されてゐる

一、プリビヤーチ河とベレジナ河中間地區における各地において獨逸軍陣地に突入したが、獨逸軍は直ちに反撃を加へてこれを撃退した

一、クリチエフ西方において戦車部隊の支援を受けた有力な赤軍部隊との間に目下激戦が展開されてゐる

一、スモレンスク西方地區における大防禦戦の第四日間に赤軍は激しい吹雪の中を獨逸軍陣地に對し繰返し猛烈な攻撃を加へ來つたが、獨逸軍は甚大な損害を與へて赤軍の全攻撃を撃退した、自動車公路北方の獨逸軍陣地に突入した赤軍一ケ隊は獨逸軍に依り殲滅された

一、ネヴエリ西方において獨逸軍は赤軍陣地に攻撃を加へ局部的に陣地を擴大した有力な赤軍は獨逸軍陣地に逆襲してきたが獨逸軍はこれを撃退した、此の戦闘において赤軍戦車二十四臺を撃破、四臺を使用不能に陥らしめた

一、南部イタリア戦線西部戰區の各地區において現在激戦が展開されてゐる、獨逸軍は數箇所の米軍突出部を閉塞し捕虜を得た、一方東部戰區においては獨逸軍は英第八軍の強力なる攻撃を第一線陣地後方數キロの一地點で邀撃これを撃退した

五

發表

一、英空軍爆撃機隊は四日早朝ライプツヒに威嚇爆撃を加へ市民住宅地區、公共建築物文化記念物等に爆弾を投下した、一方敵空軍はベルリン上空にも飛來したが何等損害は蒙らなかつた現在までに敵爆撃機二十八機を撃墜したことが判明してゐる

一、東部戦線
一、クリチエフ半島では赤軍が四日ケルチ東北の上陸據點から猛烈な準備砲撃を行つた後、多數の戦車の掩護下にドイツ軍陣地に猛攻撃を開始したが、ドイツ軍は戦車十三臺を撃破、且つ多數の死傷者を生ぜしめて赤軍を驅逐した、一方ルーマニア軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を攻撃、赤軍陣地を突破して海岸に向つて進出した、有力なドイツ空軍はケルチ南方及び北方の赤軍上陸據點に對する戦闘に参加し多大の戦果を収めた

一、ドイツ海軍砲兵部隊は、ケルチ

海峽に於てケルチ南方の上陸據點に
向はんとする赤軍輸送船團を攻撃、
砲艦二隻、兵站品を輸送中の曳船と
船各二隻、その他の艦船五隻を撃沈
した

一、ドニエプル大彎曲部及びドニエ
ブル中流方面では、チエルクアツシ
地帯で活潑な戦闘が展開されたのみ
で他の地帯では小規模な戦闘が行は
れたのみ、赤軍はチエルクアツシ市
の西南方でドイツ軍陣地を攻撃した
が、失敗した、またチエルクアツシ
市の南部に突入した赤軍の大半は殲
滅された

一、プリビヤチ、ベレジナ兩河
間地域では未だ激戦展開中であり、
ドイツ軍はクリチエツ西方で反撃
に依つて一時赤軍に占領されてゐた
一地區を奪回した

一、スモレンスク地區の赤軍は従來
の戦闘で莫大な人員兵器の損害を生
じたにも拘らず突破作戦が失敗に
終つたので、四日には攻撃を開始し
なかつた、かくてスモレンスク街道
方面の第四期攻防戦はドイツ軍の完
全な勝利に歸した

五

【ベルリン發】 總統大本營
發表

一、クリミア戰線ケルチ東
北方で赤軍は終日強襲を繼
續したがドイツ軍は砲兵隊の有効な
協力の下に赤軍がドイツ軍陣地へ到
達する前に撃退、敵戦車十五臺を撃
破乃至擱座せしめた、ケルチ南方に
おけるルーマニア軍の攻撃は順調に
進み、更に地帯を獲得、赤軍の上陸
據點は著しく縮少せしめられた、
ドニエブル彎曲部では攻勢に優勢
な赤軍は猛吹雪を冒して攻勢を再開
タリウオイ・ログ東北並に西北方で

は夜に入るまで激戦が展開されたが
結局赤軍の攻撃は撃退され、僅かに
一地點で赤軍はドイツ軍陣地内に突
入、同日同地點では猛烈な戦闘が
繼續されてゐる五日同様の戦闘が
けでドイツ軍は敵戦車八十臺を炎上
せしめたチエルクアツシではドイツ
軍は敵の反復攻撃を撃退更に前日の
戦闘で主力との連絡を遮断された赤
軍部隊を殲滅した、爾餘の戦線では
僅かにゴメリ西北方並にネヴェリ西
方で局地戦が展開されてゐるに過ぎ
ない

一、南部イタリア戦線では天候が悪
化したのが數地區で局地的戦闘が引續
き展開されてゐる、アドリア海岸地
區ではドイツ軍は敵戦車六臺を撃破
した

一、クリミア戰線では六日
午後赤軍はケルチ東北方に
おける攻撃を中止するに至つた、ケ
ルチ南方の敵橋頭堡に對するルーマ
ニア軍の攻撃は目下順調に進捗しつ
つある、大ドニエブル彎曲部の赤軍
は六日攻撃を繼續したが、敵の突破
企圖は激戦の後撃破されたドニエブ
ロペトロフスク西方の赤軍部隊は
ドイツ軍の反撃に遭つて殆ど全部掃
蕩された、クレメンチウグ西方の
ドイツ軍は強力な戦車及び歩兵部隊
をもつてする赤軍の攻撃を阻止した
チエルクアツシでは六日赤軍は脆弱
な局地的攻撃を行つたに過ぎない、
ジトミール東北方地域でドイツ軍は

七

【ベルリン發】 總統大本營
發表

一、クリミア戰線では六日
午後赤軍はケルチ東北方に
おける攻撃を中止するに至つた、ケ
ルチ南方の敵橋頭堡に對するルーマ
ニア軍の攻撃は目下順調に進捗しつ
つある、大ドニエブル彎曲部の赤軍
は六日攻撃を繼續したが、敵の突破
企圖は激戦の後撃破されたドニエブ
ロペトロフスク西方の赤軍部隊は
ドイツ軍の反撃に遭つて殆ど全部掃
蕩された、クレメンチウグ西方の
ドイツ軍は強力な戦車及び歩兵部隊
をもつてする赤軍の攻撃を阻止した
チエルクアツシでは六日赤軍は脆弱
な局地的攻撃を行つたに過ぎない、
ジトミール東北方地域でドイツ軍は

の他の東部戦線各地區からは局地戦
が報せられてゐるに過ぎない、ドイ
ツ空軍はキエフ地區の敵集結部隊、

鐵道兵站部隊を攻撃、多大の戦果を
あげた、第五十二、ドイツ戦闘機中
隊は十二月四日八千回目の勝利を記
録するに至つた

一、南部イタリア戦線ではミッシャ
ーノ南方の山嶽地帯において戦闘が
激化した、最初、優勢な米軍は攻撃
に出たがドイツ軍はこれに反撃を加
へ、この戦闘において數ヶ所の丘陵
は數度に亘り兩軍の間を轉々とした
目下同方面ではなほ激戦展開中であ
る、東部地區からは前衛隊間の活潑
な戦闘が報せられてゐるに過ぎない
一、十二月五、六の兩日地中過重
西歐占領地區でドイツ軍は四發重爆
十七臺を含め合計二十五臺の敵機を
撃墜した

一、クリミア半島 テオド
リ中將の指揮するルーマニア第六
騎兵師團は獨軍砲兵隊、突撃隊並に
獨軍ルーマニア、クロアチア空軍の支
援の下にケルチ南方の赤軍上陸點を
潰滅した、三日間に亘る激戦におい
て赤軍上陸部隊は掃蕩され約二千の
赤軍を捕虜にした、獨海軍艦艇部
隊も此の作戦を援助した、即ちこれ
は海上部隊は最も困難なる状況に於
て上陸部隊に對する赤軍の補給を阻
止した、赤軍は六日夜右陸點から
撤収を企圖したが獨海上部隊はこれ
を挫折せしめるとともに赤軍軍用艇
七隻を撃沈した、斯くしてケルチ水
道に作戦中の獨海上部隊は三十五日

八

【ベルリン發】 總統大本營
發表

一、南部戦線西部戦區に於ける戦闘
は七日再び減退した、六日のクラ
ク軍の攻撃においては僅かに獨軍陣
地二箇所に突入したにすぎない、右
突出部に於ては戦闘がなほ繼續され
てゐる、東部戦區においては英軍は
強力部隊を以て獨軍山岳陣地を攻撃
し來つたが獨軍は激戦の後これを撃
退した、

一、反輻軸軍もドイツ軍も共に活潑
な空軍活動を行つた、ドイツ軍はイ
タリア戦線でも主として高射砲によつ
て反輻軸空軍十六機を撃墜、更に地
中海地區で他の六機を撃墜した

用艇が撃破されてゐる、赤軍はケル
チ東北方の橋頭堡から救授作戦を試
みたが成功しなかつた
一、ドニエブル彎曲部方面 ドニエ
ブル彎曲部に於ける赤軍の攻撃活動
は著しく減退した、然し赤軍はクレ
メンチウグ西方に於て突出部を擴大
せんがために大兵力を以て猛攻を繼
續した、激戦は現在なほ續行されて
ゐるが或る地點に於ては獨軍は反撃
を加へ赤軍の頑強なる抵抗を排して
失地を奪回した
一、ジトミール方面 ジトミール東
北方にコステン南方における獨軍
の反撃作戦は赤軍の強靱なる抵抗に
も拘らず順調に進捗してゐる、獨軍は
多數の地點に突入し赤軍を粉砕した
△その他地區 プリビヤチ河とベ
レジナ河の中間地區、クリチエフ西
方ネヴェリ西方等に於て局地的戦闘
が展開された

一、獨軍は東部戦線に於て十二月四
日から七日までの四日間に空中戦及
び高射砲に依り赤軍飛行機百十五機
を撃墜、これに對して獨側の損失は
十機といはれる
△イタリヤ戦線
一、南部戦線西部戦區に於ける戦闘
は七日再び減退した、六日のクラ
ク軍の攻撃においては僅かに獨軍陣
地二箇所に突入したにすぎない、右
突出部に於ては戦闘がなほ繼續され
てゐる、東部戦區においては英軍は
強力部隊を以て獨軍山岳陣地を攻撃
し來つたが獨軍は激戦の後これを撃
退した、

一、反輻軸軍もドイツ軍も共に活潑
な空軍活動を行つた、ドイツ軍はイ
タリア戦線でも主として高射砲によつ
て反輻軸空軍十六機を撃墜、更に地
中海地區で他の六機を撃墜した

九

【ベルリン發】 獨總統大本
營發表

一、ドニエブルペトロフス

一、反輻軸軍もドイツ軍も共に活潑
な空軍活動を行つた、ドイツ軍はイ
タリア戦線でも主として高射砲によつ
て反輻軸空軍十六機を撃墜、更に地
中海地區で他の六機を撃墜した

一、フオン・ルエトウイツ中将麾下の第二十六機械化師團は過去数日來東部戦線における戦闘において英軍の全攻撃を撃破し、偉功を樹てた

十日

日

△東部戦線

一、ケルチではドイツ軍突撃隊は重要高地を奪取した、ヘルソン橋頭堡における赤軍の突破企圖は依然成功するに至つてゐない、クレメンチウグ西南地區では九日も猛烈な雪の中で激戦を展開され、ドイツ軍は赤軍の攻撃を反撃に依つて阻止するに成功した、但し赤軍の突破した敷地帯では目下なほ激戦繼續中である

一、チェルカウスイ地區では赤軍は猛攻を再開した、ジトミール、コロステン地區では赤軍の頑強な抵抗にも拘らず順調に進捗中である、ブリビヤーチ、ベレジナ兩河中間並にドニエプル、ベレジナ兩河合流點北方地區では赤軍は大規模な攻撃に出たが撃退され、數ヶ所の楔も除かれた、東部戦線その他地區では重要な戦闘は行はれてゐない

一、南部イタリア戦線の西部地區では反樞軸軍はカッシーへ逼る道路の兩側で數個の山頂を占領するに至り、ドイツ軍防衛線は激戦の後更に西北方へ數軒引下げられた、東部地區では英軍は一部戦車を有する部隊を以て小規模な攻撃を行つたが、悉く撃退された、更にイタリア戦線ではドイツ軍は敵機九機を撃墜し、又ドイツ海軍部隊も地中海水域で二機を撃墜した

日一十

日

△東部戦線

一、獨、並にルーマニア軍はケルチ附近において更に重要山岳陣地を奪取した、赤軍はケルチ半島に對し新たに上陸を企圖したが海軍砲兵隊並に海軍重要砲兵隊の支援を受けた陸軍部隊はこれを撃退したこの戦闘において軍隊を滿載した赤軍も陸用舟艇十五隻を撃沈した

一、クレメンチウグ南方の防禦戦は依然激烈に繼續された、同方面において獨軍は赤軍戦車多數を撃破した一、チェルカウスイ地區においては赤軍の攻撃と獨軍の反撃が終日展開された、赤軍は多數の人的損害を蒙つたほか戦車二十四臺を喪失した

一、その他地區においてネグエリ南方の湖沼地帯において局地的戦闘が行はれたのみである

日二十

日

△東部戦線

一、獨、並にルーマニア軍はケルチ附近において更に重要山岳陣地を奪取した、赤軍はケルチ半島に對し新たに上陸を企圖したが海軍砲兵隊並に海軍重要砲兵隊の支援を受けた陸軍部隊はこれを撃退したこの戦闘において軍隊を滿載した赤軍も陸用舟艇十五隻を撃沈した

一、クレメンチウグ南方の防禦戦は依然激烈に繼續された、同方面において獨軍は赤軍戦車多數を撃破した一、チェルカウスイ地區においては赤軍の攻撃と獨軍の反撃が終日展開された、赤軍は多數の人的損害を蒙つたほか戦車二十四臺を喪失した

一、その他地區においてネグエリ南方の湖沼地帯において局地的戦闘が行はれたのみである

日三十

日

△東部戦線

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

日四十

日

△東部戦線

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

日五十

日

△東部戦線

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

一、赤軍は十二日もキーロヴオクラド地區及びチェルカウスイ近傍地區でドイツ軍陣地線に對し多數の攻撃を加へ來つた、兩地區では

赤軍歩兵並に戦車部隊はかねて豫期されてゐた攻撃を開始した、獨軍は激戦の後防禦戰の完全なる成功を収めた、赤軍戰團部隊は一時的に突出部隊を結成したが、獨軍は反撃を加へてこれを閉塞した、赤軍はこの地區において特に甚大なる損害を蒙り、戦車四十臺が獨軍のため破壊された、ネヴェリ南方において赤軍は新鋭部隊を増強して獨軍に對する重壓を増加しながら獨軍は赤軍の攻撃を激戦の後撃退、數箇所の局地的突出部隊をも閉塞した

△南部イタリヤ戰線

一、英軍は十四日アドリア海岸附近の狹隘な戦線で獨軍陣地を攻撃した英軍の攻撃は強力なる砲兵隊並に空軍の支援を受けてゐたけれども、僅が數ヶ所に於て大した重要でない陣地を獲得したにすぎず、その他の全地區に於ける攻撃は獨軍の防禦砲火と白兵戰の前に崩壊した、英軍突出部隊に對する戰團は現在猶繼續されてゐる、獨戰團爆撃機隊は十三日夜、敵補給基地バリを攻撃港灣施設を爆破した、一方地中海上空に於て獨軍は十四日敵機七機を撃墜した

【ベルリン發】 總統大本營發表
一、赤軍がヘルソン橋頭堡に對し數回に亘つて攻撃を加へて來たが、ドイツ軍の集中砲火によつて赤軍の攻撃は失敗に歸した
一、キーロフオグランド地區ではドイツ軍は赤軍の攻撃を撃退した後反撃を受け、頑強な赤軍の抵抗を排して若干の住民地區を含む重要地域を占領した
一、ブリビヤーチ河沿岸では赤軍が

日六十

發表

一、赤軍がヘルソン橋頭堡に對し數回に亘つて攻撃を加へて來たが、ドイツ軍の集中砲火によつて赤軍の攻撃は失敗に歸した
一、キーロフオグランド地區ではドイツ軍は赤軍の攻撃を撃退した後反撃を受け、頑強な赤軍の抵抗を排して若干の住民地區を含む重要地域を占領した
一、ブリビヤーチ河沿岸では赤軍が

戦車部隊の掩護下にドイツ軍陣地に對する攻撃を開始したが、大損害を生じたのみで撃退された
一、ブロービン地區では一進一退の激戦の後、赤軍の突破企圖は凡て失敗した
一、ネヴェリ南方では赤軍が優勢な兵力を以てドイツ軍陣地に攻撃を加へ、ドイツ軍は十五日の戰團でソ聯機七十六機を撃墜した
△イタリヤ南部戰線

一、西部戰區では十五日反樞軸軍がミナノの兩側面で大兵力を以てドイツ軍陣地を攻撃したが撃退され、多數の戦車を喪つた、しかしミナノ西方で一時反樞軸軍が占領した一丘陵陣地の爭奪戰が目下續行されてゐる
一、東部戰區では英軍が戦車部隊の掩護下に攻撃を續行したが兵員及び資材の大損害を生じた
△その他

一、米空軍爆撃機が十五日正午オーストリアのインスブルック市を空襲高性能爆弾を投下し、主として住宅地區及び文化建築物が損害を蒙つた
一、十五日夜數機からなる反樞軸空軍がドイツ西部のレーニツシューウエストフアリア工業地帯に攪亂攻撃を加へた

日七十

發表

一、ドイツ海軍沿岸砲隊はケルチ海峡でソ聯快速艇一隻を撃沈、爆撃機一臺を撃墜した
戦車、空軍の掩護の下にヘルソン橋頭堡に對して加へられた赤軍の攻撃はドイツ軍山嶽部隊に依て撃退され敵は甚大な損害を蒙りドイツ軍は敵

戦車十九臺を撃破した、キーロフオグランド地區では十六日又も赤軍は強力な部隊を以て多數の地點で攻撃に出たが失敗に歸した、ドイツ軍は更に反撃に轉じ激戦の後地域を獲得した、右戰團において赤軍は戦車三十三臺、砲二十三門を喪失した
ブリビヤーチ、ペレヂナ兩河中間地區でも赤軍は多數の地點で攻撃に出たがドイツ軍に依て撃退され、ブロービン地區ではドイツ軍は強力な赤軍を撃退、又赤軍密集部隊並に戦車集團を四散せしめた、クリーチエフ西方では赤軍は煙幕を使用して攻撃に出たが失敗した、ネヴェリ西方地區では終日熾烈な防禦戰が行はれドイツ軍一軍團の前面のみで敵戦車五十一臺を撃破した、十六日赤軍はネヴェリ西方並に西北方地區にその攻撃を擴大した、レニングラード南方のドイツ軍突出陣地に對する敵の局地的攻撃も失敗に歸した
一、南部イタリヤ戰線ではヴェナフの兩側で防禦戰が續けられた
東部地區では英軍は戦車、重砲、空軍の掩護の下に攻撃を續けたが僅かに重要な戰果をあげたに過ぎない、右地區における英軍の突破企圖は挫折し戦車多數を喪失した、ドイツ軍は右戰團で反樞軸空軍十機を撃墜した
一、反樞軸空軍は十六日晝間、ドイツ西部の諸都市に來襲、住宅地區に爆彈燒夷彈多數を投下した、損害は特にブレームンにおいて甚だしく文化記念物多數が破壊された、同日夜反樞軸空軍爆撃機隊はベルリンに對し攻撃を加へ相當の損害を生じた
ドイツ軍防空隊は悪天候により防禦が困難であつたにも拘らず現在まで

日八十

發表

一、赤軍は戦車並に空軍の掩護の下にヘルソン橋頭堡に對する攻撃を繼續したが、甚大な損害を蒙つて撃退された、十七日キーロフオグランド近郊においても赤軍は多數の攻撃を繰返へしたが、激戦の後撃退された、更にドイツ軍は同方面で反撃に出で赤軍の抵抗を破砕し所定の地點まで到達した、又右戰團でドイツ軍は敵戦車五十四臺を撃破した、ブロービン地區では赤軍は前に甚大な損害を蒙つた結果、僅かに脆弱な攻撃を展開したに過ぎない
同方面で赤軍の歩兵並に戦車密集部隊はドイツ軍の効果的砲火を浴び四散せしめられた、クリーチエフ西方における赤軍の數次に亘る夜襲も失敗し、小さな規模は反撃に出たドイツ軍によつて直ちに除去された
十七日ネヴェリ南方並に西北方でも赤軍はドイツ軍陣地に對す間斷なき攻撃を加へて來た、數地點でうち込まれた敵の拠は除去され、又右戰團で赤軍が蒙つた損害は極めて甚大である、ドイツ軍歩兵一ヶ師團のみで過去二日間に三十四回に亘る敵の攻撃を撃退、同時に多數の敵部隊を粉砕、戦車二十一臺を撃破した
一、ドイツ海軍部隊はフィンランド灣で過去數ヶ月間にバルチック海に向つて突破を企圖したソ聯潜水艦六隻を撃沈した、他の潜水艦數隻も恐らく撃沈したものと思われる、又ソ聯の舟艇數隻も甚大な損害を蒙つた
一、南部イタリヤ戰線では過去數日間、互に互に激戦の後、大規模な戰團はマツハー中尉は去る九日及び十日ジトミール東北方地區の戰團で中隊の

日九十

發表

一、赤軍がヘルソン橋頭堡に對する攻撃を繼續したが、甚大な損害を蒙つて撃退された
一、キーロフオグランド地區では十八日、ドイツ軍陣地を突破しようとする赤軍の企圖は挫折し、ドイツ軍は反撃に轉じて更に進出した
一、ブロービン西方の戰況は平穩化した、同方面の赤軍が一時局地的突出部を形成したが、ドイツ軍は反撃によつて右突出部を閉鎖した、またドイツ軍砲兵部隊は有効な砲撃によつて赤軍の攻撃を粉砕した
一、ネヴェリ南方ではドイツ軍は激戦の後赤軍の突破企圖を凡て粉砕した、同市の西北方では有力な戦車部隊に掩護された赤軍がドイツ軍陣地を攻撃中である、攻撃力は次第に増大してゐる、ドイツ軍は激戦の後赤軍戦車四十一臺を撃破し且つ赤軍に多數の死傷を生ぜしめた、右戰團でハインリッヒ中將麾下の北部ドイツ軍二百九十歩兵師團及びチル中將麾下のホメラニヤ第百二十二歩兵師團が特に顯著な戰果を収めた
一、十六日から十八日までの三日間にドイツ空軍はソ聯機三十二機も撃墜し二機を獲つた
一、ドイツ軍の擲彈兵中隊長シュートミール東北方地區の戰團で中隊の

先頭に立つて勇奮奮闘偉勳を樹てたが遂に壯烈な戦死を遂げた
△イタリヤ戦線其他
一、イタリヤ南部戦線の西部地區で

は十八日も戦況は平穩であつた、一方アドリア海岸地區ではドイツ軍は一重要高地を奪回、更に反撃し來つた英軍を撃退、大損害を與へた、同地區の戦況はなほ續行中である
一、ドイツ輪送船團及び海軍哨戒部隊はフランス西部大西洋沿岸沖合で來襲した反極軸空軍爆撃機三機を撃退した

日十二

發表

【ベルリン發】 總統大本營
一、赤軍は廿日もヘルソン橋頭堡に對し數次に亘つて攻撃を加へて來た、相當長期に亘る戦闘休止状態の後、赤軍はニコポリ橋頭堡並にドニエプロペトログラフスク西南方に對しても強力な歩兵、機動部隊を以て攻撃を展開した、然しドイツ軍は激戦の後、赤軍を撃退し局部的突出部を除去した、更にドイツ軍は反撃に出で戦果をあげ、ニコポリ南方では赤軍との間に熾烈な戦車戦を交へ、敵戦車六十九臺を擱坐せしめた、キロヴォグラード附近では依然激戦繼續中であるが、赤軍は甚大な打撃を蒙つて撃退され、ドイツ軍戦車部隊は敵戦車擱を突破し、要塞化された丘陵地區を占領した、同方面の戦闘でドイツ軍一軍團の作戦地區だけで十九日敵戦車百四十七臺を撃破した

を企圖したが、ドイツ軍は敵の攻撃を悉く撃退、數ヶ所に形成された敵の突破口を封鎖、更にドイツ軍は敵戦車四十三臺を撃破乃至擱坐せしめた
一、ネヴェリ南方並に西北方でも十日赤軍は突破作戦を繰り返へしたがドイツ軍に依つて撃退され、ドイツ軍陣地内に突入して來た、敵の小部隊は殲滅されるか乃至は捕虜となつた右地區の反撃戦でドイツ軍は多數の砲を鹵獲すると共に數地區を奪還した

【ベルリン發】 總統大本營
一、南部イタリヤ戦線では東部地區で砲兵隊並に突撃隊の活動が報せられてゐるに過ぎない反極軸軍は十八日地中海地域で飛行機四臺を喪失、又ボスニア東部では有力な共産匪團は狹隘な地域に壓迫され、ドイツ軍は悪天候と地形の困難にも拘らず、之を殲滅乃至粉砕した匪團は戦死三十、捕虜二百六十八名を出し、ドイツ軍は砲二十四門、車輛百臺、その他軍需品を鹵獲した
一、十九日、反極軸空軍はインスブルックを攻撃したが河地上空の空中戦でドイツ空軍が敵機二十臺以上を撃墜したことが現在までに判明した
又十九日夜並に二十日朝の二回に亘りドイツ空軍は英本土東南部に大型爆弾を投下した

一、コロステン、ベレジナ兩地區では局地的反撃に依つてドイツ軍は敵地を奪取した、ウイテプスク東方では猛烈な準備砲撃の後赤軍は多數戦車の協力の下にドイツ軍陣地の突破

敵部隊は殲滅された、キロヴォグラード北方並にチメルカウシイ南方における赤軍の局地的攻勢は失敗しドイツ軍は反撃に出でて地域を獲得した、コロステン並にベレジナ河流域ではドイツ軍は頑強な敵の抵抗にも拘らず、更に進出した、コロステン地區のみでドイツ軍は敵戦車四十三臺、砲四十二門を夫々破壊するといふ戦果をあげた
一、ウイテプスク地區における赤軍はその壓迫を強化し、晝夜に亘る防禦戦は愈よその熾烈さを増した、右戦闘で赤軍戦車八十、砲三十九門が撃破された、ネヴェリ西北方でも赤軍は攻撃に出たが、失敗した、過去二日間に東部戦線でも赤軍が喪失した戦車は四百十六臺に達する
一、南部イタリヤ戦線では西部地區で反極軸軍突撃隊數ヶ部隊が攻撃を企圖したが、失敗した、アドリア海岸地區では二十日以來、強力な英軍の攻撃が繼續され、ドイツ軍は陣地の前面で敵を撃破し甚大な損害を與へた、地中海域で二十日高射砲並に輕海軍部隊により四發爆撃機八臺を含む敵機十八臺が撃墜された、右作戦でドイツ空軍は戦闘機一臺を喪失した、反極軸空軍は爆撃機の編隊を以て二十日晝間、ブレレミアの住宅地區に猛烈な恐怖空襲を加へたがドイツ空軍及び高射砲隊は少くも來襲機のうち四十五臺を撃墜した、二十一日夕刻、強力な英空軍もライン、メイン地區を空襲、高性能爆弾、焼夷弾を投下したため、住宅地區特にフランクフルト、マンハイム、オツン、フエンパツ、マンハイム、オツンに損害を蒙つた、ドイツ防空隊はこれら來襲機のうち四發爆撃機四十九臺を撃墜、更に敵空軍は西歐占領地域で四臺を喪失した、かくして現在までに判明したところでも二十日からは現在猶繼續されてゐる、同地區に於て赤軍は戦車廿臺を喪失した
一、ネヴェリ西北方に於ても獨軍は猛烈なる赤軍の攻撃を撃退した
一、アドリア海岸における敵の攻撃は再び熾烈さを減じた、獨軍はオルトナ地區における反極軸軍の小規模なる攻撃を撃退した
一、その他の地區においては敵突撃隊の活動を除いては二十一日終日平靜であつた

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

日一廿

發表

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

一、クリミア半島の北部戦線に於て、獨軍は獨軍陣地を攻撃し來つた赤軍一箇大隊を包圍殲滅した
一、赤軍はニコポリ橋頭堡及びドニエプロペトログラフスク東南方に於て獨軍陣地に對し猛烈な新攻撃を加へ來つたが、これらの新攻勢は成功しなかつた
一、獨軍はキロヴォグラード東南方に於て更に進出した、十二月五日から同廿一日に至るまでの期間に同方面攻撃の獨軍部隊は赤軍千三百名を捕虜とし、赤軍戦車二百七十四臺各種砲三百六門、その他多數の兵器を鹵獲乃至撃破した
一、ジトミール東北方地區に於て獨軍部隊は強力なる赤軍の反撃を撃退し、レチツア西方に於て獨軍は困難なる地形に於て赤軍を攻撃、頑強なる抵抗を克服して戦線の「間隙」箇所を閉塞した、此の戦闘に於て赤軍歩兵師團の主力は撃破され、獨軍は多數の赤軍を捕虜とすると共に夥しい戦利品を鹵獲した
一、ウイテプスク地區及び東方地區に於て赤軍は獨軍陣地突破を繰返し企圖したが、獨軍は激戦の後赤軍の

企圖を粉碎すると共に局地的突出部を閉塞した、數箇地點に於ては戦闘は現在猶繼續されてゐる、同地區に於て赤軍は戦車廿臺を喪失した
一、ネヴェリ西北方に於ても獨軍は猛烈なる赤軍の攻撃を撃退した
一、アドリア海岸における敵の攻撃は再び熾烈さを減じた、獨軍はオルトナ地區における反極軸軍の小規模なる攻撃を撃退した
一、その他の地區においては敵突撃隊の活動を除いては二十一日終日平靜であつた

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

日二廿

發表

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

日三廿

發表

【ベルリン發】 總統大本營
一、赤軍はニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

【ベルリン發】 總統大本營
一、ニコポリ橋頭堡、ドニエプロペトログラフスク西南方面における激戦の突破企圖は過去二日間に亘る激戦の後、悉く撃破された、キロヴォグラード、マンハイム、オツンに於ける強力な赤軍部隊の攻撃もドイツ軍によつて阻止され、突破成功した

はズロビン西南地區の戰鬪で顯著な戰功を収めた

一、東部戰區のオルトナ地區で反樞軸軍が有力な戰車、空軍の掩護下に...

一、二十四日早朝英空軍爆撃機隊はベルリン市民に對し再び恐怖爆撃を加へた...

【ベルリン發】 總統大本營 一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

ルツァノその他北部イタリアの諸都市に對する空襲に際し反樞軸空軍は五臺を喪失した

一、五機から成る英軍雷撃機隊がノルウェー海岸沖合でドイツ潜水艦及び小艦艇を攻撃したが失敗し...

一、北氷洋で廿二日夜、ソ聯快速艇五隻がドイツ護送船團を攻撃したが...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、米空軍爆撃機隊が二十一日晝間密雲を制してドイツ西北部に侵入し...

一、赤軍が有力な戰車及び歩兵部隊をもつて大規模な攻撃を開始し...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、二十一日夜、敵機からなる反樞軸空軍がラインランドに攪亂攻撃を加へた

一、北氷洋で廿二日夜、ソ聯快速艇五隻がドイツ護送船團を攻撃したが...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

日四廿

【ベルリン發】 總統大本營 一、ニコポリ南方、キーロ...

一、北氷洋で廿二日夜、ソ聯快速艇五隻がドイツ護送船團を攻撃したが...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

日五廿

【ベルリン發】 總統大本營 一、東部戰線 一、ジトミール東方地區で...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

日六廿

【ベルリン發】 總統大本營 一、東部戰線における冬季の戦は降誕祭當日も些かも...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

日七廿

【ベルリン發】 總統大本營 一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

一、レチツツア西北ではドイツ軍は攻撃を續行し赤軍の頑強な抵抗を排して...

一、ニコポリ橋頭堡、並にドニエプロベトフスク西方に...

砲數門、武器軍需品、小型車輛多數を鹵獲した

一、ベイ海軍少將麾下のドイツ艦隊は廿六日ソ聯向けの反樞軸送船團を北水洋において攻撃し船團並びに護送船團に甚大な打撃を與へた、ヒンツェ大佐麾下の戦艦シヤルンホルストは遙かに優勢な英國艦隊と長時間に亘り交戦、英雄的な戦ひの後最後の一弾まで射盡して沈没した

日八廿

發表

△東部戦線
一、ドイツ空軍戦闘機隊はケルチ海峡でソ聯快速艇一隻を撃沈した

一、キエフオヴオグラード東南方で赤軍がドイツ軍陣地を攻撃したが、ドイツ軍は反撃に轉じて赤軍の攻撃を驅逐した、キエフオヴオグラード北方ではドイツ軍の攻勢作戦は有利に進捗してゐる、

一、ジトミール地區の赤軍は二十七日もドイツ軍に對し猛烈な壓迫を加へて來たが、ドイツ軍戦車は赤軍戦車二十臺を撃破した、

一、レチツツア西北方地區ではドイツ軍は赤軍の反撃を驅逐した後、陣地を改善した

一、ウイテプスク地區の赤軍はドイツ軍陣地を突破しようとして反復攻撃を加へて來たが、ドイツ軍は激戦の後赤軍の攻撃を崩壊せしめた、この方面の數地點ではドイツ軍は反撃に轉じて赤軍を驅逐した

一、イタリヤ南部戦線では廿七日西部戦區で局地的戦闘が展開された、反樞軸軍はヴェナフロ北方で數的に優勢な兵力を以て攻撃を開始し激戦が展開されたが、右戦區でドイツ軍は一高地を喪失した

一、オルトーナ地區のドイツ軍は過去数日間の戦闘に於て反樞軸軍に甚大な損害を與へた後、廢墟と化したオルトーナ市から撤退して同市西北郊外にある新陣地に移つた

日九廿

發表

△東部戦線
一、キエフオヴオグラード北方のドイツ軍は若干の村落を奇襲、赤軍の頑強な抵抗を排してこれを占領、赤軍に大損害を與へた

一、ジトミール地區では赤軍が攻撃力を増大した、ドイツ軍はジトミール東南で激戦の後赤軍の先鋒部隊の進出を阻止した、同地區の北方でもドイツ軍は赤軍の全攻撃を阻止したこの方面の戦闘で赤軍は戦車四十一臺を喪失した、コロステン地區でも赤軍は二十八日猛烈な準備砲撃の後有力戦車部隊を以て攻撃を開始、目下激戦進行中である

一、ウイテプスクではドイツ軍は赤軍の突發企圖をすべて粉碎し、更に若干の突出部地區で攻撃に轉じて赤軍を後退せしめた

一、イタリヤ戦線
一、イタリヤ南部戦線では二十八日反樞軸軍がヴェナフロ北方でドイツ軍陣地に攻撃を企圖して失敗した、その他の地區では戦況が平穩であつた

一、二十八日戦闘機に掩護された二十六機からなる米軍重爆撃隊がイタ

リア北部地區に來襲したが、ドイツ軍は空中戦で爆撃機二十機を、また高射砲で他の二機を撃墜した、一方ドイツ軍は戦闘機四機を喪失したがこれらの戦闘機の搭乗員は無事に落下傘で降下した、またドイツ軍はイタリヤ西部沿岸地區で米軍戦闘機二機を撃墜した

△その他
二十八日朝、英軍が英佛海峡のサルタ島に奇襲攻撃を企圖したが、同島沿岸の機雷原によつて上陸を阻止され若干の死體を遺棄して敗退した

一、ドイツ海軍驅逐艦隊及び水雷艇隊は二十七日から二十九日までビスケー湾で英海軍艦隊と交戦した

一、ドイツ空軍及び英空軍も終始右海戦に参加した、激烈な海戦の結果、兩軍共に損害を生じた

一、二十八日夜數機からなる英空軍編隊がドイツ西部地區に攪亂攻撃を加へた

日十三

發表

△東部戦線
一、キエフオヴオグラード北方で攻撃作戦展開中のドイツ軍は二十九日更に進出した

一、ジトミール地區の激戦は更に苛烈化して居り獨ソ兩軍は續々前線に増援部隊を繰出してゐる、同地區のドイツ軍は二十九日赤軍戦車七十二臺を撃破した

一、ドイツ軍は激戦の後、コロステン市から撤退した

て閉鎖乃至撃破された

一、ドイツ軍重砲部隊はレンニングラード市内の重要軍事目標を砲撃、多大の戦果を収めた

一、イタリヤ南部戦線
一、西部戦區のドイツ軍はミンツルノ西南で反樞軸軍の一基地を占領、守備隊員を捕虜にし、且つ多大の資材を鹵獲した

一、反樞軸軍はヴェナフロ西北地區及びアドリア沿岸地區でドイツ軍陣地に攻撃を加へて來たが激戦の後撃退された

△ベルリン爆撃
一、英空軍爆撃機隊は二十九日夜もベルリンに對し爆撃を加へ、市内の數地區に甚大な損害を與へたが特に住宅地帯が破壊された

一、反樞軸空軍は同時にドイツ西部の數地點に攪亂攻撃を加へた

一、ドイツ空軍の夜間戦闘機隊および高射砲部隊は悪天候にも拘けらず來襲機の内爆撃機二十三機を撃墜した

戦闘を展開したのち沈没した、搭乗員の一部は救助された

一、なほドイツ潜水艦はニューフランドランド沖で英國驅逐艦一隻を撃沈した、かくて英海軍は總計七隻の驅逐艦を喪失した譯である

日一卅

發表

△東部戦線
一、キエフオヴオグラード北方のドイツ軍は四日間に亘つて赤軍陣地を攻撃、赤軍の頑強な抵抗を排して地雷原を突破、赤軍の突出部を閉鎖した右戦區でドイツ軍は多數の捕虜を得、且つ多量の資材を鹵獲した

一、ジトミール、ウイテプスクの兩地區では激戦が少しく弱まることなく續行されてゐる、ドイツ軍は優勢な赤軍の攻撃を阻止した後、反撃に轉じて重要任務を含む多數の地點を占領した

一、ドイツ軍は過去二日間の戦闘で赤軍戦車二百四十臺を撃破した

一、ジトミール地區の激戦に於てウイシウ親衛隊長麾下の「アドルフ・ヒットラー」親衛隊機械化師團が特に顯著な戦果を収めた

一、反樞軸軍一ケ大隊がミンツルの東南方のドイツ軍前線陣地の後方に上陸したが、ドイツ軍は直ちに反撃に轉じて右陸部隊を撃退した

一、他の戦區に於ては反樞軸軍が數地點に於て猛烈な準備砲撃の後、局地的攻撃を加へて來たが、ヴェナフロ西方で一高地の占領に成功したに過ぎず、他の凡ての地點では大損害を出して撃退された

爆撃機隊がドイツ西部に侵入、マンハイム、ルードヴィヒスハーフェンの両市に脅怖爆撃を加へた、ドイツ戦闘機隊及び高射砲部隊は之を邀撃ドイツ領及び西部占領地地上空で四發爆撃機を含む米機廿九機を撃墜した

一、廿日夜數機からなる英空軍編隊がラインランドに爆撃を加へた

一、ドイツ空軍はロンドンの市街地区に攪亂攻撃を加へた

△海上戦線

一、大西洋及び地中海で作戦中のドイツ潜水艦は反輻軸船舶五隻合計三萬五千噸を撃沈、且つ他船舶四隻を魚雷攻撃によつて大破した

一、ドイツ潜水艦は米國沿岸、北大西洋及び地中海で船團護送中の反輻軸驅逐艦三隻を撃沈した

東部戦線

東部戦線膠着状態

【ストックホルム三日發】 過去數日來の東部戦線戦況を概観するに、全線に亘る天候の悪化とドイツ軍の反撃力増大により、赤軍の進出が著るしく停頓してゐるのが注目される

白ロシア戦線では依然ゴメリ西北方のズロビン、ロガーチエフの兩地点が攻防の焦點となり、コロフスキ大將の指揮する赤軍有力部隊は右兩地を結ぶドイツ軍防禦線を一舉に突破せんとして猛攻を繼續してをリボイヌク方面から南下した部隊はロガーチエフ東北方のドフスクに到達、更にゴメリから西北進中の一

隊もズロビンの近くに迫り乍ら、ドイツ軍の熾烈な反撃に遭つて其後全く前進を阻止されてゐる様子だ、更にキエフ西方戦線ではジトミールコロステン、キエフの三角地帯で引き続き猛烈な機甲戦が演ぜられてゐるが依然、作戦の主導権はドイツ軍の手中にあり、UPモスクワ電も「同方面のドイツ軍は赤軍を數ヶ所から後退せしめたが赤軍陣地の突破には成功してゐない」と苦しい報道をしてゐる有様だ、ドニエプル中流以南ではチェルカシイ地区でドイツ軍が頻りに反撃に出るゐるが注目せられるが同時にクレメンチュグ西側も看過し難い、モスクワ情報によれば、クレメンチュグ西南方におけるマリノフスキ軍は數的優勢を恃み徐々にドイツ軍を壓迫してゐるといはれ、目下戦闘は要衝ズナメンカの北側、特に東北方の郊外で熾烈を極めてゐると傳へられる、一方ベルリン情報もモレンスク西方戦線における赤軍の強壓を頻りに報じてゐるのに反し、モスクワ情報も右地区の戦闘につき殆ど觸れてゐないのも注目に値しよう

全線に戦闘激化の兆

【ストックホルム十七日發】 十四日ネヴエリ地区で開始された赤軍の新攻勢に引續き十六日レニングラード地区でも赤軍の動きが頓みに活潑化するに至り、東部戦線では今やレニングラードからドニエプル河口のへルソンに至る全線に亘つて激戦が展開されるに至つた、尤も現在ネヴエリ、ズロビン、ラドムイヌリ、チエルカツスイ、キロヴォグラード、

クリグオイ、ログの各地区を除く他の地點では戦闘は局地戦の域を出でず、赤軍の本格的冬季攻勢が開始されたと見るのは尙早の觀があるが、過去一ヶ月半に亘つて中南部地区にのみ限定されてゐた赤軍の大規模な攻勢が北方地区へ遂次擴大されて來たことは注目すべきであらう、ベルリン情報によればネヴエリ地区の戦闘は益々擴大激化の一途を辿つてゐるといはれるが、モスクワ情報は各地区の戦況に全然觸れてをらず、又キエフ西方では目下マリノフ方面からジトミール南方へ向つて西方へ流れるテレレフ河の中流地区特にラドムイヌリ西北方で獨り兩軍の間に熾烈な戦が續けられ、有力な砲兵隊の増援を得たヴァーチン軍は右地区の戦闘で作戦の主導性をドイツ軍から奪還せんとして躍起となつてゐるといはれる、更にキエフ東南方ではチェルカツスイ西方のスメラ市並にキロヴォグラード市周邊で一進一退の激戦が續けられてゐるが戦況に大した變化は見られな、たゞキロヴォグラード地区に作戦中のコーネフ軍が同市の包圍態勢を著々整へつつあることは見逃せない

獨軍の大攻勢開始

【ストックホルム二十三日發】 モスクワ特派員ギルモアの報道によればドイツ軍は二十二日白ロシアからドニエプル彎曲部に至る戦線の全主要地区で、極めて大規模な「戰車攻勢」を開始し、目下赤軍陣地線に連續的猛攻撃を加へてゐるといはれる、特別におけるドイツ軍の攻撃力は極めて有力な模様で、モスクワ電報は兩地

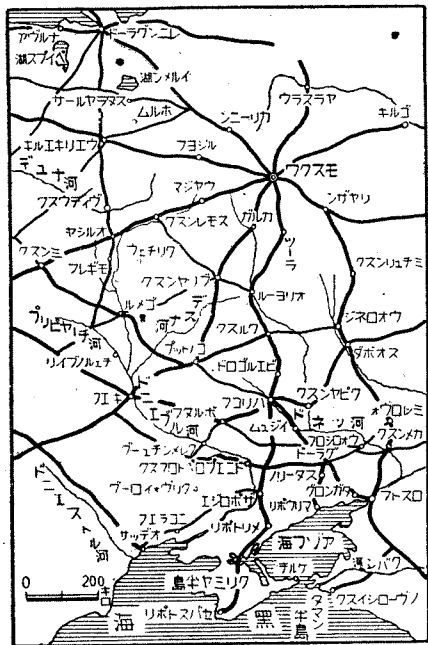
區のドイツ軍の戰車攻勢は開戦以來最も猛烈な攻撃であり、兩地區では目下ドイツの戰車と赤軍の砲兵が入り亂れて一進一退の激闘を交へてゐると報じてゐる、ソ聯情報局は二十三日の公表で、赤軍なズロビン西方およびコロステン地区でドイツ軍歩兵部隊の大規模な攻撃を撃退したと發表した、ドイツがこれまで終始防禦態勢をとつてゐた、白ロシアは誠に注目に値する、ドイツ軍は更にドニエプル彎曲部内のキロヴォグラード地区でも反撃を續行、若干地域を奪回した模様で、赤軍の南部戦線の冬季攻勢計畫はドイツ軍の豫想外に強力な反撃によつて重大挫折を來した模様だ、他方中部戦線北部のヴァイテプスク地区では目下同市を去る十二哩の地點で激戦が展開されてをり、また赤軍の一部はボロツクを去る二十哩以内の地點でドイツ軍と交戦中といはれる

赤軍時ならぬ雪融けに悩む

【ストックホルム二十八日發】 赤軍は廿三日以來東部戦線で本格的冬季攻勢を開始したが、モスクワ來電によれば東部軍線南部地区においては數日來季節外れの雪融けが始まり赤軍は飛行機を大量に使用して彈藥軍需品を前線へ輸送してゐると傳へられる

南中部地區

【ストックホルム一日發】 獨軍はジトミール北方の要衝コロステンを占領、ジトミール、フラストフ、コロステンを結ぶ三角形戰線確保してキエフ奪回の態勢を完成したが、ロイター通信もモスクワ特派員ハロルド・キングは廿日獨軍コロステン占領の意義を重視して「赤軍が四十五哩の線に亘る撤収に依つてコロステンを喪失したことは赤軍にとり重大打撃であ



狙撃兵十四ヶ師、騎兵二ヶ師、戦車二ヶ集團その他からなる約二十二萬の大兵力を繰出したといはれる、またモスクワ電報によれば赤軍はネヴエリ南方の幅八十キロの戦線で猛攻を續行し、ネヴエリ南方二十五哩のウイテプスク鐵道の上の要衝エゼリシチエ驛西方邊で激戦展開中といはれる、前線報道を綜合すれば赤軍の今回の新攻勢は本格的冬季攻勢の序曲とみられ、戦局は全戦線に亘つて今後愈々熾烈化するものと豫想されるに至つた、

赤軍、新戦線軍編成

【モスクワ二十日發】東部戦線における赤軍は現在第一から第四迄のウクライナ戦線軍を有してゐるが、ソ聯情報局は更に第一バルト戦線軍を新たに編成した旨二十日發表したこの新編戦線軍の司令官はベグラミヤン軍大將で、本年八月廿七日中將から大將に昇進すると同時にスヴォロフ一級章を授與され、更に僅か二ヶ月半で軍大將に昇進した若冠有能の獨將である、第一バルト戦線軍は現在ネヴエリ南方で獨軍との間に激戦を展開してゐる

ネヴエリ南方戦線軍重大化

【ストックホルム廿二日發】東部戦線の獨軍は廿一日白露のズローピン西南方ウクライナのコロステン方面並にドニエプル河彎曲部のキーロヴオグラード東南方において赤軍に反撃を加へた模様である、右反撃作戦においては特にズローピン西南(ヘルツァ西北)地區で獨軍は成功の收めた様子で戦車及び歩兵部隊より成る獨軍は濕地觀測に困難な地形と赤

軍の頑強なる抵抗にも拘らず見るべき進出を遂げ赤軍第三十七歩兵師團の主力を掃蕩したと傳へられる、一方キーロヴオグラード東南方では獨軍は過去數日間の攻撃作戦で獲得した據點を足場として赤軍陣地を攻撃した軍部隊を更に東南へ驅逐したといはれる、白露の要衝ウイテプスクに對する赤軍の攻勢は熾烈に續行されてゐる模様で、A.P.の前線報道はバルト軍が要塞都市ウイテプスクを距る十五哩の地點に迫つてゐる旨報じてゐるが、獨側報道も同方面戦局の重大化を認めてゐる、廿二日獨側報道は同方面の戦局を次の如く報じてゐる

キエフ西南方戦局重大化

【ストックホルム二十九日發】赤軍冬季攻勢の焦點たるキエフ西方地區の戦局は日を逐ふて苛烈化してゐる、模様にドイツ軍前線報道によれば、赤軍は二十八日ジトミール地區で攻撃力を増大する一方、コロステン地區でも有力戦車部隊を以て攻撃を開始したといはれる、赤軍の攻撃方向は目下、ジトミール、コロステン、ベルヂチエフの三市に向けられ目下ジトミール東方約十哩コロステン市周邊、チエルニヤホフ市周邊などの各地區で一進一退の激戦が展開されてゐるがマンシュエタイン軍は得意の攻勢防禦作戦と離脱作戦を併用して赤軍の攻撃を阻止する一方、赤軍に甚大な損害を與へてゐる模様だ、しかしドイツ軍報道によればマンシュエタイン軍は戦局の重大化に鑑み、豫備兵力を續々前線に繰出してゐるといはれ、同方面の戦局は今後更に激化するものと豫想される、ソ聯情報局は二十九日の公表において赤軍がコロステン、チエルニヤホフ兩市の奪回に成功した旨發表したが、ドイツ軍報道はこれを認めてゐない、また同公表によれば赤軍はザポロージエ地方でも新攻勢を開始したといはれるが、未だ同地區の戦局の詳細は不明だ

バルト諸國に赤軍落下傘部隊

【ストックホルム廿二日發】ネヴエリ戦線における赤軍現在の規模な攻撃作戦はラトヴィア國境への到達を目指してゐるものと見られるが、廿二日U.P.の電報はバルト諸國には既に赤軍落下傘部隊が着陸した旨報

リキヤ地

ソ聯砲艦を撃沈 【ベルリン六日發】ドイツ軍當局の言明によればクリミヤ半島ケルチリキヤ半島ケルチ南方のドイツ海軍砲兵部隊は五日夕刻エルチゲンの赤軍橋頭堡を救援に赴かんとするソ聯海軍砲艦隊を邀撃し砲艦二隻、火薬を積載した船二隻及び他の艦隻五艇を撃沈し他を敗走せしめた

南部戦線

イタリヤ戦線

エルチゲンの橋頭堡突破 【ベルリン五日發】ドイツ軍當局の言明によればクリミヤ半島ケルチ南方のルーマニヤ軍はエルチゲンに在る赤軍橋頭堡を突破し海岸まで到達するに至つたといはれる

伊本土上陸以來英米軍損害

【リスボン八日發】アルジェーラ電 北阿反樞軸軍司令部は八日イタリヤ南部戦線において九月三日より十月廿三日までの米英兩軍の戦死傷者数が戦死五千二百三十三名、戦傷並に行方不明合せて一萬六千八百名である旨發表した、内譯次の通り

一、英軍 △戦死三千二百二十二名 △戦傷三千九百五十六名 △行方不明三千五百五十三名
一、米軍 △戦死一千八百一十一名 △戦傷七千二百一十一名 △行方不明一千六百七十名

ドイツ軍當局は十八日イタリヤ本土上陸以來現在迄の米英兩軍の戦死傷者は合計約十五萬名と推定せられた旨言明した、さきに英外相イーデーが十四日下院で發表した數字に訂正を加へた、内譯次の通り
△英軍 十一萬六千名、内行方不明三萬名
△米軍 一五萬名、内戦死二萬一千名、内戦傷二萬六千名
△インド、ニュージブラント、カナダ、ニューファウンドランド軍八萬二千五百名、内戦死二萬五百名、戦傷六萬名

更生イタリヤ軍前線へ

【ローマ十二日發】ムツソリーニ統帥は新政府組織以來共和イタリヤ軍の再建に努力してゐるが、「ジョルナレ・デ・イタリヤ」紙は十二日の紙上に共和イタリヤ軍の狙撃兵部隊が警備地區を出發、勇躍イタリヤ南部戦線へ出動してゆく凜然たる出陣ぶりを寫眞入りで報道してゐる

北伊地區 盲爆

【リスボン十六日發】反樞軸北阿空軍は十五日白露「空の要塞」並にリベレター爆撃機三百機の編隊を以て獨伊國境アレンネル峠を爆撃したといはれる、一方オーストリアのインスブルック、北阿のボルツァーノ、トレント地方も同日北阿空軍の盲爆を受けたがインスブルックが北阿空軍の爆撃を受けたのは今回が最初である、イタリヤ戦線における反樞軸軍の進撃が極めて遅々たるに反し獨防衛軍は本土から續々増強されて日一日強力化してゆく實情

に業を煮やした反樞軸軍司令部は、これら要衝の爆撃によつて獨軍の補給を攪亂せんと意圖したものと思はれる

イタリヤ北部を盲爆

【ベルリン廿八日發】米空軍は廿五日朝イタリヤ北部のヴィセンツアに來襲、爆彈百個以上を投下、多数の家屋が破壊され、且つ八十五名の死傷を生じた、又同日二編隊より成る反樞軸爆撃機隊がピサに來襲、ために甚大な損害と多数の死傷者を出した、續いて翌廿六日反樞軸空軍部隊がイタリヤ北部のヒスチア、プラトエムボリの三都市に來襲し、住宅地區に盲爆を加へたために多数の死傷者を出した

反樞軸必死の總反攻

【ローマ廿七日發】數週間に亘つて膠着状態にあつた南伊戦線の英第八軍は十一月廿八日より米第五軍は十二月三日より再び攻撃に出始めた、反樞軸軍の攻撃目標はローマの奪取にあり、英第八軍はランチアーノよりアドリア沿岸沿ひにベスカラに出で、ベスカラ、ローマ街道傳ひに東方よりローマを脅かさんととしてをり、一方米第五軍はカッソノよりフロジノーネを經由南方よりローマに迫り兩軍相拂へてローマを陥れんとするのにあることは明白である、然しドイツ軍は敵の攻撃が遅々として進まぬ間に中部アペニンの後險を利用して相當堅固な防備陣を敷いてをり、今回の第八、第五兩軍の豫備隊を總動員せる總攻撃も高地の砲兵陣地からの獨軍の砲撃を受けて莫大な死傷者を出してをり、

反樞軸軍の進撃は一才一尺非常な血肉の犠牲に依つてなされてゐる模様である、前線よりの報道を綜合すると現在戦局が最も激烈に展開されてゐるのは、米第五軍正面にあつてはカッシノ溪谷の出口およびヴェナテロ町の西方方面、サムスカロとモンテ・カミノ方面、又英第八軍正面にあつては英軍は去る廿八日サンゲロ河の渡河に成功して以來獨軍の猛砲火の中をぢりぢりと進撃を續け現在ランチアーノよりグアルヂアグレテに至る道路方面において戦果を擴大してゐる模様だ、その線より稍々北に位するオルソニアの町は一且英軍の手に歸したが、四日獨軍の猛反撃に依り英軍はこの町より撃退せられ死傷者多数を出したほかニエーラジランド第二師團に屬する多数の捕虜を出した、今回の攻撃が反樞軸軍の最後の努力を盡したものであることは従來第二線に置かれてゐた植民地軍が第一線に狩り出されてゐること即ち反樞軸軍が保有する總兵力を第一線に投じて來た事實から容易に推定される

バドリオ軍米軍戦線に参加

【ベルリン廿九日發】獨軍當局は九日イタリヤ戦線の戦況に關し次の如く言明した
南伊タリヤ戦線における活動は過去二十四時間中東部地區においても減退し東部、西部兩地區においても地的交戦以上の戦闘は見られなかつたが獨軍は反樞軸軍の攻撃を撃退するとともに反撃を加へ前日獨防衛線に結成した反樞軸軍の突出部を閉塞した、ヴォルツノ溪谷上流のヴェナフロ西南の高地争奪戦は猶激烈に繼續されてゐる、バドリオ軍が米第五軍の地區で戦線に参加してゐることが明らかとなつた、約一箇師團に達するバドリオ軍數箇師團が同方面で作戦してゐる模様である、この事實はバドリオ政権の裏切がイタリヤに平和を齎らしたものでなく、かへつて反樞軸軍のための新しき血の犠牲を齎らしたものであることを實證するものだ、然し米軍戦線に参加してゐるバドリオ軍の内相當數が既に獨側に逃亡してきた、バドリオ軍は獨軍陣地を攻撃し來つたが、獨軍は難なくこれを撃退した

反樞軸軍の反攻挫折

【リスボン十六日發】前線報道を綜合するにイタリヤ戦線における米英軍の總攻撃は全く頓挫した形で東西兩戰區を通じて單に局地戦が見られるにすぎない、アドリア海岸の英第八軍は十五日三方面からオルトーナ南方二哩、オルトーナ、オルソニア公路上のペラルデイに到達した様子だが局地的性質のものにすぎない、一方米第五軍戦線においては獨軍が米軍突出部に反撃を加へてこれを閉塞したと報せられる以外は變化はない、反樞軸宣傳機關はイタリヤ戦線において反樞軸軍が遅々として進まぬのは悪天候に因るものと辯明してゐるが、米英軍總攻の挫折は鐵壁の獨防禦陣に阻まれた結果であることは明らかだ、最近イタリヤ戦線の獨空軍が増強され著しく強力化してきてゐることは去る二日のバリ港奇襲が立證するところだが、十五日も獨空軍爆撃機隊は反樞軸軍部隊集團並に兵舎等に低空爆撃を加へて有效なる成果を収めたほか、護衛の戦闘

オルトナで市街戦

【ベルリン二十五日發】D.N.B通信軍事記者、カール・ブレッグナー氏は二十五日南部イタリヤの戦況を次の通り報じてゐる
二十四日イタリヤ戦線の西部地區では終日平靜であつたが、二十五日朝に至り米軍はミニャーノ、カッシノ道路の北方に設定されたドイツ軍陣地に對して攻撃を加へて來た、尤もこの敵の攻撃が、カッシノ前面の平原を獲得しようとする大攻勢であるかどうかは目下のところ未だ明かない、一方東部地區では廣汎な戦線に亘り、特にアドリア海岸近くで激烈な戦闘が行はれ、過去數日來のイソンド、カナダ軍等雜軍による攻撃が成功しなかつたため、英第八軍首腦部は二十四日から新鋭部隊を以てこれに代へ、遂に二十四日オルトナ西方のドイツ軍陣地に楔をうち込むことに成功した、次いで第八軍は右突破地點から優勢なカナダ軍をオルトナ市内へ突入するに至り二十四日夜半から猛烈な市街戦が行はれてゐる、獨軍オルトナを撤収【ベルリン廿八日發】ドイツ軍當局は廿八日ドイツ軍がイタリヤ南部戦線のオルトナから撤収した旨發表した

パリ港大舉爆撃

【ベルリン五日發】ドイツ爆撃機隊は二日夜イタリヤ東南部のバリ港を大舉爆撃したが、ドイツ軍當局の發表によれば次ぎの戦果を擧げたと言はれる
△撃沈 商船四隻(三萬一千トン)
△撃破 貨物商船九隻(四萬五千トン) 五千五百トン級軍艦一隻
反樞軸船十七隻撃沈【ブエノスアイレス十六日發】ワシントン來電は十二月二日獨空軍のバリ港奇襲に關し米陸軍長官スチムソンは十六日の新聞會見に於て反樞軸軍將兵の死者千名(米海軍將兵三十七名を含む)と米船五隻の撃沈を認めたが權威ある政府筋の言明に依れば右爆撃に於て港内に在つた反樞軸船の約半數十七隻が撃沈されたといはれる、右爆撃に依り英第八軍の補給が重大打撃を受けたに至つた、スチムソンは撃沈された船舶は爆撃を受ける以前に貨物の荷下ろしを終つてゐたと損害の隠蔽に努めてゐるが獨空軍の奇襲成功を卒直に認め次の如く言明してゐる

の言明によればイタリヤ戦線のドイツ軍中にはコサツク兵部隊が参加、活躍してゐると云はれる、右コサツク騎兵隊は既に東部戦線でも獨軍側に立つて赫々たる戦果を上げたが、現在では主としてアペニン山脈地區において哨戒活動に従事し、得意の馬術によつて反樞軸軍の心膽を寒かしめてゐるといはれる

イタリヤ戦線にコサツク騎兵

【ベルリン二十五日發】獨軍當局筋約三十機の獨爆撃機が此の空襲に参加した時、損害は爆撃が二軍需船に命中した時に大きくなつたもので右二船の爆撃に依る火は港内にひろがつ

て破壊を擴大して行つた、獨爆撃機
の編隊は早曉極めて低空から最大の
速度を以てハリ港を空襲したもので
低空よりする空襲に於て屢々起るや
うに同市の防禦陣は全く不意を衝か
れたのである、攻撃機は港灣施設よ
りもむしろ港内の船舶を狙つたやう
だ、攻撃はほんの數分間續いたにす
ぎない

反樞軸軍ローマを爆撃

【ローマ二十九日發】反樞軸空軍は
二十八日正午頃ローマの郊外に爆弾
を投下市民の間に數十名の死傷者
を出した、トリヴナ紙の報道によれば
空軍來襲の報道を受けると共に法
王ピオ十二世は書齋の窓を開けて反
樞軸空軍の行方を見守つてゐたが損
害について即時報告するやう側近者
に命じたと云はれる

バルカン諸國

獨軍共産匪を掃蕩

【ベルリン二日發】ユーゴスラヴィ
ア南部地區の共産匪掃蕩戦を續行中
のドイツ軍部隊は次の如き戦果を舉
げた

- 一、ドイツ軍は二日ダルマチア半島
の共匪を一掃、ザラ港を占領した、
- 一部匪賊は海上より逃亡したが、大
部分は殲滅された
- 一、ユーゴスラヴィア南地區におい
てドイツ軍は共産匪賊を奇襲、これ
を四散せしめ山岳地帯に逃亡を試み
た一部隊を全滅せしめた
- 一、ドイツ軍はモンテネグロ、セル
ビア國境地區の共匪掃蕩戦を數日前
に完了した

一、過去三週間に亘る共匪掃蕩戦に
おいてドイツ軍のあげた戦果左の通
り

反樞軸軍セルビアを掃蕩

【ベルリン十三日發】ドイツ軍當局
はバルカンの共匪掃蕩戦の戦果を十
三日次の通り言明した

- 一、ドイツ軍はセルビア、クロアチア國
境地帯に蠢動する共産匪を殲滅して
ヴァイスグラド市を占領した、又
クルパ河南部地區の共産匪に對して
も奇襲を行ひグリナ市を占領した、
ボスニヤ地區において獨軍は共産匪
遺棄屍體三四一を得た
- 【ベルリン二十一日發】ドイツ軍當
局は二十一日アドリア海沿岸の匪團
掃蕩戦につき次の通り言明した
- 一、ドイツ軍の匪團は解でスプリット西
南方のオミスに上陸を企圖したが、
右企圖を未然に察知して待構へてお
いたドイツ軍の邀撃を受け甚大な損害
を蒙つて敗走した、ドイツ輕艦隊は
十九日夜スプリット南方ヴィス島の
港灣施設並に都市に對して砲撃を加
へたが戦果の詳細は深夜で視界がき
かなかつたため判明しない

獨軍當局の言

【ベルリン廿七日發】獨軍當局の言
明に依れば舊ユーゴスラヴィア領
におけるドイツ軍部隊は、過去數日
來東部ボスニア地區に共産系匪賊の
掃蕩工作を展開、指揮中の英人將校
その他多數を捕虜とし、コララ島
においても掃蕩作戦を開始、既に同
島戴定に成功したと言はれる、即ち
數日前行動を開始したドイツ軍特別
部隊はボスニア地區において潰亂敗
走中のチトー軍を山岳密林地區に捕
捉し、共産匪百名以上を仆し、共産

系指導者及び先にミハイロヴィッチ
軍に参加した英人連絡將校その他
を俘虜とした、一方これと呼應し
從來チトー軍の補給基地として使用
されてゐたアドリア海岸岸沖のコー
クラ島に於てもドイツ軍部隊は數日
來頑強な敵の抵抗を破摧しつゝ掃蕩
を繼續、同島の大部分を確保し舟艇
に依り附近島嶼に遁走した少數を除
き、敵の大部分の武装解除を完了、
兵器その他多數を擧獲した

獨軍當局の戦果

【ベルリン十八日發】ドイツ軍
によるクロアチア領サラエヴォ周邊
山嶽地帯の共産掃蕩作戦は依然續行
されつゝあり、ドイツ軍當局は十八
日十二月一日以來十五日迄の半月間
における戦果を次の通り發表した

- 一、匪賊戦死 二、一九八名△捕虜
三、二四一名△鹵獲 小銃一〇六、
輸送自動車輛馬匹その他多數
- 【ベルリン廿一日發】アグラム來電
獨軍當局は廿一日公報をもつてベ
ルカン匪團掃蕩戦の戦果を次の通り
發表した
- 一、獨軍はボスニア東部地區の匪團掃蕩
戦で現在迄に次の如き戦果を収めた
- △遺棄屍體二、九二六△俘虜二、八
〇〇△戰傷四、〇〇〇△鹵獲品 小
銃一、六〇四挺、機關銃一〇七挺、
迫撃砲五八門、高射砲二門、對戰車
砲二二門、トラク二七臺、馬五一
頭、其他彈藥多量
- 一、はなほ同期間内に獨軍と協力せるク
ロアチア軍の損害次の通り
- △戰死一〇六△戰傷三三五△行方不
明七

獨軍當局は舊ユ

【ベルリン廿日發】獨軍當局は舊ユ
ーゴ領内の共産匪掃蕩戦の戦果につ
き二十九日次の通り言明した

北部の剿匪戦で得た戦果 △遺棄屍
體五八九△俘虜四四二△鹵獲品迫撃
砲五二、機關銃五、彈藥食糧多量
二、ボスニヤ東部の戦果 △遺棄屍
體三八八△俘虜二九五△鹵獲品機關
銃一一、自動車二、對戰車砲一、小
銃三〇〇

獨軍當局の戦果

【ベルリン廿三日發】ザグレブ來電に
よれば北部アドリア海的全島嶼にお
ける掃蕩作戦は終了し樞軸軍は完全
に同水域を確保するに至つたといは
れる

反樞軸空軍官爆

【ベルリン六日發】アグラム來電
獨軍當局は六日左の通り言明し
た

- 一、アドリアオ政権降伏の結果バルチ
ザン部隊は武器彈藥等を接收し、一
時勢力を盛り返したが、過去數週間
にドイツ軍の掃蕩工作によつて甚大
な打撃を受け、假に反樞軸軍がバル
カン半島に上陸作戦を企圖しても、
バルチザン部隊の内容は殆ど問題と
するに足りない
- 一、ロンドン各紙はバルチザン部隊
の掃蕩に十餘ヶ師を轉用してゐると
報道してゐるが、何等根據のない臆
測に過ぎない、九月以降の掃蕩躍行

に當つてもドイツ軍は右兵力の何分
の一かを使用したに過ぎず、僅かに
バルカン半島の一角に餘備を保つバ
ルチザン部隊の掃蕩には更に少數の
兵力で十分だ

樞軸北部アドリアを確保

【ベルリン廿三日發】ザグレブ來電に
よれば北部アドリア海的全島嶼にお
ける掃蕩作戦は終了し樞軸軍は完全
に同水域を確保するに至つたといは
れる

【ベルリン廿一日發】ドイツ軍當局
は廿一日次の通り發表した

- 一、反樞軸空軍は十八日ダルマチア沿岸
のスピリット港及びマルスカ港を
爆撃したが死傷者はなかつた、シバ
ニク港では廿日の空襲で家屋二十四
軒が破壊され死者八十名を生じた
- 【ベルリン廿七日發】ドイツ軍當局は
七日次の通り言明した
- 一、ドイツ軍は六日サロニカに來襲した
反樞軸空軍七機(内四機爆撃機六機)
を撃墜し、更に西部並びに東部地中

海方面において二十四機を撃墜した

【ベルリン十七日發】アテネ來電

米空軍重爆撃機隊は十五日アテネ市近郊に盲爆を加へたが、時にアテネ市南方のベイレウス市の労働者住宅地帯が爆撃の目標となり、現在迄に判明したところでは破壊された家屋数は百以上に達し、死者二十名、負傷者百名以上を出した

【ベルリン十日發】ソフイア來電によれば反樞軸空軍は十日正午過ぎブルガリアノ首都ソフイアを爆撃し、午後零時十五分から約一時間に亘つて全市に盲爆を浴せたと傳へられる市民の死傷その他の損害も可成り大きい模様である

【リスボン廿日發】ソフイア來電反樞軸空軍は廿日有力な爆撃機の編隊をもつて大軍ソフイアに來襲、市内各所に爆弾を投下したが、ために市民の間に若干の死傷者を出してブルガリア地上防衛部隊は直に應戦爆撃機數臺を撃墜した

【リスボン廿日發】北阿樞軸空軍は廿日オーストリアのイレヌブルツツ並にベグリア地方のアウグスブルグを爆撃したといはれる

西部戦線

獨長距離砲英本土を砲撃

【ベルリン四日發】總統大本營は四日獨軍長距離砲が三日英佛海峡を越へて英本土を砲撃、ドーヴァー、ジール、フォークストーン三港の重要目標

物に巨弾を浴せて有效なる成果を収めた旨發表した

【リスボン二十四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

なる砲撃を加へた旨言明した

【ストツクホルム二十五日發】反樞軸軍司令官の任命と相前後し、反樞軸空軍司令官の任命と相前後し、反樞軸空軍は甚大な兵力をもつてフランス北岸を爆撃した結果、歐洲各國には早くも反樞軸軍が歐洲第二戦線展開の作戦を開始するに至つたのではないかと懸念がしきりに流布されるに至つた、軍事消息筋は右爆撃に關聯し反樞軸軍が大西洋要塞を爆撃して上陸作戦の地均し工作を開始したのではないかとロケット砲によるドイツ軍の英本土攻撃に對し、反樞軸軍が先手を打つたのではないかとドイツ軍をドーヴァー海峡方面に引きつける陽動作戦ではないか、等々思ひ思ひの觀測を下してゐる、既にドイツ宣傳相ケツベルス博士は降誕祭前夜の演説においてドイツ軍が反樞軸軍の反攻作戦に對し、既に萬全の守備態勢を用意してゐる旨斷言したが、ストツクホルム・チドニンゲンのベルリン特電によれば、ロメル元帥の大西洋防壁視察後ドイツ軍は大量の兵力移動を斷行した様子で同様議員の觀測によれば、反樞軸軍がカイロ、テヘラン兩會談の決定に基づき歐洲總反攻を企圖してゐるのに對し、ドイツ軍はしばらく事態を靜觀作戦の機運動くとして、内線作戦の有利な立場を利用、兵力配備を變更して反樞軸軍の作戦に阻礙させる方針ではないかとつたべかられる、但し反樞軸軍最高司令官に任命されたアイゼンハワーもまだ作戦の基地へは乗りこんではゐない位で果して反樞軸軍が赤軍の冬季反攻

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

【リスボン廿四日發】反樞軸軍の非人道的盲爆に對しドイツ軍がいかなる報復的措置に出るか、各國の注目の的となり、反樞軸側でもドイツ軍に驚異的新鋭兵器が出現するのではないかと疑々としてゐるが果然二十三日夜、ドーヴァー海峡沿岸地帯の火を吐いたといはれる、ベルリン情報によれば二十三日夜、ドイツ軍ロケット砲隊はドーヴァー海峡を挟んで英軍長距離砲隊と砲火を交へたといはれるが、ドイツからロケット砲の使用が報ぜられたのは今回が最初である

と呼應し西歐洲に無謀な上陸作戦の決行するかどうかは頗る疑問と見られる、尤も冬季においては夜が長く特にドーヴァー海峡は霧が深いため上陸作戦には好都合だが、同時に地上が泥濘と化して機動作戦に都合悪く結局若し上陸作戦が行はれるとして三月以後になるのではないかと懸念が有力である

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

【リスボン廿九日發】獨軍當局の言明によれば英軍奇襲部隊が廿八日夜英佛海峡サルク島に上陸を企圖したが、獨軍機雷によつて上陸を阻止された奇襲部隊が海岸に到達するや否や數度に亘る大爆音が起り、機雷が爆發し、獨防禦部隊が活動を開始する前に上陸部隊が潰滅した

演じた、しかし英空軍は首都上空に飛來し、既に廢墟と化した住宅地帯に盲爆を加へ、マルチンルーテル病院その他が破壊されたが、戦闘機隊並に地上防空陣の健闘により損害は輕微で死傷者も少い、三日夕刻迄に判明した所によれば、英空軍のハリファックスの、ランカスター、並にスターリングスの各型から成る四發爆撃機五十七臺を撃墜してゐるが、過去四十八時間内に反樞軸軍は合計九十九機を喪失、飛行士九百名が戦死してゐる勘定だ、右空中戦でドイツ戦闘機隊は夜間戦闘機四機を喪失したが乗組員の一部は落下傘で無事着陸した

【リスボン廿九日發】ロンドン來電英空軍當局は二日夜のベルリン空襲において未歸還機四十一機を出した旨三日發表した

【リスボン廿九日發】英空軍は十六日夜ベルリンに對し又も空襲を行つたが、ロンドン來電によれば右空襲はランカスター爆撃機の大編隊によつて行はれたもので爆弾、焼夷彈千五百噸を投下したといはれる、更に英軍筋の情報によれば同夜英空軍はドイツ西部に、並にフランス北部に對しても同様空襲を行つたが、これらの空襲において英空軍は未歸還三十機を出したといはれる

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

【リスボン廿九日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

又復ベルリンを爆撃

【ベルリン三日發】英空軍は二日夜またまた大舉してベルリンを爆撃したが、ドイツ空軍の夜間戦闘機隊は大ベルリン市を去る五十哩のエルベ河上空で英空軍を捕捉、午後八時か約一時間に亘つて壯烈な空中戦を

【ベルリン廿四日發】英空軍は降誕祭前夜を期し又々大舉ベルリンを爆撃、折からの密雲でドイツ防空陣の活躍が思ふに任せぬに乘じ、首都の東部並に東南部における住宅地帯に盲爆を加へた、英空軍は數隊に分れベルリン上空に來襲、ドイツ戦闘機隊は不利な天候條件にも拘らず、甚大な機數を以て直ちに還撃、英空

ノットで、驅潜艇として地中海で作戦に従事してゐた

【リスボン十日發】 ロンドン來電

英國海軍省は快速掃海艇ヘーベ號を喪失した旨十日夜發表した

【リスボン廿三日發】 ロンドン來電 英國海軍省は二十三日海軍少佐リントン艦長とする潜水艦タービュレント號を喪失した旨發表した、但し喪失の時及び場所については何等の發表がない

キューバ船撃沈さる

【アエノスアイレス十日發】 ハヴアナ來電 キューバ國防省は、同國貨物船リハータド號が雷撃をうけ撃沈された旨十日發表した、同船はキューバの參戰と同時にイタリヤから接收したもので、前名をロツカ號と呼んだ、去る三日他の船舶とともに船團を組んで米國サウスカロライナ州のチャーレストン沖を航行中、撃沈されたものである

樞軸潜水艦に依る損害

【アエノスアイレス十四日發】 ワシントン來電 米國聯合艦隊司令長官アーネスト・キングは十四日開戰第一年目は反樞軸船舶合計五百八十五隻が樞軸潜水艦に撃沈された第二年目は百十隻が撃沈された旨聲明した

獨潜水艦一隻未歸還

【ベルリン卅一日發】 獨軍當局はヨハネス・モール大佐の指揮する潜水艦が作戦日数を經過するも歸還せず沈没と認められる旨卅一日發表したヨハネス・モール大佐は反樞軸船舶三九隻二十萬噸以上、英國巡洋艦、

驅逐艦各一隻を撃沈、柏葉勳章を授與された歴戦の勇士で潜水艦司令として勇名を謳はれてゐた

地中海の風雲急

【リスボン廿九日發】 マドリッド來電によれば一萬噸級商船を主艦として七十七隻から成る反樞軸船團が大西洋からジブラルタル港に入港一方に廿隻から成る船團はジブラルタルを出港地中海方面に向つたといはれる

ビスケー沖の海戦

【ベルリン廿九日發】 ドイツ軍當局は廿九日次の通り言明した 過去數日間ビスケー灣に於てドイツ艦隊は英艦隊と交戦し双方共に空軍も戰團に参加した獨英兩國艦隊共艦艇に損害を受けたが戰團に参加しようとした巡洋艦一隻はドイツ艦隊の砲撃に依て大損害を受け退避した 五驅艦撃沈、二巡艦撃破【ベルリン廿日發】 獨軍當局は廿九日夜ビスケー灣において獨軍潜水艦が英國驅逐艦五隻を撃沈、巡洋艦二隻を撃破した旨卅日發表した

獨船團英艦を撃退

【ベルリン十日發】 ドイツ軍當局は十日次の通り言明した オランダ海岸沖を航行中のドイツ護送船團は十日拂曉前後二回に亘り五隻から成る英快速艇隊の攻撃をうけたが護衛艦はこれを邀撃、敵快速艇が魚雷を發射する前に攻撃を加へて二隻を炎上せしめ、他を撃退した右船團はかくて何らの損害を蒙ることなく目的地へ到着した

獨潜水艦、敵船團を攻撃

【リスボン十二日發】 ロンドン來電によれば北部大西洋を航行中の二つの反樞軸護送船團は少くも二十隻から成るドイツ潜水艦隊の攻撃をうけ二日間亘つて攻撃を受けた、攻撃開始の時日は明かでないが、英當局の情報によれば急報に接し英空軍が直ちに出勤、潜水艦隊と交戦するじて目的地に到着したといはれる

獨船團を雷撃

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局十九日の發表によれば英軍雷撃機は十九日フランス西岸に於てドイツ護送船團に攻撃を加へたが、船團は内三機を撃墜、護送船一隻が直撃弾を受けたが、積荷に損害なく母港に曳船された

英快速艇五隻を撃沈破

【ベルリン廿四日發】 ドイツ軍當局は廿四日次の通り言明した 廿三日夕刻佛カレ沖を航行中のドイツ護送船團に對し英軍長距離砲は間斷なき砲火を浴せたが何らの效も奏せず、次いで右船團は英快速艇の攻撃をうけた、然し護衛中のドイツ艦隊は忽ち敵快速艇一隻を撃沈、他の一隻を炎上せしめたが右快速艇の沈没は確實と見られる、更に護衛艦の他の一部は英快速艇五隻と交戦二隻に命中弾を與へ他の一隻を航行不能状態に陥らしめた、右快速艇の喪失も確實と推定される、更に敵空軍も快速艇と協同して攻撃を加へて來たが、撃退され、船團は何ら損害を蒙ることなく目的地へ到達した

獨潜水艦カリブ海で再び猛威

【アエノスアイレス十三日發】 ワシントン來電に依れば米海軍當局は十リブパナマ國籍貨物船が數日前にカリブ海に於て獨潜水艦のために撃沈され、十二月に入つてカリブ海水域で撃沈された反樞軸船舶は五隻に達したといはれる、なほ米國務省は同方面水域に於るドイツ潜水艦の再活動を重視、その對策として新にカリブ委員會を設置した旨十三日次の如く發表したといはれる

カリブ海の諸島は依然獨潜水艦に依つて閉鎖されてゐる

メシコ灣で米船撃沈【アエノスアイレス廿日發】 ワシントン來電 米國海軍省は二十日米國商船一隻がメキシコ灣において魚雷攻撃を受け沈没した旨發表した、乗組員十名は行方不明となり七十名の生存者はメキシコ某港に到着した

米國商船沈没【アエノスアイレス廿日發】 ワシントン來電 米國海軍省は中型商船一隻が九月中旬カリブ海において樞軸潜水艦の雷撃により撃沈され、生存者はフロリダ州マイアミに上陸した旨卅日發表した

北方水域

【ベルリン十六日發】 ドイツ軍當局は昨春以來フィンランド海空軍と協力フィンランド灣からバルチック海に出撃せんとするソ聯潜水艦に對し效果的な防禦戰を行つてゐるが、最近數ヶ月間に左の如き戰果を収めた

ソ聯艦艇を撃沈

【ベルリン十六日發】 ドイツ軍當局は昨春以來フィンランド灣からバルチック海に出撃せんとするソ聯潜水艦に對し效果的な防禦戰を行つてゐるが、最近數ヶ月間に左の如き戰果を収めた

シヤルンホルスト號

【ベルリン廿七日發】 ドイツ海軍當局は廿七日夜シヤルンホルスト號の沈没について次の通り言明した 廿六日午前十一時巡洋戰艦シヤルンホルスト號(三萬六千噸)は機動部

は機雷網によつてソ聯潜水艦六隻を撃沈した

一、ドイツ軍はソ聯軍水上部隊と交戦、快速艦乃至砲艦十隻を撃沈、他の數隻を撃破した

【ベルリン二十三日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍がフィンランド灣東南部のクロンシュタット灣でソ聯潜水艦十隻を撃沈した旨二十三日次の通り言明した

ドイツ軍は本年内にクロンシュタット灣でソ聯潜水艦約十隻を撃沈したため、同灣を基地とするソ聯海軍は最早バルチック海に出撃してドイツ軍の海上輸送を妨害することは出来なくなつた

【ベルリン廿四日發】 通信の報道にD・N・Bによれば、廿三日午後七時ノルウェー北方海岸沖合においてソ聯快速艇五隻がドイツ護送船團を襲撃したが、獨軍は三隻を撃沈、二隻を大破せしめ、無事目的港に到達したといはれる

獨船團英機の襲撃を撃退

【ベルリン十七日發】 ドイツ軍當局はノールウェー沖を航行中のドイツ護送船團が十五、十六の兩日英軍飛行機の攻撃を受けたが、何れも敵機を撃退無事目的地へ到着した旨十七日言明した

沈没

【ベルリン廿七日發】 ドイツ海軍當局は廿七日夜シヤルンホルスト號の沈没について次の通り言明した 廿六日午前十一時巡洋戰艦シヤルンホルスト號(三萬六千噸)は機動部

②滿洲國③中國④ドイツ⑤インド女隊司令長官ベイ少將の指揮下に驅逐艦並びに巡洋艦に護送された英國の護送船團と觸接、交戦開始直後英國艦隊の大型艦艇一隻が戦團に参加、次いで英國艦隊は續々大型艦艇を集結した、當時視野狭くシャルンホルストは英國大型艦艇の出撃を事前に発見することが出来なかつた、數時間に亘る激戦の後、ヒンツェ大佐を艦長とするシャルンホルストは英國艦隊の包围するところとなつた、シャルンホルストは最後の砲撃まで打盡した後、午後七時半頃司令長官旗を橋頭高く掲げたまま遂に沈没した、右海戦に参加した爾餘のドイツ艦隊には何等の損害がない

【ベルリン廿八日發】ノース・ケーア沖の海戦については未だ詳報が入らないが、確閉するに北水洋警備のドイツ艦隊は偵察機の報告に依り、極めて有力な反輻射護送船團がブルマンスク方面に向つてゐることをつき止め廿五日夕刻ベイ少將指揮の下に旗艦シャルンホルスト號並びに水雷戦隊を以て濃霧を冒し現場に到着廿六日早朝反輻射船團と觸接したと云はれる、シャルンホルスト號は廿八種の主砲を以て攻撃を開始した、英國の護送船隊は最初巡洋艦と驅逐艦だけであつたが、交戦の真最中に英國の戦團艦並に空母が濃霧の中から突如戦團に参加、こゝに主力艦同志の本格的な海戦が展開されるに至つた、英國艦隊はビスマルク攻撃の場合同様、先づ雷擊機に依りシャルンホルスト號の航行を阻害しようとして百數十機の雷擊機を以て集中攻撃を加へて來た、シャルンホルスト號は僚艦の驅逐艦と協力し高角砲を以て奮戦、内廿二機を撃墜したが、間もなく英國海軍の主力艦デューク・オブ・ヨーク號その他の主力艦が戦團に参加、英國艦隊の勢力は壓倒的に有力となるに至つた、シャルンホルスト號は以上優勢な英國艦隊に對し午前十一時から午後七時半に至るまで前後八時半に亘つて全砲門を開いて應戦、針路をクルウェー海岸に轉じて來たが、夕刻機關部に命中した巨弾に依り航行緩慢となり午後七時四十分火藥庫に爆発を起し遂に北水洋の波の中に巨體を没するに至つた、ロンドンからの情報に依れば英國の護送艦隊はデューク・オブ・ヨークを旗艦とし本國艦隊司令長官自ら指揮に當つてゐたと思はれるから極めて強力な艦隊であつたことは明らかである

英國艦隊も損害を受く【リスボン廿七日發】ノース・ケーア沖の海戦については英國海軍省はドイツ主力艦シャルンホルスト號を撃沈したといふ以外一切の詳報を差控へ廿七日夜に至つて僅かに次の通り發表したに過ぎない

今回の海戦については未だ詳報を出す迄には至つてゐない、しかし護送船團はドイツ艦隊のために傾はされることなく、英國艦隊のうち二隻が輕微な損害を受けたに過ぎない

但しロンドンからニュー・ヨークに達した報道によれば英國海軍省當局においては廿七日午後には右海戦で飛行機四十二臺並びに驅逐艦數隻を喪失した旨洩らしたと傳へられる

英國側發表【リスボン二十八日發】英國海軍省は二十八日シャルンホルスト號の沈没については詳報を發表したが、右海戦には英國の主力艦デューク・オブ・ヨーク號、巡洋艦ノールフォーク號、シエフィールド號、ジャアイカ號並びに驅逐艦四隻が参加したと云はれる、シャルンホルスト號は水雷三發を喰ひ二十六日午後七時四十五分ノース・ケーアの東北六十哩の洋上で沈没したといはれる、英國海軍省の發表によれば、右海戦でノールフォーク號並びに巡洋艦一隻が輕微な損害を蒙つたとつたへられる

【一〇六頁より續く】

②滿洲國③中國④ドイツ⑤インド女子①日本②滿洲國③ドイツ(國體館)技球日本5-2ドイツ(外苑)送球日本11-1ドイツ(外苑)軟球野球日本5-3滿洲國(外苑)籠球①日本②中華③滿洲國(外苑)排球①日本②滿洲國(外苑)排球③1

【十二日】關東排球大會(國體館)優勝男子藤嶺俱、女子撫子會

- ▲依田秋圃(貞種)氏(歌人、日本木材協會常務理事)五十九歳三日
▲牧野元次郎氏(不動貯蓄銀行相談役)七十歳 七日
▲若杉要氏(前特命全權公使)六十一歳 九日
▲鍋島直映氏(侯爵、貴族院議員)七十二歳 十日
▲武藤喜一郎氏(豫備陸軍獸醫中將)七十六歳 十四日
▲本田仙太郎氏(大日本救世團々長)七十一歳 十四日

- ▲三井元之助氏(日本工業俱樂部監事)七十六歳 十九日
▲天狗久、吉岡久吉氏(徳島人形師)八十六歳 二十日
▲野間口兼雄氏(豫備海軍大將)七十八歳 廿四日
▲松本亦太郎氏(文博、帝國學士院會員、心理學會々長)七十九歳廿四日
▲横山健堂達三氏(評論家)七十二歳 廿四日
▲佐々木勇之助氏(元第一銀行頭取)九十歳 廿八日
▲山内靜吾氏(元日銀副總裁)六十歳 卅一日

- ▲故從五位 佐々木勇之助 敍正五位特旨を以つて位一級追陞せらる
▲牧野賤男氏(代議士、辯護士)七十歳 卅一日
▲山内靜吾氏(元日銀副總裁)六十歳 卅一日

訃

文化短信

- 一日 船員感謝護運動始まる△葉書電報日滿間に開始
二日 全國十一萬神社で一齊に國威宣揚祈願(七日迄)
三日 殉國動物感靈法要
四日 第二回學徒海洋展開く(十一日迄)
△新達坂山降道貫通
六日 年金保險厚生團發團式△散華生保加入者の慰靈祭
七日 都圍海洋少年隊結成式△泰國大使歡迎午餐會△山本元帥像除幕式
十日 コッホ博士生誕記念會

大南洋諸島の全貌 キーリング著 日本外政協會譯 太平洋問題調査部 人類學者として著名な著者が、廣汎な太平洋諸島の政治經濟文化軍事上の諸問題と、廿餘年間の現地調査によつて綜合的に論究した權威書 A5判七〇〇頁 定價七・七五

員の試験につき資格認定等の方法を講じ、又航空機の検査、登録等に關して事務的手續を簡略する許可、認可に關しては、大日本航空株式會社に對する監督關係事項中五件につき届出に改むるほか許可の廢止、届出の停止等である。

△通信關係 行政事務の廢止、停止又は簡捷化に關しては電信、電話事務開始の告示その他公達に關する事務を廢止し、重要電報及び通話の疏通を確保するため一般電報及び通話の利用規正を強化する、その他電話度數制地域の擴張ほか四件、貯蓄關係については貯蓄制度の合理化、證券保管制度、國債及債券賣出等に關しても事務を簡捷化或は廢止し、保險及び年金の掛金延滞料の徵收停止、契約變更の制限等に關し整理する、許可、認可事項については國際電氣通信株式會社の顧問任命その他四件につき認可を届出に代へ輕易なる届出はこれを廢止する、權限の地方移讓に關しては市内専用電話及び豫約新聞通話の許可に關する事務等五件を通信局長に委讓する。

△陸運關係 許可、認可事項等の整理に關しては旅客自動車運輸事業の更新免許等四十二件、中央權限の地方廳への委讓に關しては、運輸に關する料金の制定の認可、會社經理關係にありては、利益配當及び積立金使用の許可等五十五件を鐵道局長へ委讓する、自動車關係事項につき地方長官への委讓は貨物自動車運送事業の事業種別の變更の認可等二十七件に及んでゐる。

△農商省【十七日】國內態勢強化方策に基く農商省關係の行政事務簡素化については十八日の官報に勅令

「農商省關係許可認可等戰時特例」並に省令「行政簡素化實施の爲に國民更生金庫法施行規則外三省令中改正の件」を公布即日實施することとなりその内容は十七日午後二時同省より發表されたが、これによれば現行法律勅令、省令により規定されてゐる許可、認可、届出、報告事項の廢止又は簡易化を見るもの六百九十二件に達し、これに伴ふ訓令、通牒等に基く事項の整理も多數に上つてゐる、今回廢止又は簡易化される各種法令の内譯は次の如くで、廢止法令中には第八十四議會に提出豫定の糸價安定施設法はじめ十五省令がある。

△行政簡素化關係法律 國民更生金庫法、産業組合法、農業團體法、農村負債整理組合法、家畜市場法、害蟲驅除豫防法、耕地整理法、重要肥料業統制法、日本肥料株式會社法、日本輸出農産物株式會社法、農業保險法、農地開發法、狩獵法、森林法、木材統制法、漁業法、漁船保險法、外國領海水産組合法、水産業團體法、原蠶種管理法、蠶糸業組合法、蠶糸業統制法、蠶糸業法、輸出生糸取引法、百貨店法、酪農業調整法、軍馬資源保護法、競馬法、種馬統制法、畜産組合法、農業倉庫業法、食糧管理法

△行政簡素化關係勅令 農業團體自治監督法施行令、農地開發法施行令、治製製造業組合令、臨時肥料配給統制施行令、森林組合令、漁業組合令、水産業團體法施行令、水産統制令、昭和九年勅令第二百廿四號（漁業協同組合の漁業自營の件）、酪農業調整法施行令、裝飾師會令、獸醫師會令、馬事團體令、食糧管理法施行令

△廢止する法令 糸價安定施設法、機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則、北洋出漁業者届出規則、糸價安定施設法施行規則、毛製品ステープルアイバー等混用規則、中央卸賣市場補助金交付規則、牝馬臨時貸下規則、昭和十三年商工省令第廿九號（綿製品の販賣制限に關する件）、昭和十三年商工省令第六十二號（綿製品の販賣制限に關する件）等に依る制限に拘らず販賣又は加工を爲すことを得る（綿糸等の件）、昭和十三年商工省令第六十四號（人造絹糸の太き制限に關する件）、昭和十三年商工省令第七十號（綿糸、綿織物又は綿莫大小に付染、晒、裁斷其の他の加工を爲さん

とすときは許可を受くべきの件）、昭和十四年農林商工省令第十號（肥料用加里鹽の配給に關する應急措置に關する件）、昭和十四年商工省令第六十四號（絹紡糸の番手制限に關する件）、昭和十五年農林省令第十號（肥料用加里鹽類の在庫品引渡に關する件）、昭和十六年商工省令第五十七號（ステープルファイバー糸の番手制限に關する件）、昭和十六年農林大藏省令第三號（産業組合中央金庫法第七條に依り準用せらるる産業組合第六十條第一項の規定に依る産業組合中央金庫の貸付額又は手形の割引額の特例に關する件）

△厚生省【十八日】官廳行政事務の簡捷化並に中央官廳權限の地方官廳への委讓に關する厚生省所管事項百五十五件は十八日別項の如く發表され近く勅令並に省令を改正の上實施されることとなつたが、右のうち各項別の主なる事項及び件数は左の通りである。

一、行政事務の廢止停止又は簡易化 商店法施行に關する事務、退職積立金及び退職年當法施行に關する事務、北海道舊土人保護法施行に關する事務、國立公園法施行に關する事務等十八件

二、許可認可等の整理 退職積立金運用の許可、特別地區に於て①工作物の新築、改築又は増築②水面の埋立又は干拓③鑛物の試掘若くは砂鑛の採取又は土石の採掘④木材の伐採⑤廣告物、看板其の他之に關する物の設置を爲さんとする許可等八十件

三、中央官廳の地方官廳への權限委讓 從業者の解雇及び退職を制限すべき工場、規約の變更、豫算、保險料變更、準備金其の他主要財産處分、起債の認可等五十六件

△軍需省【十八日】廿日附を以つて「優良自動車部分品及自動車材料認定規則外五件廢止の件及び工作機械製造事業法施行規則外廿二件改正」に關する軍需省令を公布、即日施行することとなり、十八日これを發表した、今回決定した一般的簡素化は去る十四日閣議決定を見た同省關係の第一次分で廢止省令六、改正省令三十三、事項別にして廢止六、報告届出義務の廢止百十一、地方長官への委讓三、計百二十となつてゐる、而して今回の簡素化は單獨省令、即ち軍需省專管關係の省令事項に限られてゐるが、他省との共管事項、勅令、閣令事項についても目下別途研究、折衝を進め、法律に關しては戰時特例を設けて簡素化を期する方針である。

△省令全部を廢止するもの 鑽石配給統制規則（廢止濟）製鐵用輸入原料配給等統制令（廢止濟）重要工場調査規則（廢止濟）優良自動車部分品及自動車材料認定規則、石炭増産獎勵金交付規則、高速度鋼パイットの供給制限に關する件、ゴムの使用制限に關する件、硝酸の製造に關する件

△届出、報告等を廢止するもの 事業の開始、休止届、設備の増設、變更完成届事業報告（年報、月報）統制機關の報告、製造、受拂、保管等に報告等に付き左の如く整理する 輕金屬製造事業法規則十一件、石油業法施行規則十件、工作機械製造事業法施行規則、有機合成事業法施行規則、カーバイド配給統制規則各六件、製鐵事業法施行規則、人造石油製造事業法施行規則、苦汁及びブロム配給統制規則、硬化油等配給統制規則各五件、ソーダ工業藥品配給統制規則、石綿配給統制規則、自動車用ダイヤチエーブ配給統制規則各四件、白金等配給統制規則、合成染料等需給統制規則、ゴム配給統制規則各三件、産金法施行規則、石油販賣取締規則、輕金屬屬配給統制規則、銅、鉛、錫等配給統制規則、セメント配給統制規則、カリ鹽配給統制規則、硝子屑配給統制規則、鞣劑配給統制規則各二件、石油配給統制規則、工作物架造統制規則、鐵鋼統制規則、鑄鋼配給統制規則、螢石配給統制規則、自動車修理用部分品統制規則、故五ガロン罐配給統制規則、ニッケル使用制限規則、白金等使用制限規則各一件

△軍需大臣の權限を地方に委讓するもの

△農商省【十七日】國內態勢強化方策に基く農商省關係の行政事務簡素化については十八日の官報に勅令

「農商省關係許可認可等戰時特例」並に省令「行政簡素化實施の爲に國民更生金庫法施行規則外三省令中改正の件」を公布即日實施することとなりその内容は十七日午後二時同省より發表されたが、これによれば現行法律勅令、省令により規定されてゐる許可、認可、届出、報告事項の廢止又は簡易化を見るもの六百九十二件に達し、これに伴ふ訓令、通牒等に基く事項の整理も多數に上つてゐる、今回廢止又は簡易化される各種法令の内譯は次の如くで、廢止法令中には第八十四議會に提出豫定の糸價安定施設法はじめ十五省令がある。

△行政簡素化關係法律 國民更生金庫法、産業組合法、農業團體法、農村負債整理組合法、家畜市場法、害蟲驅除豫防法、耕地整理法、重要肥料業統制法、日本肥料株式會社法、日本輸出農産物株式會社法、農業保險法、農地開發法、狩獵法、森林法、木材統制法、漁業法、漁船保險法、外國領海水産組合法、水産業團體法、原蠶種管理法、蠶糸業組合法、蠶糸業統制法、蠶糸業法、輸出生糸取引法、百貨店法、酪農業調整法、軍馬資源保護法、競馬法、種馬統制法、畜産組合法、農業倉庫業法、食糧管理法

△農商省【十七日】國內態勢強化方策に基く農商省關係の行政事務簡素化については十八日の官報に勅令

苦汁及プロム配給統制規則三件
△内務省【二十三日】内務省では國内應勢強化方策に基く行政事務簡素化の趣旨に基き地方廳への職權委讓許可認可事項等の整理を行ふため

△勅令關係(都市計畫法戰時特例) 都市計畫委員會戰時特例(道路法戰時特例)公有水面埋立法戰時特例(道路管理)公有特別規程他九勅令改正
△省令(自動車取締令)關係省令
△訓令(内務大臣訓令)等の全般に亘り徹底的に再檢討を加へつゝあつたが今回その要綱を決定したので来る二十七日の官報を以て關係法令を公布即日實施することとなつた、今回地方廳に委讓し又は整理せんとするものに内務省關係は許可、認可報告事項等總件數約八百五十件中二百四十六件であつて重要事項の比較的多い共管事項は目下關係各省と合議中で近く決定される豫定であるが、今回決定の主なるものは都市計畫法及び市街地建築物法の決戰運轉化の外に自動車乗員定員及び貨物自動車荷車の最大積載量等に関する各種制限を撤廢し輸送力強化に資すると共に道路、河川、砂防、土地收用、公有水面埋立等に關する許可、認可事項の整理、官國幣社の營繕會計財産處分に關する事務簡素化等である

された、右二方策は去る四月九日の第七回總會において東條首相より大東亞地域における食糧、纖維原料、鑛産等の諸増産方策につき諮問せられ、審議會は直ちに農林大臣、商工大臣、大東亞大臣をそれぞれ部會長とする第十、第十一、第十二部會を設置し斯界の權威者を専門委員に加へ慎重審議立案に當り食糧、纖維原料増産についての答申案を得たので總會に附議決定を見たものであるが特に戰局の進展と大東亞建設の現狀に即應する方策を確立するに至つたものである

食糧、纖維原料増産二方策答申

【廿九日】大東亞建設審議會第八回總會は廿八日首相官邸に開催され大東亞地域の食糧増産方策及び大東亞地域の纖維原料増産方策の二答申案を附議決定したが、その内容は廿九日午後四時情報局より左の如く發表

された、右二方策は去る四月九日の第七回總會において東條首相より大東亞地域における食糧、纖維原料、鑛産等の諸増産方策につき諮問せられ、審議會は直ちに農林大臣、商工大臣、大東亞大臣をそれぞれ部會長とする第十、第十一、第十二部會を設置し斯界の權威者を専門委員に加へ慎重審議立案に當り食糧、纖維原料増産についての答申案を得たので總會に附議決定を見たものであるが特に戰局の進展と大東亞建設の現狀に即應する方策を確立するに至つたものである

△情報局發表(二十九日午後四時) 十二月二十八日開催せられたる大東亞建設審議會總會に附議決定せられたる大東亞地域の食糧増産方策及び大東亞地域の纖維原料増産方策要領左の如し

一、大東亞地域の食糧増産方策の概要
大東亞共榮圈全域に亘る食糧生産は圈内に於ける人口増加に即應して愈々之を増強し大東亞を通過する確乎不動の自給應勢を確保するを根本とするも、現下時局の推移に鑑み當面に於ては圈内各地域々々食糧自給度の強化を圖り特に日滿を中心とする圏域に於ては食糧の緊急増産を行ひ以て食糧自給の完壁を期するものと之を爲が農民の農業奉公精神の發揚皇國に於ける愈々健全なる農民の維持培養及此等に對する適正なる配量策定及此等に對する技術の供與其他物心兩面に亘る積極的なる協力、各地域の實情特に其の農民の慣性に應ずる技術上及經濟上適切な増産及蒐集方策、營養科學上の考慮と質量に亘る綜合的必需の充足、試験研究

機關の擴充、指導組織強化等を主要の目的として主要食糧對策及水畜産對策に關し地域別に詳細なる方策を掲げたり
二、大東亞地域の纖維原料増産方策の概要
大東亞の纖維資源に付ては戰爭完遂に直接軍需物として固より生産擴充用戰時重要物資の獲得見返用並に圈内諸民族の戰時生活の維持用等として其の使命愈々重大なるものあるを以て此の際大東亞を通じ纖維資源の綜合的増産に付格段の努力を拂ひ以て大東亞戰爭完遂に遺憾なからしむると共に限り速に纖維資源の自給確保を期することを目的とし棉花、麻類、蠶糸類、羊毛、パルプ等各種纖維資源の増産に付大東亞を通過する綜合的計畫並に之に基く地域別計畫を樹立し單位面積當收量の増加食糧作物等との土地利用區分、耕地の效率的利用、重要纖維資源増産に對する農民の熱意の昂揚、適正價格の設定、各地域の特性に應ずる寬荷對策、化學纖維の増産及製品品質の向上、雜纖維の開發及利用、消費の節約及必要時に於ける回收等を記述すると共に各種纖維資源別に詳細に亘る増産對策を掲げたり

【廿九日】大東亞建設審議會第八回總會は廿八日首相官邸に開催され大東亞地域の食糧増産方策及び大東亞地域の纖維原料増産方策の二答申案を附議決定したが、その内容は廿九日午後四時情報局より左の如く發表

機關の擴充、指導組織強化等を主要の目的として主要食糧對策及水畜産對策に關し地域別に詳細なる方策を掲げたり
二、大東亞地域の纖維原料増産方策の概要
大東亞の纖維資源に付ては戰爭完遂に直接軍需物として固より生産擴充用戰時重要物資の獲得見返用並に圈内諸民族の戰時生活の維持用等として其の使命愈々重大なるものあるを以て此の際大東亞を通じ纖維資源の綜合的増産に付格段の努力を拂ひ以て大東亞戰爭完遂に遺憾なからしむると共に限り速に纖維資源の自給確保を期することを目的とし棉花、麻類、蠶糸類、羊毛、パルプ等各種纖維資源の増産に付大東亞を通過する綜合的計畫並に之に基く地域別計畫を樹立し單位面積當收量の増加食糧作物等との土地利用區分、耕地の效率的利用、重要纖維資源増産に對する農民の熱意の昂揚、適正價格の設定、各地域の特性に應ずる寬荷對策、化學纖維の増産及製品品質の向上、雜纖維の開發及利用、消費の節約及必要時に於ける回收等を記述すると共に各種纖維資源別に詳細に亘る増産對策を掲げたり

【二日】政府は去る九月廿一日閣議決定せる「現情勢下に於ける國政運營業務綱」中國内應勢強化方策の第八項に掲げられた外廓團體の整理に關する實施準備をこの程終了するに於て一日正午情報局より左の如く

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

【二日】政府は去る九月廿一日閣議決定せる「現情勢下に於ける國政運營業務綱」中國内應勢強化方策の第八項に掲げられた外廓團體の整理に關する實施準備をこの程終了するに於て一日正午情報局より左の如く

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

一、外廓團體の整理刷新方針に關する件
二、統制機關の整理刷新方針に關する件
三、前項の措置に依り殘存せしむべき外廓團體に付ては左の要領に依り其の運營を刷新するものとす
四、中央地方を通じ事業運營機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る
五、役職員に對する報酬及給與に付合理的刷新を加ふ
六、事務運營の簡素化に依り用度、備品、經費等の徹底的節減を圖る
七、事務所其の他の施設に於て必ずしも帝都並に重要都市に存在することを必要とせざるものは之を地方に疎開せしむ、右に關聯し事務所等の再配置を行ひ成可く防空設備良好なるものに集中し、脆弱なる建物は之を撤去せしむ
八、外廓團體に對する官廳の監督指導を一元的且つ強力ならしむるの措置を講ず
九、地方公共團體等の外廓團體に對して前各號に準じ措置す
十、統制機關の整理刷新方針に關する件
昭和十八年九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運營業務綱」に基き左記要領に依り各種統制機關及統制會社等生産第二線部面(以下單に統制機關とす)の整理刷新を圖るものとす

設立せられ經濟統制事務を擔當するもの

二、統制機關に付ては左の要領に依り整理刷新を行ふものとす

④設立本来の目的の大部分を喪失し又はその機能を停止せるものは之を解散せしむ⑤生産者需要者其他之關係者少数にして生産、配給、消費等に關する官廳、統制會其他の命付指示等に依り統制を爲し得るものと認めらるる場合に於ては之が統制を目的として設立せられたる統制機關は之を解散せしむ⑥業務の範圍を取扱物資別事業別又は地域的に極力包括的ならしむることに依り統制機關を減少せしむ⑦現行の配給機構の整理に即應し配給統制機關を減少せしむ

三、前項の措置に依り殘存せしむべき統制機關に付ては左の要領に依り其の運営を刷新するものとす
①中央地方を通じ内部職制其他の事業運営機構を簡素ならしめ極力人員の縮減を圖る②役職員に對する報酬及給與に付徹底的刷新を加ふる③共同事務運営の簡素化に依り用度、備品、經費等を極力節減し以て口錢、手數料等の壓縮を圖る④特に配給制機關に付ては現物を確實に把握せしめ其の責任と計算とに於て配給を行はしむ之が爲に必要な限度に於て支出出張等を整備せしむ

四、統制機關に對しては統制會社を適用する等官廳の監督指導を強力ならしめ其の公的性格を強化するの措置を講ず

國民動員連絡會議設置

【七日】政府は苛烈なる現戦局に對處し今後更に國民動員を徹底せしめるとともに速に一億總員戰配配置の態勢を確立するため、さきに決定せる國內態勢強化方策に基き國民動員の規定諸方策の一層強力なる推進を並に國民動員の適時的確なる完遂を期して今回國民動員機構を革新整備することとし七日の定例閣議において

一、國民動員機構に關する件を附議決定、同日午後三時情報局より左の如く發表した
情報局發表(十二月七日午後三時) 曩に閣議決定せる國政運営要綱に基き左に依り速急國民動員機構の整備を行ひ以て國民動員の完遂を期せん

國民動員連絡會議の設置

一、國民動員連絡會議の設置
國民動員完遂に關する重要事項に付關係各廳間に於ける連絡を圖る爲厚生省に國民動員連絡會議を設置するものとす

二、地方國民動員機構の整備
中央に於ける國民動員業務は可及的之を地方に委譲し實情に即したる迅速適確なる國民動員の運営を圖ることとし之に伴ふ地方國民動員機構を左の趣旨に依り整備するものとす

①道府縣をして國民動員實施の地方中樞機關として諸般の國民動員業務を適確に行はしむると共に下級國民動員機構の指導査察を強化せしむること
②國民動員の積極的遂行を期す爲國民職業指導所は之を國民勤勞事務(假稱)に改め管内の勤勞事務特に勤勞給源を常時完全に把握せしめ諸般の第一線國民動員業務を適時迅速に執行せしむると共に管下市區町村長を行ふ國民動員に關する事務の指導統制に當らしむること
③圓滑妥當なる國民動員の實を擧ぐる爲

市區町村長の國民動員業務に對する協力を一段と強化し從來の勤勞に關する諸業務を一層強力に行はしむるの外更に國民登錄事務及徵用事務の一部を分掌せしむること尙町内會部落會等の機能は動員し之に協力せしむること、市區町村長の右業務の分掌に付ては地方の事情に依り所要の考慮を拂ふものとする
國民動員連絡會議委員決定 【廿八日】厚生省では去る七日の閣議決定に基き國民動員連絡會議を設置することとなり、委員及び幹事の銜衡を決定正式に委嘱を行つた、委員及び幹事左の如し

委員 厚生次官武井群嗣、内閣參事官大島弘夫、陸軍省軍務局長佐藤賢了、陸軍省兵務局長那須義雄、海軍省軍務局長岡敬純、海軍省兵備局長保科善四郎、厚生省勤勞局長中村敬之進、軍需省總動員局長椎名悅三郎、軍需省航空兵器總局長官遠藤三郎

幹事(幹事長) 厚生省勤勞局長中村敬之進、内閣參事官林敬三、陸軍兵務局長備課長友森清晴、陸軍整備局戰備課長佐藤裕祐、海軍兵備局第四課長伴義一、厚生省大臣官房總務課長高橋敏雄、厚生省勤勞局庶務課長吉田忠一、總動員局總務部總務課長軍需省軍需官長沼弘毅、(總動員局動員部第三課長) 同入江弘

軍所管航空行政軍需省に移管

【廿日】航空戦力の急速なる躍進的増強を期するため去る十一月一日軍需省の創設を見、同省官制により従來陸、海軍兩航空本部の所管に屬し

た航空機並に關聯兵器の生産、調達は同省所管に移されることとなつたが、その後右に關する移管諸手續を急い結果愈々明春一月十五日をもつて切替を斷行することに決定、二十日軍需省より左の如く發表した
△軍需省發表
軍需省設置に伴ひ陸海軍兩省所管の航空關係事項の業務移管期日を昭和十九年一月十五日とす

臨時地方長官會議開催

【廿二日】戰爭第三年を迎へて行政第一線における完璧の決戰態勢を確立すべき臨時地方長官會議は二十二日首相官邸に開催された、この日午前八時十分より大連東京都長官以下一都一道二府二廳四十三縣の各長官及び朝鮮總督府金全羅北道知事ほか各地方代表等全員首相官邸に參集、政府側より大條首相以下各閣僚、内閣三長官、大木憲兵司令官、井上技衛院總裁、本庄軍事保護院總裁以下各省次官並に關係官出席して午前八時三十分開會、まづ東條首相兼軍需相より「戰爭第三年こそ大東亞戰爭必勝の基礎を確立すべき年である、このためには戦力の増強就中航空機の急速なる多量増産が是非とも必要であつた、地方長官會議召集の意義もまた茲に存する宜敷く迅速果敢なる行政の實行に邁進されたい特に吏道の刷新はこの際の急務であり政府は近く官紀肅正について具體的措置の御制定を仰ぐ方針である」と

と全地方長官の奮起を要する別項の如き訓示あつて、九時三十分一旦休憩、安藤内相をはじめ内務省局長以上並に各地方長官は午前九時五十分打ち揃つて宮中に參内、天皇陛下に列立拜謁を仰付られ、一同は恐懼感激して宮中を退出再び首相官邸に參集十時十分會議を再開、現戦局に對すべき戦力増強特に航空機を主軸とする軍需省の躍進的増強の方途につき軍需省關係官より説明並に要望あつて午後零時三十分休憩、同一時廿分再開、薄田警視總監、相川愛媛、熊谷山口、成田兵庫、相澤熊本、永三重、柴山鹿兒島の各縣知事は各々起つて戦力増強の方途、資材提供、勤勞管理、徵用問題、女子勞務の利用、食糧供出、同じく生産消費、生産施設、厚生施設、機械動員特に工場と遊休機械利用、親工場と協力工場との關係、製造諸機關と官廳との連絡、木造船問題、遞信問題等につき意見を陳東條首相をはじめ各關係大臣を質疑應答を重ねて戦力増強の隘路を探索、これを克服すべき方途につき討目すべく成果を収めた、かくて會議は午後四時一旦休憩、同十分再開して佐藤陸軍事務局長より國民動員と軍動員との關係につき各國の實狀を引例して詳細に説明各地方長官の協力を要望、引續き同五十分より小泉首相から男子及び女子勞務の動員に關して説明、各國に比して勞務動員の實狀及び將來の勞務動員は各地方の實狀に即して地方別國民動員實施計畫を樹て各地方長官がこれを策定することになつてゐるから努力されたい旨を述べ五時十分より補足的懇談を行つた後十時十分も過ぎぬ間に閉幕、最後に東條首相は

に列立拜謁を仰付られ、一同は恐懼感激して宮中を退出再び首相官邸に參集十時十分會議を再開、現戦局に對すべき戦力増強特に航空機を主軸とする軍需省の躍進的増強の方途につき軍需省關係官より説明並に要望あつて午後零時三十分休憩、同一時廿分再開、薄田警視總監、相川愛媛、熊谷山口、成田兵庫、相澤熊本、永三重、柴山鹿兒島の各縣知事は各々起つて戦力増強の方途、資材提供、勤勞管理、徵用問題、女子勞務の利用、食糧供出、同じく生産消費、生産施設、厚生施設、機械動員特に工場と遊休機械利用、親工場と協力工場との關係、製造諸機關と官廳との連絡、木造船問題、遞信問題等につき意見を陳東條首相をはじめ各關係大臣を質疑應答を重ねて戦力増強の隘路を探索、これを克服すべき方途につき討目すべく成果を収めた、かくて會議は午後四時一旦休憩、同十分再開して佐藤陸軍事務局長より國民動員と軍動員との關係につき各國の實狀を引例して詳細に説明各地方長官の協力を要望、引續き同五十分より小泉首相から男子及び女子勞務の動員に關して説明、各國に比して勞務動員の實狀及び將來の勞務動員は各地方の實狀に即して地方別國民動員實施計畫を樹て各地方長官がこれを策定することになつてゐるから努力されたい旨を述べ五時十分より補足的懇談を行つた後十時十分も過ぎぬ間に閉幕、最後に東條首相は

「政治の要諦は理論のみではないかぬ理論のみを追求すれば世の中には酒煙草、料理屋等いらんものが多いらもある、然し政治は大眾を指導しその總力を結集すべきものであるから寛厳自ら程度があり各位の一段の精勵を望む」

として會議に對し所感を述べると共に意味溢るる激勵をなし、之に應へて大達都長官が一同を代表して地方長官側の決意を述べるとともに各大臣の健闘を祈つて六時二十分散會した、なほ一同は同六時四十五分より内相官邸における内務當局との懇談會に臨み岡海軍々務局長及び東原海軍報道部課長より最近の戦況を聴き九時過ぎ散會した

航空兵器總局分課規程決定

【廿八日】軍需省の中核をなす航空兵器總局の分課規程についてはその特殊性に鑑み航空機生産關係事項の移管期日等とも脱み合せて鋭意同省當局において準備を進めて來たが、この程漸く決定を見るに至つたので廿六日東條兼攝軍需相の決裁を経て即日實施するとともに廿八日付官報彙報に掲示すると、各局課の主宰事務は左の如くであるが、數倍増産の資材面策として「返り材」回收の徹底的強化ならびに回收速度の向上を圖るべき緊急性に對處し、航空兵器の資材を管掌する第三局にとくに回收班を設け佐伯海軍大佐を班長として主としてアルミ返り材の回收を強化することとしたこと（回收が軌道にのつた曉には物資課に事務を移す、および戦局現段階における雷撃の重要性およびその特殊性に鑑み第二局射撃課に雷撃班を設け雷撃兵器

の試作生産並に關係工場の指導監督に當ることとしたことほまことに決戦態勢といふべきであらう
△航空兵器總局の機構
(軍需省發表)
一、航空兵器總局は陸軍航空關係工場指導の一元化に依り我國航空工業能力を最大限に發展航空兵器の飛躍的増産を圖ると共に原材料の生産、電力、運輸、勞務、等航空兵器の大置生産に必要な基礎的事項の要求を軍需省全部に反映せしめ以て此等を強力に推進する如く組織せられてゐる

二、航空兵器總局は軍需省の中核として省内關係部局と密接に連繫を保持し且つ航空兵器の綜合生産性を最高度に發揮する爲官房五局二十一課を以て組織せられ各局課の主宰事務は左の通りである

- ①、總局官房
②、總務局
總務課(①各局事務の綜合調整)③航空兵器整備、物動、豫算の基本)④監理課(生産企畫、工場監理、工場防衛、工場施設の基本)技術課(陸海兩軍に於て實施する以外の試作研究の指導及制式規格の統一)勤勞運輸課(勞務、運輸及電力、動力)能率課(工場の能率指導)
③、第一局
機體課(機體及機體部品、落下傘の製作、生産及關係工場の指導監督)原料機課(發動機、プロペラ及補機類の試作、生産並に此等關係工場の指導監督)
④、第二局
局附(局内の庶務及綜合事務)電器課(無線兵器、電波兵器、電氣兵器

の試作、生産並に此等關係工場の指導監督)射撃課(④射撃兵器、爆撃兵器、火工兵器の試作生産並に此等關係工場の指導監督)⑤課内に雷撃班を設け雷撃兵器の試作生産並に關係工場の指導監督を掌る)計器光學課(計器光學兵器の試作生産並に關係工場の指導監督)器材課(基地兵器、飛行場設定兵器、發着兵器の試作生産、並に此等の關係工場の指導監督)
⑤、第三局
物資課(①物資の需給調整、返り材の回收及局内他課に屬せざる物資の取得配給)②當分の間第三局に特別同收班を設け主としてアルミ返り材の回收を掌る)機械課(機械器具軸承の取得配給)鐵鋼課(④普通鋼、銑削並に關係工場の指導監督)⑤電極、耐火煉瓦、坩堝等の取得配給)合金課(④輕合金非鐵合金の生産取得配給並に關係工場の指導監督)⑥右原料の取得配給)化學課(④硝子類、合成ゴム、ゴム加工品、電氣材料、織維材料、火工品原料、寫真材料、塗料、油密劑、接着劑(硬化木用を除く)の生産、接着劑並に關係工場の指導監督)⑦右原料の取得配給)木材課(木材の取得及配給並に硬化木材航空用單板合板及硬化木用接着劑の生産取得配給)

算及價格に關する事項)
以上の機構に配するに増員は大部分陸海軍武官を以てし更に其の一部は陸海軍及軍需省内關係部局と相互の兼勤制を採り航空兵器生産に關しては陸海軍軍需省渾然一體となり全面的に強力に其機能を發揮することとなる
施設課(官設民營工場の建築資材の取得配給並に國有財産土木建築規格に關する事項)

内地現住者人口調査實施

【廿八日】政府は戦局の進展に伴ひ軍需生産、食糧生産及び交通運輸等の戦時重要勞務給源の状況を明かにし、あはせて食糧その他の國民生活用品の配給統制の實施等重要計畫の遂行上最も信頼し得る人口統計資料を整理するため資源調査法に基き緊急に内地を限り人口調査を行ふこととなり廿八日の定例閣議に於いて昭和十九年人口調査要綱を附議決定したので同日午後三時情報局より左の如く内容を發表した、調査の方法はこれまでの國勢調査と大差ないが調査の結果を三月末日迄に急速正確に集計して爾後の國民動員の完遂を期さんとする點に大きな意義がある又從來の國勢調査が中央集會の方針により一億餘枚の調査表を悉く中央に集めて調査し半年を要したのに對し、今回は地方分査により全國一萬一千有餘の市町村が調査單位となつて統計表を作り内閣統計局に提出統計局では府縣別に全國的な集計をなさんとするもので、僅か四十日たらずに間に調査を完了せんとしてある點に特色がある、尙ほ國勢調査は大正九年以來今日まで五年置きに五回に亘

り實施せられ、最近は昭和十五年十一月一日に實施せられてをり昭和廿年に第六回國勢調査の實施せられることとなつてゐた
△情報局發表(廿八日午後三時)
政府は左記要綱に依り昭和十九年人口調査を行ふこととし之に關する事務は内閣統計局をして主管せしむることとせられたり
昭和十九年人口調査要綱
一、調査の目的
戦局の進展に伴ひ軍需生産食糧生産並に交通運輸等に要する人員の充實及食糧その他國民生活用品の配給統制等の重要計畫上各省廳とも信頼し得べき人口統計資料を要求す、依つて資源調査法に基き緊急に内地を限り人口調査を行はんとす
二、調査の範圍
調査の時期に内地(樺太を含む)に現在する者、但し陸海軍の部隊艦船に在る者を除く、尙從來の特別調査區域たる宮城、外國の大使館、公使館、監獄等に付ては別途調査す
三、調査の時期
昭和十九年二月二十二日午前零時
四、調査の事項
①住所
②氏名
③男女の別
④年齢(數)年
⑤配偶者の有無
⑦所屬の産業
⑥從業上の地位
⑧兵役の關係
五、調査の方法及順序
各人毎に一枚の申告書を用ひ世帯主より申告せしむ、市町村の區域を調査區に分ち調査區に調査員を置く、此の場合調査區の區域は成るべく町内會、部落會、隣組等の區域に適合せしむ、調査員の調査期日前該當調査區内の各世帯の状況を調べ、照査表を作成し申告書用紙の配付其の他の準備を爲す、調査員は調査の時期後申告書を

り實施せられ、最近は昭和十五年十一月一日に實施せられてをり昭和廿年に第六回國勢調査の實施せられることとなつてゐた
△情報局發表(廿八日午後三時)
政府は左記要綱に依り昭和十九年人口調査を行ふこととし之に關する事務は内閣統計局をして主管せしむることとせられたり
昭和十九年人口調査要綱
一、調査の目的
戦局の進展に伴ひ軍需生産食糧生産並に交通運輸等に要する人員の充實及食糧その他國民生活用品の配給統制等の重要計畫上各省廳とも信頼し得べき人口統計資料を要求す、依つて資源調査法に基き緊急に内地を限り人口調査を行はんとす
二、調査の範圍
調査の時期に内地(樺太を含む)に現在する者、但し陸海軍の部隊艦船に在る者を除く、尙從來の特別調査區域たる宮城、外國の大使館、公使館、監獄等に付ては別途調査す
三、調査の時期
昭和十九年二月二十二日午前零時
四、調査の事項
①住所
②氏名
③男女の別
④年齢(數)年
⑤配偶者の有無
⑦所屬の産業
⑥從業上の地位
⑧兵役の關係
五、調査の方法及順序
各人毎に一枚の申告書を用ひ世帯主より申告せしむ、市町村の區域を調査區に分ち調査區に調査員を置く、此の場合調査區の區域は成るべく町内會、部落會、隣組等の區域に適合せしむ、調査員の調査期日前該當調査區内の各世帯の状況を調べ、照査表を作成し申告書用紙の配付其の他の準備を爲す、調査員は調査の時期後申告書を

蒐集し之を照査表と共に市町村長に提出す、市町村長は各調査員より提出したる申告書に依り所要の統計表を作成し申告書と共に地方官に提出し、地方官は之を取纏め内閣統計局長に送付す、内閣統計局に於ては各市町村長の作成したる前記統計表に依り都府府縣別に集計する外申告書に依り必要なる統計表を作成す

行政調査

甲造船、木造船に

も行政調査

政府は本年三月行政調査制度を創設、生産力擴充に關する重要政策の侵透具現の狀況を査察することとし、以來三回に亘り製鐵工場、炭礦、製鐵所、航空機工場に對する行政調査を実施し、多大の成果を收めて來たが、今同様に本年十二月より來年一月に亘つて石炭、甲造船(鋼造船)、木造船に對し第四、第五、第六回の行政調査を一舉に實施することとなり四月正午情報局より左の如く發表、同日附を以て藤原國務相、鈴木、五島兩内閣顧問が行政調査使として勅命された

行政調査の對象として今回新に甲造船、木造船が選ばれたことは航空機工業と並んで造船業の躍進が戦力増強上喫緊の要請となつてゐるためであり、また藤原國務相が第二、三回に引續き重ねて第五回目の行政調査使に勅命されたことはこれまでの行政調査に示した大きな成績と共に、この内閣における同國務相の役割を示したものと解される

り、行政調査使には石炭に就ては内閣顧問鈴木貞一、甲造船に就ては國務大臣藤原銀次郎、木造船に就ては内閣顧問五島慶太の三氏が勅命され、なほ本査察は本年十二月乃至來年一月に於て行はれる豫定である

△内閣辭令

國務大臣 藤原銀次郎
内閣顧問 鈴木貞一
同 五島 慶太

行政調査使被仰付

第四回行政調査(木炭)

隨員發令【十一日】 第四回行政調査は軍需生産増強の基礎原料たる石炭に對し特に九州地方の諸炭礦に對して實施されることとなつた、即ち三浦、兩村等の北九州諸炭礦につき本月十三日より廿八日迄實施され、査察使隨員は十一日附内閣より左の諸氏が選拔發令された

△鈴木行政調査使隨員 山田秀三(内閣參事官) 田口良明(内閣技師) 野田卯一(大藏書記官) 中村敬之進(厚生省勤務局長) 國藤耕一郎(厚生書記官) 並木龍男(農商書記官) 青柳龍郎(食糧管理局技師) 山口六平(軍需省部長) 鍋島茂明(軍需省軍需官) 需官吉積正雄(同) 重野誠雄(同) 葛西清一(同) 眞山寛二(同) 岡田秀男(同) 佐藤富治(軍需省軍需管理官) 富山清憲(鐵道監) 今井田研二郎(運輸通信書記官) 石渡信太郎(日本鑛業會評議員) 渡邊四郎(日本石炭株式會社副社長) 山川良一(石炭統制會社副社長) 馬場俊藏(鐵鋼統制會整備部部長) 栗木幹三(石炭統制會生産部部長)

ける石炭増産を査察のため西下した行政調査使鈴木貞一國務相、同隨員一行は十三日午前十一時九分伊田驛着直ちに三井鑛業所に入つた、午後及び十四日午前の二時間に亘り同鑛業所の生産狀況を細部に亘り査察し、次で左の日程で査察を進めた

△十五日 日鐵〇〇鑛業所、幸發町
〇〇鑛業所、△十六日 三菱〇〇鑛業所、△十七日 若松港灣施設査察
綜合査察終る【十八日】 去る十三日以來三井田川鑛業所を皮切りに筑豊炭田若松の港灣設備を査察使一行は十八日福岡縣福岡鑛山監督局の事務査察を實施同日を以て綜合査察を終了したので十九日は各方面と事務打合せを行ひ廿日より三井に分れて再び各炭坑の現地査察を續行した

各炭坑視察【廿日】 九州地方炭山を査察中の鈴木行政調査使一行は十八日綜合査察を終り、廿日より第一班(鈴木査察使) 第二班(山口石炭部長) 第三班(陸海軍關係官) に分れるの日程で各炭礦を視察した

△二十日 第一班藤田、第二班嘉穂
△二十一日 第一班唐津、第二班吉隈、第三班唐津港江里、△二十二日 第一班杵島、第二班忠隈、第三班潜龍江迎、△二十三日 第一班三池、第二班大峰、第三班鹿町、△二十四日 第一班三池、第二班赤池、第三班崎戸、△二十五日 第一班大阪、第二班大ノ浦、第三班松島、大島、△二十六日 第一班大阪、第二班新手中鶴、第三班伊王島

大阪瓦斯其他査察(廿六日) 關西地方査察中の鈴木査察使一行は二十六日大阪瓦斯會社に向ひ同社首腦者の説明を聴取懇談の後同社〇〇工場を査察し午後一時から中山製鋼所の査察を行つた

査察の使命果す【廿八日】 第四回行政調査使内閣顧問前企畫院總裁鈴木貞一氏を行政調査使として去る十二日より北九州の炭田につき實施され鈴木査察使は筑豊炭田田川鑛業所を皮切りに北九州各炭田について嚴正なる査察を實施し、時には自ら坑道にくぐり或は炭坑戦士に親しく呼びかけ増産を督勵するなど現場において一旦綜合査察を終了、引續き廿一日三井にわかれて各炭坑につき個別に詳細な査察を續行し、廿八日を以て今回の行政調査を終了した、この間鈴木査察使は九州炭と密接な關係にある阪神等の消費地帯を視察するなどの査察の成果に遺憾なきことを期したが、將に大東亞戰爭第三年を迎へて一億總躍起、ひたすら戦力増強航空機の飛躍的増産に邁進しつつある時、その鍵を握る石炭の大増産上今次査察の成果に多の期待が持たれ査察使當局は今次査察を終了の際して石炭増産の確性を固めたものとして、一方炭坑側においても「石炭を必ず出す」との決意を強く披瀝したのであり、かくて石炭の緊急増産が當面焦眉の問題である時今次査察は見事にその使命を果したものと云へよう

閣顧問五島慶太氏を行政調査使として來る二十四日より一月八日まで特別關東、近畿、東北の各地方を中心に木造船の建造狀況全般につき實施れるが五島行政調査使隨員二十五名の氏名が十七日左の如く情報局より發表された

△五島行政調査使隨員 足高孝次郎(技術院參技官) 沼越正己(内務書記官) 安中忠雄(厚生書記官) 熱海三郎(軍需省軍需官) 岡村武(同) 矢牧章(同) 二宮義清(同) 中野吉雄(同) 大石保(同) 宮澤省吾(同) 渡邊安次(同) 君嶋武彦(同) 阿部茂(同) 解良七郎(同) 拍原兵太郎(鐵道監) 藤田健六(運輸通信省海務官) 宮川久雄(運輸通信技師) 甘利昂(同) 河合良成(日本木造船組合聯合會長) 石原用司(日本船用内燃機統制組合理事) 山田秀三(内閣參事官) 並木龍男(農商書記官) 今井田研二郎(運輸通信書記官) 神戶各工場を査察【廿六日】 木造船に關する行政調査のため廿五日來神戶行政調査使五島慶太氏は廿六日午前九時神戸商工經濟會において當業者及び兵庫縣廳關係官より木造船建造に關する説明を聴取し午後、前田鐵工所、山根造船所を査察、午後後久保田鐵工所の査察を行つた

△木造船所査察【廿八日】 大阪に於ける五島造船行政調査使一行は廿八日午前九時松下造船所に至り同社首腦者の説明を聴取の後工場を査察し午後二時終了した

第五回行政調査(木造船)

隨員發令【三十日】 政府は近く國務相藤原銀次郎氏を行政調査使として甲造船の建造狀況全般につき第六回

抗議文を帝國利益代表國スペインを通じて米國當局に傳達することとなり、須磨駐西公使は右手續を完了したので廿日左の如き外務當局談を發表すると共に抗議全文を發表した

△外務當局談(廿日午前十一時半) 病院船ブエノスアイレス九不法撃沈に關し帝國政府は今般西班牙政府を通じて米國政府に對し左の如き強硬なる抗議を提出せり

△對米抗議全文

一、帝國病院船ブエノスアイレス九は去る十一月廿七日午前八時十分南緯二度四十分、東經百四十九度廿分の海上を航行中の處來襲せる米コンソリデーテツト二四型一機の投下せる爆彈を左舷に受け約四十分にして沈没せり

右飛行機は太陽を背にし高度一千米内外にて同船尾方向より飛來し該爆彈一個を投下したる後、前方の雲間に入り、遭難と同時に救命艇、小發動艇等約十八隻水上に下され傷兵兵其他乗船者の殆ど全員は同船沈没前に救命艇筏に收容せられたるも第四番船艙にありし擡送傷病兵其の他約三十名は爆彈破裂の衝動に依り落下せる艙口の梁材に依り歴死又は受傷し同船と共に沈没せるもの如し、通信機被壞の結果連絡の方法も無く十一月廿七日より十二月二日迄漂流中、數回米哨戒機に發見され其の都度赤布片にて赤十字を中央部に表示し、右哨戒機も超低空にて之を認識し得たるもの如くなりし處、十二月一日の哨戒機は百米内外の超低空にて漂流中の傷病兵滿載舟艇に機銃掃射を加へ戦死二名、負傷一名を出したり

部舟艇は偶々附近航行中の帝國船舶に發見せられ次で其の報告に基き同日及翌三日に亘り帝國飛行機並に舟艇等に依る殘餘漂海者の收容行はれたるも、終に交代歸還上の看護婦を含む一七四名の死亡者又は行方不明者を出せり

二、ブエノスアイレス九は、一九〇七年海牙に於て締結せられたるジュネヴァ條約の原則を海戦に應用する條約第一條の規定に従ひ利益代表西班牙國政府を通じて客年十二月七日米國政府に對し其の船名を通告せられ且同條約第五條所定の標識の外帝國軍當局に於て研究、試験の結果考案せられたる特に認識容易なる對空並に夜間用赤十字標識を有し居り、之亦米國政府に通告済なり、然も當時は天氣清朗にして太陽を背にし高度一千米内外より右諸標識の認識は絶對且完全に可能なりしものなり

上述の如き狀況に於て米機に依りて行はれたる本件爆撃は前記海牙條約並に國際法の根本原則に對する明瞭なる違反なるのみならず、亦人道に背する殘虐の行爲と言はざる可からず、況んや無辜の看護婦を悲惨なる死に至らしめ、又赤十字の標識を掲げて漂流中の傷病者に對し機銃掃射を行ひ之を殺戮するが如きは野蠻且卑劣なる殺害行爲とも稱し得べし

三、帝國政府は右の事實に付米國政府に對して最も嚴重に抗議し且其の反省を促し、同政府が速に誠意ある調査に基き回答を行ひて責任者を處罰し、將來再び斯る事件の惹起せらるることなき保障を與ふることを要求すると共に、右不法行爲の矯正に關し一切の權利を留保する旨宣言するものなり

帝國政府は囊にアラビヤ丸以下六隻の帝國病院船に對する不法攻勢に付其の利益代表西班牙國政府を通じて六月廿八日米國政府に對し強硬抗議する所ありたるも今日に至る迄何等の回答に接し居らず、加之帝國病院船に對する不法攻勢は其の後も跡を絶たず、最近更に高砂丸以下四隻の不法攻撃に付利益代表國を通じて米國政府に申入るの所ありたり、然るに米國政府に申入るの所ありたり、然るに米國政府に見たる點に付帝國政府としては特に重大なる關心を有するものにして、米國政府の深甚なる注意を喚起するものなり

チモール問題

【一日】去る廿七日ポルトガル首相サラザール博士が議會で行つたチモール島を繞る對日關係演説に關しては帝國側としては別段これの特に重大視する理由なしとしてあるが、井口情報局第三部長は右に關し一日の定例外人記者會談においてチモールにおける帝國の態度は極めて公正であり、チモールのポルトガル當局も別段の不便は感じてゐない實情を詳細説明した

側よりもヒトラー總統より東條總理宛の祝電が十一日外務省に到着したまた重光外相は當日官邸にスターマ大使以下樞軸國外交使臣を招待、日本側よりも杉山參謀總長、永野軍部部長、嶋田海相、賀屋藏相、青木大東亞相等多數參列盛大記念午餐會を開催したが更に重光外相は同七時廿分外相就任以来最初の國內放送演説を行ひ、この意義深い日を記念し、外相はこの演説において先づ「日本を維新前の姿に返す」と決して獨伊兩國外相より重光外相に對し左の如き祝電が十三日外務省に到着した

△ムツソリーニ伊兼攝外相發、重光日本帝國ドイツ國及イタリア國を唯一且つ正義に基き戰爭に結合せる三國協定締結記念日に際し余は此處に閣下に對しイタリア社會共和國はその偉大なる同盟國と共に最後の勝利の達成に貢獻せんため再び武器をとるの決意を表明するものなり

△リツベントロツツ獨外相發、重光外相宛

三國の高遠なる理想實現のため共通の戰爭遂行に結合せる協定締結の歴史的記念日に當り余は此處に閣下に對しイタリアが確信を以て再び干戈をとるの準備に努めつつある今次戰爭の結果に對する不動の信念を披瀝し併せて閣下並に光輝ある日本國民に對する余の最も深甚なる祝意を表述す

獨伊兩國外相重光外相に祝電【十三日】三國協定締結二周年記念日に際して獨伊兩國外相より重光外相に對し左の如き祝電が十三日外務省に到着した

△ムツソリーニ伊兼攝外相發、重光日本帝國ドイツ國及イタリア國を唯一且つ正義に基き戰爭に結合せる三國協定締結二周年記念日に際して獨伊兩國外相より重光外相に對し左の如き祝電が十三日外務省に到着した

日獨伊三國軍事協定二周年記念

【十一日】日獨伊三國協定締結二周年記念日の十一日を迎へ日獨伊三國を以て樞軸諸國民は米英擊滅の共同戰爭完遂へ更に決意を新たにしたり、この日長くも、天皇陛下にはヒトラー總統との間に御祝電を御交換あらせられたほか、東條總理、重光外相よりも獨伊元首並に獨伊外相その同一の運命並に全世界における

三國の高遠なる理想實現のため共通の戰爭遂行に結合せる協定締結の歴史的記念日に當り余は此處に閣下に對しイタリアが確信を以て再び干戈をとるの準備に努めつつある今次戰爭の結果に對する不動の信念を披瀝し併せて閣下並に光輝ある日本國民に對する余の最も深甚なる祝意を表述す

獨伊兩國外相重光外相に祝電【十三日】三國協定締結二周年記念日に際して獨伊兩國外相より重光外相に對し左の如き祝電が十三日外務省に到着した

△ムツソリーニ伊兼攝外相發、重光日本帝國ドイツ國及イタリア國を唯一且つ正義に基き戰爭に結合せる三國協定締結二周年記念日に際して獨伊兩國外相より重光外相に對し左の如き祝電が十三日外務省に到着した

祝意を表明するものなり

伊外務省共同戦争遂行を宣言【十四日】十四日外務省到着の公電によれば、三國軍事協定締結二周年を迎へてイタリヤ社會共和國政府は十一日外務省公表によつて左の如き共同戦争遂行に關する宣言を發表した

三國同盟内の共同戦争遂行に關する協定調印記念日に當りイタリヤ社會共和國政府は左の通り宣言す
去る九月八日バドリオ政府が敵との休戦により犯したる背反行爲は伊國の同盟國たる日獨兩國に對する伊國の地位を些も變更するものに非ず、イタリヤ政府は三國同盟の盟邦と共に共同の勝利獲得に至る迄戦争を繼續するの決意を有するものなり

日泰同盟二周年記念

【廿一日】日泰攻守同盟締結二周年記念日に當り廿一日午後零時半より外相官邸において重光外相、青木大東亞相共同主催の記念午餐會が開催された、席上重光外相、ウイチット駐日泰國大使は交々立つて慶祝の挨拶を述べ、大東亞戰爭完遂に對する日泰兩國の決意を新にした、なほ同日駐日泰國大使館付陸軍武官サタダ・ホンラツク大佐、同補佐官セニウ・中佐、空軍武官コンコシヤカス中佐、同補佐官ヒナツク少佐は廿一日午前十一時陸軍省を訪問、大臣應接室に於て大臣代理佐藤軍務局長と會見、サタダ・ホンラツク大佐より二周年記念日を祝すると共に來るべき年に於ては、日泰は更に堅く提携して大東亞戰爭完遂に邁進すべきの決意を述べた

主要人事

小川郷太郎氏ビルマ最高顧問就任

【七日】ビルマ國政府は去る四日在ビルマ帝國大使館を通じ日本政府に對しビルマ國政府最高顧問の招聘方を申入れ爾來日本政府側にて入選中であつたが、この程ビルマ政府側の内手帳も完了したので衆議院議員小川郷太郎氏が最高顧問に就任することに決定、十四日東京發赴任することとなつた

大東亞省

廿二日

陸軍司政長官 加藤傳次郎
任總領事(二)
ダバオ在勤檢仰付

軍 事

ギルバート方面活躍の航空部隊を御嘉尚

【七日】大本營發表(昭和十八年十二月七日十八時)
大元帥陛下には昨日海軍幕僚長を召させられ聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜りたり
勅 語
聯合艦隊航空部隊ハ今次ギルバート方面海域ニ於テ寡勢克ク連日ニ亘リ惡天候ヲ冒シ勇戰奮闘大ニ敵艦隊ヲ擊破セリ朕深ク之ヲ嘉ス
惟フミ戰局ハ益多端ヲ加フ汝等愈奮勵努力以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨ

東久邇宮盛厚王殿下少佐に御進級

【二日】陸軍大尉東久邇宮盛厚王殿下には今般少佐に御進級遊ばされた

旨一日陸軍省より發表された

陸軍省發表(十二月一日)
今般左の通り發令せられたり
陸軍大尉 盛 厚 王
任陸軍少佐

徵兵適齡を一年低下

【廿三日】政府は戦局の現状に鑑み皇軍の飛躍的精進を圖りもつて敵必死の反攻を擊碎して戦争完遂に邁進すべく内地人徵兵適齡を一年低下、滿十九歳をもつて徵兵適齡とするの臨時措置を講ずるに決し、廿三日午後三時半情報局より此の旨發表、同時に右措置に關する勅令徵兵適齡臨時特例並に陸軍省令昭和十九年度に於ける徵兵事務の勅令に關する件をそれぞれ廿四日の官報を以て公布即日施行することとなつた、今次の措置は我國兵制史上特記すべき大改正である

△情報局發表(十二月廿三日午後三時廿分)
今般現下諸般の情勢に即應する爲内地人に對し昭和十九年度に於て徵兵適齡を一年低下することとせられたり

徵兵適齡臨時特例【廿三日】徵兵適齡低下に關する勅令「徵兵適齡臨時特例」並に兵役法第廿三條、廿四條左の通り

△徵兵適齡臨時特例
兵役法第廿四條の二の規定により當分の内同法第廿三條第一項及第廿四條に規定する年齢は之を十九年に變更す

【附則】
本令は公布の日より之を施行す、但し朝鮮民事令中戸籍に關する規定の適用を受くる者に對しては別に定むる期日より之を適用す

昭和十八年十二月一日より昭和十九年十一月卅日迄の間に於て年齢二十一年と爲る者については本令はこれを適用せず
昭和十八年十二月一日より昭和十九年十一月卅日迄の間に於て年齢十九年と爲るものについては兵役法第二十四條二の規定により同法第廿四條に規定する届出期間は之を本令施行の日より昭和十九年一月廿日の間に變更す

△兵役法第廿三條及第廿四條
第廿三條 戶籍法の適用を受くる者にして前年十二月一日より其の年十一月卅日迄の間に於て年齢廿年に達するものは本法中別段の規定あるものを除くの外徵兵検査を受けることを要す
前項に規定する年齢は之を徵兵適齡と稱す

第廿四條 戶主は其の家族中毎年十月一日より同月卅一日迄の間に年齢二十一年と爲るときは其の年十一月の中に、一月一日より十一月三十日迄の間に年齢二十年と爲るときは其の前年十一月一日より同月卅一日迄の間、戸主年齢廿年と爲るときは其の命令を以て定むる者に付てはこの限りにあらず

第廿四條の二 前二條に規定する年齢及時期は戰時又は事變の際其の他特に必要な場合に於ては勅令の定むる所に依り之を變更することを得

新適齡者検査四月一日より開始【廿三日】今同施行された適齡低下については支那事務發以來各方面で論議され、ことに大東亞戰爭開戦後議

會においても軍に對し眞劍なる建議が行はれたところであつた、これに對し軍當局は昨年春の通常議會において國民の兵役年齢を規定する兵役法第二十四條の改正について協賛を得、戦局の情勢に應じ、勅令をもつて何時にてもこれを發動し得ることとした、その後本年九月南方占領地タイ、佛印在留者に對する徵集延期の撤廢、十月在學者徵集延期の停止など兵員徵集範圍を横に向つて擴大し、更に人的資源獲得の維の面においても十一月兵役年限を四十五歳に延長したが、適齡低下についてこれが生産部面、國民生活の面に及ぼす影響とさらに新鋭激刺たる青年層に對する眞の決戦段階に達するまで保有せんとする作戰の要請に基づき今日までこれが實施の時期に關し極めて慎重なる態度をとつて來たが、今や決戦兵力としてとつて置きの精強兵員を戦局に投入し、最後の勝利を獲得すべき段階に到達したので、今回の措置がとられたものである、而して今回の改正によつて明年度滿二十歳の壯丁とともに徵兵検査を受ける新適齡者は大正十三年十二月二日より同十四年十二月一日までの出生者であつて、この新適齡者をもつて戸主は法公布の日たる十二月二十四日より明年一月二十日までの間に本籍地の市町村長宛適齡届を提出せねばならぬ、新適齡者の徵兵検査は四月一日より全國一齊に二十歳のものと同時に實施され、その終期は八月下旬となつてゐる、入營は二十歳壯丁を例年より二乃至三ヶ月早く入營せしめ、その終了後新壯丁が入營するが、現に重要軍需生産に従事する者については入營時期の延期につ

いて特例が定められてゐる、なほ今回の改正は内地人に限つて適用されるものであり、朝鮮、臺灣同胞については別に規定される筈である

陸軍特別幹部候補生制度新設

【十五日】陸軍では戦局の要請に基づき特別幹部候補生制度を新設し十五日附官報をもつて關係勅令、省令及昭和十八年度における召集告示を公布即日施行した、今回實施されることとなつた特別幹部候補生制度は決戦下における銃後青少年の熱烈なる義勇報國の念に應へ、且つ短期間に國軍幹部を養成することを主眼としたものである、而して同制度の要點は次の通りである

一、従來の所謂少年兵よりも更に學力程度の高き者(中等學校第三學年程度)より選抜して特別幹部候補生に採用し、これを軍隊又は學校等に於いて教育し従來の學校教育を短期に切詰め部隊に於ける實際的訓練教育に重點を置き概ね一年六月にて現役下士官となし中等學校在學者に對し最も短期間に幹部となり得る途が拓かれた

一、特別幹部候補生たらんとする者の志願資格については學歷等々問はずその能力によることとし、年齢は採用の年三月三十一日に於て満十五年以上二十年未滿の者たること、禁錮以上の刑に處せられた者、破産の宣告を受け復権を得ざるもの等は志願資格が無い

一、特別幹部候補生の兵役上の取扱は一般現役兵と同じであるが、これに採用せられたる者は入隊後直ちに一等兵となり概ね六月後上等兵、更に六月後兵長に進級せしめられ採用後僅か一年六月にして現役の伍長に任じ、そのうち中等學校を卒業したるの又は特種の技術を修得したる者で技能特に優秀なる者は一足飛入る曹に任ずることが出来る、又下士官に任官するまでの一年六月は戦時の必要によつては更に短縮し得る

一、特別幹部候補生から下士官となつたものは採用の日から二年間は現役であるが、本人の希望によつては引續き現役に服することが出来、軍としても多數者が引續き現役に服することを希望してゐる

一、現役將校たることを希望するものためには特別幹部候補生の内或は下士官となつた後に於て陸軍豫科士官學校生徒の試験を受けるか或は少尉候補者を受験將校たり得る途が拓かれてゐる

一、採用する兵種は飛行兵、船舶兵、通信兵、兵技兵、航技兵等であるが今同差當り飛行兵と船舶兵の二種にせられた、但し飛行兵の中には操縦整備、通信の分科があり、船舶兵の中には船舶工兵、整備、通信、特殊兵要員の分科がある、志願者は兵種及希望分科を提示すればよいが採用人員の適性等の關係上志願以外の分科に採用せられることもある

一、銓衡のための検査には身體検査口頭試問及學科試験が行はれるが中等學校長に於て特に推薦するものについては學科試験を省略し得る、推薦の細部については別途關係方面に通知せられることになつてゐる

一、願書は昭和十九年一月三十一日までを受験地の聯隊區司令官に提出するを要し、検査場は一般少年兵等と同様全國各地に設けられ本人の希望する検査場に於て受験し得る、今回の志願者については身體検査及口頭試問は二月下旬より二月下旬の間、學科成績は二月十六日一齊に中は隊區司令官、軍師團兵務部、志願者心得等はこの外市町村役場、或は學校にて説明する

一、既に少年飛行兵を志願してゐた者で今般の特別幹部候補生を志願せんとするものは重複して願書を提出するも特に少年飛行兵志願を中止して特別幹部候補生のみを志願せんとするものはその旨を聯隊區司令部に届出れば二重の願書手續を要せず同候補生の受験が出来

尙第一次の志願者年齢は大正十三年四月二日より昭和四年四月一日までに出生したる者で願書類差出期日は告示の日より昭和十九年一月三十一日までである

陸軍特別志願兵令改正

一、兵役免除者へも再検査

【廿二日】徴兵検査場で兵役免除となつた者の再検査實施要望の聲は支那事變勃發と兵に起つてゐたが、特に大東亞戰爭が開かれるや其要望は益々熾烈となり、陸軍では今回之等盡忠赤誠の士の熱望に應へて種々研究の結果陸軍特別志願兵令を改正して兵役免除者でも本人の志願に依て銓衡の上陸軍部隊に編入し得る途を開く事となり廿二日官報を以て陸軍特別志願兵令改正勅令を公布した

兵役免除者の志願手續方法は願書に軍醫又は醫師の健康診斷書、身上明細書及び戸籍抄本を添へ本籍地の聯隊區司令官(陸軍兵事部長)に提出す

れば良い、銓衡して許可し難い者は本人にその旨通達適當と認むる者には軍の都合により臨時臨時召集又は充員召集の手續によつて部隊に編入されるもので部隊編入後の取扱は一般應召者と同様である

經理、法務將校補充特例

【廿九日】在學徵收延期の停止に伴つて陸軍では將校補充について去る廿二日特例操縱見習士官の志願資格を改正したが、今回更に經理部及び法務部の將校補充の特例を設けることになり、これに關する勅令は廿九日の官報をもつて公布即日施行した

即ち現役將校たるべき經理部及び法務部見習士官は從來「學士と稱する者」を得る者、今回この制限を廢して經理部見習士官は經理に必要なる學課を教授する大學學部に一年以上在學したることのある者、法務部見習士官は司法官試補たるの資格を有することとするもので、また豫備役將校たるべき特別操縱見習士官及び經理部幹部候補生は從來專門學校以上の卒業でなければ志願資格がなかつたが今後はこれらの專門學校に在學したることのある者にも志願資格を認めることとなつた、なほ今度の改正では理工科系統の者は除かれてゐるが、これは目下理工科系統の學校に在學する者に對しては入營延期の特別措置が講ぜられてゐるからである

方面〇〇工場で、牧田大阪海軍警備府司令官長官臨席の下に軍官關係者多數列席の上盛大に舉行された

感 狀

○部隊増援部隊 昭和十七年十一月廿日夜ガダルカナル島方面作戦中ルンガ沖に於て敵有る部隊を發見するや機を失せず強襲を敢行寡兵を以て優勢なる敵艦隊を大に撃破し水雷戰隊の傳統的精華を發揮せるは其の功績顯著なりと認む 仍て茲に感狀を授與す 昭和十八年九月十五日 聯合艦隊司令長官 笹本中隊及飛田小隊【二日】陸軍省發表(十二月二日十六時)

感 狀

右は中隊長陸軍中尉笹本忍の指揮を以て昭和十八年春季に於ける江北殲滅作戦に参加し常に大隊の中堅中隊として勇戦奮闘し特に藕地口附近の彈園に於ては神速果敢なる攻撃に依り屢々偉功を奏し多大の戦果を収めたり就中三月十二日藕地口奪還の爲反攻し來れる敵第四十三師に對し塘支隊の之が撃滅を企圖するに中り中隊は百号嘴より霧氣嘴に向ひ攻撃前進せる大隊の左第一線となり膝を沒する濕地を突破し先づ積五口附近に在りし約百の敵の右側背を急襲し潰走する敵を猛進して悉く之を殲滅し次で霧氣嘴に向ひ突進せる大隊主力

感 狀

報國第一號海防艦進水 【廿九日】銃後國民が皇國海軍に捧げた真心でつくられた新銃の第一艦報國第一號海防艦進水式は今般關西

報國第一號海防艦進水

報國第一號海防艦進水式は今般關西

が其の西南側地區に於て退走中の敵

一箇師團と遭遇し、奮戦を惹起する

や中隊は機を失せず敵の左側背に進

出し果敢に之を包圍攻撃して大隊主

力の戦鬪を容易ならしめ、更に包圍

圏を逃れんとする敵が上季崗附近

の地物を利用して最後の抵抗を試み大

隊主力と相對峙するに及び、中隊

は急遽霧氣噴方向に轉進して敵の右

側背を攻撃すべく命ぜられ連日連夜

の敢闘に依る疲勞にも屈せず神速に

霧氣噴を経て其の南側地區に進出し

薄暮背水の陣地に據り頑強に抵抗す

る敵中に突入り大隊主力と相俟つて

暗中接戦格闘、遂に敵を湖水に壓迫

殲滅し赫々たる戦果を収めたり、右

は笹本中尉の適切機敏なる指揮の下

に中隊長を核心とする鐵石の團結威

力と訓練の成果とを遺憾なく發揮し

歩兵戰團精華を發揮せるものにして

其の武功拔群なり仍て茲に感狀を授

與す

昭和十八年四月二十九日

軍司令官

△感 狀

梅木部隊飛田小隊

右は小隊長陸軍少尉飛田政市の指揮

を以て昭和十八年春季に於ける江北

殲滅作戰に參加し沙市東南方揚子江

畔關嶺口より華容に向ひ突進する梅

木部隊の先遣中隊第一線小隊として

一時間約四料の快速を以て堤防上縱

形に於て熾烈なる敵火を蒙りしにも

拘らず機敏に敵陣に突入り一擧に

敵の幹部數名を斃し約五百の新敵兵

混亂せるに乗じ猛烈果敢に攻撃し敵

團長以下約百五十を殲し更に敵敵を

急追して十五時頃王家湖北側地區に

之を捕捉撃滅する等敵第四百九師

を全く潰亂せしめ抵抗の餘餘分な

らぬに於ける整然たる抵抗の餘餘分

なれば、以て之が占領を著し迅速且

容易ならしめたり、右は小隊長の戰

機に投ずる卓越なる指揮の下堅固な

團結と旺盛なる攻撃精神とを以て

遺憾なく其の任務を達成し突破突進

に於ける歩兵戰團の眞髓を發揮せる

ものと謂ふべく其の武功拔群なり仍

て茲に感狀を授與す

昭和十八年四月二十九日

軍司令官

△感 狀

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

第〇〇潜水部隊

聯合艦隊司令長官

ルンガ泊地攻撃潜水部隊

昭和十七年十一月七日以降同年十二

月十四日に於ける間ソロン諸島ルン

ガ泊地所在の敵艦船攻撃に參加し多

くの戦果を擧げ帝國海軍軍人の忠烈

を克く中外に宣揚し全軍の士氣を振

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

△感 狀

梁瀨、小柴、里見、飯田、反町各部

【廿七日】陸軍省發表（十二月廿

七日十六時）

昭和十八年初夏、中支那方面に於け

る江南殲滅作戰に於て武功拔群なり

し梁瀨部隊、小柴部隊、里見船舶輸

送部隊、飯田歩兵中隊及反町歩兵中

隊に對し曩に軍司令官より感狀を授

與せられしが今般長くも上聞に達せ

られたり、感狀を授與せられし各部

隊武功の概次の如し

梁瀨部隊（長陸軍大佐梁瀨眞季）

藕池口（華容西方三十二料）附近に

り陽春嶺（藕池口西北方）附近に至

る約三十料に亘る水深湖沼を制し嶮

嶺峻峰を突破して終始神速なる機動

力と猛烈果敢なる攻撃力とを發揮し

或は暗夜豪雨を冒し或は壯烈なる白

兵戰により二十四日間殆んど不眠不

休戰中に敵艦を捕捉攻撃し遂に敵第

百十八師、敵第二百二十一師、第六

遂に敵第十五師及第六十一師の主

力を撃滅す、次で反轉作戰に移るや

我に追躡し黄山（南縣西北四十三料）

附近に進出し來れる敵第六十二師

の主力を側背より危襲して之を撃滅

せり

里見船舶輸送部隊（長陸軍大佐里見

宜二）

在官昌抑留船舶の下航收容に任ずる

や獨力を以て長遠なる未知の水路と

敵敵設水雷の危険とを征服突破し五

十有餘隻に損傷をも生ぜしめず全船

を無事武漢地區に收容せり、又揚子

江の渡江作業に於て、岳州、石首、

枝江、宜都等に於て或は豪雨の中に

或は敵機の下に相次ぐ渡航を漕

滞なく處理し針谷部隊長の指揮を受

けたる舟艇隊は數晝夜に亘り不眠不

休敵の抵抗と幾多の障礙とを排除し

同部隊洞庭湖方面に於ける水上機動

を成功せしめたり

舛尾部隊飯田歩兵中隊（長陸軍大尉

飯田正雄）

黃獅咀（藕池口南方）附近の戦鬪に

於て夜間迅速に敵前を渡河し同地に

在りし敵を急襲撃滅すると共に敵の

増援部隊を機先を制して潰滅せしむ

次で鳳凰山（沙市西南五十四料）附

近の戦鬪に於ては敵と不期遭遇する

や機を失せず之を攻撃鳳凰山に向ひ

急進殲滅的打擊を與ふ、引続き文公

山（鳳凰山東南下料）を猛攻し中隊

の三名は其の卓絶せる功績に依り

三を以て頭書の通鼓賜せられたり

功三旭四 海軍中佐 友永丈市

功三旭五 海軍少佐 笹井醇一

功四旭六 海軍飛行特務中尉

菅野兼藏

高橋大佐等七將校二階級進級

【四日】大東亞戰爭勃發以來比島、東印

度諸島東部ニユーギニヤ方面或ひは印度洋、珊瑚海、東太平洋方面に長驅奮迅、航空撃滅戦に指揮官先頭の海驚魂を遺憾なく發揮して武勳拔群功績顯著なる航空部隊指揮官海軍少佐高橋赫一、海軍大尉鈴木鐵太郎、同淺井正雄、同小林國治、同友永丈市、同小川正一、海軍中尉笹井醇一の七將校に對して特に二階級進級せしめられた旨、その壯烈無比な戦闘概要と共に四日十五時海軍省から左の如く公表せられた、尙この外、下士官兵にして特に二階級進級せしめられた二十八勇士に對しては在籍各鎮守府から別に公表せられたが第一二回海軍論功行賞に於て殊勳甲として特旨を以て鼓賜の榮譽に輝く菅野兼藏海軍飛行兵曹長も特務中尉へ二階級進級せしめられ横須賀鎮守府から公表せられた

主 要 人 事

☆ 陸 軍

新滿醫學科大學教授 田宮知耻夫

任陸軍司政長官(一)

熊谷陸軍飛行學校長【十四日】熊谷

陸軍飛行學校長松岡勝藏中將は今回

現地某要職に轉出し、後任校長には

平田勝治少將が補職された

布上、中畑、岡田三大佐少將に進級

【十六日】常德作戦において壯烈な

戦死を遂げた布上照一、中畑護一兩

大佐並に去る三日戦病死した岡田虎

太郎大佐は夫々陸軍少將に進級した

旨十六日陸軍省より發表された

【二十七日】 陸軍省發表

陸軍中將 木村 經廣

補陸軍築城部本部長 吉田繁太郎

陸軍少將 長沼 稔雄

補西部軍兵務部長 同

補陸軍機甲整備學校長 武田 信男

同 同

補陸軍兵器行政本部造兵部長 有馬 徵

同 同

補名古屋陸軍造兵廠長 同

同 同

補海軍省公表 福田 良三

海軍中將 近藤 信竹

補高雄警備府司令長官 吉田 善吾

海軍大將 同

補海軍大將 同

補海軍中將 同

補海軍大將 同

補海軍中將 同

補海軍中將 同

補海軍中將 同

補海軍中將 同

補橫須賀海軍工廠長

【十七日】 海軍省公表

海軍大佐 竹内 平七

補新潟地方海軍人事部長 同

【二十八日】 海軍大佐 平出 英夫

補フイリッピン國在勤帝國大使館附

武官

貴 衆 兩 院

貴 族 院

山田三良博士勅選

【十五日】 貴族院議員帝國

學士院會員小野塚喜平次の

辭任に依り缺員中であつた貴族院議

員の補充として元京城帝大總長、帝

國學士院會員法學博士山田三良氏が

十五日左の如く勅選された

法學博士 山田 三良

貴族院令第一條第五號に依り貴族院

議員に任ず

衆 議 院

松岡秀夫氏應召

【三日】 衆議院議員松岡秀

夫氏(埼玉縣第三區選出)

は今回應召、なほ現在近代議士の應

召者は小山田、有馬、濱田、岡宮、

愛野、黒田(歸還)福家の七氏であ

り、松岡氏を加へて八氏となつた

柳川、中崎兩氏當選

【廿日】 茨城縣第一區衆議院議員補

缺選舉は廿日開票の結果左の通り確

定した

翼 賛 政 治 會

政府翼賛首腦と懇談

【十四日】 車條首相は十四日午後零時廿分より首相官邸に翼賛政治會幹部を招待、政府側より車條首相以下各閣僚、及び内閣三長官、翼政側より阿部總裁、安保、秋田、大井、小泉、櫻内、島田、中島、水野、結城各顧問、前田總務會長、井野總務等六十二名出席、來る第八十四議會を控へ種々懇談を遂げ同二時頃散會した

對 議 會 陣 容 成 熟

【廿三日】 翼政會では議會開會に先立ち廿三日午後二時から本部で對議會陣容整備のため代議士會を開催、阿部總裁をはじめ役員、所屬代議士並に山崎農相、大藤國務省ら三百五十餘名出席、阿部總裁より挨拶を述べて對議會基本態度を闡明、特に今議會に課せられた最重要使命として大東亞全體の決戦態勢の急速なる完備米英聯合の戦力を凌駕すべき我が戦力の飛躍的増強の急務を指摘するとともに現下戦局の要請に呼應し議會における審議そのものを悉く現職局を有利ならしめる目途において運営し百事快速切實なる處理を要請政府の決戦措置を推進すべしと斷じ

當選 二二、一七九票 柳川宗左衛門

同 一二、九一四票 中崎 俊秀

次點 一二、六八七票 葉梨新五郎

對議會行動の指針を示唆した、次で議會總務、議會議事、議案審査會長その他各種役員を三好總務が代表、前田米藏氏役員を代表して挨拶を述べた後、報告、金光政調會長の政務調査會活動狀況と方針説明の後協議に移り

一、勅語奉答文起草委員候補者の件
一、全院委員長同

會長 金光庸夫
副會長 前田房之助、三浦一雄

一、常任及び特別委員同
一、議會役員に特別と決定、更に議案取扱に關する規定を承認、小泉會長の發聲で萬歳を奉唱して三時半散會かくて議會運営の中核たる衆議院の對議會陣容はその整備を了し萬全の態勢を確立した、同日決定せる議會運営各種役員の名は左の如くである

會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

副會長 金光庸夫
內閣部部長 船田中、外務部部長 大松忠雄、内務部部長 古屋慶隆、大藏部部長 中島彌國次、陸軍部部長 木村正義、海軍部部長 一宮房治郎、司法部部長 濱野徹太郎、文部部部長 池田秀雄、厚生部部長 加藤謙五郎、大東亞部部長 岸田正記、農商部部長 三善信房、軍需部部長 牧野良三、運輸通信部部長 山倉之助

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

△議會總務
會長 前田米藏
井野碩哉、大藤麻男、太田正孝、勝正憲、勝田永吉、金光庸夫、清瀨一郎、近藤英次郎、櫻井兵五郎、四王天延孝、眞藤慎太郎、田邊七六、津雲國利、東郷實、永井柳太郎、橋本欣五郎、松野鶴平、松村謙三、三好英之、八角三郎

食糧自給基本対策上

【廿八日】翼政會では過般現下喫緊の要請たる綜合食糧對策基本大綱を決定し、政府の第一次、第二次緊急増産對策及び日滿共同緊急農地造成事業など各般の重要施策の實施を推進したが、最近の農業事情は肥料の増産に農業要員の確保並に必需農産物の綜合生産計畫樹立の急速實施を必要とするに至つたので松村謙三氏を委員長とする綜合食糧特別委員會において鋭意研究を進めた結果「食糧自給基本對策」の成案を得二十八日の常任總務會、總務會に諮つて正式決定、直ちに農商大臣に關係當局に申達、その實施方を要望した、食糧自給基本對策(要旨)左の如し

一、肥料増産確保對策(要旨)左の如し
一、食糧自給基本對策(要旨)左の如し

必要なる農家の所要する化學肥料を充實せしむるが爲に必要な施策を講ずると共に現存化學肥料製造設備の補修資材及既定計畫の肥料工場に於て目下工事中のもの完成上必要な資材(鐵鋼、木材、セメント等)を速に供給するの措置を講ずること
①化學肥料増産の爲めに要する電力石炭其他原動力、運轉資材が確實に所要肥料數量生産に合致する様之が供給の措置を講ずること
②化學肥料製造主之が荷造等の努力は微用に依り確保を期すること
③過燐酸石灰及び加里鹽の新資源開發並研究施設を急速に擴充すること
二、食糧増産要員確保對策
①主要食糧増産に専念しつある農業經營者給計畫等を包含せしむること、政府は綜合農業生産計畫中に包含せしむべき食糧作物、果樹、蔬菜、家畜

に於て其の地位を確保すること
②農業指導獎勵に従事するもの待遇改善等に依り永く農村に定着する様適切なる方法を講ずること
③食糧の増産に必要となるときは非農業者を農業に徵用し得るの制度を認むること
④農業要員たる農業經營者は食糧増産上の責任を負担すること
⑤農業要員は他の國家要員と同列に取扱ひ他を免除し其の轉廢業に關しては一定の制限を設けること
⑥農業要員を確保するに雖も食糧増産に支障なき限り一定の組織の下に期的的の軍需工場方面への勤勞奉仕を認むると同時に非農業者の農村への期的勤勞奉仕を行はしめ、農業者及非農業者相協力し彼此相融通して食糧の増産及戦力増強に力むること
⑦徵用及賃金制度を再検討し徵用に依る呼出其他の爲に食糧生産に支障を來し又は徵用類似の方法に依り農業者を迷はしむるが如きことならしむると同時に高賃金に誘惑せられて離農するが如きこと無き様適切なる施策を講ずること
⑧農業經營を集約ならしめ、農地の利用を最高度に發揮せしむると同時に、離農を防止し以て食糧増産の完壁を期するが爲自作農の維持創設制度を根本的に改善し之が促進を圖ること
三、綜合農業生産計畫確立對策
①毎年度農業生産の準備に着手する前に各町村農業會をして政府の方針に即して綜合農業生産計畫を樹立せしむること
②綜合農業生産計畫には作付計畫を中心とし農地計畫、努力及資材計畫の外畜産、養蠶、飼料及肥料自給計畫等を包含せしむること、政府は綜合農業生産計畫中に包含せしむべき食糧作物、果樹、蔬菜、家畜

一、翼贊會、翼壯地方別懇談會
關東、北信地區懇談會【六日】大政翼贊會、翼壯壯年團主催の地方別懇談會の第一日は六日午前九時より翼贊會大講堂に於て開催された、此日地方側よりは關東北信一都十二縣代表約六十名、中央本部からは後藤副總裁丸山事務總長以下全幹部出席、後藤副總裁の訓示、丸山事務總長の指示があつて

大政翼贊會

一、翼贊會、翼壯地方別懇談會
關東、北信地區懇談會【六日】大政翼贊會、翼壯壯年團主催の地方別懇談會の第一日は六日午前九時より翼贊會大講堂に於て開催された、此日地方側よりは關東北信一都十二縣代表約六十名、中央本部からは後藤副總裁丸山事務總長以下全幹部出席、後藤副總裁の訓示、丸山事務總長の指示があつて

東北、北海、樺太地區懇談會

【九】大政翼賛會と翼賛壯年團共同主催の第二回地方別懇談會は東北、北海道、樺太地區代表參集の下に九日午前九時半より宮城縣會議事堂において開催、中央側からは後藤副總裁丸山事務總長、藤井翼壯本部長以下各幹部、地方側から東北六關、北海道、樺太地區各支部局部長、關長、本部長等約六十名出席、後藤副總裁の訓示、丸山事務總長の指示があつて協議懇談に移り、正午一旦休憩、午後一時再開、丸山事務總長を座長に推して協議懇談に入り、後藤副總裁、藤井翼壯本部長ほか中央の各幹部を圍んで各地代表との間に質疑應答あつて午後五時閉會した

東海近海地區懇談會【十二日】

翼賛會並に翼賛壯年團各中央本部主催の東海近海二府八縣全國地方別懇談會は十二日午前九時から宇治山田市神都會館に開催、中央本部から後藤翼賛會副總裁兼翼壯團長、丸山翼賛會事務總長以下各幹部地方側から東海高幹二百五十餘名參集、後藤副總裁から今次機構刷新後の翼賛會と翼壯との有機的關係並に翼賛運動展開の方針につき力強い訓示があり、次いで丸山事務總長の訓示、藤井國民運動局長の説明があつて後

一、翼賛運動の浸透徹底

の二點を議題に本部、支部の隔意なき意見の交換を遂げ、今後の翼賛運動の展開に中央地方相携へて機構の強化擴充に翼賛挺身せんことを申合せ午後五時散會した

懇談會の成果【十二日】

戦局の進展に即應する國內體制完整とこれに伴ふ國民動員促進強化を目指して開催に即應する國民組織が著々その成果を収めつつある證左である

中央協力會議員更新

【十三日】大政翼賛會の中央協力會議員は去る十月を以て任期満了となつたので、翼賛會では豫てからこれに改選のため後藤副總裁の手計で銓衡を怠りてゐたが、このほど新議員の指名委嘱に關する一切の手續の完了を見たので、十三日翼賛會より左の新議員の指名に當つては眞に國民總會の實を擧げたるため各地域を遍歴して戰時生活に挺身せる人々を廣く選拔することを主眼とし、國民の聲無き聲を聴くことに苦心したものである、新議員の制當は貴衆兩院關係三十名産業關係七十名、文化關係六十二名、地方協力會議關係五十三名地域基盤關係十五名の合計二百三十名で、従前に比し十名増加となつてゐる

- 中央協力會議員 (三十名)
 - △貴衆兩院關係 (三十名)
 - 井上三郎侯(前)、河井彌八(新)、黒木三次伯(新)、兒玉謙次(新)、二荒芳徳伯(新)、廣瀬久忠(前)、大河内正敏子(新)、材瀨直義(新)、大藏公望男(新)、古莊瀧次郎(新)、出井兵吉(新)、羽田武嗣郎(新)、上田孝吉(新)、眞鍋儀十(新)、川副隆(新)、森下國雄(新)、小山邦太郎(新)、森澤下國雄(新)、澤田利吉(新)、依光好秋(新)、田萬清臣(新)、北村又左衛門(新)、津時尙武(新)、黒澤西藏(新)、堤康次郎(新)、高野孫左衛門(新)、富田愛次郎(新)、檜橋渡(新)、永野護(新)、福田重清(新)
 - △産業關係 (七十名)
 - 荷見安(新)、中央農林倉庫理事長、小平權一(新)、中央農業會副會長、田中長茂(前)、農報常務、吉田正(新)、全國農業經濟會常務、青山憲三(前)、中央水産會會長、桑原重治(前)、造船統制會理事長、深尾淳二(新)、三菱重工名古屋發動機製作所長、佐久間一郎(新)、中島飛行機取締役、鈴木重康(前)、自動車統制會々長、津上退助(新)、津上安宅製作社長、渡邊義介(新)、鐵鋼統制會理事長、牧槍雄(新)、鑛山統制會理事長、貝島義之(新)、貝島炭礦社長、新井章治(新)、日發總裁、國吉省三(新)、宇部窒素重役、莊原和作(新)、三井化工取締役會會長、森川覺三(新)、本能率協管理理事長、大和田佛二(前)、日曹社長、土居章平(新)、商報中央本部長、岡野清豪(前)、三和銀行副頭取、宮田武太郎(前)、海報理事長、寺井久信(前)、日本郵船社長、片岡正郎(新)、陸運協力會理事長、金井章次(新)、前蒙古自治政府最高顧問、三輪壽壯(新)、産報企畫局長、三島誠也(新)、勞報理事長、暉峻義等(前)、勞働科學研究所長、河村恭輔(前)、防空協會常務、石田馨(新)、大日本警防協會理事、松井春生(前)、組防中央會顧問、加藤完治(前)、内原訓練所々長、種田虎雄(新)、鐵道軌道統制會理事、石原廣一郎(前)、石原産業海運取締役會會長、膳桂之助(前)、日本團體生命保險社長、泉豆(新)、青森縣農會技師、藤田成治(新)、秋本機械製作所々長、田中正助(新)、山形縣農會經濟更生委員、中澤孝磨(前)、毎日新聞社編輯總長、高橋雄(新)、讀賣新聞副社長、松本重治
 - △文化關係 (六十二名)
 - 川芳次郎(新)、京十二電社長、山田孝雄(前)、神宮皇學館大學長、鹿子木員信(新)、大日本言論報國會議事長、鹽入亮忠(新)、天台宗淺草寺執行、植村茂夫(新)、帝國軍人後援會副會長、小泉六一(前)、帝國在郷軍人會副會長、美土路昌一(前)、朝日新聞社常務取締役、高田元三郎(前)、毎日新聞社編輯總長、高橋雄(新)、讀賣新聞副社長、松本重治

(前同盟通信社海外局長)、小汀利得 (前 日本産業經濟新聞主筆)、御手洗辰雄(新、東京新聞論說委員長)、窪田寛(前、文藝春秋社長)、羽生隆(新、都一中校長)、長岡寛統(新高校長)、杉山謙治(新、早大教授)、鈴木京平(新、東京高等工藝校長)、辻二郎(新、理化化學研究所員)、八木秀次(前、東京工大學長)、高尾直三郎(新、日立製作所副社長)、瀨藤象西(新、東京帝大第二工學部長、中西不二夫(新、東大教授研究所長)、吉川英治(新、火野葦平(新)、山田耕祥(新、日本音楽文化協會副會長)、久富達夫(新、日本出版會理事長)、大谷竹次郎(前、松竹社長)、澁澤秀雄(前、東京寶塚劇場會長)、村山長一(新、大阪回生病院外科醫長)、遠藤清美(新、日本醫療團結核局長)、河合良成(新、日本造船組合聯合會長)、鹽澤達三(新、全國魚商組聯合協力會副會長、成澤伍一郎(新、同和奉公會會長野縣副本部長)、高田保馬(新、京大教授民族研究所、長奥むめお(新、日婦審議員)、鮎貝ひで(新、日婦理事)、朝比奈策太郎(前、大日新青少年團副團長)、挾間茂(前、調査研究聯盟理事長)、中下彌三郎(前、平凡社社長)、横山大觀(新、日本美術報國會々長、高木義人(新、宮城縣翼贊壯年團長)、伊藤知剛(新、大日本婦人會常務理事)、三嘴三郎(新、横濱市西前國民學校校長)、鹽田せつ(新)、千葉縣農會立家政女學校教諭)、菅原兵治(新、私立九州中學校校長)、稻富肇(新、茨城師範教諭、東野マサ(新、大分縣立中津高女教諭、波多腰ヤス(新、奈良女高師教諭)、齋藤尚雄(新、三重縣員辨郡醫師會長)

平野恒子(新、中村愛兒團長)、堀田一雄(新、名古屋醫大教授、湯淺大太郎(新、郡山市翼贊文化協會會長)、飯田幸雄(新、都城市翼贊團長、齋藤清子(新、日婦福岡支部長)、長主藤子(新、日婦福岡支部長)、桂ゆき(新、大阪市生活刷新指導委員)、岩田治子(新、山梨縣少年相談所主任)、多賀静代(新、廣島縣協力會議員)、龜井たか(新、東京都授産協理事)、長谷外余男(新、熱田神宮々司)、朝倉曉瑞(新、眞宗本派本願寺執行長)、松本幾代(新、日婦愛媛支部理事)、△地方協力會議關係(五十三名) 北海道安孫子孝次(前)、青森縣横山武夫(新)、秋田縣佐々木孝一郎(前)、岩手縣鈴木房之助(新)、宮城縣成瀬政男(新)、山形縣結城光三郎(新)、福島縣渡部又左衛門(新)、栃木縣矢部藤七(新)、茨城縣大内竹之助(前)、群馬縣黑澤武鏡(新)、埼玉縣今井忠太郎(新)、東京都三橋信三(前)、千葉縣根本利三郎(新)、神奈川縣栗原清一(新)、山梨縣萩野豐平(新)、新潟縣横山德治(新)、長野縣若林俊夫(新)、富山縣金岡又左衛門(新)、石川縣武谷甚太郎(前)、福井縣高島一郎(前)、靜岡縣永井保(新)、愛知縣井倉和雄(新)、岐阜縣栗野一雄(新)、三重縣大瀧九藏(新)、滋賀縣狩野新一(前)、京都府山上周吉(新)、奈良縣森田宇三郎(新)、大阪府春日弘(新)和歌山縣上澤永信(新)、兵庫縣箱木造酒夫(新)、廣島縣山本實一(新)、岡山縣北條武文(新)、山口縣依田明(新)、愛媛縣島谷章(前)、香川縣河西善太郎(新)、徳島縣林爲亮(新)、西喜太郎(新)、鳥取縣齋藤千高(新)、島根縣伊藤英一郎(新)、佐賀縣大渡熊次(前)、福岡縣宇賀田順三(新)、熊本縣佐山一雄(新)、長崎縣稻松志可太(前)、大分縣吉岡好太夫(新)、鹿兒島縣重義榮(新)、宮崎縣有馬美利前、沖繩縣護得久朝章(新)、樺太(未定)、横濱市和川文五郎(新)、名古屋市神田純一(新)、京都市北尾平兵衛(新)、大阪市鈴木太郎(新)、神戸市丹下良太郎(新) △地域基盤關係(十五名) 本庄英次(新)、北海道空知郡美瑛町長、八島孝二(新、宮城縣伊具郡耕野村長、樋口隆次郎(新、群馬縣新田郡太田町長、高木信吾(新、新潟縣三島郡關原町長)、伊東一(新、長野縣諏訪郡中州町長、小倉周六(新、金澤市下柿木島町内會長)、大藪導一郎(新、京都府乙訓郡大枝村長)、泉卯助(新、岡山縣川上郡富家村長)、刀彌哲夫(新、山口縣美禰郡翼贊團座村部落會長、横手鶴三郎(新、徳島縣那賀郡具能林村長、小川孝祐(新)、鳥根縣濱田市會議長、中原英(新)、熊本縣鹿本市大道村長、沖野慶生(新、鹿兒島縣川内市白和町内會長)、鈴木正一(新、靜岡縣磐田郡富岡村長)

委員會

生必需品配給整備委員會新設【四日】 翼贊會では統後國民生活の確保強化を圖るため、同政務調査會に生活必需品の配給整備に關する特別委員會を設置することとなり、四日の常任總務會、總務會に諮り、その方針、要領、委員會の構成を決定した、委員長には太田正孝、副委員長には上田孝吉、眞鍋儀十の兩氏並に委員は貴、衆兩院議員、各界から約六十名をあげ、急速に成案を得て適切な措置を講ずることとなつた

興亞運動

高橋、大川兩氏を華北華中へ

【三日】 今夏新京に於て開催された第二回日滿華興亞團體聯合に於て三國興亞團體の提携協力を促進し併せて興亞運動の積極的展開を圖るため三國相互の興亞使節交換を決定したが、その第一使節として戰爭二周年記念を中心に日本から華北華中へ左の二氏を派遣、各地主要都市で興亞大講演會を開催せしめ、また滿洲國に對しても近く使節を決定派遣することとなつた

興亞總部顧問海軍大將 高橋三吉氏、華北軍區 興亞總部協力會議員 法學博士大川周明氏、華中へ

日滿華三國興亞運動首腦者會議

【九日】 アジア十億の力強い興亞運動實踐具體策の確立を圖る日滿華三國興亞運動首腦者會議は、九日福岡市博多ホテルにおいて開催され、この日各代表は宮崎神宮に參拜後、藤江西部軍司令官、吉田福岡

縣知事畑山福岡市長をそれぞれ訪問挨拶をなし午前十一時開會、先づ國民儀禮の後司會者滿洲國中央本部藤原總務部長起つて會議開催の趣旨並にその目的を述べ、更に大東亞共同宣言の具現化は我等興亞運動指導者の責任である旨の挨拶を行ひ、大東亞省松井調査官から大東亞會議の模様について詳細なる報告があつて懇談に入り

△大東亞共同宣言に對するその後の三國の措置並に民心の動向
△大東亞共同宣言を具體化すべく展開する興亞運動の方針
△三國興亞運動の協力方針

の三問題を中心とし質疑應答の形を以て極めて自由とし質疑應答の形を一旦休憩、午後一時半再開、午前引續き討議を續けた

【十日】 十日午前九時より開會、第一日の懇談の結果に基き更に一步を進めこれが具體化につき大東亞民族の情熱を吐露活潑な懇談を續行した結果

○興亞運動今後の方向は大東亞共同宣言にもつきその具體化をはかる
○そのため宣言五原則の一つ一つについて具體的實踐方針を定め各團體相協力して強力なる運動展開をはかる
○運動展開に當つては各國の特殊性に即應した方策の樹立が必要である
○しかし各國の行動をとることは不可なるもつてこの際ならんかの組織により各團體の連繫を固め總力結集體制の確立が必要である
○これと同時に國內運動體制の整備を必要とし、殊に青少年運動の推進力として綜合體制を整備する必要がある

以上の五點につき結論に到達かくて

正午一旦休憩の後大東亞宣言を基調とする三國國民運動の清新なる實踐方策並にその強靱なる協力對策十更に大東亞會議を包含するアジア、億民族の一大民族運動を飛躍せしめる新方策につき協議を行ひ、次いで第三回大會を來年秋頃南京において開催することに決定、午後五時半散會した

【十日】日滿華三國興亞運動團體の總力結集態勢を急速に整備することは豫て各國團體から要望されてゐたが今次日滿華興亞團體首腦者會談においてこれが最後の結論に到達し興亞運動協業委員會設置要綱の決定を見た同委員會は大東亞共同宣言に基く具體的運動方策の樹立と大東亞各地域における興亞總力態勢の確立を目的とし、差當り大政翼賛會、大東亞聯盟中國總會、中華國民新民會並に新國體運動促進委員會(南京)の五團體をもつて構成、毎年一回定時會議を開き又必要に応じて臨時會議を開催、その他緊密な連絡の下に興亞運動の相互提携と連絡促進を圖るが、委員會事務は東京に置くこととし興亞總本部が幹事役となつて明年三月頃までには設置を完了する見込で、幹事長委員は本年中に各國から設立幹事役に報告することとなつてゐる

翼賛壯年十團

新總務十氏決定

【十一日】翼賛中央本部では過般の改組を契機として全國一體的組織を促進し併せて戦局の現段階に即應すべき翼壯團活動の強力な展開を圖るため、總務制の復活を決定すると共に機能發揮の建前から新總務陣容には各地方團長の中から選任してこれに充てることになり豫てから藤井本部長の手許で人選中であつたが十一日左の如く發令された

第二回興亞協力會議

【二十二日】大政翼賛會興亞總本部主催の第二回興亞協力會議は二十二日午後一時から本部會議室に於て開催本部側からは水野統理、宮田本部長以下各局部長、議員側からは一條實孝公、井田磐楠男、遠藤柳作氏外約三十名出席定期國民儀禮と共に開會

翼壯人事

大日本翼賛壯年團總務を命ず(各通)

- 岩手縣團長 田村 丕顯
埼玉縣團長 渡邊 金造
千葉縣團長 矢野 機
山梨縣團長 名取 忠彦
新潟縣團長 篠原誠一郎
愛知縣團長 坂井德太郎
京都府團長 大橋 理祐
廣島縣團長 吉澤 忠男
愛媛縣團長 關家 清
大分縣團長 柏原 幸一

外地地方

【一日】朝鮮、臺灣兩總督府機構改革
朝鮮、臺灣兩總督府機構改革は去る廿六日の閣議で決定、上奏御裁可を仰ぎ十二月一日官報をもつて公布即日實施された、今回の行政機構改革は中央に於ける軍需省、農商省、運輸通信省の新設に呼應し兩外地の軍需物資増産、海陸輸送一元化、食糧確保を中心とする國民生活の確保等を目的として行政運営の徹底的簡素化をはかつた外地統治上畫期的な改革であり、決戦下内外地を通ずる行政各部面の一貫性を強化したものである、而して朝鮮においては總督府機構として新に鑛工、交通、農商三局を設置、これに伴ひ總務、司法、殖産、農林、鐵道、專賣の六局を廢止し從來の十

局(外局三局を含む)制を八局制とし、地方機構にあつては總督府所管行政の可及的の地方廳委を目的として特別地方官廳の徹底的の地方廳統合を斷行、稅務監督局、土木出張所、營林署等を廢止、これが事務を道に移管して道には財務部を新設するほか、産業部を鑛工部に、食糧部を農商部に改組してゐる、また臺灣總督府においては朝鮮と同趣旨にもつき鑛工、農商兩局を新設するほか、從來の交通局に海運および港灣事務を所管せしめ、これにより總務、國土殖産、食糧の四局を廢止、從來の九局(外局二局を含む)二部制は七局二部制となつたわけである、なほ兩總督府とも課の廢合は全面的に行はれ各局の新機構は大要次の如く構成される

朝鮮總督府
官房 一室七課(秘書官室、人事會計、情報、監察、調査、文書、地方)
鑛工局 九課(土木、勞務、企畫、鑛山、鐵鋼、燃料、電氣、輕金屬化學、林産)
農商局 六課(商務、糧政、農業、資料、耕地、水産、農務)
國務局 六課(稅務、司計、理財、管理、專賣第一、專賣第二)
學務局 四課(學務、鍊成、編修、社會)
法務局 三課(總務、刑事、民事)
警務局 五課(警務、警備、經濟警察、保安、衛生)
地方交通局 地方鐵道局を基幹として稅關、海事署を統合す
△臺灣總督府
官房 二室四課(秘書官室、人事、文書、情報、審議室、地方監査)

【十四日】朝鮮に於ける裁判手續簡素化の爲の國防保安法及治安維持法の戰時特例に關する法律案要綱は内務省提出法律案となるが、その目的とするところは朝鮮においても決戦態勢に即應し、銃後治安の確保と司法運用の敏速なる處理をはかるため内地と同様に、刑事手續を二審制とするに於て、これまで朝鮮に施行されてゐる國防保安法、治安維持法は三審制を許容してをり、この條文に關し、制令は法律を排除し得ない建前にあるので、今回新に前記制令によつて訴訟手續を二審制となすに伴ひ特に單行法律を制定して法律および制令の抵觸を調整せんとしたものである

人事異動
臺灣總督府
總務局長 森部 隆
鑛工局長 (一) 須田 一三
殖産局長 花蓮港廳長 稻田 穰

【八日】大日本産業報國會總務局長長谷川透氏は中央本部の機構改革に先立ち八日總務局長を辭任した、なほ常務理事の現職は留任する
長谷川透氏を命ず
山口縣翼壯團長を命ず
光市翼壯團長 磯部 貞次
山口縣支部事務局長を命ず
産 報

【十一日】
山口縣翼壯團長を命ず
△十四日
光市翼壯團長 磯部 貞次
山口縣支部事務局長を命ず

交通局書記官(鐵道部總務課長)

任花連港運長(三)

交通局長書記官(鐵道部運輸課長)

任港務局長(三)(基隆)

朝鮮總督府

總務局長

任鐵工局長(一)

農林局長

任農商局長(二)

鐵道局理事(總務課長)

任交通局長(二)

咸鏡南道知事

任江原道知事(二)

任咸鏡南道知事(二)

命釜山地方交通局長(二)

咸興地方交通局長

命咸興地方交通局長(二)

京城地方交通局長

命京城地方交通局長(二)

地方 第六回地方行政協議會會長會議

【廿三日】戦力の急速なる

増強を中心として廿二日開かれた臨時地方長官會議に引續き各地方の綜合總力を發揚し決戦施策の円滑機動的なる實施の方途を協議すべき全國地方行政協議會會長會議は廿三日午後二時から首相官邸に開催、大連關東地方行政協議會會長をはじめ各協議會長並に各參事官、政府側東條首相は

か各關係、内閣三長官及び内務次官等出席先づ東條首相挨拶の後戦力増強食糧増産を中心とする當面の諸問題に關し種々懇談を遂げたが、今回協議會會長會議は廿二日の地方長官會議で各方面から論議せられた諸問題をさらに重點的に採り上げたものが速かなる實施を期したもので會議における中心的諸問題は軍需増強に關しては

○軍需管理部門と地方長官との關係 ○技術者の效率的動員 ○返り材の活用 ○統制會產業設備營團等の運用 ○中央權限の地方委讓 ○防空疎開問題 ○木造船増産 ○食糧問題については ○増産の諸方策 ○供出と配給 ○價格問題 ○薪炭その他燃料問題 等であり論議は集中的に問題の所在追求に注がれ多大の成果を収めて午後六時二十分散會した、右に關して情報局より左の如く發表された

△情報局發表表(十二月二十三日) 本月の地方行政協議會會議は本日午後二時より内閣總理大臣官舎に於て東條内閣總理大臣各大臣、内閣書記官長、法制局長官、情報局總裁列席の下に開催せられ、當面の諸問題に付隔意なき懇談を遂げ午後六時二十分散會せり

關する件 第二項を議題に協議後懇談に入り、第二次食糧増産緊急對策、土地改良事業の進捗状況及び木造船建造促進等に就き意見の交換を遂げ、同四時半散會した

【十六日】 東京都明年度豫算案を審議すべき都議會通常會は十六日附都公報を以て會期を一ヶ月とし来る三十日召集の旨告示されたが、明年度豫算案の内容は次の如くである (單位千圓)

一般會計 五二四、一六五 二八〇、一一一 特別會計 八〇四、二八六

【廿三日】 都市疎開實施方策協議會【廿三日】 第六回定例地方參事官會議は地方行政協議會會長會議に先立ち廿三日午前九時より内相官邸に開催、内務省側、

吉澤次官、新居地方、町村警保、上田防空總本部、總務各局長、地方參事官側、相馬關東地方參事官以下九地地方參事官出席、前日の臨時地方長官會議における成果にもとづき地方行政協議會としての運営方針を中心に當面の問題につき懇談ののち、上田防空總本部總務局長より去る廿一日の閣議において決定せる都市疎開實施要綱につき説明、特に協議會として疎開實施に關する協力を要請して懇談、同十時散會した、續いて地方參事官一同は首相官邸において地方行政協議會長とともに藤原行政巡察使より巡察結果にもとづき行政運営の方向につき講演を聴取した

【二十二日】 軍需生産の急速増強を要請される決戦下、經濟産業都市としての大阪府における警察行政は頗る重要性を加へ來つた現狀にかんがみ、内務省では大阪府警察部の機構を擴充強化して、警察局を設置することとなり、これが地方官官制の改正は去る十七日の閣議において決定せられたので上奏御裁可を経て二十一日公布、即日實施した、新設の大阪府警察局は、我が國警察執行行政上警視廳に次ぐ重要な機構を備へ、局長は勅任とし、そのもとに奏任部長を長とする警務部、治安部の二部を置くが、警察局長が、府知事の指揮監督下にあることは、他の府縣警察部と變りがない、從つて警察局長は、當然府各部長と併立の地位にあり、官制上は、大阪府に局長一名、部長一名が設置されたわけである、新設大阪府警察局の機構左の如し

一、大阪府に警察部に代へ警察局を置き、警察局長は勅任とす

一、警察部に二部を置き左の事務を分掌せしむ

一、戰時態勢強化關係 三、五八四

一、商工業戰時對策關係 四、〇二二

一、清掃關係 五、一七〇

一、養育院關係 六、五

一、電氣研究所 三、六

一、公園關係 二、四九一

一、運輸關係 二、三三六

一、水道關係 一、三、〇八五

一、衛生關係 二、九六〇

一、食糧供給確保及増産對策關係 三、五八四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

一、一、〇四四

△治安部(特別高等警察および外事警察に關する事項)△刑事に關する事項△經濟統制に伴ふ警察に關する事項△石油の消費規正に關する事項以上の上の二部長は大坂府部長(秦任)をもつて之れに充つ

三、警察局長は知事の命を受け警察局長の事務を掌理し部下の官吏を指揮監督す、部長は上官の命を受け所部の事務を掌理し、部下の官吏を指揮監督す、又警察局長および警察局長に屬する部長は警察事務の執行に關し上官の命を受け地方警視、警部、警部補および巡査を指揮監督す

右に伴ふ人事異動を廿二日次の如く發令した

大坂府警察部長 大坪 保雄
内務書記官 永野 俊雄
任大坂府警察局長(一)
任大坂府警察局長(二)
任大坂府警察局長(三)
任大坂府警察局長(四)
任大坂府警察局長(五)
任大坂府警察局長(六)
任大坂府警察局長(七)
任大坂府警察局長(八)
任大坂府警察局長(九)
任大坂府警察局長(十)
任大坂府警察局長(十一)
任大坂府警察局長(十二)
任大坂府警察局長(十三)
任大坂府警察局長(十四)
任大坂府警察局長(十五)
任大坂府警察局長(十六)
任大坂府警察局長(十七)
任大坂府警察局長(十八)
任大坂府警察局長(十九)
任大坂府警察局長(二十)

【廿一日】現情勢下に於ける國政運警要綱の趣旨に基き政府が九月廿一日國內防衛態勢強化方針を闡明して以來、帝都並に重要都市につき強力なる防空都市の構成を目的として、防空總本部が中心となり都市疎開の實施具體方策を鋭意研究中であつたが愈々防空法施行令の制定準備も完了したので、防空法の中核をなすべき都市疎開の遂行に關し一億國民に明確なる方向を示し、その協力を要すべく廿一日の閣議において都市疎開實施要綱を決定、午後三時情報

局よりこれが内容を發表した
△情報局發表(十二月廿一日午後三時)
都市疎開實施要綱
第一 方針
九月廿一日閣議決定「現情勢下に於ける國政運警要綱」の趣旨に基き帝都其の他の重要都市に付強力なる防空都市を構成する如く人員、施設及建築物の疎開を實施す

第二 要綱
一、疎開區域 疎開區域は京濱、阪神、名古屋及北九州地域に屬する左の重要都市とす
京濱地域 東京都區部、横濱市、川崎市
阪神地域 大坂市、神戸市、尼崎市
名古屋地域 名古屋市
北九州地域 門司市、小倉市、戸畑市、若松市、八幡市

前項の區域外に於ては情況に依り必要と認むる都市に於ては疎開の勸奨建築物の除却を行ふ

二、人員の疎開
① 疎開せしむべき人員 疎開せしむべき人員は建築物の疎開又は施設の疎開に伴ふ者の外左に掲ぐる者及び其の家族とす、但し特に疎開區域内に居住するを必要とする者を除く、
② 疎開區域外に職場を有する者
③ 企業業務等に依り轉業する者
④ 其の他疎開區域内に居住する要の妙き者
適當なる時期に疎開人員に關する實情調査を實施す

三、施設の疎開
① 人員の疎開は原則として、
② 疎開に成る可く世帯單位の地方轉出を圖る等家族主義の精神に悖らざる如く、
③ 人員の轉出先は疎開區域及軍事上の重要都市の地域を避くる如くす

④ 移轉獎勵金の交付 左に掲ぐるものに對し世帯獎勵金を交付す、
⑤ 都市民税一定額以下の者及都市民税免除者、
⑥ 入營應召軍人の遺家族、
⑦ 其の他必要と認むる者
三、施設の疎開
① 左に掲ぐるものの施設又は事業に關し統合整理又は地方移轉等の計畫を樹立實施す、
② 學校、
③ 公共團體、
④ 各種外廓團體、
⑤ 各種統制機關、
⑥ 會社、工場等
⑦ 疎開區域内に於ては店舗、工場等の疎開に資する如く企業整備を特に強化促進す

四、建築物の疎開
① 都市疎開事業として左に掲ぐる地區内の建築物を除却す、
② 疎開空地、
③ 重要施設疎開空地、
④ 交通疎開空地、
⑤ 疎開小空地
⑥ 建築物の除却は防空法第五條ノ六に依る測量、評價、除却等の施行は徹底したる戰時的方式に依る
⑦ 建築物の除却に因り移轉する人員に能ふ限り疎開區域外に轉出せしむ、
⑧ 移轉者に對しては防空法第十二條の二に依り移轉費を支給す
⑨ 除却建築物の古材等の利用は之を統制す
⑩ 交付すべき補償金等に付ては之を浮動化防止の措置を講ず

五、輸送に關する措置
① 疎開に關する輸送は鐵道及自動車運送、其の他の小運搬荷造作業等を通じ統一的に處理し得る如く措置す

② 疎開輸送を迅速且圓滑ならしめ、
③ 各種資材の確保を圖り之が配分を圖るに於て前項の統一的輸送に適合する如く措置す
④ 荷造所要資材に關しは極力成品の利用を圖り且之が回收を強力に實施す
⑤ 運賃、料金其の他諸費用に關する特別取扱を行ふと共に其の簡明質單純化を圖る
⑥ 荷造及小運搬の勞務に關しては極力剩餘勞力を動員する等の措置を講ず

六、移轉先の家屋の斡旋供給其の他の便宜供與
① 移轉先の家屋に付ては各自の縁故先に之を求むるの外家屋空間の提供、
② 斡旋及店舗等の住宅化を強力に實施す
③ 移轉先に於ける轉就職の斡旋又は轉入學の特別取扱、
④ 土地家屋家材の受託管理又は買賣斡旋等に關しては極力便宜供與の措置を講ず
⑤ 其の他疎開に伴ふ措置

七、其の他疎開に關する措置
① 建築規制區域は疎開區域とし、
② 防空法第五條の五第一項に依り指定す、
③ 建築規制區域内の建築は原則として之を禁止す
④ 轉入の規制
① 轉入の規制區域は疎開區域とし、
② 防空法第五條の九に依り指定す、
③ 轉入の規制は轉入を必要とする證明書の發給又は地方長官の許可に依り之を行ふ、
④ 業務の場所の新設及轉入は極力抑制す

八、建築物の利用統制
建築物の除却に伴ふ人員にして疎開區域内に居住を要するものに對し住居を確保する等の目的を以て疎開區域内に於て建築物の利用統制を行ふ

【廿四日】去る廿一日の閣議における都市疎開實施準備の決定に伴ひ都市疎開は愈々具體的實施期を迎へたので防空總本部では廿三日右實施要綱にもとづき疎開區域都府縣知事に對しては實施準備の開始について、また全國府縣知事に對しては疎開實施に關する協力要請についてそれぞれ通牒を發したが、同本部では廿四日午前十時より内務省會議室において疎開區域第一回實施打合せを開催上田總務局長、川上疎開課長より實施要綱にもとづき具體的方策を説明、直ちに着手すべき事業として疎開指導部の開設、疎開區域人員の調査並に對象人員に對する勸奨方法等につき指示、種々協議を遂げた、尙同本部では廿七日には名古屋、福岡、廿八日には大坂において關係區域の打合せを開き急速に實施準備に着手、新年早々から具體的の事業に乗出す等まづ第一に着手すべき疎開の對象は人員に對する勸奨であり、これが方法として宣傳指導をはじめ隣組常會、各種團體その他あらゆる機關を動員することとなり、これに要する勸奨費、指導費、事務費等は第二撥備金より支出する

都廳府縣の戰時執務態勢 確立

【二十四日】 決戦行政確立に伴ふ中央権限の地方廳委譲に即應し、内務省では都廳府縣の行政についても徹底的にこれを再検討し、地方中間機關より市町村行政の末端に至るまで事務の敏速化をはかるべく、十月十九日閣議決定の地方行政機構の整備強化措置要綱にもとづき都廳府縣をしてその権限の積極的移譲を断行せしむることとなり、廿四日内務次官通牒をもつて全國地方長官に對し、都廳府縣における戰時執務態勢の確立方針を通過した、而して右地方行政執務態勢の中核をなすものは、

- 一、地方事務所その他中間行政機關および市町村等に對する権限の積極的移譲
- 一、所屬職員、殊に地方事務所その他中間行政機關の職員を整備および訓練指導
- 一、市町村等に對する許可、認可、稟議、報告等の徹底的整理改廢
- 一、事務處理方法の敏速適確化等の措置であつて、今後各都廳府縣はこの線に沿つて適切な第一線地方行政の決戦化を具體化することとなつた

都市計畫行政に戰時特例

【十四日】 内務省では官廳事務の策定並に民間に對する各種制限緩和の見地から

- 一、都市計畫法および同法施行令戰時特例案
- 一、都市計畫委員會官制戰時特例案
- 一、二勅令案並に

一、市街地建築物法戰時特例に關する關係勅令および省令の一部停止又は改正

を實施することとなり、四月の閣議で決定したので、いづれも年内に公布施行することとなつた

△都市計畫行政の戰時特例

戰時下における都市計畫の簡素化をはかり、同時に軍事、防空、生産増強に國土計畫ないし、地方計畫を合致せしめるため現行法令の全面的簡素迅速化を期し、内務大臣認可等五件の省令、國權權十三件の地方長官委譲をはじめ、都市計畫委員會構成法の三分の一ないし二分の一縮減空法による一元制制限統制などが行はれることとなつた、概要左の如し

一、現下の都市計畫は従来の都市膨脹政策の計畫より全く變貌し、國土計畫乃至地方計畫の見地に基き軍需都市の整備、新興軍需工業都市の造成又は過大都市の疎開等専ら軍事防空、生産増強に力を注ぎつつあるが、現行法令に於ては手續が極めて煩雜に過ぎる嫌ひがあるので之が簡素迅速化を圖り都市計畫をして積極的の戰時目的に寄與せしむる必要がある、因つて今回都市計畫又は都市計畫事業を内務大臣が決定する場合に於ける内閣の認可、土地畫整理の設計を地方長官が認可、する場合に於ける内務大臣の認可等五件を省略し、又受益者負擔を課し公共團體に土地畫整理の施行を命ずる等の内務大臣の職權十三件を地方長官に委譲することとした

一、右に關聯して都市計畫委員會の組織も現在餘りに膨大に過ぎ戰時下の實情に即せぬものがあるので、官

廳側並に民間側の委員を夫々必要限度に縮減すると共に任免に關する職權を地方長官に委譲し且つ常務委員會の簡素強力なものとして一層其の活用を圖ることとした

一、次に都市計畫關係法令は其の性質上土地に關する一般の私權を制限する場合が多く、戰時下緊要なる軍需工場勞務者住宅等の急速なる建築に支障を生ずる虞もある爲戰時都市計畫の遂行上差支へなき限り戰時中これを停止することとした、即ち都市計畫として決定した公園、綠地、廣場及土地畫整理の區域内並に風致地區として内務大臣の指定した地區内に於て建築其他の行爲を爲すときは地方長官の許可を要することとなつて居るが、戰時中之を停止することとしたのである、固より都市計畫事業として決定せられ具體的な事業を執行すべき豫定の土地に付ては従前通りの制限があり又大都市に於て防空上空地を保留する必要あるときは防空法に依つて一元制に制限する所存である、仍風致地區に付ては戰時下と雖も出来るだけ國土の景觀を保持するの要あること言ふを俟たぬのであるが、法規を以て制限することは木材供出等の手續を往らに煩雜する虞がある爲法規は一時之を停止し國民一般の國土愛護の觀念に俟つこととしたのである

△市街地建築物法戰時特例

官廳事務の簡素化をはかるとともに戦力増強上特に緊要なる重要工場等の建設を迅速化せしめるため煩瑣な手續を簡略化し市街地建築物法中支障のない條項を一時停止せんとするもので、これが關係勅令および省令の一部を停止又は改正することとなつた、即ち建築資材の不足、工場の規制その他各種統制に制約されて、近時の建築は生産増強上の必要に迫られるものであつても種々の支障を來してゐる、よつてこの際戦力増強の見地から生産増強に緊要の建築に限り各種の制限を撤廢又は緩和し、同時に關係許可認可の整理を断行せんとすることとする、しかし本措置は建築を單に無統制状態に放任するものではな、戰時規格を獎勵するとともに、建築指導要領を制定して一般の基準を示し、戰時下における弾力性ある指導を適時適切に實施することを目的としてゐる、特例の概要左の如し

- 一、地域制の緩和
 - 住宅地域、商業地域、工業地域、住居專用地區、工業地域内特別地區の制限を撤廢する(市街地建築物法第二條第一項第三條第四條第一項市街地建築物施行令第一條乃至第三條の二乃至第三條の六)
 - 二、建築物の高に關する制限の撤廢
 - 地域別に依る高建築物の構造別に依る高、前面道路に依る高の制限の撤廢する(市街地建築物法施行令第四條乃至第十三條市街地建築物法施行規則第六條)
 - 三、建築物の構造設備に關する制限の撤廢
 - 主として市街地建築物法施行規則に規定せられてゐるのであつて一般構造設備(屋根算)に關する規定を除く(市街地建築物法施行規則第七條乃至第二十六條第二十八條第二十九條第三十條乃至第五十五條)
 - 四、美觀地區に關する制限の撤廢

(市街地建築物法施行規則第三百三十六條乃至第四百二十二條)

五、工事執行に關する規定の一部撤廢

建築認可證建築物使用認可證の交付を省略す(市街地建築物法施行規則第四十五條第四十七條)

六、特殊建築物に關する制限の撤廢

特殊建築物規則特殊建築物耐火構造規則を停止する

地方部長異動

- △二十四日 陸軍司政官 奥田 信雄
- 任岩手縣部長(四) 楠總濟部長
- △二十七日 京都府地方事務官 越村安太郎
- 任和歌山縣官房長 海軍司政官 海保 良夫
- 任青森縣警察部長(四)

市長異動

- 鳥取市長【廿日】鳥取市井上光美氏の任期満了に伴ふ、後任市長は同市の推薦に基き吉村哲三(元佐賀、青森兩縣知事、復興局部長)氏が二十日内務省より任命された
- 田川市長【廿八日】福岡縣田川市は十一月三日市制が施行されたが、初代市長には林田春次郎氏(前伊田町々長)が決定、廿八日附を以て内務省より任命發令された

第八十四通常議會

議會成立

【廿四日】第八十四通常議會は二十四日成立を告げ、この旨政府に通告されたので政府は直ちに上奏同日午後官報號外を以て二十六日議會を再會する旨の詔書が公布された

貴衆兩院議員現狀【廿三日】第八十四通常議會の召集に應ずべき貴、衆兩院の現有勢力並にその分野は左の如くである

【貴族院】皇族方十六名をはじめ、
 △研究會 一六四△同成會 二五△公正會六八 △交友俱樂部 二八△同和會 二九△火曜會 四四△無所屬俱樂部 三〇△純無所屬 九△計四一三名

【衆議院】△定員 四六六△現員 四五二△缺員 一五、△なほ議員中には應召議員七名を含んでをり、現在員四五一名中翼政會所屬四四〇名無所屬一名である

優渥なる開院の勅語を賜ふ

【廿六日】大東亜の總力を決勝完遂の一點に凝集すべき第八十四帝國議會開院式は廿六日 天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り、貴族院本會議場に於て嚴かに舉行され、畏くも 天皇陛下には貴衆兩院議員に對し優渥なる勅語を賜つた

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
 朕カ外征ノ師ハ懸軍萬里近寒ヲ凌キ

炎熱ヲ冒シ勇戰奮闘愈々其ノ威武ヲ發揚シ

朕カ統後ノ臣民亦克ク艱苦ニ堪ヘ生産ニ勤メ齊シク奉公ノ誠ヲ致セリ而シテ帝國ト友邦トノ盟約ハ益々固キヲ加ヘ興亞ノ大業日ヲ逐ヒテ進ム朕深ク之ヲ悅ブ今ヤ彼我ノ攻防愈々急ニシテ戰局最モ重大ナリ宜シク億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ敵國ノ非望ヲ粉碎スヘシ朕ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十九年度及臨時軍事費ノ豫算案ヲ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ニ提出セシム卿等能ク朕カ意ヲ體シ和衷襄議以テ協贊ノ任ヲ盡サムコトヲ望ム

重ねて兩院に優渥なる勅語 【廿七日】松平、岡田貴衆兩院議長は廿七日午前十一時相前後して宮中に參内風風の間にて 天皇陛下に拜謁仰付けられ、廿六日の開院式に賜られたる優渥なる勅語に對する奉答文を夫々恭しく陛下に捧呈 これに對し畏々天皇陛下には重ねて優渥なる勅語を賜り、兩議長はと恐懼感激して御前を退下、その旨兩院の本會議に謹んで報告した

兩院本會議

貴族院【廿七日】は午前十時四分開會二十六日の開院式に賜つた勅語に對する奉答文案を上げ、松平議長勅語奉答文案を朗讀、總理起立裡に之を可決、次いで日程に入り、全院委

員長の選舉を行つた結果、徳川固順公(火曜)が當選、續いて常任委員選舉のため同十時卅一分一旦休憩、同十時五十三分再開、東條兼攝陸相發言を求めて登壇、陸軍關係状況の報告あり、次いで島田海相より海軍關係状況を説明次いで常任委員選舉の結果につき報告あつて同十一時四十四分休憩、午後二時三分再開、松平議長より勅語奉答文案の願末を報告すると共に、重ねて優渥なる勅語を賜りたる旨を報告、次いで日程を追加して

一、陸海軍に對する感謝決議案を上げ、發議者を代表して徳川家正公(火曜)より提案理由を説明、全會一致を以て可決、東條兼攝陸相、島田海相より夫々陸海軍を代表して謝辭を述べ、茲に年内議事を滞りなく終了、同二時廿二分散會、一方

△貴族院皇軍感謝決議 大東亜戰爭勃發以來茲に二年餘帝國陸海軍は東亞大陸より南北太平洋印度洋に及び雄偉なる作陣を展開して曠古の大捷を博し帝國の威武を中外に赫耀せり然るに敵は頹勢を挽回せる攻防今や陸海空に亘りて愈々熾烈を極む皇軍將兵は大殺敵の下士氣奮滅せざんば止まざらんとなす統後國民亦必勝の信念に頼り全力を擧げて生産の増強に従事す貴族院は爰に帝國陸海軍の戦功を頌し其の武運を祈ると共に忠烈殉難の英靈に對して深敬弔情の忱を效し傷病兵諸士に對して厚く同情の誠を表現す

衆議院【廿六日】開院式終了後特別會議を拓いて午前十一時四十分より本會議を開會、岡田議長より開院式に當

對し議員一同を代表して佐藤洋之助氏(茨城)より哀悼の意を表し、これにて年内議事を滞りなく議了し、同四時四十七分散會

衆議院感謝決議

米英撃滅の帝國陸海軍は萬難を排し、年忠烈なる聖戰起つてより茲に二周に於て男戰奮闘能く曠古の大戦果を收め皇威を八紘に宣揚す而して大東亜の建設者しく進み其の結束固きを加ふるに方り敵米英は焦躁に禁へず熾烈なる總反攻を企てて帝國の周邊に迫らむとす我陸海軍は或は支那大陸、ニューギニア、ソロモン諸島等に執拗なる勁敵を擊攘掃滅し或はブーゲンビル島、ギルバート諸島沖等數次の海空戦に強力なる敵艦隊を猛襲撃して悉く其の野望を粉碎す洵に皇軍の守備愈々堅く進攻倍々鋭く廣袤數萬里陸に海に空に敵の覬覦を許さず儼乎たる邊疆の鎮護牢乎たる本土の備陣は帷帳の神態と相應る相應じて備に聖戰完遂に邁進す是れ固より 御稜威の下我が陸海軍將兵至誠盡忠の武勳に頼るものにして全國民の感謝感激措く能はざる所なり皇國の隆替東亞の興廢繫りて今後の決戦に在るを念ひ一億國民奮然蹶起鐵火の一九と作り戦力の急速増強に挺身し以て皇軍匪躬の誠志に應へ速に 天業を達成せむことを誓ふ

衆議院は特に院議を以て帝國陸海軍の偉勳に對し深甚感謝の意を致し併せて忠肝義膽鬼神を哭かしむる南溟玉碎の勇士を初め幾多崇高なる英靈に對し誠懇敬弔の忱を表す 右決議す

戦況報告

陸相報告

前回本議場において報告した以後における陸軍の戦況はこれを大観すると敵の反攻は愈々本格化し各所に深刻苛烈なる戦闘が惹起されてゐるのであつて局地的戦闘においては多少の波瀾があるが海軍と緊密なる協力の下既得の我が全敵の戦術態勢は儼としてこれを確保し我が第一線の將兵は愈々澁れたる英氣を以て随所に敵の反攻を邀へてその人的物的戦力の撃砕を圖り一意戦争目的の完遂に邁進しつゝあるのである、以下其の状況に就て報告致し度い

第一に西南太平洋方面 本正面においては十月以降敵の本格的反攻を邀へ我が海陸軍部隊は隨所にこれに痛撃を與へてゐるのであるが陸軍としては目下ソロモン群島、ビスマルク諸島、東部ニューギニアの三方面に激戦を交へてゐるのである、即ちソロモン群島方面においては敵は先づ一部隊を十月二十七日モノ島に上陸せしめ、次で十一月一日有力なる部隊を以て艦艇及航空の掩護の下にブーゲンビル島西岸トロキナ附近に上陸を開始したのである、該方面陸軍部隊はジャンゲル、濕地の連亘する岬々たる山岳地帯を踏破してこれを攻撃すると共に、海軍の積極果敢な協力の下艦艇に依り一部隊をして敵の背後に上陸攻撃せしめ、局所においては敵に殲滅的打撃を與へたのであるが、敵は逐次兵力を増加し目下戦闘續行中である

我が東方地区に上陸して來たが所在の我が地上部隊は直にこれに反撃を加へると共に陸軍航空部隊亦海軍航空部隊に協力してこれを攻撃し目下激戦展開中である、現在迄に判明せる本正面の戦果は陸軍部隊に依り撃沈した敵の艦船六隻、舟艇一〇〇隻以上、撃墜した敵機少くも二十機である、又ラバウル方面に對しては十月下旬以降敵は戦術連合の航空部隊を以て攻撃し來りつゝあるのであるが同方面の陸軍部隊は海軍と協同して防空戦闘に任じてゐるのであつて十月下旬以降陸軍部隊に依る敵機の撃墜数は約一五〇機に昇つてゐる、次に東部ニューギニア方面においては前同既に報告した通り、九月下旬にインシハーヘン附近に上陸した敵に對し直ちに攻撃を開始したのであるが同方面の我が部隊は十月中旬末、該方面の敵陣地を突破分斷し特に一部を以て敵背後に上陸を執行せしめ敵を斃すこと約三千名、破壊齒獲の火砲十數門等の戦果を収めたのである、然るに敵は其の後急速に兵力を増強し其の一部は我が側背に上陸し來り今や全く補給戰の様相を呈してゐるのである、申す迄もなく該方面の後方輸送は盡く海上輸送に依らねばならぬ關係にあるが、我が海上輸送部隊は小舟艇類を以てダンピール海峡に利用し隱蔽輸送に交戦しつゝ次第であつて、十月下旬以降敵魚雷艇約廿隻を撃沈してゐる、當方面における我が航空部隊は或は遠く敵の航空基地を攻撃し、或は近く我が地上部隊の戦闘に協力し特に敵航空機及び潜水艦に對し我が海上輸送の護衛に日夜不斷の努力を傾注してゐる

次第であるが、十月下旬以後本方面において收めたる戦果は撃墜破約三百五十機、我が損害約三十機である第二に濠洲西北方面においては敵は鋭意我が作戦準備を妨害する一方その反攻準備促進に努めつゝあるのであつて、十月下旬以降毎月延約五〇〇機を以て絶えず我が基地の攻撃特であるが、この方面の陸軍航空部隊は常時不斷の航空作戦に任じて船舶の護衛中對潜水艦警戒等には眞に寧日なく又當方面の我が地上部隊は愈々その作戦準備を強化致してゐるのである

第三に緬甸方面 就て今春以來緬甸反攻は屢々敵の呼號するところであつたが、九月以降逐次敵蠢動の微を認めるとは軍は機先を制して我が撃滅に努めつゝあるのである、即ち緬甸の東北方面怒江正面においては十月中旬以降河西岸に進出し約二ヶ師の敵に對し殲滅的打撃を與へたのである本作戦は重慶がピルマールートの喪失に伴ふ苦悶の擧句英米軍と協同し北部緬甸奪回を企圖したるに對し我が軍が機先を制しこれを撃砕したものであるが、本作戦における戦果は敵遺棄死體俘虜約一、五〇〇名、鹵獲火砲銃器等多數である、緬甸における敵機の來襲は雨期明と共に急激に増加し、毎月約二千數百機に昇り主として我が陸軍航空部隊を企圖してゐるが、陸軍航空部隊は寡兵克勇奮闘常に旺盛なる闘志を以て有ゆる創意と工夫とを凝らし一意その任務に邁進し、特に印支航空ルートの遮斷に努めて敵に大打撃を與へ、又十二月五日海軍部隊と協同し大舉カルカッタに進攻し、敵の虛に乗じて敵港灣施設及船舶を攻撃し多大の戦果を收めたのであるが、十月下旬以降においては收めたる戦果は撃墜破敵機約一五〇機、撃沈破敵船舶十數隻、舟艇多數である

第四に支那方面 においてはその後益々常時不斷の討伐を實施し、銳意治安の擴充に邁進してゐるのであつて、特に今秋には華北作戦常徳作戦その他幾多の作戦が行はれ、十月下旬以降支那全土に於ける交戦回数約四〇〇〇回、交戦敵兵力は約六十餘萬名に昇つてゐるのであるが、先にも申述べた如く重慶政權はその生命線たるピルマールート回復のため緬甸反攻を企圖する徵候があつたので支那派遣軍はこれを牽制抑留すると共に武漢正面の敵を撃破する目的を以て十一月月上旬より常徳に向ひ作戦を開始し、所在の有力なる敵を包圍撃滅しつゝ十二月月上旬常徳城を占領し完全に作戦目的を達成したのである、この間敵は緬甸方面に使用せんとした兵力を反轉し各方面より反撃し來ると共に常徳城直接の守備軍亦水、城壁、家屋等を利用して空軍の協力を相俟ち極めて頑強に戦闘致したのである、この間における敵交戦兵力は約三十數ヶ師團、兵數約四〇萬であるが、その戦果は敵遺棄死體俘虜約四萬四千、鹵獲火砲一五〇門、鹵獲銃器約七千であつて、特に敵の長銃を斃してゐるのである、次に今秋以來敵機英は在支空軍の増強に努めその出撃機數は毎月延約五〇〇機に達してゐるのであるが、陸軍航空部隊は常時不斷の航空作戦に任じて、寧ろ我に有利なりと斷じ

得るのであつて、愈よ必勝の信念を堅持し益々旺盛なる攻撃精神を發揮し飽く迄不屈不撓一意戰爭完遂に邁進せんことを期す次第である。終りに臨み謹んで陣歿將士の英靈に敬弔の誠を捧げると共にその御遺族に深く御同情申上げ又愈よ熱誠溢るる國民各位の御後援に對し厚く御禮申上げる次第である。

海相説明

去る十月、本議場において説明した以後における帝國海軍の戦況についてその概要を説明する、大東亞戰爭の緒戦において皇軍が占領した大東亞及び太平洋印度洋に亘る廣大なる地域は時と共にその戰略態勢を著々強化すると同時にその豊富なる資源を急速に開發しこれに敵力化に全力を擧げて邁進中である、敵米英は昨年來反攻作戰を繼續して參つたが、この急速なる我が戰略態勢の強化に狼狽し、最近その反攻振りには特に熾烈の度を加へ、今や文字通り決戦段階に入り、戰勢愈よ最高潮に達せんとしてゐる。

帝國海軍部隊は 御稜威の下、陸海軍部隊と緊密なる協同を以て勇戦奮闘、敵兵力の捕捉殲滅に努め、その萬全を盡してゐる、本期間における作戰の主なるものについて印度洋方面、太平洋方面、並に潜水艦關係等の順序に説明する。

先づ印度洋方面 において海軍部隊は、陸軍部隊と緊密なる協同の下に占領地域の防備を固めると共に、進んで敵の後方攻撃に努め、去る十二月五日、陸海軍航空部隊はカルカッタに對し畫問攻撃を執行して、敵軍事施設及船舶に對し甚大なる損害を

與へたのである。又北太平洋方面 においては、我海軍部隊は陸軍部隊と共に、吹雪の空に海に又陸に儼として敵に對しその守りは愈よ固く、攻撃準備を整へてゐる。

次に臺灣方面 に對して海軍航空部隊は十一月十二日未明、敵の軍事據點たるポートダーウイン、プロックスクリーク、バツテウラ等に對し大舉空襲を反覆敢行し、多大の損害を與へた、我海軍陸戰隊及航空部隊はフインシハル、フエン附近を中心とし瘡痍の地克く困苦缺乏に堪へ、陸軍部隊に協力して敵軍の擊破に努めてゐる。

次に南太平洋方面 においてはこの二箇月間において、極めて大規模且つ熾烈なる大空海戦が次々と展開され、帝國海軍部隊はその眞髓を遺憾なく發揮し、赫々たる戦果を収めたのである。

その第一はソロモン群島 ブীগンビル島方面の作戦であつて十月廿七日敵の一部隊がソロモン諸島の小島モノ島に上陸して來たのを端緒とし、十二月三日迄に克く敵を捕捉し、所謂ブীগンビル島沖海戦及び第一、其次よりブীগンビル島沖海戦及び第一、其次よりブীগンビル島沖海戦が相續して起つたのである、これは敵がソロモン諸島を経てラバウル方面を衝かんとする氣勢を示し、その第一歩としてモノ島及びブীগンビル島の占領を企圖して、有力なる輸送船舶、並に航空母艦、戰艦を基幹とする機動部隊を以て、極めて執拗に進出して來たのに對し、我海軍航空部隊及び海上部隊はその都度これを捕捉し、惡天候を冒し、極

めて勇猛果敢なる攻撃を反覆敢行し航空母艦十一隻、戰艦八隻、巡洋艦二十八隻その他艦艇多數を撃沈擊破し、飛行機約六百機を撃墜するの大戦果を擧げたのである。

執拗なる敵は更にニューブリテン島に對し攻撃し、十二月十五日その一部隊は同島マーカー岬附近に對する上陸を企圖して來たのである、これに對し所在の我海軍航空部隊はこれを撃破したがその一部は遂に上陸し目下我が守備隊と激戦中である、爾來我海軍航空部隊は連日敵輸送船團を攻撃し、敵艦船は勿論、兵員及び軍需品に對し多大の損害を與へ、本日迄に巡洋艦三隻、輸送船二十二隻その他上陸舟艇等約百隻を撃沈擊破した。

ラバウル方面に對する敵の空襲も頻繁となり、その都度熾烈なる空中戦を展開しその大部を撃墜して、その主なるものは十二月二日來襲せる敵機約二百數十機の内その二百一機を、又同二十四日には敵機百三十三機の内の五十八機を撃墜したのである。

第二はギルバート諸島、マーシャル諸島方面の作戦である、ソロモン方面の作戦に引續き敵は更にギルバート諸島、マーシャル諸島を衝く作戦に出で來た、即ち、敵航空母艦戰艦を含む大部隊は、十一月十九日ギルバート諸島のマキン島及びタラワ島に對し攻撃して來たのである、この有力なる敵の攻撃に對して帝國海軍航空部隊は多大なる損害を與へ、陸前後に痛撃し多大なる損害を與へ、次で陸上戰闘に移るや愈よその傳統を發揮して眞に壯烈鬼神を哭かしむ

るの勇戦を續け、最後の一兵に至る迄力戰奮闘、十一月廿五日全軍遂に玉碎して悠久の大義に生きたのである、陸戰隊に附屬して設營土木に従事してゐた隊員も亦、陸戰隊員と共に勇戦敢闘玉碎したのである。

この壯烈なる兩島守備隊の奮戦は敵側もこれを驚怖讚嘆し開戦以來始めてをり、眞に皇軍の光輝を愈よ陸離たらしめると同時に、次に申し上げるやうな大打撃を敵に與へるの機會を作つたのである、即ち敵が右兩島に來襲してより、十一月二十九日迄に所謂第一次乃至第四次ギルバート諸島沖海戦が起つた、これは敵が右陸上陸作戰に伴ひその補給並に掩護のため、輸送船團及び航空母艦を基幹とする機動部隊を繰り出して來たのに對し、我軍はこれを邀撃し連續的痛撃を與へたものであつて、更に十二月五日航空母艦を基幹とする敵機動部隊は、マーシャル諸島方面に強襲して來たのを適時に捕捉し、航空部隊を以てこれに殲滅的打撃を與へ敵の企圖を粉碎した、これ即ちマーシャル諸島沖海戦である、かく

敵は戰路上及び内政上の理由により非常に焦つてをり、遮二無二作戰目的を達せんと企圖した結果、かくの如き大損害を蒙つたのであつて、これは米國內にも強い非難が有るやうであるが、例によつて米當局はこれの大損害をひた隠しにしてゐる、然しこの嚴然たる事實を狂げることとは不可能であつて、一般米國民も米政府の公表に大なる疑惑を抱いてゐる模様であり、結局政府信用の失墜に終ることは從來の經驗に徴しても想像に難くない處である、殊に開戦以來帝國陸海軍が、米國に與へた人的

沈した外に、全海域において敵船舶合計十二隻約十萬噸を撃沈したのである、一方大東亞各海域における敵潜水艦に對しては我艦艇及び航空部隊が日夜風浪寒暑を冒し、見えざる敵を相手として或は要域の防備に、或は船舶護送に多大の辛苦を嘗めつつこれが撃破に努め十月以來、敵潜水艦を確實に撃沈したものの合計十一隻に上つており、今後共敵の跳梁に對しては各種の對策を強化し、萬全を期してゐる。

かくて全作戰を通じ、前回説明以後二箇月間に、帝國海軍部隊の擧げた戦果を綜合すると、撃沈した艦船の中主なるものは航空母艦一六隻、戰艦五隻、巡洋艦二六隻、驅逐艦九隻、潜水艦一一隻、輸送船三三隻であり、撃破したのは航空母艦八隻、戰艦四隻、巡洋艦二五隻、驅逐艦八隻、輸送船一五隻である、これに對し、我が方の被害は巡洋艦二隻小破驅逐艦二隻沈没したのみである、飛行機においては敵を撃墜したもの約九四〇機、我方自爆未歸還のもの約二〇〇機である。

損害は極めて大であつて、我海軍に
よるものだけで戦死約十七萬の外
これに倍する負傷者を出してゐるこ
とは米國民に對しては堪へ難いこと
であらうと思はれる。扱つての短期
間に擧げた我戦果は非常に大なるも
のであるが、然し未だ敵に對し致命
の傷を與へたのではないのであつて、
この赫々たる戦果と、愈よ緊迫して
來た戦局とを明確に區別して認識せ
ねばならぬと思ふのである。抑々近
代戰に於ける制海權爭奪は主とし
て航空機の發達により、著しくその
趣を異にし、昔のやうに彼我兩艦隊
の一、二回の決戰により一舉に決す
るので無く、所謂「決戰の連續」と
謂ふ様相を呈して來たのである。從
て刻下の喫緊事はあらゆる艱難を克
服し、一億國民の全智全能を總動員
し、只一途に戰力増強の一點に集中
することであつて、かくして前線將
兵をして安んじて、所要の飛行機艦
船を以て勇戰奮闘せしめるにおいて
は、聖戰目的の完遂決して難事では
ないと確信するものである、海軍將
兵は帝國未曾有の大聖戰に際會し、
陸軍と協力して海軍の重大責務を完
遂し、身命を君國に捧げ得るの光榮
に衷心感激して、常に、聖旨を奉體
して一意勇戰奮闘、誓つて敵軍を擊
滅し以て、皇恩の萬分の一に報ひ奉
らんことを堅く期してゐる、終に臨
み壯烈君國に殉せられたる幾多忠勇
なる將兵に對し茲に衷心哀悼の誠を
捧げその遺家族に對して深厚なる同
情の意を表する

政治短信

【三日】 逓通省委員五部制で運管に
決定△大政翼賛會では日米交渉の最
後折衝に當つた當時の特派大使外栖
三郎氏及び大本營海軍報道部課員高
瀬中佐を招いて翼賛會本部大講堂に
記念講演會を催した
【七日】 政府は報道宣傳と國民運動
の連絡調整に關する件を附議決定し
た
【八日】 東條首相は午後七時廿分よ
り約十五分間に亘り放送演説を行ひ
一億總総起を要望
【九日】 岡部文相、横須賀第二海兵
團入團の學徒に壯行の訓示
【十日】 翼壯帝都團長會議閉會



軍需會社法施行

【十七日】 政府は第八十三議會に提
出、原案成立をみた「軍需會社法案」
につき爾來同法實(十月三十一日公布)
施に伴ふ勅令、省令の制定、軍需會
社の指定等諸手續を進めた結果、議
會通過以來約一ヶ月半を以て全く完
了を見るに至つたので、十六日付會
報を以つて軍需會社法施行令(勅令)
及同施行規則(省令)を公布、十七日
より實施した、尙軍需會社として指
定せられる會社の事業範圍としては
同法第二條に列擧された兵器、航空
機、艦艇のほか、同令第一條により
船舶、車輛並びにその部品、鐵鋼、
輕金屬、非鐵金屬、稀有金屬その他
の重要鐵產物、液體燃料および潤滑
油、石炭、ガス、コークス、電力、
重要化學工業品、機械器具等航空機
船舶を中心とする直接戰力増強に重
要關聯を有する事業を網羅してゐる
生産責任制の全貌明確化
十六日、軍需會社法とともに公布さ
れた同法施行令並に施行規則によつ
て同法の適用範圍その他生産責任制
の具體的内容は詳細に亘つて明確に
された、即ち施行令及び施行規則に
よつて始めて明かにされた、主要な
諸點は左の通りであるが、同法制
定の趣旨に立脚して生産責任者、生
産擔當者の專任方法、任用の範圍、
又生産責任者の權限等をはじめ、商
法その他各種法令の例外規定たる事
項等に關し充分現下我が軍需産業界
の實狀に即應する如く考慮を拂ひ、
企業を有機的一體として生産増強を
促進せしめんとしてゐることは特に
注目される
軍需事業の範圍 軍需事業の範圍は
兵器、航空機、艦艇、車輛並に其部
品は固より基礎物資、化學工業品
機械器具等軍需關係重要物資の生産
加工、修理事業と六項目に亘り極め
て廣汎に決定された(施行令一條、
この外右六項目に列擧される物資の
ほかにも主務大臣の指定する軍需物
資を含み得る規定を設けたが(令一
條、七號)この場合には先づ事業の
種別を指定し、そのなかで具體的會
社を指定する二重指定制をとる
生産責任者について
○責任者の數—生産責任者は一軍需
會社につき一人とする(令二條)、同
一人が二つ以上の會社の生産責任者
たることは原則として許されないが
必要やむを得ざる場合には運用上認
める場合もある
○責任者の選任、任命範圍—生産責
任者は軍需會社に選任せしめること
を原則とする(法四條一項)が、そ
の場合、會社の性質に應じ取締役、
社員、或は無限責任社員の過半数の
同意を以つて行ふ、選任の期限は指
定令書交付の日より二週間とし、期
間内に選任せざる場合は主務大臣が
これを任命する(規則第二條)但し
選任、任命の範圍は物的會社(株式
會社、有限責任會社)と人的會社(合
名會社、合資會社、株式合資會社)
とにおいて差別を設け、前者につい
ては選任範圍を限定せず、有能者を
自由に管拔し得ることとした、他方
人的會社についてはその性質上無限
責任社員の地位を尊重し、選任、任
命範圍をこれに限定した(令第四條)
然しながら政府が生産責任者を任命
する場合においてもなるべく會社役
員中から任命することに各省の諒解
が成立してゐる、また特殊會社の總
裁、社長理事長等は當然その會社の
生産責任者となる(令第五條)
○責任者の權限—生産責任者は綜合
的な會社代表權を有し、取締役、役
員以外の場合にその生産責任者に選
任された場合に當然代表權を有す
る、從つて他の取締役、役員に權
限は制限せられ、職務を分掌するが
會社法に基く代表權は當然制限、解
除される、生産責任者は原則として
社長が選任されるものと見られるが
萬一社長以外のものが生産責任者に
選任、任命された場合には社長は實
質的に「名譽社長」となるわけだ
○責任者の任期—生産責任者の任期
は商法或は特別法規の規定に拘はら
ず無期限で、同時に生産責任者は主
務大臣認可なくして勝手に辭職する
ことは出來ぬ、(令七條、規則四條)
責任者は自己の事故ある場合、社員
の場合を豫想し取締役、業務執行社
員のうちから豫め生産責任者の代理
者、職務執行者の順位を定め登記す
る
生産擔當者
○擔當者の性質 生産責任者は必要
に應じ本社並に工場事業場に生産擔
當者を任命する、生産責任者を師團
長とすれば生産擔當者は聯隊長とも
いふべき上下關係にあるため、一工
場、事業場に一人といふ如く定員は
定めず、生産責任者の判斷によつて
隨時隨所、任意の員數の生産擔當者

を任命し得る、例へば三菱重工の如く業務部門が多種に分れてゐる場合には本社で業務部門別に擔當者を任命し、また製作所、工場別に擔當者を定める如きことも考へ得る。

③職務権限 生産擔當者の職務権限は實質的には支配人と同様で、所轄場所における裁判上、裁判外は一切の行爲を執行し得るが、その範圍は軍需事業に關聯する事項に限定される(令八條)従つて支配人が同時に生産擔當者に選任されたときは支配人たるの登記も併せて生産擔當者としての登記も行はねばならぬ

法令適用の除外 軍需生産の急速増強を圖るべき必要に對應し軍需會社法第十五條は「軍需會社に關しては必要あるときは勅令の定むる所により統制、取締等に關する法律の規定につきその適用を排除し、又は特例を設けることを得」と規定してゐるが、右に基づき施行令第二十五條において航空機製造事業法以下各種事業法、工場法、鑛業法、以下の各種法律、各特別法並に同二十六條により賃金統制令以下總動員關係勅令都市計畫施行令を當該法令として指定するとともに、施行規則別表においてその適用除外條文を指定した、適用除外の範圍に①適用を免除したものと

②認可許可主體を「主務大臣」から「主務大臣の指定する官吏(具體的には軍需監理部長とならう)として手續の簡捷化を期するものとに分れるが、今回の法令指定は現下の狀態において、今以上に必要なるものに限定され、今後關係各省において適用除外範圍の擴大に關し考究をすすめる必要速増強に對應する行政簡素化の徹底を期する方針である、他方令第

九、十條は軍需會社の勤務管理および經理に關し必要なる命令を發し得る旨を規定したが、これは過渡的規定でその詳細に關しては追つて別個の法令が制定される豫定である、さら

に主務大臣は軍需會社に對し定款變更、事業の委、受託、讓渡、合併、解散等、必要な命令を發し或は認許可を簡捷化することが規定されてゐるが(令十一條)これが實施に當つて慎重を規すべきことを俟たぬ株主權に關するもの 防諜並に軍需責任者は原案執行權を賦與せられ、或は株主總會の議を経るを要せざることにし、また招集手續の簡素化株主會社債權者に對する會社業務、財産狀況の検査の拒非等を行ひ得る(令廿乃至廿三條)、しかしながら軍需會社は株式會社の機能否定するものではなく、むしろその正しい機能を尊重する立場に立脚するため原案執行權、株主總會に附議を要せざる特別については嚴重なる制限を設け(令廿一條)とくに事業全部の讓渡、合併解散に關する重要事項については原則としてこれを適用せざる方針が明らかにされた(令廿一條三項) その他

①軍需相の權限擴大(生産責任者の辭職認可(令七條)、會社指定並に生産責任者の任命(法第二條、第四條等)について當該會社の營む軍需事業が軍需大臣および他の大臣の所管に跨る場合には從來の如く共管とせず軍需大臣の專管とし(令三十一條)、軍需大臣と協議して調整を圖ることに關した(令三十六條)、但し軍需大臣と陸軍、或は海軍大臣と共管

の場合に限つて軍需、陸軍或は海軍兩大臣の共管としたが(令三十一條但書)この點軍需大臣の權限は飛躍的に擴大された

②懲戒者の任用制限(軍需會社は懲戒解任處分を受けたものを二年間解任し、取締役その他業務執行社員に選任の適用をうける會社の規模は資本金二十萬圓以上の會社、組合員五十人以上の組合とする(規則第十五條))

軍需會社法による排除法令(軍需會社法施行規則により軍需會社(その營む軍需事業にして指定令書に掲ぐる範圍のものに限る)に對して適用を排除し又は特例を設ける法令は左の如くである(括弧内は適用排除又は特例を設ける規定))

- 航空機製造事業法(第四條及び第五條第一項)、造船事業法(第四條)
- 自動車製造事業法(第五條、第八條、第十三條、第十四條第一項)
- 製鐵事業法(第四條、第五條、第十八條、第十九條)
- 輕金屬製造事業法(第五條、第六條、第十五條第一項)
- 工作機械製造事業法(第五條、第六條、第十六條ノ二、第六條、第十七條、第十八條、第十五條第一項、第廿一條ノ二條、第十五條第一項、第廿一條ノ一)
- 資金統制令(第十六條、施行規則第三十六條第六項又は第三十八條)
- 重要事業場勞務管理令(第四條)
- 會社經理統制令(第二十三條、第二十四條第二項又は第二十五條)
- 企業許可令(各條)
- 價格統制令(第二條第一項但書、第十四條ノ二但書、第四條ノ四、第一項ノ四書、第七條第一項但書)
- 瓦斯事業法(第四條第三項)
- 電氣事業法(第六條第一項、第十一條第一項、第二十條)
- 鑛業法(第四十八條)
- 産金法(第四條第二項、第五條第一條)
- 石油資源開發法(第一條)
- 日本製鐵株式會社法(第二條第二項、第十條、第十一條)
- 帝國鑛業開發株式會社(第二條第二項、第十一條第二項、第二十一條、第二十二條、第二十三條)
- 帝國石油株式會社法(第十一條第二項、第十八條、第十九條、第二十二條、第二十三條)
- 日本發送電株式會社法(第一條第二項、第三十四條、第三十六條、第三十七條)
- 鹽專賣法(第七條、第十四條、第十五條第二項、第十二條)
- 市街地建築物法(第二條第三項、第四條第二項、第十八條)
- 公有水面埋立法(第八條第二項)
- 森林法(第十一條、第十二條ノ二、第二十六條)
- 工場法(第三條、第四條、第七條、第九條乃至第十一條第二項、第十八條第三項、施行令第十九條、第二十六條ノ二、第二十四條、第二十五條、第二十七條ノ四)
- 勅令

- 都市計畫法施行令(第十一條ノ二)
- 省令
- 航空機製造事業法施行規則(第二十六條、第二十七條)
- 造船事業法施行規則(第二十二條乃至第二十四條)
- 自動車製造事業法施行規則(第八條第十條)
- 製鐵事業法施行規則(第二十六條乃至第二十八條)
- 工作機械製造事業法施行規則(第十二條、第二十三條ノ九、第二項、第二十三條ノ十、第廿三條ノ十三、第二十七條第二號)
- 重要機械製造事業法施行規則(第十一條、第三十二條第二項、第三十三條、第三十六條)
- 有機合成事業法施行規則(第十三條)
- 電氣事業法施行規則(第三十條、第八十六條第二項、第八十八條)
- 石油資源開發法施行規則(第三條乃至第五條)
- 日本製鐵株式會社法施行規則(第一條乃至第八條)
- 日本發送電株式會社業務規程(第二條第三項第四項、第七條第二項、第九條第一項第二項、第十二條)
- 工場法施行規則(第二十四條、第二十六條ノ二)
- 賃金統制令施行規則(第二十七條乃至第三十條)
- 重要事業場勞務管理令施行規則(第十條)
- 鐵鋼統制規則(第二條第二項、第十條、第十五條、第十九條)
- 鑄鋼統制規則(第三條第二項、第三項、第五條、第八條、第十三條、第十六條、第十七條)
- 特殊鋼需給統制規則(第二條第二項第三項、第五條、第十二條、第十五

業種別企業整備要領續々決定

戦力増強企業整備要綱に基き十二月中央決定關係當局より指示されたる各種事業整備要領は左の如くである。右整備要領は既に前月までに發表された各種企業整備要領と大同小異で原則として工場を操業、保有、廢止の三とし操業及保有工場と雖も設備の一部供出の道設け廢止工場設備の轉用、引受、共助金の交付並に共助資金徴収等を実施することとなつてゐるが企業の特種事情によつてこれが適用には多少の相違がある。

擦糸製造業【十三日農商省發表】さきに織物製造業者整備要綱に準じて整備を行ふ紡績業、織物製造業、メリヤス製造業等の各業者にして擦糸製造を兼営してゐる者については其の主義の整備と關聯して、また紡績業者、人絹製造業者等の一貫業者については中央他は地方廳において整備何れも明年二月末までに整備を完了する。

ア法曹連工業【十七日軍需省發表】航空機の急速増産に即應してこれが基礎原料たる曹連の生産増強を圖り併せてアルミナ、鹽化マグネシウムの緊急増産に直接寄與せしめるためア法曹連製造會社に大體現狀程度の操業を確保するとともに企業體の強化刷新剩製製造設備の外地球中(明年三月末まで)にその再編成を完了する方針で、右に伴ひ再硝子と日本化成、徳山曹連と住友化學、宇部曹連と三井化學との間に夫々合同若くも資本的提携が實現する豫定

農林水産關係統制機關【一日】政府は官廳機構の整備刷新に引續き統制經濟の深化に伴つて簇生しつゝあつた所謂統制會社乃至各種統制組合の整備に着手すべく準備中のところ愈よ一日情報局より整理方針の發表を見るに至つたので農商省では同日午後四時半同省所管に屬する農林水産關係各種統制機關整備方針に就て左の如く發表した、既に今日まで農商省に於いて整理統合した統制機關の數は統制會社五、商工業組合八、其

紡績兼營製織業【十六日農商省發表】現有設備中一定割合の設備を操業設備とし特定の工場を操業工場として指定し之に生産を集中、特定設備は南方其他の地域に移駐し又は他品種の製造に轉換せしめる外、保有工場を認めず操業工場以外の工場は之を軍需其他重點産業部門に轉換利用せしむることとなり、遅くも明年一月末には完了の豫定。

クロス工業【二十二日軍需省發表】整備は大日本クロス工組内に企業整備委員會を置き中央塗裝布統制會社の指導により軍需省の承認を得て實施され、明年三月卅日をもつて完了の豫定である。

苦汁製品製造業【二十七日軍需省發表】航空機等の増産に伴ひ企業體の強化、設備の最高度利用等同工業の合理化を實施する。

食酢製造業【二十九日農商省發表】食酢製造業の企業體は現在三千有餘であるが、これを地域的に調整し、過小業者乃至兼業者の企業合同を促進して全體の三割五分を整理せんとするもので、十九年一月末日迄に整備を完了する。

農林水産關係統制機關【一日】政府は官廳機構の整備刷新に引續き統制經濟の深化に伴つて簇生しつゝあつた所謂統制會社乃至各種統制組合の整備に着手すべく準備中のところ愈よ一日情報局より整理方針の發表を見るに至つたので農商省では同日午後四時半同省所管に屬する農林水産關係各種統制機關整備方針に就て左の如く發表した、既に今日まで農商省に於いて整理統合した統制機關の數は統制會社五、商工業組合八、其

他の團體七で最近においては去る十一月廿二日舊農藥共販會社と農藥統制組合を統合して農藥統制會社の設立を見てゐるが、同省ではこの新方針に則り今後逐次物資別に具體的な整理統合を行ふ豫定である、整備方針の内容容次の如し

(農商省發表)農商省に於ては統制會社等各種統制機關の整備刷新に付政府施策の進捗と時局の進展に伴ひ銳意之が貫徹確保に努め來れるが、曩に閣議決定ありたる「現情勢下に於ける國政運營業綱」に基き今般左の方針に依り速に農林水産關係統制機關の徹底的整備統合を斷行し其の機能の刷新能率の發揮に遺憾なからしむることとなれり

一、物資の生産配給等の關聯性を考慮し統制機關の取扱物資を可及的包括的ならしむる方針の下に之が統合を圖るものとす
二、同一業種に關し統制會社と其の他の統制機構と併存する場合に於ては能ふ限り兩者を統合し統制機構の一統化を圖るものとす
三、統制機構にして既存の特別の法令に依る會社又は團體に統合するを適當とするものに付ては努めて此の方法に依り之が整理を圖るものとす
四、統制機構として存續せしむべきものに付ては特別の法令に依るものを除き事業運営上會社形態を適當とするものは之を統制會社に依る統制會社と爲らしめ右以外のもは、原則として商工組合法に依る統制組合と爲らしめ之に對し強力なる指導監督を加ふるものとす
五、三に依るもの外他の統制機構に於て統制を爲し得るもの又は存在の理由薄弱となりたるものは之を解散せしむるものとす

散せしむるものとす
「備考」○本整備は概ね昭和十九年一月末日を以て完了するを目的とし整備統合の豫定に應じ逐次之を實施するものとす○本整備は主として従前農林省の所管に屬したる中央統制機關に關するものにして商工省より農商省に移管せられたる統制機關に於て其の整備に關し既に農商省より指示ありたるものに付ては農商省移管に伴ひ必要なる若干の補正を加へたるもの外概ね之に依り整備方針未定のものに付ては本整備の趣旨に従ひ逐次之が整備を行ふものとす○本整備に依り従前農林省の所管に屬したる中央統制機關の大部分は整備を完了することとなるも猶檢討中の若干のみに付ては追つて案實施す○地方統制機關に付ても本整備の趣旨に従ひ速に之が整備を行ふものとす
なほ右整備の對象となる現在および整備後の統制機關數を比較表示すれば次の如くで各部門とも大體半數に近しい整備が行はれる譯である
(農商省發表)

Table with 4 columns: 現在數, 整備後, 統制會社, 統制組合. Rows include 農畜產關係, 山林關係, 商工業組合, 其他, 計.

△水産關係
會社 一四 計
商工業組合 七 統制會社
其他 八 統制組合
計 二二

△蠶糸關係
會社 一 統制會社
商工業組合 一 統制組合
其他 二 其の他
計 二

△食品關係
會社 二〇 統制會社
商工業組合 二五 統制組合
其他 二 其の他
計 四七

△總計
會社 四七 統制會社
商工業組合 五九 統制組合
其他 三 其の他
計 一〇九

輸出業者【二日】交易業整備要綱に基き輸出業者統制の中核業者選定については交易業整備委員會の各商別分科委員會がこれにあつたこととなつたが、分科委員會は二日大阪綿會館に開催の綿××關係を皮切りに十一日までに左の日程で全部を開催早急に中核業者を選定するうへ大東亞大臣に認可申請をすることとなつた(括弧内は開催地)

△絹人絹三日(大阪) △織維製糸三日(神戸) △毛麻三日(大阪) △水産物四日(東京) △農産物六日(東京) △ゴム製品七日(神戸) △日買關係商品七、八兩日(東京) △合板組板八日(東京) △セルロイド九日(大阪) △飲食製品九日(東京) △化學製品生果物十日(東京) 有價證券業者【十七日】大藏省では

△農畜產關係
會社 二〇 統制會社
商工業組合 七 統制組合
其他 七 其の他
計 三四

△山林關係
會社 七 統制會社
商工業組合 三 統制組合
其他 四 其の他
計 一四

△水産關係
會社 一四 計
商工業組合 七 統制會社
其他 八 統制組合
計 二二

△蠶糸關係
會社 一 統制會社
商工業組合 一 統制組合
其他 二 其の他
計 二

△食品關係
會社 二〇 統制會社
商工業組合 二五 統制組合
其他 二 其の他
計 四七

△總計
會社 四七 統制會社
商工業組合 五九 統制組合
其他 三 其の他
計 一〇九

△農畜產關係
會社 二〇 統制會社
商工業組合 七 統制組合
其他 七 其の他
計 三四

△山林關係
會社 七 統制會社
商工業組合 三 統制組合
其他 四 其の他
計 一四

△農畜產關係
會社 二〇 統制會社
商工業組合 七 統制組合
其他 七 其の他
計 三四

△山林關係
會社 七 統制會社
商工業組合 三 統制組合
其他 四 其の他
計 一四

財政金融

十九年度一般會 計豫算概算決定

政 財

— 百五十二億四千三百萬圓

は臨時軍事費財源に充當するためその全額を一般會計より臨時特別會計に繰入れる方針であり、従つて増稅案の決定と共に一般會計追加豫算が休會明け劈頭再開議會に提出される豫定なので、明年度一般會計豫算は計數上更に著しい膨脹を見ることを豫期される

情報局發表

△歳入歳出概算(單位千圓)

歳入	八、四一八、〇〇〇
臨時部	六、八二五、〇〇〇
經常部	一、五九三、〇〇〇
普通歳入	二、三三七、〇〇〇
公債金	四、三〇六、〇〇〇
前年度剩餘金繰入	一、四一〇、〇〇〇
計	一、五、二四三、〇〇〇
歳出	七、四三二、〇〇〇
經常部	七、一八一、〇〇〇
臨時部	三、二二一、〇〇〇
計	一〇、三九三、〇〇〇

△歳入歳出差引歳入過不足なし

△歳出概算各省別内譯

所管別	經常部	臨時部	計
皇室	四、〇〇〇	〇	四、〇〇〇
外務	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
内務	七、七〇〇	〇	七、七〇〇
大藏省	五、二〇〇	〇	五、二〇〇
陸軍	〇	〇	〇
海軍	〇	〇	〇
司法	一、四〇〇	〇	一、四〇〇
文部	一、五〇〇	〇	一、五〇〇
厚生	一、七〇〇	〇	一、七〇〇
農商	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
大東亞	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
農需	九、〇〇〇	〇	九、〇〇〇
軍需	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
運輸	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
通信	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
計	一、五、二四三、〇〇〇	〇	一、五、二四三、〇〇〇

先議審定の十件全面的優先豫算化實現 新規經費のうち開議において先

さきに取引員業者の整備統合方針を決定有價證券取引機構の刷新を圖つたが今回有價證券業者所謂現物屋に關しても整備を行ふことになり、去る十月末官制によらずして設置された有價證券整備協議會の調査審議を経て有價證券整備要綱を決定、十七日その内容を發表した。有價證券業者は本年十二月十日現在取引員を除いて一千九百六十四名に上つてゐるが、その多くは個人經營であつて業不緊實なる者が比較的多く本來の使命を逸脱して非法取引員を兼ねるものも尠くないので取引員も刷新を斷行大體來年三月までには整備を完了することを旨として各地方において整備計畫の實施に當る方針で整備後には有價證券業者は約四百名程度に整備される見込である、なほ今回の有價證券業者の整備決定によつて有價證券取引機構の整備刷新は一段落を告げることになつた

廿三取引員廢業決定【一日】政府の取引員整備方針に協力して取引員統制組合では業者相互の統合を積極的に斡旋した結果、十一月卅日限りで第一種上田商店十七、第二種石川商店他四、合計廿三の廢業を決定、大藏省に申請したが、なほ殘存する取引員數は第一種六十一、第二種十六、第三種五、合計八十二の多きに上り、今後更に相當數取引員整備が行はれるものと見られる

醫藥品衛生物資確保対策

【廿二日】二十一日の定例開議において決定した醫藥品其の他の衛生用物資確保対策要綱は二十二日情報局より發表された

△醫藥品其の他の衛生用物資確保対策要綱

第一方針 現下の情勢に鑑み國民醫療の確保、勤勞力の保持増強、軍需充足及防空救護の絶對的要請に應ずる爲醫藥品其の他の衛生用物資の供給を確保するの要緊なるものあり依て急速に之が生産確保並に配給の適正圓滑を圖るの措置を講せんとす

第二要領

一、醫藥品其の他の衛生用物資の動員計畫を國家計畫として策定し之が主要なる所要資材に付物資動員計畫に特掲す

二、醫藥品其の他の衛生用物資の生産、配給消費及價格に關する事項に付強力にして迅速適切な措置を講ずる爲其の所管を厚生省に一元化するの方針の下に關係各省協議の上之を調整す

三、時局下緊要不可欠の醫藥品其の他の衛生用物資の生産の確保を圖る爲左の方途を講ず(一)原材料、容器、包裝資材、生産設備、燃料、電力、勞務、輸送等の優先的確保の措置を講ず(二)醫藥品其の他の衛生用物資の品目を整理し時局下緊要不可欠のものに生産を集中す(三)製造企業を整備し優秀工場に生産を集中す尙要すれば生産の命令又は禁休止工場管理等の措置を考慮す(四)優秀技術の公開及交流を圖る(五)原材料等の入手及使用生産、技術等の現場に於ける総合的指導監督を強化す

四、現下に於ける生産の必要性に鑑み之が蒐荷及輸入の確保を圖ると共に藥用植物の栽培奨励の方途を講ず五、醫藥品其の他の衛生用物資の生産を増加する爲日本藥局方其の他の物資の規格に付急速に檢討を加ふると共に其の品質を保持する爲檢定を行ふ等必要の措置を講ず

六、新藥若し新製造技術に關する發明發見を促す爲奨励又は表彰の方途を講ず

七、醫藥品其の他の衛生用物資の供給の圓滑を圖り國民醫療に支障なからしむることを旨として之等物資に付適時適正なる價格上の措置を講じ要すれば原價計算制「プール」平準價格制等適當なる方策の實施を考慮す

八、醫藥品其の他の衛生用物資の配給の適正圓滑を期する爲配給に關する下部機構を整備し統制品目を擴充すると共に統制方法に改良を加ふ

九、醫藥品其の他の衛生用物資の生産及配給の統制機關をして強力なる機能を發揮せしむる如く急速に之を整備すると共に其の業務の簡素化を圖る

一〇、醫師、藥劑師等醫藥品其の他の衛生用物資の取扱關係者に對し時局下其の取扱物資重要性に關し徹底せる認識を保持せしめ生産、配給、保管、使用の各部分に於て取扱を適正ならしむる如く指導啓蒙の措置を講ず

一一、厚生省衛生試驗所の技能を刷新し醫藥品其の他の衛生用物資の試験檢定特殊醫藥品の製造に重點を置くこととす

産を増加する爲日本藥局方其の他の物資の規格に付急速に檢討を加ふると共に其の品質を保持する爲檢定を行ふ等必要の措置を講ず

六、新藥若し新製造技術に關する發明發見を促す爲奨励又は表彰の方途を講ず

七、醫藥品其の他の衛生用物資の供給の圓滑を圖り國民醫療に支障なからしむることを旨として之等物資に付適時適正なる價格上の措置を講じ要すれば原價計算制「プール」平準價格制等適當なる方策の實施を考慮す

八、醫藥品其の他の衛生用物資の配給の適正圓滑を期する爲配給に關する下部機構を整備し統制品目を擴充すると共に統制方法に改良を加ふ

九、醫藥品其の他の衛生用物資の生産及配給の統制機關をして強力なる機能を發揮せしむる如く急速に之を整備すると共に其の業務の簡素化を圖る

一〇、醫師、藥劑師等醫藥品其の他の衛生用物資の取扱關係者に對し時局下其の取扱物資重要性に關し徹底せる認識を保持せしめ生産、配給、保管、使用の各部分に於て取扱を適正ならしむる如く指導啓蒙の措置を講ず

一一、厚生省衛生試驗所の技能を刷新し醫藥品其の他の衛生用物資の試験檢定特殊醫藥品の製造に重點を置くこととす

議制定せる重要施策十件の全面的豫算化については大蔵當局が特に苦心したところでその他の新規要求並に既定経費については厳密な検討を遂げて非戦時的色彩の徹底的拂拭に努め以て先議事項の優先的豫算化を期したのである、この結果先議制定の重要施策に對しては約十五億圓の豫算を計上し、食糧の増産確保のための経費七億圓餘、軍需生産確保増強のための経費約五億圓を始め十件全部の全面的豫算化を左の如く實現し得るに至つた

△科學技術研究の振興に關する経費 四千萬圓餘 △戰時外交及び大東亞結集の強化に關する経費約四千萬圓 △防空施設の整備強化に關する経費約五千萬圓 △戰時經濟犯罪防遏對策確立に關する経費約十萬圓 △健兵健民對策の強化に關する経費千萬圓餘 △軍人援護事業の充實強化に關する経費約六百萬圓 △滿洲开拓民實施に關する経費五千餘萬圓 △食糧の増産及確保に關する経費七億圓餘 △軍需生産の確保及増強に關する経費約五億圓 △航空機乗員及船員の養成に關する経費約四千萬圓

△内務省 十九年度歳出豫算は本年度度豫算(追加豫算を含む)約十億圓に比し今後追加豫算の計上を加へれば著しく膨脹を豫想される、時局を反映して防空總本部設置に伴ふ新規要求額約六千九百萬圓は特に注目され、なほ十一月廿六日の閣議で決定された防空關係先議制定事項中第二項目の「重要都市の疎開に努め殊に建築物の撤去を促進することにつ

いては防空施行令の施行と同時に本年度内にも急速着手を必要とするので、これが経費は本年度豫備金支出同追加豫算並に明年度追加豫算として別途計上することとなつた

【地方局關係】市町村吏員訓練指導費 二、三七〇市町村職員臨時手当補助費 一、七六五市町村職員臨時家族手当補助費 一、八二〇△地方分與税分與金特別會計への繰入金金の増加 一、三〇〇、三〇〇

【國土局關係】新規河川改修二二〇〇△直轄河川改修費追加八三〇△直轄河川改修費繰上 木曾川上流一五八鶴見川三五〇△災害防除施設補助費 三〇〇

【警保局關係】出版檢閲機構整備費 一一〇△警察幹部教養機構整備強化費 三二〇

【神社院關係】官國幣社社殿應急修築費 八四

【防空總本部關係】設備資材整備費 補助四五、二八四△防空實施費 一九、四八一△防空情報通信施設整備費 二一、三五五△防空監視隊訓練費 八七九△防空訓練費補助七四〇

【琵琶湖々面調整費】食糧の増産と電力の増強を確保すべき琵琶湖々面調整は淀川河水統制第一期事業として計上された、琵琶湖治水問題に關しては従來洪水防止といふ消極的方面にのみ施策が行はれてゐたが、決戦下これを積極的の戦力増強部面に活用すべく既に去る十月内務省直轄河水統制事業として劃期的計畫を樹立、一部経費七十六萬圓は豫備金支出をもつて着手したが、明年度より第一期三ヶ年繼續事業として事業費一千百萬圓(初年度約二百萬圓)を一般豫算に計上、本格的に着手す

るものである、事業概要は琵琶湖の流出水量を合理的に調整しつゞ洪水を防止するとともに發電その他の利水關係に活用せんとするもので、本事業の遂行により

一、瀨田川淀川の發電所は冬期湯水時に對しても水量の調節が可能となる

一、發電所一ヶ所を新設することが出来る

一、流出水量の増加は必然的に琵琶湖の増水を低下し干拓約三千町歩九萬石の増水が可能となる

一、湖面低下により湖邊の低耕地排水が完整し約八千八百町歩に亘り二毛作が可能となる

一、湖水調節能力が増大するため洪水の被害を軽減する

一、瀨田川、淀川流域耕地の澆灌用水が確保される

一、阪神方面の用水不足を緩和し、また市内河川の水量豊富となるので衛生的には河川淨化も期待される

一、淀川、神崎川等大阪市内河川における舟運の便が増大する

等の成果が期待される

【北海道开拓費】なほ豫算先議制定事項中の北海道土功組合地區内の農地更生助成費は事務上の都合により十九年度追加豫算として計上される(單位千圓)

△北海道开拓計畫費 九七、〇〇〇(主なる内譯) △土地開發費 一、五〇四 △森林經營費 三、四、二二〇 △水産物増産獎勵金 三、〇〇〇 △鹽化加里増産二五 △農事の獎勵 一、七三七 △甜菜の増産 二、五六五 △畜産獎勵 一、〇九四 △鐵床調査一四八 △鐵業振興二〇 △土地改良三七、四八〇 △河川費 八、二九〇 △治水費 一、五五二 △道路費 三、

三六〇 △港灣費 七、〇〇八

△大藏省 新規経費としては國庫豫備金の増加が目立ち明年度においては既定額を含めて二十一億圓となり本年度に比し五億二千萬圓の増加となつてゐる

△專賣局製鹽工場新營費 四、八〇〇 △專賣局苦汁收納施設費 九、〇〇〇 △國債費の新規増加額 〇、六〇〇 △國庫豫備金の増加 二、七五七(第一豫備金九、〇〇〇、第二豫備金一、九五〇) △高等商船學校建築物の他新營費の追加 五、〇〇〇 △官廳防空施設費 五、〇〇〇 △臨時軍事費特別會計へ繰入四、〇〇〇 △戰時損害保險事務處理費 五、〇〇〇 △中央航空研究所に要する経費の増加 七、八〇〇 △航空技術者高度養成に要する経費 五、〇〇〇 △科學技術に關する研究試費補助に要する経費 三、〇〇〇 △啓蒙宣傳に要する経費 一、〇〇〇 △戰力増強に關する發明考案の活用獎勵に要する補助金の増加 三、〇〇〇 △科學技術向上刷新に要する経費 七、〇〇〇 △中央航空研究所設置費の追加 三、二六六

△文部省 新規事項に關する経費は經常部五千二百三十萬圓、臨時部一億百十三萬圓、合計一億五千四百四十三萬圓となつたが、その主なるものは學校教育刷新整備に關するもの及び科學振興並に技術員養成に關するもの二つで、決戦下文教の刷新と科學振興に重點が置かれてゐること注目される、學校教育刷新整備に要する経費は一億五百四十七萬圓で青年學校教員養成所の官立移管、教員養成機關の創設擴張及學校教員の特遇改善がその眼目となつてゐる

△科學振興並に技術員養成に對し二、千六百八十二萬圓を計上、科學動員に軍需構外作業に要する経費が多額

研究費千三百萬圓學術振興費三百萬圓と一舉に一千六百萬圓に増額して科學研究の強力な推進を圖つた、即ち戰時時下醫師の廣汎な需要に應じ新に松本、青森の兩市に醫學專門學校を新に金澤市に夫々創設し、更に東京、廣島の兩高師の理科定員を現在の二倍に増員して中教員の確保を圖ることになつた、また國民學校教員の不足に應じ東京第二師範、愛知第二師範、大阪師範に女子部を新設することになつた、而して科學振興のために七帝大及び神戸商大、東京工大に研究所を設置することになつてゐる、その他帝大及び官立大の教授及び助手自然科学の研究室に從事するものに對する研究加俸の支給科學技術員養成のための経費、大日本育英會設置に要する補助金交付、及び留學生指導監督並に大東亞共榮圈内の中學及び國民學校教職員を相互に派遣交換するために要する経費等が新規計上された

△司法部 十九年度歳出額を前年度に比較すれば經常部四、一六一、七六〇圓、臨時部九、一三二、八二二圓、合計五、四七五、〇四二圓の増加となつてゐる、而して新に増加した新規事項金額の重要なものは

△軍需構外作業施行に要する経費 四九、九一〇、〇〇〇 △戰時思想犯罪緊急對策實施に要する経費 九、一五〇、〇〇〇 △戰時經濟犯罪緊急對策に要する経費 一、三七七、〇〇〇 △勤勞青少年戰時鍊成に要する経費 七、三八〇、〇〇〇

である、決戦下國內思想犯罪と經濟犯罪の防遏に萬全が圖られることも

に計上されたことは今後の動向に重大な關心が持たれる

【軍人授護に關するもの】△軍人扶助法による軍事扶助の増加一億四百八十八萬圓、△總額六千二百三十四萬八千圓を計上して遺族職業輔導所及び傷痍軍人職業輔導所を各一ヶ所増設するほか、戦死者寡婦中等教員養成所を奈良に、傷痍軍人中等教員養成所を廣島文理大内に設ける、また従來遺兒及び傷痍軍人の子女のみにも擴充適用すること、更に従來軍人授護會に於て爲した傷痍軍人の健康相談は直接國の機關に於て實施すること

【國民動員に關するもの】△國民職業指導所臨時事務處理二千二百一萬圓職員待遇増加、△勤勞訓練施設助成費三百七十七萬圓費用事前訓練所及び特別鍊成所の費用に於て、△女子勤勞緊急動員八十八萬二千圓(單位千圓)

一、保健所網整備に要する經費 二、一一七
一、結核豫防事業に要する經費 二、八七一
一、國民保健健康保險に關する經費の増加 四、六八九
一、瘡癩防事業に要する經費 六六八
一、軍事扶助費の増加 一〇四、八〇〇

【日本醫務團結核療養所費補助の増加】
一、大日本體育會補助に要する經費 六〇〇
一、大日本武徳會補助に要する經費 六〇〇
一、醫療關係者團體補助に要する經費 六五〇
一、恩賜財團大日本母子愛育會補助に要する經費 二〇〇

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試驗場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試驗地は分場に昇格する

一、奥山村道の開墾費二百十六萬圓
一、アイ鮫漁場の開發費二十五萬圓
一、皇國農村確立に伴ふ標準農村の指定は前年度同様三百ヶ町村とし、總經費六百萬圓なほ各項目別の經費を示せば次の如し(單位千圓)
一、主要食糧増産に關する經費 七〇四、〇三三
二、水産物増産に關する經費 八、三三五
三、材産物増産に關する經費 二六、一七四
四、食料品の配給統制に關する經費 二一、八一九
五、馬資源充實に關する經費 五、八二八
六、蠶絲等纖維對策に關する經費 二、六二九
七、軍需等重要物資に關する經費 二、一三五
八、物價調整に關する經費 二、〇五九
九、中小商工業整備に關する經費 三、四五四
一〇、皇國農村確立促進に關する經費 六、〇六八
一、其他 一〇、八一二
計 七九三、三九六
△軍需費 今後なほ相當多額の一般會計追加豫算、特別會計(酒精)豫算外契約の計上および臨時軍事費の使用も豫定されてゐるので、軍需省關係の總豫算は實質的には極めて尠大なる金額に上るものと豫想される、而して十九年度豫算は決戦段階に即應じて航空機を中心とする軍需生産の確保、増強に重點をおいてゐるが

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試驗場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試驗地は分場に昇格する

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試驗場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試驗地は分場に昇格する

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試験場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試験地は分場に昇格する

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試験場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試験地は分場に昇格する

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試験場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試験地は分場に昇格する

【大東亞省】十九年度一般豫算は前年度に比し一千八百六十六萬圓を増加し、満洲報國農場十五を擴大して五十農場を建設する、經費二百二十七萬圓、全國六地區に國立農事試験場の分場を設置し、食糧増産技術の研究に資する、經費六十一萬圓、なほこの結果現在の鴻巣、奥羽、東北小麥中國小麥九州小麥の各試験地は分場に昇格する

政の簡素能率化を勵行することと、眞に事業の性質上已むを得ざるもの以外は極力之を抑制してゐる。次に昭和十九年度を豫算に付きましては、義に開議決定を経た「現情勢下に於ける國勢運營業綱」に基き、豫算科目を出来る限り整理して豫算の簡素化を圖るの方針を採用した、尙大藏省に於いては去る九月以來各省の概算要求に就いて詳細なる検討を遂げ各省との間に於て折衝を重ねて來たのであるが、各當局の協議に依り茲に昭和十九年度概算の開議決定を見るに至つたことは洵に欣幸に存する所である

特殊經費十七億圓を増加

【十日】十九年度一般會計歳出豫算のうち義務的經費たる特殊經費は百十三億一千萬圓で本年度の九十九億四千四百萬圓に比し十七億六千六百萬圓の増加となつてゐるが、右は一般會計より臨時軍事費特別會計への繰入れ、國債費及び國庫豫備金の各増加を中心とするものである、次に行政費、補助費などの一般經費は三十九億二千六百萬圓で本年度の四十四億一千八百萬圓に對し四億九千九百萬圓の減少となつてゐるが、右は十九年度歳出豫算概算には本七度豫算に四億一千萬圓を計上せる一般會計より爲替交易調整特別會計への繰入れが計上されてゐないことに基くものである、なほ十九年度における爲替交易調整特別會計への繰入れ額は大陸物價の推移を見極めた上追つて本豫算若くは追加豫算に計上されることになつてゐるので、一般經費は大體本年度程度にまで増額されることにならう

の内譯は次の如くである(單位百萬圓△印減)

Table with 2 columns: 十九年度, 本年度比較. Rows include 諸時軍事費繰入金, 地方分與稅分與金繰入金, 論拂戻及補填金, 國債費, 年金及恩給金, 國庫豫備金, 國民學校教員俸給分擔金, 軍事助扶費, 特別會計補充金, 財務官署交付金.

租稅增徴案決定

平年度廿五億圓の劃期的増徴【廿一日】政府は去る十日の開議に於て百五十二億四千三百萬圓以上の巨額引續き明年度に於ける臨時軍事費をはじめ各特別會計ならびに一般會計追加豫算の査定を急いでゐるが、大東亞戰爭三年を迎へる明年度に於ては苛烈な極めを現在の戦局より見て、軍事費を中心とする財政支出の飛躍的膨脹は不可避の趨勢にある、これがため政府に於ては尅大なる財政需要に對應して國庫收入の増加による決戦財政の強化ならびに第二義的に浮動購買力吸收、消費の規制を目的として既に來るべき第八十四通商議會に直接稅を中心とする租稅

の増徴案を提出する方針を明かにし、かねて大藏省に於て鋭意増稅案の審議作成に當つて來たが、今回一應具體案を練るに至つたので、廿一日の要例開議に「増稅等に関する法律案(要綱)」を附議賃屋蔵相より詳細なる説明があつて決定した、今回の増稅案は現行租稅制度をそのまま襲し、單に稅率の引上げによつて専ら決戦財政收入の強化を圖る點に重點が置かれてをり、從つて増徴額も別項大藏次官談にもある如く、初年度廿二億圓、平年度廿五億圓程度に達する未曾有の巨額に達するものであるが、増稅の方向は直接稅の増加を中心にして消費抑止の見地から酒稅、遊興飲食稅等の各項目に亘つて稅率引上げが行はれることになつてをり、直接稅のうち所得稅については分類所得稅は概ね五割程度、綜合所得稅については概ね二割程度の引上げが行はれる、次に所得稅の引上げに即應して法人稅、特別法人稅、營業稅、相續稅および臨時利得稅についても夫々稅率引上げが行はれるが、今次増稅に當り注目される點は最近著しく收入の増加せる日傭勞務者などの一般自由勞務者の所得に對する課稅方法が強化されたことで、これら勞務者に對しては源泉徴收の制度を擴充強化し所得稅の完納を期することとしたものである、また臨時租稅措置法の改正によつて法人の留保所得に對する法人稅、輕減の制度の擴張その他企業合同の免稅の一年延長長期預貯金利子に對する分類所得稅輕減の程度を擴張することとした、而して今次の増稅案による増收額は臨時軍事費に繰入れられることにな

つてゐるが、増稅額が巨額に上る關係上國民生活にも相當影響を與へることは免れないところであるが、苛烈なる決戦の現段階に對處し、國民また租稅の増徴負擔に堪へる心構へがこの際強く要望される、大藏次官談 政府は苛烈なる戦局の現段階に鑑み、戦費の増大に對處して國庫收入の増加を圖り以て戦時財政の基礎を鞏固ならしむると共に消費の抑制、購買力の吸收に資する爲の明年度に於て増稅を行ふこととし、本日開議に於て其の要綱を決定した、今年春の議會に於て間接稅を中心とする増稅を行ひたる關係もあり、今回の増稅は所得稅等の直接稅を中心とするものであるが今次増稅の趣旨に顧み間接稅其他に付ても相當程度の増徴を行ふこととした、増稅案の立案に當つては戦時下に於ける國民生活に對する影響を考慮を遂げ關係等に對しては慎重なる態度を遂げた次第であるが、増稅の範圍も廣汎に涉り増稅金額も從來に比し相當多額に達し初年度二十二億圓程度平年度二十五億圓程度の増收が見込まれるのである然し乍ら本案は國運を賭して戦ひつゝある大東亞戰爭を勝ち抜く爲には是非共必要なる方途である、國民各位に於ては本案の意のある所を體して終始之に御協力あらんことを切に望む次第である

煙草五割方値上げ斷行

平年度増收五億二千萬圓 政府は苛烈なる大東亞戰爭の現段階に鑑み明年度における軍事費を中心とする財政支出の急激なる膨脹に對處するため、別項租稅の増徴を決定したが、更に國庫收入の強化ならび

に購買力の吸收及び消費の抑制を圖る見地から、今回官業收入の最も重要な部分を占める煙草專賣益金の増收を企圖し、廿七日より煙草小賣價格の全面的引上げを實施する方針を決定、廿六日午後九時大藏省より發表された、今回の値上げ率は平均四割九分九厘で、値上げによる増收額は初年度(本年度)約一億三千萬圓、平年度約五億二千八百萬圓である、尙今回の煙草値上により金鶏は現行の十五錢より廿三錢に、光は三十錢から四十五錢に引上げられることとなつた

製造煙草の値上大藏省發表(十二月廿六日九時) 政府は今般國庫の増收を圖ると共に一般購買力の吸收等に資する爲の左の通製造煙草の値上を實施し、値上に依る増收額は擧げて之を戦費に充當することとせり

十九年度豫算概算における特殊經費

十九年度 本年度比較

増徴案を練るに至つたので、廿一日の要例開議に「増稅等に関する法律案(要綱)」を附議賃屋蔵相より詳細なる説明があつて決定した、今回の増稅案は現行租稅制度をそのまま襲し、單に稅率の引上げによつて専ら決戦財政收入の強化を圖る點に重點が置かれてをり、從つて増徴額も別項大藏次官談にもある如く、初年度廿二億圓、平年度廿五億圓程度に達する未曾有の巨額に達するものであるが、増稅の方向は直接稅の増加を中心にして消費抑止の見地から酒稅、遊興飲食稅等の各項目に亘つて稅率引上げが行はれることになつてをり、直接稅のうち所得稅については分類所得稅は概ね五割程度、綜合所得稅については概ね二割程度の引上げが行はれる、次に所得稅の引上げに即應して法人稅、特別法人稅、營業稅、相續稅および臨時利得稅についても夫々稅率引上げが行はれるが、今次増稅に當り注目される點は最近著しく收入の増加せる日傭勞務者などの一般自由勞務者の所得に對する課稅方法が強化されたことで、これら勞務者に對しては源泉徴收の制度を擴充強化し所得稅の完納を期することとしたものである、また臨時租稅措置法の改正によつて法人の留保所得に對する法人稅、輕減の制度の擴張その他企業合同の免稅の一年延長長期預貯金利子に對する分類所得稅輕減の程度を擴張することとした、而して今次の増稅案による増收額は臨時軍事費に繰入れられることにな

つてゐるが、増稅額が巨額に上る關係上國民生活にも相當影響を與へることは免れないところであるが、苛烈なる決戦の現段階に對處し、國民また租稅の増徴負擔に堪へる心構へがこの際強く要望される、大藏次官談 政府は苛烈なる戦局の現段階に鑑み、戦費の増大に對處して國庫收入の増加を圖り以て戦時財政の基礎を鞏固ならしむると共に消費の抑制、購買力の吸收に資する爲の明年度に於て増稅を行ふこととし、本日開議に於て其の要綱を決定した、今年春の議會に於て間接稅を中心とする増稅を行ひたる關係もあり、今回の増稅は所得稅等の直接稅を中心とするものであるが今次増稅の趣旨に顧み間接稅其他に付ても相當程度の増徴を行ふこととした、増稅案の立案に當つては戦時下に於ける國民生活に對する影響を考慮を遂げ關係等に對しては慎重なる態度を遂げた次第であるが、増稅の範圍も廣汎に涉り増稅金額も從來に比し相當多額に達し初年度二十二億圓程度平年度二十五億圓程度の増收が見込まれるのである然し乍ら本案は國運を賭して戦ひつゝある大東亞戰爭を勝ち抜く爲には是非共必要なる方途である、國民各位に於ては本案の意のある所を體して終始之に御協力あらんことを切に望む次第である

製造煙草の値上大藏省發表(十二月廿六日九時) 政府は今般國庫の増收を圖ると共に一般購買力の吸收等に資する爲の左の通製造煙草の値上を實施し、値上に依る増收額は擧げて之を戦費に充當することとせり

の生産計畫に付關係各省間の充分な連絡による科學技術的生產計畫を樹立すること
 ③使用樹種の範圍を極力擴張し特に地方的偏在樹種をも包含して造船船用材の増産を技術的に容易ならしむるの要あること
 ④特殊造船船用材の伐木採材方法に對する技術指導の普及徹底を圖り、特に木造船用根曲材の増産に付ては採材技術の普及と併せて平地林に於ける樺松等の根除法の普及等の指導徹底を圖る要あり
 ⑤輸送力逼迫打開の方策として従來一部に實行せられたつある管流液流、等の流材方法に技術的改善を加へ、之が實施を圖ること、特に潤葉樹材の流材方法に關する研究を急務すること
 ⑥造船船用材は比較的長材の割合多き材種なるを以て、輸送路の打開方策として特に海上筏の流行を圖り、左記三項の特急實施を圖ること
 ⑦輸送距離の短縮、海上の状況等に應ずる編筏方法の研究
 ⑧編筏資材たるワイヤロープに適する代用材利用の研究
 ⑨曳船對策としての機帆船等の利用
 ⑩造船船用長材重筏材等に就きては積込船備の機械化の研究及實施、貯材設備の擴充に造船船用材の産地製材による輸送力の軽減等の實施を圖ること
 ⑪曲材並に長大材を未加工の天然樹材種のみ依存する吾國森林資源の現状より見て將來の生産上相當の困難を豫想せらるべきを以て合成材にて之が代表材の計畫生産を行ふべき技術的研究並に之が實施に付材の産地製材による輸送力の軽減

造船船用材に對する乾燥方法の指導と乾燥材使用の徹底
 ③特殊材に對する代替材使用研究の促進
 ④大東亞圏に於ける造船船用特殊材の調査促進
 ⑤耐海虫材に關する調査並防虫塗料の研究促進
 三、行政措置に關する事項
 ①現行木材規格は曲材、造船用材寸法に對する適正を缺き尙右に對する價格に付ても不適寸法材の採材を有利ならしむる如き不合理あるを以て速かに適材増産の合理化を圖る如く改正す
 ②檜樺材等の如き特殊材は従來全國を通じて特殊關係業者の一貫有機的活動により生産配給し來りしも現行木材統制法に基く統制機關の下に於ては府縣單位に切斷せられたる結果、生産技術の低下、配給の不適正を招來せるを以て之等特殊材の生産配給に關し特別の措置を講究すること
 ③伐木運材製材等に對する高度技術の熟練勞務者の確保に關する措置として左記事項の講究をなすこと
 ④林業勞務者職能登錄制の確立
 ⑤勞務徵用令の適用
 ⑥新規熟練夫養成機關の成立
 ⑦低粒、ブナ系合成ゴムの増産
 ⑧三

日戦争遂行に不可缺の航空機用アルミナ及び航空機用合成ゴムの増産に關し科學技術審議會材料部會ではかねて慎重審議を進めてきたが去る十月廿三日答申事項として「白色アルミナ質研削低粒の増産を策し航空機用アルミナの増産に寄與せしむるの並にアクリルニトリルの製造技術の確立を圖り航空機用合成ゴムの増産に寄與せしめるの二件」を決定東條總裁の決裁を経たので廿三日午後二時技術院より發表した

學技術審議會材料部會では曩に東條首相より諮問事項として同會に依頼された「コバルト緊急増産對策」につき慎重審議の結果、増産方策を樹立するに至つたので去る十月二十五日東條首相兼軍需相に答申、二十七日技術院より右答申内容を次の通り發表した、コバルト増産の隘路となつては原鑛石の不足にあるので政府は取り敢へず朝鮮コバルト鑛石に重點を置き、内未開發鑛山の開發及びコバルト含有資源の利用回收等の處置を講じ一方東亞共榮圏内を廣く探究した結果ビルマに相當豊富な資源が埋藏されてゐるのを發見したもので、全面的に技術動員を行ふことにも適確な統制並に助成策を講じ、コバルト資源の大増産に乘出すことになつた譯である

進、製品配分の決定を行ひ、全責任を負つてその生産確保の完遂を期すとともに、これを裏付けるため資材確保に關して、陸海軍一本として物動上特揚し、主要資材の現物化は勿論副資材の確保についても萬全を期せんとする點である、要旨左の通り

△情報局發表(三日午後四時)
 第一方針 航空機、兵器、艦船等の生産増強特に航空機の飛躍的生產増強に即應し之が先行條件たる使用材の壓延、鍛造、押出等加工能力の急速なる増強並に高能率鍛壓機械及精密型打鍛造機械の利用に依る資材の節約、工作能率の昂揚を圖る爲、既存鍛造設備の活用を圖ると共に左に依り鍛壓機械の緊急増産を圖らんとす

第二要領 ①鍛壓機械の發注統制並に製造促進は軍需省に於て之を主管し、其の實施に當りては中央連絡會議及現地會議に於て強力なる措置を講ずること
 ②機種、型式、容量の整理統一を強ひに注目される
 ③機種、型式、容量別に生産分野を確定し當該機械の專門に生産を圖ること但し特殊専用機械に關しては之が生産を確保する如く措置すること
 ④晝夜作業を實施せしめ勞務の充足を圖ると共に隘路工作機械の優先取得を圖る等設備の隘路を補正し且必要な擴充を爲すこと
 ⑤低能率工場、技術及能率の向上、他機種産業機械製造工場、機械並に協力工場の有効利用を圖ること
 ⑥所要資材は昭和十九年度より物動上特揚し之が現物化に付ては特別な措置を講ずること
 ⑦外註鍛壓機械用鑄鍛鋼及部品等製造に付從來利用せる工

機 械
金 屬

鍛壓機械を緊急増産

【三日】 戦局現段階に對應し航空機を中心とする直接戦力の飛躍的増強を期するためには既存壓延並に鍛造設備の動員活用と併行して鍛壓機械の急速な増産を圖る必要があり、政府はこの情勢に鑑み過般來軍需省を中心として對策を考究した結果成案を得るに至つたので、三日の定例閣議に

一、航空機等の増産確保の爲に必要な鍛壓機械の應急措置の件を附議、岸國務省から詳細説明ののちこれを決定した、古内内容は三日午後三時情報局より發表されたが、緊急對策要領のうち最も注目せられる點は軍需省がその發足の使命と本來の性格に基き、發注統制、製造の促進、製品配分の決定を行ひ、全責任を負つてその生産確保の完遂を期すとともに、これを裏付けるため資材確保に關して、陸海軍一本として物動上特揚し、主要資材の現物化は勿論副資材の確保についても萬全を期せんとする點である、要旨左の通り

△情報局發表(三日午後四時)
 第一方針 航空機、兵器、艦船等の生産増強特に航空機の飛躍的生產増強に即應し之が先行條件たる使用材の壓延、鍛造、押出等加工能力の急速なる増強並に高能率鍛壓機械及精密型打鍛造機械の利用に依る資材の節約、工作能率の昂揚を圖る爲、既存鍛造設備の活用を圖ると共に左に依り鍛壓機械の緊急増産を圖らんとす

第二要領 ①鍛壓機械の發注統制並に製造促進は軍需省に於て之を主管し、其の實施に當りては中央連絡會議及現地會議に於て強力なる措置を講ずること
 ②機種、型式、容量の整理統一を強ひに注目される
 ③機種、型式、容量別に生産分野を確定し當該機械の專門に生産を圖ること但し特殊専用機械に關しては之が生産を確保する如く措置すること
 ④晝夜作業を實施せしめ勞務の充足を圖ると共に隘路工作機械の優先取得を圖る等設備の隘路を補正し且必要な擴充を爲すこと
 ⑤低能率工場、技術及能率の向上、他機種産業機械製造工場、機械並に協力工場の有効利用を圖ること
 ⑥所要資材は昭和十九年度より物動上特揚し之が現物化に付ては特別な措置を講ずること
 ⑦外註鍛壓機械用鑄鍛鋼及部品等製造に付從來利用せる工

型、棒、線、條の矯正機、引張矯正機矯正ローレル、ダイキャスト

電極需給統制要綱決定

【十五日】 輕金屬、特殊鋼等の飛躍的増産を遂遂するため電極の需要は急激に増加しつつあるが、軍需省ではこの情勢に鑑み従來の電極生産に對する査定制度を廢止し、新たに電極需給統制要綱により軍官民發註の一元の統制計畫生産、計畫配給の確立を圖ることとなり、十五日輕金屬局長名を以て關係各方面に通牒明年度第一四半期分よりこれを實施する統制要綱の對象たる電極は人造黒鉛電極、天然黒鉛電極（主として特殊鋼用）輕金屬用電極で、本年四月以降査定制度による需要並びに生産査定を實施し、需要者側統制團體に割當を行ひ各需要者は割當證明書を以てメーカーに直接發註し、この間軍關係の發註が除外され、從つてメーカーは多方面から受註してゐたため計畫的受註生産が不可能とされた、今回官民發註の一元化を圖り、これの計畫的生産配給の確立を期することとなつたものである

鉛亞鉛鐵錳砂鐵に價格制

【二十一日】 價格報獎制度要綱に基き既に石炭および銅について特別價格報獎制度を實施してゐるが、軍需省では今回更に鉛、亞鉛、鐵錳、砂鐵について實施することになり、三十一日の閣議に報告、承認を得たので同日次の如く發表した

せんがため先般閣議において決定せる「價格報獎制度要綱」に基き既に「銅」に付特別價格報獎制度を實施したるも次いで「鉛、亞鉛及び鐵錳砂鐵」についても特別價格報獎制度を實施すべき旨閣僚各省間に了解成立したるを以て之等礦物を目的とする礦山にして十八年度の生産數量が物資動員計畫を主案として設定せられたる一定基準を超過した場合に其の超過部分に對し特別價格報獎金を交付することとした、即ち鉛及び亞鉛に付ては本年度物資動員計畫を基礎として三段階の基準生産量を鐵礦および砂鐵に付ては同じく二段階の基準生産量を設定しこれらの生産額當り一定の報獎金を交付するものなり、尙本制度は昭和十八年四月より實施せらるるものにして政府において本年度礦物増産に敢闘したる各礦山の熱意に應へるところあると共に現下の重大戦局に對處し、今後益々此等重要礦物の大増産に各礦山一意邁進せんとを切望するものなり

其 他

石炭配給統制法改正

【十七日】 通常議會提出の石炭配給統制法中改正法律案要綱は十七日の閣議で決定したが同法案の狙ひは日本石炭の改組による石炭配給機構の整備強化に對處し、日炭が明年四月より賣戻し制を全面的に廢止して名實共に一手買取販賣機關となるために必要な法的裏付けをなすことである、これにより日本石炭は現資本金五千萬圓（半額拂込）より一億圓に増資するものと見られその資金力を強化するとともに

日炭の統制力及び社長の權限（株主總會に對し原案執行權を認む）も著しく強化し日炭は石炭需給調整上國家の代行機關としての機能を果すこととなる、同時に正副社長の任命役員解任等主務大臣の監督權も割期的に強化されることとなつた

電力動員緊急措置決定

【三十一日】 軍需生産の増強に伴ひ電力に對する需要は飛躍的に増加しつつあり、特に航空機の増産には大量の電力消費を伴ひ、本年に於ける電力需給は一段と逼迫すべきは不可避なる情勢鑑み、政府は卅一日の閣議で電力動員緊急措置を決定、情報局より發表した、今回の緊急措置は航空機増産に必要な電力需要増加に對應し建設中の發電所の完成期繰上り電力使用の平均化並に合理化、自家用火力發電設備の動員を内容とするもので、決戦下に強力且つ急速に實施に移す筈である

億は更に緊陣一番奮勵努力せられんことを切望する次第である

情報局發表表(卅一日午後)

一、要點 ①昭和十九年度末期に於いて完成見込の水力發電所は極力十九年十二月迄即ち湯水期前迄に確保せしむる如く勞務及び資材等の確保に付萬全の措置を講ずること ②豊水時及び深夜間に於ける電力を全幅活用せしめ且使用電力(日負荷)の平均化に努むること、即ち重點工場は廿四時間作業に依る使用電力の平均化、第二種工場の間最大電力の規正に依る夜間操業への移行、電力に對する依存度高き産業の豊水期に於ける集中生産等を極力實施すること ③電力の合理的使用を一層強化し電力削減及び尖頭負荷低減の實效を期すること、即ち消費電力量の節減目途を定め、官、民の有効利用を圖るため軍、官、民の自家用火力發電設備の動員を徹底的に計畫運営をなすこと 二、實施 前項要點に對する實施は左に依ること 軍需省及び關係官廳側の準備措置完了目録 十九年一月末 需要者の準備措置完了目録 十九年二月末 軍需省、關係官廳及び需要者の協同試行 十九年三月 正式實行開始目標 十九年四月一日 (備考) ④本件中十八年度第四半期に於いて實施可能なものは即時實行に移すものとす ⑤水力發電所の建設につき著しく後年度に亘るものは第一項に準じ之を整理し努めて最近年度に完成すべきものに力を集中す

農 業

日滿食糧自給確保連絡機關設置

【廿一日】 日滿における食糧自給態勢を間然するところなく推進するためには從來の企業畫に代る日滿を綜合した需給調整機關の設置が必要であらざるに歩を進めて兩國を一體とした計畫的生産の企業樹立機關を不可缺としてゐるので、政府は過般來農商省を中心としてこれが常設的連絡調整機關設置の具體化を進めつつあつたところ廿一日の閣議において本大東亞の各關係省並に滿洲國當局から成る協議會を關置することに決定を見、これに關する要綱は同日午後三時情報局より發表された、右協議會は官制にもとづくものでこれに必要な經費は追加豫算に計上、今議會に提出その通過を俟つて勅令の公布となる運びである、會長には農商大臣が當り、その機能は單に生産需給の計畫化のみならず、これに必要な資金、資材、努力、技術等の交流についても協議される、要綱次の如し (情報局發表) 日滿を通じての國民食糧確保の國家要請愈々緊切なるものあり鑑み別紙要綱に依り農商省に協議會を常置し内地、朝鮮、臺灣及滿洲國の各地域を通ずる食糧の確保を目的とし有機なる連繫の下に生産計畫の樹立實施を圖ると共に一體

的觀念の下に各地域の需給の調整を
圖ることとなれり

置要綱

内地、朝鮮、臺灣及滿洲國の各地域
を通ずる食糧の確保を目的とし有機
的なる連繫の下に生産計畫の樹立實
施を圖ると共に一體的觀念の下に各
地域の需給を圖らんとす

○各年度の各地域に於ける生産計畫
及需給計畫を調整し且實施上の連絡
を緊密ならしむる爲農商省、内務省
大東亞省その他關係各廳の係官を以
て組織する協議會を常置すること、
日滿一體としての食糧の生産及需給
調整の目的を達成する爲大東亞省に
於て滿洲國に對し必要に應じ連絡の
爲關係官の派遣を要請し其の他必要
なる措置を講ずること

○日滿各地域の増産確保上必要な
資金、資材、勞力、技術等に付ては
各地域に於て調達を圖ることとする
も必要に應じ能く限り相互協力援
助を爲すこととし特に滿洲國に對し
ては其の實情に鑑み日本側に於て極
力支援を爲すこと

○日滿各地域の食糧農産物の價格は
各地域の増産計畫の推進及之が交流
の實行上至大の關係あるに付之が決
定に當りては緊密なる連絡を採り慎
重なる取扱を爲すこと

○日滿各地域相互間並に日滿の各地
域と日滿以外の地域特に北支との間
に於ける食糧の交流に付ては各地域
と緊密なる連絡を圖り輸送配分の圓
滑なる運営を期すること

食糧自給態勢要綱

【廿八日】政府は廿八日の閣議で○
食糧自給態勢強化對策要綱(自作農

創設の促進に關する件を決定、午後
三時情報局からこれが内容を左の如
く發表した

食糧自給態勢強化對策要綱 (情報局發表)

一、方針 日滿を通じ國民食糧を確
保するの國家要請愈々緊切なるもの
あるに即應じ土地利用の徹底的強化
技術指導の刷新充實、農地改良事業
の急速實施等の既定諸方策其の他食
糧増産に寄與し得べき有ゆる方途を
強力に推進するの外食糧自給態勢の
強化を期し更に左の對策を講ずるも
のとす

二、要領
○臨時農業委員の指定 戰時食糧増
産確保上農業者にして食糧生産に對
する國家的意識を昂揚し責任と矜持
を以て繼續して農業に精進せしむる
爲左の措置を講ずること
○基本たる農家の經營主及び其の世
帯に屬する農業従事者(當該農家の
耕作面積耕作物の種類に依り必要な
限度とす)は戰時農業委員として
行政廳之を指定すること(戰時農業
委員は戰時中充分に生産力を發揮す
べき農業經營を繼續する責務を有す
るものとし他の職業に農事する場合
は行政廳の承認を要するものとす

(註)戰時農業委員は離農統制を受
け居る者に付地方の實情に即し之を
指定するものとし費用より除外する
取扱を爲すこと、尙現行離農統制に
關する措置は本件措置に切換ふこと
○當該村に於ける食糧増産指導上缺
くべからざる任務を擔當する者に付
ても右に準じ戰時農業委員として指
定すること、尙農業職業相互の間に
於ける季節的の勞務移動に付適切な
調整の措置を講ずること

○増産確保に關する組織の整備(原
則として部落又は農事實行組合の範
圍に依り地域内の農家をして増産班
を編成せしむること、各班に班長を
置き當該班における増産確保の責任
者たらしめ農業會長市長村長等と連
絡を密にし敏捷に班内の増産確保上
必要な措置を講ずる責務あるもの
とすること尙班長に對しては一定の
手當を支給することを考慮すること)

○道府縣及び中央に於て食糧増産隊
の編成を擴充し農村の要請に應じ隨
時隨處に出動せしむること、増産隊
の編成に付ては都會地に於ける轉廢
業者の活用にも統制(農地の讓渡、
農地の賃貸借契約の締結解除、解約
及び更新の拒絶)戰時中總て行政廳
の承認を要するものとする(行政
廳は耕作農地の生産力の發揮を怠
る農家に付ても食糧増産上必要
ありと認むるときは臨時農地等管理
令第八條の運用に依り當該耕地の耕
作管理に關し適當なる措置を講ずる
こと(備考)本對策の運用に付ては
努めて地元農村の實情に即應する如
く市町村長市町村農業會長等の連絡
を密ならしめ其の機能の活用を圖る
こと

自作農創設の促進に關する件
自作農の創設に付ては此の際一層之
を促進することとし左の措置を講ず
るものとすこと
○自作農地の創設に關し更に適當な
る國庫の補給を考慮すること○自作
農創設の爲め土地を提供する意思あ
る地主と當該農地を購入する者との
間に於て協議整はざる場合地方長官
は當事者双方合意の上申出たるとき
は讓渡の條件に關し裁定することを
圖ること

【十日】急速なる戦力増強の要請に
より支那事變以來巨大軍需工場が多
數増設されつつあるが、それらは昭
和十五年の人口政策確立要綱並に昨
年六月閣議決定を見た工業の地方分
散に關する措置にもとづき地方農村
に接觸した地域に立地されるに至つ
た結果工場周邊農村から大量の通勤
勞務者を吸収し、農業勞力の確保に
重大影響を及ぼすのみならず、農村
傳統の淳風美俗に對しても影響を齎
らすに至つたので農商省ではかねて
中央農業會、東亞農業研究會、東北
産業科學研究所、國土計畫研究會、
慶大亞細亞研究所、日滿農政研究會
などの關係團體並に調査研究機關に
委嘱して農工調和に關する調査を行
ひつつあつたが、このほど一應の調
査を完了したので、去る六日並に十
日の兩日に亘り同省會議室に調査報
告會を開催、詳細に亘る調査報告が
行はれた、而してその結論として折
出された農工調整の對策としては次
の諸點が擧げられ、今後の施策に對
する重大な示唆を與へた

農工調和策調査報告會

○物資の配給、公課の負
擔、國家的恩典などに關し農工の均
衡調和を圖ること○水田單一經營を
安定化し、工場勞賃収入との均衡を
圖ること○精神的方面例へば文化、
娛樂、社會的榮譽等の點から農村に
希望を與へること○工業側から物資
的、技術的、資金的援助を農村に與
へること

【十一日】農地開發營團では政府の
第二次食糧増産對策要綱に基き完成
に長時日を要する耕地造成事業を極
力壓縮しその餘力を以て昭和十八、
十九の二ヶ年間に約四萬町歩の土地
改良事業を實施することになり豫
農商省に對し昭和十八年度の業務計
畫變更認可可申請中のところ、この
程認可指令が發せられた、これを事
業別にみると左の如くで耕地造成事
業は施行面積において三千七百五十
町歩、豫算では八百二十萬七千餘圓、
農業水利改良事業では地區數には變
更ないが施行面積において三千町步
豫算では百十三萬五千九百圓をそれ
ぞれ既定計畫より壓縮して増産に即
效ある移住施設を三百十三戸、豫算
六十一萬九千餘圓を増加した外新に
土地改良事業百七十一地區一萬六千
二百五十町步を昭和十八年度分とし
て實施することになつたもので、既
に耕地造成事業は七割、土地改良事
業は五割の着工をみてゐる

△造成事業四、四二九町步同上豫算
一七、一一、八二三圓
△移住施設一、〇一四戸同上豫算二
四七六、五三三圓

農地開發營團十八年度業
務計畫

○都市、農村の相互理解を
圖ること

○職工農家の農
業經營規模を極力縮少し、これに代
つて一般農家の適正經營規模確立を
圖ること

【十日】急速なる戦力増強の要請に
より支那事變以來巨大軍需工場が多
數増設されつつあるが、それらは昭
和十五年の人口政策確立要綱並に昨
年六月閣議決定を見た工業の地方分
散に關する措置にもとづき地方農村
に接觸した地域に立地されるに至つ
た結果工場周邊農村から大量の通勤
勞務者を吸収し、農業勞力の確保に
重大影響を及ぼすのみならず、農村
傳統の淳風美俗に對しても影響を齎
らすに至つたので農商省ではかねて
中央農業會、東亞農業研究會、東北
産業科學研究所、國土計畫研究會、
慶大亞細亞研究所、日滿農政研究會
などの關係團體並に調査研究機關に
委嘱して農工調和に關する調査を行
ひつつあつたが、このほど一應の調
査を完了したので、去る六日並に十
日の兩日に亘り同省會議室に調査報
告會を開催、詳細に亘る調査報告が
行はれた、而してその結論として折
出された農工調整の對策としては次
の諸點が擧げられ、今後の施策に對
する重大な示唆を與へた

○職工農家の農
業經營規模を極力縮少し、これに代
つて一般農家の適正經營規模確立を
圖ること

○都市、農村の相互理解を
圖ること

○職工農家の農
業經營規模を極力縮少し、これに代
つて一般農家の適正經營規模確立を
圖ること

○都市、農村の相互理解を
圖ること

○職工農家の農
業經營規模を極力縮少し、これに代
つて一般農家の適正經營規模確立を
圖ること

○都市、農村の相互理解を
圖ること

△農業水利改良事業 六、九〇〇町歩 (土地區) 同上豫算三、二九〇、〇〇〇圓

東北土地改良事業進捗

△土地改良一六、二五〇町歩(一七一地區) 同上豫算五、二八二、〇〇〇圓 事業費合計二八、一六〇、五五五圓 (變更前に比較減三、四四一、四六〇圓)

【十四日】農地開發營團による農地の大規模開發は時局下 資材、勞力の不足にも拘はらず着々 と進められ、營團事業開始の昭和十 六年末より本年三月まで既に田一 千八百三十三町歩、畑七千二百四十 町歩計九千七十三町歩の造成を完了 都市の轉廢業者を主として入地せし め全國で三百六十三戸の自作農家を 創設したが、これら歸農轉廢業者の營 農状態をみるに、農業經營の經驗の 淺きにも拘らず極めて良好な成績を 擧げてゐる、即ち農地開發營團最近 の調査によると今年度の作付面積は 田一千六百五十九町八反、畑四千六 百六十八町八反(内譯甘藷九百五十五 町五反、馬鈴薯三百四十八町八反、其 の他三千三百五十二町五反)計六千 二百七十六町四反となり、全造成面 積の七割の作付をみてゐる、而して 今年度夏作の收穫は左の如くで反當 り米は一石二斗四升、甘藷は百七十 五貫、馬鈴薯百四十六貫、その他雜 穀四斗五升、蔬菜百三十二貫で、成 熟田畑の反當收量には及ばないが入 地農家の營農技術の向上と相俟つて 明年度以後にはかなりの増収が期待 されてゐる。

第二次食糧増産對策の中核をなす土地改良事業は農閑期勞力を活用して目下全國的に展開されてゐるが、そのうち東北方面におけるものが、そのうち東北方面におけるものが、これが進捗状況は十八日内田東北地方行政協議會長より發表された、これによれば東北六縣の事業割當面積六萬一千餘町歩に對し、既に設定完了したものは四萬五千餘町歩(七割三分)工事の完了したものは八千餘町歩(割當面積の一割四分)に達して

Table with columns: 縣別, 事業割當, 設定完了面積, 完了面積. Rows include 宮城, 福島, 茨城, 栃木, 群馬, 山形, 秋田, 岩手, 青森, 山形, 秋田, 合計.

明年度、藪蠶種生産計畫決定

【廿日】昭和十九年度藪蠶種および繭の生産計畫を決定すべき第七回蠶糸委員會は二十日農相官邸に開催、山崎農相、石黒次官以下各委員出席、慎重審議の結果政府原案通り可決答申した、今回は前例を破り蠶種および繭のみの生産計畫を決定し、生糸および繭織維の生産計畫については三月頃改めて次回委員會を開き決定する筈である、今回決定を見た明

昭和十八年度夏作收穫高

米(陸稻を含む)二〇、五九〇石、甘藷一、五九八、二六〇貫、馬鈴薯五六〇、六一〇貫、その他雜穀類一二、四

年度産繭計畫數量は春蠶、夏秋蠶合せて五千三百萬貫と前年の六千三百萬貫生産計畫に比し、一千萬貫(一割五分強)の減少となり、また蠶種製造額も八千五百四十五萬貫と前年の一億五千萬貫に比し千九百五十五萬貫(一割八分強)の減少となつた

右は最近における繭維事情に即應するもので桑園の食糧作物への轉換勞力資材の惡條件より見て徒らに架空計畫數量にとつた點は注目される、決定した生産計畫數量次の如し

Table with columns: 昭和十九年度夏秋蠶用蠶種, 昭和二十年春蠶用蠶種, 二、繭生産額, 春蠶繭, 夏秋蠶種, 右生産計畫は實施上必要な範圍に於て之を調整し得るものとす

民有林材を追加増産

【四日】航空機並に造船用その他戦力増強上木材の需要は益々旺盛となつて來たので、農商省ではさきより既定生産計畫〇〇萬石のほかに今回更に民有林材一千數百萬石の追加増産を行ふこととなり、四日關係地方長官宛特別生産割當通牒を發すると共に中央地方相呼應して冬山の一大木材増産運動を推進することとなつた

茶種子から潤滑油

【廿七日】中央農業者會では從來殆んど棄てて顧みなかつた茶種子を採收して軍用並に製藥用の潤滑油の自給

自足を圖るとともに、茶實粕を利用する目的をもつて、さきに府縣茶業組合に對し獎勵金を交付し、これが蒐集計畫を樹立するやう通牒を發したが、時局に鑑み今回蒐集せる茶種子が一切軍用に供出するに決定、二七日この旨關係府縣に通知した

農機具需給調整協議會設置

【廿日】内外地を一貫する農機具の計畫的生產、配給については、過般關議で決定した農機具緊急對策に關する件にもとづき農商省内にこれが企業機關たる農機具需給調整協議會を設置することになつてゐたが、今回農商、内務、大東亞、軍需的關係各省係官を以て右協議會を構成、廿日農相官邸に第一回協議會を開催、その運用方法を附議決定した

公認競馬明年より停止

【十七日】政府は巨大なる設備と土地を擁する競馬場の直接戦力増強部門への轉用を愈々全面的に行ふこととなり、十七日の開議において當分の間競馬開催を一時停止することに決定した、現行競馬法による公認競馬の開催地は札幌、函館、福島、新潟、中山、東京、横濱、京都、阪神、小倉、宮崎の十一ヶ所である。

△情報局發表(十七日午後三時) 政府は決戦段階に突入せる現戦局に對處し競馬場施設を直接戦力増強部門に轉用するとの急務なると輸送其の他の狀態に鑑み十九年度以降競馬法に於ける競馬の開催を一時停止するに決し本日定例開議に於て競馬開催停止並に之に伴ふ臨時措置に關する件を決定せり

△競馬開催停止に伴ふ措置方策(答申) 一、競馬の開催停止期間中に於ける輕種馬の調教鍛鍊並に能力檢定は日本競馬會をして其の衝に當らしむること

一、昭和十九年度以降當分の間競馬開催は之を停止す 二、競馬の開催を停止するも輕種種馬の調教鍛鍊及能力檢定は依然之を實施するものとす、東京競馬場及京都競馬場の施設中右の實施に必要な部分は之を他に轉用せざるものとす

三、競馬開催停止に伴ひ輕種生産維持に因り輕種生産者等の蒙るべき影響に付ては能ふ限り適切な措置を講ずるものとす 四、前二項に關しては豫算上必要に應じ適宜の措置を爲すものとす 競馬開催停止の善後措置【十八日】 政府は十七日の開議で當分の間競馬開催を停止する旨の決定を行ひ、これに伴ふ臨時措置の大綱を發表したが、この決定にもとづき農商省では今後の善後措置を講ずるため十八日馬政調査會第十七回總會を開催 苛烈なる戦局の現段階に對處し競馬場施設を直接戦力増強施設に轉用するの必要あるのみならず諸般の狀態を勘案し、競馬の開催を一時停止し、右停止期間中輕種種馬の能力檢定及輕種生産維持に遺憾なきを期せんが爲め之に代るべき應急措置を執らんとす之が具體的方策に關し意見を求むる諮問事項を中心として慎重審議の結果次の如き答申案を行ひ午後三時半散會した

二、能力檢定は明け四歳乃至六歳の馬に付之を行ひ檢定馬数は約一、〇〇頭すること、檢定馬の選定に付正確厳密を期すると共に檢定の方法に關しては現在の方法に所要の改正を加ふること

三、檢定馬は可及的民間に所有せしむることとする其の所有減少し所要の輕種生産の持續不可能となる虞あるを以て檢定馬並に輕種産駒の一部を日本競馬會をして所有せしむること

四、民間の所有馬に對しては之が維持の爲賞金を交付することし相當増額すること

五、軍需に轉用貸付したる競馬場施設は有償とし返還の際は原狀に回復を條件とし競馬再開に交際なからしむること

六、輕種生産用牝馬にして一時中間種生産用に變更を受くるもの及檢定馬数の減少に依り現在競走馬にして檢定馬たる資格を失ふもの並に既に生産せられたる幼駒にして檢定馬たり得ざるものに付生ずる飼養者損失に付ては補償を爲すこと

七、前各項の措置に要する經費は國庫より交出するものとすること

八、附帶決議(一)競馬停止の爲一般馬事振興に影響を及ぼすこと無き様期せられ度きこと(二)競馬は停止事由解消するに至れば全面的に國家要請に即應する様所要の改正を加へ速に之を再開すること

運輸交通

第四、四半期鐵道輸送計畫

航空機原料材の輸送に重點 【廿八日】運輸通信省では廿八日午後二時より昭和十八年度第四、四半期の鐵道輸送計畫を策定すべき第九回鐵道輸送協議會を開催、慎重審議の結果左の如く原案通り第四、四半期鐵道輸送計畫策定方針を決定した、而して策定方針は現下苛烈なる航空決戦に鑑み航空機増産に即應すべき航空機原料材の輸送に特に重點を置くと共に、生活必需品、都市疎開に伴ふ輸送及び空襲疎散物資輸送にも適切なる措置を講ずることとなつた黒が注目される

要領

△第四、四半期輸送計畫策定要領
①航空機増産の緊急性に鑑み所要の原材料、製品等の輸送並に國內資源開發に即應する輸送力の増強に關し重黒の措置を講ずること(一)石炭の需給操作と緊密なる連繫を保持し重要用途端の輸送確保に努むること(二)家庭用燃料、魚介類、生野菜等にありては特に大都市向のものに付配給調整に即應し之が輸送確保に努むること(三)都市疎開に伴ふ輸送及空襲疎散物資輸送に付ても適切なる措置を講ずること(四)未年始に於ける出荷減防止に關し特段の措置を講ずること(五)嚴寒降雪に因る輸送障害惹起の虞あるを以て之が克服に努め以計畫載量の輸送完遂を期すること(六)最近に於ける小運送事情に鑑み、之が能力の増強及計畫化の徹底に努むること(七)戰局の變化に即應し既定計畫の變更輸送力の重黒の配分等鐵道輸送力

運通省に港灣委員會設置

【四日】運輸通信省では海陸輸送の一貫的強化をはかるため海陸輸送の接點たる港灣の施設整備、港灣の管理並に港灣地帯の海陸輸送業務の運営に關する根本方針を調査審議するため、今回省内に港灣委員會を設置することとなり四日同會規則を發表した、同委員會は委員長に飯田運通次官、委員に關係各局長、幹事長、原企畫局長、幹事に關係各課長を以て構成するもので、同委員會において審議決定を見た事項は急速かつ強力に實施する豫定である

不造船建造本部設置

【廿七日】運通省では戦時下船舶建造の喫緊性に鑑み、かねて各般の措置を講じてこれが促進をはかつてゐるが、今回更にこれを積極化すべく同省海運總局内に官民合同の實務機關として不造船建造本部を設置することとなり、これが機構入選を急ぎ來春早々事務を開始する豫定である而して右不造船建造本部設置の狙ひは従來日本不造船組合聯合會、日本船舶用内燃機統制組合、東西船舶機統制組合、日本船舶用電氣裝備統制組、日本船舶用物品統制會社、日本船舶造船、産業設備營團等において船舶建造、船體、機關、船舶用品、造船、契約事務、据付裝備事務等に分つて擔當し、相互の連絡に遺憾の點が少くなかつたのであるが、今回これが連絡調整を緊密化し不造船建造實務を綜合一貫化せんとするもので、同本

關門海底隧道第二線貫通

【三十一日】わが國鐵技術陣が再び世界技術史に燦然たる榮譽の一頁を刻む關門海底トンネル第二線は廿一日午前九時貫通した、この貫通點は下關側から三分の二の海底下である今世界最初のシールドの體當り貫通は見事に成功したのである

電話移轉範圍擴張

【二十九日】通信院ではさきき戦力増強に資するため電話の戰時特例として或局の電話を他の局の所屬に變更したうへその区域内に移轉すること(電話の所屬變更)を認めたのであるがその所における企業整備官廳施設等の地方疎開その他による電話需給關係の變動に即應し他所による電話地域、資格を改正し明年一月一日から實施する、なほ所屬變更の資格は軍、官公署管理、監督工場、五大重工業等戦力増強上重要な方面でその事業場、住所等を變更した場合に限られて居るのであるが今回の改正によつて更に次の通り賣電話や供出された電話を譲り受けてその事業場や住所、居所に移轉する場合も可能となつた

親族相互間、親子會社相互間又は會社とその高級職員相互間で譲り受けた電話を移轉するもの

賣電話過剩の局の電話を電話營業組合の配給を受け移轉するもの(三)供出運動の結果他局で供出された電話の配給を受けて移轉するもの

交易

輸出適格業者等の登録基準決定

【二日】日本交易協會では今回の交易業整備統合作に伴ふ轉廢業者及び適格業者をそれぞれ登録することになつたが、登録に必要とする輸出実績證明機關並にその年度別を左の如く決定した

證明機關

綿糸布織雜製品、合板、皮革、茶、農産物類、日貿關係、毛皮、齒削子、織雜質物、生果物類、絹人絹スフ、毛麻糸布、生糸、ゴム製品及び陶磁器は従來の輸出調整機關化學品類、および機械關係自轉車セルロイド製品、セメント、砂糖、罐詰、飲食料關係、ガラス製品及び石鹼は交易營團

△年度別別 第三國向け輸出実績は全商品共昭和十四、十五年の曆年による(一)同域、泰佛印向け輸出実績は(二)綿糸布絹人絹スフ毛糸布生糸交易業整備要綱の基準年度(三)織雜製品機械關係自轉車は曆年(四)その他の商品は物動年度にそれぞれよるものとす

交易團資金調達に新機軸

【廿日】交易團ではその運営の本格化に伴ひ重要物資の保有並に交易に必要な資金調達のため豫てより全國金融統制會幹旋の下に強力なる共同融資局を設置すべく關係各行との間に折衝を進めてゐたが、この程諒解成立し左の如く重要物資の保有及び滞貨物資の處理關係交易關係ならびに中北支との交易に生ずる價格差調整關係の繋ぎ資金等の圓滑なる調整を圖るため夫々機能別に融資團を結成資金調整に新たなる様式を創出した。

一、重要物資の保有および滞貨物資の處理關係については正金、臺銀、鮮銀の三特銀に普銀統制會加盟十行（帝國、三菱、安田、住友、三和、野村、東海、神戸、十五、昭和）を加へ、十三行による強力なる融資團を設置、重要物資の保有關係には正金、三菱兩行が幹事滞貨物資の處理關係には正金、帝國兩行が幹事役となり融資に萬全を期する。

一、交易關係については爲替銀行たる正金、臺銀、鮮銀の三特銀に帝國三菱、住友の三大銀行を配した六行による融資團を設置

一、中北支との交易に生ずる價格差調整關係の繋ぎ資金融資については同地方との爲替取扱銀行として最も關係の深い正金、鮮銀兩行をもつて當る

向今回の融資團設置を見るまでの過渡的措置として同團は重要物資管理暨團當時の融資團により重要物資の保有、滞貨物資の買上げ資金の融資を仰いで来たがこれは新融資團の下に發展的解消を遂げ更にこれを機會

に同關係の融資限度を従来の三億二千萬圓から四億圓に引上げることにより決定した。

輸出品製造用輸入物資の戻免稅廢止

【廿一日】大藏省では最近の輸出入貿易の事情に鑑み今回輸出品の製造等に使用した輸入原料品に對する輸入税の戻免稅品目の整理を行ふことになり、これがため廿一日の閣議に大正十年勅令第二百三十八號の改正勅令案を附議決定、來る廿七日頃公布實施するが、今回の改正により銅若しくは銅合金の板、線管などの製品および絶緣電線の製造に使用する原料銅に對するもののみを残し、他は全部戻免稅を廢止することになつた、なほ今回の改正により油又は油槽の製造に使用する大豆、菜子又は芥子、大豆油および落花生に對する輸入税の免除が廢止されることになつたか、右は滿洲國又は中華民國より輸入するこれら原料品に對してさきに特惠關稅が設けられたのでこれを整理することとしたものである。

交易協議會規定を定める

【廿一日】わが大東亞圈内交易に關する交易企畫は從來企畫院内に設立されてゐた交易協議會の所管するところであつたが去る十一月一日の行政機構改革で企畫院の解消を見、また舊商工省交易局が改めて大東亞省に移されたので、今後の交易企畫は當然大東亞省の所管となりこれがため去る十一月廿六日の閣議で大東亞省内に交易協議會を設置すべき旨決定を見、爾來大東亞省を中心に準備中であつたが、その初會合は廿一日

大東亞次官官邸で開催「交易協議會規定」を可決協議會會長には山本大東亞省長が就任することに決定した。

日滿共通の輸出入統計制定

【二十八日】大藏省では大東亞共榮圈を通ずる計畫交易の圓滑なる促進に資するため共榮圈各地域の輸出入統計の統一化を企圖し、まづ新たに日滿間に共通する輸出入品目を制定する方針の下にかねて關係各當局並に滿洲國政府と協議中であつたが廿九日付大藏省告示をもつて新輸出入品目を公布、右統計品目表に基き明年一月一日より日本及び滿洲國において輸出入統計を作成することになつた、新輸出入品目表作成の要旨並に品目分類方法は次の通りである。

- 一、本品目表は簡素且つ平易を旨とし品目分類方法としては原則として淘汰法を採ると共に商取引の實狀をも參酌し作成したこと
- 一、本品目表は總動員計畫等諸計畫の策定及各礦物資源等に使用する場合も考慮し作成した
- 一、品目表は差當り日滿兩國において實施することとしたるも將來その他共榮圈諸地域においても實施し得る如く考慮し作成したこと
- 第一類 油、脂蠟及同製品、
- 第二類 食料、嗜好飲食物料及煙草
- 第三類 色素及染料類
- 第四類 藥品類、化粧品類及爆發物
- 第五類 被服類及裝身用品
- 第六類 布帛及同製品
- 第七類 紙、紙製品、書畫、書籍及印刷物
- 第八類 纖維及同製品

- 第九類 動植物、動植物產品及同製品
- 第十類 科學機品、樂器、銃砲、電氣機器、車輛、航空機、船舶及機械
- 第十一類 金屬及同製品
- 第十二類 陶磁器、硝子及硝子製品
- 第十三類 土石類、礦物及同製品
- 第十四類 前各類以外の物品



三井財閥今後の運 警方針決る

【十日】三井物産では十日日本橋三井本館に臨時總會を開催、過般の太原事件に關し取締役會長向井忠晴氏以下の引責辭任を認め主腦部陣容を一新して國策協力の態勢を整備するため役員の改選を行つた結果、取締役會長向井忠晴、代表取締役伊藤與三郎、同大塚俊雄、同松本三志の四氏は辭任これに代つて取締役會長代表取組は小池正彪、代表取組は長代表取締役は川島三郎、宮崎清、小室健夫の四氏を選任、太原出張所閉鎖に伴ふ定款變更の件を可決、同出張所の閉鎖を正式決定した、なほ總會席上向井氏は株主の質問に答へ同社改組を中心とし近く三井財閥中樞部新機構を確立する旨を言明し、同財閥改組の方向を明かにしたが、改組を決定するに至らしめた事情、これに對する全三井の態度及び三井財閥今後の運警方針は左の如くである。

一、三井財閥中樞新機構の確立
三井財閥は三井物産の名に代表されるやうに同社を中心とする重商經營が根本の性格であるが、苛烈なる決戦下同財閥が重工業へ積極的推進を圖るためには從來の重商的性格を拂拭し、重工業轉換への態勢整備を必須ならしめるに至つた、三井物産（資本金三億四千萬九千五百圓）をその部門を分離して、新三井物産（資本金一億圓、假稱）を新設し、新三井物産株式は現三井物産株主に對し適當な比率をもつて割當る。従つて三井本社は從來の三井物産の持株會社としての機能を繼續するは勿論、名實共に同財閥の中樞機關となつて、全三井事業の總括、最高人事の決定を通じ重工業轉換への積極的推進基地とする。三井本社の創設に伴ひ從來三井十一家に代つて寄附行為を解消する。三井本社首腦部には三井直系子會社の代表者が並ぶものと見られるが、三井十一家は同社に對する出資者となる。

以上のような成果を得るに至つたものである。

一、全三井財閥の態度
三井財閥は改組による三井本社の創設を轉機として決戦下最大の國家要請たる軍需生産への積極的進出を圖り、又過般の山西省太原出張所長の經濟攪亂事件に深く責任を痛感し統營方針の一大刷新を斷行し、もつて三井財閥の全機能を擧げて戦力増強に挺身する。

一、今後の運警方針
従つて三井財閥今後の運警方針もこの全三井の態度の基礎に立ち三井本

社を總司令部とする組織の下に三井... 三井生命、新三井物産の六直系... 子會社を抱擁し時に重工業部面への... 事業擴張を飛躍推進せしめるため、... 關係時局産業を總動員し生産増強の... 要請に答へることとなり、既に當局... に認可申請中であるが、認可あり次... 第實行に着手する豫定で明春までに... は實現するものと見られる

主要新設會社

日本電話設備會社【四日】増私設電... 話設備工事業者三百餘を統合する強... 力なる單一工事業社日本電話設備株... 式會社は四日創立總會を舉行した、... 新會社は資本金七百五十萬圓、東京... に本店を置き、大阪、名古屋、福岡... 仙臺、札幌に支店、その他極要なる... 地に出張所又は業務所を置くことに... なつてゐる、而して新會社設立の上... は今後全國五十五萬餘の増私設電話... の設備維持はすべて同會社が獨占す... る方針で、従来の逓信局公認の工事... 擔當者は自然削減するものである、... なお新會社の社長には元逓信省工務... 局長米澤與三氏が就任

農機具統制會社【八日】十月二十六... 日閣議決定の「農機具緊急對策に關... する件」にもとづき農商省では八日... 農機具生産、配給の一元の統制機關... たる農機具統制株式會社(資本金百... 萬圓)設立總會を開會、即日設立を... 認可した、本社は統制會社による... 統制會社で、設立と同時に既存の農... 機具配給會社並に日本農機具工聯、... 大日本農機具商聯の兩團體は解散さ... れ、新會社が閣議決定の方針に基き... 農機具生産用鋼の發券機關として農... 機具増産を推進することとなつた、

十月會社合併四十三件

社長三浦實生氏(農機具配給社長) 【十日】興銀調査「十月中の會社合... 併決議状況は合併件數四十二件、合... 併及被合併會社數合計九十八社、同... 資本金合計九億九千九百萬圓、合併後... 資本金九億二千五百萬圓である、合併に... 伴う資本減少六千五百萬圓である、同... 月中合併決議の主なものは日立製... 作所の日昭電線伸銅他一社合併(合... 併後資本金三億五千萬圓)、大阪商船... の國際汽船他三社合併(一億一千六... 百萬圓)小倉製鋼の淺野重工業合併... (同三千五百萬圓)日本化學の大日... 本特殊肥料合併(同二千七百萬圓)... 等であるが會社合併の中心は依然機... 械工業、交通運輸業、金融業等であ... る

造船促進創案者表

【一日】日本海事振興會で... は時局下造船促進に資する... ため今夏來全國各地の造船... 所、造船工場に對して造船に關する... 技術的改良、發明、考案の募集表彰... を企ててゐるが、十月末締切つたと... ころ應募件數造船部門十九件、造船... 部門四十七件、合計六十六件に上つ... たので同會技術委員會の審査を経て... 優秀創案二十六件を選出、一日九の... 式を舉行し、而して創案者中最優秀... として受賞されたものは浦賀船渠村... 田義鑑氏の創案にかゝる「縱横合成... 肋骨式船舶構造法」でその内容は以... 下の如くである

即ち本方式の船體の上部及び底部に... おいて普通横置される肋骨を縦の方... 向に配置せるものでこの結果鋼甲板... 外板等が從來のものよりもこれを輕... 減出來、鋼材重量の節約は十五%を... 下らないばかりでなく建造、施工と... も容易であり、戦時標準型船の一部... に行はれて良好なる成績を収めてゐ... る

物價協力會議法人に改組

【廿日】中央物價統制協力會議では... 現下物價問題の重要性に鑑みその機... 能の刷新をはかるため社團法人に改... 組再出發することになり廿日會員總... 會を開會、(一)社團法人に改組の件(二)... 事業運営の簡素強力化に關する件を... 附議可決した、なほ改組後の會議長... には現會議長結城豐太郎氏が就任の... 豫定で各府縣の物價統制協力會議も... 三月末までに社團法人に改組する

日本經濟聯盟總會

【十六日】日本經濟聯盟會では、十... 六日九の内日本工業俱樂部に臨時總... 會を開會、東條首相兼軍需相並に會... 員二百餘名出席

一、評議員二十名、理事十名増員に... 關する定款變更の件(理事六十名以... 内を七十名以内に評議員二百名以内... を二百二十名以内に變更)
一、重要經濟團體役員又は學識經驗... 者中より、參與若干名を委嘱するた... めの定款變更の件を可決、井坂會長... の挨拶(松本理事代讀)あつて後東... 條首相挨拶を述べ、財界指導者層の... 戦力増強に關する積極的活動を要望... 續いて伊藤文吉男ほか十六名の評議... 員を選任、名譽會員に山下龜三郎氏... を推薦して總會を終了した

理事會を開催したが、總會、評議員... 會並に理事會で決定した新役員は左... の通りなほ新設の參與制は各經濟團... 體との緊密なる協力のもとに、戦力... 増強への積極的活動を目的とするも... ので近く委嘱する豫定である

△評議員(十七名)男爵伊藤文吉(鐵... 山統制會會長)、(浦賀船渠社長)、豊... 社長)堀悌吉、(六角三郎(日立造船... 社社長)堀悌吉、(浦賀船渠社長)、豊... 田利三郎(トヨタ自動車工業會長)、... 子爵大河内正敏(産業機械統制會會... 長)、川西龍三(川西航空機社長)、竹... 内可吉(日本染料製造會會長、田島正... 雄(船舶運管會總裁)、中島喜代一(中... 島飛行機社長、五島慶太(東京急行... 電鐵社長)、小日山直登(南滿洲鐵道... 總裁)、近藤鏡次(電氣化學工業社長)、... 菊池吉藏(兵庫縣商工經濟會會頭、... 平沼亮三(神奈川縣商工經濟會會頭)、... 勝桂之助(日本團體生命保險社長)、... 菅禮之助(帝國鑛業開發社長)、鈴木... 忠治(昭和電工社長)

△理事(十五名)男爵伊藤文吉(鐵... 山統制會會長)大内愛七(新潟鐵工... 所社長)子爵大河内正敏(産業機械... 統制會會長)大屋敦(輕金屬統制會... 會長)川島三郎(三井鐵山會長)竹... 内可吉(日本染料製造會會長)田島正... 雄(船舶運管會總裁)五島慶太(東... 京急行電鐵社長)青木謙太郎(愛知... 縣商工經濟會會頭)正田貞一郎(東... 武鐵道會會長)子爵澤澤敬三(日本銀... 行副總裁)平沼亮三(神奈川縣商工... 經濟會會頭)關桂三(大阪府商工經... 濟會會頭)勝桂之助(日本團體生命... 保險社長)鈴木忠治(昭和電工社長)... △常務理事(八名)鑄屋正輔、石田... 禮助、豊田貞次郎、拍木秀茂、竹内... 可吉、青木謙太郎、關桂三、鈴木忠治... △常任委員(四名)豊田貞次郎、藤... 山愛一郎、郷古潔、島田勝之助... △顧問(二名)兒玉謙次、伍堂卓雄... △名譽會員(一名)山下龜三郎

府縣農業會設立認可

農團團體法に基き設立準備中であつ... た左記府縣農業會は農商大臣よりそ... れぞれ設立認可され會長を任命さ... れた(括弧内現職)

△埼玉縣 石坂養平(縣農會會長兼議... 院議員) 十三日付△大分縣 成清信... 愛(縣農會會長兼信會會長) 十五日付... △宮崎縣 曾木重貴(縣農會會長兼議... 院議員) 十九日付△三重縣 馬岡次... 郎(全國農業經濟會理事、衆議院議... 員) 廿日付△大阪府 磯村彌右衛門... 廿二日付△神奈川縣 早川茂一(縣... 農工銀行頭取) 廿四日付△茨城縣... 沼平右衛門(縣信聯會會長) 廿四日付... △和歌山縣 二澤永信(縣農會會長)... 二十一日付△新潟縣 長谷川越夫... (貴族院議員) 二十一日付△長崎縣... (貴族院議員) 二十一日付

森繁(衆議院議員) 二十一日付... 水産業會 農商省では左記府縣水産... 業會の設立認可を行ふと共にそれぞ... れ會長を任命した

△大分縣 會長川上傳藏十一月日付△... 廣島縣 會長林與一郎(縣水産會會長)... 十四日付△高知縣 會長堀部虎猪... (縣漁務事務理事) 十四日付△靜岡... 縣 會長服部龜吉(縣水産會副會長)... 十八日付△熊本縣 會長小見山七十... 五(縣水産會會長) 十八日付△富山... 縣 會長大西篤示(縣水産會會長) 十... 八日付△佐賀縣 會長田中善内(縣... 漁聯會會長) 廿日付△宮崎縣 會長渡... 邊與七(縣漁聯會會長) 廿日付△新潟... 縣 會長中村文七郎(縣漁聯會會長)... 廿三日付△岐阜縣 會長船波佐輔... (縣水産會會長) 廿四日付△大阪府

は補償は行はない方針である

官廳關係出版物整備要綱

方針

官廳關係出版物に付ては其の公的性質に鑑み從來特に之が指導に留意し來りたるも今般決定を見たる國政運営要綱の趣旨に即應し之が整備を行ひ重點主義を強化し以て其の使命完遂に遺憾なからしめんとす

要領

- 一、本要綱に依る整備の對象は官廳關係出版物なること
二、情報局及内務省は各廳と協議の上整備案を策定し新聞雜誌用紙統制委員會幹事會の議を経ること
各廳は右の整備案に基き整備を行ふこと
三、整備は概ね左の原則に依り之を行ふこと

- ①時局下不要不急と認めらるる出版物は之を廢刊せしむること
②類似出版物は之を統合せしむること
事業體の統合に伴ひ其の出版物は可及的に之を統合せしむること
③性格上官廳關係出版物として特別に助成を必要とせざるもの付ては之を日本出版會に移管すること
④年鑑類は可及的に之を抑制すること
四、官廳外廓團體に於て發行する出版物の整備に付ては補償を行はざること
但し官廳の斡旋に依る實績買収費は之を考慮すること
前項以外の出版物の整備に付ては必要に應じ實績補償を考慮すること
五、整備は概ね昭和十八年度中に完了するを旨とする

△日本出版會々員に非ざるもの行ふ出版事業の整備要領

今般決定せられたる出版事業整備要綱に基き日本出版會々員に非ざるもの行ふ出版事業を本要領に依り整備せんとす

- 一、整備の對象は左に該當するものとする
二、地方廳特定出版物用紙の割當を以て出版事業を行ふもの
日本印刷文協會々員に對する割當用紙を以て出版事業を行ふもの
手持其の他の用紙を以て出版事業を行ふもの
三、整備は地方廳をして之を行はしめ關係官廳及日本出版會は之に協力するものとす
四、事業の整備は概ね左の基準に依ること

○官廳、公共團體、學校其の他之の外郭團體の行ふ出版事業に於て時局下不要不急と認めらるるものは之を廢止すること
○前號に掲ぐるもの以外のもの發行する定期刊行物は時局下必要と認めらるるもの外之を廢刊し其の書籍(パンフレットを含む)の發行は總て之を廢止すること
○整備に依り存續すべき出版事業に付ては同一種類のものは可及的に統合せしむること

- 五、官廳、公共團體、學校其の他之等の外郭團體の出版事業を廢統合したる場合は補償を行はざること
但し過去に於ける事業の統合又は買収に要せし費用に付ては必要ある場合は之を考慮すること
前項に掲ぐるもの以外のもの行ふ出版事業にして廢統合したる場合は必要に應じ適當の補償を爲すこと
六、整備後存續すべき出版事業は官廳公共團體學校及之等の外郭團體を

除くの外總て日本出版會に入會せしむること
七、事業の整備は直に着手し可及的速に之を完了すること
九百二十社の出版廢業を通告【十八日】去る十一月閣議で決定をみた出版事業整備要綱に基き日本出版會で既存出版事業者三千六百のうち九百二十社に對し今月末までに廢業するよう通牒を發したる殘る九百業者から自主的統合買収を速くならしむるよう百九十五社の世話會を決定新春一月末日までに凡そ二百社に統廢合を完了の段取りを終り一應企業整備の見透しがついた日本出版會理事長久富達夫氏は十八日午前同會においてつぎの如く語つた

△久富日本出版會理事長談
資本の懸隔、性格の混沌とした多種多様な出版界を整備して公的の性格を事業體制に整備するよう閣議で決定した出版事業整備要綱に基きまづ資格審議會を設置した、これは陸海軍、報道部、情報局、文部省、農商省、内務省の軍官當局と出版會の理事、民間の學者十氏を以て構成し情報局の會議室で既に議すること三回に及んである。この審議會で既存出版業者雜誌の残存すべき數、性格、規模などを決定する、一方「企業整備委員會」を業界代表者、出版關係者各關係軍官當局をもつて構成し審議會より決定廻附された事項を協議するまた出版内部に私が部長となつて出版企業整備本部を設け事務的な處理に當る、いふ三段構へで着々進めてきたわけだ、そして今同その規模の小なるものや出版活動をしない休眠會員性格の面白からざるものなどの圖書出版業九百二十社に對して

う希望してゐるが、逆に企業届も急激に増加し内容の良いのはどんどん許可してゐるから低下するやうな懸念は少しもない、讀書人もこの點安心して戴きたい、なほ今後とも良書重點主義で進む方針である
【廿一日】出版報國團では廿一日午後一時、三時の二回にわたり企業整備促進懇談會を神田日本醫學會館四階講堂で開催席上永井理事から新企業體二百社のうち部門別適正社數の概略が示された、これによると厚生五、文藝文化三十、教養八十、勤勞青壯年十、學生十、婦人五、少國民十、啓發三、その他特殊部門などで新發足すべき事業體は原則として最低四社以上買収合同のうへ、各専門部門別の圖書を出版し從來のやうに一社から種多な種類の圖書發行が影響を潜め重點的に良書が専門の業者によつて出版される方途が明らかにされた

第一回國史編修準備委員會

【十三日】第一回國史編修準備委員會は十三日午後二時から文相官邸で開催され、岡部文相始め各委員出席、頭會長岡部文相の挨拶あり次いで議事規則決定の上「國史編修に關しこれが實施準備上留意すべき重要事項如何」との諮問事項に移りて菊池次官の説明ありこれに對し各委員より意見の開陳があつて、午後五時散會した

史蹟名勝天然記念物本年度第二回指定

【十三日】史蹟名勝天然記念物調査

會は十四日文部省において開かれ、會長筑波候ほか各委員出席、本年度第二回の史蹟十二件を指定、ほか倒壊したる天然記念物解除一件を可決し

△史蹟「明治天皇串茶屋御少休所附御膳水(石川縣)明治天皇櫻野行在所(栃木縣)」、「明治天皇泉布觀行在所(大阪府)」、「明治天皇佐屋行在所(足利市)」、「愛知縣」、「明治天皇訪御少休所(山梨縣)」、「明治天皇三日市行在所(富山縣)」、「明治天皇清淨光寺行在所(附御膳水)神奈川縣」、「明治天皇泊行在所(附御膳水)追加(富山縣)」、「垂水齋王頓宮跡(滋賀縣)」、「佐久良東雄舊宅」(茨城縣)、「三井(奈良縣)」、「野中寺舊伽藍跡」(大阪府)、「下馬場古墳(福岡縣)」、「松本塚古墳」(宮崎縣)、「名勝」(八幡山)、「古岩屋」(岩屋(以上愛媛縣))

△天然記念物「常圓寺の大かしは」(愛知縣)、「御油の松並木」(愛知縣)「おきちもぐ」(愛媛縣)、「小瀬川かはしんじゆがひ棲息地」(廣島縣)、「山口縣)」、「神明宮の大杉」(月瀬の大杉(長野縣)、「多良の無洗樫」(岐阜縣)、「黃柳野つけ自生地」(杉本の貞觀杉)、「那古野神社のくろがねもち」(愛知縣)、「松上神社のさかき樹林」(唐川のかきつばた群落(鳥取縣))

△解除されたものは「神應寺の大樟」(京都府)

野間賞受賞者

【十七日】財團法人野間奉公會では第三回野間賞贈呈式を十七日午前十一時から帝國ホテルで舉行した

△學術賞(賞金一萬圓)「小麥の細速に實現を圖ることとなり十日頃各區で町會長會議を開催して趣旨を徹底し廿日頃から受付を開始する」衣料物資、一番必要性の強い「衣料」をとりあげ、布團、毛布、蚊帳、座布團、衣類を主眼とした

【十七日】去る九月廿日の第四回航空日を記念して航空局が中心となり軍民航空を網羅する内容の航空歌曲「大航空の歌」を制定すべく、詩は西條八十氏、作曲は数名の作曲者に依頼のうへ、一流の權威による慎重な審査の結果佐々木俊一氏の作曲を一等に選り、歌詞、歌曲の正式決定を見た

【大航空の歌】見よ見よ大空に荒鷲が撃ちてしまよ大空に翼をばたく亜細亜の新歴史世界は明けゆく日の本の翼、翼、輝く翼高く初舞く翼より(以下略)

【廿八日】都市疎開實施要綱の決定により愈々疎開の本格的實施期に入つたが、東京都ではこんど二百二十七萬七千五百圓の豫算を計上、衣料物資疎開の實施を決定、新春早々急

皇都の疎開方針本極り

【廿八日】都市疎開實施要綱の決定により愈々疎開の本格的實施期に入つたが、東京都ではこんど二百二十七萬七千五百圓の豫算を計上、衣料物資疎開の實施を決定、新春早々急

速に實現を圖ることとなり十日頃各區で町會長會議を開催して趣旨を徹底し廿日頃から受付を開始する」衣料物資、一番必要性の強い「衣料」をとりあげ、布團、毛布、蚊帳、座布團、衣類を主眼とした

荷物、一梱は三尺三寸平方高さ一尺六寸重さ八貫匁(廿キロ)を標準とする

【廿八日】官廳疎開の第一陣を承つて内閣恩給局が平木局長以下人も建物も麹町區和田倉門の廳舎を引拂つて神奈川縣小田原市に疎開新春一月一日から開始執務する、内閣恩給局の疎開は去る十月十二日の官廳疎開に關する附議決定に基いて一ヶ月掛りで疎開通地を物色十一月十二日に小田原市網一色三〇三の舊神奈川縣淡水植指導所廳舎に決定したもので本部以外の第一分室は同市大窪國民學校

【廿八日】官廳疎開の第一陣を承つて内閣恩給局が平木局長以下人も建物も麹町區和田倉門の廳舎を引拂つて神奈川縣小田原市に疎開新春一月一日から開始執務する、内閣恩給局の疎開は去る十月十二日の官廳疎開に關する附議決定に基いて一ヶ月掛りで疎開通地を物色十一月十二日に小田原市網一色三〇三の舊神奈川縣淡水植指導所廳舎に決定したもので本部以外の第一分室は同市大窪國民學校

【廿八日】官廳疎開の第一陣を承つて内閣恩給局が平木局長以下人も建物も麹町區和田倉門の廳舎を引拂つて神奈川縣小田原市に疎開新春一月一日から開始執務する、内閣恩給局の疎開は去る十月十二日の官廳疎開に關する附議決定に基いて一ヶ月掛りで疎開通地を物色十一月十二日に小田原市網一色三〇三の舊神奈川縣淡水植指導所廳舎に決定したもので本部以外の第一分室は同市大窪國民學校

學術

文獻翻譯の體制成る

【六日】文部省では去る七月豫算五十萬圓をもつて海外學術文獻の翻譯事業實施を實施、その後九月に翻譯事業實施要綱を定めてわが國學術文化の進展に資すべく國內にある貴重な海外學術文獻の統一整備や友邦ドイツに海外文獻入手連絡のための囑託を駐在させたなど着々その事業實施に努めてきたが、このほど東京教授掛谷宗一理博、同眞島正一工博、同宮川米次醫博、資源科學研究所長柴田桂太博士九大名譽教授桑本或雄理博などの權威者よりなる翻譯審議委員廿名及調査委員五十名を委嘱し翻譯文獻については①學生用として高等專門學校以上における教育に適當なるもの②研究者用として科學研究の促進に必要なるもの③國民用として一般の科學力の啓培に價值あるもの、また翻譯文獻については専ら研究者用のものとして④高度の科學研究に價值あるもの⑤科學研究に急務に必要なるもの、また複寫文獻についての公共研究機關に必要欠くべからざるもの等選定の標準として慎重なる調査審議を重ねた結果その第一回翻譯文獻並に翻譯者及校閲者として翻譯文獻の決定を見たのでこれ組織の企畫に關すること③重要課題の研究遂行に要する研究費研究用

第一回科學研究動員委員會

【六日】去る廿五日設立された科學研究委員會ではこのほど百餘の重要題目共同研究組織の成案を見るに至つたので、六日文部省會議室に第一回委員會を開催、全部原案通り決定した、科學研究動員委員會の規程並正副委員長、常任委員の顔觸れは左の通りである

△學術研究會議科學研究動員委員會規程 第一條 學術研究會議官制第十條に依り學術研究會議に科學研究動員委員會(以下動員委員會と稱す)を置

【六日】去る廿五日設立された科學研究委員會ではこのほど百餘の重要題目共同研究組織の成案を見るに至つたので、六日文部省會議室に第一回委員會を開催、全部原案通り決定した、科學研究動員委員會の規程並正副委員長、常任委員の顔觸れは左の通りである

資材等に關すること(四) 研究成果の活用に関する事(五) 其の他科學研究員と必要なる事項

第三條 勳員委員會は委員長副委員長及委員若干人を以て之を組織す委員長、副委員長、委員は學術研究會議會長、副會長、會員關係各高等官及學識經驗者の中より文部大臣の依囑し又は之を命ず

委員長、副委員長及委員の任期は一年とす

第四條 委員長は必要に應じ委員會を召集し其の議長と爲る

委員長事故あるときは副委員長其の職務を代理す

第五條 勳員委員會に常任委員會を置く勳員委員會の委任を受け其の職務に關する事項の一部を處理す

常任委員會は勳員委員會の委員長及副委員長並に勳員委員會の委員にして文部大臣の指名したる者を以て之を組織す

科學研究員委員會名簿
△委員長 學研副會長 東大 名譽教授 博林 春雄 △副委員長 學研會員 東大 學長 工博 八木 秀次
△常任委員 學研會員 四部 副部長 東大 教授 農博 雨宮 育作、學研會員 一部長 東大 教授 理博 掛谷 宗一、學研會員 大 教授 醫博 久野 山直人、學研會員 大 教授 醫博 土野 龜次、學研會員 東京 文藝 長理 博 關口 鯉吉、學研會員 東大 第二 學部 長 瀨 藤 象二、東大 航研 所 長 工博 中西 不二夫、學研會員 一部 副 部長 東大 教授 理博 西川 正治、學研會 員 齋 藤 試驗 場 長 農博 平塚 英吉、學研 會員 二部 副 部長 東大 教授 工博 眞 島 正 市、學研會員 三部 副 部長 東大 教授 醫 博 宮 川 米 次

科學研究員會議本會議【十四日】 四日首相官邸において開催、議題第一、陸海軍並に關係官廳より提案の重要研究課題につき審議検討を加へ次いで議題第二、我國科學技術動員 の綜合計畫策定實施に對し基本的事項を指示する科學技術動員綜合動員 計畫策定實施要領を審議決定し午後 一時半散會した

陸軍技術有功章授與式舉行

【廿一日】 昭和十八年度前期陸軍技 術有功章授與式は嚴密な審査の關門 を通つた榮えの功勞者を集め廿一日 午後二時三十分から陸軍省內大講堂 で東條兼攝陸軍大臣席の下に嚴肅に舉 行された、技術有功章被授與者並に 研究課目左の通り

△甲 海水脱鹽法に之が實用化研究 (糧秣本廠) 陸軍技師 小山 榮二、陸 軍主計中尉 山中 茂 △甲の下 火藥噴 進に關する研究 (技研) 陸軍大佐 野 村 政彦、(技研) 陸軍中佐 尾形 康二、 (東造) 陸軍兵技少佐 秋光 健一 △同 超強力輕合金の研究 (住友金屬) 北原 五郎 △同 水冷式高速單座戰鬥機 (川 崎航空機) 技師 土井 武夫、技師 大和 田 信 △同 アルミニウム軸承合金 (航技研) 陸軍航技中尉 水野 昂一 △同 航空エチル液の製造 (保土ヶ谷化學 工業) 篠崎 平馬、日本曹達 平田 俊 次 △同「マラリヤ」原虫集法並に「マ ラリヤ」補體結合反應に關する研究 (軍醫學校) 故陸軍軍醫大佐 佐々木 道 陸軍軍醫少佐 横山 郁郎、陸軍軍醫中 尉 小山 善三 △同 寫眞乳劑用「ゼラ チン」の合成抑制體 (富士寫眞フイル ム) 技師 藤澤 信、技師 福田 伸郎、技 師 大庭 成一 △乙 光學ガラス製造に

關する研究 (日本光學) 長岡 正男 △ 同 中小口徑砲用鐵素裝製造方式の 確立名造、大造、大造 △同 夜間戰 闘に於ける視力増強に關する研究及 之に關する發明 (技研) 植村 操 △同 自動印刷用線電信機機秘密裝置 (運 輸通信省) 技師 石川 武 (電氣試驗所) 技師 梶正 明 △同 車輛無線機機周波 數安定に關する研究 (日本無線) 梶 村 善近 (登戶研究所) 成田 達 (東洋 通信機) 前田 豐次 △同 高射對擊盤 の發明 (技研) 陸軍少佐 岡本 正彦 (豫 士校) 陸軍教授 小西 勇雄 △同 要地 高射砲の製造設計並に製造方式の研 究 (日本製鋼) 新谷 哲次、北大 路 信 勝 △同 砲身其他他深孔中グリ作業 法の研究並に火砲砲架熔接化の研究 (大造) 陸軍兵技少佐 木下 秀雄 △同 將校准士官軍裝用軍刀の製造法に關 する研究 (小造) 陸軍兵技少佐 太田 宰治 △同 銃劍製造に關する研究考 案 (豐田 自動織機) 河原 潤次 △同 長砂時火道藥 (東造) 陸軍兵技大尉 田 中 泰藏 △同 自動進角機銃聯動裝 置 (中島飛行機) 技師、程原 宋二 △ 同 大口徑航空機砲 (日本特殊鋼) 技師 六角 亨、技師 木本 寅吉 △同 航 空機機弁ネ及機銃弁ネ用鋼材等の製 造 (神戸製鋼) 高尾 善一郎 △同 耐 熱輕合金「コヒタリウム」(神戸製 鋼) 伊丹 榮一郎 △同 材質判別裝置 (三菱重工業) 技師 水谷 太郎 △同 特 殊飛行機 (前田航研工業) 前田 健一 △同「ブタノール」酸酵を利用する 「イソオクタン」製造 (協和化學) 加藤 辨三郎 △同 高温高壓製油用鋼 管の研究及工業化 (住友金屬) 絹川 武良司 △同 海水より直接臭素の製 造 (理研金屬) 永井 亮三 △同「ポリ ゴイニールアルコール」系合成纖維

に關する研究 (被本) (京都帝大) (囑 託) 櫻田 一郎 (鐘紡理化學) 技師 矢 澤 將英 △同 無鐵軍靴 (コム底軍靴) (被服本廠) 陸軍主計少佐 鈴木 彌市 △ 同 航空糧食を以てする航空人的職 力増強の研究 (航技研) 陸軍主計大 佐 川島 四郎、陸軍技師 若垂 莊二、陸 軍主計中尉 田代 實 △同 東一式治療 用補助器並に義肢及東一式完裝義肢 創案及之により治療訓練 (巨東一病 院) 陸軍軍醫少佐 保利 清 △同 羊毛 纖維の連續染色法に關する研究「蛋 白纖維の「アルコール」化加工法 (製 絨廠) 陸軍技師 宮坂 和雄 △同 取敢す 乙又は丙とし今後の成果により追賞 あるべきを豫期するもの) 酸素噴射 法の研究 (航技研) 陸軍航技中尉 吉 田 正一 (中島飛行機技師) 工藤 義人 △同 (同) 二重反轉「プロペラ」を 有する串型配列の大馬力發動機 (八 二〇一) の完成 (川崎航空機) 技師 中野 隆吉 △丙 ○に關する研究 (兵器行政本部) 陸軍中佐 鹿毛 貢 △ 陸軍主計少佐 中村 上恭平 △同 商省) 技師 川村 實平 △同 一式不定 延期彈頭信管の發明 (東造) 陸軍兵 技少佐 渡邊 三郎 △同 挿彈子製造方 式の改善研究 (東京電氣) 飯塚 保之 助 △同 斜齒齒齧車切削用器具 (日 立製作所) 技師 湯淺 隆一、技師 小 坂 一郎 △同 飛行機用防漏油槽 (安川電機 加來 鐵工所) 型鐵造夫 和男 (航技研) 陸軍航技中尉 今村 流 動作業化並に航空機部品品の能 (大 造) 陸軍少佐 土井 慎爾、陸軍兵技大 尉 北川 均二 △同 研磨劑の濕式製造 法 (東造) 陸軍兵技中尉 三橋 剛 △ 同 不銹鋼製放熱器 (山本放熱器) 山本 一三 △同 (同) 特殊鋼鑄物 (神 戶製鋼) 吉岡 佐一郎、横山 義明 △ 同 落下槌及水壓機用型の急速製造 鋼法 (航空工廠) 陸軍技師 波多 江 市 造

研究 (住友金屬) 永井 亮三 △同「ポリ ゴイニールアルコール」系合成纖維 研究 (住友金屬) 小島 義正 △同 鋼 法 (航空工廠) 陸軍技師 波多 江 市 造

△同(同)同調機砲裝備就中發射
聯動機の制禦に關する研究(川崎航
空機)二宮香二郎△同(同)水冷發
動機を裝備せる飛行機の蒸氣翼面冷
却法に關する研究(川崎航空機)北
野純、技師佐々長政△同(同)植込
鱒氣箱(正田飛行機)技師小林虎男
△同(同)航空潤滑油の製造(ミ
シ化學、日本燃料廠囑託、東大、日
本特殊油、東京工業大學)川村修二
九田芳郎、教授永井雄三郎、大畑保
之、小林良之助△同(同)青酸ガ
ス豫防食の創製(糧秣本廠)陸軍技師
藤山諭吉△同(同)特殊水筒の考案
(糧秣本廠)陸軍主計大尉池田眞次
郎△同(同)急速設定板敷滑走路に
關する研究(北部軍)陸軍建技少佐
佐藤慎一△同(同)油回收裝置の考案外
十六件(名造)雇員頭頭次郎△同
小銃銃身壓延ローラー薄削裝置の考
案外十六件(名造)雇員小出鍋吉△
同(同)野戰簡易製糖機の考案(糧秣本
廠)囑託天野良久△同(同)馬手術用
△倒馬梅(獸醫學校)囑託橋本誠藏

辭令

文部省
△十一日

帝國學士院會員被仰付
熊谷 信藏

教育

大學、高專等全面的に
編成替

【廿三日】今回斷行された徴兵年齢

引下げは同時に學制の根本的刷新を
必要とするに至つたので、政府は去
る廿一日の閣議に學校整備要領を附
議之を決定、廿三日午後三時半左の
如く要領全文と文相談を發表
△情報局發表(二十三日)

△教育に關する戰時非常措置

方策に基く學校整備要領
議に閣議に於て決定せる「教育に關
する戰時非常措置方策」中高等學校
專門學校及大學の整備に關しては當
面の時局に即應して左の要領に依り
之を實施するものとす
第一 高等學校 ①文科學級の整理
昭和十九年度に於ける官立高等學校
文科の募集人員は第一高等學校にあ
りては一學級とす、公私立高等學
校文科に於ては右に準ずるものとす
②理科學級の擴充 昭和十九年度に
於ける官立高等學校理科の募集人員
は第一高等學校乃至第八高等學校に
在りては八學級、其の他の高等學校
に在りては五學級とす、公私立高等
學校理科に於ては可能な限り之が
擴充を圖るものとす

前號に依り工業專門學校に轉換すべ
き學校に於ては現に在籍する生徒の
卒業する迄之を新なる工業專門學
校と併存せしむるものとすも必要
に應じ其の生徒教育を他校に委託す
るものとす③外國語學校の刷新整備
外國語學校は外事專門學校(假稱)
とし大東亞其の他海外諸民族の諸事
情並に其の言語を綜合的に修得せし
むるやう其の教育内容を刷新せし
むるに於ては其の修業年限は之を三年とす
④音樂學校及美術學校の刷新整備
音樂學校に於ては其の教育内容を刷
新し男子の入學者數を減少すると共
に入學資格を中等學校第三學年修了
とす⑤美術學校に於ては其の教育内
容を刷新すると共に入學資格を中等
學校第三學年修了とし其の修業年限
は之を四年に短縮す⑥國庫補助 公
立の理科系專門學校の擴充又は文科
系專門學校の理科系專門學校への轉
換に要する經費に對しては國庫より
適當な補助を爲すものとす ⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

①理科系專門學校の整備擴充、理科
系專門學校に於ては其の組織、教育
内容等を刷新し其の收容力を擴充す
夜間の男子理科系專門學校及明治專
門學校の修業年限之を三年に短縮
す

②高等商業學校の轉換及刷新整備
③高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす④

第二 專門學校 ①官公立專門學校
②理科系專門學校の整備擴充、理科
系專門學校に於ては其の組織、教育
内容等を刷新し其の收容力を擴充す
夜間の男子理科系專門學校及明治專
門學校の修業年限之を三年に短縮
す

③外國語學校の刷新整備
外國語學校は外事專門學校(假稱)
とし大東亞其の他海外諸民族の諸事
情並に其の言語を綜合的に修得せし
むるやう其の教育内容を刷新せし
むるに於ては其の修業年限は之を三年とす
④音樂學校及美術學校の刷新整備
音樂學校に於ては其の教育内容を刷
新し男子の入學者數を減少すると共
に入學資格を中等學校第三學年修了
とす⑤美術學校に於ては其の教育内
容を刷新すると共に入學資格を中等
學校第三學年修了とし其の修業年限
は之を四年に短縮す⑥國庫補助 公
立の理科系專門學校の擴充又は文科
系專門學校の理科系專門學校への轉
換に要する經費に對しては國庫より
適當な補助を爲すものとす ⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

⑦私立
專門學校(大學專門部を除く) ⑧理
科系專門學校の整備擴充 理科系專
門學校に於ては可能な限り之が整
備擴充を圖るものとす ⑨文科系專
門學校の轉換及刷新整備 ⑩文科系
專門學校に於ては其の教育内容を刷
新整備す⑪文科系專門學校にして學
校の種類、規模、地理的配置等を勘案
し統合可能なものに於ては之が實現
を圖るものとす⑫文科系專門學校の
入學定員は從來の入學定員の概ね二
分の一程度とす、但し時局下特に緊
要なりと認めらるる種類の學校並に
統合したる學校に在りては其入學定
員に付特別の考慮を爲すことあるも
のとす⑬文科系專門學校にして理科
系專門學校へ轉換可能なものに於て

④高等商業學校の轉換及刷新整備
⑤高等商業學校に於ては一部之を
工業專門學校に轉換し其の他け生産
技術をも修得せる工業經營者を養成
すべき工業經營專門學校(假稱)又
は從來の高等商業教育の内容を刷新
したる經濟專門學校(假稱)とす⑥

處置に付ては別途速に之を定む(四)女子教育に關しては別途考究す

△文部大臣談

今回の措置の主眼點は、第一は教育内容を刷新して時局に即應せしめ、又教育の能率化に稽へて兵役との調整を行つた點である、第二には科學技術者増加養成のため理科系學校の補充、文科系學校の理科系への轉換等を行つたのである、第三は勤勞動員の徹底の實施を目標とし、學徒動員を教授日數の三分の一程度迄に増加すると共に、勞務上の要求に即應して文科系學校の定員を縮減し或は文科系學校の充實を期する爲統合可能なものには之が實現を圖る事としたのである、第四は精神科學研究振興のため文科系大學及大學より轉換したる專門學校に付ては精神科學の研究を繼續する爲諸般の處置を講ずることとしたのである、私立の理科系學校の整備充並に文科系學校に於ける研究の繼續及轉退職教員に對する退職金又は轉退職手當等に要する資金等に對しては政府に於て適當なる補助を爲すこととしたのである

中等入試考査に決戦措置を採る

【九日】文部省で中等學校入學試験に關してその選抜方法など萬全の措置を講ずべく鋭意研究の結果ここに成案を會て九日各地方長官宛通牒した、今回の選抜方法は昭和十八年の東京都における中等入試に絡む疑獄事件の發生により選抜判定のため國民學校からの報告書内申書が擔任教師の獨斷で左右される點にとかく情實が介在し勝ちな事實が明らか

にされたため、不正の介在點を徹底除去せんとするもので來春の考査は原則として志望中等學校を地域の限定する學區制と二校以上の志願者をまとめて考査する綜合考査制が次のやうに實施される

△考査方法

現行考査法と同様人物考査、身體検査、國民校長の報告(内申書)の三つを綜合して判定するが本年までは三者を等價値においてきたのを來年度は地方の實情により地方長官の裁量により内申書中心或は身體検査中心など適當なる判定方法を決定その公正を期する「人物考査」において従前通り口問口答を本體として兒童の日常生活において經驗する事情について徳性に基つて判斷を考査するが大都市などにあつては人物考査の適正を期するためにも人物考査としての口問筆答などを行ひ智徳一體の考査をもつて合否決定を圖る措置も講ぜられる「身體検査」において従來のやうに懸垂何回が何點といつた機械的な判定でなくあくまで総合的に身體検査を行き、報告書の作成については次の如き點を改める

すなはち學籍簿のまま報告書を作成することと學籍簿の改正を期することの二點である、これにより従來の報告書のごとく入試時期において擔任訓導だけに於いて作成されるものと異つた學校の責任ある學籍簿よりの轉記文書となるものである

高校入試概要決定

【十三日】十三日文部省において開かれた官公私立高校長會議において文科の縮減と理科の擴充に關し來春の入學者選抜方針を文部省より指示したが、全國官立高校選抜試験に關する概要は左の如くである

△試験科目

三月一日
①文科 ②理科 ③國史及作文、數學
④國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑤國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑥國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑦國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑧國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑨國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑩國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑪國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑫國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑬國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑭國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑮國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑯國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑰國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑱國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑲國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
⑳國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉑國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉒國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉓國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉔國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉕國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉖國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉗國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉘國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉙國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉚國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉛國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉜國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉝國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉞國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㉟國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊱國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊲國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊳國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊴國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊵國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊶國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊷國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊸國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊹國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊺國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊻國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊼國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊽國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊾國文解釋、漢文解釋、作文、文法、
㊿國文解釋、漢文解釋、作文、文法、

官立專門校募集要項發表

【廿一日】來春の官立專門學校の生徒募集要項が二十一日發表された、募集要項は左の通り

△試験科目

①工、農、醫、商、藥、
②外國語、
③國史、國語、數學、理科物象、
④國史、國語、數學、理科物象、
⑤國史、國語、數學、理科物象、
⑥國史、國語、數學、理科物象、
⑦國史、國語、數學、理科物象、
⑧國史、國語、數學、理科物象、
⑨國史、國語、數學、理科物象、
⑩國史、國語、數學、理科物象、
⑪國史、國語、數學、理科物象、
⑫國史、國語、數學、理科物象、
⑬國史、國語、數學、理科物象、
⑭國史、國語、數學、理科物象、
⑮國史、國語、數學、理科物象、
⑯國史、國語、數學、理科物象、
⑰國史、國語、數學、理科物象、
⑱國史、國語、數學、理科物象、
⑲國史、國語、數學、理科物象、
⑳國史、國語、數學、理科物象、
㉑國史、國語、數學、理科物象、
㉒國史、國語、數學、理科物象、
㉓國史、國語、數學、理科物象、
㉔國史、國語、數學、理科物象、
㉕國史、國語、數學、理科物象、
㉖國史、國語、數學、理科物象、
㉗國史、國語、數學、理科物象、
㉘國史、國語、數學、理科物象、
㉙國史、國語、數學、理科物象、
㉚國史、國語、數學、理科物象、
㉛國史、國語、數學、理科物象、
㉜國史、國語、數學、理科物象、
㉝國史、國語、數學、理科物象、
㉞國史、國語、數學、理科物象、
㉟國史、國語、數學、理科物象、
㊱國史、國語、數學、理科物象、
㊲國史、國語、數學、理科物象、
㊳國史、國語、數學、理科物象、
㊴國史、國語、數學、理科物象、
㊵國史、國語、數學、理科物象、
㊶國史、國語、數學、理科物象、
㊷國史、國語、數學、理科物象、
㊸國史、國語、數學、理科物象、
㊹國史、國語、數學、理科物象、
㊺國史、國語、數學、理科物象、
㊻國史、國語、數學、理科物象、
㊼國史、國語、數學、理科物象、
㊽國史、國語、數學、理科物象、
㊾國史、國語、數學、理科物象、
㊿國史、國語、數學、理科物象、

千葉醫大藥專(五〇) 金澤醫大藥專(五〇) 長崎醫大藥專(六〇) 計約三六〇 京都工藝第一(二〇五) 第一(四〇) 名古屋高工(第一) 第一(四) 第二(二〇〇) 熊本高工(五) 第一(一〇) 米澤高工(三二五) 桐生高工(二八〇) 横濱高工(第一) 第一(二〇) 第二(八〇) 廣島高工(第一) 第一(三) 第二(二二〇) 金澤高工(四) 第三(七〇) 東京工藝(第一) 第一(四三) 第二(二四〇) 神戸高工(第一) 第一(一〇) 第二(二二〇) 濱松高工(一五) 德島高工(三三五) 長岡高工(三八〇) 福井高工(三六〇) 山梨高工(四四〇) 秋田鑛山(五六〇) 室蘭高工(二〇〇) 盛岡高工(四〇) 多賀高工(四〇〇) 大阪高工(第一) 第一(四四〇) 第二(二二〇) 宇部高工(四四〇) 新居濱高工(二四〇) 久留米高工(三三〇) 長野高工(二〇〇) 北土木專門部(三〇) 計(第一) 第一(約九、六〇八) 第二(約七、二〇〇) 盛岡農林(一八五) 鹿兒島農林(一六〇) 鳥取農林(一六〇) 三重(一六〇) 宇都宮農林(二二〇) 岐阜農林(二五五) 宮崎農林(二一四) 千葉園藝(九〇) 東京農林(一〇) 帶廣獸醫(二二〇) 函館高水(二二〇) 北大實科(六〇) 計約一、八八〇 前橋醫專(二二〇) 東大醫專(六〇) 京大醫專(二〇〇) 東北大(六〇) 九大醫專(六〇) 北大(一〇〇) 阪大醫專(一一〇) 名大醫專(一〇〇) 新潟大醫專(八) 岡山大醫專(八〇) 千葉大醫專(八〇) 金澤大醫專(八〇) 長崎大(八〇) 熊本大醫專(八〇) 東(八〇) 京大(一〇〇) 計約一、三〇〇 富山藥專(二〇〇) 熊本藥專(二〇〇)

師範學校は千五百名を増員

【廿二日】來春の師範學校生徒募集要項が廿二日發表された、募集概要は左の通り

「本科」△選抜方法 人物考査、身體検査、學力試験の三成績を併せ考査する△學力試験 三月十日志願校において行ひ科目は國語(國文解釋と作文) 國史數學の三科目、△人物考査、身體検査 三月十一日 十五日までの間△出願期 一月十日か

ら三月一日まで

「豫科」△選抜方法：人物考査と身體検査に國民學校長の報告書を併せ考査する△試験期日、出願期間△追て學校において定められる

「専科」△選抜方法：豫科修了者は本科に準じて行ひ本科卒業者は別に試験は行はれない△出願期間試験期日：學校において定められる

なほ募集人員は本科においては男子五、七五〇名女子四、三一九名、合計一〇、〇六九名、豫科においては男子四、六四〇名、女子二、四〇〇名、合計七、〇四〇名、専攻科においては九四〇名である

中等初年用修身、歴史教科書決定

【十六日】中等學校の國定教科書「修身」と「歴史」の原案が十六日文部省で開かれた教科用圖書調査會第三部會において決定した、中等修身一、二は男子中等學校第一、第二學年用のもの、中等歴史一は第一、第二學年用のもので、學制改革による學年短縮の裡にも日本の公民としての自覺と修練とを主旨として苦心編纂されたものである

中等學校入學考査要項の細目決る

【廿七日】來年度東京都下中等學校入學者選抜考査要項は二十七日東京都教育局から發表された、要項左の通り

公立も人物考査において補充的試問方法として口問、口答と同一趣旨による簡易な筆問筆答を加味人物考査に完全を期す(報告書にはそれぞれ學年末の成績を學籍簿記載のまゝ轉記し、席順はつきない、從來の優良可の評語配分基準撤廢により、秀、優、良上、良下、可の評語が轉記されることとなる)④人物考査に重きをおき口問口答を本體とし、補充的措置の筆問筆答は兒童の人物全體を察知することを旨とした簡易なもの、準備勉強は全く不要、毎日の國民學校の勉強をしつかりやつておればよく主問題は都で統制する(學區制のものは學區別に)⑤身體検査は從來通り中等學校教育に堪へ得るか否かを目標とし、トラホーム極度の近視、色視、疾病は重視するが身體の一部に缺陷(不具)があつてもそれだけで不合格になることはない

第一回と第二回の學校の收容力を大體七、三の割合になるやう都で統制する⑥公立中女學校は綜合考査別による關係上全部第一回とする⑦第一部は三月十四日考査開始、廿二日迄に結果發表、第二回は三月廿六日考査開始、卅日迄に結果發表(考査期日は高校尋常科及近縣とも打合せ第一日を合せた)⑧中等學校第二部(夜間)の考査期日は退つて決定

三、入學願書及び報告書 ④入學願書及び報告書提出期日(第一回)三月十四日(第二回)三月十五日 ⑤入學願書及び報告書提出期日(第一回)三月十四日(第二回)三月十五日 ⑥願書に改められた報告書は從來通り一回に通つて今までは報告書が切期日前なら報告書の提出替へが出来たが志望校の考査場に提出、從つて學區内ならいくらでも志望出来るが願書は一通でよい⑦他の學區内の學校でも保護者の住居地から約三軒以内になれば志望出来る、この場合この學校が第一志望校となりこの學區内の學校は全部志望出来るが、自分の屬したる學區内へは志望出来ない⑧隣接縣から高志願者は都下に本籍があるか、保護者が都下に生活の本據を持つてゐる場合に限り保護者の住居地から約卅分以内で通學出来る學校なら一校に限り志望出来る、但し第一志望以上の上の恩恵はない⑨萬一空襲は都都における認可及び無認可各種學校に對し慎重調査をすすめその對策を論じてゐたがその整理案がまゝ十一日發表された⑩認可各種學校中主として女子中等學校に昇格のため自然消滅となるべきも自發的に認可申出された中四十六校⑪無認可各種學校八十四校は閉鎖となつて無認可各種學校は帝都から全く姿を消し生徒は時局の要請に應じ生成職域に挺身することとなつた、これによる校舎その他は時局需要方面の用途に向けられる模様である

無認可學校内譯 △洋裁學校四十校 △タイピスト學校廿六校 △豫備校七校 △その他十一校

都下實業、家政校の戦時改組【廿四日】東京都では「教育に關する戦時非常措置に伴ふ都立學校の轉換、改組措置要領」を決定發表された、これによると今回の戦時非常措置の重點は男子商業學校の轉換に置かれ、現在都下に廿三校に上る私立商業學校のうち、私立商業は未決定のもの數校を除いてその大部分は工業學校に

都下百四十四校整理

【十一日】苛烈なる戦時下學制完遂を期しきき開議決定された教育に關する戦時非常措置により東京都では帝都における認可及び無認可各種學校に對し慎重調査をすすめその對策を論じてゐたがその整理案がまゝ十一日發表された⑩認可各種學校中主として女子中等學校に昇格のため自然消滅となるべきも自發的に認可申出された中四十六校⑪無認可各種學校八十四校は閉鎖となつて無認可各種學校は帝都から全く姿を消し生徒は時局の要請に應じ生成職域に挺身することとなつた、これによる校舎その他は時局需要方面の用途に向けられる模様である

青年校教員に一律六圓増俸

【十日】文部省では青年學校並に中等學校教育の刷新整備に即應じてこれ等學校教員の待遇改善をはかることとなり、新年度經費を明年度豫算に計上した、青年學校教員の俸給手當その他一切の支給費は從來市町村が

青年校教員に一律六圓増俸

【十日】文部省では青年學校並に中等學校教育の刷新整備に即應じてこれ等學校教員の待遇改善をはかることとなり、新年度經費を明年度豫算に計上した、青年學校教員の俸給手當その他一切の支給費は從來市町村が

轉換する一方、都立では(一)商業學校として存続せしめるもの第一商業芝商業の二校(二)工業學校に轉換せしむるもの第二商業、京橋商業、第三商業等七校(三)夜間商業學校で女子商業學校に轉換せしむるもの深川商業、龜町商業等八校(四)夜間商業學校中牛込第二商業、牛込商業、杉並商業の三校、畫問併設の乙種商業學校第一商業專修科は明年度募集を中止することとなつた

中等商業學校生は第一線の生産陣へ轉換するため特に機械科に屬する短期の技能訓練を實施し簡單な技術 mastered したる工場經營に關する技能を修得せしめる機械技能者養成施設を各都道府縣に設置せしめることになり、この旨廿七日文部省より關係地方長官宛通牒を發した、臨時機械技能者養成施設は本年十二月男子中等商業學校を卒業する者のなから學業成績の優秀なる者約六千名を選び明年一月より三月までの三ヶ月間工業都市

【廿八日】女子中等學校の卒業者はすべて看護婦として戦時勤務に配置すべく女子中等學校生に看護に關する補習教育を強化し、この補習教育修了者には看護婦免狀を附與することになり、この旨廿八日文部厚生兩省より二十日各地方長官宛通牒し、女子中等學校卒業生への看護婦免狀附與については現在の高等女學校科目のうち育兒、保健、家事、生物などで一應看護に關聯する教科修練を實施してゐるが、更に一步を進め、戦時看護に關する教育を徹底充實することに、新制高等女學校による昭和二十一年度卒業生に對しては卒業期間、また現在卒業してゐる者も百三十八時間所定の學校において看護に關する補習教育を修了すれば看護婦免狀が附與されることになつた

【廿三日】恩賜財團愛育會、日本小兒保健報國會、および日本母性保護會の三團體は更にその活動の徹底を期するため厚生、文部兩省の勸奨に應へて今回三者打つて一九となり、新團體恩賜財團大日本母子愛育會を結成總裁に長く久邇宮大妃殿下を奉戴愛育會會長松平賴壽伯が會長武井厚生菊地文部兩次官および元宮内次官關屋貞三郎の三氏が副會長となつてその下に常務理事五名を置くなほ同會は小兒保健部と母性保健部の二部に別れ、乳幼児死亡率低下乳幼児營養不良の解消および妊産婦保健指導の適正を目標として強力な運動を展開するが全國に支部を置き支部長には地方長官が委嘱されるとともに支部事業の飛躍的發展が企圖されてゐる

【廿七日】女子挺身隊動員本部とみられたる女子勤務動員協議會が來春早々警視廳に設けられ海田警視總監が會長となり警視廳保安部長、職業課長、都教育局長、民生局長等警視廳、都の首腦部陣を網羅して女子挺身隊の動員司令部の強力な運営を圖るほか、挺身隊結成の具體的方法や工場、事業場別挺身隊割當が確立され、明春學窓を巢立つ女子中等學校生や女子各種學校在學生徒の挺身隊結成方法、派遣先の振當が取決められるなど女子挺身隊の全面的活動が期せられる

【廿七日】本年十二月卒業する男子

【廿八日】女子中等學校の卒業者はすべて看護婦として戦時勤務に配置すべく女子中等學校生に看護に關する補習教育を強化し、この補習教育修了者には看護婦免狀を附與することになり、この旨廿八日文部厚生兩省より二十日各地方長官宛通牒し、女子中等學校卒業生への看護婦免狀附與については現在の高等女學校科目のうち育兒、保健、家事、生物などで一應看護に關聯する教科修練を實施してゐるが、更に一步を進め、戦時看護に關する教育を徹底充實することに、新制高等女學校による昭和二十一年度卒業生に對しては卒業期間、また現在卒業してゐる者も百三十八時間所定の學校において看護に關する補習教育を修了すれば看護婦免狀が附與されることになつた

【廿三日】恩賜財團愛育會、日本小兒保健報國會、および日本母性保護會の三團體は更にその活動の徹底を期するため厚生、文部兩省の勸奨に應へて今回三者打つて一九となり、新團體恩賜財團大日本母子愛育會を結成總裁に長く久邇宮大妃殿下を奉戴愛育會會長松平賴壽伯が會長武井厚生菊地文部兩次官および元宮内次官關屋貞三郎の三氏が副會長となつてその下に常務理事五名を置くなほ同會は小兒保健部と母性保健部の二部に別れ、乳幼児死亡率低下乳幼児營養不良の解消および妊産婦保健指導の適正を目標として強力な運動を展開するが全國に支部を置き支部長には地方長官が委嘱されるとともに支部事業の飛躍的發展が企圖されてゐる

【廿七日】女子挺身隊動員本部とみられたる女子勤務動員協議會が來春早々警視廳に設けられ海田警視總監が會長となり警視廳保安部長、職業課長、都教育局長、民生局長等警視廳、都の首腦部陣を網羅して女子挺身隊の動員司令部の強力な運営を圖るほか、挺身隊結成の具體的方法や工場、事業場別挺身隊割當が確立され、明春學窓を巢立つ女子中等學校生や女子各種學校在學生徒の挺身隊結成方法、派遣先の振當が取決められるなど女子挺身隊の全面的活動が期せられる

【廿日】結成以來十九年にわたり野球を通じて學徒體育報國に邁進してきた東京大學野球聯盟では過般文部省よりの指示に基き、去る四月開催の理事會において解散を決議したが、同聯盟所有の光榮ある東京賜盃はこのほど宮内省および文部省と協議の結果宮内省へ返納した

【廿七日】本年十二月卒業する男子

【廿八日】女子中等學校の卒業者はすべて看護婦として戦時勤務に配置すべく女子中等學校生に看護に關する補習教育を強化し、この補習教育修了者には看護婦免狀を附與することになり、この旨廿八日文部厚生兩省より二十日各地方長官宛通牒し、女子中等學校卒業生への看護婦免狀附與については現在の高等女學校科目のうち育兒、保健、家事、生物などで一應看護に關聯する教科修練を實施してゐるが、更に一步を進め、戦時看護に關する教育を徹底充實することに、新制高等女學校による昭和二十一年度卒業生に對しては卒業期間、また現在卒業してゐる者も百三十八時間所定の學校において看護に關する補習教育を修了すれば看護婦免狀が附與されることになつた

【廿三日】恩賜財團愛育會、日本小兒保健報國會、および日本母性保護會の三團體は更にその活動の徹底を期するため厚生、文部兩省の勸奨に應へて今回三者打つて一九となり、新團體恩賜財團大日本母子愛育會を結成總裁に長く久邇宮大妃殿下を奉戴愛育會會長松平賴壽伯が會長武井厚生菊地文部兩次官および元宮内次官關屋貞三郎の三氏が副會長となつてその下に常務理事五名を置くなほ同會は小兒保健部と母性保健部の二部に別れ、乳幼児死亡率低下乳幼児營養不良の解消および妊産婦保健指導の適正を目標として強力な運動を展開するが全國に支部を置き支部長には地方長官が委嘱されるとともに支部事業の飛躍的發展が企圖されてゐる

【廿七日】女子挺身隊動員本部とみられたる女子勤務動員協議會が來春早々警視廳に設けられ海田警視總監が會長となり警視廳保安部長、職業課長、都教育局長、民生局長等警視廳、都の首腦部陣を網羅して女子挺身隊の動員司令部の強力な運営を圖るほか、挺身隊結成の具體的方法や工場、事業場別挺身隊割當が確立され、明春學窓を巢立つ女子中等學校生や女子各種學校在學生徒の挺身隊結成方法、派遣先の振當が取決められるなど女子挺身隊の全面的活動が期せられる

【廿日】結成以來十九年にわたり野球を通じて學徒體育報國に邁進してきた東京大學野球聯盟では過般文部省よりの指示に基き、去る四月開催の理事會において解散を決議したが、同聯盟所有の光榮ある東京賜盃はこのほど宮内省および文部省と協議の結果宮内省へ返納した

【廿七日】本年十二月卒業する男子

【廿八日】女子中等學校の卒業者はすべて看護婦として戦時勤務に配置すべく女子中等學校生に看護に關する補習教育を強化し、この補習教育修了者には看護婦免狀を附與することになり、この旨廿八日文部厚生兩省より二十日各地方長官宛通牒し、女子中等學校卒業生への看護婦免狀附與については現在の高等女學校科目のうち育兒、保健、家事、生物などで一應看護に關聯する教科修練を實施してゐるが、更に一步を進め、戦時看護に關する教育を徹底充實することに、新制高等女學校による昭和二十一年度卒業生に對しては卒業期間、また現在卒業してゐる者も百三十八時間所定の學校において看護に關する補習教育を修了すれば看護婦免狀が附與されることになつた

【廿三日】恩賜財團愛育會、日本小兒保健報國會、および日本母性保護會の三團體は更にその活動の徹底を期するため厚生、文部兩省の勸奨に應へて今回三者打つて一九となり、新團體恩賜財團大日本母子愛育會を結成總裁に長く久邇宮大妃殿下を奉戴愛育會會長松平賴壽伯が會長武井厚生菊地文部兩次官および元宮内次官關屋貞三郎の三氏が副會長となつてその下に常務理事五名を置くなほ同會は小兒保健部と母性保健部の二部に別れ、乳幼児死亡率低下乳幼児營養不良の解消および妊産婦保健指導の適正を目標として強力な運動を展開するが全國に支部を置き支部長には地方長官が委嘱されるとともに支部事業の飛躍的發展が企圖されてゐる

【廿七日】女子挺身隊動員本部とみられたる女子勤務動員協議會が來春早々警視廳に設けられ海田警視總監が會長となり警視廳保安部長、職業課長、都教育局長、民生局長等警視廳、都の首腦部陣を網羅して女子挺身隊の動員司令部の強力な運営を圖るほか、挺身隊結成の具體的方法や工場、事業場別挺身隊割當が確立され、明春學窓を巢立つ女子中等學校生や女子各種學校在學生徒の挺身隊結成方法、派遣先の振當が取決められるなど女子挺身隊の全面的活動が期せられる

【廿日】結成以來十九年にわたり野球を通じて學徒體育報國に邁進してきた東京大學野球聯盟では過般文部省よりの指示に基き、去る四月開催の理事會において解散を決議したが、同聯盟所有の光榮ある東京賜盃はこのほど宮内省および文部省と協議の結果宮内省へ返納した

商業卒業生に技術訓練

【廿七日】本年十二月卒業する男子

厚生

【廿四日】皇太子殿下御誕辰の住き日、二十三日午前十一時から大東亞會館で岡部長、小泉厚相、小林厚生省建民局長、翼賛會、大日本婦人會等各關係者約二百名出席して盛大に舉行された

【廿日】結成以來十九年にわたり野球を通じて學徒體育報國に邁進してきた東京大學野球聯盟では過般文部省よりの指示に基き、去る四月開催の理事會において解散を決議したが、同聯盟所有の光榮ある東京賜盃はこのほど宮内省および文部省と協議の結果宮内省へ返納した

【四日五日】樞軸國交驩球技大會、蹴球①日本②ドイツ③滿洲國(外苑)庭球①日本②ドイツ③インド(田園)卓球男子①日本

體育

女子挺身隊の動員態勢成る

日本藥劑師會設立認可

大日本母子愛育會誕生

榮ある京宮賜盃返納

日誌

(五八頁(續))

大東亞

國民政府

政治・軍事

汪主席共同宣言の意義強調

【南京一日發】國民政府汪主席は日滿華共同宣言詔印三周年に當り過般の日華同盟條約締結と大東亞共同宣言發出による新局面の展開と日滿華の不可分關係を言及、中國の努むべき本分を力説するとともに、三國共同宣言とその擴大宣言ともいふべき大東亞共同宣言の意義を強調する次の如き要旨の談話を一日發表した。日華同盟條約締結後余は日華基本關係條約より日華同盟條約に至る經過について談話を發表これを説明し、同時に今後吾人の努力すべき點につき反復指示を行つた、又一般上海青

日滿華共同宣言に至つてはそれは即ち三國國交の基礎であり、東亞輻輳建設の礎石であり、また大東亞各國團結の基礎であるが、今やさらに進んで大東亞共同宣言發表され兩者の精神と意思は自然に一致して東亞各國が相互に扶助する共存共榮の基本原則は益々明かとなり、共榮圈の範圍も更に擴大された今後の日華關係は大東亞宣言を基礎として東亞輻輳の團結を愈々鞏固ならしめ、大東亞戦争完遂及び大東亞共榮圈建設の實現を圖るべきである、これ又吾人が今日日滿華共同宣言の意義に對し一層認識を深からしめ力行せんとする所以である。

蘇浙皖三省を改廢

【南京十日發】國民政府では中央、地方を通ずる行政機構の緊密一元化による國民政治力の飛躍的増強を期するため今回直轄たる蘇浙皖三省の改廢とその細分化、及び省權限の各縣への一部讓渡、中央地方を通ずる人事の全面的刷新を斷行するに決し、明年早々實施の運びとなつてゐる、

今行政區域の改編は省の細分化によつて行政能率を高める一因となつてゐる、中央地方に當りては直接戰時政策遂行の衝に當つてきた有能な官吏を新設の省長又は縣長に拔擢任用し、中央の戰時政策就中農產物資收買等の圓滑なる運営に遺憾なきを期せんとするものである。

行政院會議で八議案可決

【南京廿九日發】國民政府は廿八日の行政院會議で、棉花統制委員會暫行章程及び棉花統制實施要綱案に關する件、陸軍部再編豫算に關する件、外交官、領事官資格審査委員會暫行規則に關する件等八議案を可決した。

產業案件等を可決

【南京三十日發】國民政府は二十日最高國防會議で左の諸案を可決した。一、華中電氣通信公司の電話使用料改正に關する件、二、保險公費增資辦法に關する件、三、所得稅暫行條令中一部修正の件、四、華北政務委員會治安總署を綏靖

準敵國人取扱ひ解除

【上海十二日發】再び晴れて輻輳國人として共同の敵米英打倒に参加することになつたイタリヤ國人解放に關し、現地關係當局では左の如き談話を發表した。

△現地當局談 在上海イタリヤ國人は九月九日以後準敵國人として取扱はれ來つたが、その後イタリヤにおいてファシスト政府の樹立をみ、帝國政府の承認するところとなり、更に國號も正式にイタリヤ社會共和國と改稱せられたので、帝國政府においては今回東亞に在在するイタリヤ國人中ファシスト政府に忠誠なりと認められる者については準敵國人措置を解除することとなり、當地において十二月十二日右に該當するイタリヤ人の解放を行つた、イタリヤ人の所有管理財産については九月十五日附上海方面帝國陸海軍布告をもつて自由處分を禁止されてゐたが十二月十二日附陸海軍布告により今同解放せられた、イタリヤ國人に關する財産については、軍事上差支へなきものに限って九月十五日附軍布告の適用を解除せらるることとなつた、從つて右に該當するイタリヤ人との取引も今後自由に行ひ得るわけである、なほ現在までのところ上海においてはファシスト政府代表者の任命なきため取敢へず自治委員會を組織せしめイタリヤ關係事務を處理せしめることとなつた。

在北京伊人も解放【北京廿三日發】

在北京在伊イタリヤ人についても廿三日午後二時半北日本總領事館に該當者卅一名を集め現地關係當局者立會の下に宣誓署名をなきしめて解放した、なほこれら解放されたイタリヤ人は北京におけるファシスト政府代表者の正式任命をみるまで居留民委員會を組織して關係各方面と連絡に當ることとなつた。

中國純正國民黨全國黨務工作會議

【南京十二日發】中國純正國民黨は國民政府還都以來初の全國黨務工作會議を南京に招集、十、十一日の兩日中央常務委員、中央委員、全國各地黨部代表出席、汪主席の司宰で黨政關係の基本方針黨活動基本方針今後における黨の工作計畫等に關し慎重討議を遂げ、決戰第三年に處すべき黨の態度として左の五方針を決議した。

今次黨務工作會議の開催は政府と表裏一體となつて戰時建設諸施策を民衆に滲透せしめると共に、大東亞戰爭完遂に對する中國の責任を果し中華復興の實現を促進すべく、また懸案の國民黨強化の第一歩とも見られ各方面より重視されてゐる、決議事項次の通り。

各級黨部組織を強化し量質ともに黨員の充實をはかり中心工作を確定すると共に、視導制度を勵行して考績辦法を實行し、これによつて黨組織と活動の範圍を擴張せしめる、明年年度訓練工作方針については、一般黨員の平常訓練を行ふほか、定期的に中央黨部訓練團を招集して訓練の強化を計る、全黨員を動員し、新國民黨運動第二期實施工作の推進に参加せしめ、「思想肅清」「治安確保」「生産増加」の三大方針を掲げて、宣傳を主體とする、思想戰を強化する、また「戰時生活の確立」「増産運動参加」「治安強化協力」を以て工作實踐の重點とせし、民衆に對しては極力「農村へ還れ」と呼びかけることによつて國民組織の基礎たる農村を確立し、併せて都市と農村の青年相互間の緊密なる連繫を保ち、新國民黨運動の物質的建設工作を展開せしめること、戰時文化宣傳政策基本綱要に基き、戰時文化宣傳文化運動を展開せしめる、新時代の推進とその實行を收めるため、戰時社會事業中心工作綱要の實施に勉めること

上海の業主不在土地中國側へ移管

【上海廿一日發】事變以來我が軍管理下に置かれてゐた上海地區の業主不在土地は本年の中舊共同租界外のものについては本年二月上海市政府の移管せられたが、今般殘餘のものも市政府に移管することに決定、二十日午前十一時上海在勤海軍武官室において我が方より近藤海軍武官、小別當補佐官、手島補佐官、熊谷陸軍連絡部長以下、中國側より陳上海市長以下出席移管式を舉行し、今回移管せられたのは舊共同租界並に限界路地區内の業主不在土地家屋四百四十四件、同土地四十一件及び第一次移管業主不在土地追加分十六件でこれをもつて軍用を除く業主不在土地家屋は全部中國側への移管を終了したわけである

汪主席の流彈摘出成功

【南京廿二日發】國民政府汪主席は過ぐる昭和十年南京において兇漢に襲はれたが、その際の拳銃彈三發が體中に未だとどまつてゐたため最近屢々神經痛様の症状を起し、近親者を痛く憂慮せしめてゐた、然るに去る十九日わが陸軍病院において手術を受けた結果見事彈丸摘出に成功し、廿二日國府宣傳部は右に對し次の如く發表した

汪主席は民國二十四年十一月中國國民黨六中全會開會式後の記念撮影に際し突然拳銃彈を受け負傷せられたが當時汪主席は行政院長兼外交部長として國事に奔走し特に日華關係を好轉せしめずんば止まざるの氣魄のもとに共產黨の覆面的活動を破砕するとともに、英米の甘言を斥けた外、しかも汪主席は當時行政院長兼外交部長たりしたためリースコス幣制改革は主席の調印なき場合成立し得ざる狀況にあり、一方抗戰派は該協定成立によつて中國財政の不安が解消するものとして主席の苦心遠謀を無視したのみならず主席を敵視して陰謀百出遂に主席は毒手に遭ひ辭職の己むなきに至りために動亂を拾收する能はずその後一年にして西安事變起り、續いて七月盧溝橋の戰火勃發せり、主席は當時時に三彈を受け一は左肩より貫通一は頸額に入り負傷七日目に摘出を行ひたるも、その一彈は背骨の第五第六節に入りたるため八年間しばしば背部に疼痛を覺へたり、しかるに主席は國事多端にしてこれが摘出の暇なく、かくして本年八月背部、胸部及び兩腋同時に疼痛を覺へ日を追つて加重したため國民政府首腦部及び盟邦當局は憂慮のあまり盟邦陸軍病院に依頼、診斷の結果流彈によるものと判明ここに手術を斷行するに決したり、陸軍病院後藤部隊長執刀の下に行はれ僅か廿分にして摘出を完了、爾後主席の經過は極めて順調なり、尙外交部長は卓抜なる盟邦醫術に感激、直ちに國府を代表して謝意を表したり

手術完全に回復【南京廿一日發】汪主席は去る十九日我が○部隊にお

いて背骨部流彈摘出手術を受けたが經過頗る良好、當日一日のみの休養で早くも翌廿日には公館の病床に各院部長を招致し、指示を授けると共に自ら政務を處理して來たが、ここ句日來氣分も日に日に良く、手術個處は完全に恢復し、このほど豫定通り外科治療を完了した、但し尙數日は靜養を要するので、國民政府新年式典は溫司法院長が代つて司宰することとなつた

國府人事

△七日

任浙江省政府政務廳長 陳次博

軍事

△七日

近藤支那方面艦隊司令長官は十二月五日十時左の如く宣言せり

中國沿岸封鎖嚴行

【上海五日發】先般吉田善吾大將と更迭、旗幟出雲に着任した近藤支那方面艦隊司令長官は五日左の如く宣言文を發し、中國沿岸封鎖に關する嚴乎たる決意を明らかにした

△支那方面艦隊報道部發表(十二月五日十時)

第一集團軍司令部廢止

【南京廿二日發】國民政府軍事委員會は今回第一集團軍總司令部を廢止し、麾下各師を軍事委員會直屬に改編することに決定、廿二日附國民政府令によつて第一集團軍總司令李長江上將の軍事參議院副院長への轉出とともに正式發表された

任安徽省長 高冠吾

第五集團軍新設

【南京廿三日發】國民政府は廿三日最高國防會議を開催し次の諸條件を決定した

一、軍事委員會總務廳を廢止して主席參謀次長制を新設、最高國防會議

【廣東廿日發】廣東地區的治安確立と生産増加を目的として曩に省政府内に設立をみた廣東深鄉事務局は十七日より事務取扱を開始した、正式開廳は明春早々であるが同事務局は清郷工作の總元締の地位にあり、今は更に治安及び建設部門における基礎組織の設立を急ぎ戰時下における廣東省自治の確立、生産増加、建設促進の三大目標に向つて全面的推進を開始するものであり、事務局の設置により同工作は本格的軌道に乗りのよいよ急速に展開せられんとする

【南京廿二日發】國民政府汪主席は過ぐる昭和十年南京において兇漢に襲はれたが、その際の拳銃彈三發が體中に未だとどまつてゐたため最近屢々神經痛様の症状を起し、近親者を痛く憂慮せしめてゐた、然るに去る十九日わが陸軍病院において手術を受けた結果見事彈丸摘出に成功し、廿二日國府宣傳部は右に對し次の如く發表した

汪主席は民國二十四年十一月中國國民黨六中全會開會式後の記念撮影に際し突然拳銃彈を受け負傷せられたが當時汪主席は行政院長兼外交部長として國事に奔走し特に日華關係を好轉せしめずんば止まざるの氣魄のもとに共產黨の覆面的活動を破砕するとともに、英米の甘言を斥けた外、しかも汪主席は當時行政院長兼外交部長たりしたためリースコス幣制改革は主席の調印なき場合成立し得ざる狀況にあり、一方抗戰派は該協定成立によつて中國財政の不安が解消するものとして主席の苦心遠謀を無視したのみならず主席を敵視して陰謀百出遂に主席は毒手に遭ひ辭職の己むなきに至りために動亂を拾收する能はずその後一年にして西安事變起り、續いて七月盧溝橋の戰火勃發せり、主席は當時時に三彈を受け一は左肩より貫通一は頸額に入り負傷七日目に摘出を行ひたるも、その一彈は背骨の第五第六節に入りたるため八年間しばしば背部に疼痛を覺へたり、しかるに主席は國事多端にしてこれが摘出の暇なく、かくして本年八月背部、胸部及び兩腋同時に疼痛を覺へ日を追つて加重したため國民政府首腦部及び盟邦當局は憂慮のあまり盟邦陸軍病院に依頼、診斷の結果流彈によるものと判明ここに手術を斷行するに決したり、陸軍病院後藤部隊長執刀の下に行はれ僅か廿分にして摘出を完了、爾後主席の經過は極めて順調なり、尙外交部長は卓抜なる盟邦醫術に感激、直ちに國府を代表して謝意を表したり

手術完全に回復【南京廿一日發】汪主席は去る十九日我が○部隊にお

秘書處の事務處理に參加せしめる件
二、軍事參議院に上將副院長制を新設し、第一集團軍司令李長江を副院長に任命すると同時に第一集團軍を廢止する件
三、國民政府政務參贊喬萬選辭任に伴ふ後任に何延楨を任命する
四、第五集團軍を新設、集團軍軍長に蘇北綏靖主任胡毓坤を任命する件

財政・經濟

明年上期豫算編成方針

【南京十三日發】國民政府財政部次長は十三日記者團と會見、決戦第三年を迎へた國府の明年度上期豫算の編成方針その他當面の財政金融問題につき左の如く語つた
明年度上期豫算は年末までに編成を終るが大體本年下半期の倍以上になる豫定である、從來軍事費の占める割合は五割五分見當であつたが今は六割に達するだらう、次期豫算の建設費は一月平均一千五百萬元を豫定してゐるのでこれが財源として水利事業費、東太湖干拓その他を中心にして六億元の建設公債發行を準備してゐる、同公債は利率年六分、期限五ヶ年で分割發行を行ふ方針であるが、その第一回分一億元は明年一月發行の豫定で一部は備前銀行が引受けたのち一般に賣出すことになつてゐる

明年一月以降官吏及び軍隊の俸給を大幅に引上げること決定したが、この人件費は相當の額に達するが、これに對する収入の途は充分つてゐる、但し華北から中央への關稅四

割、鹽稅三割納付の率は依然として變りがない
蘇淮地區に對する備前券流通は當分の聯銀券を併用する建前を採つたので多少物價高に刺戟したかも知れぬが全體としてきた影響は見られなかつた、備前券放出額は十二月一日から現在まで聯銀券の交換と新規放出分を合して大體二千萬元となつてゐる、同地の物價を安定させるには矢張り通貨を一本にしなければならぬと考へる

戰時消費特稅設定

【上海廿一日發】國府財政部では新に「戰時消費特稅」を設定するに決し明年一月一日を期し蘇浙皖三省並に南京上海、兩特別市において一齊に實施すべく目下同部稅務署において着々準備を進めてゐる、徵稅品目中来、麥、雜糧、食油、砂糖、鹽などの生必需食品については民生負擔輕減の趣旨から徵稅を免除するに決定、その他の卸、小賣品には一律に徵稅され稅率は百分の四乃至三十で特に奢侈品の最高稅率は百分の四十となつてゐる

中支振興系諸會社の業績向上

【上海一日發】中支那振興關係十五會社一組合の本年上期(四月より九月まで)決算總會は華中鑛業、華中鐵道の二社を除き十三社一組合が三十日を以て全部終了した、この上半期は我が對華新政策が文字通り強力に實踐にうつさされた時期であり、又大東亞戰爭は愈々決戦段階に入り鐵礦石、螢石をはじめ戰時必需物資の對日増送は一段と緊急を要する状態

であり、従つて各社ともその國際的使命に鑑み重要地下資源の開發、増産、輸送力の増強及び中支民生安定のために一層全力を傾倒して多大の効果を收めるとともに、努力不足を克服して業績上にも概して相當の向上を示してゐる、即ち前期に比し純益金において増收をみしたのは上海内河輪船、華中電氣通信、上海恒産、華中都市バス、華中水産、大上海ガス、淮南煤礦、中華輪船、華中蠶糸、華中鹽業の十社で、このうちでも内河輪船、中華輪船の五社は大中増收し内河輪船は無配より一舉七分の配當を復活また中華輪船は設立以來滿四ヶ年にして五分の初配當を行ふに至つた、更に本年四月創立された華中火柴は早くも八分の配當を行ふといふ順調な發足ぶりを示したが、ただ華中水電、華中運輸及び振興住宅の二社一組合は低物價政策により運賃並に電力、電燈料金などが嚴重に抑制されてゐた上新規企業の擴張もあつて前期に比し稍々收入減となり、華中運輸は六分より五分に振興住宅は六分より四分にそれぞれ減配となつた、而して今回の各社の總會において特に注目されたのは次の諸點である

第九回物資統制審議委員會

【南京四日發】第九回物資統制審議委員會は三日國際俱樂部で開催されたが、同日決定した主なる案件左の如し
一、輸出用麵粉調整料改正追認の件
一、綿糸布の工廠及び一般向配給價格に關する件
一、中支の收買配給實施要綱案の一部修正の件
一、棉花統制委員會に棉花業者の參與を認める件
一、棉花統制委員會の暫行章程一部修正の件
一、棉花統制委員會の統貫統配實施要綱草案の一部修正に關する件

中支棉花收買機構完整

【上海五日發】中支における棉花の收買配給はききに公布された棉花統制暫行辦法により大綱が決定せられたが、更に三日南京に開催された第九回物資統制審議會において商統會棉花統制委員會暫行章程及び商業統制總會棉花統貫、統配實施要綱が議決せられ、ここに收買配給機構並に方策の完整をみた、暫行章程及び

要綱の概要は左の通りである
一、商統會は棉花統貫統配暫行辦法により棉花統制委員會(棉統會)を設け棉花の收買、配給事項を專管せしむ
一、棉統會の處理事項次の通り①蘇浙皖三省、南京、上海特別市の生産棉花の收買配給②中日軍需向及輸出向棉花の供給③一般消費用棉花の配給④收買資金及び交換物資に關する諸計算⑤棉花價格の議定⑥棉花の増産改良⑦下部機構の指導監督
一、棉統會の決議事項は行政院及び商統會に報告するものとす
一、棉統會は上海におき重要棉産地に辦事處を置く
△全國商業統制總會棉花統貫、統配實施要綱

日華の米穀收買を平等化

【上海九日發】中支における米穀の一元化的收買統制機關たる米統制委員會は、過般の同委員會發足に當り日華收買業者の活動地區を甲地區、乙地區の二つに分ち、甲地區は日本側、乙地區は中國側が收買を擔當することになつてゐるが、右の如き收買地區の区分は日華業者の平等なる活動を促進する見地から不適當といはれるに至つたので、この程甲地區

における中國業者の收買活動を許すこととし、今後の收買は各産地における日華業者の協定に基いて推進せしめることとなつた、しかし今後の收買方針は、各縣毎にその實際事情に基き作定せる日華協定によつて收買の推進を圖る、價格は米統會納入價格から逆算した現地適正收買價格を堅持する、收買豫定量の確保を期するため各業者の責任數量を決定する、ことを根本としてゐる、この結果一部の産地においては日華の收買業者間に責任確保數量の調整が必要とされてゐる、中國業者の甲地産地における米穀收量は支那事變以來今回が初めてであり、それだけに彼等は非常な熱意を示して日華協定による收買成績の向上が期待されてゐる

中支貿易の総合的統制

實施

【上海十四日發】中華日本貿易聯合會では十四日第一回役員を開催、同會の輸出入規定及び同委員規定を決定、十五日より實施することとなつた、同規定により中支における物資の輸出入は當局の特別の指示ありたる場合の外はすべて同會または同會の委任を受けたものでなければ取扱ひ得ないことになり貿易の総合的統制運営の方針を確立した

廣東河南造船所を中國側に讓渡

【廣東十五日發】臺灣拓殖會社では今回廣東における同社事業中廣東省政府より受託經營中の水道事業を除く他の諸事業を整理し、餘剩人員並に設備を南方に移すことに決定した

中國合作總社を設立

【南京十八日發】中國合作事業委員會では去る十六日より中日文化協會に合作社全體會議を開催、新情勢に即應し合作事業に全般的再檢討を加ふべく連日食糧増産、物資蒐集配給合作資金金融など諸問題を協議してゐたが、十八日の最終日は合作社全理事長指導委員會會議を開催、合作總社設立案、長期農民訓練班設置案、食糧増産合作事業方策案、青少年組織訓練案、新國民運動推進案、物資農民適配案、食鹽配給案、農事示範場強化案など各種専門委員提案の十七件を審議可決し全日程を終了閉會した、中國合作總社が融資の一元化と物資配給の圓滑化、生産事業の統一的促進並に蒐荷の簡捷化の見地より豫て要望されつあつた全合作社の統轄的機關としてここに設立

華中鐵道總裁に鄧洪牛氏内定

【上海廿六日發】華中鐵道では創立當初の社長制を去る昭和十四年總裁に改めて以來總裁は空位のままであつたが、今回段琪瑞政府時代の交通部長であつた鄧洪年氏(七〇)を初代總裁に推薦、同氏の内諾を得たので廿七日臨時株主總會を開催し正式決定することとなつた、鄧洪年氏は廣東省番禺縣の出身で民國成立後交通秘書長、京奉鐵路局長、交通部次長を歴任、民國十三年廣東軍政府に入り財政部長、同軍需副官を経て民國十六年國民政府南京に遷都し共務次長等に就任の後各種委員を経て民國二十三年立法委員を最後に官界を隱退し今日に至る

社會・文化

三千年前の土器を發見

【南京十日發】春秋戰國以前の土器がところどころ南京近郊で皇軍の兵士によつて發見された、去月二十二日皇軍の郎溪附近討伐作戦の際、〇〇部隊江坂輝彌一等兵は馱馬をひいて行軍中、江蘇省江寧縣秣陵郊外の北西面の黄土崖で、俄かにその花紋を

田岡次氏に示したところ、同氏も江坂一等兵の鑑定に太鼓判を押し、右土器はすくなくとも三千年以上を經たものである、口徑十二・五センチ、高さ十四センチ、胴幅二十二センチ、底部直徑十六・五センチ、器厚約八ミリ、黒灰色を呈してゐるが、模様は花紋で我が國では打出紋と謂はれてゐるものである、從來中國發で掘られた古代土器の多くは完形でなかつたが、今回は殆ど原型でしかも考古學研究者によつて發見されたことは資料としての價値を一層高からしめることとなつた、なほ近く同博物館では秣陵關附近一帯を再調査する筈である

香港

軍罰執行免除公布

【香港八日發】香港占領地總督部では大東亞戰爭二周年記念日に當り軍罰執行免除に關する布告を公布、昭和十八年十二月八日以前に軍律會議又は法院において軍罰に處せられたる者にして、處罰後の行狀により罰執行の必要なに至りたる者の執行を免除することとなり、關係者を始末罰執行免除者をいたく感激せしめてゐる

經濟建設進む

【香港廿五日發】昭和十六年十二月廿五日皇軍が香港を攻略してから既に二ヶ年、新生香港はいまや經濟的には東亞の伸縮港として、政治的には日支和平の模範地たることを目標として着々建設が進められてゐる、軍政當面の目標は(一)政治目標として工業中第一の重要性をもつものは造

【南京十日發】春秋戰國以前の土器がところどころ南京近郊で皇軍の兵士によつて發見された、去月二十二日皇軍の郎溪附近討伐作戦の際、〇〇部隊江坂輝彌一等兵は馱馬をひいて行軍中、江蘇省江寧縣秣陵郊外の北西面の黄土崖で、俄かにその花紋を

船業で、各造船所では目下全能力をあげて資材不足を克服し、増産に邁進してゐる、十七年度初頭以來新船建造に、修理に香港の各造船所が共榮園海運のため果した業績は少からぬものがある、十八年度からは現地輸送力増強の見地から機帆船建造も全幅的に進められてゐる、造船以外には砂糖、煙草、マニラロープ、セメント、酸素、製釘、調味料、麥酒、清涼飲料水、染料の諸工場があり、いづれも邦人業者が經營を委託されてゐる、その他華人經營の小工場は主として織布、ゴム、雜貨、食品生産の部面に屬しすでに復業せるもの七百八十に上つてゐる

鐵業、農業は自然的條件に恵まれてゐないが戰時下自足經濟の最大限の實現が要請されてゐる折柄、農業とともに重要性を加へてゐる鑛業は、給及びウオルフラム鑛の増産に邁進してゐる、農業が在來の残れた栽培方法を我が優秀なる農業技術の増産により高めることに努力が行はれてゐる新界地區の大規模開發、米作の改良、植林推進、蔬菜果樹の栽培、畜産の改良いづれも實行の歩を進めてゐる、漁業においては四圍環海の自然的條件に恵まれ、日本漁業の技術を導入して漁獲の増進をはかつてゐる、また日本の二大水産會社が進出し、現地ジャンク漁業を組織化し、技術上販賣上の改良をなさしめる方針の下に漁業根據地別に組合が結成された、現地自給問題に關連して注目すべきは十一月中旬南支軍と香港防衛隊の緊密な提携のもとに開始された廣香連絡の經濟作戰である、すでにわが軍は敗殘重慶軍及び共匪をこの地區から驅逐して治安

を維持確立し遊擊匪の蠢動を封ずることによつて、香港と廣東との陸上交通が確保され、兩地の經濟一體化をさらに促進するに至つた、これは香港にとつては背後地の擴大を意味するものであり、この地域は米蔬菜、果實等農産物をもつて知られてゐるので、香港の食糧供給の基礎は一段の強化を見ることとなる



檢察機關獨立

【北京一日發】華北政務委員會では檢察制度の獨立を強化するため、檢察機關の法院よりの分離獨立を斷行することとなり、各高等並に地方檢察處と改め、最高法院華北分院檢察處は最高檢察處華北分處と改められ、主席檢察官はそれぞれ檢察長と改稱されることになり十二月一日より實施したこれにより司法行政部華北事務所の設立と相まつて華北の司法制度が完成されるに至つた

省市長會議

【北京二日發】華北省市長官會議は二日午前十時から外交大樓において開催華北政務廳長官、張同次長、各總署蕭辦、地方側から馮山西、唐山、田河南、陳河北(代理)、各省長、劉北京、張天津、桃青島各特別市長、王委員長より次の如き華北政務委員會機構改革の意義及び經過の

報告があつたのち各省市長より現地政情報告が行はれ、次いで王委員長の政務推進に對する決意示達などがあつて午後一時散會した、王委員長の説明要旨左の如し
今般華北決戰體制確立に即應して行政機構の戰團配置を完成するため委員會の機構を改革し機構組織の簡素化による運用の敏活を期したのである、改革の主なる特徴を舉げれば
○總務廳を設けて常務委員の兼任とし
○禁煙事務を民生局に移管し、禁煙に重點を置き財政收入を目的とせる特別會計を設け収入は直接禁煙及び民衆事業に振向け、○經濟總署には稅務局を設けず、稅務委員會を設置して戰時財政施策に適應せしめた、また機構改革に伴ひ人員整理を行ふ方針である、期共問題では華北當面の最緊急問題で後方産業基地治安確保には萬全を期せねばならぬ、このため先づ剿共委員會總會の機構の改革を終り今後積極的に剿共工作の推進を

治安總署長に陳達君氏任命

【北京五日發】華北政務委員會では舊の機構改編に伴ふ署局長級の人事異動を去る一日發表したが、殘餘の治安、農務兩總署その他の人事異動を四日午後七時同委員會情報局から發表、治安總署所には陳達君氏が任命された

北京大使館事務所機構改革

【北京六日發】北京日本大使館事務所では決戦下の現情勢に即應するたの刷新を行つて鋼鐵の組織力を發揮

異動を發表した、今回の機構改革により審議室並に總務部の調査課、財務部の監査課が廢止され、總務部の情報班が情報課に昇格したほか新たに物價班(經濟部)が新設された、これにより從來の官房審議室及び五部十七課二班は官房及び五部十六課二班に縮小された、主なる人事左の通り
交通部長兼建設課長事務取扱技師 長 久保 俊夫
總務部情報課長調査官 三原 敏男
司政部警務課長 中根 直介
二等書記官 西谷 徹
經濟部物價班長 江崎 千準
一等書記官 照田 弘久
財務部金融課長 財部會計官 照田 弘久
一等書記官 照田 弘久

新民會新基本方針決定

【北京六日發】新民會では中國參戰第二年月を迎へ、華北一億民衆の總躍起をめざし左の如き基本方針を決定、明年度における會運動の飛躍的進展を期すことになつた
一、國民組織指導體としての立場を堅持し、内には新國民運動を實踐して國民組織を完壁し、外には東亞民族の團結を以て大アジア主義を一貫主張し、建國興亞の歴史的使命に貢獻する
二、内に全面和平實現を求め、外に大東亞戰爭の完遂に邁進す
三、會陣營の整備を圖るため機構の強化、人事調整、會規律の整備精神三年振りに決戦下の日本を訪れて一番強く感じたことは國民の一人々々が戰爭完遂に邁進してゐる姿であつ

四、新國民運動を擴大實踐し國民組織の強化を行ひ、政府の施政方針を自贊すると共に民衆の自治、自覺、自給の力量を育成し物心兩面の施設を促進する
五、參戰中國の最大任務たる對共闘争のため軍、政、會、民の總力を集結して共產禍の徹底的根絶を圖る
六、政府の食糧政策に協力し、農業増産と低物價政策の貫徹に努め民生を安定せしめる
七、普遍的に分會を結成せしめて國民組織の基礎とし外廓團體の運動を綜合整理し實行を期す、又都市農村に各青少年運動を展開し、會運動推進の主力たらしめる
八、國民總動員の先決問題たる會員職員、青少年間の訓練のほか各職業各階層の指導者及び一般國民の訓練を實施し、建國興亞の理念を統一して次代に負ふことへの使命を完成する

最高顧問後任に岩松中將

【北京廿七日發】新民會最高顧問鈴木中將は今回新民會最高顧問を辭任することにありその後任には現華北政務委員會顧問岩松義雄中將が就任することとなり廿七日それぞれ發令された

新民會運動を擴大實踐

【北京廿日發】興亞團體首腦者會議に出席のため日本を訪問して廿九日歸燕した嶮嶮從新民會副會長は一致團結して戰爭完遂に邁進してゐる日本に呼應して華北も更に進し戰意を昂揚しなければならぬと次の如く語つた
三年振りに決戦下の日本を訪れて一番強く感じたことは國民の一人々々が戰爭完遂に邁進してゐる姿であつ

た、興亞團體首腦者會議では大東亞共同宣言を實踐する日滿華の具體的共同方針について種々協議を遂げた。明年度の新民會の運動にはこの會議の成果を織り込んで行きたいと思ふ。又同會議で興亞運動協議委員會を結成することに決定した。委員會には日滿華三國から委員を出し、緊密な連絡をとり、興亞運動を強力に推進して行くことになつてゐる。將來はタイ、ビルマ、比島などの共榮圏各國からも委員を得て強力に提携して行くことになつた。東京では東條首相をはじめ朝野各方面と廣く懇談することが出来たが首相が新民會運動に關心を寄せられてゐることを知り、われわれは更に奮起せねばならぬことを痛感した。このため華北では新民會運動を擴大實踐して中國の復興實現に努力するばかりである。即ち華北に共產黨と闘ふことが興亞建國の途である。吾々は中國の統一を妨げる最大の病共產黨を撲滅して中國の統一を圖りアジア民族團結の根基を形造るために最善の力を盡すばかりである。

經濟 出炭量昨年比増確

【北京六日電】十八年度皮華北炭の出炭状況は最近の食糧物價高し勞工確保難に陥つた結果一時憂慮されてゐたが、各炭礦ではこれが生産隘路打開に全力を注ぎ、特に過般の華北新建設促進期間における官民一體の努力の結果出炭状況は最近急速に好轉し、現状のまま推移するときは昨年度の出炭量を上廻ることは確實とみられるに至つ

た、右により北支那開發會社では十九年度出炭計畫を十八年度より更に〇割方引上げるべく既に大體の案を得たので近く政府と具體的折衝を開始する。

經濟攪亂者處斷の経緯

【北京六日電】北支軍は華北の經濟攪亂者を去る六月末軍律によつて一齊に檢舉し爾來軍律會議において審理中であつたが罪狀明白となつたので五日それぞれ處斷された。事件の概容は次の如くである。

本春頃における諸物價特に食料品の異常なる騰貴が一部惡徳業者の經濟攪亂行為に起因するものと認められたので北支軍は華北安定の重責に鑑み斷ずる軍律を發動してこれを肅清することに決し六月末一齊に檢舉を行った。爾來軍律會議において慎重審理中であつたが罪狀明白となつたので夫々軍律に照らして事件關係者中日華人計六十一名に對しては監禁一年及びそれ以下に處し、その他四十三名に對して七十萬圓及びそれ以下の料罰に處し、商社二十八に對しては八百萬圓及びそれ以下の料罰に處するの嚴重な處斷をなした。しかし軍當局としてはこれ等個人及び關係商社が深く反省して前非を悔ひ再起奉公を期するの念顯著なものが認められ、同時に今次の經濟事犯に關係した商社が従來華北の使命達成に貢獻するところ少くなかつた點に鑑み特に事件に關係した個人及び商社名を公表しないことになつた。

華滿蒙勞務連絡會議

【北京十七日電】大陸接壤各地域における勞務需給の調整をはかる華滿蒙勞務連絡會議は十七、十八の兩日

北京で開催されることになり、各地より代表、關係官等百餘名參集、第一日の十七日は主催者側たる汪經濟總署督辦の開催の辭について華北、滿洲國、蒙疆、華中側より夫々各地の勞務概況の説明あり、續いて華北勞工の各地向供出割當その他勞務需給調整に關する諸問題の協議を行つた。

【北京十八日電】華滿蒙勞務連絡會議第二日は十八日北京飯店において開催募集勞働者の輸送その他細目事項十件の懇談を行ひ全案を可決閉會した。今次の會議において決定を見たる議案左の通り。

- 一、明年度入滿、入華勞働者割當に關する件
- 一、勞工供出應務確立要綱實施に關する件
- 一、募集手數料統制に關する件
- 一、募集手數料統制に關する件

食糧増産運動續行

【北京廿九日電】教育總署では華北當面の緊急課題たる食糧増産に協力し今春以來學徒百萬八動員計畫の下に食糧増産協力運動を展開、學徒のひたむきな挺身により多大の成果を収めたが明年度は更に一層の成果を期すべく今年同様百萬八動員計畫を樹立、更に又來春早々同總署内に食糧増産指導本部(假稱)を設置し全華北學校の食糧増産運動の總司令部となし日本側より農業専門家を招いて巡廻指導を行ふこととなつた。

英米敵産移管完了

【北京廿一日電】帝國政府では去る十月廿八日在華北敵産の第二次國府移管を通告以來これが準備を進めつ

つあつたが、この程三種關係分五十八件の準備が完了したので廿一日附を以て國府側に移管することとし同日午前十一時外交大會において北支日本大使館土田總務部長より王克敏委員長に通過した。これで第三種敵産中英米關係のものは全部移管を完了した譯で、今後移管完了の敵産は主として北京附近のもので、内譯は教會四十一、學校十五、病院二、なつてゐるが、實際上は從來より中國側で使用中的のものである。また第二次通告による第一種一件(天津フイツシャー住宅)第二種四件(天津美豐洋行、北京裕豐公司、六國飯店、ユニオン・チャーチ)も近く移管實施の豫定である。

北支鑛工業強力に進展

【北京廿一日電】津島北支開發總裁は廿一日の同社臨時總會後東京本社に於て最近の北支産業事情に關し大要左の如く語つたが、北支の占める立地條件に鑑みても直接戦力増強に緊要な鐵鋼、石炭、輕金屬、化學製品の増産に今後益々力を注ぐ方針を闡明し、その對日供給も愈々増大する旨を明かにした。

北支における立地の好條件に鑑み今後關係會社を總動員して力を注ぐべきものは直接戦力増強に緊要な鐵鋼、石炭、アルミ、化學製品等の増産であるが、對華新政策的の實施上、華人側とますます緊密に協力して目的達成に邁進してゐる。鐵鋼部門では既設熔鐵爐を最大限に活用すると共に既に大型熔鐵爐のほかに小型熔鐵爐を各地に建設してその成績もまた見るべきものがある。何しろ製鐵用の強粘結炭が全出炭の四〇%もあり、

蒙疆

大使館事務所機構簡素化

【張家口十四日電】張家口帝國大使館事務所では對華施策の遂行に伴ひ同事務所の機構を徹底的に簡素強力化することとなり十四日より實施することとなつた。新機構は從來の官房及び四部九課制を官房及び二部四

課制に改められた、新機構及び部課長左の通り

官房長(調査官) 梅川 厚
總務部長(調査官) 川本 吉郎
總務課長(書記官) 菰淵 銳夫
司政課長(調査官) 橋我 孝之
經濟課長(調査官) 橋場 由之
經濟課長事務取扱 橋場 由之
産業課長(技師) 西村 太郎

地方税制を改革

【張家口十六日發】蒙古政府は決戦下地方行政の任務愈々加重せられ且つ財政的需要また全般的に膨脹しつつある現狀に鑑み、これが財源として地方税新税の設、納期の改正など第二次地方税制の改革を實施することとなり、この程税法改正案を政務院會議に上程可決を見たので明年一月一日より施行することとなつた

興蒙科學院を創設

【張家口廿日發】蒙古政府では今年明年度事業として興蒙科學院を創設し、産業の開發に必要な科學的技術的研究を行はしめ、戦時下生産の急速増強に資することとなり、近く公布の明年度豫算に準備費を計上することに決定した、しかして政府當局では目下同科學院の中心となるべき院長の詮衡を急いでをり、院長の決定次第開設の具體的準備を進める豫定、遅くも明年五月頃までは開院の運びとなるものとみられる

學制を改正

【張家口二十日發】蒙古政府では學校教育の内容を刷新するため二十日政務院會議に學制要綱を上程可決

來年度總豫算決定

【張家口二十一日發】蒙古政府の成紀七三九年度(昭和十九年)度一般會計總豫算並に各特別會計豫算は二十日政務委員會議に附議可決、二十一日政府主席德王の裁決を経て公布されたが、明年度總豫算額は歳入歳出共に一億四千六百三十萬六千

圓餘でこれを前年度當部豫算に比較すると約五割、五千六百二十五萬六千圓餘を、また追加豫算を含めた現在豫算に比較しても四千五百三十五萬九千圓餘のそれぞれ増額を示してをり蒙古政府建國以來の大豫算である

【張家口二十一日發】蒙古政府の成紀七三九年度(昭和十九年)度一般會計總豫算並に各特別會計豫算は二十日政務委員會議に附議可決、二十一日政府主席德王の裁決を経て公布されたが、明年度總豫算額は歳入歳出共に一億四千六百三十萬六千圓餘でこれを前年度當部豫算に比較すると約五割、五千六百二十五萬六千圓餘を、また追加豫算を含めた現在豫算に比較しても四千五百三十五萬九千圓餘のそれぞれ増額を示してをり蒙古政府建國以來の大豫算である

【張家口二十一日發】蒙古政府の成紀七三九年度(昭和十九年)度一般會計總豫算並に各特別會計豫算は二十日政務委員會議に附議可決、二十一日政府主席德王の裁決を経て公布されたが、明年度總豫算額は歳入歳出共に一億四千六百三十萬六千圓餘でこれを前年度當部豫算に比較すると約五割、五千六百二十五萬六千圓餘を、また追加豫算を含めた現在豫算に比較しても四千五百三十五萬九千圓餘のそれぞれ増額を示してをり蒙古政府建國以來の大豫算である

中國短信

(△國民政府▲華北×蒙疆)



宮廷

【八日】皇帝陛下建國神廟御親拜
【十二日】皇帝陛下建國神廟御親拜
【二十一日】皇帝陛下、張國務總理以下各高官を召され政務御聽取遊ばさる

政

【二十一日】皇帝陛下豫算案審議の臨時參議府會議に御臨
【二十四日】皇帝陛下張總理以下各部大臣、各參議等に賜餐
【三十一日】皇帝陛下建國神廟御親拜

治

【新京十七日發】滿洲國政府では國家的總力發揮に必要なる人的資源を當時把握し、また國民各個人の身分を明確にして

監察制度を強化

【新京十九日】滿洲國政府では決戦態勢の整備に伴ひ官公吏、特殊會社團體職員等の責任がいよいよ加重し更に地方官署の權限も漸次擴大強化されつつある現狀に鑑み、これら官公吏、特殊會社職員等に對する網羅監察並に國務乃至業務監察を徹底し戰時行政の萬全を期するため、かねて監察制度の改正擴充を考慮中であつたが、このほど成案を得たので近く關係法令を公布し明年一月一日より實施することとなつた、今次改正の要點は左の如くである

一、監察實施官署の擴張 現行監察令では監察を實施し得る官署は總務廣各部、新京特別市及び省のみに限られてゐるがこれを擴張し市縣、旗その他國務總理大臣の指定する官署も監察をなし得ることとした
二、監察官の設置 監察を實施する官署に監察官を置き監察事務を擔當せしめることとした
三、監察權限の明定 監察をなす者は監察の實施に當り(甲)監察對象に對しその金庫、帳簿、書類その他文書物件の検査、または説明書、辯明書の提出を要求し、(乙)監察對象以外の一般官公署に對し監察上必要なる報告を求め、または各種の調査を委託する等の權限を賦與されることになり、更に監察官は綱紀監察上必要あるときは官公署の職員に對して指定する場所に出頭を命じ審問をなす權限を有することとなつた
四、地方官署による特殊會社團體の一部監察 各部大臣の委嘱ある場合省の監察官または他の高等官が特殊

會社乃至特殊團體の支店、支社に對する監察を實施し得るの道を開き、以て地方行政機關の特殊會社團體との間の連携の緊密化を期した

國軍武官令改正

【新京二十一日發】滿洲國軍事部ではさきに日本の豫備兵制度に相當する劃期的な特命役の制定を行つたが今回更に武官令においてもこれに即應して特命役を設けることとなり、現行の武官令に所要の改正を加え明年一月五日以降實施するに決定、二十一日軍事部より左の如く發表した

經濟 財政

第三次増稅

【新京十日發】滿洲國政府は決戦下北邊鎮護の重責に任じ、戦力増強並に戦時國民生活の安定に必要な財政需要の増大に應ずると共に、現下喫緊の經濟政策たる購買力の吸収及び海費の規正を推進するため、消費稅を中心にして増稅を行ふこととなり、去る一日の國務院會議において酒稅

清涼飲料稅、捲菸稅(卷煙草稅)菸稅(葉煙草刺煙草稅)、特別賣錢稅(遊興飲食稅の一種)、法人所得稅の各増稅、交易稅徵稅の合理化及び鑛產稅の廢止に關する要綱並に關係法律案を可決、九日の參議院會議を通過した

たので十一日關係法令を公布、酒稅清涼飲料稅、捲菸稅、菸稅及び特別賣錢稅は即日施行、法人所得稅については十二月十一日を含む事業年度日より交易稅については明年一月一日より鑛產稅は明年一月以降の分よりこれを廢止することとなつた

増稅の理由【新京十日發】今次の増稅に關し經濟部では左の要旨の當局談を發表した

今次の増稅は一昨年末及び昨年末實施した増稅につぐ第三次の増稅に止るもので、これが増稅の理由は次の二點に

(第一) 現下國策運管途途に必要な財政需要に應じ、國庫の増收を圖ること、大東亞戰爭下我が國は北邊鎮護の重責に任ずると共に農産物その他戦時物資の對日供給基地として、その開發増産に邁進しつつあり、か

は、財政需要は、國庫の増收を圖ること、大東亞戰爭下我が國は北邊鎮護の重責に任ずると共に農産物その他戦時物資の對日供給基地として、その開發増産に邁進しつつあり、か

は、財政需要は、國庫の増收を圖ること、大東亞戰爭下我が國は北邊鎮護の重責に任ずると共に農産物その他戦時物資の對日供給基地として、その開發増産に邁進しつつあり、か

は、財政需要は、國庫の増收を圖ること、大東亞戰爭下我が國は北邊鎮護の重責に任ずると共に農産物その他戦時物資の對日供給基地として、その開發増産に邁進しつつあり、か

は、財政需要は、國庫の増收を圖ること、大東亞戰爭下我が國は北邊鎮護の重責に任ずると共に農産物その他戦時物資の對日供給基地として、その開發増産に邁進しつつあり、か

れが財政收入調達的手段として租稅の増徴を求めるとした、政府は今次の増稅に、今年度酒稅二千六百二十萬八千圓、清涼飲料稅百八十二萬二千圓、捲菸稅一億一千四百六十二萬二千圓、菸稅九百五十八萬八千圓、特別賣錢稅五千九百四十八萬四千圓、法人所得稅四千三百八十四萬三千圓、合計二億四千六百二十九萬七千圓、鑛產稅廢止による減收六十八萬七千圓を差し引いて二億四千五百六十一萬七千圓の國庫増收を期待してゐる

(第二) 現下喫緊の經濟政策たる購買力の吸収乃至消費の規正に積極的協力をする、戦時下國及び地方財政の膨脹、戦時資材の生産増強等に伴ひ多額の資金が民間に散布せられ、從つて一般購買力は急激に増大をみるに至つたのであるが、一方國民の生必物資の供給は最少限度に抑制せられる結果、必然的に一般物價騰貴の情勢を招來するにいたり、これがため政府は國民の消費節約並びに儲蓄を獎勵強化するとともにあらゆる手段を講じ低物價維持に努力し來つたが、更にこれと併行して購買力の吸収乃至海費の規正を圖ることが緊要とせられ、今回の消費稅を中心とした増稅を行つたものである

なほ今次増稅を機會に鑛業稅中鑛產物に對する課稅を廢止し、時局下鑛產物の増産に資することにした

【新京廿三日發】滿洲國明年度一般會計豫算並に特別會計豫算は最高政

策を北邊鎮護と戦力増強の二點に結集、積極、重點、健全の財政方針を基調として編成を終り、廿三日參議院會議の諮詢を経たので近く公布の

運びとなりこの旨同日弘報處より發表された

一般會計總額は歳出入共十三億一千五百萬圓、各特別會計總額は歳入總額二十六億七千七百萬圓、歳出總額二十五億四千六百萬圓、兩會計總額は歳入三十九億八千六百萬圓、歳出三十八億六千六百萬圓である、これを本年度當初豫算に比すれば一般會計は歳出入とも二億六千萬圓(二パーセント強)の増加、各特別會計總額は歳入において約四億二千七百萬圓(一九パーセント弱)歳出において約四億三百萬圓(二パーセント強)の夫々増加となり、大同元年の豫算に比すれば約二十六億圓の増加である

【新京廿七日發】明年度滿洲國各省地方費豫算については過般來總務廳地方處の地方省政方針並に豫算概要十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

各省に一般會計豫算認可の指令を發したので同日總務廳弘報處より發表された、明年度各省地方費豫算は國の豫算編成方針に準據し地方防衛態勢の強化と生産力の増強に全力を結集するとともに戦時下國民生活の整備振興に重點を指向、大東亞戰爭の完勝態勢の確立に努め、特に注目されるのは主として豫算實施に當り市縣旗財政の調整に意を用ひることで固有財源總額の凡そ廿五パーセントをこれらに振り向け市縣旗を

して自主的計畫的に運管せしめるやう編成されてゐる、各省地方費一般會計豫算額は歳出入とも二億七千二百餘萬圓、これを本年度當初豫算に比すると六千四百四十萬圓の増加である

【新京廿四日發】滿洲國政府は七・二五物價停止令の實施期間を當分の間延長することとなり、所要の手續を経て廿二日附をもつて價格等臨時措置法中改正の件を公布即日實施した、價格等臨時措置法は當初康徳九年十二月末まで有効期間として康徳八年七月二十五日公布され諸物價を同日における價格に停止せしめ、その間における物價政策の裏付政策としての配給制度の擴充強化等の政策が採られた、康徳九年十二月に至り本法を改正、その實施期間を十年十二月末まで延長したのであるが、さらに低物價安定に資するため更に本法を當分の間延長存置することとなつたものである、なほ十一月末現在における統制價格品目は四千七百六十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

【新京廿九日發】滿鐵では日本對滿投資の壓縮、滿洲國の産業資金自給率の向上と云ふ日滿兩國政府の金融政策に即應して、滿洲國內においても社債を發行すべく監督官廳に認可申請中、この九日認可となつたので第九十九回社債五千萬圓を十日中銀引受により發行することとなつた、滿鐵の滿洲國における社債發行は今回が最初である

【新京廿日發】去る十一月二十五日三十億五百四十五萬一千圓と三十億の關門を突破した滿洲中銀の通貨發

物價停止令を延長實施

【新京廿四日發】滿洲國政府は七・二五物價停止令の實施期間を當分の間延長することとなり、所要の手續を経て廿二日附をもつて價格等臨時措置法中改正の件を公布即日實施した、價格等臨時措置法は當初康徳九年十二月末まで有効期間として康徳八年七月二十五日公布され諸物價を同日における價格に停止せしめ、その間における物價政策の裏付政策としての配給制度の擴充強化等の政策が採られた、康徳九年十二月に至り本法を改正、その實施期間を十年十二月末まで延長したのであるが、さらに低物價安定に資するため更に本法を當分の間延長存置することとなつたものである、なほ十一月末現在における統制價格品目は四千七百六十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

【新京廿九日發】滿鐵では日本對滿投資の壓縮、滿洲國の産業資金自給率の向上と云ふ日滿兩國政府の金融政策に即應して、滿洲國內においても社債を發行すべく監督官廳に認可申請中、この九日認可となつたので第九十九回社債五千萬圓を十日中銀引受により發行することとなつた、滿鐵の滿洲國における社債發行は今回が最初である

【新京廿日發】去る十一月二十五日三十億五百四十五萬一千圓と三十億の關門を突破した滿洲中銀の通貨發

【新京廿三日發】滿洲國明年度一般會計豫算並に特別會計豫算は最高政

策を北邊鎮護と戦力増強の二點に結集、積極、重點、健全の財政方針を基調として編成を終り、廿三日參議院會議の諮詢を経たので近く公布の

運びとなりこの旨同日弘報處より發表された

一般會計總額は歳出入共十三億一千五百萬圓、各特別會計總額は歳入總額二十六億七千七百萬圓、歳出總額二十五億四千六百萬圓、兩會計總額は歳入三十九億八千六百萬圓、歳出三十八億六千六百萬圓である、これを本年度當初豫算に比すれば一般會計は歳出入とも二億六千萬圓(二パーセント強)の増加、各特別會計總額は歳入において約四億二千七百萬圓(一九パーセント弱)歳出において約四億三百萬圓(二パーセント強)の夫々増加となり、大同元年の豫算に比すれば約二十六億圓の増加である

【新京廿七日發】明年度滿洲國各省地方費豫算については過般來總務廳地方處の地方省政方針並に豫算概要十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

各省に一般會計豫算認可の指令を發したので同日總務廳弘報處より發表された、明年度各省地方費豫算は國の豫算編成方針に準據し地方防衛態勢の強化と生産力の増強に全力を結集するとともに戦時下國民生活の整備振興に重點を指向、大東亞戰爭の完勝態勢の確立に努め、特に注目されるのは主として豫算實施に當り市縣旗財政の調整に意を用ひることで固有財源總額の凡そ廿五パーセントをこれらに振り向け市縣旗を

して自主的計畫的に運管せしめるやう編成されてゐる、各省地方費一般會計豫算額は歳出入とも二億七千二百餘萬圓、これを本年度當初豫算に比すると六千四百四十萬圓の増加である

【新京廿四日發】滿洲國政府は七・二五物價停止令の實施期間を當分の間延長することとなり、所要の手續を経て廿二日附をもつて價格等臨時措置法中改正の件を公布即日實施した、價格等臨時措置法は當初康徳九年十二月末まで有効期間として康徳八年七月二十五日公布され諸物價を同日における價格に停止せしめ、その間における物價政策の裏付政策としての配給制度の擴充強化等の政策が採られた、康徳九年十二月に至り本法を改正、その實施期間を十年十二月末まで延長したのであるが、さらに低物價安定に資するため更に本法を當分の間延長存置することとなつたものである、なほ十一月末現在における統制價格品目は四千七百六十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

【新京廿九日發】滿鐵では日本對滿投資の壓縮、滿洲國の産業資金自給率の向上と云ふ日滿兩國政府の金融政策に即應して、滿洲國內においても社債を發行すべく監督官廳に認可申請中、この九日認可となつたので第九十九回社債五千萬圓を十日中銀引受により發行することとなつた、滿鐵の滿洲國における社債發行は今回が最初である

【新京廿日發】去る十一月二十五日三十億五百四十五萬一千圓と三十億の關門を突破した滿洲中銀の通貨發

【新京廿三日發】滿洲國明年度一般會計豫算並に特別會計豫算は最高政

策を北邊鎮護と戦力増強の二點に結集、積極、重點、健全の財政方針を基調として編成を終り、廿三日參議院會議の諮詢を経たので近く公布の

運びとなりこの旨同日弘報處より發表された

一般會計總額は歳出入共十三億一千五百萬圓、各特別會計總額は歳入總額二十六億七千七百萬圓、歳出總額二十五億四千六百萬圓、兩會計總額は歳入三十九億八千六百萬圓、歳出三十八億六千六百萬圓である、これを本年度當初豫算に比すれば一般會計は歳出入とも二億六千萬圓(二パーセント強)の増加、各特別會計總額は歳入において約四億二千七百萬圓(一九パーセント弱)歳出において約四億三百萬圓(二パーセント強)の夫々増加となり、大同元年の豫算に比すれば約二十六億圓の増加である

【新京廿七日發】明年度滿洲國各省地方費豫算については過般來總務廳地方處の地方省政方針並に豫算概要十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

各省に一般會計豫算認可の指令を發したので同日總務廳弘報處より發表された、明年度各省地方費豫算は國の豫算編成方針に準據し地方防衛態勢の強化と生産力の増強に全力を結集するとともに戦時下國民生活の整備振興に重點を指向、大東亞戰爭の完勝態勢の確立に努め、特に注目されるのは主として豫算實施に當り市縣旗財政の調整に意を用ひることで固有財源總額の凡そ廿五パーセントをこれらに振り向け市縣旗を

して自主的計畫的に運管せしめるやう編成されてゐる、各省地方費一般會計豫算額は歳出入とも二億七千二百餘萬圓、これを本年度當初豫算に比すると六千四百四十萬圓の増加である

【新京廿四日發】滿洲國政府は七・二五物價停止令の實施期間を當分の間延長することとなり、所要の手續を経て廿二日附をもつて價格等臨時措置法中改正の件を公布即日實施した、價格等臨時措置法は當初康徳九年十二月末まで有効期間として康徳八年七月二十五日公布され諸物價を同日における價格に停止せしめ、その間における物價政策の裏付政策としての配給制度の擴充強化等の政策が採られた、康徳九年十二月に至り本法を改正、その實施期間を十年十二月末まで延長したのであるが、さらに低物價安定に資するため更に本法を當分の間延長存置することとなつたものである、なほ十一月末現在における統制價格品目は四千七百六十七、銘柄別では四萬六千四百七十六となつてゐる

【新京廿九日發】滿鐵では日本對滿投資の壓縮、滿洲國の産業資金自給率の向上と云ふ日滿兩國政府の金融政策に即應して、滿洲國內においても社債を發行すべく監督官廳に認可申請中、この九日認可となつたので第九十九回社債五千萬圓を十日中銀引受により發行することとなつた、滿鐵の滿洲國における社債發行は今回が最初である

【新京廿日發】去る十一月二十五日三十億五百四十五萬一千圓と三十億の關門を突破した滿洲中銀の通貨發

【新京廿三日發】滿洲國明年度一般會計豫算並に特別會計豫算は最高政

策を北邊鎮護と戦力増強の二點に結集、積極、重點、健全の財政方針を基調として編成を終り、廿三日參議院會議の諮詢を経たので近く公布の

行高は、同二十九日の三十億一千八百一萬九千圓を峠に漸減歩調を辿り十二月八日には二十九億八千五百九十萬五千圓と二十九億圓臺を現、農産物收買代金放出の收縮時期を迎へ膨脹の峠を越した感があつたが、

油母頁岩油を増産

【新京十五日發】滿鐵撫順炭礦は現在東製油工場の擴張工事を進め明年度中にこれを完成、明後年から製油を開始するほか従來顧みられなかつた三十ミリリットル以下の小塊處理工場も東西兩工場に附設する計畫を進められてゐる、かかる製油部門の擴張は燃料の生産増強を圖る目的のほか現下喫緊の輕金屬工業に必要な高級電極の原動力として最適なる副産物ピッチコークスの増産、並にこれが對目供給量増加の要請に基くもなる組織或は生ゴムの精製に必要なブラツクカーボン増産の點からも製油事業の擴張が緊要となつてをり今後の製油工場の生産擴充は注目される

緊急増産推進本部設置

【新京二十一日發】滿洲國政府では明年の事業中特に重要な農地造成と石炭増産の強力、圓滑なる推進を圖るため緊急増産推進本部を總務廳に設置、關係各官、關係團體首腦者學識經驗者を網羅し張國務總理統率の下に武部總務長官自ら陣頭指揮をとることとなつた、同本部は本部長一人副部長一人及び參與若干名を以て組織せる他に顧問若干名を置き、同部長は武部總務長官、副部長は古海總務廳次長を任じ參與には源田總務廳次長、各部次長および特別關係深い省次長總務廳關係處長ならびに關係團體の首腦者を任命して

開拓 第二年度の目標略々達成

【新京二十日發】大東亞戰爭下第二次の五ヶ年計畫第二年度に突入せる滿洲開拓政策は戰時下における各種の諸困難を克服して着々所期の構想に向つて巨大なる歩武を進めてゐる、政府においては本年度初頭決戦事態に處すべく開拓政策實行の二大重點を開拓民入植の確保と戰時増産の完遂に置きこれが、達成に邁進したが日滿朝野の異常なる努力は遂に戰時下の各種障礙を見事突破し所期の目標達成に偉大なる成果を樹立した

劃期的な電法力制定

【新京廿日發】滿洲國政府は電力の計畫的開發、需要の適正なる充足を圖るためさきに決定を見た電力經濟法要綱に基き電力法を制定審議中のところ、十七日の參議府會議をもつて一切の手續を終了、近く公布實施することとなつた、同法律は電力經營全般に亘る有機的機能を規制したもので、法的性格は日本に於ける電氣事業法、電力管理法及び國家總動員法に基き電力調整法、その他諸規定を取捨撰擇し、更に滿洲の特殊事情を加味した全般的法規で、全六十條から成り法の目的電力事業の確立、電力計畫、自家發電の調整、電力節約の取締、電力用品の調整、電力關係技術者の取締、電力設備、電力管掌權限の委任、既存電力事業に対する措置等を規定してゐるが日本における關係法規と比較して構想的に新機軸は滿洲電業會社の公營性並に特許會社の性格を強化、同行會社法の精神を更に確認、電力の使用制限、他人所有地に對する立入權

長白山調査隊綜合報告

【新京十八日發】去る八月一日から五十日間に亘つて行はれた靈峯長白山調査隊の綜合報告會は十七日新京において開催されたが、滿洲學會の精銳を擧げての大調査隊の報告だけに各方面の注目をひいた、當日の報告概要は次の通りである
長白山温泉附近及び安圖、長白山間の登山路二萬五千分の一の地形圖の修正調査を行つたが、従來朝鮮側で三角點を設置した最高峯の大正峯西方〇〇米の地點に更に高地點が發見された、長白山の地質は従來トロイデ

業 產 農産物蒐荷昨年量 突破

【新京七日發】本年度農産物の蒐荷は全般的に依然好調を續け一日現在における農産公社の收買量は計畫量の八二・七%に達し遂に昨年度蒐荷總數量を突破するに至つた最も旺盛な出廻りを見せてゐるのは糧穀三品で既に計畫量の一一・一・六%、大麥 燕麥これに次ぎ一〇・四・〇%で共に計畫量を突破してゐる、これに反し雜穀並に小麥は依然低調でそれぞれ二七・六%、二三・七%である、又粟は五八・六%で總平均に達してゐない、省別に見ると吉林の一〇三・八%を筆頭に松江九六・六%、北安九三・九%がこれに續いてゐる
△品目別農産公社收買率 大豆七二

・二油料子實五〇・一、三品一一・一、六、雜穀二七・六、大麥燕麥一〇・四、〇、小麥二二・七、粟五八・六計八二・七
【新京十五日發】滿鐵撫順炭礦は現在東製油工場の擴張工事を進め明年度中にこれを完成、明後年から製油を開始するほか従來顧みられなかつた三十ミリリットル以下の小塊處理工場も東西兩工場に附設する計畫を進められてゐる、かかる製油部門の擴張は燃料の生産増強を圖る目的のほか現下喫緊の輕金屬工業に必要な高級電極の原動力として最適なる副産物ピッチコークスの増産、並にこれが對目供給量増加の要請に基くもなる組織或は生ゴムの精製に必要なブラツクカーボン増産の點からも製油事業の擴張が緊要となつてをり今後の製油工場の生産擴充は注目される

【新京二十一日發】滿洲國政府では明年の事業中特に重要な農地造成と石炭増産の強力、圓滑なる推進を圖るため緊急増産推進本部を總務廳に設置、關係各官、關係團體首腦者學識經驗者を網羅し張國務總理統率の下に武部總務長官自ら陣頭指揮をとることとなつた、同本部は本部長一人副部長一人及び參與若干名を以て組織せる他に顧問若干名を置き、同部長は武部總務長官、副部長は古海總務廳次長を任じ參與には源田總務廳次長、各部次長および特別關係深い省次長總務廳關係處長ならびに關係團體の首腦者を任命して

【新京廿日發】滿洲國政府は電力の計畫的開發、需要の適正なる充足を圖るためさきに決定を見た電力經濟法要綱に基き電力法を制定審議中のところ、十七日の參議府會議をもつて一切の手續を終了、近く公布實施することとなつた、同法律は電力經營全般に亘る有機的機能を規制したもので、法的性格は日本に於ける電氣事業法、電力管理法及び國家總動員法に基き電力調整法、その他諸規定を取捨撰擇し、更に滿洲の特殊事情を加味した全般的法規で、全六十條から成り法の目的電力事業の確立、電力計畫、自家發電の調整、電力節約の取締、電力用品の調整、電力關係技術者の取締、電力設備、電力管掌權限の委任、既存電力事業に対する措置等を規定してゐるが日本における關係法規と比較して構想的に新機軸は滿洲電業會社の公營性並に特許會社の性格を強化、同行會社法の精神を更に確認、電力の使用制限、他人所有地に對する立入權

使用權その他の特許權を認め、職務執行につき公務員たる資格を賦與して代行をなさしめると共に、政府の監督を嚴重にしなければならない場合は政府官吏は電業會社の職務につき職務管掌をなし得ることとし、又電力電源の開發保身に關し滿洲の特殊性を勘案法理中に土地收用に關する規定を收めた點である、又本法の公布に依り發電配電並に建設運營の一元的統制が爲されると共に輕金屬等電力需要産業に關しては特に犧牲料金をもつて臨む點は注目すべきである

△即ち九月末日現在における本年度各種開拓民入植實績は日本内地人開拓民入植計畫戸數一萬九千六百八十戸に對し入植概數は約半數の九千餘戸で十月以降明春三月までには大體豫定計畫を完了するものと見られ力強い入植趨勢を辿つてゐる、このほか本年度訓練を終了の上開拓團に移行せる第三次義勇隊開拓團が八千八百九十三戸(計畫八千九百五十戸)

義勇隊訓練所生の渡滿員數は八千五

人(計畫一萬三千五百人)で殘餘は計畫目標五十萬ヘクタールに對し約目下内原において鉄の修練を勵んで四十萬ヘクタールの實績である

明年開拓政策實施要綱

【新京廿六日發】第二次五ヶ年計畫 第二年度に突入せる滿洲開拓政策は戰時下各種の障礙を克服、大なる成果を樹立しつゝあるが、第二五ヶ年計畫第三年度に突入せる明年開拓政策の實施にあつては、①緊急的の確たる別々の工夫をなす、②開拓増産の具體的方法については康徳十年度における具體的諸方策の完遂をさらに徹底せしめる

△入植確保方策

△入植確保方策 ①開拓民新規入植は日本における確實なる送出を期すと共に滿洲現地の需要に應じて着實第一主義を採る、②入植地區は國防並に増産上の主要地區に重點をおきこの補充入植をさきにする、③日本よりの送出は五十戸程度の小規模單位によるを原則とし、滿洲現地における開拓團の編成は一千戸程度以上の大規模を目標とする、④分村開拓民のほかに大陸歸農開拓民に重點を指向すべし、これを義勇隊現地募集なども漸次これを制度化する

△増産完遂方策

△増産完遂方策 ①開拓増産綜合的の且つ劃期的進展を期する、②開拓増産増加に向つて開拓民の實效的増産を益々徹底せしめると共に原住農民の對する指導的模範農たるの使命を發揮せしめ、全體の増産の中核たらしめる、③日滿を通ずる食糧の自給體制を樹立し、緊急農地造成計畫を實施し、生産物の對日贈與を圖る、④開拓民の自主的増産緊急農地造成地區の完全耕作のほか朝鮮農を一時的に活用し、開拓地内の完全利用を圖る、⑤開拓用地の管理徹底、報國農の増設と運営、農業水利などに特別の工夫をなす、⑥開拓増産の具體的方法については康徳十年度における具體的諸方策の完遂をさらに徹底せしめる

△開拓關係設備の整備方策

△開拓關係設備の整備方策 ①總務部に設置せられたる緊急増産推進本部に即應し、各地方に支部を設置する、②東滿地帯における開拓立地上の諸要請を充足するため開拓研究所東滿支部を新設する、③開拓諸地方における開拓倉庫の増設を行ふ、④緊急農地

對する指導的模範農たるの使命を發揮せしめ、全體の増産の中核たらしめる、③日滿を通ずる食糧の自給體制を樹立し、緊急農地造成計畫を實施し、生産物の對日贈與を圖る、④開拓民の自主的増産緊急農地造成地區の完全耕作のほか朝鮮農を一時的に活用し、開拓地内の完全利用を圖る、⑤開拓用地の管理徹底、報國農の増設と運営、農業水利などに特別の工夫をなす、⑥開拓増産の具體的方法については康徳十年度における具體的諸方策の完遂をさらに徹底せしめる

行銀・社會

滿取の機能刷新

【新京十三日發】滿洲國內における株式統制並に貨物取引の完全なる普及發達をはかるため、今回滿洲政府及び滿洲證券取引所を政府の強力なる指導監督のもとに置き、同所の現在資本金四百萬圓、(百萬圓拂込)を八百萬圓に倍額増資を行ひ、増資金額を政府引受(四分の一拂込)とするほか左の措置を講ずることとなつた

滿洲興銀職制改革

【新京九日發】滿洲興銀では經濟部の認可を得て八日より職制改革を實施した、新職制の重點は從來の十二課制を廢し、秘書監察の二室、人事、總務、資金、普通金融、特殊金融の五部制をとり、以て事務の簡捷化を期し、之れによつて生ずべき剩利員は現地充實の建前により支店に振向けることとなつた、職制改革に伴ひ、人事異動のうち主なるもの左の通り(括弧内舊職)

△秘書役石倉詳一(本店支配人代理)

△人事部長岩見政雄(人事課長) △總務部長栗田二郎(吉林支店支配人) △資金部長一瀬怒海(資金課長) △普通金融部長岩澤澤猛(鞍山支店支配人) △特殊金融部長中居秀雄(特殊金融第一課長)

△久保田昭和製鋼理事

【新京六日發】昭和製鋼理事長久保田省三氏は去る八月五日以來胃痛のため療養中の所、五日午後九時五十分鞍山市上合町の自宅において逝去した、享年六十二、尚ほ昭和製鋼では十五日午後臨時株主總會を開催、久保田前理事長逝去に伴ひ、後任理事長は高崎滿

取引所に左の措置を講ぜしめる ①賣買取引の停止及び賣買取引價值の制限 ②一定値段による賣買建玉の禁止 ③賣買證據金徵收方法の變更 ④その他取引の統制上必要な處置

人事

【新京一日發】滿洲中央銀行理事鈴木謙則氏は十一月二十日任期満了をもつて退任後任に業務部長森恒次郎氏の昇格と決定一日附をもつて政府より發令された

一、實物取引の振興をはかるため政府及び特殊會社所有株式の開放を極力計るとともに國內における日本内地事業優良株の新規發行、増資の場合にはその株式を可及的に國內において公開せしむべく指導する、國內株式の供給増加をはかるとともに日本内地優良株についてもその取引の發達をはかるため取引所をして對内地取引仲介業を開始せしめる

一、取引所における貨物取引の振興に資せしめるため現行貨物取引制度を強化し、取引所の完全賠償制度を實行せしむ

一、優良株取引員の育成をはかるため取引員の資格、信用向上に必要な措置を講ずる、且つこれに對する監督を促進せしめる

一、現取引員組合を解消し新たに取引所理事及び取引員を會員とする證券引所協議會を設置せしめて有價證券の普及發達並に取引の改善に資する協議會をたらしめる

一、政府において必要と認められたる監督を促進せしめる

重慶政權

業總裁の兼任と決定した
 滿鐵人事異動【新京三十日發】滿鐵では卅日新京本社に重役會を開催左の重要人事を決定した
 △運輸局長を免ず(運輸局長理事) 足立長三△運輸局長を命ず(東京支

蔣介石ガンデーに呼びかけ

【リスボン廿三日發】東亞反政作戦を前に印度國內の政情が依然として行き詰り状態を續けてゐることは英國政府筋の頭痛の種となつてゐるが、デリー・ヘラルド紙のニュー・デリー特電は廿二日次の通り報道してゐる

蔣介石は最近ガンデー翁並に國民黨議派の領袖に對し印度の政治的に行き詰りを打開し反樞軸軍の戰爭努力に全面的協力するやう要請した、或る印度人が最近重慶に赴き、蔣介石と會見したが、右印度人がガンデー翁に對する蔣介石の要請を持つて歸つたものの様である、蔣介石は大規模な東亞反攻作戦を開始するには、先づ印度國內の政情をかたづけ、更にベンゴール州の飢饉その他の内政問題を處理しなければならぬといふ意見だ

國家總動員會議秘書長更迭

【廣東十五日發】重慶放送によれば重慶政權は十四日の行政院會議にお

社長理事)古海勝雄△參與を命ず(奉天在勤)ハルビン鐵道局長)濱田有次△ハルビン鐵道局長を命ず(運輸局長水運部長)關弘△水運部長を命ず(運輸局長次長)片桐慎六

いて國家總動員會議秘書長沈鴻烈の辭職を認め後任として現副秘書長端木愷を班書長代理に任命した

大公報重慶の醜狀を慨く

【廣東二十八日發】目的なき抗戰を續ける重慶は今や政治的、社會的に混亂を來し道徳地に墜ちてゐるが、最近の重慶大公報はこの險惡なる様相をとりあげ抗戰の危機は正にこの一點にありと次の如く述べてゐる

「歴史を觀察するに戰爭の最中において、民衆の社會道徳は必ず墮落してゐる、しかしながら現在の重慶は民衆の道徳が單に放埒安逸に走つてゐるのみならず、最も我々が堅持せねばならぬ民族の自尊心をも喪失せんとしてゐる、民族がその光輝ある民族精神を没却することはその意義を表現するものであり、我々の抗戰態勢は既に黒一色に塗りつぶされてゐると云はねばならぬ、故に當局は先づこの唾棄すべき社會道徳を徹底的に改善すべきである」

慘憺たる市民生活

【リスボン十三日發】事變勃發以來

七年目の冬を迎へた重慶の市民生活は極めて慘憺たる模様でデリー・レグセラフ紙重慶特派員は重慶の近況につき次の通り報じてゐる

重慶には三つのちがつた人種が住んでゐる、即ち原住民と政府官吏と外國人であるが、原住民の数は田舎から重慶市内に流込む者が多いため、非常に増加してゐる、彼等は全體父祖傳來の商業に従事してゐる、また政府官吏は家族も含めて約廿萬の多數に上つてゐるが、その大部分は南京、上海、漢口などの揚子江下流から重慶に來た人々である、また第三の人種たる外國人の数は重慶派遣の反樞軸軍の將兵を除けば一千名を一寸越してゐる、その内英國人は英國大使館やカナダ、濠洲兩公使館員及び新聞、傳道、商業關係を合せて約二百名に達し在留外國人の中で最大の團體をつくつてゐる、一方米國人の数は最近急に増大したが恐らく將來英國人の數を凌駕するであらう、なぜなら米國外交官の數が漸次増加してゐるほか、武器貸與協定の監督協定の監督のため多數の代表や専門家が米國から重慶に來るものゝ支那人も外國人も共通に次の四つの點で苦勞してゐる、即ち住宅難、生活費の高いこと、交通運輸の不便なこと、文化的に孤立してゐることである、重慶の住宅難のひどいことは一寸想像もつかぬ程だ、政府の高官とか極少數の富裕な支那人高級な外交官などは外國商社の主人などは別だが、その他の人々で各人一室以上の部屋を持つてゐるのは私の知人の中では十二人そこそこだ、民衆の大部分は竹で天井のつくつてゐる土製の

家に住んでゐる、また物價は徐々に高騰してゐる昔からの重慶市民では人違ひ儲けのある商賣に従事してゐる人は物價が騰貴してもそれほど困らないが、政府官吏は一番ひどい目に逢つてゐる、彼等の俸給は戦前に比して十倍乃至二十倍になつてゐるが、食糧の平均價格は現在では戦前の百五十倍に達してゐるといふ有様だ、まだ製品價格や勞銀も非常に高い、それ故官吏達がどういふ風にやりくりしてゐるか全く謎だ、外國人は一切の食糧だとかその他の物品が自由に手に入るが、生活條件は次第に悪くなつてゐる、英國人は磅を法定比率で法幣と交換しなければならぬが、一磅の實際の購買力は二志以下である、外國人が適當な部屋を借り下では一月最低七十五磅乃至百六十磅を支拂はねばならない、なほ關物價の代表的なものを掲げれば次の通り

△ストープ用石炭一噸三十磅△紙卷煙草拾本六乃至八志△マツチ九片△安全剃刀の双一枚五志乃至七志△インクの小瓶二磅十志

重慶紙學生層の墮落を慨嘆

【廣東廿九日發】重慶治下學生層の墮落は重慶當局を焦慮せしめてゐるが最近の大光報は同問題をとりあげ左の如く學生の無自覺と當局の無策とを攻撃してゐる

現在の學生たちの生活態度は全く軌道を逸脱してゐる、享樂を追及するこれら學生たちは狂態の限りを盡し書籍を捨てて父母の汗血を浪費して日夜安價な享樂に耽つてゐるが、かかる事實を教育當局は何が故に傍觀してゐるのか、かかる知識層の墮落は社會にも惡影響を及ぼすことは必至であり、國家の前途においてまことに憂慮すべきことだ、かかる事態を即刻是正せざる限り、抗戰工作は到底なしとげ得るものではない

對外國關係

重慶治下米人まで微用

【廣東八日發】尅大なる鐵量を持つて執拗なる對日反攻を呼號してゐる米國も最近では相當深刻な勞働力の不足に悩ま切つてゐる模様で、かかる本國の人的資源不足は重慶地區にある米國人にも波及し、數人をも今回徵用の對象にしたものの如く七日重慶放送局を通じて重慶米國大使館からその要領が發表せられた、放送要旨は次の通り

重慶治下在留する米國人にして十八歳より四十五歳までの男子は總て登録を要する、右は米國の勞働力を必要とする場合または第一線及び後方勤務に徵用するためである、重慶においては登録は米大使館で行ひその他は成都、蘭州、桂林等の領事館で行ふ、もしこれが登録を怠るものは罰金又は體刑に處せらるべし

林語堂、反樞軸の歩調混亂を指摘

【廣東九日發】目下米國から重慶に歸還してゐる支那評論家林語堂は重慶の雜誌改進黨誌上に米英のアジア政策の欺瞞性を痛烈に剔抉すると共に「我等は現在において強權の犧牲者である」と喝破し、私利的打算の上に打立てられた米英の戰爭目的の内幕と混亂を次の如く指摘、重慶民衆に警告を與へてゐる

現在アジアに對して熟慮された戦争哲學を持つてゐるのは日本とドイツだけである。他の民衆國の各領袖のアジアに對する觀念は未だにアラビヤナイトのアラジンの域を一步も出てゐない。これは我々の不可解とするところだ。嘗てチャーチルは英國の作戦目標を説明するのにも「我々は我々の持つものを確保するためである」と云つた。もし今次戦争が獨英戦だけであるならば我々もこの言葉に同意するであらう。然し今次の戦争が中米ソを含むため、國家の同盟國の疑意を増し、反樞軸の歩調が亂れ、アジアに對して統一した政治戦略がないことを暴露したこのことについて米國アトランチック・マンズリーが次のやうな聲明に説明を加へてゐる。即ち「中國に對する疑心は極東に對する知識の缺乏に依る、そのために中國とソ聯が兄弟になるのを恐れ、日本を完全に粉砕せず、日本を残して他國の野心を牽制させようとしてゐる」と、我々はかやうに現在でも強權の犠牲者だ、強權こそ共同作戦と世界改造の意志を阻害してゐるのである。我々は六年有餘日本の攻撃に堪へて來た然るに次の諸事實は我々を非常に不可解にさせてゐる。

○中國戰場は忘れられてゐる ○米國の貨物物資は全米生産の十二%に過ぎない、更に中國はその貨物物資の二%しか得てゐない ○中國は物價の暴騰と封鎖に苦しんでも歐洲戦局が片づくまでは結局待たねばならぬが日本はその間に大東亞の人力、物資を戦力化することが出来る
更に次の事實も甚だ信ぜられない ○中國が提議した日本反攻計畫が拒絶された ○眞珠灣以來未だに中國を含む日本進攻計畫が形成されない ○ビルマ反攻計畫が未だに發動されぬこと、勿論準備が完全に整はずして日本と戦ふことは大きな誤りを犯すこととならうが、これらの原因の一部分はやつぱり米英がアジアを輕視する精神の惰性によるものである。現在英米はみづからの利益を他國の利益の上において競争してゐる、甚しいのは英米兩國の對アジア政策、對太平洋政策がそれぞれ根柢から見解と目的を異にしてゐることだ。彼等のアジア政策の混亂と不統一が生ずるのもここにあるか、要するに反樞軸國は今なほ國際聯盟と同じく、英米が戦争の指導権を握らうとするのは戦後の世界を制壓せんとしてゐる、平等の地位を以て反樞軸の作戦に参加してゐる國家さへ平等が得られない現状ではいさげ戦後は平等だ、口を酸っぱくしてきけんで實際にはちつともそぐはないのだ

重慶評壇泥試合【廣東廿三日發】評壇家林語堂は各地において獨独自の見解を發表し重慶治下の知識層に大きな影響をあたへてゐるが、特に彼の中央大學における「東西文化と合理建設」と題する講演は抗戦前途を疑問視せる一般青年に非常な歡迎を授けたが、その講演中において彼が強調せる「中華民國の根本的にはある程度の歐化も已むを得ない」との一言は中國民衆を蔑視するものであつたと重慶の評壇に時ならぬ波紋をまき起してゐる、即ち最近の桂林力報は林語堂に對する一評論家の公開狀を發表次の如き反駁を加へてゐる
我々は林氏の東西文化に對する透徹

せる理論に對しては敬意を表するが彼の見る中國は根本的に敗北民族であり、民族の精神は徹底的に改良すべきであるとの一言は何人と雖ども承認することは出来ない、しかも彼は中國のこの混亂せる社會を改編するために大きなメスを揮ひ、ある程度は歐化も已むを得ないなどと放言する。これは彼の思想を疑ふものであり、我々を蔑視すること甚しい、萬一我々の民族精神を歐化した場合現在民衆が抱く愛國の熱情は如何なる方向を辿るか、我々は西洋文化の進歩は率直に認めるが、洋鬼子の思想まで猿真似する必要は毫もない

重慶治下の米人技師は十名
【廣東十一日發】米國の傀儡政權と化しつゝある重慶政權は國內の經濟建設にも米國の技術と資本の導入に努め自ら米國の植民地化しつゝあるが、重慶放送によれば現在米國務省から重慶に派遣されてゐるこれらの米人技師は十四名でその内譯は左の通りである
農業技師四名、交通通信技師一名、機械技師一名、水利技師一名、電氣技師一名、情報宣傳關係三名、地質技師一名
コスタリカ使節を常駐
【アエノスアイレス十日發】サン・ホセ(コスタリカ)來電「コスタリカ駐重慶使節は十日サン・ホセに着任した、重慶政權がコスタリカに常駐使節を置くのは今回が初めてである
カナダ駐重慶初代大使任命
【廣東十三日發】重慶政權とカナダとの間には從來公使館をそれぞれ大使館に昇格することに決定十日發表したが、重慶放送によれば初代駐重慶カナダ大使には現公使のウクタ・オドラムが任命された
余程萬司令射殺説
【常德四日發】敵投降者の言によればわが常德包圍作戰開始以來敵陣營は指揮系統が極度に混亂した模様で、常德警備司令余程萬は抗戦を斷念して降伏の意をもちたところ、抗戦派の手により射殺されたといはれるが一方では數日前部下數名と沅江を傳つて遁走したともいはれる
軍事參議院長陳調元病死
【廣東十九日發】重慶放送によれば重慶政權軍事參議院長余國良中央執行委員陸軍大將陳調元は宿病の肺病のため十八日死去した享年五十九
在支米空軍に「飛馬隊」
【廣東十日發】重慶よりの外電の報ずるところによれば過去一ケ年間にインド・アツサム地方を基地として蠢動してゐた「米空軍飛馬隊」と稱する戦闘機隊がシエラ・ネーヴ下第十四航空隊を強化するため現在重慶戦線に参加してゐるといふは、同隊の指揮官はサム・ノールズで、副官のオールアイセンシオは日本空軍の技術の優秀なることを次の如く認め
「我々の部隊は此方以來から佛印やビルマの爆撃行に参加したが、残念なことは日本の猛烈な攻撃から我等

軍 事

支那人の犠牲に米空軍勢力を保全
【廣東十四日發】我が陸軍部隊の果敢な攻勢によつて逐次敵大勢力は減殺されつつある、米空軍側では退避作戰によつて補給の續かぬ自己勢力の保全を圖るとともに損耗せる人員の整備補充に狂奔、窮餘の一策として速製訓練の支那人飛行士を採用して米人飛行士の不足を補ふに至つた、即ち情報によれば此の米支混合飛行隊は敵が「航空要塞」と呼ぶ最有力前進基地桂林にその本據を置き彼等の作戰企圖に基き隨時に各基地を移動しつゝあるもの如く、その編隊は飛行大隊の形式を採り米人隊長は大佐テイ・エルブランチの下に中國人隊長の名目で少佐李學炎が握へられてゐるが、勿論彼に實權はなく支那人飛行士に對する命令傳達者に過ぎない、同飛行隊設置の目的は米國機及び米人飛行士の技術を以て支那人飛行士を養成し特に射撃手、爆撃手、通信手及び地上勤務員等に使用せんとするもので、從て國飛行隊の編成人員も支那人が多數の五分の四を占めてをり、これによつて米人の損害を五分の一に喰ひ止めんとする現體であることは明かだ、同飛行隊は米國派遣の支那人訓

練生を以てこの夏頃インドにおいて組織に着手、その第一隊が去る十月末支那に繰り込んだもので、更に残餘の人員は目下尚インドで訓練中であるが、これも近く入支の豫定といはれる

補給に悩む在重慶空軍

【ブエノスアイレス十五日發】ニューヨーク來電によれば米國週間紙タイムの十二月六日號は在重慶米空軍部隊の増強を次の如く傳へてゐる

シエノーノト麾下の第十四航空部隊は曾ては數十機の飛行機を擁するに過ぎなかつたが現在では數百臺となつてゐる、他の戦域に比較すればその地上設備はまだまだ見劣りがする中には原始的な施設しか備へてゐないところもあるが、主要基地には凡ゆる近代的裝備が完備し重慶に對する輸送が極めて困難なことを考慮すればかかる優秀な航空基地の完成は正に驚くべきものがある航空隊の補給も最近是非常によくつゝゐる、然しながら何と云つても在重慶米空軍の悩みは補給問題でこれについては今後も相當期間に亘り依然として深刻な困難を経験しよう、例へば重慶にある爆撃機を有効に作戦せしめるためには毎月ガソリン、爆彈、彈藥等七萬トンを要すべく、更にこれに戦闘機が加はればその消費量は五千トン増加し、これに加へて飛行機の部分食品高射砲彈藥、地上勤務員に對する食糧及びその他補給などを合すればその量は實に莫大なものとならう、而もこの莫大な補給に利用しうる輸送手段は現在のところ印度から空輸にすぎずこのためには重慶で曾て見たこともない程の大輸

送力が動員されてゐる今後たとへばルマ公路が再開されたとしても曾て同公路が最大の輸送力を發揮した時でも僅か月一萬五千トンに過ぎず、在重慶軍の莫大な所要量に比すれば雀の涙にも足りないシエノーノトが彼の作戦後附近に海港をしきりに欲しがつてゐるのは實にこれが爲めである

陳誠職を賭して米英派に警告

【廣東二十九日發】雲南方面重慶軍最高指揮官陳誠の辭職理由についてはさきにわが怒江作戦に際し、マウソンドパツテンが同盟軍にあるまじき冷淡なる態度を示し、重慶軍の危局を傍觀し續けたことに對し憤慨した結果といはれてゐたが、最近當地に達した重慶筋確報によれば彼の辭職は英軍のかかる不誠意に對する憤懣とともに授將の美名にかかれて對日戦争遂行のために重慶軍を米國の忠狗と化しその骨の髄までしゃぶらんとするあくなき米國の利己政策が最近雲南方面重慶軍の指揮權問題をめぐり愈々露骨化してきたことに憤慨し「總指揮官辭職」の一石を投じ、米英領使に盲従しつゝある重慶最高指揮層就中米英派に對して覺醒を促したのが眞因であることが判明した即ち米國は昨年ビルマ作戦に際しインドに運入した舊羅卓英軍の敗殘部隊を改編した印重慶軍に米軍將校を配屬し、同軍の重慶軍に對しても兵器供給の代償としてこれが指揮權を掌握せんと企圖してゐるが陳誠は米國より充分なる兵器の補給を受ける上、作戦を開始しようとする

對し米國は未だ殆んど兵器を送らざるの代償たる指揮權讓渡を強要したため陳誠は十月中旬雲南前線より重慶に歸還し蔣介石に軍狀報告を行ひ、雲南重慶軍指揮權問題に關し協議したが蔣介石、陳誠間の意見一致せず陳誠はこの米國提案の拒否についで重慶中央部が満足なる結果を與へぬため憤然辭職するとともに重慶軍陣營の米英派に對し米國對支政策の利己の野望に對し再檢討を要するものとして覺醒を促してゐるといはれてゐる、而して米政府は最近重慶に對し雲南遠征軍のみならず支那に對しても大隊長以下の幹部の大部分に米人を充て、兵員を支那人とする米陸軍を編成することを提案し既に米人將校、下士官約一千名の支那派遣を決定した十二月より本國に對しこれら要員募集を行ふ準備中だといはれる、今や米國における戦争遂行上最大の隘路は人的資源の問題であり、人的損耗の累増と逆比例して戦果の遅々たる準太平洋戦局の敗勢に焦慮し米國としては支那大陸乃至東南アジアに第二戦線を形成し西南太平洋に對するわが重慶輕減を圖らんとするもの如く、しかも米國としてはこの方面においては重慶の犠牲において目的を達成することが明白である、さきに重慶空軍をシエノーノト指揮下に在支米空軍麾下に吸収し、今又雲南方面の重慶軍の指揮權掌握を企圖してゐるのははかばかるところであるが、しかも米國に基くところであるが、しかも米國に對し軍事的過程を通じて支那に對し軍事的のみならず、更に進んで經濟的絕對權を確立し戦後における支那の植民地に利せんとする老

猾なる遠謀に出でゐることも明白である、重慶陣營中純武人派として比較的米國の腐れ縁の薄い陳誠はかかる米國の意圖に従ひ雲南方面重慶軍の指揮權を米國に明渡すことは不可避的に全重慶軍を米國に乗取られ隷屬化を招來する由々しき問題であることを觀破したのである、ともあれカイトロ會談の結果重慶の米英軍事派が痴人のたわ言にひとしきり空手形を待み米英による日本壓服の白晝夢に踊つてゐる矢先陳誠の投じたこの一石は重慶陣營に可成り深刻な衝動を與へ今後の推移を注目されてゐる

忍び得ぬ白人の輕蔑態度

重慶軍將校の日記 【北ビルマ前線〇〇基地廿日發】北ビルマ方面に蠢動中のインド派遣重慶軍に對する我が攻撃は十一月末を期して開始されたが、以下は同方面戰場で得た一重慶軍將校の日記の抜萃である、この日記の筆者は新編第廿八師第百二十團第五族の小隊長劉治砲兵中尉、日記は混亂したジャンガル内の敵陣地跡から得たもので、本人は戦死したのか逃走したのか判らず年齢なども推定さるによくないが、文面から推察すると劉中尉は今一月部隊とともにインドへ派遣さるべし訓練と特務の十月半ば前線に出動日本軍の痛撃を喰つた牛乳、煙草、パンの給與豊富にして常により多量の殘食を出す、我等の多くは米と南瓜に過ぎざるに彼等の牛肉パンは餘剩を出し微を生じ居れり、洋酒の大半は米人將校に給せられる彼等は澤山の食料を食ふため排便の度數頻繁なればなり

す日記である、以下はその抜萃である、一月一日北部インドのランガイリに於て遠征の新年に當り一種異常の感奮を感じ、日本との抗戦六年に擔ひ隣邦インドに活躍、遠東の保壘インドを保衛せん、本日部隊の大檢閲に當り將兵の氣昂る、一月廿四日ランガイリに於て出發を間近かに控へ三十餘名の青年將校と會食す、談笑大いに發し、次の會食は東京に於て行ふこととせり、一月二十九日前線へ出發、午前九時ランガイリの軍營を離れる、昨年のビルマ作戦は失効にして十萬の大軍は漸く敵の包圍を一部突破せりといへども、第五軍第二十二師は山中に於て殆んど全員戦死せり、今回は人員充實、武器準備、訓練も整へり出發に際し多數米國將兵停車場に歡送す、士氣勇躍す、二月一日終日汽船にてガンジス河を下る、二月四日レドにて舟行乗車五日にてレドに到着す、前線に近く空氣緊張す、多數のアフリカ黑人密林の道路構築に従事す、蜿蜒たる叢密林中に天幕多數當分の間の宿營地なり、二月二十四日敵機十八機油田地方を空襲す、

△三月六日 我軍の砲兵隊臨時に運
輸隊として使役せらる、道路破損せ
る戦線を米軍陣地への食糧補給のた
めなり、砲兵隊員憤激す、大隊長は
米人の命なりとして使役を強行せり
△三月二十七日 一頭の巨象を射殺して
焼肉として食す、甚だ不味し
△三月二十八日 十日程前より大雨
降り続いて止まず
△四月四日 雨續く、前線より糧秣
輸送隊歸へる、馬瘦せ、人疲勞す、
敵部隊後方に侵入の報あり警戒を嚴
にす

△四月十三日 降雨のため駐屯地の
道路河川となり、止むを得ず、パン
トンに移る
△五月十七日 下腹部に激痛あり、
米軍野戦病院に入院し手術す、米人
病院の贅澤驚くべし

△六月十四日 人事異動あり大動は
中隊長に進級す、余は異動進級に洩
れたらず、大隊長の余に對する感情よ
からず、公事に私事を加ふ甚だ不快
なり

△七月七日 師團長余に對し先般の
異動の経緯を説明すこの異動は大隊
長に關係なく既にランガイリに於て
決定せられありたる由なるも釋然た
らず

△七月十五日 異動により第百十二
團第五連の中隊長に進級せる朋友も
又新部署を得て去る余は依然小隊長
なり

△八月三日 林森主席の逝去を知る
△八月十四日 渡河訓練開始
△九月一日 インドの飢饉は想像以
上に甚だの模様なり、我等の周圍に
も毎日二十人、三十人の患者を目撃
し得、カルカッタ市の惨状は地獄の
如しと傳ふ

△九月十日 イタリアの降服を知る
米人將校は短波ラジオを連機聴取し
つつ飲酒し居れり、イタリアの降服
インド密林の戦況に如何程の變化を
與へるかを知らず
△九月十二日 本日ジャングル内行
進訓練中十三聯隊の我が軍兵士英
人將校のため拳銃で射撃され、一名
死亡、二名負傷す、事件發生の原因
はなほ不明なるも白人種の我等に對
する輕蔑態度はなほ改められず、我
々の敵は日本にとどまらず、日本に
勝つことを得るも白人より壓迫を受
けること明らかなり
△九月十五日 ジャングル内訓練の
續行によりマラリヤ患者が續發す、
キートネ不足のため部隊戦力の低
下憂ふべし、蛙の猛威もマラリヤに
劣らざ

△九月廿一日 夜間傳令の叫び聲で
飛び起り、分隊の全員突如暴動を起
し分隊長を殺害せりと、わが中隊は
警戒のため中隊長以下出動、余は留
守番となれり
△九月廿五日 戦闘訓練を終了せり
暴動分隊は一部は山中に逃走せり
たが、他は山中に逃走せり
△十月十七日 すべての訓練終了し
明日はいよいよ前線へ出發なり
△十月廿三日 行軍六日行程六十哩
にして輕病者十分の四、重病者十分
の一を出す

【アエノスアイレス十六日發】ビル
マ公路閉鎖以來重慶の經濟状態は惡
化の一途を辿り物資の極端な不足と
法幣の濫發により悪性インフレーションの傾
向が顯著だが、タイム誌重慶特派員
は以上の情勢に就て次の通り報じて
ある

重慶の生計費は開戦當時の百六十四
倍に達した、一年前は八十倍であつ
た法幣の價值低落はある程度抑止さ
れてゐるが、全面的に阻止されてゐ
る譯ではない、重慶のインフレーションの原
因としては一般的な原因のほか、支
那に特有なインフレーションの原因がある、
重慶政權の豫算は戦前のそれに比し
て四十五倍に達してゐるが、歳入は
歳出の五分の一以下といふ甚しく鉤
合のとれぬ豫算である、また市場に
現はれる僅かな商品を買溜めするも
のがあるが、この買溜めの禁止がう
まく行はれてゐない、重慶政權は豫
算の平衡を計るため米國から紙幣を

どしどし輸入してゐるが、これらの
紙幣の購買力はぐんぐん低下してゐ
る、現在、物價は天文學的數字の上
つて居り、かつて六弗で買へた靴一
足は一千五百弗、二仙の米一匁が六
弗五十仙だ、インフレーションの他の一つの
原因としては輸送の困難が挙げられ
る、輸送機關の缺乏のため比較的物
資の豊かな諸州から貧しい諸州に物
資を送ることも困難である、また手
工業を機械化して物資の増産をやら
うとしても、資本が不足で餘りうま
くゆかない、米國政府及び重慶政權は
法幣二拾弗に對し米弗一弗の比率を
維持しようとしてゐるが、闇市場で
は米弗一弗に對し法幣八十弗乃至百
弗である

【廣東一日發】重慶中央社電によれ
ば過去一ヶ年間重慶行政院顧問とし
て支那奥地の土地管理問題を指導し
た米國水利專門家ロウダーミルグは
最近の西北地區における水利事業視
察を最後に解職、三十日朝空路歸米
の途に着いた、彼は歸國に先立ち黃
河をはじめ西北の水利、土地問題視
察の報告書及び意見書を行政委員に
提出したが、西北開立の前途に關し
ては何等の意見も公表しなかつた

【ハノイ十九日發】最近當地で入手
した雲南日報は「舊舊の錫生産關係
に戦時重要資源としての錫増産を要
求しつつあるにも拘らず現政策下に
あつては増産は絶対に不可能である
のみならず、錫生産の潰滅の豫想せ

られる」と斷じてゐる、雲南省にお
ける錫の生産は主として箇舊附近で
行はれその生産高は全生産の八十%
を占めてゐるが、支那事變前の民國
廿二年産六千二百五十噸であつた同地
の錫生産は事變勃發後重慶側の驅起
の増産工作の結果廿七年には一萬七
百三十噸に達したかそれより東の間、
錫買上げ値と米價の不均衡から同年
以後生産量は急速に減退昨年(民
國廿一年)は三千六百二十九噸、本
年に至つては遂に二千噸を維持す
ることも困難視されるに至つた、重
慶政權は民國廿九年以後錫價統制を
行ひその價格を最初噸當り一萬二千
五百元としたが當該一石當り四百四十
元乃至二百元見當であつた箇舊附
近の米價は本年六月には六千元に達
し米價騰貴による錫労働者の離反
が相次いだのでこれを防止するため
重慶政權は錫買上げを廿年二萬五千
元、本年六月末には更に一躍十一萬
元と引上げたが米價の騰貴率が廿倍
であるのに對し錫買上げの引上は十
倍に過ぎず重慶政權の人為的政策を
もつては不可缺の資源たる錫が
生産を如何ともなし得なくなつたの
である

【廣東二日發】重慶放送によれば一
日の外人記者會見において宣傳部長
梁寒操、外交部次長吳國楨及び行政
院參事張平群は現下奥地工業の現状
に關し左の如く述べたといはれる
戦時下の重慶政權下奥地工業は戦前
に比し飛躍的發展を遂げてゐる、例
へば發電力は戦前一萬キロであつた
が現在では五萬數千キロに上り、紡
績は一萬錘から二萬錘に附加してゐ

【廣東九日發】義に舊法幣
暴落に狼狽した重慶が、窮
餘の一策として設置した外
國爲替平衡基金委員會は今回いよ
よ解散することに決定し、爲替管理

【廣東九日發】義に舊法幣
暴落に狼狽した重慶が、窮
餘の一策として設置した外
國爲替平衡基金委員會は今回いよ
よ解散することに決定し、爲替管理

【廣東九日發】義に舊法幣
暴落に狼狽した重慶が、窮
餘の一策として設置した外
國爲替平衡基金委員會は今回いよ
よ解散することに決定し、爲替管理

經濟狀態惡化

米人顧問ロウダーミルグ

錫米

奥地の工業狀態

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

錫生産潰滅に瀕す

る、戦前奥地では酒精の生産が無かつたが現在では年産一千萬ガロンに達し奥地工場的工作機械も二百餘臺から二千五百餘臺に増加してゐる、石炭増産も四川省の天府炭礦は月産四千餘トンから三萬一千餘トンに増加し、雲南省の高零炭礦及び廣西省の合山炭礦は現在月産五千トン乃至八千トンを産出してゐる、機械製造工場は經濟部登記済みのものだけで、一千有餘に上り四川省東部の工場だけで本年上半期のうちに動力機八十八餘臺、工作機六百餘臺、作業の機械一千六百五十餘臺を製作してゐる、電氣工業も本年十月までに電線二百餘トン、電球卅萬箇、電池卅三萬餘箇その他多数の發電機、變壓器、電動機無線機などの製品を出した、化学工業においては硫酸、曹達類、漂白粉、石鹼等の生産は昨年より増加し、冶金方面においては鋼鐵、亜鉛鉛の製錬方法も改良された

工業的開發退嬰化

【廣東十九日發】西北地區の開發は日を経るにつれて技術的にもまた自然的にもあらゆる悪條件に逢着し、結局同地區の工業開發の見込みがたぬだけなく、農業開發すら殆ど期待し得ない實情を暴露するに至り、唯わづかに新疆省における農業耕作が同省主席盛世才の肝煎りと天山南北兩路の雪溶け水の灌漑によつて幾らか將來性があるといふ結論に達したものでやうである、昨年來十數次にわたる大小各種視察團の西北五次の調査の結果、大陸における最も僻遠の新疆省に、しかも全然未開發の荒蕪地開發に落着いたといふことは、重慶の窮狀打

開の足掻きと對照して如何にも皮肉な現象であるが、本年申における西北開發の足取りと今後の方向について觀察すれば大體左の通りである
△工作の退嬰消極化 昨年秋の十全會において蘭州及び迪化に西北開發計畫を處理する新機構を設置すること、並びに本年の開發豫算として四億元を計上、工作目標を水利、交通の建設改善におくこと等を決定したが、その後右機構の組織或は工作狀況等については何等報せられておらず、從つて右機構が實現したかどうか、不明である、而して昨年夏以來急激に活潑化した西北開發の懸け聲が本年に入つて漸次低調となり殊に後半年においては全く鳴りをひそめてしまつた觀があることは同工作の行惱み状態を物語るものである、本年申における西北に關する重大な事項としては、○甘肅省に河西實業公司成立、牧畜及び毛紡事業に着しめくり、○屢次に亘る西北視察のしめくり、○實地調査を行ふため西北建設考察團を組織、六月初旬より長期に亘つて目下な各地視察中であること、○行政院に西北工作人員紹介所を設置したほか西安に西北移民總辦事處を設置するなど移民工作人員の西北誘致を積極化したこと、○新疆省政府との連絡の下に哈密附近の荒蕪地開發のため河南省災害の難民を主とする五千名の移民を送り込んだこと、○重慶、蘭州間に乗合自動車運轉せしめることになつたほか重慶と哈密間に徒歩旅行者のため八十ヶ所の驛站を設けたこと、などで

長期化の方向を辿りつつあることが觀取され、例へば于右任の萬井計畫等の如く大體十年を單位とする開發計畫をとるべしとの主張が一般の觀念となつたやうである、工業化工作の挫折は地方資源の開發等は勿論のこと紡績その他の輕工業さへ原料資材の不足、資金難等のため全く振はず、殊に陝西省の棉花は本年度は甚だ不作で大部分の工場が操業を停止する状態であつた
△新疆に努力扶植 かくて重慶焦慮の西北開發は漸次退嬰消極化し、農業部門に重點を移向したものの雨量はこれまた財政的或は技術的には早急な改善が望まれずわづかに雪融け水を利用する新疆省一部の開墾によつてお茶を濁すことになつたのである、しかして今後の開發方針も同地に對する移民の強化に努力が拂はれる模様で、西北公路運輸局長何鏡武は蘭州より重慶へ業務報告に赴く途中十七日西安において左の如き言

明を行つた
「現在まで新疆に送りこんだ移民は五千人、目下輸送の途中にある者或は準備中の者を加へれば六千三百人に達する、明年は更に移民輸送を強化する等々、新疆省主席盛世才の言によれば蔣介石の手許に提示した計畫では明年の二月より八月に至る期間において移民三萬を送りこむことになつてをりこのための豫算として、特に一億元の支出を申請中である、これらの移民は主に河南省の難民を採用する豫定である」
以上要するに重慶の西北開發は盛世才の要請に基き新疆省の開墾と河南省難民救済との一石二鳥を狙つた政

策に落着いたわけであるがこれによつて重慶の抗戦力が多少とも好影響を受けるものとは考へられず、結局從來ソ聯の勢力下に等閑視されてゐた新疆省に對して中共側の連絡路を中斷する意圖をも含めてソ聯が對獨の戦に多忙な折から空巢狙ひの重慶勢力を扶植しておくことはどちらに轉んでも無駄ではないと云ふのが蔣介石の狡猾な腹の底であらう
【上海二十日發】西北開發の重要工作として水利灌漑工事に努めてゐる重慶當局では、今回「十年萬井計畫」なるものを實施するに決定したといはれる、即ち十九日の重慶放送は行政院では豫て最高國防委員會委員于右任提議の十年萬井計畫を明年より實施するに決定、第一年度は準備期とし第二年度の民國卅四年には先づ試驗的に二十井を開墾し、以後逐年開墾を漸増して、十年目の民國四十二年には一萬二百二十二井の鑿井工事を完了する豫定といはれる、しかしてこれが第一年度分經費として四百四十萬元を支出し、これを甘肅、陝西、新疆三省に對し三十三年度豫算として割當するとともに、國立西北技術專科學校では當局の委嘱をうけて同校の學生をもつて鑿井專修班を組織し、これを前記の三省に派遣し調査に當らしめ、また蘭州の某機械製造工場では當局の委託により鑿井機の製造に當ることとなつてゐるといはれる、このほか甘肅、新疆兩省では調勘隊を組織し、その實地調査地點として先づ蘭州、永登、武威、永昌、涼州、玉門、哈密迪化等の各地があげられてゐるといはれる

赤色 經濟危機深刻
【北京二十日發】過般延席上で開催された陝甘寧邊區幹部會の席上中共最高指導者毛澤東は「經濟問題と政治問題」と題する演説を試み崩壊する赤色抗戰經濟の危機を叫ぶとともに邊區經濟破綻の諸原因に論及し頗る悲觀的な告白を行つたことが判明した、毛澤東の演説から苦悶する中共の經濟問題と財政問題最近の核心を抽出すると左の如くである
一、財政政策と經濟政策とは不可分の關係にあり兩者は併行してこそ始めて抗戰經濟の確立が期せられるのであるが、中共は財政政策を重要視し經濟政策を輕視してゐるので抗戰經濟は著しい跛行性を示してゐる、これは中共幹部が舊套且保守的觀念から一歩も出てゐないのみならず經濟知識の乏しいたつて乏しいことを立證するものである、例へば自給工業の確立、軍官民一致の生産運動、農工商各機關の向上發展を喧傳してゐるが指導幹部層の經濟知識の貧困から立地條件が考慮されず、從つて一片の空言に歸してゐる
二、陝甘寧邊區は地域が廣大であるのに對し住民は僅か千四百萬人に過ぎない、しかるに尨大なる軍隊並に工作人員の生活費、これに伴ふ多量の食糧供給を必要とする、このため一般農民の負擔は益々増大してゐるが中共幹部は農民より搾取するのみで人民經濟の助長育成を目的とした各種開發がなんら進められてゐない、抗戰の前途に甚しく暗影を投じて
三、精兵政策は經濟及び財政政策と密

接な關係を有するもので消費の減少生産の増大、農民負擔の軽減を目的としたものであるが、實情はこの目的と背馳し精兵政策の實施に末梢的的な形式主義に終りその効果は甚だ稀薄である、これが主要なる原因は中共幹部の安易な責任感と抗戰意識の著しい低位に基くものである

物資獲得に狂奔

【南京二十八日發】皇軍と重慶軍の板挟みに會ひながらその抗戰地帯を利用して和平地區の擾亂と港勢力を利擧げ、これが主要なる原因は中共幹部の安易な責任感と抗戰意識の著しい低位に基くものである

大東亞戰爭第二周年

寺内最高指揮官

南方諸國

十二月八日の大東亞戰爭第二周年記念日を迎へて南方各地に於ては盛大な記念行事を行ひ寺内南方方面最高指揮官、パー・モウ、ビルマ國家代表ラウレル比島大統領は左の如き談話を發表した

大東亞戰爭第二周年

死傷病者に無限の感謝を捧げ併せて盟邦諸國の發展奮闘を祈る次第である(昭南)

來るべき決戰の年を戦ひ抜かん

パー・モウ、ビルマ國家代表

四、中共は現在抗戰と生産との二大目標を掲げてゐるが、一般民衆は自衛軍としての訓練と警戒勤務その他頻繁な會議に追はれるため労働力の浪費に陥りその調整が行はれてゐないため邊區の荒地は逐日増大し、しかも抗戰口糧の徵發が最近益々増加してゐる反面、一般農家は耕牛、農具、食糧の缺乏に喘いでゐる、これが對策としては労働組織の強化と農民貸付資金を考慮されねばならぬ

我南方軍は開戦以來將兵意氣益々軒昂、遙か祖國統後における必勝の努力と燃ゆる赤誠とに無限の感謝を送りつつ克く一致團結以て皇軍の精華を中外に發揚し來つたのである、軍政方面においても關係諸員の熱誠とその陣頭挺身並に原地民衆の奮起により、治安の確保は固より作戦協力、開發建設共に着々その軌に乗りいませ、南方地域總力戰態勢はますます完成の域に到達せんとしつつあることは御同慶の至りに堪へない、惟ふに今次世界大戦特に大東亞戰爭の目的とするところろ米英の擄取專斷とその世界政策を擊攘して新しき世界新秩序を確立する、換言すれば新しき世界を創造するにある、この故に「萬邦共榮の苦樂を偕にする」の皇我々各自が躬を以て具現し奉るべき第一の責務である、今や米英はその尠大なる物的戦力に頼つて無

死傷病者に無限の感謝を捧げ併せて盟邦諸國の發展奮闘を祈る次第である(昭南)

來るべき決戰の年を戦ひ抜かん

パー・モウ、ビルマ國家代表

十年餘に亘つて遂行された結果ビルマは無一物と化しビルマにおける英國勢力が急激に増大していつた反面ビルマは自らの基本的権利さへ喪失する危機に陥つたのである、だが一九四二年はビルマにとり再生の年であつた、總ゆる英國流の暴漢はビルマから姿を消し我らは精魂を傾けて戦火の内から蹶起し、新らしき途に向つて發足した、わがビルマ國民は心血をそそいで努力した結果一年の月日を出でずして新らしき途を邁歩し得るに至つた、かかるときこの事實を熟知する日本は寛大にもわが國民をして自由なる國民たらしめた、かくてビルマは過去より完全に離脱した、現在並に將來に亘る自己の正當なる地位を確得したのである、その翌年の一九四三年即ち開戦二年目にしてビルマは道義によつてその友邦と鞏固に結ばれた獨立主權國家になり、東亞人の東亞建設のため及び東亞民族防衛の共同戦争完遂のために努力し得るに至つた、最近東京に開催された大東亞會議はかかるビルマ國の地位を確定したものである、開戦三年目は東亞各民族が共同の戦争遂行裡において歴史上嘗てなきまでに強固に結合する年であらう、過去を回顧し將來を達觀するときビルマは明年こそ敵の奪回呼號に對し決死の闘争を敢行するであらう、しかしながら我らは最早以前に如く斷じて欺瞞の思ふやうにはならぬ、我らは日本軍とともに在り、我等はまた武器を有してゐるのだ、武器のみならず千六百萬のビルマ國民は烈々たる國土防衛の決意に燃えてゐるさらには其背後には敗北を知らぬ日本の指導の下に十億の東亞民族の結

大東亞保全に犠牲性とはじ

ラウレル比島大統領

世界史の發展の上に多大の貢獻を果した我が母なるアジアは永らく西歐勢力の侵略のもとに置かれてゐたが遂に昏睡から目覺めて立上る時が來た、所謂コロソプス、ヴァスコダガマ、マゼラン等の發見者による西歐諸國のアジア及びアフリカ侵略が始まり、この結果十九世紀末葉にはアジア及び東南地域諸國の大部分がその勢力下に置かれた、即ちインドビルマ、マレー、婆洲は英國に、東インド諸島はオランダに、インド支那は佛國に、比島はスペインから米國の支配下に移された、然るに日露戦争による日本の大勝利の結果アジア民族はやうやく目覺めて歐洲人の優越性はその神秘性を失ひ「アジア人のアジア」といふ新しき原則が生れるに至つた、西歐諸勢力はロシアに對する日本の勝利を契機として東洋諸國特に日本との提携による帝國主義的擴張の上に多大の困難を感じけるに至つたが、米英兩國は東洋における弱小諸國の經濟的文化的發展助成といふ欺瞞的手段を用ひてその勢力擴大を依然繼續した、日本は夙に米英の企圖を看破してゐたが敢へて沈黙を守りつづけ、經濟的、政治的軍事的にその實力を強化培養し、更に必要原料確保のため米英の妨害を排除しつつ東洋諸國と商業的關係

集が存在する、一九四四年は決戦の年である、この重大なる決戦の年を東亞の同胞とともに戦ひ抜き東亞永遠の平和を樹立することこそ新獨立國家ビルマの決意である(ラングー)

を確立してゐたのである、不幸にしてこの日本の努力は酬みられず、支那事變勃發するや米英は東洋問題に對して軍事的、政治的に支那を援助して日本に對抗するに至つた、更に米國は日本に對する屑鐵の輸出を禁止し遂にその資産を凍結、また石油輸出を禁止するなど、經濟封鎖手段に出で、A、B、C、D陣營を以て總ゆる方面から日本に對して壓迫を加ふるに至つた、日本は東亞諸民族の平和を冀ひ一九四一年野村大使、來栖特派大使を米國に派遣して事態の好轉に盡したが米國はこの重大問題の解決に當つて日本に協力せざるのみか、徒らに東亞民族の利益を無視した抽象的言辭を用ひ、その誠意の片鱗をも示さなかつた、結果、遂に日本をして東亞共榮國建設の戦争を決定するに至らしめたのである、大東亞戦争一度び起るや日本は獨力東亞における米英勢力を完全に破砕して世界を驚倒せしめ、東亞民族また西歐諸國の援助によらざる東亞民族共榮共働の正しさを自覺するに至つた、共存共榮に基く大東亞共榮國建設は實に東亞民族の宿望であつた、しかし我々はこの共榮國の建設をビルマ並に比島の獨立、支那における租界の接收、タイ國の失地回復、自由インドの實現努力、マライ及び東インドの政治參與確立にみるこが出来る、特に過般の大東亞共同宣言は實に人類史上最大の憲章とも言ふべく東亞十億民族が外部の妨害に對してその集團的利益の擁護を宣言したのである、共存共榮、獨立親和、文化昂揚、經濟繁榮、世界進運貢獻の五大原則は實に東亞圈形成の比類なき理想たると共に健全なる道義性

と本質的正義の母胎である、大東亞民族は目下多大の困難と苦艱に直面してをり更にこの苦しみは深刻に日であらうが我々はここの犠牲を我々自身の將來のために拂つてゐるのであり、更に一層固い決心を以て大東亞の保全確保の達成されるまで、日本と緊密な協力のもとに前進を續けてであらう、我々大東亞民族はこの最後の目的を完遂してこそはじめてその幸福を確保し人類の福祉に貢獻し得るのである、大東亞戦争二周年を迎へるに當り我々は過去の努力を誇りと消足をもつて回顧すると共に大東亞十億の民衆がその共同の使命達成のため益々結束を固くすることを確認して大東亞の將來に對し牢固たる信念をもつてゐる(マニラ)

軍政諸地域

義勇軍義勇隊を創設



【〇〇基地八日發】南方陸軍は五百萬マライ現地住民の燃ゆるが如き郷土愛並に郷土防衛の熱望に應へ、かねて

我が軍防衛に協力すべき「マライ義勇兵建設」に關して鋭意考究中であつたが愈々大東亞戦争二周年記念日に當る八日これが建軍を正式に決定同日正午左の如く發表した

南方軍發表(昭和十八年十二月八日正午)今般マライ地區における現地住民をしてマライ防衛に協力せしむ

るため「マライ義勇軍」及び「義勇隊」を建設することとなり現地住民の熱誠に應ふ【〇〇基地八日發】△軍當局談

一、現地住民上りなる義勇兵はこれをそれぞれ地方における治安維持および防衛に任ずる「義勇隊」とマライ全地域より採用せる優良なる青年をもつて常備軍的に建設する「マライ義勇軍」とに分つ

二、義勇兵はマライ現地住民の左に該當する者よりこれを採用する○郷土愛極めて旺盛で眞剣味をもつて防衛の任に當り得るもの○性勇敢、身體強健、飽くまで責任感の強い者○破廉恥罪に問はれたことのないもの

者が武器を執つてその郷土を護らねばならぬことはいふまでもない、今や日本軍の指導の下方各地域における住民は武器を執つて宿敵撃滅のため起つたとしてゐる、マライ現地住民が今回奮然と起つたこともまた當然といひ得るであらう

昭南特別市参事會委員長任命

【昭南八日發】昭南特別市議事會の具體化につき協議中のあるところ、このほど各民族委員十五名(中華六、マライ四、インド三、歐亞一、アラブ一)の銓衡を終つたので特別市では七日午前十一時市廳舎において任命式を行つた

經理統制二法令公布

【昭南九日發】マライ軍政監部では今回「民間事業經理統制令」並に「委託經營事業經理統制令」を公布、明年一月一日より施行することとなつたその骨子は左のごとくである

△民間事業經理統制令 本令は特に軍政監の許可を得て免除されたるものほか法人たる個人たるを問はず、マライにおる日本人經營(または支配)事業はすべてこれが適用を受けるもので、曩に制定された「民間事業給與統制令」と相俟つてここに完全なる民間經理統制の體系が整備されたわけである、しかしして事業者に対し①經營の合理化、②資金の有効活用、③經營費の支出、④資産銷却並びに評價の適正化、⑤利益金處分の適正並びに自己資本蓄積、につき遵守すべき點を明記すると共に左の諸事項を規定してゐる

一、毎事業年度の利益金中よりその二十分の一以上を準備金として積立

てると共に固定資産の銷却をなすこと
二、毎事業年度終了後一ヶ月以内に當該事業年度の利益金處分を軍政監に報告すると共に財産目録、貸借對照表、損益計算書及び原價計算に關する書類を作成すること
三、軍政監部において必要と認むる時は準備金の他に積立金その他利益金の處分等の運用方法につき必要な命令をなすことを得、更に當該資金に關し業務の状況、帳簿書類その他の物件を検査せしむること
四、本令の規定に違反したる者は一年以下の懲役、又は三千ドル以下の罰金に處せられると共に情状によつては懲役及び罰金を併科される

△委託經營事業統制令 本令は特に委託經營事業に對して許容されるもので、本令に規定されざるものについで「民間事業經理統制令」が適用される、しかしして本令は微辨價格の決定方式と利益金處分方法を特に詳細規定したもので、主要事項は左のごとくである
一、委託經營事業の經理は委託經營外事業と區分するほか各工場事業場毎に區分計算すること
二、受託經營者がその生産品を軍に納入する場合の單價は原價に適正利益金を加算したる金額による、この場合軍所有または廠産の固定資産の原價銷却はこれを認めない、但し生産品を軍以外に賣却する場合はこれを認める
三、原價は追つて定むる原價計算に關する準則によること
四、適正利益金額とは各生産品の原價に適正利益率を乗じたる金額であり、更に適正利益率は受託經營者の

經營資本金額に對し年九分の割合を乗じて得た金額を當該年度における豫想賣上總原價をもつて除して得た率をいふ
五、委託經營における利益金は毎事業の年度毎に左の各號によりこれを處分すること(第十二條)
①適正利益金額より借入金の子子を控除せる金額は受託經營收益とする
②超過利益はその七割を軍政會計に納付し、殘額は受託經營者の收益とする
六、缺損を生じ軍政監が必要と認めたる場合は受託經營者の申請によりその缺損額に相當する範圍内で缺損填補金を補給することを得
事業經營の根本方針明示【昭南廿五日發】マライ軍政監部ではさきに公布の民間事業經理統制令、委託經營事業經理統制令及び民間事業給與統制令の解説並に關係各部との事務連絡のため廿五日昭南公會堂において南方事業經理打合せを開催したが、席上軍政監は南方事業經營者に對し眞に敵前建設に邁進すべき決意を要請今後の方針を闡明した、軍政監訓示要旨左の通り
一、南方事業は總て國家代行機關たる性格を有し苛烈なる作戦即應の經營を要請される、經理統制令發令の所以もここにあり、適當の利益は期待し得ざる反面已むを得ざる缺損については國家においてこれを補填する、故に經營者は利害を超越して眞に多年の經驗と才能を發揮し國家目的達成に奮起されたい
二、南方事業が放漫經營に陥り經營資金調達容易に行れ、徒らに過剰工場の増設を企てるが如きことなきやうよく軍政施策の動向に留意し、資金、資財、勞働力の能率的使用に工夫を凝し、占領地經濟運営に挺身されたい
三、現地各社の技術その他の經營諸條件の中獨自のものを極秘にし獨善的態度を取るが如きことなく將來の權益獨占的利潤獲得のごとき觀念を放棄し、相互研究工夫を重ね、總力を結集し、速かに實益を収められたい
四、昭南に備在する民間の工場、事業場中適當ならざるものは今後出來る限りマライ各地に分散する方針であるから事業計畫もこれに準じて策定されたい

食糧増産總動員運動展開

【昭南十九日發】マライの食糧自給率は官民の携まざる努力により着々向上しつたが軍政監部では食糧の完全自給を一刻も早く達成し、食糧輸送力を軍需輸送力に轉換せしめるため「食糧増産自給土地勞力總動員」を展開することとなつた、本運動の具體的方針は次の通り
一、陸稻、タピオカ、玉蜀黍、ラギ、バナナ、里芋、野菜等食糧作物の栽培獎勵を主とし、空地、荒廢地の解消、ゴム、椰子園の間作を勵行する、水田については軍政監部の技術指導陣を強化し、單位收穫量の増大を期す
二、米のみに依存せず他の食糧を混食し食糧の自給を行ひ得ない農家は如作を獎勵して自給せしめ、ゴム園椰子園等では勞務者數、農園面積に應じ食糧作物の割當生産を實施、自給態勢を完成せしめる
一、官廳、會社、銀行、學校、鑛山要請されるに至つたので軍政監部は今同現地住民皆働態勢確立の一翼と

食糧増産に挺身せしめる、また都市適休人口を生産人口たらしめるため適當な地域に極力移住せしめ食糧増産に寄與せしめる
一、肥料の利用、畜力の増進、播種期、耕作、栽培、貯藏、蒐荷、灌排水等に關する農業技術指導を行ひ全般的に二毛作を獎勵する
一、軍政監部で灌排水、防潮施設を指導するほか使用を怠つてゐる土地は取上げ他の耕作者に耕作せしめ、栽培作物の指定を行ひ、増産成績優秀者には生必物資を優先配給し、彩票及び賞金を授與する

産米買上價格大幅引上

【昭南十八日發】マライ軍政監部では食糧増産の進展に伴ひ生産率の適切な處理統制を實施することとなり、從來の買上價格に對し大幅値上を斷行、マライ全州の生産米農家庭先價格を一齊に概一ピクル當り十三ドルと決定した、即ち從來の買上價格は各州毎に異りケダ州三ドル半、パン州では四ドルであつたから今同の買上價格は二倍乃至三倍に相當するが他面從來の米穀供出獎勵金も増額し概一ピクル當り二ドル、臺灣蓬萊米概一ピクルについては四ドルを交付することとなり、これによつて一般生産者の増産熱を昂揚し食糧増産に大なる活を與へるものである

勤勞奉仕隊結成

【昭南二十日發】マライ工業化の進展と食糧増産の劃期的前進に伴ひマライの勞働力はますます重點配置を要請されるに至つたので軍政監部は今同現地住民皆働態勢確立の一翼と

して全マライに亘り勤勞奉仕隊を結成、これを現下喫緊を要する各種國防事業方面に隨時出勤せしめることとなつた

昭南全勞務者に登録制

【昭南廿八日發】昭南勞務者のうち勞働手帳の交付をうけ當局に登録されてゐるものは今日約五萬に達してゐるが、昭南特別市では今回更にその範圍を擴大し、昭南島の全勞務者を登録せしめることになり、明年一月一日を期して勞働手帳規則を公布し即日實施する、右により新規に勞働手帳の交付を受け登録される勞務者は工礦農等の各職種を通じて約十五萬人にのぼる筈である

農園管理局新設

スマトラ

【メダン廿七日發】スマトラ敵産農園の約九〇%を占める東海岸州農園は昨年八月以來昭南ゴム組合の手によつて生産、蒐荷などを再開 今日に至つたが今回いよいよ農園管理局の設置をみるに至り、これに伴ひスマトラ關係の昭南ゴム組合は發展の解消を遂げるに至つた

州參議會議員の選出完了

【〇〇基地十七日發】去る十一月八日スマトラ原住民に對する政治參與實施要綱が發表されて以來、各州ではそれぞれ州參議會の議員銓衡を急いでゐたが、このほど各州とも選出を完了、推薦議員百廿名、任命議員九十名合計二百十名の全議員を決定した、而してアチエ、タバマリ、西

海岸、リオ等の各州では既に第一回參議會を開催し、現地自治方策の中心に熱心な對議が行はれた、更に參議會と共に各州に新設された厚生局も局長以下現地人のみの類觸れで各州とも張切つて事務を續けてゐる

在留法人の審判令制定

【〇〇基地廿五日發】スマトラ軍政監督部司法部はさき司法組織會を制定して現地住民に對する司法制度を整備したが、今回更に在留邦人に對する「日本人審判令」を制定し明年一月一日より施行することになつた同令は全卅ヶ條よりなり軍人軍屬以外の在留邦人に關する民事刑事事件の審判方式を規定したものである

ジャワ

回教徒代表を引見

【ジャカルタ廿六日發】ジャワ方面陸軍最高指揮官は回教徒がこれまで軍政協力の實をあげて來たことに謝意を表し更に今後一層の協力を要望するたため六日前十時から官邸において全島回教徒代表者を引見、當局側より軍政監代理山本總務部長、ジャヤ・デニングラード宗務部長その他關係者、回教徒側から回教聯合會副總裁キアイ・ハジ・マンヌール顧問キアイ・アブドゥルハブ始め全島回教徒代表五十名出席、最高指揮官の訓示これに對するキアイ・アブドゥルハブの宣誓、軍政監の要望キアイ・ハジ・マンヌールの答辭があつて閉式した

文化報道代表者大會

【ジャカルタ廿七日發】西部ジャワ原住民藝能、文化、報道代表者大會は興亞祭第七日目の六日午後十時からジャカルタ特別市市立劇場においてジャカルタ特別市、ジャカルタ、ポゴール、バンテンの代表者百廿五名出席の下に開催、左の如き宣言を行つた

スラバヤ州勞務協會設立

【スラバヤ廿七日發】勞務需要の圓滑なる充足を圖るため、かねて設立準備中の「スラバヤ勞務協會」はこの程スラバヤ州廳會議室で發會式を舉行した、新發足の同協會の事業は○大東亞戰爭必勝信念の鼓吹及び積極的勤勞精神の昂揚○勞務供給狀況の調査及び登録○勞務者の募集、輸送○殘置家族の援護、勞務者と殘置家族の送金、通信の斡旋○勞務者に對する現地慰問、激勵、勞務者の宿泊その他厚生施設の設置等である

新聞會令公布

【ジャカルタ廿八日發】軍政監部では決戦段階に處する現地語新聞事業の適切合理的なる運営を一層強化するため今回ジャワ新聞會令を七日公布施行した、同令施行に伴ひ従前のジャワ新聞會は解散し、これに替つて新聞令に基きジャワ新聞會法人が新たに設立されたが、同會の主要業務は現地新聞事業の經營並に新聞報道業務その前提として十二月一日附をもつて市廳設置規程及び暫定市令を公布し、差當り所要資金として廿萬ギルダが軍政會計より出資される、なほ同會で近く定款並に役員の發令をまつて具體的計畫を建て速かに積極的活動を開始する方針である

無電同時放送開始

【ジャカルタ廿八日發】ジャワ軍政監部ではジャワ島内におけるマライ語新聞情報通信の統一と迅速化を圖るため軍政通信施設の一部を利用して無線電信による同時放送を實施すべく同盟通信社及び國際電氣通信株式會社において準備中であつたが、八日大東亞戰爭二周年記念日を期して放送を實施することとなつた

輸出稅徵收

【ジャカルタ廿一日發】軍政監部では食糧その他島内物資の無計畫な島外流出を取締るとともに、他の南方地域との價格差を調整し、あわせて財政收入の強化を圖る主旨から今回積出物資取引稅を課せられる物資を除く輸出貨物に對し當分の間輸出申告時における價格の十割に相當する輸出稅を賦課することに決し、十二月一日軍政監令をもつてこの旨公布即日施行した

市廳設置規程と暫定市令公布

【マカッサル廿日發】海軍民政府情報課三十日發表、海軍民政府は帝國政府がさきに中外に宣言せる原住民政治參與の公約實施につき着々その準備を進めつつあるが今回その前提として十二月一日附をもつて市廳設置規程及び暫定市令を公布し即日これを實施することとした、右は原住民政治參與の一部面たる市政參與を實現する準備のため、市廳設置規程をもつて法規上市の性格の明確ならしめ、その區域を軍政上の行政區劃とし市廳を軍政の掌理に當らしめるとともに他面暫定市令をもつて市に法人格を與へ、内地の府縣に類する地方自治體として自治行政の運営を行はしめることとするものにして今回市廳の設置をみたはマカッサル、メナド、バンジエルの五地域で地方自治體として、法人格を認められたものはポンチャナク市を除く四市である

海軍地域原住民に參政許與

【マカッサル廿七日發】大東亞戰爭二周年記念日の八日を期し南方海軍軍政地域における原住民の政治參與はいよいよ許與されるが、これに關し七日午前十時左の如き海軍民政府總監聲明が發表された

セレベス

は皇國不動の國是なり、然るに米英は自國の繁榮のために大東亞に對して多年に亘り侵略擄取を行ひ、遂には大東亞隸屬化の野望を逞しうしてその安定を根柢より覆へんとせり。ここにおいて大東亞戰爭起り、大日本帝國は東亞共同の宿敵米英擊滅に連戰連勝を博して大東亞共榮圈の基礎を確保し、今や皇軍占領の各地域に軍政の急速なる滲透と原住民の全面的協力とにより異常なる建設的發展を實現しつつあり、東條首相は第八十二回帝國議會において帝國は原住民の念願に基き夫々の民度に應じて本年中には原住民の政治參與に關する措置を逐次實施すべき旨を宣言せり、當海軍主擔任地域の情勢は治安愈よ良好にして原住民の帝國に對する信頼協力もまた益々強化しつつあるを以て本國は皇國不動の國是に基き帝國政府の公約實現を圖り茲に當地軍政の實情に即した原住民の軍政參與に關する方式を實施せんとす。即ち南西方面海軍政府が八日の大東亞戰爭二周年記念日を期して公表せんとする原住民の軍政參與に關する制度の大要次の如し。

第一、軍政區域に諮問機關を設置しし人格識見優秀なる原住民を撰拔して軍政に參與せしめ、その圓滑適正なる發展を期す。

④州(民政部直轄區域け州と見做す)の行政に關し民政部長官(州において州知事)の諮問に應ぜしむるため民政政府總監の指定する州に州會を開く。⑤市廳の事務に關しその諮問に應ぜしむるため民政政府總監の指定する市に市會を置く。

第二、軍政諸行政機關に有爲有能の原住民を拔擢登用し軍政施行の相當の

地位に當らしめて軍政の有効適切な運営を更に充實せんとす。④原住民の職員の種別を定めその階級を統一し且つ任用に關する一定の基準を設けその組織系統を明かにす。⑤原住民職員の俸給に關し、一定の基準を定むると共に、現下の狀況に鑑み支給を適當と認むる手當の種類及び基準を定めもつて原住民職員の地位と生活との安定を圖る。⑥日本軍政習熟の進度に應じて原住民職員を漸次高位の職に登用することを明かにす。

以上が當海軍區域の現地住民に開かれたる軍政參與の方途にして現地住民は必ずや帝國の眞意を諒解するものと確信す、原住民がこの光榮ある進路に面し新なる責務を感じ、さらに一段帝國に對する協力を實現する

の方途を定め本日大東亞戰爭二周年記念日に當りその關係諸法令を公布せり、今回發表せる原住民政治參與に關する措置の大要左記の通りなり。一、各民政部直轄地域および必要な州に州會を設置し州會を通じて州内の軍政に參與する道を開きたること。二、市に市會を設置し市會を通じて市の軍政並に自治行政に參與する道を開きたること。三、軍政諸機關における原住民職員の任用、地位、待遇に關する規定を整備し廣く人材を登用する道を開き日本軍政に參與する機會と光榮とを與ふるとともにその地位の向上生活の安定を圖りもつて日本軍政に對する獻身的協力を期待すること。

州會設置地を指定【マカツサル八日の八日南方海軍軍政地域の全原住民政治參與に關する暫定州會令、暫定市會令暫定市會議員、選舉暫定市會議員選舉令及び暫定州會議員、市會議員手當及び旅費規定を公布、選舉令を除き即日實施し同日附告示を以つて州會を置くべき地としてセルベツ、ボネオ、セラムの三省政務を直轄地及びメナド、アンボン兩州を指定し、また市會を置くべき都市と定に依り日本の性格を附與されたマカツサル、メナド、バンジエルマン、アンボン、セラム、アンボンの五市を指定し、南方海軍軍政下の指定各地區における州會が年一回の市會成年六回開會され、州市會共議長を除く議員は全部推薦及び選舉に依り選出される(但しボネオ、アンボン兩市のみは【マカツサル十六日發】現地當局で

現在の特種事情に鑑み當分の間市會議員選舉を行はず推薦制による)原住民職員任用、給與暫定要綱實施【マカツサル九日發】海軍民政部では新たに原住民職員制度を確立して原住民人材の積極的登用と職員地位向上並に生活安定を期するため九日原住民職員任用及び同給與の二暫定要綱を發表、即日實施した、右要綱によれば原住民職員は一級、二級、三級、四級の四階級に分たれ、學歷、試験銜衡のいづれかによつてそれぞれ相當程度の階級に任用されるもので、俸給月額は一級職員最低百二十ギルダー、最高七百ギルダー、二級職員最低七十ギルダー、最高三百六十ギルダー、三級職員最低三十ギルダー、最高百七十ギルダー、四級職員最低二十ギルダー、最高百ギルダーと定められ更に手當、家族手當、地方手當、職務手當、退職手当及び扶助金等について支給の道が開かれることになつてゐる。

【マカツサル十日發】去る八日わが原住民政治參與許可を感謝して開催したマカツサルにおける民衆大會席上左の如き米英擊滅總蹙の決議文を可決したが、十日市民代表は現地當局に出頭これを提出した。大東亞戰爭二周年記念日に當り吾等マカツサル市民は、皇軍將士の勇戦奮闘に對し衷心より感謝の意を表するとともに、大東亞民族の一員たるの自覺を新に、戰爭遂行に挺身、以て米英擊滅に邁進せんことを誓ふ。

【マカツサル十六日發】現地當局で

は去る一日を以て従来のマカツサル特別警察廳の名稱を廢止し新たにマカツサル特別警察廳を設置、これと同時に従來マカツサル分縣監理官の管轄下にあつた同署を現地當局の管轄下に移し、治安態勢の一層強化を期することとなつた、なほメナドにおいても同様近く特別警察廳を開設する豫定である。

海軍々政地區の輸入價格引上げ 【マカツサル十八日發】海軍々政地區における交易物資輸入價格については戦前における日本對舊蘭印の爲替レイト(百圓對約卅三ギルダー)を基準とし臨時軍事費特別會計の負擔において極力低物價政策を堅持し來つたが現地軍政當局は最近における現地經濟情勢の進展に對し右價格を若干引上げざることを妥當と認め種々研究中のところ、この程右基準價格より約三割方の引上げを行ふことと決定した、なほ交易輸物物資價格については現行價格據置とした。

西ボルネオの米作好調 【ボンチャナク二日發】ボルネオ地方は開戦後米穀自給の要請に應じて現地當局では、本年初頭以來農民に二毛作ならびに作付面積の擴張を積極的に奨励し米穀自給の促進をはかつてゐる、右増産獎勵實施以來二回目の作付期に現在各地の狀況を綜合するに、植付面積三〇%増加確實視され、順調に進めば來春の收穫期には〇千石増収は確實で食糧自

ボルネオ

マカツサル特別警察廳開設

マカツサル特別警察廳開設

給の前途は早くも期待されてゐる 南ボルネオ移入勞務者の成績良好

【バンジエルマン四日發】産業開發の進展に伴ふ南ボルネオの移入勞務者は本年七月以來急激に増加したがこれら勞務者の成績は極めて良好で現地建設に多大の寄與をなしてゐる健康状態は現地衛生當局のマラリヤ撲滅運動の展開によつてマラリヤ罹患者は極めて少く、集團住宅の建設による規則的生活、病院、蹴球場、オペラ等の娛樂機關、福利施設の完備、野菜園作りなどますます彼等の健康を増進してゐる、現在月二日間の公休が實施されてゐるが出勤率は殆ど百パーセントであり、賃金も勞務協會によつて統制され、大體戦前の一倍半乃至二倍を示し、家族送金も順調に行はれ、その精神的協力振りもすばらしい、先頃建設に挺身する員住民勞働者に衣類を送れとの厚生運動がバンジエルマンを中心におこり、衣類の配給は既に開始され、勞務者に深い感銘を與へてゐる

南ボルネオに青年團結成

【バンジエルマン二日發】南ボルネオ現地當局は今回南ボルネオ青年團を結成、原住民青年の教養、訓練體力増強、勤勞、社會奉仕等各種事業を行はしめることとなつた

北ボルネオがジャワ南支と交易

【クテン八日發】島内自給自足の建前を堅持する一方、必需物資の計畫的輸出入を圖つてゐる北ボルネオでは今回ジャワとの交易を開始し本年

度の取極めを行つた、すなはち交易物資は北ボルネオからダマール、コブラ、鹽干魚、及びコークス等、ジャワからは勞務者用衣服硫黄その他化學藥品等で、ジャワからすでに勞務者用衣服三萬人分その他雜貨類が到着し、さらに今後繁忙なる交易を期待されてゐる、また廣東を中心とする豊富な物資と北ボルネオの土産品の交易についてかねてより現地當局間で研究中であるが、これまた近く實施の運びに至るものとみられる、すなはち北ボルネオから麻油、ダマール、ゴム等を輸出し、廣東方面から綿布雜貨その他が北ボルネオに輸入されることになるが、すでに交易開始のフリーピン、臺灣及び今回のジャワ、南支方面との交易北ボルネオの滞貨及び不足物資問題は急速に解決されることになつた

州市會議員定數決る

【バンジエルマン廿日發】海軍軍政地域の暫定州會令並に暫定市會令に基く州會及び市會の議員定數に就いては各十五名以内においてこれを定めることになつてゐるが、ボルネオにおける定數は直轄區域の州會十五名、バンジエルマン市會十三名(選挙議員七名、市長推薦委囑議員六名)と決定した

軍政地域短信

一日【マライ】不動産取得税公布施行【ジャワ】公立國民學校、中等學校職員優遇令(官吏に任命)公布、施行【セレベス】南方海軍軍政地域内爲替送金取締要綱撤廢
八日【スマトラ】皇軍に協力の現地

人千數百名表彰【ジャワ】邦人鍊成團、軍用機資金四十七萬二千六百七十餘陸海軍へ獻納【セレベス】邦人、原住民海軍機資金五十萬ギル奉納
十三日【セレベス】マカツサル男女中等學校日本語週間實施
十五日【ジャワ】華僑の移住、旅行許可制撤廢、日本語實力檢定試験舉行(十六日迄)
十九日【セレベス】アンボン人團體至誠會創立總會(マカツサル)



ハノイの人口疎散

【ハノイ十一日發】十日の米空軍鬼畜のハノイ爆撃において佛印側の發表によれば一般市民中に死者廿八名、負傷者百九十名の一の犠牲者を出した、佛印當局ではハノイの人口疎散を行ふこととなり、女性子供並に多忙ならざる男子に對して十一日疎散の警告を行つた

罹災者に救済金品

【ハノイ十八日發】官爆罹災者救済のためハノイ、ハイフオン、サイゴンの三日日本人救済金として二千ピアートルを難民救済開始した、一方我が大使府及び在佛印日本文化會館は十八日トキン州理事長官を通じてハノイ難民救済事業にそれぞれ三千ピアートル、一千ピアートルを贈呈慰問した

救済費に與行税賦課

【ハノイ廿日發】官爆による被害者救済のためトキン州理事長官府ではトキン州全地域の映畫、演劇音樂會競馬その他娛樂入場者に對し入場料の一割に當る興行税を課し、難民救済費に當ることとなつた

聯邦會議閉會

【サイゴン十七日發】再開初の聯邦會議は十六日よりサイゴンにおいて開會されたが、開會劈頭ドクロー總督は政治、經濟、社會、文化、土木建築、財政の五分野に亘つて佛印政廳一ヶ年の業績を説明した、同演説は從來の經濟財政大會あるひは舊聯邦會議席上行はれて來た恒例の施政演説に比し、特に佛安合作の進展、佛人佛印人の團結の強化を誇示し、また佛印政廳の各種事業が佛印人に對し偉大なる貢獻をなしたと強調してゐることが注目される

芳澤大使近く上京

【サイゴン十八日發】芳澤特派大使は十七日午後九時半(現地時間)サイゴン着、官邸に入つた、約一週間滯在の上、來る通常議會に出席のため上京の豫定

商業施設評價委員會設置

【ハノイ二十日發】佛印總督府では國內電力的強化を容易とする商業用施設の軍事費を容易ならしむるため商業施設の價格評價徵發による損害額の決定を行ふ「商業用施設評價特別委員會」をトキン、安南、ラオス、交趾支那、カンボチャの各主要都市に創設することとなり總督令もつてその旨公布した、右委員會は佛印陸海空軍の軍事費に應じて價格評價を行ふほか佛本國の要求に従

佛印の米收穫好成績

【サイゴン十日發】佛印米本年度收穫豫想は平年作額六百萬トンを見積られてゐるが、佛印の最大米産地たる交趾支那の收穫はその五割以上の三百二十萬トン見當を豫想され一ヶ月の收穫率は一・三トンを上り、佛印の米作は七、八月頃の悲觀説を裏切る存成績を示してゐる

代用燃料生産高

【サイゴン十日發】最近における佛印の代用燃料生産消費狀況をみるに左の通りである
△アルコール 第三、四半期生産高は三千百廿五トンであつたが、これは第一、四半期の三千二百トン、第二、四半期の三千百五十トンに比し稍々減少してゐる、一方配給量は二千九百九十一トんで第一、四半期の三千百トン、第二、四半期の三千八百廿五トンに比し大體大差ない數量であり、生産消費とも極めて安定した状態にある
△ガソリン ガソリンは未だ工業化の域に達してゐないが、現在までの生産高は二十トンを超えて居り、ディーゼル機關用燃料その他に用ゐられてゐる、しかし佛印第一のゴム栽培會社たるテール・ルーヂエ會社の工場は既に設備を完了しいよいよ本格製造に乘出すこととなつてをり、尨大なゴム資源を有する佛印のこと

とてこの企業の成行は注目される
△重油代用品 重油代用品の第三
四半期生産高は植物性油千七百トン
動物性油四百トン合計二千百トンに達
したが、前者は第一、第二、四半期
に比し顯著なる増加を既してゐるの
に比し、後者は漁獲期が既に終つた
關係からかなりの減少となつてゐる
△潤滑油代用品 潤滑油代用品の生
産は好成绩を示し工業用その他合計
五百八十二トンに達した、これは大
體必需方面全體の需要量を充足する
量である

漂流瀕死の安南人を救ふ

【サイゴン三十日發】 去る九月廿六
日重要任務を帯びたわが〇〇船〇〇
丸が佛印南部沿岸パタラン岬附近を
航行中のことであつた長時間漂流の
ためか泳ぐ元氣もなく浪にまかせて
わづかに浮いてゐる三名の人影を認
めた、任務は一刻も早く〇〇港に急
ぐことを必要としてゐたが〇〇丸船
長は毅然として救助を命令直ちにボ
ートが下され熟練したわが船員は難
なく漂流現場に漕ぎつけ無事救ひあ
げたのであつた、救はれたのはカオ
ブイ(III)、ヌエイ・ベン・ヌー(二
一)及びヌエン・ファン(一九)の
安南人三名で、直ちに〇〇丸で應急
手當を受けたのも〇〇日間手厚い看護
をうけた、言葉の通じない不自由で
も温いわが船員の熱情に包まれてた
だ深い感謝をその眼その態度で現し
てゐた、〇日ののち〇〇丸は香港に
寄り三人は同地官憲の手に渡された
官憲もまた彼等に親切であつた、彼
等は會ふ日本人の誰も神の如く思
はれたと嬉し涙を流して感謝するの
だつた、香港官憲ではサイゴン行き

便船を待つたがなかなかうまい都合
にゆかなかつた、そこで總督部港務
局ではわざわざ總督部運航の機帆船
を都合して彼等に乗せ、はるばるサ
イゴンまで送り届けた



【バンコック二日發】 タイ國政府は
戰爭遂行に萬全を期するため戰時評
議會を設立することに決定、二日の
人民議會に設立案を提出した結果滿
場一致をもつて第一議會を通過した
なほ同案提出に當り國防大臣ピツ
ト氏は左の如く提案理由を説明した
今回の戰時評議會は戰時下における
軍事政治經濟及び國民の福祉増進研
究の中央機關となるものである、評
議委員は主として閣僚及び軍首腦部
より構成され戰爭が終結すれば機能
を停止するものである

ダムロン殿下薨去

【バンコック二日發】 タイ國王アナ
ンダ・マヒドーン陛下の大伯父にあ
たるダムロン・ジャハツプ殿下は一
日午後一時四十五分心臓麻痺により
バンコックの御殿で薨去された、御
年八十二歳

在タイ華僑蔣介石に通電

【バンコック八日發】 大東亞戰爭二
周年記念日の八日タイ國中華總商會
はじめ在タイ華僑團體は連名で東亞
の叛逆蔣介石に宛て通電を發し彼
の痴夢する妄想に絶つ痛烈なる一矢
を報いた、尙ほ東條首相、汪主席に
投資會計減出 一八八、三〇〇
一般會計減出 一五一、四四一

國有鐵道を軍管理

【バンコック十五日發】 十四日のス
パ、サトリ紙によればタイ國有
鐵道は去る八日以後軍管理に移され
タイ國防軍最高司令部の指揮下に入
りその管理運行ともに軍において行
ふことになつた、なほ軍鐵道監とし
て内相プロム・ヨテイ中将が任命さ
れたのはは鐵道従業員及びその組織
は従來のままを踏襲する

タイ領マライ四州州政を
土侯に移管

【バンコック十七日發】 十七日のタ
イ字紙スパサトリの報ずるとこ
ろに依ればさきにタイ國領土として
編入されたマライ四州に對しては接
收後現在までタイ國軍政下に置かれ
てゐるが、近く各州土侯の政治的地
位を強化し土侯を首班とする州政廳
へ軍政を移管すべく準備中であるとい
はれる、軍政廢止後は現在のタイ
國軍政廳は、單に顧問として民政の
指導輔佐に當り、各州とも土侯の下
にタイ本土におけると同様な州政廳
の政治機構を確立し、法權をもこの
州廳に移管し、各都市には夫々市政
を布く豫定である

明年度豫算決定

【バンコック十七日發】 十六日のタ
イ國議會は滿場一致をもつて左の明
年度豫算を可決した(單位千ベーツ)
歳出總額 三三九、七四一
内 譯

歳入總額 一八八、三〇〇
歳入總額 一五一、四四一

關稅法改正法令公布

【バンコック十八日發】 タイ國政府
は十七日附をもつて現行關稅法の改
正法令を公布した、右改正により輸
入にあつては食糧品及びアルコール
製飲料の輸入稅率が現行の二倍とさ
れ、輸出にあつては家畜類、肉類な
ど新たに二十品目に對して輸出稅を
徵收することとなつた、今次の改正
は國家豫算の膨脹に即應するため關
稅收入の増加をけかると共に食糧品
並びに酒類等國內産業保護と肉類そ
の他物資の確保をねらつたものとみ
られる

日タイ同盟締結二周年記
念式典

【バンコック二十一日發】 日タイ兩
國が大東亞戰爭完遂、米英擊滅の誓
ひをタイ國王室寺院ラツトブラケオ
のエメラルド佛陀の大前に固めてか
ら二年、二十一日午前十時よりそ
の同エメラルド佛陀の前に於いて同
盟締結二周年記念式典が行はれ日タ
イの固き誓ひを新にした

議會三法案可決

【バンコック二十三日發】 二十三日
のタイ國通常議會は印紙稅率引上法

案、飲食店旅館稅新設法案、教育法
改正法案の三件を附議、政府の原案
通り可決した

議會閉會【バンコック廿一日發】タ
イ國人民議會は十一月一日特別議會
を開會以來毎週木曜日毎に審議を重
ね、その間三億三千九百萬ベーツに
上るタイ國未曾有の決戰豫算を初め
獨身稅法、關稅法中改正法その他
多數の重要案件を審議通過せしめ、
タイ國の決戰態勢確立に資したが、
廿日に引續き廿一日午後三時開會
殘る二三件案の審議を行つた後、
議長より今次特別議會の閉會を宣し
續いて閉會に際しピンプ首相より議
員に宛てたメッセージを朗讀散會し
た

大臣更迭

【バンコック廿八日發】 タイ國政府
は廿六日付をもつて農務副大臣ウタ
イセン・マニー氏を内務副大臣に任
命、サンウオンスワリンチープ海軍
大佐を國務大臣兼内務代理大臣に任
命した

陸軍首腦部異動

【バンコック十六日發】 タイ國政府
は十四日國務次官ピツト中將の國
防大臣昇任にともなふ陸軍首腦部異
動を左の如く發表した

- 國防大臣陸軍中將
ピツト・クリアンサツクピツト
陸軍司令官補陸軍中將
サワット・サワット・ロナロン
任陸軍副司令官
兼任防空義勇隊長
陸軍中將
チラ・ウイチット・ソングラム

陸軍中將 イン・テイバノン
任陸軍司令官補

最近の經濟事情

【バンコック五日發】自由經濟の確立に邁進しつつあるタイ國政府は名實共に大東亞の兵站基地たるの實を擧げんと努力しつつあるが、最近の動きを見るに次の如くである
△錫、銅の新鑛脈發見 タイ國の農業に次ぐ重要産業たる鑛山業は戰爭勃發と共にその最大産物たる錫の輸出減少と價格の低落に當面、一時不振を呈し休鑛するものが續出するに至つたが、全鑛山の七割以上を占めてゐた英國系鑛山を接收し、資本金二百萬ペーツの錫ゴム會社を設立して錫鑛山の開發に努めた結果、錫鑛業も漸次復舊してゐる、同社會長ウトム・サニットオン氏の言明によれば同社の本年度収入は昨年度の十倍に上つてゐる、更に最近政府はタイ國全土に亘つて地質調査を行つてゐるが、當局の發表によれば錫鑛脈四ヶ所、並に銅鉛ウオルフラム等の鑛脈數ヶ所を發見、何れも埋藏量含有量共に頗る優秀で前途に多大の期待がかけられてゐる、單に鐵鑛石もタイ國全土に亘り廣く發見されてゐる從來製鐵所には見るべきものがないため鐵製品は殆んど輸入に仰いでゐたが、ランスリット産業大臣の言明によれば、當局が最近行つてゐる製鐵試験は頗る好成绩で近く大規模な製鐵所を建設する豫定であり、近く農具、双物類、簡単な機具類などの自給を計ることが可能と見られてゐる

△地方の自給體制進歩 政府はタイ國自給自足の確立の一方策として全

國八十の各縣内の自給自足を獎勵、ビン首相自ら産業振興の急務を説き各縣に紡績、紡織講習會及び競技會の開催、産業指導所の設置、棉花その他農産物の優良種子の無料配布などの諸方策を講じた結果、棉花の生産と産業進歩状態が報告されてゐる、最近の宣傳局發表によればバンコックの東南約六十キロ、タイ灣に面するチョンブリー縣では既に自給自足の域を脱して各種食糧、日用品を他縣に移出するに至つたと述べられてゐる、即ち同縣民の主要職業は農業、工業、手工業、鹽業及び各家庭の家庭園藝並に家畜飼養などであるが各事業とも頗る順調に行はれ、現在では毎日多量の物資がバンコックを始め各地方へ移出され、また縣内には現在百六十五の砂糖工場がありうち十四工場は新式機械を使用しており、最近ではバンコックから續々企業家が來縣、製糖業並に甘蔗栽培業を開始してゐる

△金塊暴騰 一時小康状態を呈してゐた金塊市場は十一月に入ると共に俄然亂調子となり十一月には十五グラム當り二百五十ペーツの關門を突破廿四、五日には二百七十ペーツを示した、その後政府の統制懸念から一時足踏み状態を呈したが、廿五日に至り當局が「金塊は一般必需品に非ず」として金市場に對する統制の意向なき旨言明したため天井知らずの昂騰を演じ、廿日には三百三十五ペーツといふ空前の高値を告げに至つた、三百三十五ペーツといふ一匁にして八十五圓といふ高値であり、政府の金買上價格十五グラム當り九十八ペーツ五四また償還期には金をもつて償還する金債券の金

相場八十六ペーツなどに比すれば將に狂騰相場と稱すべきである、尤も市場は十二月に入つてから一服状態となり二日には三百十五ペーツの高値より二十ペーツ方下廻つてゐる

タイ國の豊作

【バンコック六日發】米産國タイ國の本年度の米作状況については各方面より多大の關心が寄せられてゐるが當地華字紙中原報は右につき本年度の米作状況は頗る良好で従つて明年度の米穀輸出能力は最少限度二百萬トンに達するであらうと

經濟政策發表

【バンコック十一日發】自給自足の經濟確立を目指すタイ國政府は農業、工業、商業等各分野に對し積極的の支援を與へると共に政府自ら官營農場及び工場等を經營して諸企業の振興に努めつつあるが十日ビン首相の名を以てタイ國現下の經濟政策を左の如く發表した

政府の經濟政策は農業、工業、商業に支援を與へ、國民生活の自給自足を確保するにありその根本原則は左の如くである
一、政府は民業の興隆を希望こそすれ民間業者と競争するものではない
二、大資本を擁する企業にしては資本の不足になやむものに對しては政府はこれに投資を行ひ業者と共同して企業を經營を行ふがその企業基礎が確立した時には政府手持の株式を民間に解放する
三、農商工各分野に對する政府の具體的の方策左の如し
①農業 一般農産物の増産、牧畜業の獎勵に努めると共に各種物産の適

正價格による販賣斡旋を行ふ②工業 タイ國は從來外國製品に依存してゐたため工業部面は甚だしく立ち遅れて居り各種原料は豊富に國內において入手しうるにも拘らず衣料品その他製品不足になやまされてゐる、政府はこの現状に鑑み工業省として生活必需品製造工業の促進に努めしめつつある、これは決して民間工業と競争せんとするものではなく、戰爭遂行上の必要によるもので戦時中にあつては或程度の民間業者の犠牲は已むを得ざるころである③商業 政府は商業取引を圓滑に運轉するた

めには商人の國籍の如何を問はずこれに均等の支持を與へる方針である政府は又民間の商業會社を設立したがこの種會社の基礎が確立すれば政府手持の株式は一般に解放する豫定である
【バンコック十五日發】タイ國政府は金塊相場の異常なる昂騰とこれが影響の少からざるに鑑み、十五日附勅令をもつて左の如き金輸出禁止令を公布、即日實施した
爾今金の輸出はその形状の如何に拘らず、また合金たると裝飾品たるを問はずこれを禁止す、但し大藏大臣の許可ありたる場合は二十年以下非ず、右法令違反者には二十年以下の刑罰或は二萬ペーツ以下の罰金の何れか又は兩者を科し該密輸物件はこれを沒收す
【バンコック十八日發】ビン首相は十八日ラジオを通じてタイ國の棉布需給状況を説明すると共に棉作促進の必要を左の如く強調した
現在タイ國の各種棉布消費量は約二千三百萬平方メートルであるが、内千三百萬平方メートルは國內生産並に農家の手織機によつて生産されて居り、残りの一平方メートルは外國よりの輸入品によつて賄つてゐる、綿製品の自給自足を圖るため政府は棉花増産に特に力を注いでおり、本年度の棉作地は昨年度の四、五倍に達してゐるが政府はこの上とも棉作促進に努力する決意である、農民諸君も政府の意を體してタイ國の纖維資源の自給自足達成のため努力せられんことを望む
【ラングーン一日發】今回ラングーン在留邦人中の在郷軍人によつてラングーン日本義勇隊が組成された、同義勇隊は在留邦人の中核體として軍の補助機關として活動するとともに、又ビルマ民衆の好き指導者として率先範を示しビルマに活躍する邦人の確乎不拔の決意を遺憾なく表示したものである
邦人課税要領發表
【ラングーン十一日發】ビルマ國政府は獨立以來在留邦人に對する課税につき特に考慮を拂ひ日本側當局と協議中であつたがこのほどこれに關する課税要領を決定、十一日これに關し日本大使館は當局談を發表し、在留邦人に通過した、これによりビ



ルマ政府は日本軍人軍属その他日本軍に勤務するものに對する課税、及び日本軍において使用する物品に對する納入税、消費税、生産税等のごとく國際法上當然免稅せらるべきものと、國際法上當然免稅せらるべきの並びに或る種の過渡的取扱を除き一般邦人に對してはビルマ人より不利ならざる條件において課税、且つこの課税を獨立の日に遡つて行ふこととなつた、これにより在緬民間邦人はビルマ人と同等の租税を負擔し得ることとなつた、なほ今回の決定により在緬民間邦人の負擔すべきビルマ國の現行主要租税は左の通り

小川最高顧問任命を公表

【ラングーン十五日發】ビルマ國政府は過般日本大使館を通じて帝國政府に對しビルマ國運營上萬全を期すべく政府最高顧問として日本人を招聘した旨申入れ、最高顧問の銜を推薦方を依頼したが、今回帝國政府より元商工大臣、法學博士小川郷太郎氏を推薦するに決定したとの通告に接したので直ちに諸般の手續を完了し十四日午前宣傳局を通じて小川郷太郎博士の政府最高顧問任命を正式發表した

東亞青年聯盟地方支部組織者會議

【ラングーン十八日發】ビルマ國東亞青年聯盟では去る十五日からラングーンで全國地方支部組織者會議を開いて十七日終了したが、同會議においてウ・ペ・ジャン會長は席上大東亞共同宣言によつて我々の年來の持論は一段と力づけられた、今後は更に強力なる實踐により目的達成に向つて邁進せんと同盟の決意を説いたのち、今後の方針として大東亞戰爭必勝のため總ゆる活動及び社會奉仕を行ふこと、道徳、などの部分における訓練並びにビルマ青年の指導に全力を盡すこと、更に過般東京で開催された大東亞青年大會ビルマ國代表として参加したウ・チョウ・ミン君から報告があり大日本青少年團から同盟に寄せられた聲明および團旗が披露された

シヤン地方の軍政撤廢

【ラングーン廿三日發】カレンニ及びワリーの二州を含むシヤン地方のビルマ領併合に關して帝國政府は去る九月廿五日、日緬兩國間に締結された「シヤン地方等に於けるビルマ國の領土に關する」條約により三ヶ月以内にシヤン地方の軍政を撤廢する旨確約したが、ビルマ方面陸軍最高指揮官は廿三日、右條約に基き廿三日以後軍政を撤廢する旨次の如き布告を發した

シヤン州政廳の開廳式

【ラングーン廿五日發】日本軍政の撤廢に伴ひ、名實共に新生ビルマ國

の統治下に入ったシヤン地方におけるビルマ國シヤン州政廳の開廳式は廿三日の行政移轉式に於いて廿四日タウジンジにおいてウ・ペ・ウイン初代總督、シヤン地方平候以下參列して盛大に舉行された、これによりシヤン地方における行政は同日以降ビルマ政府の手により實施されることとなつたが、同地方の民政に對するビルマ國の根本方針は次の三點に置かれる旨、パーム國家代表により明かにされた、すなはち、○ビルマこれが目的達成のためシヤン、カレンニの協力を得ること、並にビルマシヤン、カレンニ各住民間の相互の和解を助長すること○シヤン、カレンニ地方における戰爭努力の振興を圖ること

シヤン地方總督に内相起用

【ラングーン廿四日發】ビルマ政府は今回日本の軍政撤廢に伴ひビルマ領土に併合されたシヤン地方に對する最高行政長官として現内相ウ・ペ・ウイン氏を現職のままシヤン地方總督に起用することに決定廿三日附を以て正式發令した

「戰爭救恤資金」設定

【ラングーン廿四日發】ビルマ國政府は過般日本政府並に自由インド假府主班ボリス氏からビルマ國民に贈られた見舞金合計百二十五萬ルビをもちて新に「戰爭救恤資金」を設定、國民に對する救済を至急開始することとなつた



政 治 注 目 される教育方針

【マニラ三日發】ラウレル大統領は去月廿七日大統領より法令第十號として比島新教育制度の確立に關する一聯の法令を公布したが、これは豫て教育審議會より大統領の諮問に應じて提出されてゐた第一次答申案に基き制定されたもので、その内容は○教育の資格○國語教育○私立學校管理の三項を規定してをりこれを通じて特に次の點が注目される、即ち○教育と學校の國家的立場をさらに強化し政府と學校とを密接に結びつける○中初等學校教師は國家試験に合格することを要し、各級學校教師は「教育者道德律」に服すること

比島政府人事

- 内閣書記官長 ホセ・サンピクトレス
任食糧管理局長官 △十五日
國會議員 ベトロ・サビド
任書記官長代理(無任所國務大臣待遇) △十七日
テオドロ・エバンヘリタ
任外務省政務局長
(ラス・ビー・モルフエ)
任外務省政務局長
クエルベ・オー・マカリンゲル
任外務省總務局長
マウロ・カリンゴ
任外務省總務局長次長
フランシスコ・ラウイデス
任駐日大使館參事官
△廿七日
大審院判事 ホルヘ・ボゴボ
任教科書委員會會長
華僑所有の敵性財産第二
回返還

瀆職官吏に死刑

【マニラ二十六日發】ラウレル大統領は就任以來民心の作興けまづ國民の指標たる官吏の綱紀肅正からといふ建前のもとに鋭意吏道の刷新に努めてゐるが、今回閣議において物價高或け物資の配給統制等を寄貨として職權を濫用、私腹を肥すが如き惡徳官吏の一掃を期し、瀆職官吏に對しては最高死刑もしくは無期懲役の二回解除返還を行ふこととなり一日嚴罪を課することに決定、とりあへず斷罪委員會の組織を命じた、この方針は休會あけの議會に提案され速かに法律化される等であるが、これにより官吏の收賄が日常茶飯事とされてゐた舊米領時代の惡弊は官吏の自覺と相俟つて一掃され、東洋精神に立脚した新しい吏道の確立が期待されてゐる

敵委員常務委員李煥彩、前重慶國民黨比島總支部執行委員兼宣傳科主任會廷泉ほか六名の所有にかかると、工場など計十五件をそれぞれ關係華僑に引渡した

最高指揮官から年末義捐金

【マニラ十五日發】 黒田比島派遣軍最高指揮官は年末に當り比島に臨し、イクリスマスを迎へさせようと年末義捐金を送ることとなり、十五日正午參謀副長は最高指揮官代理としてマラカナン大統領府にラウレル大結団を訪問、十萬ペソ並びに子供服一萬點を贈呈したほか、マニヤラツク教育厚生大臣並にギントマニラ市長に對しそれぞれ雜貨玩具約六萬ペソづつの目錄を贈呈した

大東亞新聞代表一行到着

【マニラ十日發】 大東亞新聞會議に出席したタイ國、ビルマ國、マラヤスマトラ、ジャワの各新聞代表一行は昭南新聞會岩永信吉氏に引率され九日午後マニラに到着、マニラホテルに一泊したが、十日は午前十時より折柄開會中の國民議會を傍聴し會議終了後アキノ國會議長と會見、同十一時半より外務省にレクト外務大臣を訪問した、次いで正午よりマラカナン官邸にラウレル大統領を訪問し到着の挨拶を述べた

獨立記念醫學大會開會

【マニラ廿日發】 獨立を記念し大東亞共榮圏内における醫學の振興科學者の結成を目的とする比島政府主催獨立記念醫學大會が日本より招聘した阪大木下、東大野邊地兩教授を迎えて廿日午前十時より市内大東亞街

の教育厚生省において會長シソン・フイリン大學總長兼國立病院院長以下醫學者五百名出席、ラウレル大統領、レクト外相、パレデス土木交通相、村田大使等軍官民多數來賓出席のもとに盛大に開會した

農業開發會社設立

【マニラ一日發】 開會中の比島國會に次の農業關係二法案が提出された

一、農業開發會社設立に關する法案 右は農業委員會委員長フエリツク・ス・ベウチヌタ議員の提出になるもので、資本金百萬ペソをもつて比島政府をして比島農業開發會社を設立せしめんとするものである、設立の目的は比島内に存する農業資源にして未だ商業的栽培に着手されてゐない作物、例へば昆麻、小麥またはワリス・ワリサン、グルト・クルタン

の如き麻類纖維の栽培を同社をもつて指導獎勵せしめ、同時にこれが市場を開拓せしめんとするものである 二、民間の土地所有面積制限に關する法案 提出者はスエバ・ピスカヤ州のギレルモ・ボニゴウン議員、憲法第八條第三項は「國民議會は個人または會社、または組合が取得及び保有し得べき私有農業用地の面積を決定することを得」とあるが、本法案はその土地所有面積を個人の場合最高二百ヘクタール、會社または組合の場合一、千廿四ヘクタールに決定し、農業用地の大資本による獨占を防止し、出來得る限り廣く農民に分たんとするにある

【マニラ二日發】 比島議會で去る十月物價對策委員會の任命を行ひ、同委員會は去月中旬報告起草を完了し、今日通常國會にこれを提出したので國會は二日その報告内容を一般に公表した、右報告に示された抑制對策は左の如くである

○食糧増産運動に更に拍車をかけること ○海上及び陸上輸送手段を増強し、輸送を完璧ならしめ物資の偏在を是正すること ○農器具を増産し地方農民に配布すべきこと ○經濟警察その他統制關係官吏の道徳性昂揚に努めること ○市場の調査及び取締を頻繁に行ふこと ○食糧管理局に對しより強力なる權利と資金とを與へること ○通貨及び銀行制度の研究のため特別委員會を設置すべきこと ○各食糧配給統制機構の強化と權限の擴大、特にナリツクの收買網を強化擴大し全島に及ぶが如くすること

【マニラ二日發】 去る十月十三日比島政府の公布せる行政命令により設立せられた食糧管理局に法律的根據を與へると同時に物價對策委員會が結論として採擇した「強力なる物價統制機能を有する機關の設立」の要求に副ふ目的の下に今國會に提出された食糧管理局設立に關する法案は二日午後國會を通過成立した、新法案によれば食糧管理局は食糧その他生必物資の圓滑なる配給を確保するため生産の増強、浪費の防止など必要な手段を講ずる機關となり、大總統令第一號に基く食糧の配給統制を行ふのみならず生産増強に必要な各種の措置を講ずる權限を與へ附されてゐる、なほ同局はナリツクの

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した この要請に基き議會裁入委員會は直ちに立法に着手したが、同法案は二十日までに提出され、公債法案、歳入豫算案などとともに急速審議により成立を見るものと期待される、増稅案の内容は次の通り ○所得累進稅の引上 ○比島内において業務を行ふ比島人及び外國人經營の會社に對する所得稅の引上

【マニラ廿日發】 廿日の比島國會は午前中に七法案を通過せしめたが午後は「比島共和國公債發行に關する法案」に對し投票を行った結果過半数を以て同案を可決通過、大統領府に送附した、同法案は發行總額六千萬ペソ（利息年四分、償還期限三十年）となつてゐたが第三總會委員の修正動議により總額一億ペソに増加され可決した

【マニラ二十日發】 休日明け二十日の比島國會は第三議會より送附された九法案の口頭投票を行った結果、午前中に豫算關係二法案を廢して左の七法案を通過せしめ大統領府に送附した

【マニラ廿日發】 ラウレル大統領は議會に送つた一般敕書及び豫算敕書において現在の行政機構を簡素強化すべき必要あることを述べ、國會にその立法を要請してゐたが國會は行政改革委員長ホセ・ビー・ラウレル二世を中心として左の行政機構改革案を提出審議中のところ廿日の國會において右法案を議員の過半数をもつて通過せしめ、署名のため大統領府に送附した、新法案の内容次の通り

政府行政機構の簡素且つ強力化を行ひ、財政諸經費を節減するため比島共和國大統領に次期通常議會開會に至るまでの期間に各省及び局其他機關の新設または廢止、局の移等を行ひ得る權限を與へる、但し右の改廢統合は一九四四年度會計年度中の歳出豫算の範圍内で行はるべし

【マニラ廿日發】 獨立を記念し大東亞共榮圏内における醫學の振興科學者の結成を目的とする比島政府主催獨立記念醫學大會が日本より招聘した阪大木下、東大野邊地兩教授を迎えて廿日午前十時より市内大東亞街

【マニラ二日發】 比島議會で去る十月物價對策委員會の任命を行ひ、同委員會は去月中旬報告起草を完了し、今日通常國會にこれを提出したので國會は二日その報告内容を一般に公表した、右報告に示された抑制對策は左の如くである

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ十九日發】 比島國會は廿日ラウレル大統領は十八日特別敕書を送り、明年中に合計六十二萬ペソの追加収入を可能ならしむべき増稅案の立法を休會前に行ふよう要請した

【マニラ廿一日發】比島共和國の國祭日決定に關する法案の通過により比島の法定休日には次の如く改正され

一月一日新年、五月第一土曜日勞働日、七月十四日獨立記念日、十一月一日聖人祭、十一月三十日英雄記念日、十二月四日カリバビ記念日、十二月八日大東亞日、十二月二十四日クリスマス、十二月三十日リサル記念日、其の他毎日曜日並に復活祭の聖土曜日と金曜日(毎年三月下旬)も法定休日とす

歳出豫算案ほか三法案可決

【マニラ廿一日發】一日延期された比島通常國會は廿一日歳出豫算案、所得税引上げ法案及び水牛不當階使禁止法案の三法案を上程票決の結果それぞれ可決、同時にアキノ議長よりクリスマス休會に入る旨宣言があらつた、なほ國會は明年一月十日より再開の豫定

財 政 明年度豫算決定

【マニラ二十四日發】比島政府明年度豫算は議會において可決された歳出豫算案、公債發行法案を基礎としてその作成を急いでるが、計數の整理も大體終了した、それによると歳入總額は一億六千五百六十八萬五千七百七十六ペソ

歳入總額は一億六千五百六十八萬五千七百七十六ペソで歳出總額は既報決定額に別豫算として新設の食糧管理局豫算百萬ペソを加へ一億二千二百八十四萬三千四百七十七ペソ、差引次年度繰越豫定四千二百八十四萬二千三百六十九ペソとなり、比島行政府時代の一年間の歳入總額が六千萬ペソ足らずであつたに比すれば實に二倍以上に達し、

Table with 2 columns: Category (e.g., 一、經常部, 二、臨時部) and Amount (e.g., 一、〇〇〇,〇〇〇). Includes sub-sections like 歳入, 歳出, 歳入總額, 歳出總額.

【マニラ九日發】比島政府は明年中の臨時歳出を賄ふ財源として合計六千萬ペソの公債發行を豫定してゐるが、これ等公債の發行は南方開發金庫及び比島側銀行がそれぞれ一定の割合で引受ける形式に行はれるものとみられる、公債による臨時歳出の内容をみるに先づ食糧増産の基礎的條件として必要な灌漑の事業費があげられる一方、生産並びに輸送を順調ならしめる手段として地方の橋梁、道路の維持修繕費、及び治水費など大部分國家生産力の恒久的な向上に公債収入が振向けられてゐるとは注目するに値する

經 済

ファイリピン銀行券を回収 【マニラ六日發】ファイリツピンの三大銀行の一つであるファイリツピン銀行は一九二八年の修正ファイリツピン銀行法により一九四二年末を以てその銀行券發行の權利を喪失し、昨年中にその發行額全部を回収することになつてゐたが大東亞戰爭の勃發によりその回収は一時延期され、改めて昨年十二月十四日比島行政府が行つた命令をもつて同行が戰前毎年行つて來た政府國庫に對する銀行券回收基金の積立を要求、同積立基金も相當の額になつたので比島政府では今回大統領布告第九號をもつて市中に滞留するファイリツピン銀行券を回収することになり、六日その旨發表した

棉作順調

【マニラ六日發】十一月中旬以來十月初めに至る比島棉作狀況をみるに依然として全棉産地に亘り適潤なる降雨あり、棉樹の成長には極めて適當な時期が繼續し早蒔地域は殆ど棉樹はポールをつけてゐる、中部ルソン産には十一月下旬降雨過多の爲地域的に産地の浸水をみたところがあるが、被害は案外輕微に止つた

鑛産資源の對日寄與者増

【マニラ廿九日發】日本の物的戰力増強に寄與すべき比島の各産業中、最も期待をかけられてゐる鑛業の再編成計畫は戰前その鑛産額の八割を占めてゐた金生産を停止しその重點を銅及びマンガンに切り換へると云ふ大事業が軍政下の二十二月月間に亘る血みどろの努力によつて完成し、今や獨立比島の手を受け繼がれて、

既定の方針の下に軍政下と變らぬ増産が行はれ、主要鑛山の採掘ならびにその對日供出量は本年三月以降に好成績に轉じ、銅の如きは生産目標を殆んど達成せんとする生産實績を挙げ、マンガンを銅に比すれば遜色があるが、前年度實績の〇倍の好成績をみて比島の資源基地としての地位を愈々強化してゐる、またクロームの増産成績の如きも生産目標を〇割方上廻つてゐる現狀で、鐵鋼また船腹の制約あるに拘らず、現地の採掘量内地向け供出量も生産目標の百%と云ふ實績である、その他現地の自給を目的とする石炭の生産及び硫酸の生産も順調で、銅鑛の生産の副産物としての鉛の生産額も銅の増産につれて増加しつゝあり、比島の鑛産

資源は大東亞戦争第三年目を迎へて本格的な増産態勢を整へ、米英撃滅の戦に偉大なる奇異をなしつつある

比島短信

九日 毎年十二月二十四日より三十日迄を比國語週間と決定
十四日 比島海軍局船員養成所第一回卒業式舉行、卒業海員百七十名
十八日 毎年十二月二十二日の皇軍リンガエン灣上陸記念日をカリバビ日と決定
廿日 ダバオ放送局開局
廿二日 第一回カリバビ日記念祭
三十日 獨立後第一回リサル日式典

自由インド假政府

昭南の民衆大會でポース首班獅子吼

【昭南三日發】自由インド假政府首班ポース氏は二日午後六時から昭南市廳會前廣場において開催されたインド民衆大會において大要次の如き烈々たる演説を試み、インド國民軍の印緬國境への進撃と相俟つて假政府も近くビルマ國內に進駐し自由獨立獲得に全力を集中する旨を闡明した、演説要旨左の如し
現在我々の部隊の或るものは印緬國境に進出しているが、近く更に多數の部隊が國境へ向つて進軍するであらう、今やインド獨立獲得闘争の豫備的段階は完全に達成され勝利に必要なる凡ゆる條件は完成された全世界のインド人は有史以來初めて本格的

な自由獲得闘争に目覚め國際情勢の現状を充分認識するに至つた、吾等是最早や敵の恫喝的宣傳に屈服しないであらう、吾等現在の戦争が英國にとつて滅亡を意味する死刑の宣告であることを知つてゐる現在インド本國からはなれてゐるインド人特に中立國並に友好國に在住するインド人は單一な指導のもとに組織され本國にある同胞に最大の援助を與へる決意を固めてゐる、史上はじめてインドの東方國境は解放されインド人が好むままに出入し得るやうになつた、また自由インド假政府が設立され、インドの獨立抗争に對する政治經濟的前提條件は成熟し、英印軍の大部分も自由のための闘争を支持するに至つた、要するにインドの内外面においては最後の闘争を開始し、これを勝利に終らせる準備が完全に整つたのである、故に戦争が續く限りまたインドが完全に解放されるまで東亞におけるインド人は全力を結集して闘争を續行せねばならぬ、諸子が凡ゆる力を振つて闘ひ抜かれるならば、余は諸子に對して我軍が必ず勝利を齎すことを約束する、余は近くビルマに向つて出發する豫定だが、いつの日にか諸子と再會し得るか判らぬ、然し余が何處にあらうと諸子はあたかも余が諸子の間にあつた時よりも以上の情熱をもつて行動せられたい、インド國民軍は國境において闘争を開始する時、全東亞のインド人が彼等の背後にあることを感ずるであらう
諸子は必ず最近の大東亞會議において余が日本朝野から自由インド假政府代表として最高の名譽をもつて待遇されたことを聞かれたであらう、

大東亞會議における大東亞宣言は大東亞を開拓し大東亞新秩序の建設に力強い基礎を奠した、インドに對しても来るべき獨立闘争に際し全面的な援助を與へる旨の決議を通過した余はインド代表として大東亞會議において示された同情と好意に、深甚な感謝を捧ると同時に、インドが依然として奴隸的地位にあることが東亞諸國の解放と大東亞共榮圈建設の主要な障礙物となつてゐることを痛感し、東亞が今日迄獲得した自由が保持且つ強化されるためにはインドの解放が絶対必要であると痛感した余は東京を去るにあたり、インド獨立闘争の背後には大東亞の解放された各國が一致團結して好意と同情を送つてゐることを感じた、日本政府はアングラ、ニコバル兩諸島を自由インド假政府に歸屬せしめる用意があることを聲明したが、余はこれに對し絶大の感謝を表明すると共に、全東亞のインド人が一致團結して日本並に他の盟邦と共に最後の勝利が達成される日まで斷乎として闘争を繼續する決意を新にするよう冀つて止まない
ビルマ各地でも民衆大會【ラングーニ三日發】ポース首班のもと討英獨立獲得に邁進するビルマ在住のインド人は二日ビルマ各地で民衆大會を開催、アングラ、ニコバル兩諸島を近く自由インド假政府に歸屬せしめる用意ある旨を闡明した日本の限りなき支援に對して感謝し、斷乎討英獨立に邁進すべき決意を昂揚した

【昭南二日發】自由インド假政府首班ポース首班アイレ首相に親電
【昭南十一日發】自由インド假政府には去る九日の閣議で報奨並に年金兩制度を正式決定した旨十一日發表した、右のうち年金制度は同志が戦死せる場合その家族及び扶養者に對して與へられるもので、先づ東亞在住インド人に最初に適用されるが、これに關する詳細については近日中に公表を見る筈
【昭南十三日發】自由インド假政府首班ポース・チャンドラ・ポース氏は假政府樹立に際して寄せられたわが南方各地軍の絶大なる援助に對し感謝の意を表するとともに南方各地に在住するインド人同胞を激勵するため去る十日午後三時ジャカルタに飛來、ジャカルタ及びスラバヤにおける重要用務を済ませて十三日午前八時次の目的地に向つた
【昭南十四日發】ジャワ、スマタラ、ボルネオ等を訪問中の自由インド假政府首班ポース・チャンドラ・ポース氏は十四日午後一時三十分昭南に歸還した
【バンコック十六日發】インド獨立聯盟タイ地區委員會ではインド義勇隊訓練所をバンコック東南百キロの

戦死者に年金制度

【ベルリン十七日發】パリイ來電はスパスチ・ヤンドラー・ポース氏を主班とする自由インド假政府の支部が今回パリイに設置され、十六日開所式が行はれた、同支部設置に際し「自由インド代表」ナムビアル氏は支部開設の目的の一つはフランス人に對しインド獨立運動の意味を透せしめるにあり他の一つはフランスと自由インドとの關係の緊密化を圖るにある旨を聲明した

パリイに「自由インド」支部

ポース首班ジャワ訪問



ガンヂー夫人危篤

【イスタンブール四日發】ボンベイ來電に英印政廳は四日ガンヂー夫人が先週二回にわたって心臓病の發作に襲はれた旨發表した
【イスタンブール廿四日發】印度放送によれば、監禁中のガンヂー夫人の病勢は愈々悪化し最近殆んど危篤に瀕し、印度政廳はその措置を如何にすべきかに苦慮してゐる模様である、而してガンヂーの身柄については戦時中は絶対に釋放しない旨決定したと言はれる

タイ國內にもインド義勇隊訓練所

【バンコック十六日發】インド獨立聯盟タイ地區委員會ではインド義勇隊訓練所をバンコック東南百キロの

政治

【イスタンブール六日發】ニユーデリー來電によれば

政情依然不穩

インドの政情はウエーヴエルの總督
就任後依然安定せず、目下ウエー
ヴエルは會議派の懐柔に躍起となつ
てゐると傳へられる、ウエーヴエル
は今秋着任後間もなく會議派の領袖
にして前ボンベイ州内相の肩書を有
するカンアライ・マネハール・ムン
シと會見、局面打開策につき種々協
議を遂げたといはれるが、ムンシは
現在逮捕されてゐない會議派の有力
者の總會を催し、この會合におい
て一九四二年八月に會議派によつて
決定された「英國人のインド撤退要
求」といふ歴史的決議を撤回するこ
とについて會議派の態度を決定しよ
うと企圖し、これにはウエーヴエ
ルも全幅的支持を與へた模様である、
然るに會議派の有力者はいづれも目
下拘禁中のガンジー翁をはじめネー
ルその他會議派領袖の同意を得ない
限りいかなる決議も行ひ得ないと
いふ建前をとつてをり、然も英當局
は逮捕監禁中の會議派領袖が外部と
連絡することを嚴禁してゐるため、
ムンシの「名案」も行き悩みの形と
いはれる、以上の如くインド政局の
行詰りを打開するために残されたた
だ一つの方法である逮捕要人の外部
との連絡がインド政廳が頑強に拒否
してゐるため英當局の手先となつて
ゐる一部會議派の分子も全く手の施
しやうがなく最近では逆にインド政
廳の頑迷な態度を非難する有様とき
へいはれるが、内相レジナルド・マ
ツクスウェルは政廳の態度を辯護し
て「政廳は會議派要人の隔絶を修正
する意圖は脅威をうけてゐる時はな
く、從つて政廳は會議派領袖によつ
てその戰爭努力を阻害されることは

ウエーベル初の公開演説

【廣東二十三日發】カルカッタ來電
として重慶中央社の報ずるところに
よれば、インド總督ウエーベルは二
十日カルカッタ商工會議所において
總督就任後初の公開演説を行ひ、彼
の抱懐する施政方針を發表した、演
説内容は一般に豫期された通り會議
派の反英獨立運動をめぐるインド内
政問題には一切觸れず、當面の食糧
飢饉を中心とする深刻な經濟的苦惱
の打開策に重點が置かれインドの自
治についてウエーベルは單に「現在
この問題について討論しても解決が
得られる譯でない」と卑劣なる逃げ
を打ち、戦局の前途については次の
如く述べた

われわれは歐洲の戰爭が終結すると
同時に東亞で對日總反攻を開始せね
ばならぬ、その時にならば我々は
規模な攻勢を發揮することが可能と
なるからだ、東南アジア軍司令部が
設置されてからインドの責務は一層
重課せられ、その故にインドは空前
の大陸海空軍根拠地とならなければ
ならぬが今のところ港灣、飛行場、
倉庫等の施設が不完全なので、困難
要求に應ずることがなかなか困難で
ある、樂観は一切禁物だ、我々は如
何なる逆境にあつても、意氣沮喪し
ないことが何よりも重要である

マハサバ黨總裁、結束を
説く

【リスボン九日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨總裁、結束を
説く

【リスボン九日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨も要求【リスボン廿八日
發】

【リスボン廿八日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨も要求【リスボン廿八日
發】

【リスボン廿八日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

インド軍の増強を誇示

【リスボン十七日發】ロンドン來電
【英國インド事務相レオポルド・ア
メリーは十七日インド軍の勢力増強
を誇示して次の通り述べた
インドには現在、幾多の作戰基地が
あり、ここから反樞軸軍は日本軍に對
して攻勢作戰を行ふことが出来る、
又完全にインド人のみによつて編成
されてゐるインド空軍も既に十ヶ中
隊に達し、これらは何れも緬印國境に
配置されてゐる、更に現在海外に派
遣されてゐる二十萬を除いて既に百
二十五萬に上るインド軍が強力に且
つ完全に制式武器によつて裝備され
てゐる

回教徒獨立を要求

【リスボン八日發】BBC
放送によれば蔣介石は過般カイロ會
談から重慶へ歸還の途、インドにお
いて反樞軸東南アジア軍司令部官マ
ントバツテンと協議したといはれる

兩軍の分擔決る

【リスボン十四日發】反樞軸軍がビ
ルマ反攻作戰のため東南アジア軍を
設置して以來インド軍並に西南太平

別個に東方空司令を設置

【リスボン十九日發】東南アジア軍
司令マントバツテンは十九日米英
兩國空軍を統合し英國人司令官の下
に東南アジア空軍司令部を設置する

蔣介石、マント
バツテンと會見

【リスボン八日發】BBC
放送によれば蔣介石は過般カイロ會
談から重慶へ歸還の途、インドにお
いて反樞軸東南アジア軍司令部官マ
ントバツテンと協議したといはれる

兩軍の分擔決る

【リスボン十四日發】反樞軸軍がビ
ルマ反攻作戰のため東南アジア軍を
設置して以來インド軍並に西南太平

別個に東方空司令を設置

【リスボン十九日發】東南アジア軍
司令マントバツテンは十九日米英
兩國空軍を統合し英國人司令官の下
に東南アジア空軍司令部を設置する

マハサバ黨總裁、結束を
説く

【リスボン九日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨總裁、結束を
説く

【リスボン九日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨も要求【リスボン廿八日
發】

【リスボン廿八日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

マハサバ黨も要求【リスボン廿八日
發】

【リスボン廿八日發】ニューデリー來
電に依れば全印ヒンズー・マハサバ
黨總裁サヴァルカルは同黨の總裁選
舉會議において十六票對六票で再選
舉された

インド軍の増強を誇示

【リスボン十七日發】ロンドン來電
【英國インド事務相レオポルド・ア
メリーは十七日インド軍の勢力増強
を誇示して次の通り述べた
インドには現在、幾多の作戰基地が
あり、ここから反樞軸軍は日本軍に對
して攻勢作戰を行ふことが出来る、
又完全にインド人のみによつて編成
されてゐるインド空軍も既に十ヶ中
隊に達し、これらは何れも緬印國境に
配置されてゐる、更に現在海外に派
遣されてゐる二十萬を除いて既に百
二十五萬に上るインド軍が強力に且
つ完全に制式武器によつて裝備され
てゐる

回教徒獨立を要求

【リスボン八日發】BBC
放送によれば蔣介石は過般カイロ會
談から重慶へ歸還の途、インドにお
いて反樞軸東南アジア軍司令部官マ
ントバツテンと協議したといはれる

兩軍の分擔決る

【リスボン十四日發】反樞軸軍がビ
ルマ反攻作戰のため東南アジア軍を
設置して以來インド軍並に西南太平

別個に東方空司令を設置

【リスボン十九日發】東南アジア軍
司令マントバツテンは十九日米英
兩國空軍を統合し英國人司令官の下
に東南アジア空軍司令部を設置する

旨發表したが、米軍との勢力均衡はマウントバツテンが終始惱まされるところで新司令部の設置と同時に米人司令官の下に東方空軍司令部を設置したと傳へられる、ニューデリー來電によればマウントバツテンは更に次の通り發表したといはれる米國陸軍第十航空隊並に英空軍のベネズエラ州司令部の戦闘部隊を悉く統合して少將ジョージ・ストラット・メイヤーの下に東方空軍司令部を設置する、ストラット・メイヤーは東の南アジア空軍司令リチャード・ピアースに次いで同方面空軍の第二位を占めるもので東方空軍司令部はベンゴール空軍司令で今回東方空軍司令部に参加する空軍中將ジョン・ポールドウインの作戦的指揮下に屬する作戦空軍部隊と米陸軍第十航空を指揮した米軍代將ホアード・ドヴィッドソンの作戦的統制下に屬する戰略空軍部隊との兩者よりなる

メイヤー前線視察【リスボン廿七日】ニューデリー來電、新任東方空軍少將ストラット・メイヤーは印緬國境を視察し反樞軸空軍基地に歸還した

インド空軍の編成【ブエノスアイレス廿六日發】ジェーンズ航空年鑑一九四二年版はインド空軍の現状につき左の通り報じてゐる

現在インド空軍部隊は四箇部隊より編成されてゐる、その一部隊は英兵及びインド人兵がそれぞれ半数以上を占めており残りの三部隊はインド人兵のみで編成されインド人將校により指揮されてゐる、これ等インド人將校はみな英國のクレインウエル英空軍士官學校で教育を受け、卒業後英空軍部隊に入隊して實地訓練を経

てゐる、インド空軍は將校は將來十箇部隊に増強される豫定で、一九四三年中にはそのうち七箇部隊まで編成を完了する、又増強擴張とともに再整備され爆撃機戦闘機を含む各種新型航空機が配備される豫定であるインド空軍が最初に戦闘に参加したのは昨年初頭日本空軍がビルマ作戦を開始した際で當時英空軍と協力し主として偵察爆撃等に從軍した、又インド人飛行兵で現在英空軍に配屬され歐洲並びに西亞各地で戦闘に参加してゐる者もある、正規のインド空軍のほかに去る一九三九年三月五箇分隊で結成された空軍義勇兵豫備部隊が設立されたがそのうちの四箇分隊はインド人將校により統率されてゐる、兵員の七割五分までがインド人である、この義勇軍は現在主にインド沿岸海域の偵察、對潜水艦警戒、輸送船團護衛に從軍してゐる、これ等空軍部隊に採用された飛行兵は義勇豫備軍に編入され、次の四段階に分割されて訓練を行ふ、即ち①六週間に乃至十二週間の飛行俱樂部で地上訓練を含む勤務に服さしめる②テールの飛行兵初步訓練學校で短期間の訓練を行ふ③ベンゴレット及びジョドプールの飛行學校で十一週間中等訓練を行ふ④アムベラの高等學校で二十二週間最終の訓練を行ふ

而して最初の十一週間の訓練を終了した生徒には飛行機が與へられ、次の十一週間の訓練で主に高等飛行、射撃法爆撃法、航空術及び戰術等を習得する

インド兵の反英氣運愈よ 昂る

【ラングーン十日發】ベンゴレット、アツサム一帯にわたる食糧饑饉或は自由インド假政府の樹立などの諸事實に拍車をかけられてますます激化するインド民衆の反英獨立運動は最近では緬印國境に集結する英印軍内のインド兵間にも波及し、投降或は捕虜となつたインド兵の言その他のインド情報も刻一刻インド兵間における英機運の濃化を傳へてゐる、即ち當地に達した確實なる情報によれば最近英印軍の基幹をなすグルカ兵の叛亂が報せられ事象の重大化を示唆してゐる、事件は去る十一月廿日敵最前線トゥンデット地方に駐屯する英軍陣營で英人士官とグルカ兵との間に重大なる衝突が勃發しこの結果英印軍東部地區司令部當局は前線配置について右グルカ兵部隊を交替せしめ混成部隊を新たる配置につけると共に善良なるグルカ兵を苛酷な集團刑罰に處したといはれる、從來より英印軍の主體たるインド兵の反英厭戰氣運は頻發するインD兵の脱走反亂或は應募兵の激減の事實によつて推察され、また軍當局が去る七月反英的前線のシーク兵を全面的に後退させ、親英的なグルカ兵の部隊を第一線に立てる一方本國兵を増派してインド兵を牽制する等の處置を講じたのも、英印軍當局のインド兵の反亂に對する焦慮の現れであつたのである、しかるに今更には從來インド兵の中で最も親英的とされ英國が杖と頼んでゐたグルカ兵迄がかかる衝突事件を惹起するに至つたことは、いまや英軍當局により心から信頼し得るインド兵は全くないわけで、敵のビルマ奪回作戦に根本的な支援を與へるものとして注目される

英印當局の露骨な軍事專制

【ラングーン廿七日發】ベンゴレットを中心とする東部インド一帯の食糧飢饉をはじめ流行病の猖獗、これに對する醫療設備の不備、衣料、燃料の不足に加へ悪性インフレーションの増大獨立運動派人物の逮捕、爭議の政治的不安は益々深刻化しつつある、これに對し英印當局は何ら積極的對策を示さず、寧ろウエーベルの督任以來インドに對する英國の政策は益々帝國主義的色彩を露骨にし、嘗て見ない軍事專制の強行を示してゐる、その顯著な事例として傳へられるところによればウエーベル總督は地方長官に對し軍隊の給與と要求に優先權を與へるやう指令を發し、また英人の將校を地方政府の重要地位に任命して軍事專制の意圖を露骨にしつつある、かかる地方行政に對する總督の不法干渉は地方民衆の非難的となり抗議の嵐を捲き起してゐる、確實なる情報によればウエーベルの政策に對しシンド、ベンガル、アツサム、ビハール及び西北國境各州知事は來る廿八日會議を開催して嚴重抗議することに決定したと傳へられ、インド國內及び中立國筋より傳へられる諸種の情報もこの事實を裏書し英印政府が甘言好餌を以てインド民衆を欺瞞し自國の行動を正常化せんと宣傳に努め、彼らの本心が自己の利益のためにインド全民衆を餓死せしめてもインドより掠奪を続けねば止まないことを窺知せしめてゐる

インド軍々政官任命

【イスタンブール二十七日發】ニューデリー來電、インド軍司令部は中將ウイルフレド・ゴードン・リンゼンがインド軍司令部附軍政官に任命された旨二十七日發表した、リンゼンはインド軍主計總監とともにマウントバツテンの作戦のためインド内における軍事基地の組織に當るものといはれる、なほ彼は今次大戰勃發當初、英軍主計總監としてフランスへ派遣されたことがある

カルカッタ爆撃被害

【リスボン廿七日發】日本航空部隊のカルカッタ爆撃についてはニュー・デリー來電によれば軍印度軍司令部は自軍の損害につき「戦死一名戦傷十三名」を出した旨七日發表したと傳へられる但し損害が更に大きかつたことは右公報が一市民の間に死傷五百餘名を出した」と述べてゐることを見て推定に難くない

工場労働者の大量逃亡【ラングーン十三日發】去る我が陸海軍航空部隊によるカルカッタ白晝爆撃に關し當地で入手した報道によれば、軍事的に大損害を報ずると共に、白晝爆撃に度膽を抜かれた英印政廳の周章狼狽振り等を左の如く傳へてゐる

日本航空部隊の爆撃によつて被つた軍事施設の被害は調査の進捗につれて大きいことが判明した、この爆撃に最も打撃をうけたのは、一般インド人ではなく敵英印政廳並に英米の軍事關係倉庫である、市内一帯に無数の高射砲を設備して「日本機進入し得ず」と呼號し巨大な防禦要塞と化してゐたカルカッタの安全性は一回の爆撃で恐怖に變つてしまつた、今回出したのは米英人であつた、クラ

イブ街英米人商社は何れも固く扉を開けず、ボンベイ、カラチその他の西

部インドの安全地帯に避難した、また一般インド人の避難で特に目立つ

のは昨年末の爆撃と異つてカルカッタ政廳關係のインド人鐵道努力者

その他埠頭工場労働者の多量避難である突然市警電報並びにバスは運轉を

停止し、港灣附近の鐵道、軍需關係の工場では労働者の引き留めかき集

めに狂奔してゐた、軍事都市カルカッタの機能は完全に停頓するに至つ

た混亂に陥つたカルカッタはこの後一週間を経た今日でも一向回復され

た模様はない、大群をなして市外に逃亡する労働者の避難に極度に狼狽した政廳では行政參事會計畫宣傳

の日本航空部隊によるカルカッタ爆撃で死者三百三十四名を出したとい

はれる

食糧危機

【イスタンブール十二日發】カルカッタ來電によればベンゴ

州政廳は十二日飢饉のため孤兒となつた者がベンゴール州だけで約一

萬に上る旨發表したといはれる

【リスボン十二日發】ベンゴール州と同様パンジャブ州内においても食

糧危機は相當深刻で右對策につき州政廳と印度政廳とが交渉を重ねて

るが結局州政廳が屈伏し印度政廳の主張に基き州内に食糧物價統制並び

に配給割當制を實施するに決定したラポール來電によればベンゴール州

政廳は十二日布告をもつて左の通り州民に通達したと傳へられる

パンジャブ州政廳は印度總督の勸告に基き満足な手配出來次第州内にお

ける小麥並びに食用穀物の値段を統制し並びに主要諸都市に食糧の配給割當制を實施するに決定した

更にパンジャブ州首相は特に聲明を發表し州内食糧問題の解決に關する

州政廳の對策が印度總督の容れる所とならなかつたのは遺憾であると述

べ農民の貯藏食糧を徵發することは絶対反對だと確言した

【イスタンブール十五日發】印度軍當局では一九四一年五月反極軸軍の

イラン侵入以來ボンボイ及びイランのベンデルシヤブルを結ぶ公路のほ

か陸上連絡路を計畫していたが、最近アフガニスタン經由イランに到る

陸路を完成したと云はれ、印度パンジャブ地方産の小麥を初め食糧品、

軍需資材等が續々西亞に搬出されてゐると傳へられる、此等の諸物資は

約一週間でテヘランに到着すると云はれるが、かかる物資の搬出は、現

在餓死に瀕してゐる印度數百萬の國民を省みず印度を搾取する冷酷な手段の現れに外ならない

【リスボン十六日發】ロンドン來電に於て次の通り發表した

ベンゴール州全體での餓死者の數は判らないが、一九四三年八月十六日

から十二月十一日迄の期間内にカルカッタ市で〇飢饉に悩み病院にかつ

ぎこまれた數は一萬六千二百八十五人〇病院での餓死者は六千三百三十六

人である、さらに八月一日から十二月十一日迄の間にカルカッタ市の警

察其他救濟團體が處分した死體の數は九千二百六十六個である、又六月

廿七日から十一月十三日迄にベンゴール全體でコレラに依る死者は七萬

七千九百三十八名である

【リスボン三日發】キャンベラ來電に瀋州首相ジョン・カーチンは三日

言明した

【リスボン六日發】キャンベラ來電に瀋州首相カーチンは大東亞戰爭勃

發二周年記念日に當り太平洋戦局並に瀋州國內戦線に關し六日次の通り

言明した

【リスボン廿七日發】キャンベラ來電に瀋州首相カーチンは大東亞戰爭が終結しな

ければ片付かぬだらうといふ考へ方は非常に危険だ太平洋戦局を歐洲戦局

に比し第二義的の見做さうとする反極軸軍の傾向は全く日本軍の思ふ盡

で極めて有害である、反極軸軍の消耗戦に對し日本軍は過去二ケ年に南

方占領地帯を着々と強化してゐる、以上日本軍の企圖を破損するにはま

づ日本軍に時を與へず日本が南方占領地の資源を充分に開發する以前に

日本軍の南方占領地を突き破り、その後日本本土の心臓部に直接打撃

を加へねばならぬ、しかしかかる計畫を遂行するためには反極軸軍は

人的資源、原料物資政策におき、更

に必要である

また瀋州國民の動員並びに軍需生産

状況については瀋州國民の戦力努力

は今や最高限度に達してゐる、事實

上瀋州全人口の約半分ともいふべき

百十八萬一千の男子が直接戦争に關

係ある仕事に従事し、陸、海、空三軍に徵集された人員は八十五萬八千

パンゴール州で孤兒増加

【イスタンブール十二日發】

カルカッタ來電によればベンゴール州政廳は十二日飢饉のため孤兒とな

つた者がベンゴール州だけで約一萬に上る旨發表したといはれる

【リスボン十二日發】

と同様パンジャブ州内においても食糧危機は相當深刻で右對策につき州

政廳と印度政廳とが交渉を重ねてゐるが結局州政廳が屈伏し印度政廳の

主張に基き州内に食糧物價統制並びに配給割當制を實施するに決定した

ラポール來電によればベンゴール州政廳は十二日布告をもつて左の通り

州民に通達したと傳へられる

パンジャブ州政廳は印度總督の勸告に基き満足な手配出來次第州内にお

パンゴール州飢饉の慘狀

【リスボン十六日發】

ロンドン來電に於て次の通り發表した

ベンゴール州全體での餓死者の數は判らないが、一九四三年八月十六日

から十二月十一日迄の期間内にカルカッタ市で〇飢饉に悩み病院にかつ

ぎこまれた數は一萬六千二百八十五人〇病院での餓死者は六千三百三十六

人である、さらに八月一日から十二月十一日迄の間にカルカッタ市の警

察其他救濟團體が處分した死體の數は九千二百六十六個である、又六月

廿七日から十一月十三日迄にベンゴール全體でコレラに依る死者は七萬

七千九百三十八名である

【リスボン三日發】

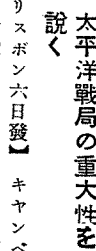


首相重大發表

【リスボン三日發】

キャンベラ來電に瀋州首相ジョン・カーチンは三日言明した

【リスボン六日發】



太平洋戦局の重大性を説く

【リスボン六日發】

キャンベラ來電に瀋州首相カーチンは大東亞戰爭勃發二周年記念日に當り太平洋戦局並に瀋州國內戦線に關し六日次の通り

言明した

瀋州新西蘭の會議

【リスボン廿七日發】

キャンベラ來電に瀋州首相カーチンは大東亞戰爭が終結しな

れば片付かぬだらうといふ考へ方は非常に危険だ太平洋戦局を歐洲戦局

に比し第二義的の見做さうとする反極軸軍の傾向は全く日本軍の思ふ盡

で極めて有害である、反極軸軍の消耗戦に對し日本軍は過去二ケ年に南

方占領地帯を着々と強化してゐる、以上日本軍の企圖を破損するにはま

づ日本軍に時を與へず日本が南方占領地の資源を充分に開發する以前に

日本軍の南方占領地を突き破り、その後日本本土の心臓部に直接打撃

を加へねばならぬ、しかしかかる計畫を遂行するためには反極軸軍は

人的資源、原料物資政策におき、更に必要である

太平洋における兩國共同の政策について協議を遂げるに決定した

飛行士の海外派遣

【リスボン十四日發】メルボルン來電 濠洲空軍司令部は濠洲飛行士の海外派遣状況に關し十四日次の通り發表した

現在濠洲飛行士一千名以上が印度に在りその大多数は英空軍に編入されてゐるが、濠洲空軍として獨立してゐる爆撃機、戦闘機、偵察機の各部隊もある、濠洲飛行士の中には既に二年に亘つて印度に在り對日戦に参加してゐる者がある、北阿地中海方面では一萬八千名以上に及ぶ濠洲飛行士が對獨戦に参加して居る

米の情報機關設置

【ブエノスアイレス九日發】ワシントン來電 米國戦時情報局は近く濠洲に情報機關を設置して太平洋地域の情報を蒐集せしめるため、米戦時情報局海外部長ロバート・シャーツドを濠洲に派遣する豫定であり、また將來濠洲その他の太平洋の諸島間に強力を無電線な設置する旨八日發表した

大船渠建造

【リスボン十八日發】シドニー來電 太平洋戦域における反樞軸軍の兵站基地と化した濠洲は頻りに軍需生産補給施設の擴張に大奮であり、さきに豫算二百九十九萬七千ポンドをもつて濠洲史上最大の土木事業といはれる大船渠の建造をシドニーで開始したが、内相コンズは十八日右工事はその規模が擴大された結果完成までの總工費は六百七十五萬ポンドを要するだらうと發表した

炭坑に操業を強要

【リスボン十九日發】濠洲のプロキシム製鋼會社は十五日以來勞働爭議に關聯しロツクアウトを開始濠洲の製鋼業は重大危機に達するに至つたがシドニー來電によれば濠洲政廳は同社に對し十九日夜半を期して操業を開始する様強硬命令を出したと傳へられる、但し會社は容易に政廳の命令に従はず従業員が十九日夜半出勤しようとしたが未だ操業を開始出来ない實状といはれる

稅收入戦前の三倍

【二日】國際聯盟調査 濠洲においては開戦以來屢次の増稅を行ひ國民の稅負擔は正に其限界に到達せんとしてゐるが、これを反映して稅收も連年かゝるの増加をみてゐる、最近の同國政府稅收入をみるとつぎの如くなる(單位百萬濠洲磅)

所得稅及び戰時土人稅	一六	一九	二〇
地稅	二二	二二	二二
遺產相續稅	二二	二二	二二
消費稅	一六	一九	二〇
關稅	三一	三五	三〇
その他	二二	二二	二二
合計	七四	九〇	九〇
所得稅及び戰時土人稅	四三	八六	一一六
戰時法人稅	三	三	三
土地稅	三	三	三
遺產相續稅	二〇	二七	三〇
消費稅	五四	二五	二二
關稅	二五	二二	二二

食糧増産計畫

【リスボン四日發】キャンベラ來電 濠洲首相カーチンは最近の濠洲の食糧事情その他につき次の如く演説した

各種食糧物資について民需割當を強化したにもかかはらず、深刻な食糧不足は今後も續くものと覺悟しなければならぬ、當局の推定によれば肉類の生産額は全需要額の八十七%、卵は八十一%に過ぎない、よつて政府は明年早々から肉類の新割當制を實施することとした、また酪乳品の消費制限も依然續けなければならない、濠洲は太平洋戦域にある反樞軸軍をも補給する他に英本國に對しても食糧を供給しなければならぬ、濠洲で生産される酪乳品の三十五%の二十二%が英本國に送られることとなつてゐるが、英本國は濠洲に對し飛行機その他武器を送つてくれたのであり、かかる恩誼に對してもわれわれは英本國民を飢饉に瀕せしめてはならぬ

雷撃機隊編成

【ブエノスアイレス七日發】ニューヨークタイムズ紙の報道によればニョージーランド軍は雷撃機隊を編成西南太平洋の反樞軸軍に編入する計畫と傳へられる



米から金塊引出し

【ブエノスアイレス廿六日發】アルゼンチン政府は米國への輸出超過の結果過般來米國から多量の金塊を引あげてゐるが最近合計百二十萬ドルの金塊が米國からブエノスアイレスに到着した、これによりアルゼンチンが現在までに米國から引出した金塊は總計一億六千萬ドルとなつた

上院議長辭任

【ブエノスアイレス二十七日發】サンチャゴ來電 上院議長グスタヴ・コリコウエラは政争問題に依り廿七日辭職した

反政府運動發覺

【ブエノスアイレス二十九日發】サンチャゴ來電によれば内相オスワルド・イリアノは二十九日、政府顯微運動が未然に發覺、政府の間髪を容れぬ措置にはる右陰謀はチリ人及び外國人市民によつて計畫されたものでチリ陸軍一部が協力を得んと企圖してゐたもので、政府は嚴罰を以て臨む方針であるといはれるが、さきのボリビアの革命と軌を一にするものであり、米國の「善隣政策」に對する反感の現れとみられ米洲各國に與へる影響は甚大であらう

新公共事業相

【ブエノスアイレス廿五日發】アルゼンチン公共事業相はリカルド・ウアコ氏辭職以來、スニイロ海相が暫定的に兼攝してゐたが二十五日ホアン・ヒスタリア將軍が正式に公共事業相に任命された

その他 三 三 四 計 一二五・一七九 二一九 濠洲は現在一千二百萬の餘分の人口を養つてゐる、濠洲の食糧生産額は多いが、濠洲は今や反樞軸諸國の食糧供給地となつたのでますますその増産を期さねばならぬ、一九四四年にはクインスランドのみでも牛百萬頭羊四百萬頭を屠殺する計畫であり、また卵も一億打生産を目標としてゐる

世界情勢

歐洲

ドイツ

外相必勝の決意 披瀝

濟經・治政

【ベルリン十一日發】リッ

三國軍事協定調印二週年記念日、リッ
三國軍事協定調印二週年記念日、リッ
三國軍事協定調印二週年記念日、リッ

洲と東亞の陸海空全戦線に於ける激
戦によつて特色づけられる、東亞に
於ては日本優勢が絶対である、歐洲
に於ては日本が躊躇なく参加し、そ
れに依つて運命を同じくしたところ
の三國協定によつて結ばれた樞軸國
の大勝利は戦ひを歐洲國境まで敵國
内に深く喰ひ込ませた、而して歐洲
大陸は依然としてドイツ並に樞軸國
盟國の手中にしっかりと把握されて
る、三國同盟の昨年に於ける結果を
回顧すれば歐洲及び東亞に於ける三
國同盟國の地位を覆さぬとして我々
の共同の敵が必死の努力を傾けたと
いふことが出来る、この大戦争の數
箇地點に於ける戦闘は現在不安定で

あり且つ敵は屢々局部的成功を収め
ることが出来たけれども今回疑なき
事實は歐洲及び東亞に於て三國同盟
國はその獲得した地位を完全に確保
してゐることである、敵國陣營は増
大する喧騒さを以て歐洲西部要塞に
對する大攻撃近しと宣言してゐるが
斯かる言葉の挑戦や威嚇はこれまで
既に幾度となくドイツ國民ドイツ武
裝軍、獨軍司令部に向けられてきた
もので若し歐洲西部海岸が言葉に依
つて征服されるとしたら敵は久しい
以前に既にラインに到達してゐた筈
である、獨軍司令部はヒステリック
なユダヤ人の會談に依つて何等の影
響をも受けてゐない、蓋し過去數ヶ
年に於て大西洋の全海岸に要塞が構
築され、その規模の大ききは戦争史
上曾て見ないものである、而して此
の要塞の中には喧騒を極めた宣傳の
後に最後には現れる數をひきねへん
として燃ゆる熱意を以て手ぐすねひ
いて待つてゐるドイツ武裝軍の精銳
がある、敵は空襲に依つてドイツ軍
需工業が崩壊されず且つ本質的な損
害も受けないことを悟るやドイツの
一般住民を空襲の目標とすべき旨を
公然と指令した、然しながらこれは
單にドイツ國民の心中に婦女子を殺
し家を破壊する敵に對する無限の憎
悪を發せしめ、それと同時に此の
戦争を最後まで戦ひ、ドイツ空襲の
飛行機が飛んできた敵基地並にその
司令官に假借なき且つ正當なる報復
を興へるまで銜を支めずとの決意を
いよいよたぎらせてゐるにすぎない
空襲が戦争を決定することが出来な
いと同様、第二の方法即ち敵が世界
並にドイツに印象を興へようとする
てゐる「とどまることなき會談の連

續」も無益である、まことに演説、
公報、新聞、會見不可解なる示唆等
が空中に充滿してゐる、これは中立
諸國恐怖に慄へてゐる、諸小國に影
響を興へ、且つ自國民を麻痺させる
ための手段である、然しながら現實
に於ては此の外交的宣傳的活動は目
的を成就することが出来ず、且つ一
般的戦争情勢に依つて處理すること
の出来ない幾多の難問題に當面して
ゐる敵陣營の焦燥と憂慮を表現して
ゐる、會談の現實的效果に關する限
り極めて貧弱なものである、彼等は
テヘラン會談に依つて示された如く
常に次の三點を越へて示されな
い、即ち第一に、軍事的には「吾人
は三國同盟諸國に對して戦ひを遂行
するものであり樞軸を粉碎せんこと
を互に保障する」といふのであり政
治的には「吾人は統一の排除と米英
ソ三國の利害の不一致に橋を架けら
ざる」といふのであり、而して第
三の點は所謂戦争犯罪者に對する刑
罰である、唯一つの事實が世界史の
上に昭々として明白である、即ち此
の世界大戦史の眞の犯罪者はテヘラ
ンで會談した三人の男だといふ事實
である、會談は既に大西洋憲章を明
らかに抛棄したところの三國の無制
限の帝國主義の野心を暴露するもの
であり世界を三國に如何に配分す
かを公然と討議したことは明らかで
ある、我々歐洲人は將來の新歐洲の
構成に就てはあまり言はない、何と
なれば現在に於ては戦争を勝利を以
て終らせることに集中しなければなら
ぬからである、然しながら今日我
らに一つのことばはつきりと言ひ得
る、即ち樞軸國が描いてゐる歐洲の
新秩序はスターリン、ルーズヴェル

ト、チャーチルが想定してゐるとこ
ろとは完全に異るといふことである
樞軸の目指すところ國民が国力と自
分の能力に相應した生活圏を所有す
る新秩序である、斯くの如き歐洲共
同體に於て凡ゆる國民は正直と誠實
を以て協力し、それによつて地位を
獲得し生活と能力を發展させてゆく
ことが出来るであらう、歐洲經濟も
また規格的檢準に従つて戦後自動的
に組織されるであらう、各國民の文
化生活も他國民との相互作用に依つ
て豊富となるであらう、就中此の新
歐洲は外國が干渉することが出来ず
その生活様式や法律を我々に強要す
ることが出来ない社會である、將來
の東亞は東亞人自身に依つて形成さ
れ統治され且つ防衛されると共に外
界からの干渉を一切許さないと同様
歐洲は今後は歐洲人によつて形造ら
れ統治され且つ防衛されるであらう
三國同盟に依つて結ばれる數億の民
衆は今日何が賭せられてゐるかを充
分に知つて居り共同の勝利に向つて
最大の努力を盡す用意が出来てゐる

スウェーデンの抗議を一蹴

【ベルリン四日發】ノルウェー駐屯
の獨軍當局がオスロの大学生が妨害
行爲をしたとの罪で逮捕したことに
對しスウェーデン政府はドイツ政府
に對し抗議を提出したためにスウェー
デン外相とストツクホルム駐劄ドイ
ツ公使との間に論議が重ねられてゐ
る、リッペンとノルウェー代理公使は四
日駐劄スウェーデン代理公使を招致
しドイツとノルウェーの問題に對して
他國が干渉すべき筋合のものをない
として同盟の抗議を一蹴した、右に
關しドイツ政府は四日次の公報を發

表した

ドイツ外相リッペンとロツプは四日
スウェーデン代理公使の來訪を求め
妨害行為の廉で逮捕したオスロ大學
生の問題につき、スウェーデン外相
と同國駐劄ドイツ使臣との間で行は
てゐる諸議に關し、「ドイツ政府はか
かる問題をスウェーデン政府と討議す
ることは出来ぬ、ドイツ政府は更に
スウェーデンが今後ドイツとノルウ
エー間の問題に干渉することを差控
へるやう要請す」と旨通告した、外
相は、次でスウェーデン政府が妨害
行為者並にその使喚者を無力化する
といふ獨軍のノルウエー駐屯權が論
理的に認められ、且つノルウエー自
身の利益のためにも必要であること
の措置を外交問題となしたことは
い獨政府の全く意外とするところ
であることを披瀝すると共に、これ
で同國政府がスカンデナヴィアの權
益にとり眞に危険極まる妨害となる
如き英米の行為に對しては何等抗
議しなかつたものであるが故にその
驚きは一屬大である旨通告した、例
へば英國がノルウエーに對する侵略
行為に依つてスカンデナヴィアを戦
争に捲き込んだ時においてスウェー
デン政府は如何なる措置をも採らな
かつた、更に同國政府はソ聯がバル
ト諸國の赤化を圖つた當時ソ聯が採
つた想像に絶する慘酷さに對しても
一片の通告すら行はなかつた、當時
數萬の婦女子を含む十七萬のエスト
ニア人、リトアニア人、ラトヴィヤ
人はロシアに追放され其處で死んだ
のである、現在スウェーデン政府が
その宣傳機關に躍らされるノルウエ
ー人使喚者のために示してゐる同胞
の同情感に當時においては何等示さ

れなかつた、のみならずスウェーデ
ンは生存のためにボルシェヴィズム
と英雄的に戦つた、同國フィンラン
ドを相手にしなかつた、フィンラン
ドの戦ひは同國自身の利益のため
であつたと同様、スウェーデンの利益
のためでもあつたのだ、ドイツのノ
ルウエーにおける干渉と東方に對す
るドイツの防衛戦がスウェーデンに
戰場となることから救つてゐるにも
拘らず同國政府の採つて態度はドイ
ツ國民の理解出来なところである

駐伊大使任命

【ベルリン十日發】ヒトラー總統は
十日第一公使ラーン氏をリッペン
ロツプ外相の推薦に基きフアシスト
共和政府に對するドイツ大使に任命
した

ムツソリーニ令息イタリヤ 在留民主班に選任

【ベルリン十三日發】ドイツ在留イ
タリア人は十三日ミュンヘンで共和
ムツソリーニ主班の令息ウイッ
リッ・ムツソリーニを在留三十萬
イタリア人の主班兼共和フアシスト
黨の支部事務部長に選任した

諸都市の建設を命令

【ベルリン廿三日發】ヒトラー總統
は廿三日軍需相シュベア博士に對
し、戦後爆撃によつて破壊されたド
イツ諸都市を再建するやう命令した
シュベア博士はドイツ一流の建
築家を動員して全國各都市の再建に
乗り出す豫定で、即時再建準備に着
手した

白ロシア中央委員會設置

【ベルリン二十四日發】ドイツ占領
地域内のソ聯人は既にウクライナ解
放委員會を設置し又義勇軍等を編成
して積極的にドイツ軍と協力して
るが更に二十四日白ロシアの首都ミ
ンスクにソ聯人から成る「白ロシア
中央委員會」が樹立され委員長には
オストロヴスキー教授が就任した同
委員會は協力を白ロシアの自治に
當る自治機關で白ロシア全住民の總
力を結集してボルシェヴィズムを打
倒しボルシェヴィズムの壓制から白
ロシア人を究局的に解放せんとする
ものである、而して右委員會委員長
は社會、文化教育等の諸分野に關し
ては必要手段を講じその實行を監
視する權限を有することになつてゐ

フランス方面の軍票回収

【ベルリン四日發】ドイツ軍進駐以
來フランス一帯にわたつて法定通貨
として流通してゐるドイツ軍票たる
ドイツ信用金庫券は十二月以降完全
に流通市場から姿を消すこととなつ
て、きたる十五日までに信用金庫券
はすべてフランス貨と交換され、爾後
フランス全土にわたつてフランス貨一本
建となるわけである、ドイツ信用金
庫券は占領ドイツ軍の支拂手段およ
び休戦直後の通貨不足に際してフラ
ンク内經濟にたいする補助通貨と
して大きな役割を演じたが、通貨事
情が漸次常態に復するにともなひ信
用金庫券の流通は遂次縮減されてゐ
たものである

獨勤經濟協定締結

【ベルリン十八日發】ソフィア來電
【ドイツ、ブルガリア兩國政府は十
八日ソフィアにおいて經濟協定を締
結した旨發表した、右協定は一九四
四年九月三十日まで有效である

九月末國債總額

【ベルリン十九日發】九月末現在ド
イツの國債總額は二千三百三十二億
マルクで、前月末の二千二百七十九
億マルクに比し五十三億マルクの増
加である、増加額は八月中の八十五
億マルクに比し減少を示してゐるが
これは第三四半期末の季節的租稅收
入増加による國庫資金潤澤にもとづ
くもので國庫の資金需要は引き続き
増加の傾向をたどつてゐる、前年九
月中の國債増加額は三十一億マルク
であつた、本年九月末現在のドイツ
國債總額内譯の主なもの短期債が
一千二百九十七億マルク、長期債が
一千十七億マルクとなつてゐる

軍 事

ロンゲ中尉に鐵十字章

【ベルリン一日發】走巾飛
と長距離のオリムピック選手ルツツ
・ロンゲ中尉はドイツ軍戰闘機隊に
參加したる武勳を樹て、一日ドイ
ツ軍最高の名譽たる鐵十字章を授與
された

羅將軍に勳章贈與

【ベルリン十日發】アカレスト來電
【クリミヤ半島のケルチ橋頭堡で赤
軍を粉碎して偉功を樹てルーマニア
第六騎兵師團長テオドルニ將軍は今
回ヒトラー總統から櫛葉附陸士十

字章を贈與された、ルーマニアの軍
人で同勳章を贈られたのはこれで二
人目である

人間魚雷出現

【フエノスアイレス四日發】シカゴ
來電【魚雷に乗つて海底深 航行し
目指す敵艦を一發の下に仕止める
といふ大膽無比な必殺戦法がジブラ
ルタル軍港内でドイツ海軍將兵に依
つて敢行されたことが四日シカゴ
において英國商船の備船主シラ・マ
イ・チネルに依つて始めて公表され、米
國朝野を騒がせしめてゐる、マ
イ・チネルの説明によれば地中海におけ
る英國の最大根據地であるジブラ
タルで過般來、原因不明の船舶沈没
事件が頻發し同地の英海軍當局でも
之が原因探知に躍起となつてゐたの
であるが、一向に埒が正かたらず不安に
戰いつてゐた、ジブラルタル軍港内に
は一面に網が張られてゐるので潜水
艦が潜入して來ることは不可能であ
るにも拘らず「見えざる手」に依る
爆發事件は次から次へと起つたやうで
ある、ところが突然この神秘が解か
れる日が來た、或る夜水夫がジブラ
ルタルに碇泊中の一船舶の船底を修
繕してゐたところ海底から泡が上つ
て來るのを發見、直ちに潜水夫を下
して見たところ、同潜水夫は片方の
手にドイツ人を捉へ他方の手に魚雷
を抱へて上つて來たのである、之に
依つて始めてドイツ海軍の將兵が魚雷
に乗り目指す船舶の底に時限爆彈を
仕掛けたのであると引返してゐることが判
明したのである、然も母艦から敵船
へ向ふまでは海面を突進し、敵から
發見を避けてゐたといはれる

ロメル元帥大西洋要塞を視察

【ベルリン十九日發】ロメル元帥はデンマーク方面のドイツ軍要塞線を視察した後、ヒトラー總統の命令を受け大西洋要塞線を視察したが、ドイツ軍當局は十九日次の通り發表した

ロメル元帥はデンマーク地方の視察を細めた後、ヒトラー總統より歐洲防衛要塞線視察の命令を受けフォン・ルトンシュテット元帥の司令部へ到達した。ロメル元帥は司令部に於いて作戰につき協議を遂げ更に大西洋要塞を視察、ドイツ軍豫備兵力の特機状況を視察する豫定である

ロイター中将逝去

【ベルリン廿一日發】ドイツ海軍の名提督ロイター中將は心臓麻痺のため廿一日逝去した享年七十五、同提督は一九一九年六月十九日、ヴェルサイユ條約に基きドイツ艦隊が當時の聯合國に引渡されるに先立ちスカパフローにおいて艦隊主力の自沈を執行全世界を驚倒させた



地方行政機構改組

【ベルリン二日發】ローマ來電 新政府建設に盡瘁中のムッソリーニ統帥は今回國內地方行政組織の改組に乗り出し、戰爭期間中は各縣知事に

對して從來フアシスト黨支部長が有してゐた権能をも與へることとなつた、即ち今後各縣知事は地方行政長官たると共に實質的にはフアシスト黨支部長をも兼ねるわけだが、この結果知事は内務省及び黨書記局により共同で任命される筈である

全ユダヤ人を收容

【ローマ二日發】イタリア共和政府は十一月中旬開催された第一回議會の決定に基き、二日ユダヤ人取締令を發布、イタリア在住ユダヤ人を國籍の如何を問はず全部特定場所に收容し、同時に所有財産を沒收することになつた、右沒收財産は空爆被害者の救済資金に充當される豫定である、また離婚によつて現行民法法の適用を受けずユダヤ人から除外されてゐる者は警察當局の嚴重監視下に置かれる

チアノ伯遂に處刑か

【チューリッヒ六日發】キアツツノ來電によれば過般逮捕されたムッソリーニ統帥の女婿元イタリア外相チアノ伯に六日拂曉イタリア北部の某所において銃殺されたと云はれる、チアノ伯は逮捕以來新生イタリア共和フアシスト黨の軍法會議に附せられて居たが「裏切分子は極刑に處す」との國法に依り死刑の宣告を受けたと解される

特別裁判所長任命

【ベルリン十日發】ミラノ來電 意大利共和政府は十日去の十一月廿四日設置された特別國防裁判所長にグリッフィニ博士を任命した

共和フアシスト黨員五十萬

【ローマ九日發】共和フアシスト政府は九日、共和フアシスト黨員が五十萬に達した旨發表した

汚れたる歴史を拂拭せん

【ローマ十一日發】ムッソリーニ、イタリア社會共和國政府主班は十一日の日獨伊三國軍事同盟締結二周年記念日に際し、兼攝外相の資格を以てラジオ演説を行ひ盟邦との協力を強調した要旨次の通り

イタリア皇帝並びにその一黨の破廉恥極まる降伏によつて過去數ヶ月イタリアは幾多の重大な出來事を経験したが、これらは日獨伊三國軍事同盟におけるフアツシスト政府の政治的地位を毫も變へることは出來なかつた、本日この記念日に當りイタリア共和國政府は日獨兩國に對しその理想的にして完全なる協力を最も固く且嚴肅なる方法をもつて誓ふものであり、この協力は現在編成されつつあるイタリア軍が近い將來再び銃を執つて戦線に現れた曉最も雄辯に證明せられるであらう、余は精神を一新したイタリア軍が必ずや一大反撃を試み、汚濁と出血を以て裏切りと降伏に汚された歴史の頁を拂拭するものと確信してゐる、余はイタリア將兵が御稜威の下米國のユダヤ金權政治に痛打を加へ米軍を膝下に組み敷いた日本軍並に幾多の戦線に無限の忍耐力を示したドイツ軍と相共に戦つて行くことに充分値ひ

對する冒瀆無事の生命の尠大なる喪失、イタリアの偉大なる精神の創造物たる名高い藝術作品の破壊等も所詮はイタリア國民を屈服させるに至らざ反つて暴虐な敵に對する憎惡を深め戦意を強固にするに役立つのみとならう、余は日獨兩國の官民等しく余の意を汲まれんことを切望す、即ち余は日獨兩國の友情一致協力の精神に結ばれ、又長い間の犠牲の後に勝利の榮光は必ず訪れるとの信念を抱いて邁進するものである

駐伊獨大使信任捧呈

【ベルリン十一日發】ミラノ來電 新イタリア共和政府駐劄ドイツ大使ルドルフ・カーン博士は十一日ムッソリーニ主班に對し信任狀を捧呈し、捧呈式後ムッソリーニ主班と長時間に亘り懇談を遂げた

新聞部長を任命

【ローマ十三日發】ヴェネチア來電 政府は前ルクセンブルグ大使タンブリーニ氏を國民文化省海外新聞部長に任命した

米英映畫上映禁止

【ベルリン十八日發】ヴェネツチア來電 米英兩國と開戦中にも拘はらずイタリアでは從來米英映畫が公然と上映されてゐたが、イタリア社會共和國政府は十八日閣議において米英映畫上映を今後禁止することに決定、米英フィルムを沒收を命じた

新編落下傘部隊

【ローマ廿日發】十九日ローマ西北(C)キロの海岸某地に於て、イタリア軍參謀總長ガムベラ將軍は新編成

の落下傘大隊「ネムボ」の閱兵式を舉行した、同部隊は九月八日ドドリオ政權の休戦が發表される迄ネムボ落下傘師團に屬して、サルヂニアに駐屯、休戦公表と同時に師團長以下幹部が休戦を受け入れて脱走して了つたが、これに憤慨した大隊長レツツァイ少佐が「祖國の大爲共に戦ふ意思ある同志は來れ」と部下將兵に呼びかけ、英軍の包圍攻撃を切り抜けて本國へ歸還し、イタリア共和國軍の正規部隊としてローマ北方の海岸防備に就いてゐる、ガムベラ將軍の閱兵を受けた六百の健兒は大隊の懸け聲たる「ネムボ」(嵐を意味する)の掛聲勇ましく捧げ銃の敬禮を行へばガムベラ將軍は一同に「余はドウチエよりの挨拶を傳へる爲に來た、ドウチエはイタリア共和國軍が一日も早く組織せられ、第一線に立つて盟邦各國軍と手に手を取つて敵軍をイタリアから驅逐する日の來るのを願つて居られる、祖國の名譽の爲に健闘して貰いたい」と激勵の訓辭を與へた、ネムボ部隊は僅か六百名の大隊に過ぎないが、兵の一人一人がみな歴戦の勇士ではなからばかり精氣に溢れ、共和國軍再建の機運を端的に示して居る

特別裁判所開設

【ベルリン廿四日發】ローマ來電 意大利社會共和國政府は曩にバドリオの叛逆に共謀した裏切者を處断する特別裁判所を開設する旨發表したが、廿三日閣議を開催した後、同日付布告を以てムッソリーニ主班並に政府首腦部が特別裁判所の構成員に任命された

リツチ中將を伊軍司令官に任命

【ローマ二十六日發】イタリヤ共和國政府は二十四日前フアシスト民軍司令官ロナート・リツチ中將を大將に昇進せしめ同時に新編イタリヤ國防軍總司令官に任命した

反樞軸空軍官爆の被害

【ベルリン廿四日發】本年九月のバドリオ政權降伏以來十一月末日までにおける反樞軸空軍のイタリヤ諸都市官爆の結果無辜の市民その他に多大の損害を生じたが廿四日のローマ放送は右被害状況を次の通り傳へてゐる

家屋破壊 四、五五戸
非戦闘員死者(主として婦女子) 六、八九名
同負傷者 二、〇〇〇名
戦闘員負傷者 三五五名

フランス

佛紙支配人暗殺さる

【ベルリン三日發】パリ來電によれば南佛ツールーズの有力紙「テペーシユ・ド・ツールーズ」紙支配人モリス・サロー氏は三日不逞の徒に享つて狙撃暗殺されたといはれる。サローの兄として兄弟揃つてフランス政界に重きをなした曾て急進社會黨の名譽黨首となつたこともある、著書多敷あり

ペタン元帥獨代表と會見

【ベルリン六日發】最近反樞軸宣傳機關はフランス國家主席ペタン元帥の辭職説を頻りに流布してゐるが、ドイツ外務省當局は六日記者團會見で次の通り言明した

パリ駐劄ドイツ大使オット・アベツツ氏は最近フランス首席ペタン元帥と會見した、右會見については數日内に詳細を發表することとならうが同元帥が病氣のため公務を執行出來ぬなどと言ふのは全く事實無根である

ペタン主席西大使引見

【ベルリン十八日發】ヴィンシー來電 駐佛スペイン大使ボッセ・レケリカ氏は同大使館附武官メンドローザを同伴十七日フランス國家首席ペタン元帥を訪問、會談した

内務行政の強化

【ヴィンシー廿日發】フランス主席付國務長官ルシアン・ロミエー氏は廿日ラヴァル主席を訪問辭表を提出、アルスケ警視總監も辭職したが、ラヴァル主席兼内相は同時に内務行政の刷新を斷行、新に内務省内に國務長官を置いて、マルセーユ縣警察部長マルセル・ルモアン氏を任命、更に治安維持總監を置いて國防軍司令ジョセフ・ダラン氏を任命した、更に警視總監の後任にはバルマンチエ氏が任命された、以上内務行政の刷新に當りフランス情報報は次の通り發

表した
現状の下においてフランス政府當面の最も重大な問題の一つは治安の維持である、フランス人の安全即ち生

命並に財産の保護は國內の治安を維持して祖國の將來を保全するのと同様絶対に必要である、國內都市並に部落に亘り呼應すべき形において不安と脅威とを惹起してゐる匪團と彼等の暴行に對してはフランス政府において一段と取締を強化する決心である、以上の見地からフランス政府内務省を強化改組するに決定した、政府主席は同時に内相を兼攝してゐるが今回の改組と強化とにより政府主席は一層有効適切な對策を講ずる權限を附與されることとならう

勞働動員局長官任命

【ベルリン廿八日發】ヴィンシー來電 政府は同政府の陣容強化と行政改革の爲フランスワ・シャセーニユ氏を勞働動員局長官に任命した旨廿八日發表した

スイス

瑞西議會開會

【チューリッヒ六日發】去る十月の總選挙後初のスウイス議會が六日開會された

大統領決定

【チューリッヒ十五日發】ベルン來電 〓スイス聯邦議會は十五日一九四四年の大統領選挙を行つたが、結果次の通り
△大統領に當選、ヴァルター・シュテムブリ、百九十七票、現副大統領

(急進民主黨)

△副大統領に當選、ビレ・ゴラズ、百四十七票、現外相(急進民主黨)これと共に藏相エルンスト・ヴェツター氏は辭職、聯邦參事官に轉出するの後に社會民主黨選出のエルンスト・ノブ氏が任命され、カトリック保守黨選出の現聯邦參事會副議長ライングルーベル博士が聯邦參事會議長に任命された

スペイン

輸出の制限

【リスボン二日發】マドリッド來電 〓商工相デメトリオ・カルセレル氏は二日議會において、スペイン政府がインフレを防止し、國內市場の需要に應ずる爲、一定諸國に對する輸出を制限し、これら諸國に對する貿易は専ら物々交換に限る方針を闡明した

西、瑞通商協定延長

【リスボン七日發】マドリッド來電 〓スペイン、スイス兩國政府間の通商協定の延長に關する條約は四日サンタ・クルズにおいて兩國代表者によつて調印された

米旅客機スペイン領に中間着陸

【リスボン九日發】マドリッド來電 〓米國航空會社「アメリカン・エキスポート・ゴアライン」は今回スベリン政府と協定を締結、同會社の十

六人乗旅客機は二週間に一度、ジラルタル西北のカデイズに中間着陸し得ることになつた

フアランへ黨指導者大會

【リスボン十三日發】マドリッド來電 〓フアランへ黨各地區指導者大會は十三日黨書記長アレキキ氏が議長となり陸相アセンシオ將軍、その他國、黨の首腦列席の下に開かれた、アレキキ書記長は開會に當りフアランへ黨の使命を強調しスベリンは共產主義の驅逐を第一の目標とする旨言明した

フアランへ黨宣傳部長更迭

【リスボン十三日發】マドリッド來電 〓フアランへ黨は今回黨情報部長ダヴィット・ハート・ミランド氏がマニユエル・トレス・ロペス氏の後を襲ひ黨宣傳部長に任命された旨十三日發表した、ミランド氏は嘗つてスペイン青色師團に参加して東部戦線に従軍、ドイツ政府から鐵十字章を授與された勇士である

イタリヤ代表マドリッドへ

【リスボン十六日發】マドリッド來電 〓前マラガ駐在イタリヤ領事エーゼニオ・サレアレ氏は今般マドリッド駐劄フアシスト共和政府代表に任命され十六日マドリッドに着任した

軍務局長新任

【ベルリン十七日發】マドリッド來電 〓統領フランコ將軍は十七日ナタリア・ロベツツ・ブラヴォー將軍を陸軍省軍務局長に任命した

青色師團解散

【リスボン廿日發】 マドリッド來電
「東部戦線に出動したスペイン義勇軍「青色師團」の最後の分遣隊は廿一日サンセバスティアンに歸還、同隊は解散されることになった

民軍を解散

【リスボン二十一日發】 マドリッド來電
「フランクフルト統領は二十日フアラシオンへ黨各州指導者會議の閉會式に當り次の通り言明した
フアラシオンへ黨とスペイン軍とが統合された結果民軍は最早必要がなくなつたので今同會議の提案に基き民軍を解散するに決定した、更にフアラシオンへ黨各機關に付いてもスペイン國民生活の正常的發表に必要か否かを考慮、適宜改廢する方針である

政府對英謝罪

【リスボン廿二日發】 米國政府の遣り口に不満を抱くスペインのフアラシオンへ黨員二名が十八日ヴアレシオン駐米國領事館に殴り込みを行つたと傳へられる折柄、マドリッド來電によれば今度フアラシオンへ黨義勇軍による英國官憲侮辱問題が起りこれに對しフランクフルト統領は英國政府に陳謝の意を表明したが英國政府はこれを受諾しなかつたといはれる

政治犯釋放減刑

【リスボン廿七日發】 マドリッド來電
「政府は廿七日官報をもつてスペイン内亂の政治犯一千三百餘名を宣誓釋放した旨發表した
右に關し法相ブラス・ペレス將軍はフランクフルト統領は廣義における大赦を

宣言しないで犯人の處刑期間を縮減し、既に宣誓釋放制度により一九四〇年に一萬一千名、一九四一年に四萬七千名、一九四二年に三萬名、一九四三年に七萬名の政治犯人を釋放してゐると述べた

米、重慶使節着任

【リスボン四日發】 最近ポルトガル政府に派遣された重慶政權使節張謙及び米國使節ヘンリー・ノーウエブンは四日カルモナ大統領に信任狀を捧呈した

葡在留米人登録

【リスボン七日發】 ポルトガル駐劄

米機西領に墜落

【リスボン十一日發】 マドリッド來電
「米空軍の「空の要塞」爆撃機一機は十日午後スペイン東部へロナ州カダケス附近に墜落、搭乗員十名は即死した



北政諸國

在米國大使館は七日同國在留滿十八歳以上四十五歳迄の米國人に對し十二月末迄に米國領事館に報告する様指令した



南阿に大使館設置

【ストツクホルム三日發】
ストツクホルム、チドニンゲン紙の報道によればスウェーデン政府は近くケープタウンに大使館を開設する豫定といはれる。

英、政府に陳謝

【ストツクホルム四日發】 スウェーデン政府は去る十一月十八日英爆撃機のスウェーデン南部の大學都市ルンド爆撃に關し英國政府に抗議を申入れたが、これに對し英國政府は四日ロンドン駐在のスウェーデン公使館に回答を與へた、右回答で英國政府は陳謝の意を表し併せて爆撃に依る損害を賠償する旨述べてゐる

米誌、進出

【ストツクホルム六日發】 ウォールストリート・ジャーナル紙の傳へる所によれば米國の週刊誌「タイム」は今度ストツクホルムでスウェーデン版を發行することとなり、既にその代表者がストツクホルムで着々準備を進めてをり、その第一巻は十二月中に發行される豫定といはれる、米國誌リーダー・ダイエヌストは

既にスウェーデンで發行されてゐる

共産新聞を開出し

【ストツクホルム十四日】 スウェーデン外務省は今後同省の記者會見においてナイ・ダグ紙以下共産主義新聞記者の参加を許可しないことになつた

重慶公使を新任

【ストツクホルム十五日發】 スウェーデン政府は十五日ソフィヤ駐劄代理公使スヴェン・アラードを重慶公使に對する公使に任命した

駐瑞ノルウエー代理公使昇格

【ストツクホルム十六日】 スウェーデン駐劄ノルウエー亡命政權代理公使ジェンス・アルは全權公使に昇格十七日スウェーデン國王グスタフ陛下に謁見、信任狀を捧呈する豫定といはれる

政府重ねて對獨抗議

【ベルリン十八日發】 ノルウエー駐屯獨軍當局のオスロ大學生逮捕問題に關しスウェーデン政府はさきほどドイツ政府に對し抗議を提出、これに對しドイツ政府は去る四日スウェーデン政府の抗議を一蹴した回答を發したが、スウェーデン政府は十六日に至り再びドイツ政府に對し重ねて抗議を申込んだ、抗議内容はまだ發表されないが大體次の如く相當強硬なものといはれる

外交官異動

【ストツクホルム十八日發】 スウェーデン政府は十八日同國外交官の異動を次の通り發表した
ブラジル駐劄公使 グスタフ・ワイデル
任ポルトガル駐劄公使 R・クムリン
任ブラジル駐劄公使 テイベルグ
外務省總務局長 テイベルグ
任ブルガリア代理公使兼公使館參事官
フィンランド公使館參事官 R・R・バーゲ
任外務省總務局長

義勇兵を表彰

【ベルリン十四日發】 オスロ來電
「ノルウエー首相ヴイドクランド・キスリングは十四日東部戦線で武勳を樹てたノルウエー義勇軍の歸國將兵三百三十五名に對し勳章を授與した

諾、白、洪三國の通商協定

【ストツクホルム二十四日發】 オスロ來電
「ノルウエーとベルギー及びハンガリー三國政府はこのほど一九四四年の新通商協定を締結し

であり、スウェーデン政府はノルウエー國內事件に無關心たり得ない、従つて今回の如き事件は獨兩國關係に悪影響を及ぼすであらう、而してスウェーデン國內ではスウェーデン政府は右事件につき何らかの對獨報復措置に出るだらうとの噂が行はれてゐるがスウェーデンはかかる措置は考慮してゐない模様である

ドンライフ

斷乎抗戦を繼續せん

【ストックホルム六日發】

ヘルシンキ來電「フィンランド獨立の二十六年記念日に當りリスト・リチ大統領は六日ツルクでフィンランド國民の不屈な抗戦決意並びに小國の獨立を強調して次の通り演説した

「我々は困難と危険を通過して來た今や我々は無條件降伏の勸告を受けてゐる、然し我々は既に無條件降伏の一例を目撃し、先例に倣ひたくはない、亦フィンランド國民にはソ聯に無條件降伏が可能であると思つてゐるものは一人もゐないと余は確信する、何となれば無條件降伏が我々にとつて何を意味するかを理解してゐるからである、フィンランド人はスポーツにおいて根氣のある選手であるといふことは世界に知られてゐる、これと同様に國家の大闘争に於ても決勝點テープの前の最後の苦しい一汗に入る時意志と持久力を發揮する國民が勝利を得るのである、我々は戦争を繼續する、小國は自由と獨立の擁護者であるといふことは世界の到る處で證明されるだらう、小國の滅亡は不正行為ばかりでなく、全人類にとつて一大不幸である、後三年で今次大戦は前の世界大戦と同じ期間を繼續することとなる、前大戦には主要交戦國は疲勞困憊して戦争は自然終結したが今日では事態はそれほど悪化してゐない、参戦して敗北しその領土を占領された國家があることは事實であるが、然し主要交戦國はまだ強力であり、その或るものは勢力の資源が増大しつつある、今次大戦の終結をまだ見る

ことは出来ない
ヘルシンキに日本人會

【ストックホルム一日發】

ヘルシンキ來電「フィンランドの首都ヘルシンキでは従來日芬協會が日本との親善關係促進に活動してゐたが、十日右のほか日本人會が創設された



政治・經濟

カナダ公使館を昇格

【ストックホルム十日發】

モスクワ放送によればソヴェト政府は今回カナダ駐劄エト大使館を昇格する意向と云ふ使館を大使館に昇格する豫定と傳へられる

戦時財政の近況

【チューリッヒ十二日發】

スイス紙「チュリッヒ」によれば一九四一年度のソ聯歳出豫算は二千七百七十億留でうち軍事費は七百七十億留であつた、歳出總額の半分は租稅收入、四分の一は國家企業収益、殘餘は公債で賄はれたが、公債發行高は對獨戰前すでに二百億留に達し、開戦後は戦費の増大にともなつて激増してゐる、もつとも一九四二、四三年度の豫算が公表されないため財政の詳細は眼ふを得ない、公債は大衆消化を直接の目的としてゐるため小額面を發行さ

れ、しかも戦争第二年以來は無利子で半ば強制的に引受けしめてをり、富藏も廣範圍に使用されてゐる模様である、また貯蓄金庫の預金をすべて戦時強制債券消化に動員してゐるがこれは尢々なもので一九四一年一月現在預金者千六百万人、預金額七十億留を擁してゐた、その他ソ聯における戦費調達上重要な地位を占めるものに獻金がある、これはほとんど強制的に行はれ、ことに寺院からの獻金は極めて多額に及ぶが、國民よりの獻金總額は現在までに公債發行高を凌駕する有様である

カリニン、ベネシユを引見

【ストックホルム十二日發】

モスクワ來電「亡命チエツコスロヴァキア政權大統領エドアルド・ベネシユは十日モスクワへ到着したが、十二日カリニンソ聯最高會議議長はスターリン人民委員會議議長、モロトフ外務人民委員ウオロシロフ軍元帥ミコヤン貿易人民委員列席の下にベネシユを引見した

コロンビヤ公使を引見

【モスクワ十六日發】

カリニンソ聯最高會議幹事部會議議長は十六日ロゾフスキ外務人民部次長列席の下に新任モスクワ駐劄コロンビヤ特使兼全權公使ミクセルセンを引見、同公使の信任状を受理した後會談を遂げた

ソ、チ兩國の國交調整

【モスクワ十二日發】

ソヴェト政府並びに亡命チエツコスロヴァキア政權代表は十二日クテリムリンにおいて友好、相互援助條約に調印した、調印後宮エツコ大統領ベネシユ等はソ聯最高會議幹部會議議長カリニン

最高會議選舉延期

【モスクワ十七日發】

ソ聯最高會議幹部會は十六日、最高會議委員の選舉を更に明年十二月迄延期する旨發表した、かくて一九三七年の第一回總選舉で選出された最高議員の任期は開戦以來二度延期されたが今回更に一年間延期された譯だ

米ソ電力協定

【ストックホルム十八日發】

タス通信社所報によれば今回アメリカ、ソ聯兩國間に電力開發に關する協定成立、アメリカの電力開發局が東部ウラ

新國歌を制定

【モスクワ廿一日發】

ソ聯は、従來「インターナショナル」を國歌として利用してゐたが、聯邦人民委員會は廿日夜新國歌を制定し明年三月十五日以降より實施する旨を發表、多年の間「インターナショナル」に馴染んでゐたソ聯國民に多大の反響を捲き起した、廿一日のソ聯紙によれば、新國歌の作詞者は有名な詩人セルゲイ・ミハールンコフで既にレーニヤ章やスターリン賞金を授與されてゐる、作曲者は赤軍アンサンブル指揮者アレクサンドロフ少將だが曲譜は未だ發表されてゐない

農業委員更迭

【モスクワ十一日發】

ソヴェト政府は十一日實業人民委員イ・ア・ヴェネジクトフ氏が罷免され、その後任にア・ア・アンドレーエフ氏が任命された旨發表された、但しヴェネジクトフ氏は農業人民委員部次長に任

インターナショナルは一八七一年につくられ、ソヴェト政權樹立以來ソ聯の國歌として國民に親しまれてきた、しかしこの間我々の生活は根本的に變化し、われわれは社會主義社會の建設を完了した、何人といへどもスターリン憲法によつて達成された幾多の功業を理解しないものはない、しかるに數十年前に書かれた國歌は最早以上の功業を表現出來なかつたため國家生活の根柢からの變革を表現し、ソ聯國民の愛國心を歐ふ新しい國歌を必要とするに至つたのである

著名評論家逝く

【モスクワ四日發】

ソ聯著名な新聞記者評論家エメリアン・ヤロスラヴスキ氏が死去した旨四日當局より發表された

アイスランド駐劄大使任命

【ストックホルム九日發】

モスクワ來電によればソ聯最高會議幹部會は今回アイスランド駐劄大使にクラシルニコフ氏を任命したといはれる

農業者委員更迭

【モスクワ十一日發】

ソヴェト政府は十一日實業人民委員イ・ア・ヴェネジクトフ氏が罷免され、その後任にア・ア・アンドレーエフ氏が任命された旨發表された、但しヴェネジクトフ氏は農業人民委員部次長に任

の問題であつたが、右負債削減のためルーマニアは今後油實および大豆など同國特産物の對スロヴァキア供給増加をはかり、また穀物、飼料關玉蜀黍、豚、馬鈴薯種子などの輸送にも努力することとなつた、スロヴァキアはこれに對しス、銚鐵、アルカロイドの供給をなす管である

アリガンハ

【ベルリン十四日發】ブダペスト來電ハハンガリア政府ハ十四日十六歳より五十歳までの女子の登録を實施する旨發表した

表した

アマヘボ・アイヴラモ

【ベルリン十六日發】プラーグ來電ハ亡命チエツコスロヴァキア政權代表ベネツシユは去る十二日モスクワにおいてソ、相互援助條約を締結したが、モラヴィア・ボヘミア自治政府大統領ハチャ氏は十六日次の如き聲明書を發表した

余は合法的にして權威あるチエツコ國民の代表として、今回責任なき亡命者達が、わが國をボルシエヴィキの帝國主義に賣渡さんとした企圖に對し、嚴重に抗議するものである、歐洲人の義務を自覺してゐるチエツコ國民並びに政府は、ボルシエヴィズムとの條約を斷じて認めず、又ボヘミア國家に對する凡ゆる叛逆的勢力と戦ふであらう、歐洲の諸國民並びに文明の救済を保障しうる唯一の軍隊を持つドイツに對し、チエツコ國民は變りなき忠誠を捧げるものと

チエツコ反共聯盟を結成

【ベルリン十八日發】プラーグ來電モラヴィア・ボヘミア自治政府の有力者は去る十二日モスクワで締結された亡命チエツコスロヴァキア相互援助條約に應酬して、十八日モラヴィア・ボヘミア反共聯盟を結成、チエツコ國民に對し次の如き聲明書を發表した

反共聯盟はチエツコ國民をボルシエヴィズムの魔手に渡さんとするが如き叛逆行為に對して嚴重に抗議した自治政府大統領ハチャ氏の聲明に奮勵の信頼を置かれんことを要望するボルシエヴィズムに抗しない者は歐洲に反するばかりでなく、祖國を危機に陥れるものである



アラブ國完全獨立を要求

【イスタンブール十二日發】ベイルト來電ハカイロからベイルトに歸任したフランス傀儡政權ジョルジユ・カトルを迎へてシリア首相バードアラ・ジャブリ・レバノン首相リアド・エス・ソルの三者間に愈々會談が開始されたが、兩首相はフランス委任統治の清算を目標として次の四項から成る要求を提出したと言はれる

一、シリア、レバノン兩國に駐劄するフランス高等辨務官を公使に變へること
二、警察權をシリア、レバノン兩國政府に委譲すること
三、シリア、レバノン兩國間關稅調整に對するフランス政府の支配權を撤廢し、同稅收入の處分は兩國政府に一任すること
四、各行政機關のフランス官吏を罷免すること
シリア、レバノン兩國の新開紙は一齊に右要求を支持してゐる

委任統治問題解決

【リスボン廿六日發】アルジェー來電によれば過般來フランス傀儡政權代表としてレバノンへ派遣されてゐたジョルジュ・カトルとシリア、レバノン兩政府との間に委任統治問題に關し協定が成立、從來傀儡政權によつて行使されてゐた或る種の權限は夫々兩國政府へ返還することになつたといはれる、尤も右權限の條項は明かでない

コルト

戒嚴狀態を延長

【イスタンブール四日發】アンカラ來電ハトルコ國民議會は三日の會議においてイスタンブールを含むトルコ六州に敷かれてゐる「戒嚴狀態」を今後更に六ヶ月間延長するに決定した

獨大使首相と會見

【イスタンブール七日發】アンカラ來電ハアンカラ駐劄ドイツ大使フオン・パーベン氏は六日正午トルコ首相サラジヨグル氏を訪問、前後一時間に互り會見を遂げた

重慶大使を任命

【イスタンブール九日發】アンカラ來電によればトルコ政府は九日スペイン駐劄同國公使セウケト・トリアエトを重慶大使に任命した旨發表したといはれる

國會開く

【イスタンブール十二日發】トルコ國民議會は十二日午後、開會サラジヨグル首相は開會の演説においてトルコ政府はあくまで強力なトルコ共和國の建設に邁進する決意なる旨言明した

アナトリアの被害發表

【イスタンブール十四日發】アンカラ來電ハトルコ政府は去る七日アナトリア地方を襲つた地震の被害に關し十三日次の通り發表した
△死者四千十六名△負傷者四千四百七十一名△家屋倒壊七百八十五戸

外相カイロ會談を報告

【イスタンブール十五日發】アンカラ來電ハ外相メネメンジヨグル氏は十五日アンカラで開催された人民共和黨の大會に出席カイロ會談の報告を行つた、これに關し、アナトリア通信社は次の通り發表した
人民共和黨の全體會議はイノニエール大統領がカイロにおいてルーズヴェルト及びチャーチルとの間に行つた會談の詳細をメネメンジヨグル外相から聴取した、續いて多數の議員が發言したが、彼らはカイロ會談がトルコにとつて有利な結果を齎したといふ確言を披露した、サラジヨグル首相も發言し、政府の政策に就き詳細な説明を行つたが、彼の演説は非常に喝采を博した

ライ

反樞軸軍撤收を再要求

【イスタンブール十五日發】テヘラン會談の公報において米英ソ三國はイランの獨立を尊重する旨確約したが、テヘラン來電によればイラン政府は右確約に基き英ソ兩國軍に對し、イランに駐屯する兩國軍隊の撤收方を再度要求したといはれる、但し消息筋の間ではテヘラン公報による確約にも拘らずイラン駐屯英ソ軍は戦後に撤收するといふだけで現實には容易に撤收しないと見られる

東部イランの援ソルート

【ストックホルム十五日發】テヘラン來電によれば反樞軸軍當局はイラン東部の管て隊商が使用した道路を最近自動車道路に改造、右道路を利用してインドからソ聯に向けて多量の軍需品を輸送してゐるといはれる
道路の改造工事には全然機械を用ひず三萬人の農夫と勞働者が使役され八ヶ月間で完成されたが、道路は全距離一千軒に及び、現在米英兩國が使用中の西部イランの補給路と對照をなしてゐる、目下數千の貨物自動車新が新公路上を疾驅してゐるが自動車數は近い將來更に増加するものと見られる

新内閣成立

【イスタンブール十六日發】テヘラン會談で米英ソ三國政府がイラン國の獨立尊重を公約した結果、イラン首相アリー・スヘイリの内政上に於ける地歩が強化されるに至つたと傳へられるが、首相は國會の開催を前

に十四日夜國王レザ・シャヤ・パレ

ウイに一時辭表を提出、再組閣の命を受けて十五日組閣を完了したと云はれる、テヘラン來電によればイラ

△首相アハド・スヘイリ(留任) △外相モハマド・サイド(留任) △法相サドル(留任) △藏相アルダラ

△(前保健相) △内相アブゾル・フジール(前交通相) △交通相ナローラ・エテンザム(前逓信相) △商務相チヤファイ將軍△陸相サント△農相ノウシ・エスファンディアリ△文相サテグ・サチ△逓相サヤ△保健相ガリー博士

首相獨立を宣言

【イスタンブール一日發】 ベイルト來電レバノン首相リアド・エル・ソルは一日次の通り言明した

レバノン、フランス兩國間の國交を規正する爲兩國代表間で近く會談が開始されることになつた、十一月十日の議會で可決された憲法改正案は依然有效でレバノン政府においては委任統治は既に終焉を告げ自國は完全に獨立したと考慮して居る

首相強硬聲明

【イスタンブール二日發】 ベイルト來電によればレバノン首相リアド・エル・アルは二日議會においてフランス傀儡政權は去る十一月十日レバノン議會を通過した改正憲法は依然有效である旨聲明したといはれる更に議員連もレバノンはレバノンの委任統治制を認めないといはれる案も滿場一致議會を通過したといは

スピアース歸任

【イスタンブール十二日發】 ベイルト來電レバノン駐劄英國公使少將スピアースはカイロにおいて英國代表と協議した後ベイルトに歸任した、今回レバノン事件に關聯しフラをス傀儡政權はレバノン政廳に對する讓歩の代償としてスピアースの召還を英國政府に要求、ベイルト放送局は過般同公使の召還を既定の事實であるかの如く報道した位だが、英國政府は斷乎傀儡政權の要求を拒否スピアースを留任させるに決定したと解される

エチプト使節團ベイルトへ

【イスタンブール十七日發】 エジプト國王ファルーク一世は豫て侍從オフィサーを團長とする使節團をレバノン政廳に派遣する豫定であつたが、ベイルト來電によれば同使節團は十七日ベイルトに到着したといはれる

アリシ

西亞補給會議

【イスタンブール十六日發】 ト藏相アミン・オスマン・バシヤは西軍補給會議に出席するため近くダマスカスに赴く豫定と言はれる、尙右會議の豫備會議が目下カイロにおいてエジプト、シリア兩國藏相の間に行はれてゐる

義勇軍解散

【イスタンブール七日發】 エルサレム來電によれば一九四〇年夏結成以來國內防備に任じてゐたパレスチナ義勇軍は六日解散したといはれる

新政府成る

【イスタンブール二十五日發】 アンカラ來電レ去る二十一日一旦辭表を出した後イラク攝政より再組閣を委囑されたイラク首相ヌリ・サイドは二十五日組閣を完了した、關係揺れ左の通り

△首相相國防相ヌリ・サイド △外相マル・ナドミ △藏相アリ・ムダズ △法相サディク・バツサン △公共事業相兼交通相アーマツド・ムクタラ △パン△文相アブドウラ・ハフイツ △經濟相サルマン・ハルラツク



エチ

駐ソ公使任命

【リスボン三日發】 カイロ來電レオチプト政府は三日トルコ駐劄エチプト公使アブドニア・エレマン・ナキエイアスが今回ソエト駐劄公使を兼任することとなつた旨發表した

英埃兩國首相會見

【リスボン八日發】 カイロ來電レ信すべき筋の情報によれば英國首相チャーチルはエジプト首相ナハス・バシヤと正式會談を遂げたが右會談にはエジプト王儲フツセイン・バシヤと米國大使ジョン・ワイナントも出席したといはれる

レバノンへ使節派遣

【イスタンブール十三日發】 メルシナ來電レエジプト國王ファルーク一世はレバノン大統領ビシヤラ・エル・コリーに宛てた親書を携行せしめ侍從オマル・バシヤを團長とする使節團をベイルトへ派遣する豫定といはれる、使節團のベイルト滞在は三日間の豫定であるがレバノン政府はそのため大掛りな歡迎準備を進めてゐるといはれる

新西蘭師團長任命

【リスボン二十七日發】 アルジェーラ來電レ北阿反樞軸軍司令部は中將フレイバークをイタリアに於けるニュージランド第二師團司令官に任命した旨二十七日發表した

カナダの獨立軍團

【リスボン廿八日發】 アルジェーラ來電レ北阿反樞軸軍司令部は、今回地中海戰線にカナダ軍の獨立軍團が編成され、司令官に中將クリラーが任命された旨發表した

ソ聯公使信任狀捧呈

【イスタンブール廿五日發】 カイロ來電レエジプト駐劄初付公使ニコラ・ス・ノウイコフ氏は廿五日エチプト首相兼外相ナハス・バシヤ侍立の下にエジプト國王ファルーク一世に信任狀を捧呈、更にカイロに亡命中のユゴスラヴィア國王ビーター二世に對しても信任狀を捧呈した

アイゼンハワード・ゴールと會見

【リスボン廿一日發】 アルジェーラ來電レ歐洲侵攻反樞軸軍司令官アイゼンハワードは廿一日アルジェーラに於てフランス解放委員會主席ド・ポリーと會談を遂げた

カイロ會談 公報の要旨

【リスボン一日發】 米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチルは十一月廿一日前後してカイロに到着同じく空路夫人を帶同して乗込込蔭介石との間に廿二日から廿七日迄六日間に亘つて會談を遂げたが、カイロ來電によれば一日右會談の公報が發表されたといはれる、公報の要旨次の通り

反樞軸 聯合國

【リスボン十二日】 ロイター通信社イタリア戰線從軍記者の報道によればワシリエフ大將以下の聯將校團は目下中部山岳地帯の米第五軍第一線を視察してゐると云はれるが同將校團の内にはイタリア監視委員會ソヴェト軍事代表ソ

一、米英兩國並に重慶政權は「日本

軍の無條件降伏」を圖る爲め、共同戦争を遂行し、陸海空三軍をもつて日本軍に壓力を加へることに意見一致した、但し公報も日本軍に對する戦争は「困難且つ長期に亘る」ことを豫想して居る

一、三國の戦争目的は日本を三等國に陥れて了ふことにある

【米政府發表】「ブエノスアイレス一日發」ワシントン來電、米國政府はカイロ會議に關聯し、一日次の通り發表した

蔣介石、ルーズヴェルト、チャーチルは北アフリカの某所に於て會見右會議には東南アジア軍司令マウントバッテン、重慶派遣米軍司令スチルウェル、同航空隊司令シェンノット、

印度派遣米國航空隊司令ストラットメイヤー、英國陸軍參謀總長大將アランブルック、同軍令部長大將カニガン、空軍司令チャーリス・ポーター等が出席して會談終了後蔣介石、ルーズヴェルト、チャーチルはカイロを出發、某方面に向つた

【米國 大統領蘇俄長リリー、作戦部長兼聯合艦隊司令長官キング、陸軍參謀總長マーシャル、陸軍航空部隊司令アーノルド、陸軍軍需補給本部長ソマーヴィル、北阿反樞軸軍司令官アイゼンハウアー、陸軍次官補マックローイ、戦時海運局長長リス、

ダグラス大統領顧問ホプキンス、駐大使ハリマン、駐英大使ワイナン、駐トルコ大使スタインハート、在印米空軍司令ストラットメイヤー、

重慶派遣米軍司令官スチルウェル、在支米空軍司令シェンノット

△英國 東南アジア軍司令官マウン トバッテン、外相イーデン、駐ソ大使カー、軍令部長カニガン、戦時交通相レザース、在ワシントン米英合同參謀本部員ズル、陸軍參謀總長ブルック、空軍司令ポーター、西英空軍司令テッター、奇襲部隊レィコック、首相兼艦隊長イズメイ、主計總監ウヰブスター、重慶特派使節ウイアート、外務次官カドガン

米英土會談公報

【イスタンブール七日發】カイロに於ける米英土三國會談に關聯し、アナトリア通信社は六日夜次の通り發表した

トルコ大統領イスマット・イノニム氏は四日五日六日の三日間に亘りカイロにおいてルーズヴェルト並にチャーチルと會見、右會見にはメネメンジヨグル外相、イーデン並にハリー・ホプキンスが出席した、トルコ大統領が今回の會談に出席した

は英土兩國の同盟關係並に米土三國間舊來の友好關係の表明である三國代表は全般的政治状態特に政治的様相につき三國相互間の利害關係との關係において検討を加へた

會談の結果全般的政治状態に關し米英土三國間には緊密な紐帯が存在する旨確見された、從つてカイロにおける會談は三國將來の關係に極めて有意義且好結果を收め特に英米兩國

の民主主義とソ聯邦との利害並びに考へ方の階調及トルコ政府とこれら大國との間に存する傳統的友好關係がカイロ會談において確認された

【リスボン六日發】米英兩國の宣傳機關が二週間以前から鳴物入で騒ぎ立ててゐた米英土三國會談は十一月廿八日から十二月一日まで四日間在テヘラン・ソヴエト大使館で開會されたが會談に關する公報は六日ワシントン、ロンドン、モスクワにおいて同時に發表された

テヘラン會談

【リスボン六日發】米英兩國の宣傳機關が二週間以前から鳴物入で騒ぎ立ててゐた米英土三國會談は十一月廿八日から十二月一日まで四日間在テヘラン・ソヴエト大使館で開會されたが會談に關する公報は六日ワシントン、ロンドン、モスクワにおいて同時に發表された

路テヘランに到着、ソ聯邦元帥の制服を纏つてソヴエト大使館に入つたが、ルーズヴェルト並びにチャーチルも相前後して到着、ルーズヴェルトは宿舎をソヴエト大使館に定め、チャーチルは英國公使館に入つた、會議は廿八日から本格的に開催された、ケベツ三國會談當時と同様大體午前中は米英土三國會談の作戦會議、午後三巨頭を交へての軍事作戦會議といふ順序でその間或は午餐を共にし或は晚餐の席上で協議を重ねた様子だ、作戦會議は二十九日を以て終了し卅日には歐洲の政治問題について協議が遂げられたといはれるが、協議内容については同じくロイター特派員が「ソ波兩國將來の

關係、バルカン地方の諸問題、トルコ政府の態度、ドイツ民族に對する對策」について協議したと報道してゐる、今回の會談で西歐洲に對する第二戰線問題が中心議題となつたことは想像に難くないが會議の公報においては「西東並びに南方」からの歐洲反攻作戦については協議したといふだけで細目については勿論作戦の秘密を保持するといふ見地から全然言及してゐない、三國代表は十二月一日附を以て公報に署名してゐるが別にイラン國の獨立と領土完整を保障する宣言に署名してゐるのは會議地をテヘランに選んだ關係上イラン國民のご機嫌をとることが必要になつた結果のジェスチュアに過ぎない

十二月一日ソヴエト大使館で午餐を共にした後全體會議を開催會議を終了したが二日早朝スターリン議長はモスクワ米英兩國代表はカイロへそれぞれ歸還の途についた、會議を通じてスターリン議長は終始ソヴエト大使館に閉ぢこもり唯一度チャーチルの誕生日に當り英國公使館に向向いただけだといはれるドイツ軍落下傘部隊がイラン國內に降りたといふデマまで飛んだ位で會議場の附近一帯は赤軍の守備隊が絶えず嚴に警戒した

一、お祭り騒ぎで開催されたテヘラ

將ジョージ・マーシャル、陸軍航空部隊司令官ヘンリー・H・アーノルド、作戦部長兼聯合艦隊司令官長官海軍大將アーネスト・キング、大統領中・東近東特使代將バトリック・ハーボン、陸軍軍需補給本部長少將レブホーン・ソマヴィル、大統領付海軍參謀總長大將ウィルソン・ブラウン

△英國 外相アンソニー・イーデン、外務次官アレクサンダー・カドガン、在華府合同參謀本部元帥ジョーン・デイル、陸軍參謀總長大將アラランブルック、空軍參謀總長大將チャーリス・ポーター、駐ソ大使クラーク・カー、駐イラン公使リッダー

△ソ聯 外務人民委員モロトフ、元帥ウオロシロフ、元帥チモシェンコ、元帥ジューコフ

但しその他のソ聯の代表の名前は發表されてゐない

【ドイッ政府筋の見解】「ベルリン六日發」テヘラン會談の公報に關しドイッ外務省筋は六日次の見解を表明した

一、お祭り騒ぎで開催されたテヘラ

紙上の空論に過ぎず、それが具體的

に表れて来ない所に米英ソ三國關係の本質的な矛盾が横はつてゐる。一、米英ソ三國が東、西、南三方面からドイツ軍に攻撃を加へるに決定したといふ公報の宣言は要するに第二戦線問題の蒸返しであるが、現在米英兩國は西歐洲に第二戦線を結成出来ず、南からの攻勢と稱するバルカン攻勢はイタリヤ戦線に足踏みする形であり、これ以外に他に戦線は結成できるといふならばドイツ軍は喜んで見参しやう。

一、テヘラン會談の公報にいふ歐洲の平和とは小國の犠牲における米英ソ三國の帝國主義的支配に外ならざるかかる遺り口で一舜問たりとも「平和」が維持出来ると思ふならこれ程甘い夢はあるまい。一、一言にしていへばテヘラン會談は單なる宣傳價値を狙つた山勘だが併し特に注目すべき點はスターリン議長が會談を引廻したことで、ルーズヴェルトもチャーチルも軍事上、政治上の一切の問題につきスターリン議長の要求に卑屈な膝を折つたことだ、ソ聯に對するかかる米英兩國の全面的屈從はモスクワ會談以來のことであり、その反動は米英兩國をして將來後悔の臍を噛しめるであらうが、既に後の祭だ。

ルド・マクミラン、ソヴェト代表アレキサンダー・ウイシンスキー、及びフランス傀儡政權代表ルネ・マシグリーは二日アルジェエロを出發イタリヤに向つた。

【リスボン五日發】アルジェエロ來電によれば反樞軸イタリヤ諮問委員會は五日南部イタリヤの某地においてイタリヤ本土における第一回の會合を行つたが米國代表マーフィー、英國代表マクミラン、フランス解放委員會代表マシグリー及びソ聯代表ウイシンスキー氏が参加し、同會はウイシンスキー氏が勤めたといはれる。

【リスボン三日發】ロンドン來電二日夜英空軍のベルリン爆撃に徒軍した反樞軸特派員の内インターナショナル・ニュースのローウエル・ペイナルト、オーストラリア・サン紙のノーマン・ストツクトリア外一名は行方不明となつた旨三日發表された大戦開始以來現在までに判明した反樞軸軍記者の死傷は次の通り

△死者二十七名、負傷者三十三名、行方不明十名、樞軸國に抑留四十五名、合計百十五名。

【リスボン十八日發】ロンドン來電反樞軸軍イタリヤ監理委員會は十日南部イタリヤ反樞軸軍占領地の大部分及びシチリア島をパドリオ傀儡政權の行政下に置くことを決議し各關係反樞軸國政府の承認を求めた。但しナポリ地區及び戦闘地域は引續き反樞軸軍の支配下に置かれる豫定といはれる。

【リスボン四日發】ロンドン來電米英兩國政府はこの程北アフリカにおけるフラン貨及びドルにたいする換算率をそれぞれ七十五フラン及び三百フランに引上げた、その結果北アフリカ住民の購買力はさらに削減されたが、一方米英兩國は北アフリカから安値で原料資材を買入れられることとなりその北阿搾取はいよいよ強化されることとなつた。

【リスボン四日發】ロンドン來電モスクワ會談の結果ロンドンに設置された歐洲諮問委員會は十五日一回會談をランカスター・ハウスにおいて開催、英國代表外務次官補ウイリアム・ストラング米國代表大使ジョン・ワイナント、ソヴェト代表フヨドル・グワセフ大使等が出席、秘密會で協議を遂げた會議後ワイナントは新聞記者團に對し「今回の會議では組織上の諸問題を討議したに過ぎない、第一回の正式會議は近く開催される豫定で日取も既に決定してゐる」と述べた。

【リスボン六日發】南阿聯邦首相スマツツは去る十一月廿五日ロンドンにおける演説で將來の歐洲問題を論じたが、この演説内容は三日に至り小冊子の形式で刊行され、一般に發表された、然るにその内容は歐洲小國の犠牲において米英等大國の帝國主義的野望を最も露骨に暴露、しかも米英兩國の責任者からかかる思ひきつた將來に對する具體案が發表されたのは最初のことであるので歐

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

【リスボン二日發】アルジェエロ來電イタリヤ諮問委員會は去る十月卅日のアルジェエロにおける第一回會議の決定に基き委員會本部をイタリヤ本土へ移轉することとなつたが、米國代表ロバート・マーフィー、英國代表ハロ

フランス叛軍も参加

【リスボン廿八日發】アルジェーラ來電にフランス解放委員会は廿八日午後次の通り發表した
國防委員會は反獨軸軍代表と協議した結果、歐洲反攻作戦にフランス叛軍を参加させるに決定したが、解放委員會は右決定を確認した

共産政權樹立

【イスタンブール六日發】
舊ユーゴスラヴィア領内にあつて蠢動を續けてゐた共産匪軍はソヴェト政府の支援の下に五日遂にイヴン・リパールを主班としチトーを國防委員長とする共産政權の樹立を發表宣言した之に對し英國を背景とするカイロのユーゴスラヴィア亡命政權は直ちに極めて強硬な抗議聲明を發したと傳へられる、さきにモスクワにおける米英ソ三國外相會談において英國はソ聯に讓歩し舊ユーゴスラヴィア領内においてチトー軍と對立してゐたミハイロヴィッチをして手を引かしたためであるが、ソ聯はこれを以て足れりとせず今回ユーゴスラヴィア共産政權を樹立せしめたものである

【リスボン九日發】カイロ來電によれば舊ユーゴ領で蠢動を續けてゐるチトー麾下のバルチザン部隊は五日「ユーゴスラヴィア解放委員會」を組織した、旨宣言したが、九日第一回委員會を開催した同委員會は「反獨軸歐洲諮問委員會並に地中海委員」に出席することを要求する旨の決議を行ひ、更に米國に對して戦力を強化するため武器貸與

法を適用するよう要請したといはれる
【リスボン九日發】英國海軍省は六日次の通り發表した
驅逐艦一艦並にコルヴェット艦四隻が今回英國政府からギリシヤ亡命政權に引渡された、以上の艦艇には全部ギリシヤ人が乗組む豫定である



政治

スピアース召還

【イスタンブール一日發】
ベイルート來電によればレバノン駐劄英國公使スピアースはレバノン騷擾事件解決に當り本國政府と意見が合はなかつたとの理由で本國に召還されたといはれる

人口問題調査委員會を任命

【リスボン一日發】 英本國における人口遞減の傾向は同國最大の問題として重視されてゐるが、ロンドン來電によれば英國政府は一日出産率並に人口増減の趨勢を研究するために特別委員會を任命したと傳へられる

希政權に軍艦五隻

【リスボン六日發】 英國海軍省は六日次の通り發表した
驅逐艦一艦並にコルヴェット艦四隻が今回英國政府からギリシヤ亡命政權に引渡された、以上の艦艇には全部ギリシヤ人が乗組む豫定である

ウオロシーフ訪英

【ストックホルム七日發】 ロンドン來電によれば、ウオロシーフ元帥は米英軍首脳と軍事問題の細目を協議するため近く英國を訪問する豫定と傳へられるが、米英宣傳機關はウ

オロシーフ元帥の訪英は「西歐洲第二戦線」結成問題を議するためだと報じ、愈々待望の上陸作戦も開始間近かに迫つたとまことしやかに騒ぎ立ててゐる

チトー政權を支持

【ストックホルム九日發】 ロンドン來電によれば外務次官ロビーは八日下院に於ける質問に答へて、英國はチトーのユーゴスラヴィア共産政權を支持する旨次の如く述べたと傳へられる

英國政府はチトーがわれらの共同の敵に對する戦に於て他の如何なる團體よりもより大きな貢獻をなしてゐるに顧み、同人を支持する

イデーンの報告演説

【リスボン十四日】 外相イデーンの十三日英國下院においてカイロ並にテヘランにおける三國會談について経過を報告したがロンドンからのUP電報は演説の要旨として次の通り報道してゐる

一、英國は日本軍に對する戦において一切の兵力資源を傾けるであらう
一、日獨兩國軍に對する戦争遂行の計畫は今回の會談で完成した
一、トルコ大統領イノニュー氏と英米兩國代表との會談は好結果を齎した

一、英國政府はソヴェト政府と協議した後ユーゴスラヴィア國內のチトー政權に對し軍事使節を派遣した右バルチザン部隊とミハイロヴィッチ政權との合流も必ずしも不可能ではない、カイロ會談に關聯しイデーは頻りに蒋介石並に宋美齡に對し

お世辭を振りまいてゐるが、特にカイロ會談に關聯しては「チャーチルと蔣介石、宋美齡並にマウントバットンが地圖を前にして東亞反作戦を練つたこと」英國政府は差當り歐洲戦線に人的資源の大半を傾けてゐるが依然として東亞の戦ひにおいて英國は主人公の一人であり如何に犠牲が大きくとも如何に戦争が長引かうとも英國人け最後まで日業軍と對する米國內の輿論並に重慶政權の不満に對し空手形を並べた、イデーは特に宋美齡にお世辭を並べ「賢明な進言と比類のない體驗と通譯としての素晴らしい天分とによつてカイロ會談に手傳つた」と述べた

汎スラブ委員會結成

【リスボン十六日發】 バルカン情勢の緊迫並にソ聯のバルカン進出が顯著となりつつある折柄ロンドン來電によれば亡命チエツコスロヴァキア國會議長プロコップ・マクサを委員長とする汎スラブ委員會がロンドンで結成されたといはれる、右委員會はプロコップ・マクサの奔走によつて作られたもので委員中にはロンドンにあるユーゴスラヴィア亡命政權の國立銀行副總裁ルドルフ・ピカニク、ロンドン・タイムス紙の前ソフィア特派員でソ聯人であるミカエル・パードフ、セルビア人記者ミハイル・ペトロヴィッチ等が含まれ亡命チエツコ政權からは大統領ベネシユの股肱の部下であるヨヅカ・デーヴィドが参加又スロヴァキアの共産黨員クレメンテイス、ヴァアの兩名も委員として名前を連ねてゐるといはれる、更に右委員會はポーランド

チャーチル寢込む

【リスボン十六日】 ロンドン來電によればチャーチルが數日來風邪にかかつて病床に臥してゐる旨十六日英首相官邸から發表された

殆ど快癒【リスボン二十八日發】

ロンドン來電英國首相チャーチルの容態に關し二十八日「首相の容態は極めて消足すべき快癒ぶりを示してゐるから、今後はもはや容態書の發表は打ちきる」旨發表された

勞働使節訪ソ

【ストックホルム廿五日發】 ロンドン來電「イヴニング・スタンダード」紙は廿五日の報道によれば英國勞働黨領袖ハロルド・ラスキーは近くソ聯に對する勞働黨使節團長としてモスクワに赴く豫定である、今回の勞働黨使節のモスクワ派遣は既に十八ヶ月以前に勞働黨會議において決定されてゐたものである

英本土の空軍基地

【ストックホルム二日發】 アフトン・チドニンゲン
ロンドン特派員は英本土における反獨軸軍の空軍基地建設狀況に就て次の通り報じてゐる

軍事

米空軍は昨年七月四日英本土を基地とする作戦を開始したが、この時から英本土で大規模な爆撃のための空軍基地建設が開始された、飛行場の敷設に附されてゐるが、英軍當局はその時以來現在までに飛行場建設として、十二億三千万クラウン(一クラウンは五志)を支出、内二

民主主義派に對し同委員會への参加を要請したともいはれる

億三千六百萬クランは米空軍用飛行場の建設に使用された旨發表してゐる飛行場建設に従事してゐるのは米英兩國の勞働者であるが資材は殆んど全部英國政府から支給されてゐる、また某地に米空軍の飛行場に必要のため幅員六米長さ五十キロの道路が建設されたが右道路は十五萬噸以上のセメントヲ使用して僅か九十日以内に完成したといはれる

新型機を製作

【ストックホルム六日發】 ロンドン來電に依れば英空軍省は六日英空軍は全英の飛行機工場に於て新型の秘密飛行機を製作してゐる旨發表したといはれる、右新型機は爆彈搭載力並に長距離航続力に於て在來の如何なる飛行機よりもまさるといはれる

アゾレス群島を既に使用

【ストックホルム十三日發】 英空軍はポルトガル領アゾレス群島を既にドイツ潜水艦に對する空軍基地として使用してゐる模様で、ロンドン來電によれば英空軍省は十二日次の如く發表したといはれる

空軍基地を米へ提供

【リスボン十三日發】 ロンドン・タイムス紙の報道によれば去る七日英國は東部海岸地方に駐屯する米陸軍航空部隊に對し六ヶ所の新設、飛行場を正式に讓渡したといはれる、右飛行場のうちの一つは全く米黒人部隊によつて設けられたもので、又これら飛行場は九十週間で完成する豫定を以て十四ヶ月前に着手したのだと豫定より早く五十六週間で完成したものとはいはれる

米機動部隊英海軍と協力

【リスボン十三日發】 ロンドン來電によれば艦隊並に驅逐艦よりなる米海軍機動部隊は北大西洋において本年夏二ヶ月半に亘つて英本國艦隊と作戦行動を俱にしたことがはじめて明らかになつた、然し同部隊は實際戰闘には參加しなかつた、更に昨年北アフリカ上陸作戦に參加した米海軍機動部隊は、少將オラフ・フスグエツトが指揮してブルースフレージャー麾下の英本國艦隊に編入されてゐた

ソ聯軍事使節到着

【リスボン十三日發】 アルヘシラス來電によれば赤軍將官一名並に高級將校二名は十三日ジブラルタルに到着、更に空路ロンドンへ向ふ豫定といはれる、一行はロンドン到着の上英本土各地の兵營、要塞、その他米軍の兵營等を視察する豫定で、又近頃のソ聯軍事使節團もロンドンへ向ふはづといはれ、これら使節團もウオロシロフ元帥が到着するまで英國へ滞在する様子である

軍事使節ユーゴにて暗躍

【リスボン十四日發】 ロンドン來電によれば英國外相イデーデンは十四日下院において英國軍事使節團は既に今春以來ユーゴスラヴィヤ領内で活躍してゐる旨言明したといはれる

西亞軍司令官任命

【リスボン二十七日發】 ロンドン來電に歐洲戰域における反樞軸軍首腦部の人事發表に引續き、二十七日英國首相官邸から右人事の追加として次の通り發表された

反樞軸海軍並に空軍司令任命

【リスボン廿九日發】 ロンドン來電に英國政府は廿九日反樞軸歐洲反攻軍最高指揮官大將アイゼンハウアーの下に海軍大將ラムゼーが、反樞軸海軍司令官に空軍中將マローリーが空軍總司令に任命された旨發表した

十一月中石炭産出額減退

【リスボン十日發】 ロンドン來電に英國燃料電力動力省は十日英國の十一月の石炭産出額は三百八十一萬五千噸で十月の産出額に比し九萬三千噸減少した旨發表した、因みに一九四二年十一月の石炭産出額は四百萬噸以上であつた



米バ軍事協定締結

【ブエノスアイレス十日發】 ワシントン來電に米國務省は十日國務長官ハルとワシントン駐劄ブラグアイ公使左の軍事協定が締結された旨發表した

炭坑夫を徵用

【ストックホルム二日發】 ロンドン來電に英國では炭坑夫の不足に悩んでゐるが、労働相ベヴィンは二日下院においてその打開策として愈々炭坑夫の徵用を實施する豫定なる旨發表した、ベヴィンの發表せる徵用案の要點次の通り

米コ共同防衛取極め

【ブエノスアイレス十日發】 ボゴダ（コロンビヤ）來電に米國カリブ海地域防衛司令官アレスタは十日ボゴダにおいてコロンビヤ大統領代理と

配給一割減【リスボン十三日發】タイムス紙の報道によれば英國の石炭不足は愈々深刻化してゐるため燃料省では十三日から工業用石炭の配給を一割だけ減少するに決定、同時に國內の工業家に對し出来るだけ石炭ガス、電氣の節約を要請したと傳へられる

伯軍將校、華府で訓練

【ブエノスアイレス十一日發】 米伯兩國間の軍事協定に基き軍事的に殆んど米國の支配下にあるブラジルでは既に自國軍を海外へ派遣するばかりとなつてゐるといはれるが、ワシントン來電によれば右海外派遣軍の指揮にあたるブラジル陸軍將校六十名が目下ワシントンにおいて特殊訓練を受けてゐるといはれる、特殊訓練とは近く海外へ派遣されるブラジル軍と在外陸軍との緊密な共同作戦に必要な訓練を指すものであるが來月中には最初の部隊が送り出されるだらうといはれる、尙今後も五十名を一班とするブラジル將校參謀學校

等に入校して特殊訓練を受ける豫定と傳へられる

巴國大統領、亞國訪問

【ブエノスアイレス十二日發】バラグワイ大統領モリニゴは十一日ブエノスアイレスに到着、アルゼンチン大統領ラミレス將軍その他閣僚の出迎へをうけた

【ブエノスアイレス十五日發】アルゼンチン、パラグワイ兩國間で調印された通商協定の批准を完了した、また兩國外相はブエノスアイレス、アスンシオン兩市間の航空路に關する覺書交換した

米洲防衛委員會開く

【ブエノスアイレス廿五日發】モンテヴィデオ來電 米洲防衛諮詢委員會分科委員會は廿五日午前モンテヴィデオにおいて開催されたが分科委員會の構成員は米國代表カール・スベイス、ブラデル代表ピステル・プランダン、ウルグアイ代表グアンである

ニツケル増産

【リスボン十二日發】ニユーヨーク來電 米國は反極軸側の生産基地として鐵産増強に躍起の努力を拂つてゐるが、ニツケルについても同國の國際ニツケル社の大擴張を行ひ増産を目論んでゐる、この計畫によると年額二萬五千トンの増産を達成する豫定で、生産設備の擴張もすでに相當程度完成してゐる、なほカナダのニツケル生産は軍需相ヘウによると四二年度九萬三千三百トと戦前における最高記録たる一九三九年度の六萬四千五百トンをはるかに突破したといはれる



加西岸の英海軍代表

【リスボン九日發】ロンドン來電 英國海軍省は八日カナダ海軍大佐アル・ビ・キングスコートがカナダ西海岸における英國海軍省代表に任命された旨發表した、キングスコートは今後カナダ太平洋沿岸を基地とする英國海軍の各種作戦に携はる筈である

遺外軍司令官更迭

【リスボン廿七日發】オッタワ來電 米カナダ政廳は廿七日次の通り發表した
カナダ遺外軍司令官中將マックノーソンは病氣のため辭任、中將ケネス・スチュアートを後任に任命した

加駐劄亞國公使新任

【ブエノスアイレス十五日發】モンテリオール來電 米國駐劄アルゼンチン公使エドアルド・ウイグオト博士は十四日カナダ總督アスロリン伯を訪問信任狀を捧呈した

加の武器貸與協定

【ブエノスアイレス十四日發】オッタワ來電 軍需相ヘウは最近カナダは相互支援協定(武器貸與協定)を英本國、濠洲、ニュージーランド、インド、ソ聯、重慶の六ヶ國との間に締結し、またフランス傀儡政權、英領西インドモ同權の協定締結交渉を進めてゐる旨發表した

十一月中軍艦建造高

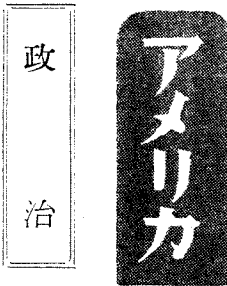
【ブエノスアイレス十三日發】オッタワ來電 米國政府は同國の造船所が十一月中に十一隻の海軍艦艇を建造し、新記録をつつた旨十三日發表した

下院海軍施設改善案可決

【ブエノスアイレス四日發】ワシントン來電 下院海軍委員會は四日總額二億三千五百萬弗の太平洋岸における海軍施設改善豫算案を可決した

海建艦案下院通過

【ブエノスアイレス九日發】ワシントン來電 下院は九日總額五十二億弗の海軍補助艦艇建造豫算案を可決に院廻附した、この豫算案は上院用舟艇百萬噸及び攻撃作戦用輸送船護衛用航空母艦、貨物船連絡用船、各種母艦等を含む補助艦艇二百五十萬噸を建造せんとするものである



政治

議 會

十二月七日は記念日たり得ず

【ブエノスアイレス一日發】ワシントン來電 議會はさきに米國の開戦記念日たる十二月七日を「將兵を讃へる日」に指定する決議案を可決、これを白聖館に廻附したが、大統領ルーズヴェルトは拒否權を發動して署名を拒否法案を議會に再廻附した、大統領はその拒否理由とし

「かかる目的の記念日としては十二月七日の如き慘澹たる思出の日は適當でなく將來これにふさはしいやうな日が出るだらう」と述べてゐる

父親召集案成立

【ブエノスアイレス十日發】ワシントン來電 政府は十日大統領ルーズヴェルトが問題の父親召集法案に署名を了し、同法案が成立した旨發表した、父親召集案は戦前に生れた子供を持つ父親に現在まで召集延期の特典が與へられてゐたのを取消する時、議會の大問題となつたが結局戦時不要不急職業に従事してゐる獨身男子が全部召集されてから父親の召集を開始するとの原案を殆んど骨抜きにした修正案付きで議會を通過した

支那移民法成立

【ブエノスアイレス十七日發】ワシントン來電 米國の對重慶懷柔法案たる支那移民入國禁止法に歸化權否認法撤廢法案はさきに上、下兩院を通過、白聖館に廻附されてゐるが大統領ルーズヴェルトは十七日ワシントンに歸還するとともに直ちに同法案に署名、ここに正式に成立した但し實質的には年百五十名の支那移民の入國を認めるに過ぎずルーズヴェルトが自ら告白した如く「日本の宣傳に對抗するため」の全く空手形法に過ぎない

比島獨立偽法案可決

【ブエノスアイレス十八日發】ワシントン來電 ルーズヴェルト大統領は十八日總額五十三億弗の海軍補助艦艇建造豫算案に署名した、この豫算は上陸用舟艇百萬噸及び攻撃作戦用輸送船、護衛用航空母艦、貨物船連絡船各種母艦等を含む補助艦艇二百五十萬噸の建造に充てられるものである

大統領署名

【ブエノスアイレス一日發】ワシントン來電 議會はさきに米國の開戦記念日たる十二月七日を「將兵を讃へる日」に指定する決議案を可決、これを白聖館に廻附したが、大統領ルーズヴェルトは拒否權を發動して署名を拒否法案を議會に再廻附した、大統領はその拒否理由とし

比島獨立偽法案可決

【ブエノスアイレス十八日發】ワシントン來電 ルーズヴェルト大統領は十八日總額五十三億弗の海軍補助艦艇建造豫算案に署名した、この豫算は上陸用舟艇百萬噸及び攻撃作戦用輸送船、護衛用航空母艦、貨物船連絡船各種母艦等を含む補助艦艇二百五十萬噸の建造に充てられるものである

外人労働者移入豫算

【ブエノスアイレス十八日發】ワシントン來電 米國は人的資源不足克服策として本年もメキシコその他から多數の農業労働者を移入して食糧の増産に當らせたが、一九四四年は本年より更に多數の外人労働者を移入させる計畫であり、これがため政府は總額三千三百七十五萬弗の豫算案を議會に提出したが、下院は十八日右豫算案を可決、これを上院に廻附した

白系市民の送還案

【ブエノスアイレス二十日發】ワシントン來電 上院議員アーネスト・マクアラランド及びトム・ステワートの兩名は今回、米國以外の國に忠誠を示す米國市民をそれら市民の祖先の國に送還すべしといふ法案を議會に提出した、マクアラランドは右法案について次の通り述べた 本法案は特に米國生れの日本人に對して適用される筈だ、戦時強制移住局は米國生れの日本人に對し「君は米國に全面的忠誠を誓ふか、または日本或ひはその他の國の政府若しくは組織に對して何等かの形の忠誠乃至服従を誓ふか」といふ質問を發したが、米國に對する忠誠を誓はぬ者にはこの法案を適用すればよい

眞珠灣軍法會議延期法案成立

【ブエノスアイレス廿二日發】ワシントン來電 米國議會はさきに前太平洋艦隊司令長官キンメル及びヘワイ駐屯陸軍司令官ジョーランド以下眞珠灣空襲責任者に對する正式軍法會議を戦争終了後六ヶ月後まで延期するの法案を可決したが、大統領ルーゼヴェルトは廿二日この法案に署名した、この問題はさきにキンメル、ヘンリー・スタムソン、並にウエ

使用豫算を調査

【ブエノスアイレス廿二日發】ワシントン來電 上院合同節約委員會は政府諸部門が議會の承認を得た豫算の一部を使い切れずに放置してあるので近くこれらの豫算の調査に乗出すことになつた、同委員會委

議會救濟費承認

員長ホーマー・ボリンの言明によると海軍委員會戦時船舶局は一昨年九月以來の豫算の内九百二十億弗以上を未使用で放置してゐるといはれる

議會休會に入る

【ブエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電 米國上下兩院は廿一日午後をもつて夫々降誕祭休會に入つた、これでも米國第七十八議會第一會期は波瀾重疊たる幕を閉じたが、第二會期は明年一月十日から開會される筈である

共和黨領袖聲明

【ブエノスアイレス十日發】ワシントン來電 米國共和黨領袖は明年秋の大統領選挙戦を目標に最近極めて活潑な動きを見せてゐるが、十日突如領袖七名の連名を以て「我々は政権がいづれの黨の掌握する所となるうとも現政権の對米洲政策即ち善隣政策を支持しよう」との聲明を發表した、右聲明に署名してゐるのけ前大統領ハーバート・フーヴァー、一九三六年の大統領選挙に共和黨候補として正式にマツカーサーを推薦するはしてないが、彼が共和黨の候補指名を拒否する如きことはあるまい

共和黨で又立候補

【ブエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電 イリノイ州選出共和黨下院議員エヴレット・デイルクセンは四日明年の大統領選挙戦に共和黨の大統領候補者として立候補する旨聲明した、一部ではデイルクセンは大統領候補者になる意志なく、ウイスキーの意を受けて共和黨の指名大會でウイスキーに黨の大勢を有利に展開するたため今回の舉に出たといつてゐるが、デイルクセンはこれを否定してゐる

大總統選舉

四期出馬阻止法案

【ブエノスアイレス十五日發】ワシントン來電 米國大統領ルーゼヴェルト四期出馬の可能性が次第に増大するとともに米國內では各種のルーゼヴェルト再出馬封じの運動が行はれてゐるが、テキサス州選出上院議員オダシエルは十五日大統領の任期代り二期出馬を禁ずる憲法修正案を提出した、オダシエルはその提案理由として次の如く説明した 現在の米國憲法では大統領の就任回数に制限なく、従つて現大統領の如く何時までもその任にとゞまることが可能である、即ちその子供が後を襲つて大統領に就任し得るまで大統領の地位に居居ることば法制的に可能なのであつて、かくすれば米國に事實上の王朝が生れる場合があらう

マツカーサー正式推薦

【ブエノスアイレス廿一日發】西南太平洋反復輻輳軍司令官マツカーサーは從來屢々明年の米國大統領選挙に對する共和黨の候補に擬せられてゐるか、シカゴ來電によればマツカーサー擔ぎだしの主唱者たる共和黨上院議員ヴァンデンバーグは廿一日正式にマツカーサーを推薦する旨發表した

對外關係

【ブエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電 米國大統領ルーゼヴェルト四期出馬の可能性が次第に増大するとともに米國內では各種のルーゼヴェルト再出馬封じの運動が行はれてゐるが、テキサス州選出上院議員オダシエルは十五日大統領の任期代り二期出馬を禁ずる憲法修正案を提出した、オダシエルはその提案理由として次の如く説明した 現在の米國憲法では大統領の就任回数に制限なく、従つて現大統領の如く何時までもその任にとゞまることが可能である、即ちその子供が後を襲つて大統領に就任し得るまで大統領の地位に居居ることば法制的に可能なのであつて、かくすれば米國に事實上の王朝が生れる場合があらう

日米外交文書第二卷發表

【ブエノスアイレス四日發】米國各省は過般日米開關に至るまで十年間の日米兩國外交關係を一方的に記述した外交文書を盛つた二卷の文獻集のうち一巻を發表したが、ワシントン來電によれば國務省は四日更にその第二巻を發表したといはれる、第二巻も前巻と同様米國政府の外交政策を辯護せんがために發表されたもので徹頭徹尾歪曲された編輯に終始してゐる

加首相、華府訪問

【ブエノスアイレス七日發】ワシントン來電 國務長官ハルは七日の新聞記者團との會見でカナダ首相マツケンジー・キングがワシントンに來訪、六日ハルと會談した旨發表した 會談の内容については米加兩國の關稅問題だつたのみ答へて、その詳細に觸れるを避けた

スマッツ米大統領と會見

【リスボン七日發】カイロ來電 南阿首相スマッツは空路歸國の途次六日カイロに到着し、即夜ルーゼヴェルトと會見した

米、インド間に定期空輪開始

【ブエノスアイレス九日發】ワシントン來電によれば米國陸軍省は九日オハイオ州のバタソン飛行場とインド間に定期貨物輸送空路を開始した旨發表した、右空路には重爆撃機コンソリデーテッド、24型を改装した輸送機八十七機を使用、米軍當局は世界最長の輸送空路と豪語してゐる

米大統領マルタ訪問

【リスボン十日發】ラヴァレット米大統領に依ればカイロ會談を終へた米大統領ルーズヴェルトはワシントンへの歸還の途次、八日朝戦艦二十機に護衛された四發輸送機によつてマルタ島のラヴァレット飛行場に到着した、隨行したのは北阿反極軸軍司令官アイゼン・ハウアー、地中海方面米空軍司令官カール・スバツク、大統領領付參謀長ウィリアム・バット、大統領顧問ハリイ・ホプキンスなどである

對米戰債辨濟

【ワシントン來電】米國務省はワシントン政府が十四日本年度分の對米戰債二十四第節を支辨した旨發表した

國際勞動會議米國で開催

【リスボン廿日發】ロンドン來電國際勞動局は明年の國際勞動會議は米國で開かれることとなり、その會場は多分フィラデルフィアとならうと廿日發表した

駐米初代エチオピア公使

【ワシントン來電】二十日發】國務省は二十日初代米國駐劄エチオピア公使プラタ・メデンがルーズヴェルト大統領に信任状を捧呈した旨發表した

ウルグアイに軍艦一隻護渡

【ブエノスアイレス廿五日發】モンテヴィデオ來電】ウルグアイ政府は廿五日米國より武器貸與法により六

百噸のクルヴェツト艦一隻の護渡を受けることとなつた旨公表した

武器貸與引渡高

【ワシントン來電】アメリカ外國經濟院總裁レオ・クローリは十九日アメリカの開戦以來本年九月三十日までの武器貸與引渡し高總計を百六十四億三千萬ドルうちギリシア向け八十四億五千萬ドルと發表した

對ソ援助情況

【ワシントン來電】外國經濟院長レオ・クローリは廿八日米國の對ソ援助情況を次の如く發表した

米國は開戦以來ソ聯に對して總額三十五億強に上る軍需品その他物資を供給した、その主要内容け飛行機七千機、戰車三千五百臺、貨物自動車十五萬臺、小型軍用自動車二萬五千臺、半自動銃十三萬等である

官營商船學校開校

【ワシントン來電】六日ニューヨーク來電に米國最初の官營商船學校の開校式は次のやうに傳へてゐる

米國務省がロングアイランドのキングスポイントに六百九十萬弗をもつれ建設中だつた商船幹部船員養成學校が約二週間前に完成し今度愈々開校した、戰爭中は二千六百七十名の幹部船員を養成するが、平時の收容船員は一千二百名とならう、その生徒收容は各州單位として十七歳から廿三歳までの青年を入學させる

元旦を「祈りの日」に制定

【ワシントン來電】政府は國民の士氣昂揚、前線統帥の結合強化に大童だが、ルーズヴェルトは去る三日の日附をもつて布告を發し、來る新年の一月一日を

檢閲制度を緩和

【ワシントン來電】政府は今回大戦開始以來始めて檢閲制度の修正を行ひ從來に比しその取締りを著しく緩和した

即ち從來戰時生産局による軍需生産が全國でどの程度進捗してゐるか、武器貸與法に基く資材が如何に動いてゐるか等の懸念は許されなかつたものが、今回の修正によつて可能となつた、同様に從來船舶の沈没破損等に關する報道は一切海軍が行つてゐるが今後は船舶關係の當事者も發表出来るやうになつた、一方外交交渉等に關してもそれが直接作戦に關係しない限り早目に發表しても差支へないことになり、又風説久至敵國宣傳等もはや禁止する必要がないとの理由で發表が許可されるに至つた、然し陸海軍の檢閲は世界戰局に關する限り依然絶對的である、結局檢閲局は今後各種の情報眞偽を明らかにする機關として存在することとなつたわけである

ルースヴェルト歸國

【ワシントン來電】ルーズヴェルト大統領はカイロ並にテヘランに於ける會談を終へ、地中海方面の前線を視察した後、十六日ワシントンに歸還した

大統領將來の發表方針
【ワシントン來電】ルーズヴェルト大統領は十八日陸軍長官スチュムン海軍長官ノックス及び戰時情報局長官エルマー・デーヴィスに對し夫々の覺書を送附、今後における公報發表の方針を指示した

貴下は戰爭遂行に關する公報殊に最近のカイロ、テヘラン兩會談に關する公報の發表を繞つて最近發生した遺憾なる混亂状態を知悉して居ることと思ふ、米國の新聞、通信及び放送局が信義を重んじて國約協約で定められた發表日附を遵守したが米國側の斯かる信義が他國側の失敗によつて不利を招いたといふことは最も遺憾とするところである、然し既に過ぎ去つたことを愚圖々々論議しても意味のないことだ、重要なことはかかることが再び起らぬやう決定的措置を講ずることである、此の目的並にその他政府の一切の部局は次の方針を遵守せられたし

一、戰時に關し國防保安上の價值なき情報と雖も事前にこれを發表することなしに後刻適當なる時に發表すること
二、但しかくの如き情報は國家の保安と矛盾しない限りにおいて出来るだけ急速に發表乃至發送せしめること
三、米國民は安全なるニュースを直ちに知ることを希望してをり、彼等は人工的障壁の介在なしにこれを受受する權利をもつてゐる

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは現在までの日本の敵國人に對する待遇取扱ひは規律は嚴重だつたが公正であつた、日本から交換船で歸國した米國人はいづれも日本は捕虜取扱に關するジュネーブ議定最の規定を忠實に遵用したのみならず、それ以上の寛大な扱ひをしてゐることを認めてゐる、目下拘留中の在米日本人及び日系市民の監督を陸軍の監視下におくことは余は反對である、米國がかかる措置をとれば日本當局も亦日本に残されてゐる米國民にして同様の措置をとる懼があらう、これは思ひべきことである、但し余は日本に忠誠を誓ふ日系市民の米國民權利奪に關する法案を議會が成立させることを提案する

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは廿三日大統領令をもつて緊急監理局内に新たに戰時人的資源委員會を設立した、委員長はまだ決定してないが、委員は左の政府各機關代表によつて構成される

陸軍省、海軍省、農務省、勞働省、戰時生産局、國家住宅局、國防運輸局、選擇徵兵局、海軍委員會、戰時海運局、聯邦保障局、官吏委員會

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは更に他の大

日本の米人待遇公正を認む

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは廿三日大統領令をもつて緊急監理局内に新たに戰時人的資源委員會を設立した、委員長はまだ決定してないが、委員は左の政府各機關代表によつて構成される

陸軍省、海軍省、農務省、勞働省、戰時生産局、國家住宅局、國防運輸局、選擇徵兵局、海軍委員會、戰時海運局、聯邦保障局、官吏委員會

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは更に他の大

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは更に他の大

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは更に他の大

【ワシントン來電】ルーズヴェルトは更に他の大

統領令をもつて、新人的資源委員会と徴兵局との關係を次の如く規定した一、選擇徴兵局は徴兵法の實施に關聯して生ずるあらゆる問題につき人的資源委員長と協議するを要す一、徴兵法の實施にあつては人的資源委員會の政策ならびに計畫を充分考慮し、これとの調整を行ふ今回のこの大統領の措置は過般議會が徴兵法の改正を行ひ、舊人的資源委員會から徴兵に關する權限を取り去つた結果、これに對應するため人的動員機構の改組と見られるが、舊人的資源委員長マグナツトの地位については不明である

男兒出生増加

【アエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電 國勢調査局は廿四日一九四二年の米國出生高に關する數字を發表したが、右によれば女兒出生百三十六萬四千六百三十一名に對し男兒出生は百四十四萬四千三百六十五名と男兒出生が女兒出生を遙かに凌駕した

戰時情報局支部員 辭職

【アエノスアイレス十日發】ニューヨーク來電によれば戰時情報局ロンドン支部の全職員は十日一齊に總辭職した、辭職の原因は戰時情報局海外支部の運營方法に對する不滿といはれる

大統領秘書死亡

【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電 大統領首席秘書官マルヴィン・マツキンタイアは十三日死亡した、享年六十五、彼は最初新聞記者として身をおこしたが、一九二〇

者として身をおこしたが、一九二〇年來電によれば米軍當局は米軍重爆撃機「空の要塞」及び「リベレータ」の高性能に關し九日次の通り言明したといはれる

軍事

中部太平洋司令部を設置

【アエノスアイレス一日發】最近アエノスアイレスに到着した九月廿六日附のニューヨーク・タイムズ紙によれば米軍は九月十九日附をもつて中部太平洋司令部を設置したと傳へられる、新司令官はハワイに本據を置き、司令官は中将ロバート・リチャードソンである

水を利用の新濃氣装置

【アエノスアイレス四日發】デリー・エクスプレス紙ニューヨーク特派員の報道に依れば水を利用した新スパー・チャージャー（濃氣装置）が米國で發明されたといはれる、右新スパー・チャージャーが航空機發動機に取附られれば即時的機發が起るために餘剩力が生じ空中戦に於て避退行動が比較的自由になるといはれる

自動車工業の戦争協力

【アエノスアイレス七日發】ワシントン來電 自動車工業協會は七月米國の自動車工業は開戦以來の二七年間に價格百三十億弗の軍需品を製造これを政府に引渡した旨發表した

重爆の新裝備

【アエノスアイレス九日】ワシントン來電によれば米軍當局は米軍重爆撃機「空の要塞」及び「リベレータ」の高性能に關し九日次の通り言明したといはれる

明年の徴兵計畫

【アエノスアイレス九日發】ワシントン來電 徴兵局長官ルイス・ハーシェは九日米國明年の徴兵計畫は次の如く發表した

軍用機の價格

【アエノスアイレス十一日發】近着の米國週刊誌「コリアー」は米國各種軍用機の政府公認價格を次の通り發表してある

千二百馬力戦闘機	七萬弗
二千馬力戦闘機	十五萬弗
雷撃機	二十五萬弗
雙發哨戒爆撃機	四十萬弗
「空の要塞機」	四十五萬弗

ハワイ消燈令緩和

【アエノスアイレス十九日發】ホノ

ル來電 ハワイ米軍當局は十八日消燈令を緩和し午後十一時迄點燈を許可すると共に外國人に對して同時刻迄外出を許可する旨發表した

明年前半に二百萬召集

【アエノスアイレス廿日發】ワシントン來電 徴兵局長官ルイス・ハーシェは明年六月までは陸海總兵力を一千百三十萬にまで擴大する計畫の下に明年上半期六ヶ月間に二百萬の新規徴兵を行ふ豫定である、二百萬のうち百萬までは一九四一年十二月以前に出生した子供を持つ父親とならう

父親既に五萬を召集

【アエノスアイレス十九日發】ワシントン來電 選擇徵募局は父親召集令に基き十月及び十一月の二ヶ月間に「眞珠灣」敗戦以前の父親五萬を軍隊に徵集した旨發表した、尤も徵募局の言明によれば同期間に召集延期に決定した父親或は召集順位の變更をみた父親の數は合計百萬以上に達してある

本年度戰費八百二十億弗

【アエノスアイレス廿日發】ワシントン來電 財務省は廿日一九四三年の米國々庫支持推定概算を發表した

が、右によれば國庫支出は約八百億一千六百萬弗に對し支出は約八百八十億弗、うち軍事關係費は八百二十億弗の巨額に上つた、この結果國債現在高は一九四二年十二月末の一千百二十億弗から一千七百億弗に激増した、月平均戰費も本年一月の六

十億弗から去る十一月には七十五億弗に増加してある、因みに一九四二年の國庫收支高は收入百六十億三億弗、支出五百六十億弗、うち軍事關係費は四百九十八億六千二百萬億弗だつた

空の要塞一萬臺目英國へ

【リスボン二十六日發】ロンドン來電によれば二十四日夜、一萬臺目の「空の要塞」が英本土へ到着したといはれる、これに要した飛翔時間は九時間であつたといはれる更に英本土駐屯米軍當局は二十五日、今日まで一萬臺に上る空の要塞が英本土へ輸送されたが途中で喪失したものは一〇程度である旨揚言したと傳へられる

米空軍部隊、フ島海兵隊と交替

【アエノスアイレス廿二日發】AP ガダルカナル來電 南太平洋反樞軸軍司令部は中將ハーモン麾下米國陸軍部隊が海兵隊からブーゲンビル島における地上作戦を引繼いだ旨十五日發表した

三百萬人を輸送

【アエノスアイレス二十二日發】ワシントン來電 米國護送船團は大戦開始以來現在までに三百萬人の將兵を全世界の戰場に運んだ旨二十二日發表された

陸軍異動

【アエノスアイレス二日發】近着のニューヨークタイムズ紙は十月廿四日附米國陸軍の人事異動を次の如く報じてある

代將 ジェームス・バイロン
任陸軍特務部長
而してバイロンは陸軍の休養、運動
方面を擔當する筈である

海軍異動

【アエノスアイレス四日發】ワシントン來電「海軍省は三日海軍兵器局長少將ウイリアム・ブランドイの後任として少將ジョージ・ハッシーを任命した旨發表した、新兵器局長ハッシーの任期は四年である
【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電「海軍省は米陸軍最初の黒人落下傘部隊が近く活動を開始する旨三十日發表した」

陸軍 黒人落下傘部隊出動

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電「海軍練習航空隊司令官に任命したマレーは元空母エンタープライズ號の艦長であつた

兵役免除數

【アエノスアイレス二日發】近着の米國陸軍は開戦以來本年八月廿一日までの期間に約五十五の兵員を兵役免除した旨發表した、このうち年齢の理由をもつて免除となつた者は約二十萬、残りの三十五萬の大部分は肉體的、精神的缺陷の理由で免除された

イラン輸送部隊改組

【イスタンブール十一日發】昨年十一月米陸軍部隊はイランに進駐して以來ペルシャ灣經由でソ聯向の軍需品輸送に當つてゐたが、テヘラン來電によればイランにある米軍輸送部隊は八日付をもつてペルシャ灣部隊と稱せられることとなつた旨發表された、同部隊は従來米陸軍のカイロ司令部の指揮下にあつたが今回他の部隊と同等の地位におかれることとなつた、この機構の改組はテヘラン會議に基づき米國のイラン經由對シ軍需補給強化の前提をなすものと見られる

飛行兵教育狀況

【アエノスアイレス十五日發】ニューヨーク・タイムス紙の軍事記者ハインソン・ポールドウインは十月二十

日、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ

一、開戦と共に米國陸軍が時を移さず行つたことはアラスカ及びパナマに對する兵員の急派とハワイの兵力強化であり、開戦後十日以内に二つの護送船團を仕立ててハワイに派遣した、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ

一、北阿上陸作戦においては反輻射側は同方面にあるフランス軍の動向については正確な判斷を下し得ない状態におかれてゐた、従つてダララの降伏指令がカサブランカに達したの反輻射軍が同市に對して總攻撃を開始する數分前といふきわどいところだつた

一、一九四三年一月のカサブランカ會議では北阿戦、シチリア戦は勿論太平洋戰域のアッツ、キスカ兩島に對する作戦も協議された

一、本年七月一日現在の米國陸軍兵力は七百萬弱で、このうちには五十二萬一千の將校が含まれる、陸軍航空隊兵力は百九十九萬六千、將校は十八萬二千である

【アエノスアイレス十四日發】ワシントン來電「陸軍長官スチムソンは十四日次の如く發表した

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電「米國參謀總長マーシャは過般開戦前から現在に至る米國陸軍に關する全般報告を發表したが、その要旨左の通り
一、一九四一年夏ドイツの大軍はソ聯領内に殺到しつゝあり、同時に英本土及び大西洋水域もドイツ軍の脅威の前に累卵の危きにあつた、一方日本も着々と戦備を進めてゐたこの危機に際會して米國陸軍に直面した問題は當時百五十萬程度に過ぎなかつた陸軍兵力の強化をはかるにありこれは當時の一年の兵役期限を延長することによつて達成された、一方陸軍は九十萬の兵員を動員して米國未曾有の大規模な演習を行ひその訓練につとめた
一、更に陸軍は次の緊急措置をも講じた①兵員並に資材の補給は、それまでハワイに最大の優先権が與へられてゐたが、ハワイ以上に防備の薄弱なアラスカ、パナマ運河地帯に優先的防備強化を行ふこと②カリブ海及びニューファウンドランド方面に航空基地を建設し守備軍を配した③本土の航空部隊から新型軍用機を急遽比島に増強した④マツカサーを現役に復歸せしめ東亞軍指揮官に任命した⑤比島の防備施設強化のため豫算を要求したが、これは議會の承認するところとならなかつた
一、開戦と共に米國陸軍が時を移さず行つたことはアラスカ及びパナマに對する兵員の急派とハワイの兵力強化であり、開戦後十日以内に二つの護送船團を仕立ててハワイに派遣した、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ

一、一九四三年一月のカサブランカ會議では北阿戦、シチリア戦は勿論太平洋戰域のアッツ、キスカ兩島に對する作戦も協議された
一、本年七月一日現在の米國陸軍兵力は七百萬弱で、このうちには五十二萬一千の將校が含まれる、陸軍航空隊兵力は百九十九萬六千、將校は十八萬二千である

【アエノスアイレス十四日發】ワシントン來電「陸軍長官スチムソンは十四日次の如く發表した
陸軍は今回陸軍特務部隊訓練計畫に變更を加へその人員を減少させることとなつた、但しこれは恒久的措置ではなく、今後戦局の推移を考慮、兵力動員状態をも對照して増加或は更に一屬減少するかも知れない、因みに現在特務部隊の訓練を受けてゐる兵員は約十四萬である

飛行兵教育狀況
【アエノスアイレス十五日發】ニューヨーク・タイムス紙の軍事記者ハインソン・ポールドウインは十月二十

日、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ
一、開戦と共に米國陸軍が時を移さず行つたことはアラスカ及びパナマに對する兵員の急派とハワイの兵力強化であり、開戦後十日以内に二つの護送船團を仕立ててハワイに派遣した、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ

一、北阿上陸作戦においては反輻射側は同方面にあるフランス軍の動向については正確な判斷を下し得ない状態におかれてゐた、従つてダララの降伏指令がカサブランカに達したの反輻射軍が同市に對して總攻撃を開始する數分前といふきわどいところだつた
一、一九四三年一月のカサブランカ會議では北阿戦、シチリア戦は勿論太平洋戰域のアッツ、キスカ兩島に對する作戦も協議された
一、本年七月一日現在の米國陸軍兵力は七百萬弱で、このうちには五十二萬一千の將校が含まれる、陸軍航空隊兵力は百九十九萬六千、將校は十八萬二千である

【アエノスアイレス二日發】近着の米國陸軍は開戦以來本年八月廿一日までの期間に約五十五の兵員を兵役免除した旨發表した、このうち年齢の理由をもつて免除となつた者は約二十萬、残りの三十五萬の大部分は肉體的、精神的缺陷の理由で免除された
【イスタンブール十一日發】昨年十一月米陸軍部隊はイランに進駐して以來ペルシャ灣經由でソ聯向の軍需品輸送に當つてゐたが、テヘラン來電によればイランにある米軍輸送部隊は八日付をもつてペルシャ灣部隊と稱せられることとなつた旨發表された、同部隊は従來米陸軍のカイロ司令部の指揮下にあつたが今回他の部隊と同等の地位におかれることとなつた、この機構の改組はテヘラン會議に基づき米國のイラン經由對シ軍需補給強化の前提をなすものと見られる

參謀總長報告要旨

【アエノスアイレス十五日發】ニューヨーク・タイムス紙の軍事記者ハインソン・ポールドウインは十月二十日、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ
一、開戦と共に米國陸軍が時を移さず行つたことはアラスカ及びパナマに對する兵員の急派とハワイの兵力強化であり、開戦後十日以内に二つの護送船團を仕立ててハワイに派遣した、一方アラスカ軍用公路の完成を急いだ

七日附同紙上で米國陸軍の飛行兵訓練狀況に關し次の通り報道してある。テキサス州フォート・ワリスの米陸軍飛行學校は中將バートン・V・ヤウソントを校長として一年に十萬名の飛行士を養成してゐる。米空軍の現兵力の約八分の一が生徒或は飛行並に技術教官としてヤウソントの指揮下にあり、當校では二萬五千臺餘の戰鬥機並に練習機が訓練に使用されてゐる。操縦士、爆撃手、航空士、機上射手その他一切の搭乗員の教育は勿論氣象觀測手、暗號手、無線手等から飛行場のコントロール室操作員に至る各種技術者も養成されてをり合計少くも八十種の異つた課目の教育が行はれてゐる、同校の生徒教官の飛行時間は毎月數百萬時間に達するが此の總飛行時間は過去一箇年間に約倍加した、即ち一九四二年九月生徒、教官の總飛行時間百四十一萬千六百六十六時間に對し、一九四三年九月には二百廿三萬八千四百七十六時間に増し、而かも一定飛行時間に對する事故回数は減少してゐる、一九三一年には練習飛行時間四時間に對し事故死亡者率は〇・四五人の割合であつたが、一九四二年には〇・〇三七人に低下した、また飛行學校に於ける練習飛行中の事故回数は、一九三一年には千時間に對し一・八回であつたが、一九四二年には〇・五回に減じた、米陸軍航空部隊の米本土内に於ける全事故數も一九三一年の千時間に對する二・九八回から一九四二年の一・二回に減少した、米陸軍の爆撃機操縦の教育期間は最近九週間に延長された、即ち飛行學校で高等飛行訓練を終へ、操縦士の資格を獲得した後彼は特別

飛行學校に移された際にB1爆撃機で百五時間又は、B2で百廿五時間の飛行訓練を受ける、此の課程を終つた後各航空部隊に配屬されて實戰的訓練を受ける、米國に於て最近最も目覺しい發達を遂げた飛行技術は計器飛行の分野であらう、現在テキサス州ブライアン飛行場ではダークワース大佐の指揮で毎月四百名の計器飛行操縦士が完成されてゐる、最近陸軍、海軍、海兵隊の空中戦闘機術の老練者が會議を行つた結果として米國の空中戰術教育法に大變革が齎された、海軍航空部隊では陸軍の寫眞銃を使用して空中射撃技術を自己分析的に修得する方法が秀れてゐることを認めてこれを採用することにした、他方陸軍では從來敵爆撃機に對する攻撃法としては、主として正面及び背面攻撃法を教育してゐたが、その外に海軍が用ひてゐる側方正面、斜側面、下面からの攻撃法を、教育課程に加へることとした、また最近陸軍飛行兵教育組織の行政機構にも改革が行はれ、現在迄に七萬八千名の人員が節約され、機構轉換が完了する迄は更に一萬五千名の人員節約が可能といはれる、新機構によれば、陸軍航空教育部は地域的に六大支部に分ち、各支部毎に飛行技術班と教育教育班とに大別する、飛行訓練期間は豫備教育乃至は大學に於ける軍事教育期間を除いて廿七週間とされて居る、戦前には同程度度の教育を施すのに一年餘を要した、此の訓練期間中に二百廿時間の飛行訓練を受け、更に多發機操縦希望者は九週間の追加特別訓練を経て米國內四箇所各航空部隊に配屬される、新操縦士達が主として配屬されるの

は、第三航空部隊で、此處で二百十時間の實戰的飛行訓練を受けた後始めて海外の第一線に派遣されるのである。航空隊強化【ブエノスアイレス二十三日發】ワシントン來電「米國陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルドは去る十三日附の命令を以て通信部隊補給部隊、信號部隊等の附屬部隊を全部航空部隊に正式に編入した、從來これ等部隊は臨時的に航空部隊附屬となつてゐたのだが今回の命令により直接アーノルドの指揮下に置れるに至つた、而して今回の措置は陸軍參謀總長マシーヤルの許可を得てなされたものであり結局獨立空軍編成への第一歩ではないかとされてゐる」

夜間視力訓練 【ブエノスアイレス廿一日發】廿一日附のブエノスアイレス英國系新聞に米陸軍士官學校生徒が黒眼鏡をかけてホツケをやつてゐる寫眞が掲げられてゐる、寫眞の説明によるとこれは夜間爆撃機の操縦手、爆撃照準器上射手等の夜間視力訓練中の一課目で訓練の結果夜間視力が廿五% 四〇%位は鋭敏化するといはれる、訓練に使用される眼鏡には薄暮の月月光、闇夜、地上に濃霧が立明る場合等々凡ゆる状況に類似した明暗度が日中自由に作り出せるものがあるといはれる

輸送機的大量生産 【ブエノスアイレス十三日發】ニューヨーク來電「カーチスライイト會社は七日陸軍のため輸送機的大量生産を開始する旨發表した、會社當局はその建造計畫の具體的内容に發表してゐないが、平時、戦時を通じ未曾有の尠大なものと稱してゐる」

陸軍機塗料除去 【ブエノスアイレス十四日發】ワシントン來電「米國陸軍省は今後陸軍航空隊所屬飛行機は殆ど例外なく全部機體の塗料を取去ることとなつた旨十四日發表した、この措置は前線にある航空司令官連の勸告に基づき機體重量を軽減し速度を一時間數哩増加せしめるといはれる、ただ前線にあつて迷彩を必要とする特別任務の飛行機のみはこの例外である」

リベレーター用發動機二萬五千臺 【ブエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電「陸軍省は、廿一日一九四三年中にリベレーター爆撃機用發動機二萬四千六百廿六基が陸軍に納入された旨發表した」

小銃裝着式擲彈筒 【ブエノスアイレス十五日發】近著の米誌は米軍武兵部隊が各戰線で廣汎に使用してゐるといはれる小銃裝着式擲彈筒なる新兵器の性能に關し次の通り報じてゐる

これは手榴彈の最大投擲距離と六十糎迫撃砲の最短射程との中間地區的攻撃に適切な兵器で現在南太平洋洋線で使用されてゐるこれは從來スプリング・フィールド銃でのみ發射されたが、現在ではガランド銃、騎兵銃でも發射可能となつた、この裝置は高性能爆藥を充填した鋼板製氣榴狀の藥筒を小銃の銃口に取付け、その中に榴彈を裝填し、小銃で特殊の空砲を發射するとこの榴彈が投射される仕掛けとなつてゐる、榴彈の尾部には鱗狀の方向安定板があり、榴彈を直線的に推進せしめるともにその射程(現在約七五ヤード)と命中率を増大す

海軍將校大量生産 【ブエノスアイレス二日發】米國海軍は開戦以來全米の各大學專門學校を軍事教育に動員し多數の兵員就中幹部將校の養成に大童だが、近著のニューヨーク・タイムズ紙の報道によるとニューヨークのロンビア大學内に特設された海軍兵學校で去る十月廿日一千三百三十名の少尉候補生の大量卒業式が行はれたといはれる

空母増強を誇る 【ブエノスアイレス三日發】太平洋戰域における米國海軍の相次ぐ勝利艦艇の喪失を糊塗するため、米國海軍當局は所謂「氣球」の戰果を創作する一方新艦艇が續々海軍に加はりつつあることを發表してゐるが、ワシントン來電によれば海軍長官ノックスは三日再び米國海軍擴充計畫の進捗を誇り次の如く豪語したといはれる

米國海軍は十一月中にあらゆる型の空母十二隻を完成した、又海軍用飛行機の生産高も二千機に達し、十一月中の海軍擴充計畫は艦艇建造においても飛行機生産においても飛行機生産においても新記録を示した

海軍士官學校

【アエノスアイレス六日發】米國政府當局は近代戦における補給の重要性に鑑み、補給専門士官養成に着手した模様だが、近着の米誌によれば補給に關する専門教育機關たるセント・ピータースブルグの海軍士官學校では去る十月第一回卒業生を送り出したといはれる、右新設海軍士官學校は米國海軍委員會が經營し陸軍の海上輸送を擔當する特殊士官養成を目的としてをり、特に太平洋水域における補給戰の要求に即應して八月二日新設されたものであるがその際戰時船舶局海員養成所はセント・ピータースブルグの海員養成所といはれる

海軍の將官數

【アエノスアイレス五日發】米國週聞雜誌タイムの十二月六日號は米海軍の現役將官につき次の通り報じてゐる

一、米海軍には目下大將五名、中將二十一名、少將百五十三名、準將二一三名で合計二百二名の現役將官がゐる

一、海軍大將はアーネスト・キング、チェスター・ニミツヅ、ウィリアム・ハルゼイ、インゴルド・スタリク、ロイヤル・エンガロンドで、退役となつたジョーセフ・リーヴズは米海軍審判當委員會會長として復職した

一、中將には技術關係一名、航空關係五名、航空偵察關係一名を含むか平均年齢は五十八歳である
一、少將には技術關係廿五名、航空關係卅三名、航空偵察關係二名がゐる平均年齢は五十七歳である

一、準將には技術關係一名、航空關係六名がゐる、準將は小機動部隊を指揮するが、一人は東南アジア反極軸司令部所屬、一人は北アイルランドのロンドンデリー海軍基地の作戰司令官、一人は北アフリカ、モロッコ方面司令官である、最年少者は四十五歳で西南太平洋反極軸司令部海軍航空隊司令官トーマス・コムスである、海軍作戦部長キングは最近戰艦、空母、重巡よりなる主要艦隊を指揮した経験のない者は今後將官に進級せしめないとの規定を設けた

海軍本年度任官者數

【アエノスアイレス十八日發】ワシントン來電 海軍省は十八日、本年中海軍々籍に編入された將校並に登録者の數は四萬七千六百名に達し本年度豫定數を三百名突破した旨發表した

海軍婦人部隊の役割

【アエノスアイレス廿二日發】米國では深刻な人的資源不足のため多數の婦人労働者を各軍需方面に使用してゐるが、ワシントン來電によれば米海軍省は海軍婦人部隊の状況を次の通り發表した

米海軍における婦人部隊の努力により戰艦十二隻以上の乗組員數に當る男子が解放されて軍務に服させることが出来た、海軍の婦人部隊員は一九四二年十二月三十一日に僅か五千名であつたが、一九四三年末には四萬七千六百名になり、一九四四年末には少くも九萬二千名となる見込みである、海軍の婦人部隊員の約四分一は海軍航空部隊に勤務、飛行機修繕、飛行場の雜務に當つてゐる、五千名以上は醫療隊に屬してゐる

【アエノスアイレス三日發】ワシントン來電 海軍省は最初の錆止鋼鐵製大型飛行機が完成され目下試験飛行を実施中の旨三日發表した同飛行機は双發貨物送達機として東海岸の某製作所で製作され試験の結果は有望といはれる、同飛行機は陸海軍で使用の豫定である

超大型飛行機完成

【アエノスアイレス四日發】ワシントン來電 米國が世界最大と誇稱する飛行艇マーティン・マース號が海軍審査委員會の手でこの程豫備試験を終了、海軍空輸部に引渡された空輸部でも更に試験を續行した結果、兵員、軍需資材其他の遠距離輸送用に使用することとなつたが同飛行艇は全重量七十噸、現在空輸部で使用中の最大飛行艇より三分の二程大きいといはれる

上陸用舟艇建造計畫

【アエノスアイレス八日發】ワシントン來電 全面的反攻作戦を呼號する米國海軍當局は甚大なる上陸用舟艇建造計畫を實施中だが海軍艦船局長エドワード・コックレーは右計畫の内容を次の如く發表した

海軍の計畫はあらゆる型の上陸用舟艇八萬隻を建造するにあるが、このうち二萬五千隻は既に完成された、而して今後建造される舟艇は専ら對日戰を目標としたものだが全建造計畫を完遂するには五億弗乃至六億弗の費用を必要としよう

水冷發動機生産中止

【アエノスアイレス二十七日發】十七日UPワシントン電が海軍筋の言として報道するところによれば、米國海軍は今冷水式航空機發動機全部空冷式發動機を裝備することとなつたといはれる

救命戰闘服

【アエノスアイレス九日發】近着のニューヨーク・タイムス紙の報道によれば米國海軍軍醫部は最近新着想に基く「戰闘服」なるものを發表したといはれる、これは戰争による各種傷害、即ち砲彈或は爆彈による火傷による負傷、溺死爆發による火傷（これは米海軍死傷者の三割を占めてゐる）及び爆壓傷より身體を完全に保護すると云はれる、此の爆壓傷とは爆彈が水中で破裂する際生ずる水壓による負傷で同じく爆彈が空中で爆發した場合に比して四倍以上の死傷率を示してゐる、此の戰闘服は重量三封度乃至四封度程度で、緑灰色のポプリン製であり顔面及び両手を除き全身を完全に包むやうに出来てゐる、此の服の頸より兩脇に至る間の前面は野球の審判員の胸當の様な詰物が入つてゐるがそれ程厚薄はない、詰物としてはカポタン綿が入つて居り砲彈の小破片より肉體を保護し併せて海中に落ちた際浮力を與へる、此の服の背後胴部には週刊雜誌程の大きさで重量四封度、厚さ一時の包がホックで取付けられてゐる、海中に落ちた際腰部にある紐を引けばこの包が直ちに膨らんで膨らんだ海軍水筒で進水した、造水式には海軍水筒補ラフ・ペードをば

著用者が其の儘それに乗つてゐる仕組になつてゐる、このゴムボートを膨脹させるのは右包内の二酸化炭素入り氣筒で、紐を引くと同時に栓が開かれてガスがゴムボート内に充満され、人間よりも大きくなる迄膨脹する

米大型空母建造開始

【アエノスアイレス二十五日發】頻りに對日總反攻を呼號する米國は日本本土爆撃を狙つて大型航空母艦建造に大奮だが、廿五日ワシントン來電によれば米海軍は既に双發爆撃機を搭載し得る四萬五千噸の超弩級空母二隻の建造を開始したと傳へられ、一隻はヴァージニア州のニューポート・ニューズ造船・船渠會社、他一隻にニューヨーク海軍工廠で既に龍骨の据付を了したといはれる、また明年には更に一隻の建造が計畫されてゐるといはれるが、新空母が竣工すれば從來の空母では搭載不可能とされた双發爆撃機が自由に發着出来るやうになるので空母の有効作戦區域は數百哩擴大されることとならうと傳へられる

艦艇進水就役

【アエノスアイレス三日發】ワシントン來電 海軍省は小型制式空母「アキートル」號が某造船所において進水海軍に引渡を完了した旨三日發表した

【アエノスアイレス七日發】ファイアデルフィア來電 海軍の超弩級艦四萬五千噸のウイスコンシン號は米國の開戦記念日たる七日ファイラデルフィアの海軍工廠で進水した、造水式には海軍水筒補ラフ・ペードをば

會社E・O・技師メリルは八日同社
が人造メートルの抽出法を發見した
旨發表したが、その生産費は天然メ
ートルよりも安くつくと同社では誇
稱してゐる(註メートルは寫眞の現
像藥)

用紙制限強化

【アエノスアイレス廿日發】ワシ
ント來電 戰時生産局長官ネルソンは
廿日明年の印刷用紙制限につき次の
如く發表した
米國では印刷用紙不足のため明年度
の配給量は更に百二十五萬噸制限さ
れよう、即ち各市販會社の割當量は
二十五%減少される、又雜誌類はそ
の型が小さくなりその數も制限され
よう、書物印刷用紙だけでも約十萬
八千噸を節約する必要がある

【アエノスアイレス廿一日發】ワシ
ント來電 戰時生産局長官ネルソンは
廿日明年の印刷用紙制限につき次の
如く發表した
米國では印刷用紙不足のため明年度
の配給量は更に百二十五萬噸制限さ
れよう、即ち各市販會社の割當量は
二十五%減少される、又雜誌類はそ
の型が小さくなりその數も制限され
よう、書物印刷用紙だけでも約十萬
八千噸を節約する必要がある

肉割當削減

【アエノスアイレス廿一日發】ワシ
ント來電 戰時食糧管理局は二十
日肉類及び高級食料品の家庭向け
配給量を増加するため、業者向け配
給割當を改訂することになつた旨次
の如く發表した
四十萬に及ぶ全國の食堂、ホテル、
その他料理専門店に對する肉類およ
び高級食料品の配給は明年三月一日
以後、各料理店のうけつけた客數、
(但し酒つきの客を除く)に應じ配

業務用食料配給を制限

【アエノスアイレス廿一日發】ワシ
ント來電 戰時食糧管理局は二十
日肉類及び高級食料品の家庭向け
配給量を増加するため、業者向け配
給割當を改訂することになつた旨次
の如く發表した
四十萬に及ぶ全國の食堂、ホテル、
その他料理専門店に對する肉類およ
び高級食料品の配給は明年三月一日
以後、各料理店のうけつけた客數、
(但し酒つきの客を除く)に應じ配

大統領鐵道代表と會見

【アエノスアイレス十八日發】ワシ
ント來電 米國鐵道乘員從業員が
らなる五鐵道友愛會は来る廿日を期
して總罷業決行を決定したが、白聖
館當局は大統領ルーズヴェルトが十
九日の日曜日五友愛會會長を白聖館に
招き會見することとなつた旨十八日
發した
ルーズヴェルトはテヘラン、カイロ
會談から十七日ワシントンに歸還し
たばかりであり、殊に日曜日にわか
る會見を行ふことは全く異例とされ
てゐるが、それだけに鐵道爭議をめ
ぐる情勢の緊迫化を物語るものとさ

全米鐵道罷業

【アエノスアイレス十五日
發】ワシントン來電 米國
鐵道乘員從業員友愛會所屬勞働者約
三十五萬は十五日愈よ來る十二月廿
日午前六時から總罷業を決行するに
決定した旨發した
【アエノスアイレス十八日發】ワシ
ント來電 米國鐵道乘員從業員が
らなる五鐵道友愛會は来る廿日を期
して總罷業決行を決定したが、白聖
館當局は大統領ルーズヴェルトが十
九日の日曜日五友愛會會長を白聖館に
招き會見することとなつた旨十八日
發した
ルーズヴェルトはテヘラン、カイロ
會談から十七日ワシントンに歸還し
たばかりであり、殊に日曜日にわか
る會見を行ふことは全く異例とされ
てゐるが、それだけに鐵道爭議をめ
ぐる情勢の緊迫化を物語るものとさ

全米鐵道陸軍の監理下に

【アエノスアイレス廿八日發】ワシ
ント來電 大統領ルーズヴェルト
は鐵道總罷業彈壓のため遂に政府に
よる全米鐵道の接收を命令したが、
接收命令を受けた陸軍長官スチム
ソンは廿七日午後七時接收の刻限到來
と共に全米鐵道の監理、經營を陸軍
の手に收めた、これと同時にスチム
ソンは陸軍補給本部長ブレホン・ソ
ンマヴェルに對して鐵道接收に關する
一切の權限を與へ、又陸軍運輸部長
・Pグロスを鐵道運營の總司令官
に任命、その下に夫々勞資代表の顧
問としてペンシルヴァニア鐵道會社
々長マーチン・クレメント及び鐵道
一般乘員友愛會會長E・ホウイトニー
機關士友愛會會長アルヴァン・ジ
ヨンスンの三名を任命した、かくて
約六百總延長二十五餘哩に亘る全米
の鐵道幹線は廿七日夜から完全に陸
軍の手によつて監理運轉されること
となつたが陸軍は罷業乃至妨害行爲
等の場合に對處するため鐵道運轉に
經驗ある將兵を各地に待機せしめ
てゐる、現在の所鐵道從業員の側には
具體的行動をもつて政府の彈壓措置
に反抗する氣配は見えないが、從業
員十七友愛會が大統領の強制調停に
屈した後も依然罷業の指令を撤回せ
ず三十日午前六時を期しての罷業決
行に邁進してゐる火夫、車掌、轉轍
手の三友愛會の立場は益々困難とな
り結局罷業中止の已むなきに至るの
ではないかと見られる、而して國務
長官スチムソンは鐵道接收に當り要
旨次の聲明を發した、もし鐵道罷業
が實行に移されたならば米國は「恐

炭礦勞資協定一部成立

【アエノスアイレス十九日發】ワシ
ント來電 炭礦勞働者組合は去る
十二月全國石炭生産高の六七%を占
める北部アラバマ州炭礦主との間に
戰時勞働局の認可した勞働時間一日
八時間四十五分、賃金率八ドル五十
セントの基準賃金決定を成立せしめ
た、右協定は西部諸炭田を除くイリ
ノイ、ペンシルヴァニア北部オハイ
オ、ウエント・ヴァージニア各炭田
並に製鋼會社所屬の所謂「繋留炭礦
をも吸んでゐる、但し同協定の條件
として炭礦主側は物價管理局が石炭
價格の引上げを許可することを要求
してをり、この點については目下折
衝中であを、なほ去る十月米國の瀝
青炭在荷高は七千二百萬トンから六
千八百萬トンに減少、即ち四十五日
分の貯蔵が四十二日分に減少した譯
である、一方戰時燃料局長官ハロ
ド・イッキスはこの石炭不足を克
服するため石炭生産の急増加を要請
してゐるが、現在の瀝青炭日産高は
十二月四日に終る一週間に於いて百
二十三萬一千トン、その次の週には
百二十五萬五千トンとなつてをり、
過去十六年來の最高數字であると稱
してゐる

電氣會社五工場を接收

【アエノスアイレス十九日發】ウエ
スターン・エレクトリック會社の白
人從業員は黒人との同一待遇に不
満で過般來會社當局に對し黒人從業員

鐵道罷業遂に全面中止

【アエノスアイレス二十九日發】ワ
シントン來電 鐵道五友愛會中罷業

鐵道罷業遂に全面中止

【アエノスアイレス二十九日發】ワ
シントン來電 鐵道五友愛會中罷業

鐵道罷業遂に全面中止

【アエノスアイレス二十九日發】ワ
シントン來電 鐵道五友愛會中罷業

に對する特別衛生施設を要求遂に罷業を開始したが、ワシントン來電によれば陸軍長官スチュムソンは罷業も歴史に基き十九日遂に同社の五工場を軍陸で接収したと傳へられる、更に鐵道去愛會員三十九萬が一時間八仙の賃銀値上要求を提出、當局が小鐵鋼様式を楯に難色を示してゐる結果先、十二月廿日鐵道五十五線に亘つて罷業を決定更に三十一日四十四線に亘つて罷業を決定するに決定したため大統領ルーズヴェルトは十九日曜日にも拘らず午後二時半から友愛會領袖五名をホワイトハウスに招致、重要協議を遂げたいはれ、但し交渉の結果については何等發せられるに至らない

C.I.O 議會の増稅案に反對

【エノスアイレス二日發】産業別組織會議率下八金屬労働團體の聯合大會は二十九日開催されたが、同大會は過般下院を通過した二十一億四千萬弗の増稅案に關しインフレを促進するものとして反對態度を表明、議會に對して年收三千弗以上の個人所得に對し徵稅を強化すべき旨要求した、右大會が新財源として提案した増稅案内容つぎの通りである
一、年收三千弗以上の個人所得に對し徵稅を強化する
一、稅引後の年收に對し二萬五千弗の制限を附する
一、會社利得稅の稅率を四〇%から五〇%以上に引上げる
一、過去の平均利潤を基準せる超過利潤算定に當り納稅者の選擇を禁止する
一、不動産稅および相續稅に對し稅率の引上げおよび免稅點の引下げを行ふ
一、委託財産收入に關する恩典など各種の徵稅上の恩典を廢止し、公債利子に再び課稅を行ひ、採油および鑛山會社に對する減價銷却のための減免を止める
これは直接稅就中高額所得に對する徵稅強化に關する労働階級の要求を露骨に代表したものであるが、資本家勢力の浸潤してゐる議會がこれに對してどの程度の積極的反應をみせかけ頗る疑問とみられ、増稅問題

勞力動員狀況

【エノスアイレス八日發】ワシントン來電 戰時人的資源委員會その他の發表によるアメリカ人的資源動員近況の通り
△陸軍兵力が七百七十萬の目標に接近しつつあるが明年一月さらに三百萬を追加徴集の豫定
△本年七月現在の勞力動員狀態は、陸海軍徵集者を含む雇傭勞力總數六千三百萬、このうち陸海軍九百三十萬、軍需工業約一千萬、農業約一千萬となつてゐる
△明年七月までに軍需工業方面では勞力總數およそ一千三十萬達成を必要としてゐる、このため今後六ヶ月間は從來の三倍の率で雇入れが必要となつてゐる

中南米諸國

メキシコ軍の海外派遣説を否定

【エノスアイレス九日發】メキシコ・シテイ來電 ighamacho 大統領の弟たる交通相 macho 大マチョは八日、メキシコ軍が海外に派遣されたといふ報道がデマに過ぎないと説明、更に、同人が来る大統領選挙に出馬するといふ説もデマであると述べた

五千萬弗新借款

【エノスアイレス十八日發】メキシコ市來電によればアメリカが今回メキシコにたいし石油輸送管および精石油工場建設費としてあらたに五千萬ドルの借款を許與したといはれる

明年度豫算

【エノスアイレス二十二日發】メキシコ市來電 政府發賣の同國明年度歳出推定額は十一億ペソ及び臨時支出費七億ペソ、公共事業費及び公債費二億ペソで、歳入見積額は十億ペソ、差引赤字一億ペソとなつてゐる

罷業、解決

【エノスアイレス廿四日發】メキシコ來電によれば賃銀の二割引上げを要求して罷業を開始したメキシコの纖維工業労働者六萬人は廿三日に至り、政府側が今後二週間以内に賃銀値上要求を承認するといふ條件の下に復業したといはれる
但し組合側では政府の解決方式が満足出来ないものであれば一月の第一週に再び罷業を開始する旨言明してゐる

文相辭職

【エノスアイレス二十四日發】メキシコシテイ來電 文相オクタヴィオ・グエハール・ヴアズルエズは健康状態を理由に二十四日辭表を呈出した

駐重慶大使任命

【エノスアイレス二十四日發】メキシコ市來電 外務省はヘス・ゴメス・エスパルツアを重慶駐劄大使に任命した旨廿四日發表した
同人は近く重慶へ赴任する豫定である

支那移民禁止法撤廢

【エノスアイレス廿日發】サン・ホセ來電 コスタリカ議會は廿九日支那移民禁止法撤廢法案を通過した、米洲各國中支那移民禁止法を撤廢したのはコスタリカが最初である

政府對米抗議

【エノスアイレス廿日發】パナマ來電 米駐劄米國大使に對して兩國駐屯の米國兵の

【エノスアイレス廿八日發】ワシントン來電 全米の軍需産業を半身不隨の状態に陥れるかと思はれた産業別組織會議系の鐵鋼労働組合の罷業は廿七日夜に至り、政府側の讓歩によつてあつてなく解決した、即ち鐵鋼罷業は廿七日に入るや益々擴大して夕刻までには罷業参加人員は十七萬を突破したと推定され東部から中西部各所にかけて操業停止のやむなきに至つた、鐵鋼工場は更にその數を増したがその間ワシントンで續行されてゐる労働者側と政府との交渉は戰時労働局が労働者側の要求に屈し賃銀契約の週及を認めるに及んで妥協成立産業別組織會議長フイア・マレーは廿七日夜罷業中の労働者に對して即時復業を指令した廿八日午前中に集まつた各地からの情報によると鐵鋼労働組合所屬労働者は大體マレーの指令に従つて續々

をめぐり勞資の對立はさらに深刻をきわめるものと観測される
【エノスアイレス八日發】ワシントン來電 戰時人的資源委員會その他の發表によるアメリカ人的資源動員近況の通り
△陸軍兵力が七百七十萬の目標に接近しつつあるが明年一月さらに三百萬を追加徴集の豫定
△本年七月現在の勞力動員狀態は、陸海軍徵集者を含む雇傭勞力總數六千三百萬、このうち陸海軍九百三十萬、軍需工業約一千萬、農業約一千萬となつてゐる
△明年七月までに軍需工業方面では勞力總數およそ一千三十萬達成を必要としてゐる、このため今後六ヶ月間は從來の三倍の率で雇入れが必要となつてゐる
△國內の勞力移動はききめて激しくなつてをり、このため軍需工場は従業員三名の純増加を達成するには、平均十七名を雇入れなくてはならない、たとへば東部の一工場では過去二ヶ月間に四千八百五十人を新規雇傭したが、他へ移るものが多く結局純増加は百五十人にすぎなかつたといふ
△西部の勞力不足は甚だしく向ふ六ヶ月間の所要數五十萬にたいして供給可能勞力數は二十四萬にすぎない

女子百萬人を徵用

【エノスアイレス九日發】ワシントン來電 勞働長官フランシス・パーキンスは八日、女子徵用につきつぎの通り言明した
人的資源不足問題を解決するため明

行爲に關し嚴重なる抗議を行つた、開戦以來米國はパナマ運河防衛を口實に運河地帯外のパナマ領内にも續々米兵を送りこんだが、これ等米國兵の不遜なる態度が最近日に餘るものあり、各種の暴行沙汰頻發し、パナマ大統領が公用車で通行中米國兵に停止され、車内を搜索された事件まで發生した、パナマ外相はその對米抗議において今後米國兵の行爲が改善されぬ場合はパナマとしても何等かの措置をとらなければならぬだらうと警告してゐるといふられる

アピンロコ

【アピノスアイレス一日發】ボゴタ來電によれば、コロンビア政府は三十一日同國警察隊に對しドイツ人三千九百二十名、日本人百六十二名を收容するための政治犯收容所設立の権限を賦與したといふられる、なほ過般・コロンビ政府が對獨宣戰を布告した當時、既に樞軸國入二百名が抑留されたとつたへられる

カニミド

【アピノスアイレス 十八日發】ドミニカ統計局發表、一九四二年の同國外國貿易左の通り(單位：アメリカ・ドル)

ドミニカ貿易額

輸出總額 二〇、〇五七、〇〇〇
輸入總額 一一、四八一、〇〇〇

カニミド

【アピノスアイレス 十八日發】ドミニカ統計局發表、一九四二年の同國外國貿易左の通り(單位：アメリカ・ドル)

トルペ

【アピノスアイレス 五日發】リマ來電「本年八月、九十月中のペルー輸出高左の通り(單位：千金ソール)」

ブルラフ

【アピノスアイレス 一日發】リオデジャネイロ來電「政府は廿日次の通り發裝した

ポリヴィア新政府を承認

【アピノスアイレス 廿三日發】ポリヴィア新政府に對しては米洲各國政府が合衆國政府の鼻息を伺ひ承認を躊躇してゐるが、廿三日に至リエクアドル政府は率先新政府を承認した、アルゼンチン政府は依然事態の推移を靜觀してゐるが米國政府が、ポリヴィア國內今回の政變とアルゼンチンの六月革命との間に何等かの政治的關聯を附會し

【アピノスアイレス 十一日發】リオデジャネイロ來電「政府は陸軍參謀總長ペトロ・モンテイロが十一日辭職した旨同日發表したこの突然の辭職については未だ發表がない

ゴム生産高

【アピノスアイレス 十一日發】本年度のブラジルゴム生産高は四萬トンと推定され、内七五%が米國向とみられる

航空機製作工場建設

【アピノスアイレス 十三日發】近着の米國雜誌によればブラジル政府は發動機並に航空機製造のため米國航空機製造會社との契約の下にヴォルタ・レドンダに航空機製作工場を建設したと傳へられる、ブラジル政府は過般サイクロン發動機製造のためライト航空機製造會社と契約、次いでフェニアアチアルド航空機製造會社並に同會社の子會社たるレインヂャー社とも飛行機製作に關し契約を結んでゐる

ブラジル軍北阿へ

【イスタンブール 十三日發】米伯兩國間の軍事協定に基きブラジル軍が海外に派遣されることになつてゐたが十三日アルジェーからの來電によれば既に數週間前に十三名のブラジル參謀本部長が先遣視察團として反樞軸司令部と連絡のためアルジェーに到着、視察團々長デ・モライス將軍はアルジェーにおいて「ラテンアメリカ諸國中最初の海外遠征軍が近く反樞軸軍と共に歐洲又はアフリカ戦線に参加するあらう」と言明したと傳へられる

上半期貿易狀況

【アピノスアイレス 一日發】リオデジャネイロ來電「本年上半期のブラジル貿易狀況は次の通り

アイヴリホ

【アピノスアイレス 四日發】ラバーズ來電によればポリヴィア大統領エンリケ・ペニヤランダは四日ポリヴィアが日獨兩國交戰状態に入つた旨發表したといはれる

クーデター勃發

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

對樞軸宣戰布告

【アピノスアイレス 四日發】ラバーズ來電によればポリヴィア大統領エンリケ・ペニヤランダは四日ポリヴィアが日獨兩國交戰状態に入つた旨發表したといはれる

革命の真相【アピノスアイレス 廿日發】ポリヴィア國內に於けるクーデター報道は米洲各國に異常な衝撃を與へたが、今回の事件が高壓的な米國の所謂「善隣政策」に對する反感の現れに他ならぬ、クーデターの原因は大統領ペニヤランダの政治的經濟的施策に對する不滿に他ならず愛國的な少壯軍人がルーズヴェルトの傀儡と化した政權を打倒し自主獨往の政權樹立に乗り出した譯である

政治的理由の第一は對樞軸宣戰で對樞軸斷交後一ヶ年ポリヴィア政府は去る三月米國副大統領ヘンリー・ウォレスの來訪直前突如宣戰を布告右布告は十一月議會の承認を経て公式化された、理由の第二はチリとの海陸問題でポリヴィア政府は實質的價値のない方角違ひのサントス港に自由港を獲得し辛うじて體面を維持したが以上の解決案が米國政府の意圖に基いて居たことは當時消息筋の一致した見解であつた更に經濟的理由の第一は錫問題で錫の全生産高を米國政府の占有に委ねた結果勞働爭議その他の社會問題を惹起し國民生活の安定は極度に脅かされるに至つた但しペニヤランダ政權も米國政府の高壓政策には堪え切れず先般來錫値段に關する舊契約の更新に難色を示し更にポリヴィア國內有キニエ工場乗取りに關する米國の横槍にも米國の要求を拒否して居たが傀儡政權が何時如何なる屈辱を受入れるかも知れず少壯軍人を中心とする自主外交派が遂次直接行動に出たと見られる

因に國有キニエ工場に付いては管理も改善した上三ヶ年後無償で返還しようと言ふ條件を米國政府が持出し全生産高一萬キログラムに對しキ

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

【アピノスアイレス 二十日發】ラバタ來電「ポリヴィア國內で突如反政府運動が起り、政府は顛覆し、大統領ペニヤランダは桂冠した

ロ當り二十弗で買取らうと言ふ算段であつたが、ボリヴィア政府は第一に自國の需要を充し、更に二千五百キロ丈をキロ五十六弗でアルゼンチン政府に手渡し、残るところを他國へ輸出し度いといふ意圖で工場を明渡しには絶対反對して居た

新内閣の顔觸

【ブエノスアイレス二十日發】ラ・パス電によればボリヴィア新内閣の顔觸れ次の通り

陸軍少佐 グアルベルト・ヴィラロエル
外相 ホセ・タヨ
陸軍少佐 ホセ・セレスチノ・ピントー

内相 陸軍少佐 アルツルノ・タホロハ
藏相 ヴイクトル・バス・エステンソーロ

公共事業相 アントニオ・ボンセ
文相 陸軍少佐 ホルヘ・カレロ

經濟相 グスタヴォ・チコヤン
農相 カロス・モンテネグロ
勞働相 ヴイクトル・サン・ドラーデ

内閣書記官長 アウグスト・セスペ
一方ラ・パス縣知事にはフリオ・スアソ・クエンカが任命されラ・パス市長にはフアン・ルイス・グチエリス・グラニエールが任命された

新政府の綱領【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は直ちに次の宣言を發表した

一、前政府が公布した國家保安令をここに撤廢し、ボリヴィア國憲法は全的に施行される

一、治安維持のために差當り一切の政治的集會を禁止する

一、夜半以後は三人以上相伴つて外出することを禁止する

一、ボリヴィア國の天然資源は出來るだけ多數のボリヴィア國民の爲に開發されなければならない、從來外國諸會社が天然資源についてボリヴィア國の利益と一致しない様な權力を行使してゐた

一、合衆國との緊密な協力但し右協力を當つてはボリヴィア國の權益を無視しないこと

一、ボリヴィア國民の一部は經濟的に文化的に非常に遅れてゐるが國民大衆の經濟的文化的發展を期する事

一、ボリヴィア憲法に基き大統領選擧に議會選擧を執行すること

外交政策不變

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府はボリヴィアの外交政策は政變によつて何等變化を受けるものではない旨言明した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿日國際放送局を通じ新政府は現存の國際關係を尊重し反樞軸國の對樞軸戰爭を支持する旨の公報を發表した

亡命したと傳へられる

【ブエノスアイレス二十一日發】サンチャゴ來電によればボリヴィア大使オストリアク・チエレッツが今同辭任した旨廿一日夜發表された辭任の理由は恐らく本國のクーデターのためとみられる

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

【ブエノスアイレス二十一日發】ラパス來電によればボリヴィア新政府は廿二日發した旨廿二日發した

大東亞戰記



帝國陸戰隊の玉碎

タラワ、マキン兩島

送 放

長課道報軍海營本大

佐 大 廠 悅 原 栗

大本營海軍報道部課長栗原悅藏大佐は十二月二十日午後七時五分からタラワ、マキン兩島守備の帝國陸戰隊並にこれに協力せる軍屬の奮戦を回顧しその玉碎振りを次の如く放した。

本日大本營より公表された如く、タラワ及マキン島を守備して居つた三千名の海軍陸戰隊と、之に協力せる千五百名の軍屬は、去る十一月十九日以来、ギルバート諸島に來襲せる有力な敵機動部隊と、五萬に上る敵上陸軍を遂撃し、全員壯烈無比、鬼神をも哭かしむる奮戦をなし、敵に大打撃を與へたる後玉碎し、光輝ある帝國海軍の傳統を遺憾なく發揮した。帝國が緒戦に於ける赫赫たる戦果によつて占めた必勝不敗の態勢を愈々強化し、大東亞共榮圈確立の大

業日とともに進捗しつあるに焦慮したる敵米國は、最近に至り「日本に時を藉すな」と呼號しつゝ、急速大規模の反攻に出で來つた。即ち十一月一日に至り、敵は航空母艦、戰艦等を多數繰出し、ソロモン群島のブーゲンビル島に上陸を企圖したが、帝國海軍部隊就中航空部隊は果敢なる反撃に依り、數次に亘り之を同島附近海面に撃砕し、撃沈破せる艦艇は航空母艦十一隻を始とし戦艦、巡洋艦、驅逐艦、輸送船等實に九十四隻に上り、撃墜せる飛行機は五百七十六機を算すると云ふ大損害を與へた。

廿一日夜明兩島に上陸

敵は二日に亘る兩島の砲爆撃に於て二百餘の砲彈、七百噸の爆彈を奪ひつゝしたと考へて居たであらうが、言語に絶する敵の砲爆撃に愈よ

二日間に砲爆彈三千噸

敵は二日に亘る兩島の砲爆撃に於て二百餘の砲彈、七百噸の爆彈を奪ひつゝしたと考へて居たであらうが、言語に絶する敵の砲爆撃に愈よ

とする他の有力なる機動部隊を以て輸送船團を護衛しつゝギルバート諸島の我前進基地に來襲して來つた。太平洋上最前線の守りとして不斷の緊張裡にタラワ及マキン島の守備を續けて來つた帝國海軍陸戰隊は秋こそ來れり、海軍陸戰隊の名譽と神州男子の面目を發揮するは今ぞと許り勇躍之を遂撃したのである。

タラワ島に於ては、此の日午前中來襲せる敵機は、九百機を算し、爆彈は島上に雨と注がれ、ために防禦施設の一部は破壊せられ、守備隊員中には戦死傷者も相當出したが、見敵必殺の誓ひも固き守備隊員の鬪魂は瀕が上にも燃上り、敵の猛烈な爆彈下克く敵機三十一機を撃墜した。翌日、敵はタラワ島に對し早朝より再び二百數十機の飛行機を以て爆撃を行ふと同時に五隻の戰艦、巡洋艦、驅逐艦を以て二時間間に亘り艦砲射撃を加へたが、陸戰隊は之を反撃して敵機廿三機を撃墜し、之を撃退した。右と同時に敵はマキン島に對し、延三百機の飛行機を繰出して攻撃して來た、同島陸戰隊も亦克く反撃して之を撃退し、敵機十二機を撃墜して居る。越えて廿一日夜明とともに兩島に接近した敵は、百數十臺の水陸兩用戰車を伴へる數百隻の上陸用舟艇をもつて、上陸を開始し、ここにわが陸戰隊との間に激烈なる地上戦闘が展開された。

團魂を溢らして待ち構へたわが陸戰隊は敵の上陸用舟艇群を海岸近く引寄せ置いて一齊に銃砲火の火蓋を切り、忽ちの内にその大半を海中に屠つた。豫期に反し強烈なわが猛砲火に驚愕狼狽した敵は大混戦に陥つた。堅固な鐵條鋼、戰車壕、塹壕、重火器陣地に依つて反撃する我が一發の銃砲火に先頭を切つた敵の戰車群が算を亂し、或は擱坐、或は炎上し、或は轉覆する有様に、上陸用舟艇群も支離滅裂となり、粉砕されるもの轉覆するもの續出し、海中に投出された多數の敵兵の阿鼻叫喚は耳を裂く銃砲聲と混合し南溟の孤島は忽ち修羅場と化したのである。斯くして當初の敵上陸部隊は水際に於て之を粉碎したのであるが、量を持つ敵は、新手を繰り出して攻めてくる上に、天明と共に多數の戰艦、爆撃機を上空に配して、我が陣地に猛爆したので我が陸戰隊も次第に手薄となり、遂に敵は島の一角に上陸した。しかしながら、わが陸戰隊は司令官以下士氣愈々昂り廿一日正午には「之迄の激戦に依り兵力に相當の損害あるも、五千餘の敵上陸軍を海岸に壓迫し、日没を期して之を三方面より包圍殲滅せんとする」旨の決意を報告して來て居る。十九日早朝以來殆んど一睡をも取らず、連日飲まず食はずの激戦の後、更にこの旺盛な團魂、これこそ嘗て昭和十二年上海事變に於て十數萬の蔣介石直系の最精銳を數千の寡兵を以て遂撃し、上海から一歩も退かず、其の勇猛を世界に謳はれた帝國海軍陸戰隊の傳統的精神である。斯くして二十一日夜の我陸戰隊の猛攻には敵は一時上陸を躊躇した程大損害を被つたが、我を寡勢と見て取つた敵は更に新手の大部隊を二十一日朝來上陸させて一舉に我陸戰隊を倒そうと試みた。然し乍ら既に死守を誓つた我陸戰隊に取つて勇氣百倍するのみで敵の猛烈な爆彈と砲撃下に寡勢尚克く敵の大軍を迎撃して一歩も退かず、午后一時には「戦況に變化なき」旨を報告し、本報告を最後の電報としてタラワ島及マキン島との連絡は無線送信機の破壊のためか、絶へたのであつた。従つて爾後の兩島陸戰隊員の状況に就いては之を審し得ないが、陸戰隊に協力して敵上陸部隊の攻撃に参加した味方飛行機の偵察及敵側の公表に依つて推察すれば、概ね次の如き經過なを辿つたものと判断される。

柴崎少將陣頭に斬込む

二十二日深更、長くも有難き聖旨を賜つた陸戰隊員は聖恩に感泣しつゝ愈々勇氣百倍、阿修羅の如く奮闘し廿三日も救援に赴いた味方飛行機の偵察状況でけ前日の陣地を少しも退いて居らないことが判明して居る。斯く連日夜も日も苛烈壯絶なる戦闘に勇戦奮闘を續け、倒れる戦友の屍を乗り越へて乗り越へては敵陣に迫つて敵を仆し弾丸つゞき、銃剣をふるひ、銃剣折るれば肉弾をもつて突撃し文字通り死闘を演じた。陸戰隊員も次第に手薄となり敵け刻々和新手を上陸せしめる状況に今は之までと看做つた司令官柴崎少將は殘る部下と共に自ら敵陣に斬り込み敵兵を一人でも多く殲したる後、天皇陛下萬歳を叫び七生報國を念じて祖國鎮護の花と散つたものと思はれる。さればこそワシントン海軍當

局をして「タラワ」攻略戦は、開戦以來最大の犠牲を血をもつて支拂つたかくのごとき短期間に多数の戦死者を出したことは、戦史空前であると嘆ぜしめたのである。

この間海上に於ては多数の航空母艦艦隊、巡洋艦、驅逐艦を集中して一舉タラワ及マキン島の攻略を企圖した敵艦隊を邀撃した帝國海軍航空部隊及潜水隊が數次に亘る攻撃を實施して航空母艦十一隻、戦艦、巡洋艦七隻等を撃破した大戦果を挙げたのは既報の通りである。タラワ、マキン兩島を守備せる海軍陸隊三千の將兵が、これに協力せる一千五百の軍團と共に、瀕海守護の一念に燃えて、廣袤涯なき太平洋の孤島に立て籠つて敵米軍の不逞なる策動に對し、五萬の大兵を遣へてわれに數倍する大損害を敵に與へ、最後の一人までが大損害に兩島を死守して、焦慮する敵を誘ひ寄せたればこそ、わが海軍部隊がギルバート諸島海面に於て赫々たる戦果をあげ、強大なる生産力を誇る米國にとつても、恢復に長時日を要すべき大打撃を與へたのである。

わが海軍陸隊三千の將兵が赤道下の珊瑚礁を血で染めた尊い犠牲が、わが全作戦を有利に展開せしめたことは、誠に大なるものがあるのである。ことに、軍人にあらざる一千五百名の軍屬が祖國の要請に應へてタラワマキン兩島に上陸して守備部隊に協力、あらゆる困難なる條件を克服して、基地の整備に全力をあげた功績が永久に稱へらるべきものであり、今次の敵襲に際しは、全員武裝をとつて軍人にも劣らざる闘魂を發揮

して玉碎されたことは、神州男子の眞面目を遺憾なく發揮したものである。鬼神をも哭かしたアツツ島における皇軍守備部隊の玉碎とともに、ギルバート諸島における今次海軍陸隊の玉碎は帝國軍人の精華を發揮したものであつて、其の精神的戦果は正に敵國を畏怖、脅威せすには置かないのである。

司令官柴崎少佐は、曾て一年有半上海海軍特別陸戰隊の參謀長として陸戦に屬し特に豊富な體驗を持つて居られた許りでなく、剛毅沈着、機を見ること極めて敏、率先難事に當り、飽く迄も素志を貫徹せねば已まない強い意志の人であつて、常に部下と苦樂を俱にする典型的武將であつた、其の部下三千亦一人十殺を信條とした日夜猛訓練を重ね、一死を以て第一線の孤島を護り抜かんことを深き誓ひ合つた盡忠報國の士ばかりであつた。戦の初期に於て無線連絡絶つた、全員の奮闘と其の壯烈無比なる最後の模様を知ることが出来なかつたことと、かへすがへすも遺憾の極みである。盡忠無比の四千五百名が敵の大軍を向に廻し、柴崎司令官指揮下善謀勇戦遂に全軍火の玉となつて陣中斬り込み、其の全身を靈を以て最後迄島を守り抜き、島と運命を共にせんとする崇高壯烈なる奮戦振り、眼前に彷彿たるを覺えるのである。

今や敵米英は總力を擧げて我に反攻し來つて居る、然し太平洋上に散在する無数の島嶼は我前進基地として帝國海軍部隊と共に鐵壁の守備陣を構築し、守備の將兵は皆一死以て南海の人柱たらんことを深く期して居

るのである。敵米英が如何に豊富な物資と、絶大なる生産力を以て怒濤の如く押し寄せ來ようとも、必死必殺敵の如き皇軍の前にはやがて碎け去ることを私は堅く信ずるものである。

前線基地で聞く友軍玉碎

南太平洋〇〇基地

松島海軍報道班員發

タラワ、マキンの兩島は赤道の北一度乃至三度にあつて現在わが占領地のうちでは共に一番アメリカ本土に近い珊瑚礁で、この兩島は敵の空襲のげげしいことは當方面隨一で、毎月月明時になるとフナフチ、ナヌメアあたりからB24が大襲來襲、また時としてはありあはせの機動部隊の應援で機連合を以て無茶苦茶に爆弾を落してゆくことがある、だから勇士たち一月のうちでやや身體を休ませることが出来るのけその半分だけ、あとの半分は司令官以下全員の奮闘も解かず軍裝のままペラツクのキャンバス床に横になる有様であつた。

月肥り兵瘦せ細るギルバートとは柴崎司令官の偽げらざる心境である。この島の兩島は十一月廿一日朝敵大部隊の上陸と同時に一瞬間にして世紀の決戦場と化したのである。我が兵力は來襲敵兵力に比して概算僅かに〇分の一に過ぎないが、司令官柴崎少佐は第二次上海事變のとき我に數十倍する敵軍を引受けて、微動だにしなかつた鐵血上海陸戰隊の驍名を全世界に輝かせた勇士、勇將の下弱卒なしてタラワ守備隊員の一人一人は文字通りの精銳で

ある、マキンは不幸にして敵機來襲と同時に送信所をやられ連絡不能に陥つたが激烈な戦闘のさなかにタラワはよく時々の状況を詳しく最寄友軍に打電するほど、擧軍沈着冷靜、果敢に戦ひ續けてゐる様か手にとるやうにかがけられる。或は上陸用舟艇數百隻、水陸兩用タンク百數十臺をもつて内環寄り棧橋地帯に上陸を企圖しつつあり、わが方これと激戦を展開中、現在糧食彈藥極めて不足し、相當の損害あるも士氣極めて旺盛、勇躍これを邀へ撃つて、一歩も上陸を許さぬ決意、御安心乞ふ。

【アエノスアイレス十九日發】ギルバート作戦に参加したのはガダルカナル島歴戦の勇士といはれる米國第二海兵師團の主力並びに歩兵第廿七師團であり、海兵隊師團長少將ホラド・スミスの指揮下に苦戦前後十二時間の後、漸くタラワ島に橋頭堡を確保したが、右作戦において米軍が戦史上空前の損害を受けたことは太平洋艦隊司令官ニミツツの率直に認めてゐるところで、ニミツツは前線視察の後眞珠灣基地に歸還した當時「米軍が太平洋で戦つた最も苛烈なる戦闘であつた」と述べてゐる。ニューオーク・アタイムズ紙も「ギルバート作戦の貸借対照表」と題する社説において「史上空前の空母大集團に掩護された海兵隊は、七十六時間でギルバート諸島に上陸した、タラワ、マキン兩島の戦闘は米國海兵隊始つて以來の血闘い激戦であつた。一九一八年のシャット・チャハの戦、一九〇一年比島作戦のソハトン斷崖の激戦、一八六五年のフイ

出來ず、夜となつては近寄つてゐるので、敵機滅の好機はいま「タラワマキン」ももう暫くどうぞ頑張つて呉れ」と念ひ祈りながら、海鷲は連日至難な索敵を續行した。しかしタラワ、マキンの將兵三千と軍屬千五百は戰友のこの心からの希望も空しく絶対の勝利を確信しつつ南溟の人柱となつたのである。

ギルバート島

血戦記

外電の傳へる

ある、マキンは不幸にして敵機來襲と同時に送信所をやられ連絡不能に陥つたが激烈な戦闘のさなかにタラワはよく時々の状況を詳しく最寄友軍に打電するほど、擧軍沈着冷靜、果敢に戦ひ續けてゐる様か手にとるやうにかがけられる。或は上陸用舟艇數百隻、水陸兩用タンク百數十臺をもつて内環寄り棧橋地帯に上陸を企圖しつつあり、わが方これと激戦を展開中、現在糧食彈藥極めて不足し、相當の損害あるも士氣極めて旺盛、勇躍これを邀へ撃つて、一歩も上陸を許さぬ決意、御安心乞ふ。

偵察した攻撃隊塔乗員は敵の艦砲射撃で殆んど島全體が炎々と炎え上つてゐました、棧橋寄りの陸地に島の境を挟んで彼我攻防の道が夜目にもげげしく交錯してゐるのかはつきり見え、そのうちに「彼方を撃て」と言はぬばかりに爆撃筒を指示する曳光弾が友軍司令部と思はれる所から敵方に發射されました

と報告し「マキンも島内で激戦してゐます」とも知らせて來てゐる、敵艦船は兵隊を上陸させた手前離れも

ツシャイ要塞の肉弾戦或は、又ガダ
ルカナル島の死闘よりも更に高度の
米人の鮮血が兩島の戦ひに捧げられ
たのである
と述べてゐる。大統領の御曹子中佐
ジエームス・ルーヴグエルトは命か
らがらマキン島の前線を引き上げ、眞
珠灣基地に歸還し十一月廿七日記者
團と會見

マキン島においては日本軍が衆寡敵
せずと見るや將校四名は晴の第一菱
をまとい、胸間に勳章を佩用し、數
百名の兵士の先頭に立つて刀を抜き
米軍陣地に突撃した
と語り、又中佐ユーアン・カールソ
ンもタラワ島に於ける日本軍の奮闘
ぶりを絶讃し

ガダルカナル島の戦闘は非常な激戦
であつたが、タラワ島の上陸作戦に
較べると全然比較にならない、日本
軍は全く驚くべき勢で抗戦を續け一
歩も退く様子を見せなかつた
と述べてをり、米國新聞社の共同代
表として上陸作戦に参加したりチャ
ード・ジョンストンも

米軍がタラワ島に上陸出来たのは全
く奇蹟である。今回の戦闘が米軍の
戦史上曾てなかつた流血の慘事であ
り、死傷者數が異常に多かつたこと
は參謀連も認めてゐるところだと報
述してゐる。特に米國民の心膽を寒
からしめたのは敵前割腹の壯烈な玉
砕ぶり、海兵隊師團長は機動部隊
司令中將リッツモンド・ターナーに
對する「歴史的報告」において

今回の上陸作戦でニューヨーク第六
十九聯隊が進撃しやうとしたところ
形勢非なりと見た日本軍將校五名は
見事一齊に割腹した
と述べてゐる。更にUPの前線特派

員は十一月廿七日タラワ島上陸作戦
について次の通り報道してゐる。
米軍は廿七日午前八時半上陸の豫定
で、記者は海兵隊と共に繩梯子を降
りて上陸用舟艇に移つた。米國艦艦
數隻は一時間内互つてタラワ島に砲
撃を加へ、空母から飛立つた爆撃機
も多量の爆弾を投下し、既に海岸
を去る〇〇米の邊りから日本軍の打
出す彈丸が舟艇の周邊に落下し出し

たが、海岸から三百米、指揮官の命令
で一同は珊瑚礁に躍りこんだが水の
深さは肩まで達した。日本軍の機關
銃座は執拗に米軍に向つて火を吐
き、米軍は火炎放射器で應戦した。
午後二時卅分空軍の攻撃を容易にす
るために海兵隊は一時後退した。同
日午後は我々の舟艇が上陸する際に
十字砲火を浴せた要塞陣地から日本
軍を驅逐するために二箇中隊がぶつ
通し攻撃した、然し夜間に入るや米
軍は重要地點から退却を餘儀なくさ
れた。米軍はそれ程弱まつたのであ
つた。同夜は歩消が打出す銃火を除
いては比較的平靜であつた、然し二十
一日の早曉日本軍は怒を込めて米軍
を攻撃した、此の戦闘は午前中ずつ
と繼續され米軍に一箇大隊の後續部
隊が到着したにも拘らず情勢は依然
危険であつた、米軍は日本軍のバリ
ケードを一つづつ破壊してゆかねば
ならぬために死傷者の數は甚大であ
つた、日本軍の一つの火點を奪取す
るために爆撃機が猛爆を加へその後
から地上部隊が火炎放射器で密から
火を吹き込んだ、一海兵隊員は今大
のタラワ上陸作戦と比較すればガダ
ルカナル島上陸作戦の如きはピクニ
ックみたいなものであつたと述懐し

てゐる
【フエノスアイレス十五日發】米國
週刊「タイム」紙の特派員ロバート・シ
ヤードワッドタラワ(タラワ島)上陸作
戰(從軍)報道「タラワ島上陸作戦に
參加した海兵隊員の過半數はガダ
ルカナル島作戦の古強者であつた。米
戰艦巡洋艦は午前五時にタラワ島
に砲撃を開始し、間もなく空母搭載
の爆撃機も攻撃に参加し、上陸開始
までに一千五百噸の砲弾と一千噸の爆
彈が叩き込まれたが、それでも日本
軍守備隊が壊滅したかどうかは分ら
なかつた。海兵隊員達は生きてゐる
人間ならあれだけの猛砲撃の下で生
き永らへることが出来る筈はないと
語り合ひ、ことによると日本守備隊
はキスカ島のやうに秘かに撤收をし
たのではないかと云つてゐた、さう
云つてゐるところへ日本軍の打出し
た砲弾が輸送船の僅か五十先先に水
煙を揚げた、第一回の上陸隊は八時
三十分岸にたどり着く豫定となつ
てゐた。記者はハウード・ライス少
佐の指揮する第五回の上陸隊と同
行のやうに命ぜられた。この第五
回目の上陸隊は最初の四隊が陸上
の橋頭堡を確保してから三十一分後に
海岸に到着する手筈となつてゐたが
日本軍の抵抗が熾烈を極めたため豫
定を變更して輸送船は安全な地點に
移動せねばならなくなつた。艦砲は
再びやうなり始め、沖合の空母からは
急降下爆撃機が飛び立つた。ヒツギ
ンス上陸用舟艇は荒波に奔弄され海
兵員と彼等の兵器は濡れになつた。
ヒツギンス舟艇群が輸送船圍か
ら一哩ほど海岸に接近するや珊瑚
暗礁に乗り上げて動きが取れなくな
つた。日本軍の打ち出す彈丸は急激
のやうに舟艇の周圍に落下した。舟

艇の兵士は止むを得ず海中に跳り込
んだ。水深は一度首位の深さであつ
た。海兵隊はそこから岸まで七百ヤ
ードほど海水中を徒渉せねばならな
かつた。日本軍の機關銃六、七挺は
遅々として海岸に接近する海兵達に
つれ、機關銃の良い目標となるばか
らつた。上陸地點に接近するや海
兵隊は海岸近くの椰子樹で作つた特
火點にダイナマイトを投げ込んだ。
一人の日本兵が中から飛び出して來
たので米軍はこれは火炎放射器の焰
を浴びせた。海兵隊が確保した橋頭
堡から十ヤード以内に日本の狙撃兵が
一人ゐて盛んに海兵隊を惱ました。
上陸部隊は猛烈な銃砲火を浴びた、
確保した橋頭堡から一歩でも踏み出
さうとしたものは打ち殺された。數
百名の海兵隊員が進出を試みて犠牲
になつた。樹上の日本軍狙撃兵、特火
點の機關銃は容赦なく掃射し續けた
時には驅逐艦が海岸近くに迫つて日
本の機關銃特火點、狙撃兵の巢に砲
火を浴びせかけた。米艦からの砲弾
は屢々海兵隊員達の鼻先五十ヤード
以内に着弾した。第一日目はこのや
うな状態で死闘が續けられた。そし
て第一夜は三つの橋頭堡一長さは長
くて百ヤード以下、内陸方向への深
さも深くて七十ヤードといふ小さい
橋頭堡を守り通せるか、奪取される
かといふ危険な状態が明けた。翌朝

【フエノスアイレス廿日發】「ニユー
ヨーク」來電「十二月十三日附タイム
誌報道。
ギルバート諸島の作戦において米軍
は戦死一千九十二名、戦傷二千六百
八十名を出し、これらの九十五パー
セントまではタラワ島攻撃の海兵隊
であつた。米軍護送用空母リスコ
ム・ペーはマキン島沖合で撃沈さ

限なく索敵したが遂にその姿を現はさなかつた。二十一日暴風雨は稍々おさまつたが、それでもまだ日に一度乃至二度が普通のこの方面のスコールにしては回数も多く、暗さも暗い、いやな日だつた。飛行場の芝生の水溜りを蹴散らして傳令があちこちと飛ぶ。電報箱を持つた電信員がいま来たかと思ふとまたやつて来た敵大部隊が今朝ギルバートのタラワとマキーンに上陸して来たのだ。水陸兩用戰車約〇臺を先頭に、その後から上陸用舟艇約〇〇隻をもつて環礁の内側機橋寄りの我が陣地目掛けて遮二無二上陸を開始し、沖合からは戦艦、巡洋艦と思しきもの數隻が艦砲射撃中との情報時刻々に入つて来る。「よし、やるッ!」全員齊して唇を噛んだ。心持ち憂ひを含んだ參謀の顔が指揮所の二階に集まり攻撃隊指揮官前大尉を始め秋山大尉等の勇士が黒板に隊員の配置を書き出した。やがて整列、愈よ決戦に進發する。參謀から達せられた細い敵情のあとで司令は出で征く勇士を前に

「タラワの友軍は我に數倍する大敵を邀へ撃つて勇戦奮闘してゐる。敵後續部隊を見つけてこれを潰滅、空から友軍を救援するのが皆の役目になつた、死を賭して任務を全うして來い」

秋山大尉は珍しく三種軍装に傳容を整へて「一番調子の悪いのに私が乗つて征こう」と言つた。平常の訓練と少しも變らぬ態度で夫々の愛機に飛び乗つた

急襲隊より約一時間前に基地を出た觸接機は難航〇時間、やつと雲下猛

烈なスコールの積亂雲帯を突きぬけたと思ふと、眼下に油繪のやうな夕方のギルバート諸島が見えはじめた雲量三乃至五、攻撃には絶好の天氣である。索敵機の指示した方向に全速がけて直行して見ると、東南方海上水平線に先頭からみて驅逐艦一隻次は戦艦らしいもの一隻と中型で改造空母らしいのが一隻、大型空母、そのすぐ後方に驅逐艦、中型空母などが行儀よく並び縦陣をなして四五節の緩やかな航路を曳いてゐるではないか「攻撃絶好!」やがて攻撃機隊も全速かけて決戦場に殺到した時に〇時〇〇分、指揮官機は遽かに「突撃態勢」ととれと指令した、敵はわが攻撃機來ると、その時氣づいたものか艦隊は急に煙をはき、各空母の甲板からは多數のグラマン機が發せし遊撃態勢をとつた「全員突撃せよ」隊長の指令によつて狂氣の如く射込んで来る敵高角砲、ボンボン銃、小口徑艦砲どころか主砲まで交へた敵艦必死の防弾幕を衝いて洋上かすかす、機體が浪沫に濕るまで降下した。心中一片の生ぬぐ、たゞ盡忠の熱腕に操られた無敵の電撃機隊の決死の姿は、中でも指揮官官前大尉、〇番機は隊長機と見て群がる敵グラマンを尻目につけて、大型空母に突込み、また秋山大尉の〇隊〇番機もその前方に航行中の中型空母に突進、必中の魚雷を發射したと見るや、そのまゝ敵艦機目懸けて自らの機體をぶつけて壯烈極りない體當りを決行したのである。戦艦が燃え上つた、驅逐艦が降時に黒二つに割れた、一つの大型空母が眞々と煙を吐いて右舷に大傾斜した。輸送船が太つ腹を抉られて中から器材

兵員をどんどん吐いた。夕陽をあびたギルバートの海面は一瞬にして阿鼻叫喚の坩堝と化した。約三十分後に早くも再び静謐に返つた。その間僅かに四十數分、かくして第一次ギルバート諸島沖艦空船は中型空母、驅逐艦各一隻轟沈、大型空母二隻、中型空母一隻撃破、戦艦若くは巡洋艦、輸送船各一隻大破炎上といふ記録を残したのであつた。

廿一日深更から廿二日の朝にかけて爆撃隊の勇士らがぼつぼつ選つて來た、喜びとつかず悲しみとつかぬ涙がポロポロ整備員らの頬を傳へて一機來る度毎に夢中でその方に近づいて行つた、豫想外に大きな戦果だつたので皆喜びはしたが昨日かぎり還らなくなつた指揮官以下若し若し勇士の面影を追憶して聲を呑みながら遺品のままとする従兵や、分隊で戦友の衣囊を片付けてゐる先任下士官の姿に記者は泣いた、だが周圍僅かに五、六哩、椰子の木もまばらなタラワ島で今なほ敵と對峙中と打電して來た司令官以下〇〇名の海の勇士はどうなつてゐるか、その勇戦を偲べば慟ぶほど、じつとして居られなくなる。

送船が太つ腹を抉られて中から器材

☆第二次航空戦

人間の生命が必勝の氣魄によつてこれほど永持出来るものだらうか、去る十一月廿一日朝敵が大部隊で上陸を開始してから十日以上、全員殆んど一睡もせず、乏しい食糧と飲み水の中で基地の將兵は文字通り勇戦血闘を展開してゐる、昨冬北方艦隊に従軍してアツクを知り、その勇戦振りを見た記者ではあるが、南海の灼熱の陽を浴びて珊瑚礁上に血みどろ

の攻防戦を展開する世紀の決戦を前う「空母二隻を中心とする敵機動部隊見ゆ、位置マキーンの西北方」と索敵機からの第一報が届いた「よし今日敵は逃すな」と觸接機に敵が飛び、同時に攻撃隊、指揮官機、列機全機に「敵を撃滅せよ」との指令が届いた、「敵を撃滅せよ」との指令が届いた、全員勇躍、積亂雲を縫つて戰場に近づくと、中でも觸接機は懸命になつて敵にへばりついたF兵曹の二番機は眞晝の中に現場に到着型、艦種、陣列、進路速力などの確に見極めて敵軍攻撃隊を誘導してゐるうちりつつかれてしまつた。空戦は厭はぬがそのために敵を見通してはならぬ。攻撃隊來着までにはまだ間がある。「敵B17三機の妨碍を受く、われ空戦、飽くまで觸接を續行せんとす」悲壯な電報が基地に齎された。一同の生還を危んだが、彼は觸接を續けながら、勇しく敵三機の中に飛び込み、忽ちその一機、四つのエンジンを押潰してしまつた、他の一機は遙か洋上に遁走、残る一機と觸接機は一騎討を演じて自らもガッリンを吐きながら敵胴中を抉りこれをギルバートの海に直入させた「われ發動機の多少の雜音あれど基地歸投には差支なき見込み」健氣に味方攻撃隊誘導の重任を果してF觸接機は眞晝になつて無事基地に歸還して來た。一方この決死觸接機の勞苦に感謝しながら攻撃隊精銳〇〇機はひたぶるな航行をつづけた。

新鋭海鷲を腹いっぱい收容した基地は遽かに色めきたつた。二十六日遠來の友軍が懇不問もなく直ちに第二次作戦開始である、午前〇時索敵、觸接機發進、同〇時半攻撃機隊〇〇機が勇躍基地を發進、〇時〇分にはも

が勇躍基地を發進、〇時〇分にはも

の攻防戦を展開する世紀の決戦を前う「空母二隻を中心とする敵機動部隊見ゆ、位置マキーンの西北方」と索敵機からの第一報が届いた「よし今日敵は逃すな」と觸接機に敵が飛び、同時に攻撃隊、指揮官機、列機全機に「敵を撃滅せよ」との指令が届いた、「敵を撃滅せよ」との指令が届いた、全員勇躍、積亂雲を縫つて戰場に近づくと、中でも觸接機は懸命になつて敵にへばりついたF兵曹の二番機は眞晝の中に現場に到着型、艦種、陣列、進路速力などの確に見極めて敵軍攻撃隊を誘導してゐるうちりつつかれてしまつた。空戦は厭はぬがそのために敵を見通してはならぬ。攻撃隊來着までにはまだ間がある。「敵B17三機の妨碍を受く、われ空戦、飽くまで觸接を續行せんとす」悲壯な電報が基地に齎された。一同の生還を危んだが、彼は觸接を續けながら、勇しく敵三機の中に飛び込み、忽ちその一機、四つのエンジンを押潰してしまつた、他の一機は遙か洋上に遁走、残る一機と觸接機は一騎討を演じて自らもガッリンを吐きながら敵胴中を抉りこれをギルバートの海に直入させた「われ發動機の多少の雜音あれど基地歸投には差支なき見込み」健氣に味方攻撃隊誘導の重任を果してF觸接機は眞晝になつて無事基地に歸還して來た。一方この決死觸接機の勞苦に感謝しながら攻撃隊精銳〇〇機はひたぶるな航行をつづけた。

新鋭海鷲を腹いっぱい收容した基地は遽かに色めきたつた。二十六日遠來の友軍が懇不問もなく直ちに第二次作戦開始である、午前〇時索敵、觸接機發進、同〇時半攻撃機隊〇〇機が勇躍基地を發進、〇時〇分にはも

が勇躍基地を發進、〇時〇分にはも

が勇躍基地を發進、〇時〇分にはも

を廣々と覆つて雲下に猛烈なスコールであつた。「エイ……二鬼を逐ふ者一鬼も得ず、空母だけでもやつけよう」咄嗟に指揮官はさう決断して逃げた空母目掛けて真霧らに進んだ。暫くして友軍觸接機が投下してゐる青白い吊光弾の閃光をみつける事が出来た。「あそこだ、全員突込め！」指揮官機が命ずるや否や若武者達にもう高度をグット下げて猛烈なスコールの海面を匍つてゐた。バイン、ブシーンと底力のある炸裂音「やつたッ！」N大尉指揮下の雷撃機隊の殊勳である、續いてその前方約百米ほどの海上が空母の艦型のまの火焰に包まれてゐた、「空母二隻撃沈！」意氣揚々と指揮官機は基地に打電、翌日の曉闇を衝いて歸還して來た。

☆第三次航空戦

二十七日 今日も朝から快晴で攻撃には申分ない、この朝一段と強化された索敵網を張つて〇機が發進、その次には各種火工燈彈を満載した觸接機が離陸、暫くして今日は索敵の完璧を期する第二索敵隊が大舉基地を出て征つた、もうこの頃は敵機は來襲げぐつと減つて後方基地から艦隊擁護にお役目だけ翔び出して來るB17、B24の大型機の他は一機も影を見せず直衛の大型機も豫定時間を過ぎればサツサと引揚げて了ふ怯懦さである。屢次に互る空母撃滅が見事に效を奏して敵の艦載機は艦隊の護衛にも役立たない位になつたらしである。今日の指導官N少佐に率ゐられた攻撃大編隊はS司令の「慎重に奇襲し一艦たりとも生還すな」との激勵訓示に送られて、勇躍發進したの

自の戦果を確認しようとしたとき、大型空母一隻はすでに真二つに割れて沈没、その左方に居た空母も火柱を冲天高く吹き上げ〇分後に艦尾から沈没して行つた、巡洋艦が戦艦らしい一隻がこれも母艦の炎上と殆んど同じ燃え方で断末魔の喘ぎをやつてゐる。他に巡洋艦二隻燃え盛つた、その明りが附近の海面に敵空母の艦載戦闘機が無數に焼けたゞれてゐるのを照らし出し、約十分後にはそれ等の總てが海中に沒し去りギルバートの靜かな夜の海に再び星影が、そのさやかな夜らめきを見せはじめたのである、かくて第三次ギルバート諸島沖の攻撃は終了した。

☆ ブーゲンビル 島沖航空戦

——南太平洋〇〇基地へり——

☆第三次航空戦

仁木海軍報道班員

ブーゲンビル島南方海面に空母〇隻を中心とする敵大部隊を白晝堂々の強襲を加へ、急降下爆撃と雷撃による一戦は曾て見ざる凄愴な航空戦であつた。この攻撃隊が〇〇基地に歸投したところ、續いて第二次雷撃が下令された、去月廿七日敵がソロモン群島モノ島に上陸以來寸刻の餘裕もなく緊張し續けてゐる戦果に凱歌を奏しなから立ちどころに雷撃隊の編成が時を移さず決定した、無気味な魚雷を運ぶ運搬車が走り廻り、トラツクが

凄い土埃をあげながら搭乗員を運んで來る、整備員は愛機の試動に汗を流して眞黒になり忽ち雷撃は完了した基地上空は快晴に恵まれてゐるが刻々偵察機から報せられるブーゲンビル島西南方の天候は全く思はずにない。至るところに雲高五〇〇米以上の層積雲が漂ひ、スコールを伴ふ積層雲が何ヶ所も發達しつとあるといふので、だが雷撃機隊は猛烈羽擡には天候の障害の防禦砲火の彈幕もない。いつかとおつぷりと夜の帳が重く垂れ星影が二つ三つ幽かに見える。月齡十三夜の月がもう大分高く上つてゐる筈なのにそれすら見出せない密雲だ。がつちり編隊を組んだ攻撃隊はなほも進撃を續けて行つた。だが空母を含む敵部隊は発見されなかつた。も早敵艦隊附近に進出しつとある筈なのに目指す目標が捕捉出来ないのだ。廿分、一時間と必死の索敵を強行したが遂に空母群は発見されない、運のいい空母奴！誰の胸にもぢりぢりとし焦燥の心が湧き起りはじめた。その時だ觸接機の〇番機からムツビナ岬西南方〇〇渚に速力廿節で西北に進む敵艦隊を報じて來たので、忽ち雷撃機隊は機首をかへして觸接機が発見した敵部隊上空に殺到した。天候はますます悪化してゐる。突如翼下の海面から高角砲とボンボン機の銃がどつと一齊に打ち上げられた。「おお敵だ」と直感した指揮官機は射反が全速であつと右に急旋回しながらぐつと海上を見下すと、「あゝあゝ敵艦隊だ！」見よ戦艦〇隻を掩護する第洋艦、驅逐艦約〇〇隻が狂氣の對空砲火を打上げてゐるの

☆第四次航空戦

仁木海軍報道班員

だ。後續機も右へ急旋回した。雷撃隊はさつと一度敵艦から離れて急反轉した、その時遂に突撃が下令された、編隊を解いて各機は逸く目標を選び、必殺の雷撃進路に入つて行く指揮官機は猛烈な煙幕を突抜けて敵艦隊に照準、高度〇〇米、距離僅か〇〇米で、だつと魚雷を發射、敵の艦橋すれすれに全速で避退した眞赤な對空砲火の火花が前後左右上下に無數に炸裂した。「機首を右に旋回した大尉が操縦桿にぐつと力を入れたがら振向いた途端、物凄い閃光とともに天に沖する大水柱が敵艦の艦尾からどつと吹上つた、「命中だッ！」後續機も遅れじと突込んだ、巡洋艦又は大型驅逐艦と見え敵艦が胴腹に正確な雷撃を受け、がつつと右に傾斜したまま刻々波間に艦影を沒し去り、驅逐艦一隻も夜空を焦して炎上してゐる。かくて壯絶な夜間輝く雷撃に成功した攻撃隊は再び悪天候を衝いて全機〇〇基地に凱歌を擧げた。〇〇航空部隊とつて雷撃機隊全機歸還の記録は去る〇月〇日の雷撃とともにこれで二回目の記録である

後〇時ころ十数日來雨を見なかつた飛行場にざあつとスコールが通りすぎ夕闇が迫るにつれて天候は昨日にも増して悪化してきた、ブーゲンビル島西北方からソロモン群島線にかけての所に積亂雲が發達、進撃出來さうもない攻撃隊員は戦闘指導所で夜露に濡れながら大空を仰いで一時が時二時間と天候の恢復を待つた。やがて星の光がまばらに輝き初め、十四日の月も明るく下界を照らし出した「それつ、出撃だ」飛行隊長の率ゐる雷撃機隊〇〇機は時を移さず離陸して行く、進むにつれて天候は依然悪い、南十字星が見えない、計器りか月の姿さへ殆ど見えない、計器を唯一の頼りに索敵しながら進撃して行く、〇〇正確にいへば十三日の未明なのだ、觸接機が懸命に敵を捜索しながら刻々情報を送つてくる、すでに基地を出てから〇時間が過ぎた、攻撃機隊の大編隊は豫想される戦場上空を旋回しながら搜索を續けた、と〇時〇分、比較的雲量の少ない海面に遂に敵大部隊を發見したのだ、指揮官機は慌ただしく列機に通報、さつと編隊を解いて直ちに突撃命令を發した、敵艦隊は漸くわが襲撃に氣がついたか一齊に防禦砲火の火蓋を切つた。敵兵力は空母二を合む戦艦、巡洋艦、驅逐艦なす〇〇隻の大部隊だ、輪型陣を形づくり空母はすでに低く垂下つた層雲の中に突込んでゐる指揮官機が戦艦の艦尾に必殺の魚雷を叩込みこれを大破せしめたのを皮切りに後續機が捨身の雷撃を強行した。あわてふため敵艦は主砲までも打出し、總ての兵器が物凄火を吹上げてゐる、だが決死のわが雷撃機は一發、二發と正確無

比な雷撃を續行した、水柱に包まれて空母忽ち轟沈された大型巡洋艦、大水柱と共に沈み行く驅逐艦、他の巡洋艦一隻も撃沈された、この頃友軍機らしきもの一機が火を吐きながら壯烈な自爆を遂げたのが認められたがこれが単機敵艦上空に潜入して友軍攻撃隊を誘導した觸接機であつたことが、敵防禦確認されたのだつたこの夜の、後刻砲火が如何に熾烈であつたかは攻撃隊に被撃機〇機があり、指揮官機のG飛長は頸部に敵機銃弾を受けたほか全身数ヶ所に高角砲の破片を受けてゐたのも想像がつくだらう。敵機が飛行場附近の草原に爆弾數個を投下して遁走した頃雷撃機隊は全機その勇姿を上空に現した、どつと歡呼がまだ明けやらぬ戦闘指揮所に沸き起つた。

☆第五次航空戦

西尾鹿夫海軍報道班員

して出撃準備を急ぐ、〇時整列、〇〇飛行場の隅では指揮官I中尉が部下を集めて雷撃についての最後のおさらいをした。「近よれば近よるほど命中の精度は良好になる、〇百米まで接近して射つても艦底通過をする心配はない、折角射つたのだから、出来るだけ接近するやうに」平素雷撃訓練に出かける前に教へるのと少しも變らぬ、聲音である黒い一團となつてそれを承る人々の様子もまた林の如く静かだ。この頃、同じ飛行場の他の隅ではH攻撃隊が、そして〇〇飛行場ではH攻撃隊がこそもまたはやる胸を抑へつつ出撃準備を急いでゐた、そして〇時各隊は相前後して離陸、ガツツリ組んだ編隊が飛行場の上空を大きく旋回して一路戦場へ針路をとつた。十七日午前〇時〇分、攻撃隊は足下に數個の燈火が點々とするのを認めた「しめた、敵發見だ」が豫想戦場とは若干の差がある、これが果して目ざす船團であらうか、陰曆廿日の月がかがつてはゐるのだが、あまりに天頂にあるため、飛行機の直下の海面が僅かに明るく、見えるだけで外は全く眞の闇と異ならぬ。I中尉はその上空を旋回しはじめた。突込んで行けばはつきりすることは判つてゐる、だが一度突込んで若し判つた目ざす空母群でないことがそれのとき再びやり直して眞の目標に向ひ直すことが出来るだらうか、一度突込めば最後再び上げ舵を取り得る期待は持ち得ぬ決死の降下ならだ「空母群を撃滅せよ」と命ぜられてゐる他の物を狙ふことは許されない、旋回した、だが正體はまだ判然としな

い、中尉はなほも旋回を續けた。これよりさきにH攻撃隊はやうやく豫想戦場に到達、これも同じく不利な天照を忍びつつ附近海上を搜索すること〇時間、突如脚下に空母群を發見した發見が困難だつた筈だ、天照不利に加へて敵は從來の經驗に懲りたものが暗夜にも白く光つて見え航跡を立てぬため、その立つたぬ程度に速力を落して我が方の目をくらまさうとしてゐたのだ。しかしこの艱難戦法もねばり強い我が海軍の目には遂に發見されざるを得なかつた。攻撃隊は忽ち突撃隊形をとつて襲ひかかつた、それまで艱難とことし發射しなかつた敵も矢庭に立ち直つて猛烈な防禦砲火を浴びせかけ幾十條の火焰放射器でまきちらすやうな機銃弾の流れ、高角砲の炸裂、その炸裂に煽られて雷撃機は波にゆられるやうだ、發射、空母二隻の舷側に稻妻のやうな閃光が走る巡洋艦一隻が一大火柱を天に吹き上げた次の瞬間、その火柱が海中に吸ひこまれるやうに引いて行くのと共にはやくも姿を海中に没し去るH隊は颯風の如く敵艦上をかすめて避退した。この時攻撃隊も馳せつけて來たこの隊も「空母を射つまでは燃料の續く限り」との悲壯な決意のもとに〇時間附近海上を搜索してゐたものだったが、H隊の攻撃の火の手が見ると共に勇躍これに突入り行つたのであつた。一本、二本、三本魚雷はきらりと月光をうけて波間に躍り、白銀の線が走る、先の攻撃に一發をうけた空母がまたも一發を喰ふと共に灼熱の鐵片を八方に吹き散らせたのを最後にグーッと波間に吸ひ込まれて行く。今まで無傷であつ

第四次ブーゲンビル島沖航空戦が終つてから〇〇への敵の空襲がめつつきり少くなつた。「〇〇島以北敵艦影を認めず」といふ哨戒機の報告もあつた。量をとりのみの敵の總反攻にも屢次の大消耗が甚大な蹉跌をもたらしたことは明白であつた。それから數日。十六日「哨戒機の無電が突如として「敵大船團見ゆ、空母三、巡洋艦〇〇、驅逐艦〇〇、位置〇〇〇の〇〇海軍、針路〇〇度」と傳へたのは暮れる早い南海の空が夜の帳を引き急ぐ午後〇時、忽ち作戦室では海面に定規があてられ、その上を鉛筆の線が走つた、おお何と敵船團はおぞましくも〇〇島を目ざして一直線に走つてゐるではないか。海軍達は一齊に踊り上らばかりに

他の空母も必殺の魚雷を喰つて忽ち炎上をはじめる巡洋艦が赤い腹をかへして燃える、流出した重油に火がついて海は火の海、文字通りの修羅場である。そして遙かにこの火焰を發見した二隻の空母の窓といふ窓から吹き出す焰が上空からはあたかもイルミネーションのやうに美しく見える、その横に何型か、これも巨大な一隻が太い火焰を吹き上げてゐる「よし、俺も遅れはとらぬぞ」直ちに突撃に移らうとしたI中尉だつただがその時同中尉の胸は更に不敵な考へによつて占められた、三隻と聞いているが燃える空母は二隻しか見えぬ、射ちもらしがあるかも知れない、遅れついでだ、じつくり全貌を見渡してから止めを刺してやらう」そしてそのためには〇時間後に來る天明を待つよりほかに方法はない、そしてそれは夜間闇にまぎれて接敵する利を一擲して白日のもとに身を曝しつゝ強襲を敢行しようとする眞に決死の大決心である。しかし「空母を撃滅すべし」との命令の前にはそれを敢て意とするには足りぬ、同中尉は敵の上空を旋回しはじめた、以心傳心、隊長の決意を知つて列機も一糸亂れぬ編隊でこれに従ふ、上空をつきまとはれてゐることを知つた敵が射ち上げる猛烈な防禦砲火の目を編隊は巧みに旋回を續けた。かくて〇時間、東天の一角にほのかに白さがさして來た、西の空は未だ暗黒、この一瞬、黎明攻撃の最適時期だ、見渡せば炎上中だつた一隻の空母はすでに甲板上に水をかぶり次第に波間に沈まんとし、他の一隻が左舷に大傾斜しつゝなほ職くのたうつてゐる、その近くに一隻、何型が巨

艦が赤い艦腹を見せつつ漂つてゐるし附近の海面にはすでに撃沈された敵艦の名残りをとどめる浮游物がおびただしく漂つてゐる。

好機逸すべからず、全軍突撃、I中尉は列機とともに炎上する空母に突進した、そして正に發射桿を引かうとした時、一足早く射つた列機の魚雷は大渦巻の中吞み込まれた、巡洋艦がもいだやうに二つに割れる、その中へ列機が一機火となつて自爆して行くI中尉はやり直しをして今度は巡洋艦を狙つたのち退却しつつ最後には一度全局を見渡した、空母三、巡洋艦〇、驅逐艦〇と報ぜられた敵の大艦隊も今や空母なく、巡洋艦また殆ど見え、僅か〇隻驅逐艦が狼狽の姿も見苦しく逃げのびて行くのみ、海面一帯は流出した重油が朝日をうけてキラキラと輝き、その中におびただしい浮游物が漂ひ上空一圓には幾隻の敵艦を焼き盡した煙が低くたなびいて米艦隊の最期を物語つてゐる。

ギルバートに擧る凱歌 潜艦敵空母を屠を

南太平洋〇〇基地
海軍報道班員

ブルーゲンビルにギルバートにその持てる数を得たので執拗な敵ニミツツ攻勢はわが海空よりする猛撃に昨日も今日も完膚なきまでに叩きのめされ「一九四三年は大攻勢の年である」と大見得を切つたルーゾヴェルトの呼號もかくて未曾有の大消耗の年と化してゐる。以下戦果相次ぐ海鷲に呼應してギルバートの海底を縦横に活躍し敵太平洋中央攻勢撃に活躍中の〇〇潜水艦が十一月二十五日未明マキン島西方において敵アイランド型大型空母を撃沈した殊勲の記録である。

「ギルバート諸島に有力なる敵部隊現る、〇〇潜水艦は直ちに〇〇に進出、これを撃滅に任ずべし」

〇〇潜水艦が司令部からのこの緊急信を受取つたのは艦橋のハッチから流れ込む潮風がともすれば肌を冷たい十一月〇〇日であつた、南に北に艦は既に行動〇ヶ月と〇〇日に亘り、燃料は残り少く糧食は勿論明け暮れ味気ない雑語ばかりで人も全乗員が切つてゐた。だが艦長以下全乗員は血は躍り闘魂は燃え上つた「畜生小癪にも。ギルバートへ、ギルバートへ、その燃えるが如き闘魂を乗せて艦は闇の海に白く波を噛んでひた走つた。ギルバート、そこには既に我が海鷲の猛攻が繰展げられてゐた一艦また一艦と空母を或は戦艦を呑

んだ海は無意味なほど静まりかへつてゐる。哨戒第一日は敵輸送船の煙を發見したが驅逐艦の制壓激しく無念にも暮れた。廿五日未明である。瀬戸内海のやうな静かなマキン島西方海面に艦は東へ進んでゐた。仰げば眞黒な雨雲が空を覆ひ時にスコルが去来して視界は極めて悪い。この悪い視界のなかで兩眼を光らせてゐた〇番見張員が突如弾んだ聲で叫んだ「右〇〇度軍艦らしき黒點、距離〇千」遂に待期の敵部隊を發見したのだ。日出までにはまだ一時間半餘りもある。朝飯前の一仕事とばかり急速潜航した艦は水中聽音と潜望鏡により敵をがっちり捕へて前面進出を開始した。「魚雷戦用意」の號令が艦内に流れ彼我の距離は刻々迫つた。聽音手の聲がひっきりなしに司令塔へスクリーニ音を傳へる。

やがて「空母らしきタービン音」とかん高い聽音手の聲が傳管をゆすぶつて艦内を緊張させた。潜望鏡と四つに取組んでゐた艦長の眼に先頭ん敵艦ははつきり映つて来た。先頭は巡洋艦らしく二番艦は紛れもなく空母である。アイランド型の大型だ。三番艦は驅逐艦。互に二千メートル位の間隔で之字運動を續けながら漆黒の海を北上してゐる。スコール雲の切れ間に星が一つ妖しくまた「いゝ雷はもう發射の號令を待つばかりである。距離〇〇メートル」「方位角〇〇」と潜望鏡に喰ひ入つてゐる艦長は矢張り早やに叫ぶ。やがて「用意」の號令が傳聲管に叩き込まれプラーが唸り出した。十秒二十秒、三十秒——艦長の汗と油にぬれ緊張した顔が司令塔の赤燈にギ

ラリと照らし出された。その瞬間、「ター」の號令が吠えるやうに艦長鳴り止んで必中の祈りをこめた〇本の魚雷は次々と敵空母めがけて海中に躍り出した。時に二十十分、みんな秒時計を睨む。まるで森林のやうな静寂で、しかも嚴肅な一秒が刻まれていつか。〇分〇秒途にその嚴肅な静寂は破られた。「カチン、ドーン」といふ命中爆發音が續けざまに三回、艦を大きくゆすぶつた。「タービン音なくなる」と聽音手の聲も弾んで傳聲管をかけめぐる。やつたぞ、やつたぞ。それから分た額はさつと綻んだ。それから分後敵驅逐艦の爆雷攻撃が開始された。「ドドーン」と遠くで五回、その爆雷音に呼應してブス、ブス、ザツ、パチ、と異様な音が耳朶を打つ。それは燃えながら沈みゆく敵空母斷末魔の叫びである。この聲が約五分間或は高く或は低く呻くが如く咽ぶが如く斷續した。やがてそれも全く聞えなくなつた。

ギルバートの海はまた敵大型空母を一隻、飛行機も乗員も諸共に呑んでしまつたのだ。爆雷音がだん／＼近づいて来た。先頭艦は空母撃沈海面を乗員救助に狂奔してゐるらしく水中聽音器には驅逐艦のスクリーニの音だけが入つて来る。「感一」「感二」「感三」「驅逐艦だん近づくと」聽音手が敵艦接近を叫ぶ。一瞬物凄しい爆雷の炸裂音が續けざまに八回艦を包んだ。電燈は消へ、深度計は破損、潜舵、横舵は効かなくなり、機械室には海水が流れ込む。襲撃してからもう一時間半も経つてをり、爆雷防禦した艦内は蒸風呂のやうな暑さだ。その中で沈着にこれらの修理が次々と行はれた。汗と油にまみれて作業する勇士達の顔は平常と少しも變らぬ、むしろ空母撃沈の感激に微笑さへ浮べ、歌へといつたら髪面が歌ひ出しさうでさへある。味方乗員の救助も空しなかつたのであらう敵先頭艦もまた近づき驅逐艦と共に畫近くまで執拗に爆雷攻撃を續けたが、そのすさまじい爆雷の下を殊勲の〇〇潜水艦は静かに赤道海流に乗つてゐた。

戦ふ野郵便局

北東方面前方線基地
會我部同盟特派員

戦ふ野郵便局
キスカ島守備の帝國陸海軍隊部は何等敵の妨害を受くることなく七月下旬全兵力の撤收を完了し既に新任務に就きあり

去る八月二十三日十二時の大本營發表はさきのアツツ島守備隊全員の玉碎發表とともに國民に特に深い感銘を與へたが、一年有餘北の孤島に忍苦の守備を續けた將兵は更に新たな任務をもつていま北に意氣軒昂鐵壁の陣を布いてゐる、キスカの疲れを休める暇もなく新任務に就いて既に三月餘になるのだ、記者は一日、キスカ以來常に部隊と行をともにし敵機の猛爆下に沈着豪膽、第一線と家郷を繼ぐ將兵の通信任務に挑身し、いま又撤收部隊とともにこの地に在つて新任務に敢闘する野戰郵便隊(軍事郵便所を訪ね、前線から統後に續く紐帯を練つた。以下は事務官

書記、書記補、特務員等の軍属が語る非戦闘員の戦記である。

○事務官 われわれ北方派遣野戦局員二十四名が○○基地を出発したのは昨年〇月〇〇日でしたが、途中○○に寄港した約〇ヶ月間待機し、

此處でアツツ島行きの佐藤事務官以下十四名と別れ、キスカ灣に入港したのは〇月〇日でした、〇〇までの間は怒濤との闘ひ以外は無事平穩でしたが、それからキスカまでの間には交戦こそなかつたけれど、二、三回敵の潜水艦が現れて、果して無事に着けるかどうか危ぶまれました

○雇員 上陸第一夜は〇〇格納庫のコンクリート土間にゴロ窓で明かし、翌朝四時に出発して〇〇灣に向ひましたが敵地に入つた興奮と冷気のため殆ど一睡も出来ませんでした

○書記補 ○〇灣から〇〇本部のある〇〇灣までツンドラの野を越え山を越えて行軍の途々誘導將校が、「あれが〇〇山だ、この川を〇〇川と呼び、これは〇〇橋」といふ風に判りやすい呼び名を教へて呉れまし

郷土が偲ばれて懐しく聞きました。○書記 そうだ北鎮山と呼ぶ山もあつて故郷に歸つたやうな錯覚を起す程落付いた氣持になりました。然し〇時頃だつたと思ひますが突然あちこちに鐘が鳴つたり非常召集のラッパが響いて誘導將校から「敵機だ散れ」と叫ばれた時は驚きました

何せわれわれには生れて初めての経験なので咄嗟にどすうことも出来ないので。○雇員 二、三回も「散れ散れ」といはれて漸くバラバラになつて山腹に伏せたが僕は夢中で雪を掘りそ

の中に頭だけ入れた、そして暫くつて「これではいけない」と思つてこんどは両手で出来るだけ身體に雪をかけたが、あの時はやはり同じことを考へたと見えて皆さかんにやつてましたね。

○書記 感激といへば全く最初は感激の連続でした、アメリカ本土の一角で遂へた今年元且は東天を拜すのでなく西の空に向つて宮城を遙拜したのです。あの時の氣持はとて筆舌に表はせません。

○事務官 有意義な元且でした、私の息子はいま南方に従軍してゐますが、皇軍の精銳の中に親子が北と南の涯で互に西を向き東を向いて、とくに皇居を遙拜したわけですよ。

○書記補 元且の餅と目刺、鯛も忘れられませんが、北洋の波濤を越えて補給された彈藥糧秣のうちの尊い一品だと思ふととめどもなく涙が頬を傳ひました。

○書記 ほんとうに二切れの餅も一尾の目刺鯛もあちらでは貴重な物資でした、内地を距ること二千數百軒怒濤をか捲く魔の北洋のあらゆる危険を冒して輸送されたものですからその揚陸がまた大變なのです、われわれは感激の涙にむせびながら新春を壽いでゐてもアメリカは元且でないせい、それがとも故意にか宛も角遠慮會釋もなく敵機は爆撃にやつて來るのですから輸送船が入つたら一時早く揚陸せねば目の前の船がやられる危険があるといふわけで、ちやうど翌二日も敵の爆撃の合間を見て揚陸荷役をやつてゐましたが作業中にアリニューシヤン特有の物凄い豪雨になつてアツといふ間に米も味噌も石炭も海中に流されて海岸の砂に埋つてしまひました。然し漸くしててこまで運んだ苦勞を思ふと捨てては置けないのです。兵隊は雨の上るのを待つて砂の中から一粒二粒と米も石炭も拾ひ集めました。いま思つても臉が熱くなります。

○書記補 アリニューシヤンの風の凄さは幕舎の鐵の支柱が節のやうに曲つてしまふことさへあつて既に知られてゐますが、雨もまた北洋の性格とでもいふが、降り出したら數日降り續き川といふ川が氾濫していつもうようよしてゐる鮭鱒が全然何處へか押流されてしまふといふ位です

我々は局舎の器材を整ふまで〇日開をそんな雨風に曝された幕舎生活をしながら兵隊さんと一緒に曲塚を掘つたり陣地を構築したり毎日土木作業に従事しましたが、いい體驗でした。

○事務官 ほんとうに尊い經驗です。國家の總力を結集すべき決戦下しかも死生を同じくする戦野に在つては一人の無爲徒食も許さるべきではありません。それは日本人として當然のことですが、十名の局員が一つ心になつて圓匙を執り十字鉞を握つて開局前の〇日は勿論、開局後に

おいても暇が出来れば進んで作業に従事してくれたことは責任者として嬉しく思ひました、更に〇日の開局を兵隊さん達がわれわれ以上に喜んでくれた時には局員一同「來た甲斐があつた」としみじみ感ずるとには輸送船舶の安全航海を祈らずにはゐられなかつた。

○書記 〇日我々が毎日待つてゐた器材が到着したので翌日灣まで受領に行つたが海岸一杯彈藥食糧その他資材が山積してゐた、その中から赤い 印のついた野戦局器材三百二十餘個を四人で移動することは困難なので揚陸作業の指揮官に頼んで兵隊さんの手を借りましたが、「郵便局が出来んだよ、これからはど

んどん手紙も貰へるし、貯金も出来るんだ」と喜んで手傳つてくれました。

○雇員 局長さんはいつてもいはれませんが、「敵の盲爆にやられては犬死だぞ、敵機が來たら防空壕に入れ」と、僕は足がおそいで特に心配をかけた、警報が出るとすぐ「それ〇〇！」といはれる。それでいつか「逃げ足の早いのは我慢ならんぞ」といつたら「逃げるんぢやない待避するんだ、俺達がやられたら郵便局は誰がやる」と叱られてハツと

○書記 私は貯金を扱つてゐたのでつまらない死方をして兵隊さんに迷惑をかけるいやなと思つて頻繁に空襲のあつた日は防空壕の入口に乾燥野菜の空箱をおいてその上で仕事をしたこともありました。キスカでは〇ヶ月間に約卅七萬圓の貯金及び五十萬三千圓の送金を取扱つてゐますからこれらの金を預けたり、送つたりした兵隊さんとその家族のためにも無駄な死方は出来ない譯です

○雇員 空襲の時に〇〇さんが現金の詰つた行囊を背負ひ書類を抱へて局舎と防空壕の背を往來した姿が目に見え、失禮だがその體がよく出張して持つて行きましたが一日に五百名分も扱つてゐます。通帳の記入だけでも容易なことではない。それに現金の受拂、記帳など僅かな人員でほんとうによく頑張つて呉れました。キスカにおける貯金爲替は先

手段を盡くし之が達成に遺憾なきを期すべし、責任を重んずる者、是眞に戰場に於ける最大の勇者なり」とあり、又「死生を貫くものは崇高なる献身奉公の精神なり、生死を超越し一意任務の完遂に邁進すべし、身心一切の力を盡くし、従容として悠久の大義に生くることを悦びとすべし」とある。アツツ島で皇軍將士とともに玉砕した佐藤事務官以下十四名の僚友はこの死生觀をもつて最後の日まで一意任務の完遂に邁進されたことと信じてゐます。

○雇員 然しアツツへ行く敵機を見たらたまらなかつたね、僕は冬季の三十米四十米の風の中に行囊を背負つて立ちすくんだ時よりも、ツンドラのぬかすみで機銃掃射を浴せられた時よりも。アツツ行きの敵機を見た時の方がずつと苦しくまた憤りを感じました。

○雇員 そうです。我々は十二日擲彈筒などの給與を受けて戦闘準備をしましたがアツツの野戦局員はどしてゐるかと思ふとたまらない氣持でした。

○事務官 そんな霧の中で局員もまた動きました。局舎のある〇〇灣から輸送船の入る〇〇灣まで約五軒の小路を三時間餘も霧に濡れて郵便物を運搬するのは大變なことですよ。然し諸君は皆よくやつて呉れました

また郵便貯金の取扱ひなど局舎内だけでなく各部隊の所在地へ局員が出張して持つて行きましたが一日に五百名分も扱つてゐます。通帳の記

入だけでも容易なことではない。それに現金の受拂、記帳など僅かな人員でほんとうによく頑張つて呉れました。キスカにおける貯金爲替は先

手段を盡くし之が達成に遺憾なきを期すべし、責任を重んずる者、是眞に戰場に於ける最大の勇者なり」とあり、又「死生を貫くものは崇高なる献身奉公の精神なり、生死を超越し一意任務の完遂に邁進すべし、身心一切の力を盡くし、従容として悠久の大義に生くることを悦びとすべし」とある。アツツ島で皇軍將士とともに玉砕した佐藤事務官以下十四名の僚友はこの死生觀をもつて最後の日まで一意任務の完遂に邁進されたことと信じてゐます。

○雇員 然しアツツへ行く敵機を見たらたまらなかつたね、僕は冬季の三十米四十米の風の中に行囊を背負つて立ちすくんだ時よりも、ツンドラのぬかすみで機銃掃射を浴せられた時よりも。アツツ行きの敵機を見た時の方がずつと苦しくまた憤りを感じました。

○雇員 そうです。我々は十二日擲彈筒などの給與を受けて戦闘準備をしましたがアツツの野戦局員はどしてゐるかと思ふとたまらない氣持でした。

○事務官 そんな霧の中で局員もまた動きました。局舎のある〇〇灣から輸送船の入る〇〇灣まで約五軒の小路を三時間餘も霧に濡れて郵便物を運搬するのは大變なことですよ。然し諸君は皆よくやつて呉れました

刻〇〇書記から話がありましたが、軍事郵便は約五十萬通取扱つておます。〇〇君ここへ来てからどんなものだらう。

〇〇書記 ここでは月百七・八十萬圓の金を扱つておますが大體その六割が貯金であつての四割が送金爲替です。

〇〇書記 郵便はこちらから差出す数の六割程度より出来ませんが、よく兵隊は手紙を書き読みからですが、書店などで詰合せした慰問袋より真心のこもつた一枚のハガキの方がどれだけ將兵を慰められるか知れない、だから儀禮的に書いた大人の慰問文より子供の書畫が喜ばれるわけですよ。〇〇雇員 つか何處かの町長で道會議員をしてゐる人から活版印刷の御座りの慰問書袋が来たことがあつたが、受取つた兵隊はみんな怒つて破き捨ててしまつた、こんなのは最も悪い例ですが慰問袋の内容品についても金額や數量より心をこめて欲しいと思ひます。

〇〇書記 私は取扱擔當者としての機會にいひ度いことは食料品などの慰問袋を送り一枚のハガキ一通の郵便或は新聞雑誌が遙かにいいといふことです、軍の給與は統後から食料品の補給をして貰はなければならぬやうなことは絶対にないのですし、萬一作戦中において局所的に或は一時的に食糧缺乏があつたとしてもそんな地域や場合には慰問袋も届きはしないすから、結局受取つた時は食べられない物になつてゐるといふわけで徒らに貴重な輸送力を弗減するだけです、心しなければならぬことです。

ハワイ海戦回顧

〇〇基地にて

〇〇中 佐談

三度めぐり來つたハワイ眞珠灣空襲の日の感激。當時〇〇艦の〇〇長として親しく本海戦に参加した〇〇中佐は二年前を想起して「ハワイ海戦の回顧」と題する次の如き談話を發表した。

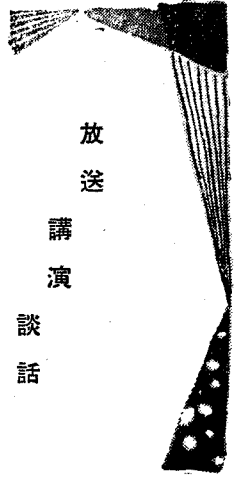
太平洋の風雲急 日米間の風雲急を告ぐるや帝國は自存自衛のため決然立つた、我が聯合艦隊は大東亞戰爭最後の打合せを遂げこの未曾有の大壯途に上るに當り、盃を擧げて大元帥陛下の萬歳を三唱し、その聲は幾百里を隔てた大内山に届くかと思はれた、斯て大艦隊は堂々太平洋の波濤を蹴つて壯途についたのである前途の難關と任務の重大を思ふ時果して成功するや否や誰一人確信を以て答へ得る者はなかつたのであらう。乾坤一擲の大作戦 思ふに本作戦は大膽不敵敵の意表を衝くもので一度成功すれば大東亞の諸作戦は極めて有利に展開するも、萬一失敗せんかその結果は單に遠征軍そのものが全滅を見るに止らず、ひいては我が海軍に重大な影響を與へ、實に國家の興亡を決する乾坤一擲の重大作戦である。従つてこれに参加した將兵は何人とも雖も生還を期すものなく唯々成功させねばやまぬ烈々たる責任感の外何物もなかつたのである。作戰の性格 本作戦は絶対に隱密を前提としてのみ成立すべき作戦であ

る。而して斯かる大作戦が今日の世界において相手國に察知せられることなく出来るものであらうか。しかし要求は絶対である。縱令敵國に察知せられてもやり遂げねばならぬのだ。我々は次の三つの場合について考へた。

①出發に先だち既に敵の諜報機關によつて知られてはゐないか
②遠征の途上において敵國乃至第三國の船舶に發見されはしないか
③空襲の前日敵の遠距離哨戒機又は哨戒艇により發見されはしないか
ハワイへハワイへ 艦隊の全神経は見張に集中せられ、警戒は特別に厳重を極めた。一切の灯火は隠蔽せられた。極度の淡煙焚火に努め煙突から煙を出すことばなかつた。一握りの塵芥も海に棄てることば許されなかつた。燃料と清水節約の苦心は又並大抵ではなかつた。航路と陣型に特別の考慮と苦心が拂はれた云ふまでもない。遅々たる日の歩み、幾多の難關を包蔵する前途は長いすべは時が決定してくれと思はれた。奇襲半ばは成る 遂に待望の日を迎へた。その日は敵の大型機の哨戒圈内に突入する日である。警戒は至敵を極めた、乗員は異常の緊張を感じた。どうか今日一日敵に發見されぬ様にと神に祈らぬものばなかつた。此の日位時間の経過が遅く感ぜられたことばない、一時間も立つたか時計を見れば未だ十分も立つて居ない。しかし朝來晴天で敵機の哨戒には絶好である、だが味方としてもこれが爲正確な天測が出来た艦位を精密に決定することが出来たのは天の助であると云へる。これで空襲決行に決定

は實に今日に備へたのだ、私け空

中攻撃隊の成功を祈つた。これで所要の時機に所要の地點に所要の兵力を持つて來ることに成功し、ここに兵衛上任務の一階梯を無事に終へたのである。この日艦員一同は早朝より戰闘配置につき敵の反撃今や遅しと空を睨んで待ち構へて居た、そして息づまる様な時間の経過を待つた目指す敵太平洋艦隊の豫想通り眞珠灣内に居るか？ 眞珠灣上空の天候は攻撃に適するか？ 否や？ 艦隊に狂ひなき無事目的の地に到達出来たか何うか？ 敵の警戒状況は如何か？ 等々未だ残された數々の心配の裡に刻々時間は経過して行く。艦員は皆不安さうに時計ばかり見つめてゐた。歴史的「第一電來る」 總指揮官より「我奇襲に成功す」の歴史的「第一電」は來た、この一電を待つ時果して幾十日の久しきか、士氣は正に天を衝いた、ハワイ上空は慌しい電波の錯綜により狼狽の状況が歴々と窺はれた。出動して來た敵の飛行艇は我を發見したものと、如くである。かくて我が空襲によりさしも強大を誇つた太平洋艦隊は一瞬にして撃沈され空中攻撃隊は完全に所期の目的を達した艦隊上空に逐次歸還した。母艦は警戒裡にこれが收容を終へ、かくて艦隊は任務を完遂し凱歌を奏して引き揚げたのである。この日不幸にして敵空母は出動中中所在不明のため翌日の再攻撃は断念するの止むなきに至つた。



放送 講演 談話

米國の白書

來栖大使講演

争戰の眞因を歪曲せよ

大東亞戰爭開戦二週年記念、今次の歐洲戰及大東亞戰爭を馴致す日を迎へるに當り、日米交る上に至大の責任がある戰爭前數年涉の最後折衝に當つた來栖三郎大使は十二月三日大政翼賛會講堂において翼賛會地方支部指導者三百名を前にして「戰爭の眞因を歪曲せる米國の白書」と題し講演を行ひ、米國が先頃發表した外交白書に類する「戦争と平和」を取上げ、戰爭は日本によつて仕掛けられたものであるとする米國の偽瞞に満ちた宣傳略を完膚なきまでに粉砕した。

米國政府は、この戰爭が日本から仕掛けられたものであるといふことを頻りに内外に宣傳して居るが、その最も代表的なものは、本年一月國務省の出版した「平和と戦争」本年十月國務省發表の開戦前約二箇月に亘る日米交渉に關する公文を集めた一冊子である。之等刊行物中には戰爭の遠因、近因及直接原因の三點に涉つて多くの欺瞞が指摘し得らるのである。即ち第一に「平和と戦争」

と申す書物初め、となしに突如として飛び出すことなから、一九三〇年(昭和五年)より四一年(昭和十六年)に至る米國の外交政策と銘打つてあつて、從つて一九三〇年以後の甚だ不幸なる事慮を招來する根本原因を齎した前世界大戰後十年間の非常重要な諸経緯の説明を初から逃げて居り、第二に大東亞戰爭を馴致すに至る歪曲と隠蔽の記述に大なる歪曲と隠蔽がある。先づ戰爭の遠因に付き申述すると、前世界大戰後の十年間、最も重要な國際關係の歴史に於て最も重要な期間で、この期間に於てヴェルサイユ體制が出来上り、東亞に關してワシントン會議體制が成立し、この兩體制共その後の國際關係の展開に極めて大なる影響を及ぼした。換言すれば一九三〇年以後の不幸なる世界情勢は實にその當然の歸結に外ならないのに拘らず、米國は此根本問題について觸れる事を避けてゐる。米國の白書に依ると、ハル國務長官一九三五年(昭和十年)五月五日のワシントンに於て演説し、歐洲に於てデモクラシーの代りに獨裁政治が突如として飛び出したと述べて居るが、一體一國の國體、政體が重大な原因と長い發展經過を經過するこ

制であり、又事實上之が運用の全權を握つて居つた英佛に於ては、要するにドイツを永久に抑へ付けて置かうといふ考へ方が支配的であつたから、ワイルソンの十四箇條を恃みとして媾和したドイツは、最初から悲惨なる幻滅に直面し、政治的にも殆ど斷末魔とも言ふべき窮境に陥つたのであつて米英は徒に全體主義を批判し攻撃する前に、先づ考へて見なければならぬ。次にワシントン會議の表面の目的は、列國間の協調に依つて東亞の安定を圖らむとするもので、我が國は約十年の久しきに亘つて忠實に之を遵奉し來つたが、當時支那側は之を以て我が國が米英の壓迫に屈したる證左なりと解し、米英の支援の恃みとして事毎に抗排日行事とし、米英も亦陰に陽に之を支援して抑て我が國の支那大陸に於ける當然の發展を迎へむとしたのであつた。その結果、遂に滿洲事變、日支事變が起り、延いて大東亞戰爭の勃發を馴致するに至つたものである。斯くの如き事變の起り方は、米國が既に第一次世界戰爭中から次第に日本を壓迫の態度を示し、パリ媾和會議の際、山東問題に付いて遮二無二支那を支援し、遂に支那をして山東問題をつたことに發して居る。華府會議に於て支那側は、頻りに山東問題に對する不當なる主張を繰返し、之がため委員會を開催するに及ぶに、支那代表に對し、餘國大統領自ら、支那代表に對し、餘り強情を張ると山東省全體を失ふことになるぞと忠告して辛じて終結を告げたやうな事となつた。爾來支那は何事に付いても米英の支持、支援を目的として、我が國に抗爭する態度に出で來り、米英亦之を獎勵し利用したのであつて、これがため華府諸條約は徒に支那の抗日運動を激成する具と化し、東亞の安定を確保すべき筈のワシントン體制が、却て東亞の禍亂を誘發することとなつたのである。更に又一九二〇年以後十年間に於ける日米間の問題中、兩國關係に重大な影響を及ぼしたものは、一九二四年の米國移民法の制定で、この立法は、當時の國務長官ヒューズが下院の移民及歸化問題委員長ジョンソンに宛てた書翰中に述べた通り、我々に「侮辱の極印を押した」といふもののである。この外、前大戰末期に於けるシベリア出兵問題を繞る日米の葛藤、對支借款問題、華府會議と共に、この當時米國が日本に對して加へたる四つの顯著なる壓迫政策の現れであることは、公平なる外交史家、即ちエール大學教授グリズウォルドがその著「米國の極東政策」の中に指摘して居る。之等一聯の不幸なる案件が、その後の日米關係を著しく禍したことは否むべからざる事實であるから、この経緯から切り離していきなり一九四〇年以後、即ち大體滿洲事變以後の日米關係を論述するが如きは無意味にして且つ失當と言はねばならぬ。第二に今次大戰の近因とも言ふべき歐洲戰爭開始及大東亞戰動發に至る數年間の米國の政策の記述に於ても米國の白書中に種々指摘すべき歪曲があり、その最も主なるもの

は、歐洲戰爭勃發前に於て米國政府が英佛等に對し開戦を煽動した態度が滿洲事變以來頻りに行かれた國際聯盟その他に依る對日壓迫運動に於て米國が終始一貫主動的態度を執つたことに付き正しい記述がなく、又日獨伊同盟に對し最初から根據なき曲解と執拗なる先入とに因り、之がために日米交渉の妥結を不可能ならしめた経緯の記録が頗る獨斷であつて且つ公平を缺いてゐる。

先づ歐洲の問題に付いて見ると、今次の歐洲大戰勃發に先立ち、ドイツが英國との衝突を避け、何等かの妥協點を見出すために凡らゆる手段を盡したことは周知の事實であるが、又英國の側に於ても之に呼應せむとする一派があり、現ドイツ外相リッペントロープ氏は、この間の情勢に鑑み自ら駐英大使として赴任したものと見られて居る。然るに米國は既にその當時から英獨の和協に反對しその間、英國の政情の變化もあつて外相は遂にその使命を達成することを得なかつた。その後歐洲の形勢が更に一層緊迫化するに及んで、當時の英國首相チェンバレンは深く英國の現状及將來を考へた末、英獨妥協の決意を固め、ヒトラー總統と會見し、一九三八年（昭和十三年）九月二十九日に有名なミュンヘン協定を作り、之を以て「自分等一代の平和」を唱へ揚々として歸國し、英國の大衆は勿論、戰雲の重壓の下に懊惱して居つた歐洲一般の民衆の大多數は歡呼の聲を擧げて同首相の政策を迎へたのであるが、その當時又々強く之に反對したのは米國であり且つ米國支援の下にチェンバレン政の打倒を企てたるチャーチル、イ

ーデンの一派であつた。又米國のハル長官が協定成立の翌日、協定について所謂奧齒に物の挾つたやうな聲明を發したことは米國の白書にも書いてある。兎に角米國は頻りに歐洲の問題に介入し、否、寧ろ主動的立場を執り、極力英獨の妥協を妨害して一歩々々兩國を戰爭必至の情勢に迫込みつつあつたのである。

東亞の問題に付ても、米國は滿洲事變以來、常に主動者となつて對日壓迫を主張し、自國の参加し居らざる國際聯盟に對してもあらゆる策謀、威壓を加へて、聯盟規約中の「サンクション」即ち經濟斷行條款の發動を爲さしめむとし、當時英國が濫りに米國の笛に踊らざるに對し著しく不滿の意を表したことは、當時の米國國務長官スチムソン自身の著書に依つても明らかである。その後日支事變勃發するや、米國は又しても日本壓迫の主動的立場を執り、國際聯盟及各國に働きかけたが、一九三七年（昭和十二年）ブラツセルに開かれた九ヶ國會議の如きも、主として米國の發議、要請に困つたものであつたことは、當時ブラツセルの大使として在動して居りました私に對し、同僚たる英國大使より説明があつた所に依つても明かなのである。

更にその後にも日支事變に對する米國の態度は、飽迄我が方を壓迫せんとする運動の先頭に立つて居り、昭和十四年（一九三九年）の夏、英國が實際の見地から日支事變の現實を正視し、多少なりとも支那を中心とする日英關係を調整せんとし、遂に同年七月二十四日、時の外務大臣有田八郎氏とクレギー英國大使との間に天津租界に關する妥協の成立を見るに至るや、米國は、その二日後に於て日米通商條約の廢棄を通告して來た。この廢棄通告は、一面日英妥協に關する米國の不滿の意を表し、英國を制肘せんとする意志が多少に含まれて居つたと見ることが出来る。更に翌年六月ビルマ通路閉鎖の問題が起り、日英間に協議が進めらるや、米國は華府に於て英國大使及滿洲公使を招致して會議を開き之を牽制せんと試む一方、七月二日、輸出統制法を制定し愈々日、英間に妥協成立するや、ただちにこの輸出統制法に基いて航空用ガソリン及工作機械の大部分の對日輸出を禁止し、再び日本を壓迫し且つ英國を撃つせんとした。當時の實情に於ては、日支問題即ち日英問題であり且日米問題であつたのであるから、斯くの如く日英を撃つた米國は、日支問題の解決を困難ならしめ、遂に之を大東亞戰爭にまで發展せしめた大きな責任者であると云はねばならぬ。

米國は白書中に於て、日獨伊三國條約の目的を曲解して、頻りに之を攻撃するのみならず、既に一九三四、五年の頃より日獨間に東西策應して世界侵略を行はむとする秘密協定が存在したと信じて居つたと述べ、又一九四〇年（昭和十五年）九月十一日、フランス大使との會談に於てハル長官は、米國政府は過去數年以來ヒトラーは歐洲に對する殘忍にし全然破壞的なる征服者たるべく、日本はハワイよりタイ國に至る太平洋に於て同様の道に向はむと決心せしめたと推定を下し、それ以來米國政府の總ての言明及行動をこの推定の基礎の上に置き來つたものと説明して居るが、實に非禮にして亂暴極まる獨斷と言はざるを得ない。然し事實過般の日米交渉に於ても、米國側は常に我が方に向つて三國條約の破壞又は事實上の脱退を迫り之を以て日米妥結の前提なりと強要した。

一方、白書の記録に依ると、米國は一九四〇年（昭和十五年）四月二十九日以來、當時既にドイツと同盟條約を有して居つたイタリアのムッソリーニ首相に對しルーズヴェルト自前後四回に亘つてメッセジを送つて只管イタリアの共同參戰を防止せんと試み、或は米伊共同して歐洲平和再建を圖らうとか、或はイタリアの希望は何でも開いて米國は英佛兩國に對し之が達成を斡旋し、且つその實現を保障するとか、或は又媾和會議の場合にはイタリアの參戰を歓迎して交戰國と同一の地位を與へようとか、八方有利な條件を連ねてイタリアを誘つたと書いてあるが、其際には米國はイタリアとドイツとの同盟條約に關しては別に廢棄しるとも何とも言つて居らぬ。

米國のこのイタリアに對する態度と三國條約成立前及過般の日米交渉中に於ける我が國に對する態度とを比較して見ると、その間に格段の相違が大きいと見ゆ。之は即ち畢竟米國が我が國の地位、實力を見極み米國自身に參戰の決意を固め、その場合の用意として豫め三國條約を骨抜きにして太平洋方面に於ける後顧の憂を除いて置かうといふ思惑に出たものと見る外はないが、若しこの米國の思惑が成功した場合に於ては、米國は參戰して先づドイツを屈伏せしめ、その後には前大戰に於けると同様の筆法を以て、英國と共同して我が國を抑へ付けようとして居つたものと見られる。

第三に、大東亞戰爭の直接原因を成した日米交渉の經過に關する白書の記述に關しては幾多指摘すべき點がある、今日は十一月十七日、私自身が直接に交渉に参加しました以後の事、即ち私自身経験した部分のことについてのみ述べる。

先づ第一に氣が付いたことは、私が參加した第一回の大統領との會見に於てルーズヴェルト大統領自ら、日支の間に「紹介者」たらむことを申出で、その後この重大なる提議が有耶無耶の間に葬り去られた消息に關して何等記されてない。この會見に於て私に於ては新に交渉に参加した者として先づ第一に發言し、日米妥結の必要を力説すると共に、私が渡米の途上、瞥見した時のみに依つて見ても太平洋の事態は全く一觸即發といふべきであると申したのに對し、大統領は言下に「ホワット・ホワット」即ち全く「何のためだ」といつて直ちに同感の意を表し、次いで私から日米間の難關が主として日支關係に在ること及び、この問題の解決を困難ならしめつつある重大原因が、米國が本來、事の性質上日支間の交渉に委かすべき日支和平條件の内容にまで立入つて論議し、而も米國の主張が頗る現實的情勢に副はざること、に存する旨を指摘したので對し、ルーズヴェルト大統領は、自分は斯くの如き用語が外交上使用せらるべきや否やは承知しないかと前提して、米國が日支間の「紹介者」となつたかどうか、即ち紹介者は紹介するの

みにて交渉の内容、條件に立入る要はなからうとまで述べたが、この時列席のハル長官は、日本政府の不信を云々したので、私から前大戦後に於ける米國政府の對日態度の豹變振りを指摘し、日本側の一部にも之を根據とする對米不信が存することを述べ、斯くの如き重大時機に當つて雙方相手方の不信を云々するに於ては、交渉は遂に成立の見込なきに至るべしと應酬した。その後米國側は言を左右にして大統領のこの重大なる提議をもみ消すことに努めたのであつて、苟くも一國の元首が外國の使臣に對し、公式の會談に於て提議したことを反古にして恬然たることに依つても、日米交渉に對する米國政府の誠意の闕缺は十分之を窺ふことが出来る。

次に指摘したいことは、米國の白書が我が方の十一月二十日の提案を頗る軽く取扱ひ、米國側が提出し來つた、あの重大なる十一月二十六日の「ノート」を事も無氣に、且つ正當なものであるかの如くに取扱ふと共に、彼我「ノート」の交換の間に經過した息詰るが如き一週間、即ち日米和戰決定の分岐點となつた一週間を付いて故意に記述の省略を行つて居ることである。即ち先づ我が方の十一月二十日附提案に對しては「彼等は根本問題を解決することなく交渉の初期に於て論議せられ來れる公正にして廣汎なる解決の眞剣なる考慮を避けむと試みたること明白なれり」と甚しき詭辯を弄して我が方のこの重要な提案を簡單に片付け居るが、實際に於ては當時米國は所謂根本問題に關して獨善的にして且現實に副はざる原則論を繰返す

のみで、全く果てしがなく、その間危局は刻々迫り來る實情であつたのに鑑み、我が方は先づこの緊迫した局面を打開し、空氣を緩和したる後、更に時機を待つて根本問題の解決を圖らむとする構想を以て十一月二十日案を提出したのであつて、即ち我が方は當時問題の中心となつて居つた佛印南部の駐兵を北部に移駐し、之に對し米英側は、撤廢止資産凍結その他の經濟壓迫を撤廢すること案の骨子としたものであつて、之に對しては當時側面より我が方を援助して居つた大統領側近の米國の一人人の如きは、我が方の考へ方に對し非常に賛意を表し、石油が一度流れ出せば、殘餘は次第に解決するであらう云々とまで言つて、之を喜んだのである。

事實又國務省等に於ても頻りに協議が行はれて居つた様子でその間、十一月二十一日は私は先づ單獨で、二十一日には野村大使と共にハル長官を私邸に訪問し種々懇談したが、此二十一日の會見に於て同長官も有力政府の内部關係の下に在つて萬事の意は任かせざるものがあることを述べた程で、當時米國側が事態の重大性と我が方の提案の重要性を十分認識して居たことは明かである。今日に至つて上述の詭辯を弄するのは實に甚しい欺瞞と言はねばならぬ。更に又白書は、米側の彼の十一月二十日附の「ノート」を提出した理由の一つとして「之に依つて多分交渉を持続せしめ得べきを考へ」云々と人を愚弄したやうなことを書いてゐるが、從來屢々引用されたロバート委員報告書の外、この米國の白書自

體及その姉妹編たる關係公文集に依つても、ハル長官はこの不幸なるノートを我が方につき付けた直後、陸海軍長官及英國大使等に對し、交渉が事實上打切りになつたことを通告したと記述してあり、又公文集の方に依ると、ハル長官は、英國大使に對しては、日本が突如として非常な廣汎な地域に亘つて奇襲を行ひ、英米等がその對策を協決決定する違ふ與へず重要な戰略基地を占領する可能性ありとまで言つて居るのであつて、前に述べた「或は多分交渉を持續せしめ得べきを考へ」云々と申すのは實にそらざらしい偽りである。又白書に依ると、米側は經濟壓迫が日本の報復を招き、延いて戰爭にも至る危険があることを十分承知して居つたと書いてあり、殊に戰爭直前

の經濟壓迫手段によつて東亞に於ける戰爭の勃發を防がむとすることの誤りであること、又日本人の國民性に考へ、斯くの如き手段が却て戰爭を誘發すべきことを戒め、更に十一月十七日の電信を以て、事態危急と報告して居るに拘らず、米國は我が方の提案を容れて之等の經濟壓迫手段を撤廢するの途に出でざるのみならず十一月廿六日の所謂「果し狀」をつきつけて參つたことは、全く我が國を絶對絶命の窮地に追込んで開戦の余儀なきに至らしめむとする策謀と見るの外ない。米國政府は、開戦以來國民に對し「眞珠灣を記憶せよ」と常に宣傳して居るが、之は當然「十一月二十六日を記憶せよ」と訂正すべきである。

民を引付けて行かねばならぬ所に、その戰爭目的の不純、不明瞭から來る敵米國の惱みがあると言ふことが出来る。以上指摘した如く、彼等の戰爭目的は不純にして矛盾に充ちて居るが、國民を引ばつて行く米國政府の力は依然として頗る強く、その生産力は尅大にして、飽くまで各種兵器の量を得ん現在我が國を壓迫し去らむとして居る。現在の米國政府を動かして居るのは正義でも人道でもなく、一力なのであるから、我我銃後の國民も、開戦以來の皇軍將士の善謀勇戦及最近に於て又々皇軍の擧げつたある目覺ましき戰果に應へ、この際最も必要なる飛行機その他生産力増強一般の戦力向上を目標として各自の職域に於て彌が上にも一億敢闘の精神を發揮せねばならぬ。

と題する談話を發表し、先づ大東亞戰爭の赫々たる大戦果を培ふが科學陣營の努力研鑽を説き、必勝三年目は卓越せる科學技術を以て敵米英を粉砕する秋であると強調した。

先づ赫々たる大戦果の蔭の立役者——科學技術の凱歌を誇示したい彼來らんとせば必ず發見捕捉してその一隻一機をもらさず、即ち必死、而して一發必中、必中は必墜、必沈の必殺である。敵の心膽を寒からしめつつある太平洋、支那ビルマ正面等に於ける相次ぐ大戦果は直ちに我が生産の凱歌、研究の凱歌であり、即ち科學技術の凱歌に外ならない、大東亞戰爭初期は未だ純然たる大東亞ツ子の科學技術ではなく兵器構成要素の何處かに、多分に歐米依存の跡が残つてゐたのである。しかし今日のものは全く大東亞ツ子に、日本何するものぞと自信し自惚れた敵米國が科學技術の面に於ても、こつびどく叩きのめされただけにその打撃たるや極めて深刻だ、そして無謀に等しい損失を顧みず、執拗に焦躁的な反攻に拍車をかけるのである。

飛行機はそれ自身、萬を超越る各種部分品により構成されて居り、例へば五十萬圓の飛行機は紙だけでも五十萬個も必要だと云はれる、加ふるに一發必中の機關砲やそして必中必墜即ち必殺のその彈藥や各種の爆彈、必見の電波器や、必通の通信兵器、そして光學兵器や寫眞機などの裝備品、これらの構成する鐵やアルミニウムなどの各種原材料、更に、それを加工し組立る各種機械、或は揮發油、潤滑油などの航空燃料等にも亘る極めて廣汎多岐の研究、考案、設

第三年三第 年三第 爭戰

割役の術技學化



課事軍省軍陸

佐中茂原中

第三回陸軍技術有功章授與表彰式に當り、陸軍省軍事課中原茂敏中位は「戰爭第三年科學技術の役割」

計、生産などの一切の科學技術が純然たる大東亞ツ子として生れ、且つ育つて彼をやつつけたのである。

科學とわが卓越性

ところが技術者は極めて少い、研究所も亦少い、研究費に至つてはお話にならぬ、一寸した生産設備は殆ど輸入品の組立たのみぢや、機械もさうだと言はれてゐた數年前迄の狀態だつただけに、その蔭の努力たるや誠に感謝措く能はざるものがあると同時に、我が國民の科學技術に於ける卓越性をも如實に示すもので全く心強い限りだ、今次戦争は敵を制する新兵器の先制創造と、そしてその量をも絶對確保するための高度の科學技術戦である。従つてその技術の進歩と、科學の發展とは戦勝のため絶對必要な要件と云ふべきである。彼に追隨した過去の我が科學技術は短い期間によく彼に先制するものとなつた、彼を壓倒するものとなつて彼を焦燥に驅らしめるに至つたが、戦争第三年こそいよいよ焦燥から絶望に叩き込んで、彼の息の根を止めべく獅子奮迅せねばならない。敵アメリカは或は云ふだらう、軍需生産の量的面に於ては日本何するものぞ、正面切つて押せ押せ日本の損害が少く、自己の方は損害が如何に大なりとも矢繼早やに繰返すうちに、日本は底を立くだらう、時日は藉せば大東亞にたくする日本には習の上に、更に量的にも叶はなくなるぞ、さうなればおしまひだ、これが前述のやうな最近の焦燥的な反攻の理由かも知れぬ。

独自の材料「味の素」

ところがあのぎまで今度はまだ云ふだらう、日本の科學技術はこの間まで俺の居候だつたんぢやないか、脛嚙りだつたんぢやないか、科學技術を喰はせてやつてゐたんだ、そして全く獨立しての科學技術としては未だ一學をなすに至らず、未だ二、三年の赤兒に過ぎん、ようし、一つでも行かう、そこで例へば高射砲も届かぬ、また戦闘機も上り得ない超高空から帝都を爆撃したり、或は日本の生命線たる船舶をうんとやつつたりするやうな新兵器で——と考へてゐることだらう、實に今日の戦争は恰も頭は科學技術の粹をつくした航空機、そして足の進歩の極に達しつつある潜水艦、そして最新鋭電波兵器を吐き出す一大巨人と巨人との龍虎相搏つ激闘であるが、今の裡ならば如何に豊富且つ鞏固たる大東亞に立脚しありとは云へ、まだまだ己の敵にあらずと見てゐるかも知れんが、豈圖らんやであり、第一に原材料では、その「味の素」を知るまで、日本では大東亞特有の味が加はつて、鋼も優秀な特殊鋼となり、アルミニウムも亦卓越せる輕合金に、そして油も高性能の油となるのである、兵器の主體をなす特殊鋼も云ふ迄もなく、その威力が既に彼に秀でてゐることは現實の戦果が示してゐる通りだ、輕合金も彼の一倍半以上の強さのもの、彼の知らない日本の味の素の配給によつて完成されてゐる、従つて彼と同じ威力ならば材料は少くて済むわけである、油もまた然り、味の素たるエチル鉛などの添加によつて彼が十二分に熟知してゐる南方産油も彼が想像も及ばぬ以上に高性能のものとなつてゐる。

敵を凌ぐ優秀技術

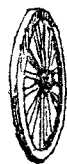
敵壓倒の確信十分

さて次に出來上つた兵器に就ては如何かと云ふに、元來兵器といふものは航空機の如きは前述の如く極めて廣汎な要素から成立してゐる、國全體の科學技術の結果とも云ふべきものであるが、その誕生課程を辿つて見ると、何んか云ふ時代が極めて長く、一度蛾となつて飛び出して第一線兵器となると、極めて壽命の短いものである、その蔭には蛾とならずに蛹時代のままに終つて、鋼も優秀な特殊鋼となり、アルミニウムも亦卓越せる輕合金に、そして油も高性能の油となるのである、兵器の主體をなす特殊鋼も云ふ迄もなく、その威力が既に彼に秀でてゐることは現實の戦果が示してゐる通りだ、輕合金も彼の一倍半以上の強さのもの、彼の知らない日本の味の素の配給によつて完成されてゐる、従つて彼と同じ威力ならば材料は少くて済むわけである、油もまた然り、味の素たるエチル鉛などの添加によつて彼が十二分に熟知してゐる南方産油も彼が想像も及ばぬ以上に高性能のものとなつてゐる。

此等の量的整備の方面はどうか——材料方面は先の獨得の味の素があつて解決し、又完成した兵器の質は今述べた通りであるが、之等の中間勢と言ふべく、この戦争第三年は愈々大東亞ツ子に實に於て彼に先制し、量亦愈々せまり相俟つて科學技術の凱歌を高く揚ぐべきである、否揚げ得る目的を得たのである、科學技術一層奮起すべし、又奮起せしむべし、而して量に對する科學技術即生産増強の面に於けるそれは科學技術者にあらざるとも、國民全部が容易にお役に立ち得るのである科學技術の役割に對する責任は均しく國民一億のものなのである、質量ともに戦争第三年はこの科學技術と、傳統二千六百年のこの精神力とより我々は其の研究に於て將た生産に於て無條件と言ふか、無梯尺として進み、戦争第三年の新條件として進み、力の限り倍といふか即命倍の力を發揮せしめ、本年こそ彼の息の根を止めようではないか。

戸を構へたため初期は色々失敗もあり、挫折もあれば惱み煩悶、焦燥もあつたのであらう、蛹時代が長いだけ之も大きいのであり、其勞苦は國民一億が大いに多し感謝せねばならぬ、既に生れた戦闘機、爆撃機高射砲、電波兵器等敵心膽を寒からしめつつあるが、これ以上に其の度膽を抜き息の根を止める程のこれ等兵器も續々生れつつある、又生れんとしつつある、來るなら來て見よは勿論のこと、どしどし行くぞである

地事情



宗教界變貌

佛門は最近形而上的にも形而下的にも多事となつた。英靈の公葬を式式にすべきか、佛式にすべきかといふ問題は昨今殆ど全國的におきてゐるやうである。苟も國家的的儀式は、大御手振りに習ひ奉り純正な本義に立脚すべしと英靈公葬の神式を主張する論者に對して佛門また陰然たる信徒の勢力を背景にして、市民葬は家庭葬の延長たるべきことを主張してやまない。

この形而上の問題は別として、重大時局に直面して宗教界は漸く多事ならんとしてゐる。鎌倉圓覺寺の雲水は墨染の法衣を作業衣に更へて、光學兵器工場でレンズを磨いてゐる。東京下谷區谷中の各宗寺院協力會の坊さんたちは、納等は宣戰の大詔を奉戴し總力戰體制のもと教團の現状をみるに忍びず、こゝに同志相諮り……一切の障礙を破摧し傳統を醇

化し、不拔の道念を捧げて宗教界の實を擧げん……と宣誓をあげた。

宗教界——こゝに意味されるものは、つまり町會や隣組に出かけて防訓の指導をしたり、貯水槽や待避所を備へたり、或は境内地および墓地、空地の利用、防空、防諜、貯蓄の戰時説教等々のことである。

宗教は本來市民的なものである市民の生活が變貌するにつれ、宗教もまた當然變改さるべきものであつた。禪家の公案は工場や農村の技術的、經濟的の諸問題にまでその調子を碎いてこなければならぬし、葷酒を避けてゐる高踏的な山門を、濁酒に微醺する巷の雑踏にもつと近寄つてこなければならぬのである。

もつともこれは現在では頭の切換へといふほどの問題でもない。もつと切實な事情から宗教界は改革されなければならないやうになつて來てゐる。

戰爭の長期化に伴ひ、各宗各派の飛行機獻納、國防獻金が積極化されるにつれ、その反面檀徒の各寺院布教所に對する報費金は漸く減退する現象となつてきた。それから檀徒諸君は從來現金支出を

好まず、米または穀物をもつてこれに代替してきたのであるが、これもまた國家の供出管理強化に伴ひ最近では難事となつてきた。かくて寺院經濟は波瀾を豫想されるにいたつてきてゐるのである。

佛教都市福井の例をとつてみると、福井市民十一萬に對する市内の寺院は百六十五、教會三十、宗教結社四十七、この僧侶布教師二百五十餘となつてゐる。そしてこの檀信徒は大は二千餘、小はほとんど皆無に近い。ここから宗門の統合問題もおこる。

この統合の氣運を待つまでもなく、僧徒のなかには勤勞奉仕に出たり、さらに軍需工場に轉業するものもある。以上は主體的な變貌であるが、客觀的にも人口疎開の方法として疎開人口の住宅のために寺院の提供が要求されてをり、地方的には既に工員の宿舎に早替りしてゐるものもある。結論すれば、寺院と僧侶によつて形式づけられる宗教は、もしかかる形式が宗教の本質的なものとして主張し、固持されるならば、恐らく早晩解體を餘儀なくされるのではなからうか——と、事態はこのやうに問題を提出してゐるのである。

鑛山勞務者と職員

現在この鑛山でも強く主張されてゐる問題の一つは、勞務者と職員との區別によつて差等づけられる日常生活用品の不合理な配給方法である。

ひととち、職員といつても鑛山になると種々雑多な人々を意味してゐる。事務所の机で終日仕事をとつてゐる人々にとつては、二合三勺の配給米は不平をいふべき筋ではない。が坑内の區長や係長になると職員ではあるが、その仕事は殆んど勞務者と同様である。彼等は作業の智的指導を行ふ他面には自ら陣頭に立つて肉體的勞働に従つてゐる。鑿岩夫——最近では一般にその技術的低下がいはれてゐる——の傍に立つて、實際的の助言をなすことも、なかなか骨の折れることである。鑿岩機での操作は筋肉の全緊張を要求するが、鑿岩夫のたまたま休む場合には當然區長が自ら代つてやらねばならぬ場合もかなり多いのである。職員である係長についてはさらに同様なことが一そうしばしば起り得るのである。現在坑内の事務所にあつてただ漫然と作業の報告を待ちうけてゐる職員は

一人もない。トロを押したり、切羽へ行くにも這ひつくばつたり梯子をのぼつたり、それだけでも都會の人々のハイキング程度の運動(?)——こんな比喩は仕事の嚴肅さに對して或は不謹慎かもしれないが——は充分あるのである。

ところで彼等は二合三勺である。坑内勞務者に時々特配される酒も煙草も作業衣もゴム足袋も手袋も彼等のそばを通り抜けてしまふ。

以上は勞務者と職員の場合であるが、同じ勞務者でも坑内と坑外とはやはりそれぞれ配給に區別がある坑内勞働に對しては重點的な特惠が施されてゐるが、坑外ではかかる恩恵がない。しかし坑外製煉夫の如きは現在の活氣を帯びた採鑛状態にあつて、晝夜二交代十二時間勞働を餘儀なくされてをり、時間外勞働に對する措置が或程度考慮されてゐるとしても、作業勞働の性質から考へてみて、當然坑内勞働と同様の待遇方法が講じられて然るべきものである。然るに彼等も多くの場合かかる特典から除外されてゐる。

こんな現象は鑛山に限らず程度の差はあれ工場においても今日殆ど一般にみられるところである。

時事文獻彙報

凡、太字は單行本
一、配列は論題・筆者名・雜誌(發行所)名・發行日の順・單に十二とあるは十二月號

例 一、昭和十八年十一月廿六日より十八年十二月二十五日迄刊行のもの
資料室

總記

- これからの新聞..... 上田正二郎 綜文社
- 世界年鑑 昭和十八年版..... 日本國際實業之日本社 問題調査會
- 朝日年鑑 昭和十九年..... 朝日新聞社
- 大詔の根本義..... 大串免代夫 中央公論
- 大東亞の精神..... 大串免代夫 改 造
- 大東亞秩序の精神(對談)..... 德富對齋藤 公 論
- 對敵思想戦の本義..... 古野伊之助 中央公論

皇室

- 軍人勅諭謹解..... 三浦 藤作 鶴書房

政治・外交(法律)

- 企業整備資金措置法解説..... 伊藤 武夫 銀行問題研究所
- 日本政治年報 第三輯: 日本政治研究室編 昭和刊行會
- 改資金統制令關係法規: 大日本産業報國會 皇國青年教育會
- 政治學大綱..... 水谷 吉藏 有精堂出版部
- 日本法律史話..... 瀧川政次郎 ダイヤモンド社
- 東京都政秘話..... 村松竹太郎 秀文閣
- 國土計畫の基礎・理論..... 日下 藤吾 大鵬社
- 戰時立法第二年: 昭和十八年..... 中川善之助 河出書房
- 解説統制法令全集..... 尾山萬次郎 天泉社
- 日本法制史..... 三浦周行 創元社
- 政治と統帥の輔翼..... 中野登美雄 現 代
- 一億戰團配置のために..... 鈴木 安藏 國家學會雜誌
- 樞密院制度の創設と史的意義..... 古井 喜實 右 同
- 東京都制について..... 古井 喜實 右 同
- 第八三臨時議會新法律解説(特輯)..... 法律時報
- 國防國家と空戰地政學(一)..... 秋保 一郎 地政學二

- 國家及國境の擴大傾向..... 金生 喜造 二
- 日華同盟條約の訂立..... 大平 善梧 外交評論
- 日華條約締結の意義..... 石井 文雄 外交時報
- 日華同盟條約の成立と駐兵權の撤廢..... 植田 捷雄 國 三
- 日支提携の思想的基礎..... 滿田 巖 右 同

財政・經濟

- 新經濟學批判..... 柴田 敬 山口書店
- 財政..... 戶田 武雄 白楊社
- 再編成下の配給機構(第一輯)..... 藤井英男編 商工組合中央金庫
- 國家經濟學の立場..... 宮田喜代藏 甲文堂書店
- 決戦下の商行政..... 皇國經濟研究會 秀文閣
- 商工經濟會の本質と使命..... 猪谷善一郎 經濟圖書株式會社
- 戰争經濟學..... 沖中 恒幸 巖松堂
- 日滿產業構造論(第二卷)..... シュムペーター 栗田書店
- 戰争經濟の構造..... 日下 藤吾 新東亞協會
- 決戦企業整備の全貌..... 國策研究會編 鱒書房
- 技術の本質..... 宮城晉五郎 明治書房
- 物價要覽..... 商工省物價局編 鱒書房
- 國民經濟なる概念に就て..... 後藤 基春 改 造
- 我が戰争財政力..... 松田 ダイヤモンド
- 經濟計算綱..... 高田 保馬 國民經濟雜誌
- 軍需金融論..... 沖中 恒幸 改 造
- 金融營團の考案..... 田中金重郎 右 同
- 支那事變軍票論..... 除野 信道 經濟學論叢
- 交易新機構の確立(特輯)..... 大槻 正男 經濟春秋
- 粒食粉食優劣論..... 柏野 晴夫 社會政策時報
- 生鮮農産物配給機構の展開過程..... 森永 泰士 富山房

産業・勞務

- 石 油..... 津田 廣 商工行政社
- 鑛業政策論..... 吉岡 金市 白楊社
- 増産と技術..... 大熊 信行 中央公論
- 産業國家體系論..... 生産増強の經濟倫理(特輯)..... 上田辰之助外 統制經濟
- 生産技術の公開・交流(特輯)..... 經濟毎日
- 朝鮮の稀元素資源..... 多田 禮吉 大隈 經濟
- 輕金屬増産の方途(座談會)..... 大河内正敏 科學主義工業
- 專用工作機械禮讚..... 田村民平 右 同
- 資源の戦力化(座談會)..... 田村民平 右 同

- 食糧大增産策..... 大井上對千石 現 代
- 農業における人口と生産構造..... 大川 一司 農業經濟研究
- 大東亞戰爭と農村問題(對談)..... 橋對 西谷 公 論
- 日本の勤勞體制..... 三輪 壽壯 同盟世界週報
- 朝鮮勞務の決戦寄與力(座談會)..... 池田 鏡外 大陸東洋經濟
- 外地人勞働力の諸問題..... 鈴木 舜 右 同

交通・通信

- 戰時運輸統制論..... 佐藤 敏章 伊藤文信堂
- 鐵道..... 關谷 健哉 海洋文化社
- 木船構造の基礎知識..... 高山 襄坪 二里木書店
- 航空機増産の技術的檢討..... 大河内正敏 科學主義工業
- 航空科學の新方向(座談會)..... 駒林榮太郎外 放 送
- 木製機と強化木材..... 特 輯 科學主義工業
- 日本の造船力..... 川南 豐作 ダイヤモンド

軍事

- 東郷元帥の戰略戰術..... 小笠原淳隆 二見書房
- 土木防空..... 町田 保 常磐書房
- 空襲下の救護法..... 東京都青年團編 富永興文堂
- 海軍隨筆..... 岩田 豐雄 新潮社
- 活機戰 第三部..... 伊藤庸也 日本軍用圖書株式會社
- 山岳戰..... 坂部 護郎 青水書房
- 戰争と學生..... 三輪 啓一 學生社
- 月別近代日本軍事史..... 松田 芳男 田中誠光堂
- 機械化兵器..... 村田 岐三 大藏書院
- 戰争本質論(對談)..... 栗原對齋藤 現 代

文化・社會

- 日本思想史..... 竹岡 勝也 理想社
- 日本精神..... 出石 誠彦 大觀堂
- 逞しき内原..... 伊藤金次郎 協同出版社
- 國家と社會理論..... 黑羽兵治郎 河出書房
- 現代社會學說研究..... 松本潤一郎 刀江書院
- 米英思想批判..... 淺野 晃 旺文社
- 文化感覺論..... 田中 忠雄 朝倉書店
- 戰争と食糧..... 水野 武夫 教育科學社
- 工業配置と人口移動分布..... 平 實 經濟學雜誌
- 食糧問題より觀たる適正都市の條件..... 宮出 秀雄 都市問題
- 忠 誠..... 論(特輯)..... 讀 書
- 文化史觀を語る(座談會)..... 讀 書

神州の正氣(座談會)..... 文藝春秋
 決戦の文化(特輯)..... 新文化
 新化昂揚の原理—大東亞結集..... 井澤 弘 改 造
 戦時下の榮養問題..... 井上 兼雄 科學主義工業
 生活の戦力化(座談會)..... 鈴木舜一 日本評論
 生産決戦と生活動員(座談會)..... 河野 密外 科學主義工業
 農村人口維持の理論的基礎..... 神崎 博愛 農業經濟研究
 人生觀・死生觀..... 齋藤 劉 改 造

歴史・傳記(地理)

地理—その基本問題..... 江澤 讓爾 育英書院
 概説大東亞史..... 山崎 宏 同文書院
 西洋史研究 第一輯..... 西洋史研究會編 生活社
 明治・大東亞思想學說人物史(三)..... 藤原喜代藏 東亞政經社
 山本五十六元帥..... 高幣 常市 蒼生社
 幕末日本見聞録..... ゴロウニ 大觀堂
 評註名將言行録(下)..... 菊池 寛 非凡閣
 山鹿素行の國體觀..... 納富 康之 鶴書房
 大久保利通..... 白柳 秀湖 潮文閣
 山本權兵衛..... 中村嘉壽 軍事教育研究會
 ナポレオン全集イタリヤ戰記)..... フアレックローク 昭和刊行會
 歐羅巴民族の運命(上)..... 菅 良譯 櫻井書店

海外神社の史的的研究..... 近藤 喜博 明世堂
 滿洲事變前後..... 近代日本史研究會 白楊社
 平田 篤胤..... 山田 孝雄 實文館
 都の歴史と文化..... 毎日新聞社編 北光書房
 ハワイを繞る日米關係..... 芳川 實行 文藝春秋社
 安田善次郎..... 芳川 實行 先生書店
 四提督の最期..... 伊藤 浩三 研文書院
 國史の話題..... 中村 直勝 全國書房
 會 國 藩..... 櫻井 信義 古賀書店
 常在戰場の人山本五十六..... 伊藤 峻一郎 天佑書房
 後藤新平傳 時代前期..... 鶴見 祐輔 太平洋協會
 十二月八日前後と鬼才・清..... 城戸元亮外 言論報國
 水芳太郎(座談會)..... 城戸元亮外 言論報國

換 氣 筒..... 岡本正一編 厚生閣

航空機用非金屬材料..... 荒木 鶴雄 春陽堂
 國語國文學年鑑..... 久松潜一編 靖文社
 二科三十年..... 長谷川 躬 美術工藝會
 結核豫防原則..... ビュルノ 長門屋書房
 戦争と腦..... 結核豫防會譯 牧書房
 豫防醫學..... 式場隆三郎 杏林社
 鶴見二三男

世界大戰..... 馬場・木暮 世界週刊
 獨ノ戦線を見る..... 大野 信三 外交時報
 今次大戰の終結期..... エリ・ヴォール 同盟世界週報
 ラムゴットの正體..... インスキール 同盟世界週報

大東亞戰爭..... 六藝社編 六藝社
 大東亞戰日誌(昭和十八年前半)..... 野口 正 金龍堂
 不連續線—航空氣象班の手記..... 寺崎 浩 春陽堂
 マライの騷亂..... 末次 信正 改 造
 太平洋戰局縱橫談..... 高橋 德衛 放 送
 目撃せる眞珠灣攻撃..... 本多熊太郎 言論報國
 敵米英の對日策..... 言論報國
 支那事變の性格とその處理..... フレデリック・ 東 亞
 革命前後のアメリカ..... ウィール 時局日本
 齋藤政雄譯

世界一般(歐米)..... 齊藤政雄譯 時局日本
 世界戰爭經濟の構造..... 齊藤政雄譯 時局日本
 交戦各國の女性生活..... 川村三郎譯 育生社連閣
 交戦各國の交通行政機構..... 山口 定雄 内外書房
 列國戰時經濟の現狀(特輯)..... 同盟世界週報
 三國外相會議を評價す..... 稻原 勝治 科學主義工業
 米英ソ三國會談..... 林 毅 陸 外交時報
 カイロ、テヘラン會談と最後..... 村山 公三 國際評論
 的決戦段階の到来..... 松井 榮一 國民經濟雜誌
 ケインズ、リオーリン論争..... 松井 榮一 國民經濟雜誌

大東亞一般..... 帆足 計 日本出版社
 共榮圈の經濟建設..... 帝大佛教青年會 日本青年教育會
 大東亞の民族と宗教..... 日本青年教育會
 大東亞産業立地計畫論..... 川西 正鑑 實業之日本社
 日本の重工業と東亞..... 中野 豊 朱省書林
 東亞社會研究(第一輯)..... 東亞社會研究會 生活社
 大東亞地政學新論..... 小牧 實繁 星野書店

東亞經濟研究(二)..... 神戶 正雄 有斐閣
 大東亞共榮圈建設の方途..... 難波田春夫 東亞文化閣
 大東亞新秩序の象徴..... 井村 薰雄 外交時報
 東亞共榮圈國際法への途..... 田畑茂二郎 外交評論
 東亞の農業人口配置..... 野間 海造 農業經濟研究

滿洲の科學技術團體..... 菅原 甚一 科學主義工業
 最近支那政治制度史..... 錢端升等 慶應書房
 支那戰時通貨問題一斑..... 及川恒忠譯 日本評論社
 湖南省綜覽..... 神田 正雄 東京情報社
 支那航行權問題..... 大平 善植 有斐閣
 支那鑛業勞動論..... トルガシエフ 中央公論社
 支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

支那省別全誌(貴州省下)..... 手塚・前田譯 中央公論社
 蒙古と支那..... 米内山庸夫 北光書房
 フリヤート蒙古民族史..... クドリヤフツエフ 同刊行會編 丸善株式會社
 支那周邊史(下)..... 蒙古研究所譯 紀元社
 中央ものがたり..... 安藤 徳器 白楊社
 新生中國の使命(特輯)..... 草野 文男 東亞文化閣
 國民政府の思想戰方策—全..... 市川正義外 日本評論
 面和平問題を中心として..... 金久保通雄 創 造
 日支國交談義(對談)..... 徳富 對陳 改 造
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 中國に於ける棉作發展の地域性..... 新宮健二 經濟學雜誌
 支那安定の方策..... 奥谷 松治 社會政策時報
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 中越經濟關係—支那及び佛領..... 米内山庸夫 東 洋
 印度支那間の通商關係..... 王文元 新亞細亞
 大東亞建設の躍進と蒙旗..... 田中 吉六 蒙 古
 社會の近代化..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 支那の物價問題..... 宮下 忠雄 國際經濟研究
 北支に於ける食糧物價問題の焦點..... 山田雄三 右 同
 南支那の新しい地位..... 東 亞
 香港の建設..... 小椋 廣勝 同盟世界週報
 葡萄牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 葡葡牙の東亞侵略と澳門の性格..... 井出季和太 東 洋
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 重慶の物價問題..... 橋本 秀一 國際經濟研究
 中國の命運による重慶經濟..... 河合 俊三 右 同
 體制の方向..... 小川 潤八 東 洋

南方

(一) 南方年鑑 昭和十八年版... 同刊行會 東邦社
南方民族と宗教(特輯)... 南方情勢二
廣域國土計畫と南方圈原始産業: 淺香末起 經濟學雜誌二

印度

獨立運動をめぐる現代印度の諸情勢... 福井 慶三 研文書院
(ビルマ) 獨立義勇軍秘話... 廣野直太郎 六合書院
佛印行政制度概説... 東亞經濟調查局 滿鐵
佛印に於ける對マラヤ M.F. フアリノウ

東南

マライ經濟の諸問題... 大谷 敏治 文化研究社
(フィリッピン) 獨立(特輯)... 世界週刊二
フィリッピン共和國通信... 石坂洋次郎 改造一
比島獨立とカリベ運動... 木村 淳 東洋二

東洋

比島人の民族性格... 徳川 頼貞 放送三
獨立比島の通貨體制... 加藤 貞國 經濟毎日三
(東印度) インドネシア民族史... 大谷 敏治 今日の問題社
東印度の經濟建設... 目崎 憲司 有斐閣

南洋

舊蘭印の教育制度... 新明(首藤)譯 産業經濟社
(新スマトラ縦斷) 東海岸州... シュリリケ 南洋二
事情 東印度貿易統計(二)一九四〇年... 竹井 十郎 南洋情勢三
(濠洲・太平洋諸島) 太平洋の海洋と陸水... 太平洋協會編 岩波書店

中亞

濠洲の對米依存政策... 伊藤 孝一 南洋二
濠洲の經濟的抗戦力... 伊藤 孝一 南洋二
トルコ經濟の近況... ベー・ダンツイグ 國際文化協會會報
トルコを繞る外交戰... 内藤 智秀 東洋二
アフリカ... 中川 彦治 日本外政協會

歐洲

(一) 歐 州
レバンノ事件の背後關係... 木村 銳市 外交時報三・四
バルカンノ風雲再び急(ドイツ)... 木田徹郎譯 東洋書館
ナチス勞働配置政策の發展(ソ聯邦)... 笠原 直造 同聯通信社

北米

ソ聯邦年鑑... 同聯通信社
世界戰爭とソ聯の農業... 園部 四郎 月刊ロシヤ
ソ聯鐵道の決戰體制... 柄澤貞次郎 三三三
ギリシア正教とスラヴ民族(二) 中山 貞雄 三三三
スターリン外交の特徵... 小松 茂男 外交時報三
ソ聯新宗教政策と汎スラヴ主義... 金田常三郎 蒙古三
汎スラヴ主義とソ聯の宗教政策... 中山 貞雄 東洋二
現代英國論... 伊東 敬 外交評論三

米州

汎米政策の解剖... 同盟世界週報三・二
カリフォルニアと日本人... 海老名一雄 大興出版部
米國の攻勢作戦... W.F. カーナン 興亞日本社
米國全權帝國主義を衝く... 三枝 茂智 創造一
米國加工工業の技... エム・ボクシツキイ 國際文協三
米國軍事記者群像... 渡邊左次馬 世界週刊三
現代米國農業政策の展望... 特輯 國際文化協會會報三・二
ソ聯側から見た米國の國內戰線... ヴェ・ラン 三三三
米國の支那人排斥法廢棄につきて... 米田實 國際法外交雜誌三
航空工業に轉換せる自動車工業... 村尾力太郎 科學主義工業三
業の近況(アメリカ航空工業)... 村尾力太郎 科學主義工業三
米國の戰爭目的論「一つの世界」より... ウィルキー 同盟世界週報三・二

南米

海港を渴望するボリヴィア... 野田 良治 外交時報三・二
拉米各國の祝祭日と... 野田 良治 ラテンアメリカ研究三
其の由來... 野田 良治 ラテンアメリカ研究三
大東亞戰爭とラテンアメリカ... 清野兼六郎 同三
の金屬資源... 同三

兩極

北方地政學の課題... 横田 弘之 東洋二

後編

○旬報が月報になつて一年、時局は益々重大となつた。月報の性質上『多少とも柔かな感じ、親しみあるやうな形』といふ前任者の意を出來るだけ生かしたいとは心にかけても、假借なき戰爭の現實に押潰されて、ともすれば素つ氣ないものでの御辛抱をお願ひしたい。
○本社では大東亞戰爭第三年を迎へ報道思想戦の尖兵として持てる力を遺憾なく發揮するため新春早々機構の簡素強化を實施したが、之に伴つて月報の前身旬報創刊當時から馴染深い調査部は發展の解消して戦時調査室が生れ、これまで調査部にあつた月報と同盟時

事年鑑が週報部の同盟世界週報と共に出版部に移された。勿論これらの出版物が従前通り同盟の全機能を傾けて内容の充實を図ることに變りなく、寧ろ此出版編輯の統一強化によつて内容の一層の向上を圖らうといふものである。

昭和十八年一月三日印刷 本報昭和十八年一月三日發行
(定價) 圓字號送料三錢
内地半年分前金九圓(送共)
外地半年分前金十圓(送共)
一年分前金二十圓(送共)
編輯發行 兼印刷人 杉田才一
兼印刷所 東京都墨田區錦町ノ五
印刷所 東京都墨田區錦町ノ五
發行所 東京都墨田區比谷公園
(日本出版會)
(編輯部) 東京都神田區西區三丁目三番
(發行部) 東京都神田區西區三丁目三番
電話號碼(7) 2115番
振替東京三六〇番
東京都神田區淡路町三ノ丸
配給 日本出版配給株式會社

W・マインホルト著 永井建造、一柳茂 次共譯 A5判二百餘頁
戦時農業論 價 二圓八十錢

戦争の農業生産条件に及ぼす影響。土地、資本、労働力、技術等の面より戦争の影射とこれが政策を論じたる最新名著の全譯。(弘報十八號新刊)
 A5判圖版百餘葉

ヴァン・ホープ著 野原達夫譯 A5判圖版百餘葉
インドネシアの原始文化 價 二圓七十錢

有名なピネカントロプスをはじめ東印度先史文化、考古学、獸学、列記する。好評
 厚版(弘報十八號重刊)

F・T・H・ダリス著 西野照太郎譯 A5判三百頁
東印度工業論 價 三圓三十錢

獨逸の工業政策を論じ、現在の資本制工業、及び民族工業の全貌を明らかにせるもの(弘報十八號新刊)

J・ネール著 B6判六百頁 99.84
ネール自叙傳(下) 價 2.20

誠實な自傳であり完璧の印度獨逸斷争史
 J・F・リビー著 A5五百餘頁
中南米(發達)全史 價 5.45

來るべき争闘舞臺たる中南米古代より現代に至る全史

東京 丸の内 幸町 東 丸の内 幸町 東京 丸の内 幸町 東京 丸の内 幸町 東京 丸の内 幸町
 協本日際國 會協本日際國

同盟時事年鑑

昭和十年版

同盟通信社の全機能を發動・結果して決戦日本の權威ある國勢標識たらしめんため昭和十三年以降毎年繼續刊行し來れる本年鑑、昭和十九年版は更に大東亞戦争及び歐洲大戰の精細な年次記録、大東亞共榮圏の現勢、國內態勢の強化過程、各種人名團體要覽等の項目を強化した。

本社においては既に品切につき御注文は必ず最寄の書店へ願ひます
 B5判上製六五六頁・價 五圓
 近日發賣・書店へ御注文願ひます。

海外電報版

一日一回發行
 年額二〇〇圓

同盟独自の世界通信網を通じて蒐集される日数萬語の世界情報、報を壓縮編輯せるものにして、新聞に掲載されざる海外電報は擧げてこの版に蒐録。世界情勢に關心を有つ人士にとつて必讀の重要資料。

尚附録として左記を添附します。

「世界各國政府人名錄」

第一回 昭和十九年一月六日發行
 米洲篇 約三十數頁
 第二回以降毎月二回添付

東亞電報版

一日一回發行
 年額二〇〇圓

大東亞諸地域に日日生起する政治、經濟、軍事、文化その他全ニュースの集大成版。東亞新秩序の歩みは本通信版を通じてのみ正確且つ迅速に把握し得る。

海外經濟版

一日一回發行
 年額二〇〇圓

絶大の信用を博せる同盟外國經濟通信の活字版。敵國、盟邦、中立國の一切の經濟事象は専門的編輯の下に餘すところなく本通信版に収録。

東亞經濟版

一日一回發行
 年額二〇〇圓

大東亞經濟建設の諸相を同盟独自の無電網により日数萬語の世界情報、大陸並に南方全域の經濟動向は本通信版によつて刻々把握し得る。

同盟通信社 法團

高山書院

森原敬恪

山浦貫一著 昭和の先覺國體 (上下二巻) 政治家の生涯隨想 (私報一五) 各五・七八

前田蓮山著 至誠愛國つひに國事に殉れたる民幸 (上下二巻) 相の劇的波瀾の全傳 上巻 三・九〇 下巻 三・九〇

【文部省推薦】 久米榮左衛門 豐澤豐雄著 一・九一

高杉晋作 森本覺丹著 二・二〇

平賀源内 週際義明著 二・二〇

成吉思汗全傳 大場彌平著 一・六〇

【出版會選定健全學業】

三九八三八東京荳振・町川小區田御都京東

柳瀨徹也 (日本學術論叢NO10) 價一・七六

我國中小炭礦業の從屬形態 本論義は實學研究人の參加を得て日本學術分野に巨り、研究主題の中心極のエキスを究極まで極めたモノ、その形態により、逐次その研究成果を發表し、社會に提出せんとす、辨方に若干の時を以てすれば必ずや日本學術上、文化上貢獻し得ることを確信する。

各5A各千一・五

日本學 上代の土地關係價一・六五
三男水 日本古代家族價一・八五
生野 防人歌の基礎構造價一・七六
裕吉 切支丹農民の經濟生活價一・六八
戸谷 特殊小作制の農業經營價一・〇五
渡邊 近代陶磁器業の成立價一・二〇
奈本 小林立 フリードリヒ・リスト序說價一・三八
昇一 信濃諏古墳の地域的研究 (近刊)
藥一 訪地方二葉亭四迷論 (近刊)
水野

伊藤書店

七二八七東京荳振・二町川小田御都京東

佐佐木信綱・久曾神昇共編 第一卷 二月下旬發賣
山岸彌平・伊藤嘉夫共編 全五卷 價各約八五〇〇圓
二十一代別勅撰集 價各約八五〇〇圓

文部省推薦 弘道館記述義小解 定價一〇〇八八二頁 〇〇・四五〇

立川春重著 引續二號 隨筆夾竹桃 定價一〇〇八八二頁 〇〇・四五〇

現代のトルコ 皇國百人一首 定價一〇〇八八二頁 〇〇・四五〇

北を護る兵士達 價二・三〇 價一・五〇

火砲の發達 價二・七〇 價一・二〇

神保光太郎著 文部省推薦 昭南日本學園 價二・三〇 價一・二〇

南方文化建設に挺身せる著者の詩情豊かな報道文學

東京都小石川區水道端二ノ十 文 明 社 振替東京一七〇一六番

圖書目錄

愛之事業社 東京荳振二

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京都麹町區日比谷公園

武田製藥株式會社 總發行所 東京都千代田區千代田三丁目一番一號
電話 二二二二番
定價 一圓五十錢

貯蓄の銃後弾丸!!

東京 都 日 比 谷

第一生命保險相互會社



ロイマチス性疾患、神經痛等はV・B₁缺乏に由來する處大なりと推定せらる。然も高單位劑により初めてその効果を期待し得と……………

本劑は強力高單位のV・B₁劑にして消炎、鎮痛、毒素の解毒・排除及び神經細胞の賦活等の綜合作用により其の治療目的を達せしむ。

其他 食慾不振、胃腸無力症、妊娠・授乳時の栄養補給にも

V・B₁含有量一錠中〇・五mg
100錠 300錠

強カメタボル錠

製法特許